

杏林大学収容定員関係学則変更認可申請に係る補正申請書

杏学発第 3-66号

令和 3年 7月 9日

文 部 科 学 大 臣 殿

学校法人 杏 林 学 園

理事長 松 田 博 青

令和3年3月23日付で行った杏林大学の収容定員関係学則変更認可申請に係る一部を補正したいので、別紙書類を添えて申請します。

(注)

- 1 「〇〇大学設置」及び「〇〇大学を設置」の部分については、認可の申請の内容に応じ、適切に表記を変更すること。
- 2 設置者の変更の認可を受けようとする場合には、「申請者の職名及び氏名」の欄は、当該変更に関係する地方公共団体又は学校法人の連署とすること。
- 3 「申請者の職名及び氏名」の欄の「印」は、本人の署名（法人にあっては、代表者の署名）をもって代えることができること。
- 4 「学校教育法第4条第1項」の部分については、申請の内容に応じ、「学校教育法第4条第1項及び学校教育法施行令第23条」とすること。

目次

- 0. 杏林大学収容定員関係学則変更認可申請に係る補正申請書
- 1. 基本計画書
 - ア. 基本計画書
 - イ. 教育課程等の概要
- 2. 函面（2校地に関する書類を含む）
- 3. 学則
- 4. 学則の変更の趣旨等を記載した書類（本文）
- 5. 学則の変更の趣旨等を記載した書類（資料）
- 7. 学生の確保の見通し等を記載した書類（本文）
- 8. 学生の確保の見通し等を記載した書類（資料）
- 9. 教員名簿
 - ア. 学長の氏名等
- 1 1. 審査意見への対応を記載した書類（7月）
- 1 2. 意思の決定を証する書類
- 1 3. 新旧対照表（7月）

基本計画書

基本計画		
事項	記入欄	備考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更	
フリガナ 設置者	ガッコウホリゾン キョウリンガクエン 学校法人 杏林学園	
フリガナ 大学の名称	キョウリンダイク 杏林大学	
大学本部の位置	東京都三鷹市新川六丁目20番2号	
大学の目的	本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、かつ建学の精神に基づいて、崇高な人類愛と高度の科学精神を基盤とするすぐれた人材の育成を目的とし、もって広く人類の福祉に貢献することを使命とする。	
新設学部等の目的	杏林大学保健学部健康福祉学科では健康教育を主に行っており、コース分け等はなく希望者全員に、学校での健康管理の責任者である養護教諭や、社会的弱者の健康面も含めた調整を行う社会福祉士の資格を取得できるカリキュラムを編成提示し、社会の要請に応えている。 一方、我が国は急激に高齢化社会に移行し、高齢者がいかに健康で自立して生活できるかが重要問題となっており、国を上げて対策を取りはじめたところである。内閣府「平成30年版高齢社会白書」によると、70歳以上の高齢者において介護支援が必要になった主な原因は、「転倒・骨折・関節疾患」が約22%で、「認知症」が約19%となっている。運動器の障害が多く、適切な運動の重要性が指摘されるなど、高齢者一人ひとりに合った適切な運動が求められている。しかし、現状では高齢者に適切な運動を指導できる人材はごく少なく、高齢者の転倒・転落・関節疾患に関する病態生理を理解し、患者に寄り添い、科学的な見地に基づいて患者の運動指導が出来る指導者を養成することは早急に行われるべきことと考えられる。 また、認知症に対しては患者本人だけではなく、家族も含めた環境調整も必要とされているが、他の精神科領域の患者についても同様なことが言える。地域で生活する患者にとって、自立して生活をしていくことは難しい場合が多く、様々な援助を必要とすることが多い。それらの調整役である精神保健福祉士は、患者の病像の把握を基に、精神症状の悪化や深刻化を未然に防ぎ、生活を支える重要な役割を担っている。 以上のことを勘案して、健康福祉学科においては確かな医療知識を基に、患者一人ひとりに対して全身状態像と照らし合わせて適確な運動を指導できる人材の養成、および精神医療に精通し、すぐれた環境調整能力を持つ精神保健福祉士の養成がこれからの社会で必要とされると捉え、本学科で行うこととした。本学科志望者にとって、社会の要請に適合した選択の幅が大きく広がることになるため、養護教諭や社会福祉士志望の学生だけでなく、新たに志望してくる学生も見込まれるため、入学定員を70名増員し120名として対処したいと考えている。	

新設学部等の概要	新 設 学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	開設時期及び開設年次	所 在 地	
	医学部 (Faculty of Medicine)	年	人	年次 人	人		年 月 第 年次		
	医学科 (Department of Medicine)	6	105	—	650	学士 (医学) 【Doctor of Medicine】	昭和45年4月 第1年次	東京都三鷹市新川6丁目20番2号	
	保健学部 (Faculty of Health Siences)								
	臨床検査技術学科 (Department of Medical Technology)	4	120	—	480	学士 (保健衛生学) 【Bachelor of Health Sciences】	昭和54年4月 第1年次	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号	
	健康福祉学科 (Department of Health and Welfare)	4	120 (50)	—	480 (200)	学士 (保健衛生学) 【Bachelor of Health Sciences】	令和4年4月 第1年次	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号 東京都八王子市宮下町476	
	看護学科 (Department of Nursing)		150		600	学士 (看護学) 【Bachelor of Nursing】	平成6年4月 第1年次	東京都三鷹市新川6丁目20番2号 東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号	
	看護学専攻 (Nursing Major)	4	100	—	400	学士 (看護学) 【Bachelor of Nursing】	平成6年4月 第1年次	東京都三鷹市新川6丁目20番2号	
	看護養護教育学専攻 (Nursing and School Nursing Major)	4	50	—	200	学士 (看護学) 【Bachelor of Nursing】	平成24年4月 第1年次	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号	
	臨床工学科 (Department of Clinical Engineering)	4	60	—	240	学士 (臨床工学) 【Bachelor of Clinical Engineering】	平成18年4月 第1年次	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号	
	救急救命学科 (Department of Paramedics)	4	50	—	200	学士 (救急救命学) 【Bachelor of Paramedic】	平成19年4月 第1年次	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号	
	理学療法学科 (Department of Physical Therapy)	4	56	—	224	学士 (理学療法学) 【Bachelor of Physical Therapy】	平成21年度 第1年次	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号	
	作業療法学科 (Department of Occupational Therapy)	4	54	—	216	学士 (作業療法学) 【Bachelor of Occuparational Therapy】	平成23年4月 第1年次	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号	
	診療放射線技術学科 (Department of Radiological Technology)	4	66	—	264	学士 (診療放射線学) 【Bachelor of Medical Radiological Technology】	平成25年4月 第1年次	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号	
	臨床心理学科 (Department of Clinical Psychology)	4	80	—	320	学士 (臨床心理学) 【Bachelor of Clinical Psychology】	平成30年4月 第1年次	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号	

新設学部等の概要	総合政策学部 (Faculty of Social Sciences)							
	総合政策学科 (Department of Policy Studies)	4	150	第3年次 4 (3)	608 (606)	学士 (総合政策学) 【Bachelor of Policy Studies】	令和4年4月 第1年次	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号 東京都八王子市宮下町476
	企業経営学科 (Department of Business Administration)	4	80	第3年次 2 (3)	324 (326)	学士 (企業経営学) 【Bachelor of Business Administration】	令和4年4月 第1年次	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号 東京都八王子市宮下町476
	外国語学部 (Faculty of Foreign Studies)							
	英語学科 (Department of English)	4	130	第3年次 4	528	学士 (文学) 【Bachelor of Art】	昭和63年4月 第1年次	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号
	観光交流文化学科 (Department of Hospitality and Tourism)	4	90	第3年次 2 (3)	364 (366)	学士 (観光交流文化学) 【Bachelor of Hospitality and Tourism】	令和4年4月 第1年次	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号
	中国語学科 (Department of Chinese Communication)	4	32 (30)	第3年次 2 (5)	132 (130)	学士 (中国語コミュニケーション学) 【Bachelor of Art】	令和4年4月 第1年次	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号
	計		1,343 (1,281)	第3年次 14 (18)	5,630 (5,398)			
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)		医学研究科 生理系専攻（廃止）（△4）令和4年4月学生募集停止 病理系専攻（廃止）（△3）令和4年4月学生募集停止 社会医学系専攻（廃止）（△3）令和4年4月学生募集停止 内科系専攻（廃止）（△12）令和4年4月学生募集停止 外科系専攻（廃止）（△12）令和4年4月学生募集停止 医学専攻（25）令和3年6月専攻の設置届出予定 国際協力研究科 国際開発専攻〔入学定員減〕（△4） グローバル・コミュニケーション専攻〔入学定員減〕（△14） 国際医療協力専攻〔入学定員減〕（△2） 開発問題専攻〔入学定員減〕（△5） 保健学研究科 臨床心理学専攻（25）令和3年6月専攻の設置届出予定 看護学専攻 博士前期課程〔入学定員減〕（△5） 看護学専攻 博士後期課程〔入学定員減〕（△1）						
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数					卒業要件単位数	— 単位
		講義	演習	実験・実習	計			
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位		

教員以外の職員の概要	職 種			専 任		兼 任		計		大学全体	
	事 務 職 員			291 (291)		309 (309)		600 (600)			
	技 術 職 員			1,830 (1,830)		126 (126)		1,956 (1,956)			
	図 書 館 専 門 職 員			11 (11)		0 (0)		11 (11)			
	そ の 他 の 職 員			2 (2)		0 (0)		2 (2)			
	計			2,134 (2,134)		435 (435)		2,569 (2,569)			
校 地 等	区 分		専 用	共 用		共用する他の学校等の専用		計		大学全体	
	校 舎 敷 地		221,276.82㎡	0㎡		0㎡		221,276.82㎡			
	運 動 場 用 地		14,570.00㎡	0㎡		0㎡		14,570.00㎡			
	小 計		235,846.82㎡	0㎡		0㎡		235,846.82㎡			
	そ の 他		2,301.09㎡	0㎡		0㎡		2,301.09㎡			
	合 計		238,147.91㎡	0㎡		0㎡		238,147.91㎡			
校 舎			専 用	共 用		共用する他の学校等の専用		計			
			120,390.62㎡ (120,390.62㎡)	(0㎡)		(0㎡)		120,390,62㎡ (120,390.62㎡)			
教室等	講義室		演習室	実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設		大学全体	
	99室		111室	62室		6室 (補助職員 0人)		3室 (補助職員 0人)			
専 任 教 員 研 究 室			新設学部等の名称				室 数			大学全体	
			大学全体				451 室				
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕冊	学術雑誌 〔うち外国書〕種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体での 共用分を含む		
	大学全体		262,840〔46,284〕 (241,640〔45,084〕)	3,254〔1,023〕 (5,582〔2,770〕)	16,879〔15,377〕 (16,936〔15,431〕)	10,863 (10,863)	34,134 (34,134)	473 (473)			
	計		262,840〔46,284〕 (241,640〔45,084〕)	3,254〔1,023〕 (5,582〔2,770〕)	16,879〔15,377〕 (16,936〔15,431〕)	10,863 (10,863)	34,134 (34,134)	473 (473)			
図書館			面積		閲覧座席数			収 納 可 能 冊 数		大学全体	
			6,898.3㎡		808			463,056			
体育館			面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
			5,148.20㎡		野球場、テニスコート、弓道場、アーチェリー練習場						
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 の 概 要	経費の見積り	区 分		開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体 図書費には、電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
		教員1人当り研究費等			933千円	925千円	931千円	936千円	936千円	936千円	
		共 同 研 究 費 等			5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	
		図 書 購 入 費		48,065千円	48,065千円	48,065千円	48,065千円	48,065千円	48,065千円	48,065千円	
		設 備 購 入 費		407,810千円	210,000千円	210,000千円	210,000千円	210,000千円	210,000千円	210,000千円	
	学生1人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	医学部										
	医学科		9,500千円	5,500千円	5,500千円	5,500千円	5,500千円	5,500千円			
	保健学部										
	臨床検査技術学科		1,900千円	1,650千円	1,650千円	1,650千円	—	—			
	看護学科										
	臨床工学科										
	救急救命学科										
	理学療法学科										
	作業療法学科										
	診療放射線技術学科										
	健康福祉学科		1,650千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	—	—			
	臨床心理学科										
	総合政策学部		1,170千円	9,20千円	9,20千円	9,20千円	—	—			
	総合政策学科										
	企業経営学科										
	外国語学部										
	英語学科										
	観光交流文化学科										
	中国語学科										
	学生納付金以外の維持方法の概要								私立大学等経常費補助金収入、手数料収入等を充当する。		

既設大学等の状況	大 学 の 名 称		杏林大学								
	学 部 等 の 名 称		修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開設 年度	所 在 地	
			年	人	年次 人	人		倍			
	医学部										令和2年度より入 学定員減(-2名) し、段階的に入学 定員減
	医学科		6	115	—	698	学士 (医学)	1.00	S45年度	東京都三鷹市新川6 丁目20番2号	
	保健学部							1.02			令和4年度から 入学定員増(120 名)
	臨床検査技術学科		4	120	—	480	学士 (保健衛生学)	1.01	S54年度	東京都三鷹市下連 雀5丁目4番1号	
	健康福祉学科		4	50	—	200	学士 (保健衛生学)	1.05	S54年度	東京都三鷹市下連 雀5丁目4番1号	
	看護学科		4	150	—	600	学士 (看護学)	1.01	H 6年度	東京都三鷹市新川6丁目 20番2号 東京都三鷹市下連雀5丁 目4番1号	
	看護学専攻		4	(100)	—	(400)	学士 (看護学)	0.98	H 6年度	東京都三鷹市新川6丁目 20番2号	
	看護養護教育学専攻		4	(50)	—	(200)	学士 (看護学)	1.07	H24年度	東京都三鷹市下連雀5丁 目4番1号	
	臨床工学科		4	60	—	240	学士 (臨床工学)	1.04	H18年度	東京都三鷹市下連 雀5丁目4番1号	
	救急救命学科		4	50	—	200	学士 (救急救命学)	1.08	H19年度	東京都三鷹市下連 雀5丁目4番1号	
	理学療法学科		4	56	—	224	学士 (理学療法学)	1.05	H21年度	東京都三鷹市下連 雀5丁目4番1号	
	作業療法学科		4	54	—	216	学士 (作業療法学)	1.10	H23年度	東京都三鷹市下連 雀5丁目4番1号	
	診療放射線技術学		4	66	—	264	学士 (診療放射線学)	1.02	H25年度	東京都三鷹市下連 雀5丁目4番1号	
	臨床心理学科		4	80	—	320	学士 (臨床心理学)	0.95	H30年度	東京都三鷹市下連 雀5丁目4番1号	
	総合政策学部							1.05			令和4年度から3 年次編入学定員 増(計4名)
	総合政策学科		4	150	3年次 3	606	学士 (総合政策学)	1.09	S59年度	東京都三鷹市下連 雀5丁目4番1号 東京都八王子市宮 下町476	
	企業経営学科		4	80	3年次 3	326	学士 (企業経営学)	1.10	H18年度	東京都三鷹市下連 雀5丁目4番1号 東京都八王子市宮 下町476	
	外国語学部							1.06			令和4年度から 入学定員増(2名 増) 3年次編入学定 令和4年度から3 年次編入学定員 減(△1名)
	英語学科		4	130	3年次 4	528	学士 (文学)	1.02	H18年度	東京都三鷹市下連 雀5丁目4番1号	
	中国語学科		4	30	3年次 5	130	学士 (中国語コミュニ ケーション学)	1.22	H23年度	東京都三鷹市下連 雀5丁目4番1号	
	観光交流文化学科		4	90	3年次 3	366	学士 (観光交流文化学)	1.07	H22年度	東京都三鷹市下連 雀5丁目4番1号	
附属施設の概要		名 称：杏林大学医学部附属病院 目 的：診療、教育、研究 所 在 地：東京都三鷹市新川六丁目20番2号 設置年月：昭和45年8月 規 模 等：土地27,857.65㎡，建物117,651.16 ㎡，病床数1,153床									

- (注)
- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合，「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 2 「教員組織の概要」の「既設分」については，共同学科等に係る数を除いたものとする。
 - 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室等」，「専任教員研究室」，「図書・設備」，「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室等」，「専任教員研究室」，「図書・設備」，「図書館」，「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
 - 6 空欄には，「－」又は「該当なし」と記入すること。

教 育 課 程 等 の 概 要															
（保健学部健康福祉学科）															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文・社会学系	哲学	1前・後		2		○								兼2	
	心理学	1前		2		○								兼1	
	日本国憲	1前		2		○								兼1	
	社会学	1前・後		2		○								兼1	
	生命倫理	1後	2			○								兼4	オムニバス
	教育心理	1前		2		○								兼1	
	発達心理	1後		2		○								兼1	
	芸術	1前・後		2		○								兼1	
	保健・医療の現状と未来Ⅰ	1前		2		○								兼15	オムニバス
	保健・医療の現状と未来Ⅱ	1前		2		○			1			1		兼13	オムニバス
	社会と大学Ⅰ	1前		2		○								兼15	オムニバス
	社会と大学Ⅱ	1前		2		○								兼13	オムニバス
	社会と大学Ⅲ	1前		2		○								兼12	オムニバス
小計（13科目）		—	2	24	0	—			1	0	0	1	0	兼79	
自然科学系	基礎数学	1前		1		○								兼1	
	情報処理演習	2前		2			○							兼1	
	基礎物理	1前		1		○								兼1	
	基礎化学	1前		1		○								兼1	
	無機化学	1後		2		○								兼1	
	基礎生物	1前		1		○					1			兼1	
小計（6科目）		—	0	8	0	—			0	0	1	0	0	兼4	
言語系	英語Ⅰ	1前	2			○								兼1	
	英語Ⅱ	1後	2			○								兼1	
	英語Ⅲ	2前		2		○								兼1	
	医学英語	2前		2		○			1						
	英会話	2前・後		2		○								兼2	
小計（5科目）		—	4	6	0	—			1	0	0	0	0	兼4	
基礎医学系	医学概論	1後	2			○			1					兼6	
	医学基礎実習	1通	1					○			1			兼2	オムニバス
	公衆衛生学Ⅰ	1前	2			○			2	3	1			兼2	オムニバス
	公衆衛生学Ⅱ	1後		2		○			1	2	1	2		兼2	オムニバス
	解剖生理学	1前	2			○				1				兼3	オムニバス
	病理生理学	1後		2		○								兼1	
	生化学	1後	2			○								兼2	オムニバス
	免疫学	2後	2			○								兼3	オムニバス
	微生物学	2後	2			○								兼1	
	微生物学実験	2後	2			○								兼1	
	薬理学	3前		1				○						兼3	
	小児疾患の病態学	2前		2		○								兼1	
	内科疾患の病態学Ⅰ	2後	2			○				1				兼3	オムニバス
	内科疾患の病態学Ⅱ	2後	2			○				1					
	外科疾患の病態学	3前	2			○								兼5	オムニバス
	精神医学	1後		1		○					1				
	救命救急法	1前		1			○							兼1	
小計（18科目）		—	19	13	0	—			3	4	1	2	0	兼29	

保健学・福祉学系	健康福祉学	1通	4			○			1	3	2	1		兼2	オムニバス
	健康福祉学実習	2後	1					○	2	3	1	3		兼2	
	疫児保健学	3後		2		○			1	1				兼1	オムニバス
	小児保健学	2前	2			○								兼5	オムニバス
	精神保健学	2後	2			○								兼1	
	高齢保健学	2後		2		○				1					
	健康スポーツ科学	1後		2			○					1		兼1	オムニバス
	応用保健学	3前		2		○			1						
	社会福祉学	1後	2			○				1		2		兼1	オムニバス
	社会福祉政策論	4前		2		○								兼1	
	高齢者福祉論	2後		2		○				1					
	障害者福祉論	2後		2		○						1			
	児童福祉論	2前	2			○								兼2	オムニバス
	社会的扶助論	3前		4		○				1		2		兼1	オムニバス
社会福祉学系	公的福祉論	4後		2		○								兼1	
	地域福祉論	3前		4		○								兼1	
	ソーシャルワーク総論Ⅰ	1後	4			○						2			オムニバス
	ソーシャルワーク総論Ⅱ	2前	2			○						1			
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2前	1					○		1		2		兼1	
	社会調査概論	2前	1			○			1	1		2		兼1	オムニバス
	小計（20科目）	—	21	24	0	—			3	4	3	4	0	兼13	
	ソーシャルワーク論Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	ソーシャルワーク論Ⅱ	1前		2		○								兼1	
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2前		1		○								兼1	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2前		1			○			1		2		兼1	
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	2後		2			○			1		2		兼1	
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	3前		2			○			1		2		兼1	
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	3後		2			○			1		2		兼1	
	ソーシャルワーク演習Ⅵ	4前		2			○			1		2		兼1	
	ソーシャルワーク実習	3通		8				○		1		2		兼1	
精神保健福祉学系	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3通		4				○		1		2		兼1	
	医療福祉論	2前		2				○						兼1	
	社会福祉経営論	2後		1		○					1				
	権利擁護と成年後見論	3前		1		○						1			
	更生保護概論	3前		2		○				1					
	介護福祉論	4後		2		○				1					
	小計（15科目）	—	0	34	0	—			0	1	1	2	0	兼2	
	社会福祉調査の基礎	1後		2		○			1						
	精神疾患とその治療	1後		2		○					1				
	精神医療	2前		2		○					1				
	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2前		2		○			1						
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2後		2		○			1						
	精神保健福祉の原理Ⅰ	1後		2		○					1				
	精神保健福祉の原理Ⅱ	2前		2		○			1						
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（精神保健）	2後		2		○			1						
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ（精神保健）	3前		2		○			1						
	精神障害リハビリテーション論	3前		2		○					1				
	精神保健福祉制度論	1後		2		○					1				
	ソーシャルワーク演習Ⅰ（精神保健）	1後		1				○	1						
	ソーシャルワーク演習Ⅱ（精神保健）	2前		1				○	1						
	ソーシャルワーク演習Ⅲ（精神保健）	2後		2				○	1						
	ソーシャルワーク演習Ⅳ（精神保健）	3前		2				○	1						
	ソーシャルワーク演習Ⅴ（精神保健）	3後		2				○	1						
	ソーシャルワーク演習Ⅵ（精神保健）	4前		2				○	1						
	ソーシャルワーク実習指導（精神保健）	3通		4					1						
	ソーシャルワーク実習（精神保健）	3通		8					1						
	精神保健福祉特論	4後		2		○			1		1				
	小計（20科目）	—	0	46	0	—			2	0	1	0	0	兼0	

学校保健学系	学	校	保	健	学	I	2前		2		○				1	1			兼1	オムニバス
	学	校	保	健	学	II	3前		2		○					1			兼2	オムニバス
	学	校	看	護	学	I	3後		1		○			1		1		兼7	オムニバス	
	健	康	相	談	I	3前		2		○					1	1		兼3	オムニバス	
	健	康	相	談	II	3後		1		○			1		1		兼1	オムニバス		
	健	康	教	育	学	2後		2		○				1						
	保	健	栄	養	学	3前		2		○				1						
	養	護	学	概	論	2後		2		○					1			兼1	オムニバス	
	力	ウ	ン	セ	リ	ン	グ	3前		2		○						兼2	オムニバス	
	保	健	科	指	導	法	I	3前		2		○				1				
	保	健	科	指	導	法	II	3後		2		○				1				
	保	健	科	教	育	法	I	3前		2		○				1				
	保	健	科	教	育	法	II	3後		2		○				1				
	看		護		学	I	2前		2		○			1			1			オムニバス
看		護		学	II	2後		2		○			1			1			オムニバス	
看		護		学	III	3前		2		○			1			1			オムニバス	
看		護		学		3後		2				○	1			1				
救	急	看	護	学		3前		2		○			1							
小計（ 18科目）							—	2	32	0	—			2	3	2	1	0	兼11	
環境・食品学系	産	業	保	健	学	2前		2		○					1				兼1	オムニバス
	環	境	衛	生	工	学	3前		2		○								兼1	
	環	境	科		学	2後		2		○								兼1		
	放	射	線	概	論	3後		2		○								兼3	オムニバス	
	分	析	化		学	3後		2		○								兼1		
	分	析	化	学	実	験	3前		1		○							兼3		
	食	品	栄	養	学	2後		2		○				1						
	食	品	衛	生	学	3前		2		○				1				兼1	オムニバス	
	食	品	製	造	学	2前		2		○				1						
	職	業	適	性	論	2後		2		○				1	1			兼9	オムニバス	
	労	働	衛	生	法	規	I	3前		2		○						兼1	オムニバス	
労	働	衛	生	法	規	II	3前		2		○						兼1			
小計（ 12科目）							—	0	23	0	—			1	2	0	0	0	兼16	
総合	特	別	講	義	I	1後		2		○				1						
	特	別	講	義	II	2前		2		○				1		2			兼1	
	特	別	演	習	I	1・2・3前		1			○			1	2	1	2		兼2	
	特	別	演	習	II	1・2・3後		1			○			1	2	1	2		兼3	
	ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	活	動	1・2通		○			1		2				
	フ	ィ	ー	ル	ド	ス	タ	デ	ィ	I	4通		○	4	4	3	4		兼2	
	フ	ィ	ー	ル	ド	ス	タ	デ	ィ	II	4通		○	4	4	3	4		兼2	
小計（ 7科目）							—	3	9	0	—			4	4	3	4	0		
合計（ 134科目）							—	51	219	0	—			5	5	4	4	0	兼137	
学位又は称号			学士（保健衛生学）			学位又は学科の分野			保健衛生学関係											
卒業要件及び履修方法										授業期間等										
必修51単位、人文・社会学系の選択科目から8単位以上、自然科学系の選択科目から6単位以上、言語系の選択科目から2単位以上、保健学・衛生学系の選択科目から2単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：49単位（年間））										1 学年の学期区分					2 期					
										1 学期の授業期間					15 週					
										1 時限の授業時間					90 分					

教 育 課 程 等 の 概 要																
(総合政策学部総合政策学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
ベーシック科目	ベーシック政治	1前・後		2		○			1	1						
	ベーシック経済	1前・後		2		○				1						
	ベーシック法律	1前・後		2		○				1						
	ベーシック国際関係	1前・後		2		○			1							
	ベーシック福祉政策	1前・後		2		○					1					
	ベーシック経営	1前・後		2		○									兼1	
	ベーシック会計	1前・後		2		○									兼1	
	小計（ 7科目）	—	0	14	0	—			2	3	1	0	0	兼1		
地域と大学	地域と大学	1前	2				○		1						兼1	
	小計（ 1科目）	—	2	0	0	—			1	0	0	0	0	兼1		
コース別専門科目（政治）	コア科目	政治心理学	2前		2		○			1						
		政治コミュニケーション論	2後		2		○			1						
		現代日本政治A	2前		2		○				1					
		現代日本政治B	2後		2		○				1					
		現代行政学A	2前		2		○			1						
		現代行政学B	2後		2		○			1						
		立法過程論	2前		2		○				1					
		政策過程論	2後		2		○				1					
		ローカル・ガバメント論A	2前		2		○			1						
		ローカル・ガバメント論B	2後		2		○			1						
		政治史	2前		2		○								兼1	
		法制史	2後		2		○								兼1	
	応用科目	比較政治学	2前		2		○			1						
		外交政策論A	2前		2		○				1					
		外交政策論B	2後		2		○			1						
		国際政治経済学	2後		2		○				1					
		国際政治学A	2前		2		○			1						
		国際政治学B	2後		2		○			1						
		アメリカ政治論	2前		2		○				1					
		アジア政治論	2後		2		○			1						
		ヨーロッパ政治論	2後		2		○				1					
		国際政治史	2前		2		○			1						
		憲法Ⅰ（統治機構）	2前		2		○					1				
		憲法Ⅱ（人権）	2後		2		○					1				
		行政法Ⅰ	2前		2		○					1				
		行政法Ⅱ	2後		2		○					1				
		地方自治と法	2後		2		○			1						
小計（ 27科目）		—	0	54	0	—			5	3	1	0	0	兼1		

コース別専門科目（経済）	専門科目	コア科目	マクロ経済学	2前		2		○			1						兼1		
			ミクロ経済学	2後		2		○									兼1		
			国際経済学A（貿易）	2前		2		○											
			国際経済学B（金融）	2前		2		○			1								
			国際政治経済学	2後		2		○				1							
			開発経済学	2前		2		○									兼1		
			公共経済学	2前		2		○			1								
			経済政策論	2後		2		○									兼1		
			金融論	2前		2		○									兼1		
			財政論	2前		2		○									兼1		
			日本経済論	2後		2		○									兼1		
			経済統計学	2後		2		○									兼1		
			応用科目	行動経済学	2前		2		○										兼1
				環境経済学	2前		2		○			1							
				医療経済学	2前		2		○			1							
				人口学	2後		2		○									兼1	
				アメリカ経済学	2前		2		○						1				
				ヨーロッパ経済論	2後		2		○			1							
				アジア経済論	2前		2		○									兼1	
	中東・アフリカの政治・経済	2前			2		○									兼1			
	社会福祉政策論	2後			2		○			1									
	日本の貿易政策	2後			2		○									兼1			
	法と経済	2前		2		○									兼1				
	経済学説史	2後		2		○			1										
	ゲーム理論	2後		2		○			1										
	小計（ 25科目）			—	0	50	0	—			4	1	0	1	0	兼8			
コース別専門科目（法律）	専門科目	コア科目	法情報調査	2後		2		○					1						
			法学の現代的課題	2後		2		○									兼1		
			会社法Ⅰ（ガバナンス）	2前		2		○									兼1		
			会社法Ⅱ（ファイナンス）	2後		2		○									兼1		
			民法総論	2前		2		○				1							
			物権法	2前		2		○				1							
			契約法	2後		2		○									兼1		
			家族法	2後		2		○				1							
			憲法Ⅰ（統治機構）	2前		2		○					1						
			憲法Ⅱ（人権）	2後		2		○					1						
			刑法Ⅰ（総論）	2前		2		○			1								
			刑法Ⅱ（各論）	2後		2		○			1								
	応用科目	行政法Ⅰ	2前		2		○						1						
		行政法Ⅱ	2後		2		○						1						
		民事訴訟法	2前		2		○										兼1		
		刑事訴訟法	2前		2		○			1									
		租税法Ⅰ	2前		2		○										兼1		
		租税法Ⅱ	2後		2		○										兼1		
		企業法総論	2前		2		○										兼1		
		企業取引法	2後		2		○										兼1		
		国際法Ⅰ	2前		2		○			1									
		国際法Ⅱ	2後		2		○			1									
		環境法	2前		2		○										兼1		
		労働法	2前		2		○										兼1		
		社会保障法	2前		2		○										兼1		
		医事法	2後		2		○			1									
		法と経済	2前		2		○										兼1		
		法制史	2後		2		○										兼1		
		比較法文化論	2後		2		○										兼1		
		メディア・コンテンツと法	2前		2		○					1							
		地方自治と法	2後		2		○			1									
		倒産処理と法	2後		2		○										兼1		
		不動産取引と法Ⅰ	2前		2		○				1								
		不動産取引と法Ⅱ	2後		2		○				1								
小計（ 34科目）			—	0	68	0	—			3	2	2	0	0	兼8				

コース別専門科目（国際関係）	専門科目	コア科目	国際政治学A	2前		2		○			1							
			国際政治学B	2後		2		○			1							
			国際政治経済学	2後		2		○				1						
			比較政治学	2前		2		○			1							
			マクロ経済学	2前		2		○			1							
			外交政策論A	2後		2		○				1						
			外交政策論B	2前		2		○			1							
			国際機構論	2後		2		○			1							
			政策過程論	2後		2		○				1						
			国際政治史	2前		2		○			1							
			国際法Ⅰ	2前		2		○			1							
			国際法Ⅱ	2後		2		○			1							
			応用科目	開発経済学	2前		2		○				1					兼1
				現代行政学A	2前		2		○				1					
	政治心理学	2前			2		○				1							
	アジア経済論	2前			2		○									兼1		
	アジア政治論	2前			2		○				1							
	アメリカ経済論	2前			2		○					1						
	アメリカ政治論	2前			2		○					1						
	国際関係論演習	2後			2		○				1							
	国際協力論	2前			2		○				1							
	国際経営論	2前			2		○									兼1		
	国際経済学A（貿易）	2前			2		○									兼1		
	政治コミュニケーション論	2後			2		○				1							
	中東・アフリカの政治・経済	2前			2		○									兼1		
	ヨーロッパ経済論	2後			2		○				1							
	ヨーロッパ政治論	2後			2		○					1						
	経済統計	2後			2		○									兼1		
	小計（ 28科目）			—	0	56	0	—			7	1	1	0	0	兼6		
	コース別専門科目（福祉政策）	専門科目	コア科目	社会福祉学	2後		2		○			1						
健康社会学				2後		2		○				1						
健康科学				2前		2		○									兼1	
人口学				2後		2		○									兼1	
児童福祉論				2後		2		○									兼1	
障害者福祉論				2前		2		○									兼1	
老人福祉論				2後		2		○									兼1	
社会福祉政策論				2前		2		○				1						
社会保障論Ⅰ				2前		2		○					1					
社会保障論Ⅱ				2後		2		○					1					
環境保全論Ⅰ				2前		2		○				1						
環境保全論Ⅱ				2後		2		○				1						
応用科目		医療経済学	2前		2		○				1							
		環境経済学	2前		2		○				1							
		公共経済学	2前		2		○				1							
		介護政策論	2後		2		○				1							
		社会福祉援助技術総論Ⅰ	2後		2		○									兼1		
		社会福祉援助技術総論Ⅱ	2後		2		○									兼1		
		カウンセリング論	2後		2		○									兼1		
		環境政策論	2前		2		○									兼1		
		ローカル・ガバメント論A	2前		2		○				1							
		ローカル・ガバメント論B	2後		2		○				1							
		日本経済論	2後		2		○									兼1		
		経済政策論	2後		2		○									兼1		
		財政論	2前		2		○									兼1		
		民法総論	2前		2		○					1						
		ヒューマンエコロジー	2前		2		○									兼1		
		現代日本政治A	2前		2		○					1						
		現代日本政治B	2後		2		○					1						
		政策過程論	2後		2		○					1						
	憲法Ⅰ（統治機構）	2前		2		○						1						
	憲法Ⅱ（人権）	2後		2		○						1						
家族法	2前		2		○					1								
租税法Ⅰ	2前		2		○									兼1				
労働法	2前		2		○									兼1				
医事法	2後		2		○				1									
環境法	2前		2		○									兼1				
小計（ 37科目）			—	0	74	0	—			5	2	1	0	0	兼11			

演習	専門演習科目	演習Ⅰ	2前		2			○		11	5	4			兼9	
		演習Ⅱ	2後		2			○		11	5	4			兼9	
		演習Ⅲ	3前		2			○		11	4	3			兼10	
		演習Ⅳ	3後		2			○		11	4	3			兼10	
		演習Ⅴ	4前		2			○		11	5	1			兼11	
		演習Ⅵ	4後		2			○		11	5	1			兼11	
		卒業研究Ⅰ	4前		2			○		11	5	1			兼11	
		卒業研究Ⅱ	4後		2			○		11	5	1			兼11	
	学際演習	学際演習Ⅰ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
		学際演習Ⅱ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
		学際演習Ⅲ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
		学際演習Ⅳ	2前・後		2			○		7	1	1			兼4	
		学際演習Ⅴ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
		学際演習Ⅵ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
		学際演習Ⅶ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
		学際演習Ⅷ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
	特別演習	特別演習Ⅰ	1前		2			○							兼1	
		特別演習Ⅱ	1前		2			○							兼1	
		特別演習Ⅲ	1前		2			○							兼1	
		特別演習Ⅳ	1前		2			○							兼1	
	プロジェクト演習	プロジェクト演習Ⅰ	1前		2			○							兼1	
		プロジェクト演習Ⅱ	1前		2			○							兼1	
		プロジェクト演習Ⅲ	1前		2			○							兼1	
		プロジェクト演習Ⅳ	1前		2			○							兼1	
	小計（24科目）		—	0	48	0		—		11	5	4	0	0	兼11	
演習	演習	演習Ⅰ	1前	2				○		1					兼1	
		演習Ⅱ	1後	2				○		1					兼1	
		小計（2科目）	—	4	0	0		—		1	0	0	0	0	兼1	
一般教養科目	一般教養科目	生活と法	1前・後		2			○		1		1				
		日本国憲法	1前・後		2			○				2				
		基礎簿記Ⅰ	1前		2			○							兼3	
		基礎簿記Ⅱ	1後		2			○							兼3	
		人文地理学	1前		2			○							兼1	
		自然地理学	1後		2			○							兼1	
		社会学	1前		2			○							兼1	
		統計学	1前		2			○		1						
		宗教学	1前・後		2			○							兼1	
		哲学	1前・後		2			○							兼1	
		倫理学	1前・後		2			○							兼1	
		心理学	1前・後		2			○							兼2	
		歴史学	1前・後		2			○							兼1	
		文学	1前・後		2			○							兼1	
		音楽	1前・後		2			○							兼1	
		ダイバーシティ入門	1後		2			○							兼1	
		人文科学概論	1前		2			○							兼1	
		自然科学概論	1前		2			○							兼1	
	小計（18科目）		—	0	36	0		—		2	0	2	0	0	兼13	
外国語科目	必修外国語	英語Ⅰ	1前	2				○							兼2	
		英語Ⅱ	1前	2				○				1			兼4	
		英語Ⅲ	1後	2				○							兼2	
		英語Ⅳ	1後	2				○				1			兼3	
	選択外国語	発展英語Ⅰ	2前		2			○							兼2	
		発展英語Ⅱ	2後		2			○							兼2	
		中国語A	2前		2			○							兼1	
		中国語B	2後		2			○							兼1	
		韓国語A	2前		2			○							兼1	
		韓国語B	2後		2			○							兼1	
		フランス語A	2前		2			○							兼1	
		フランス語B	2後		2			○							兼1	
		ドイツ語A	2前		2			○							兼1	
		ドイツ語B	2後		2			○							兼1	
		スペイン語A	2前		2			○							兼1	
		スペイン語B	2後		2			○							兼1	
	小計（16科目）		—	8	24	0		—		0	0	1	0	0	兼10	

キャリア 関連科目	基礎 教養 分野	時事問題研究A	1前・後	2			○			1							
		時事問題研究B	1前・後	2			○			1							
		ライティング演習Ⅰ	2前	2			○							兼3			
		ライティング演習Ⅱ	2後	2			○							兼3			
		計算力演習Ⅰ	2前	2			○							兼2			
		計算力演習Ⅱ	2後	2			○							兼2			
		情報処理演習A	2前		2		○							兼1			
		情報処理演習B	2後		2		○							兼1			
	ライフ デザ イン 分野	ライフ・プランニングⅠ	1前	2				○			1						
		ライフ・プランニングⅡ	1後	2				○			1						
キャリア開発論Ⅰ		2前	2				○						兼2				
キャリア開発論Ⅱ		2後	2				○						兼2				
キャリア開発演習Ⅰ		3前	2				○			1							
キャリア開発演習Ⅱ		3後	2				○			1							
インターンシップⅠ		2前		2				○		1							
インターンシップⅡ		2後		2				○		1							
小計（ 16科目）			—	24	8		—			0	3	0	0	0	兼7		
グ ロ ー バ ル キ ャ リ ア ・ プ ロ グ ラ ム	英 語 科 目	Oral Communication 1	1前		2			○							兼1		
		Oral Communication 2	1後		2			○							兼1		
		Academic Writing 1	1前		2			○				1					
		Academic Writing 2	1後		2			○				1					
		Academic Writing 3	2前		2			○				1					
		Recent Topics in English	2前		2			○							兼1		
		Business Communication 1	2後		2			○							兼1		
		Business Communication 2	3前		2			○							兼1		
	関 連 科 目	Critical Thinking	1後		2			○		1							
		Global Career Development	1後		2			○							兼1		
		Communication for Business	2前		2			○		1							
		Japan Studies	2前		2			○							兼1		
		Public Speaking	2前		2			○							兼1		
	グ ロ ー バ ル 専 門 科 目	Introductory Progressive	Introduction to Business	2後		2			○							兼1	
			Introduction to Economics	2後		2			○							兼1	
			Introduction to Global Health Issues	2後		2			○		1						
			introduction to International Relations	2後		2			○			1					
			Monetary Policy and Financial System	2後		2			○							兼1	
			Fiscal Policy and Tax System in Japan	2後		2			○							兼1	
			Culture and Business	2後		2			○		1						
			Global Health and Social Justice	2後		2			○		1						
			Marketing	2後		2			○							兼1	
			History of Innovation and Science	2後		2			○							兼1	
			Interdisciplinary Seminar 1	2前		2			○		1		1			兼1	
			Interdisciplinary Seminar 2	2後		2			○		1		1			兼1	
小計（ 25科目）			—	0	50	0	—			3	1	1	0	0	兼11		
教 職 科 目		日本史Ⅰ	1前			2	○				1						
		日本史Ⅱ	1後			2	○				1						
		外国史Ⅰ	1前			2	○								兼1		
		外国史Ⅱ	1後			2	○								兼1		
		地誌学Ⅰ	1前			2	○								兼1		
		地誌学Ⅱ	1後			2	○								兼1		
		体育理論	1前			1	○								兼1		
		体育実技	1前			1			○						兼1		
		小計（ 8科目）			—	0	0	14	—			0	1	0	0	0	兼3
合計（ 267科目）			—	38	482	14	—			11	5	4	0	0	兼54		
学位又は称号		学士（総合政策学）			学位又は学科の分野				法学、経済学、社会学・社会福祉学関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等									
必修科目38単位以外にベーシック科目から10単位以上、自コースの自コースからコア科目16単位を含む20単位以上、自学科及び他学科の専門科目36単位以上、学際演習から4単位以上、一般教養科目から10単位以上、外国語科目の選択科目から4単位以上、その他に選択科目から2単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：48単位（年間））								1 学年の学期区分				2 期					
								1 学期の授業期間				15 週					
								1 時限の授業時間				90 分					

教 育 課 程 等 の 概 要															
（総合政策学部企業経営学科）															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
ベー シ ック 科 目	ベーシック政治	1前・後		2		○								兼2	
	ベーシック経済	1前・後		2		○								兼1	
	ベーシック法律	1前・後		2		○								兼1	
	ベーシック国際関係	1前・後		2		○								兼1	
	ベーシック福祉政策	1前・後		2		○								兼1	
	ベーシック経営	1前・後		2		○				1					
	ベーシック会計	1前・後		2		○			1						
	小計（7科目）	—	0	14	0	—			1	1	0	0	0	兼6	
地 域 と 大 学	地域と大学	1前	2				○		1					兼1	
	小計（1科目）	—	2	0	0	—			1	0	0	0	0	兼1	
コ ー ス 別 専 門 科 目 （ 経 営 ）	専 門 科 目	コ ア 科 目	経営学総論Ⅰ	2前	2	○								兼1	
			経営学総論Ⅱ	2後	2	○				1					
			経営管理論	2前	2	○			1						
			経営組織論	2前	2	○								兼1	
			現代企業論	2後	2	○			1						
			経営戦略論	2前	2	○				1					
			マーケティング総論	2前	2	○					1				
			流通論	2前	2	○					1				
			経営史	2後	2	○								兼1	
			ミクロ経済学	2後	2	○								兼1	
			財務会計論	2前	2	○			1						
			管理会計論	2後	2	○				1					
	応 用 科 目		国際経営論	2前	2	○								兼1	
			ベンチャー企業論	2前	2	○								兼1	
			イノベーション論	2後	2	○								兼1	
			経営情報論	2後	2	○								兼1	
			財務管理論	2後	2	○								兼1	
			人的資源管理	2前	2	○								兼1	
			現代ビジネス演習	2後	2	○								兼1	
			経営特殊講義	2後	2	○								兼1	
			出店戦略	2後	2	○								兼1	
			販売戦略	2後	2	○								兼1	
			原価計算	2後	2	○								兼1	
			会社法Ⅰ（ガバナンス）	2前	2	○								兼1	
			企業取引法	2後	2	○								兼1	
			不動産取引と法Ⅰ	2前	2	○								兼1	
			不動産取引と法Ⅱ	2後	2	○								兼1	
			労働法	2前	2	○								兼1	
			憲法Ⅰ（統治機構）	2前	2	○								兼1	
			憲法Ⅱ（人権）	2後	2	○								兼1	
			租税法Ⅰ	2前	2	○			1						
			法と経済	2前	2	○			1						
			国際経済学A（貿易）	2前	2	○								兼1	
			国際経済学B（金融）	2前	2	○								兼1	
			行動経済学	2前	2	○				1					
			ゲーム理論	2後	2	○								兼1	
			経済政策論	2後	2	○			1						
			日本の貿易政策	2後	2	○								兼1	
			社会福祉学	2後	2	○								兼1	
			社会福祉政策論	2前	2	○								兼1	
			国際政治学A	2前	2	○								兼1	
			国際政治学B	2後	2	○								兼1	
			現代日本政治A	2後	2	○								兼1	
			現代日本政治B	2前	2	○								兼1	
	小計（27科目）		—	0	54	0	—			5	2	1	0	0	兼17

コース別専門科目（会計）	専門科目	コア科目	財務会計論	2前		2		○			1						
			国際会計論	2後		2		○			1						
			監査論	2前		2		○				1					
			管理会計論	2後		2		○				1					
			商業簿記Ⅰ	2前		2		○								兼1	
			商業簿記Ⅱ	2後		2		○								兼1	
			工業簿記	2前		2		○								兼1	
			原価計算	2後		2		○								兼1	
			会社法Ⅰ（ガバナンス）	2前		2		○			1						
			会社法Ⅱ（ファイナンス）	2後		2		○			1						
			租税法Ⅰ	2後		2		○			1						
			租税法Ⅱ	2後		2		○			1						
	応用科目	会計史	2後		2		○				1						
		税務会計論	2後		2		○			1							
		基礎簿記演習	2前		2		○									兼1	
		財務諸表作成演習	2後		2		○									兼1	
		会計特殊講義	2後		2		○									兼1	
		企業法総論	2前		2					1							
		企業取引法	2後		2					1							
		経営学総論Ⅰ	2前		2											兼1	
		経営学総論Ⅱ	2後		2						1						
		経営管理論	2前		2					1							
		経営組織論	2前		2											兼1	
		現代企業論	2後		2					1							
		経営戦略論	2前		2						1						
		マーケティング総論	2前		2							1					
		流通論	2前		2							1					
		財務管理論	2後		2					1							
		出店戦略	2後		2								1				
		販売戦略	2後		2								1				
		民法総論	2前		2												兼1
		契約法	2後		2												兼1
		物権法	2前		2												兼1
		家族法	2後		2												兼1
		法学の現代的課題	2後		2												兼1
		国際法Ⅰ	2前		2												兼1
		国際法Ⅱ	2後		2												兼1
		労働法	2前		2												兼1
		社会保障法	2前		2												兼1
		社会保障論Ⅰ	2前		2												兼1
		社会保障論Ⅱ	2後		2												兼1
		マクロ経済学	2前		2												兼1
		ミクロ経済学	2後		2												兼1
		金融論	2前		2						1						
		財政論	2前		2						1						
		環境経済学	2前		2												兼1
		環境政策論	2前		2												兼1
小計（ 25科目）			—	0	50	0	—			6	2	1	0	0	兼14		

演習	専門演習科目	演習Ⅰ	2前		2			○		5	3	1			兼20	
		演習Ⅱ	2後		2			○		5	3	1			兼20	
		演習Ⅲ	3前		2			○		6	3	1			兼18	
		演習Ⅳ	3後		2			○		6	3	1			兼18	
		演習Ⅴ	4前		2			○		6	3	1			兼18	
		演習Ⅵ	4後		2			○		6	3	1			兼18	
		卒業研究Ⅰ	4前		2			○		6	3	1			兼18	
		卒業研究Ⅱ	4後		2			○		6	3	1			兼18	
	学際演習	学際演習Ⅰ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
		学際演習Ⅱ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
		学際演習Ⅲ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
		学際演習Ⅳ	2前・後		2			○		2	1	1			兼9	
		学際演習Ⅴ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
		学際演習Ⅵ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
		学際演習Ⅶ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
		学際演習Ⅷ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
	特別演習	特別演習Ⅰ	1前		2			○		1						
		特別演習Ⅱ	1前		2			○		1						
		特別演習Ⅲ	1前		2			○		1						
		特別演習Ⅳ	1前		2			○		1						
	プロジェクト演習	プロジェクト演習Ⅰ	1前		2			○		1						
		プロジェクト演習Ⅱ	1前		2			○		1						
		プロジェクト演習Ⅲ	1前		2			○		1						
		プロジェクト演習Ⅳ	1前		2			○		1						
	小計（ 24科目）		—	0	48	0		—		6	3	1	0	0	兼21	
	プレゼミナール	プレゼミナールA	1前	2				○		1					兼1	
		プレゼミナールB	1後	2				○		1					兼1	
		小計（ 2科目）	—	4	0	0		—		1	0	0	0	0	兼1	
一般教養科目		生活と法	1前		2			○							兼2	
		日本国憲法	1前		2			○							兼2	
		基礎簿記Ⅰ	1前		2			○		1	1				兼1	
		基礎簿記Ⅱ	1前		2			○		1	1				兼1	
		人文地理学	1前		2			○							兼1	
		自然地理学	1前		2			○							兼1	
		社会学	1前		2			○			1					
		統計学	1前		2			○		1						
		宗教学	1前・後		2			○							兼1	
		哲学	1前・後		2			○							兼1	
		倫理学	1前・後		2			○							兼1	
		心理学	1前・後		2			○							兼2	
		歴史学	1前・後		2			○							兼1	
		文学	1前・後		2			○							兼1	
		音楽	1前・後		2			○							兼1	
		人文科学概論	1前		2			○							兼1	
		自然科学概論	1前		2			○							兼1	
	小計（ 18科目）		—	0	36	0		—		2	2	0	0	0	兼12	
外国語科目	必修外国語	英語Ⅰ	1前	2				○				1			兼1	
		英語Ⅱ	1前	2				○							兼5	
		英語Ⅲ	1後	2				○				1			兼1	
		英語Ⅳ	1後	2				○							兼4	
	選択外国語	発展英語Ⅰ	2前		2			○							兼2	
		発展英語Ⅱ	2後		2			○							兼2	
		中国語A	2前		2			○							兼1	
		中国語B	2後		2			○							兼1	
		韓国語A	2前		2			○							兼1	
		韓国語B	2後		2			○							兼1	
		フランス語A	2前		2			○							兼1	
		フランス語B	2後		2			○							兼1	
		ドイツ語A	2前		2			○							兼1	
		ドイツ語B	2後		2			○							兼1	
		スペイン語A	2前		2			○							兼1	
		スペイン語B	2後		2			○							兼1	
	小計（ 16科目）		—	8	24	0		—		0	0	1	0	0	兼11	

キャリア 関連科目	基礎 教養 分野	時事問題研究A	1前・後	2				○								兼1	
		時事問題研究B	1前・後	2				○								兼1	
		ライティング演習Ⅰ	2前	2				○								兼3	
		ライティング演習Ⅱ	2後	2				○								兼3	
		計算力演習Ⅰ	2前	2				○								兼2	
		計算力演習Ⅱ	2後	2				○								兼2	
		情報処理演習A	2前		2			○								兼1	
		情報処理演習B	2後		2			○								兼1	
	ライフ デザイン 分野	ライフ・プランニングⅠ	1前	2				○								兼1	
		ライフ・プランニングⅡ	1後	2				○								兼1	
キャリア開発論Ⅰ		2前	2				○			1					兼1		
キャリア開発論Ⅱ		2後	2				○			1					兼1		
キャリア開発演習Ⅰ		3前	2				○								兼1		
キャリア開発演習Ⅱ		3後	2				○								兼1		
インターンシップⅠ		2前		2				○							兼1		
インターンシップⅡ		2後		2				○							兼1		
小計（ 16科目）			—	24	8	0	—			0	1	0	0	0	兼8		
グ ロー バル キャリア ・ プログラ ム	英語 科目	Oral Communication 1	1前		2			○				1					
		Oral Communication 2	1後		2			○				1					
		Academic Writing 1	1前		2			○								兼1	
		Academic Writing 2	1後		2			○								兼1	
		Academic Writing 3	2前		2			○								兼1	
		Recent Topics in English	2前		2			○								兼1	
		Business Communication 1	2後		2			○								兼1	
		Business Communication 2	3前		2			○								兼1	
	関連 科目	Critical Thinking	1後		2			○								兼1	
		Global Career Development	1後		2			○			1						
		Communication for Business	2前		2			○								兼1	
		Japan Studies	2前		2			○								兼1	
		Public Speaking	2前		2			○				1					
	グ ロー バル 専門 科目	Introductory Progressive	Introduction to Business	2後		2			○			1					
			Introduction to Economics	2後		2			○								兼1
			Introduction to Global Health Issues	2後		2			○								兼1
			introduction to International Relations	2後		2			○								兼1
			Monetary Policy and Financial System	2後		2			○			1					
			Fiscal Policy and Tax System in Japan	2後		2			○			1					
			Culture and Business	2後		2			○								兼1
			Global Health and Social Justice	2後		2			○								兼1
			Marketing	2後		2			○				1				
			History of Innovation and Science	2後		2			○								兼1
			Interdisciplinary Seminar 1	2前		2			○				1				兼2
			Interdisciplinary Seminar 2	2後		2			○				1				兼2
小計（ 25科目）			—	0	50	0	—			2	2	2	0	0	兼10		
教 職 科 目		日本史Ⅰ	1前			2	○									兼1	
		日本史Ⅱ	1後			2	○									兼1	
		外国史Ⅰ	1前			2	○									兼1	
		外国史Ⅱ	1後			2	○									兼1	
		地誌学Ⅰ	1前			2	○									兼1	
		地誌学Ⅱ	1後			2	○									兼1	
		体育理論	1前			1	○									兼1	
		体育実技	1前			1			○							兼1	
		小計（ 8科目）			—	0	0	14	—			0	0	0	0	0	兼4
合計（ 267科目）			—	38	284	14	—			7	3	2	0	0	兼58		
学位又は称号		学士（総合政策学）		学位又は学科の分野				経済学									
卒業要件及び履修方法								授業期間等									
必修科目38単位以外にベーシック科目から10単位以上、自コースの自コースからコア科目16単位を含む20単位以上、自学科及び他学科の専門科目36単位以上、学際演習から4単位以上、一般教養科目から10単位以上、外国語科目の選択科目から4単位以上、その他に選択科目から2単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：48単位（年間））								1 学年の学期区分				2 期					
								1 学期の授業期間				15 週					
								1 時限の授業時間				90 分					

教 育 課 程 等 の 概 要														
（外国語学部観光交流文化学科）														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目 A	英語Ⅰ	1前	2			○								兼3
	英語Ⅱ	1後	2			○								兼3
	英語Ⅲ	1前	2			○								兼4
	英語Ⅳ	1後	2			○								兼4
	実用英語演習Ⅰ	1前		2		○								兼1
	実用英語演習Ⅱ	1後		2		○								兼1
	中国語Ⅰ	1前		2		○								兼1
	中国語Ⅱ	1後		2		○								兼1
	韓国語Ⅰ	1前		2		○								兼1
	韓国語Ⅱ	1後		2		○								兼1
	ドイツ語Ⅰ	1前		2		○								兼1
	ドイツ語Ⅱ	1後		2		○								兼1
	フランス語Ⅰ	1前		2		○								兼1
	フランス語Ⅱ	1後		2		○								兼1
	スペイン語Ⅰ	1前		2		○								兼1
	スペイン語Ⅱ	1後		2		○								兼1
	日本語Ⅰ	1前		2		○								兼1
	日本語Ⅱ	1後		2		○								兼1
	日本語Ⅲ	1前		2		○								兼1
	日本語Ⅳ	1後		2		○								兼1
	日本語Ⅴ	1前		2		○								兼1
	日本語Ⅵ	1後		2		○								兼1
小計（22科目）		—	8	36	0	—			0	0	0	0	0	兼17
外国語科目 B	英語Ⅴ	2前	2			○								兼4
	英語Ⅵ	2後	2			○								兼4
	英語Ⅶ	2前	2			○								兼4
	英語Ⅷ	2後	2			○								兼4
	英語特別演習Ⅰ	2前		2		○								兼1
	英語特別演習Ⅱ	2後		2		○								兼1
	中国語Ⅲ	2前		2		○								兼1
	中国語Ⅳ	2後		2		○								兼1
	中国語特別演習Ⅰ	2前		2		○								兼1
	中国語特別演習Ⅱ	2後		2		○								兼1
	中国語特別演習Ⅲ	2前		2		○								兼1
	中国語特別演習Ⅳ	2後		2		○								兼1
	韓国語Ⅲ	2前		2		○								兼1
	韓国語Ⅳ	2後		2		○								兼1
	実用韓国語	3前		2		○								兼1
	ドイツ語Ⅲ	2前		2		○								兼1
	ドイツ語Ⅳ	2後		2		○								兼1
	フランス語Ⅲ	2前		2		○								兼1
	フランス語Ⅳ	2後		2		○								兼1
	スペイン語Ⅲ	2前		2		○								兼1
	スペイン語Ⅳ	2後		2		○								兼1
小計（43科目）		—	8	34	0	—			0	0	0	0	0	兼16

基 盤 教 育 科 目	大学入門	1前	2			○			1	2	1				
	アカデミックライティング	1後	2			○								兼4	
	コミュニケーション概論	1後		2		○								兼1	
	テーマで学ぶ現代社会Ⅰ	1後		2		○			1					兼2	オムニバス
	テーマで学ぶ現代社会Ⅱ	1後		2		○					1			兼2	オムニバス
	テーマで学ぶ現代社会Ⅲ	1前		2		○			1					兼2	オムニバス
	サービスマーケティングⅠ	2前		2		○			1						
	サービスマーケティングⅡ	2後		2		○			1						
	データサイエンス	1後	2			○								兼4	
	データリテラシー	1前	2			○								兼3	
	統計学	2前・後		2		○								兼1	
	情報処理	1前・後		2		○								兼1	
	異文化コミュニケーション	1前		2		○			1						
	地域圏研究Ⅰ	1後		2		○			1						
	地域圏研究Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	地域圏研究Ⅲ	1前		2		○								兼1	
	ダイバーシティ論	1後		2		○								兼1	
	フィールドスタディⅠ	1前・後		2		○			1						
	フィールドスタディⅡ	1前・後		2		○				2					
	フィールドスタディⅢ	1後		2		○			1						
	フィールドスタディⅣ	1後		2		○			1						
	キャリアディベロップメントⅠ	1後	2			○			1	2	1				
	キャリアディベロップメントⅡ	2前	2			○			2	1	1				
	キャリアデザインⅢ	3前	2			○			1					兼2	
	キャリアデザインⅣ	3後	2			○			1					兼2	
	インターンシップⅠ	2前・後		2		○			1	1	1				
	日本語学概論	1前		2		○								兼1	
	日本語学特論Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	日本語学特論Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	日本語学特論Ⅲ	1前		2		○								兼1	
	日本語教育学概論	1後		2		○								兼1	
	日本語教育実習Ⅰ	2前		2		○								兼1	
	日本語教育実習Ⅱ	2後		2		○								兼1	
	日本語教育実習Ⅲ	2前		2		○								兼1	
	日本語教育学特論Ⅰ	2前		2		○								兼1	
	日本語教育学特論Ⅱ	2後		2		○								兼1	
	日本語教育学特論Ⅲ	2前		2		○								兼1	
	日本文化演習	1前		2		○								兼1	
	海外語学実習Ⅰ	1前		1		○			1						
	海外語学実習Ⅱ	1後		1		○			1						
	海外語学実習Ⅲ	1前		1		○			1						
	海外語学実習Ⅳ	1後		1		○			1						
	国内語学実習Ⅰ	1前		1		○			1						
	国内語学実習Ⅱ	1後		1		○			1						
小計（87科目）			16	66	0	—			7	4	1	0	0	兼23	

教養科目	文学	1前・後		2		○								兼1	
	社会学	1前・後		2		○								兼1	
	地理学	1前		2		○								兼1	
	経営学	1前		2		○								兼1	
	哲学	1前・後		2		○								兼1	
	倫理学	1前・後		2		○								兼1	
	心理学	1前・後		2		○								兼2	
	ホスピタリティ・コミュニケーション	1前・後		2		○								兼2	
	歴史学	1前・後		2		○								兼1	
	日本国憲法	1前・後		2		○								兼2	
	健康と体育	1後		2		○								兼1	
	社会と大学Ⅰ	1前		2		○								兼15	オムニバス
	社会と大学Ⅱ	1前		2		○								兼13	オムニバス
	社会と大学Ⅲ	1前		2		○			4	2				兼6	オムニバス
	保健・医療の現状と未来Ⅰ	1前		2		○								兼15	オムニバス
	保健・医療の現状と未来Ⅱ	1前		2		○								兼15	オムニバス
	小計（16科目）	一	0	32	0	一			4	2	0	0	0	兼71	
専門科目	ホスピタリティ入門	1前	2			○			1						
	観光学入門	1後	2			○			1						
	現代社会と観光ホスピタリティ	1後	2			○					1				
	観光基礎演習	2前・後	2			○			1	3					
	観光調査法	2後	2			○			1	2					
	交流文化論	2後		2		○			1						
	観光心理学	2前		2		○								兼1	
	観光地理学	2後		2		○			1						
	観光政策論	2後		2		○								兼1	
	観光マーケティング論	2前		2		○								兼1	
	人的資源管理論	2前		2		○			1						
	ファシリテーション実習	2後		2		○								兼1	
	ホスピタリティ財務会計論	2後		2		○				1					
	観光リスクマネジメント論	2後		2		○			1						
	観光メディア論	2前		2		○				1					
	観光資源論Ⅰ	2前		2		○								兼1	
	観光資源論Ⅱ	2後		2		○			1						
	観光コンテンツデザイン実習	3後		2		○								兼1	
	Tourism EnglishⅠ	3前		2		○								兼1	
	Tourism EnglishⅡ	3後		2		○								兼1	
	観光実用英語インテンシブⅠ	3前		2		○								兼1	
	観光実用英語インテンシブⅡ	3後		2		○								兼1	
	健康科学の基礎	1後		2		○								兼1	
	ウェルネスツーリズム論	2前		2		○			1						
	温泉観光学	2前		2		○			1						
	観光衛生論	2前		2		○								兼1	
	福祉観光論	2前		2		○				1					
	観光手話Ⅰ	2前		2		○								兼1	
	観光手話Ⅱ	2後		2		○								兼1	
	ウェルネスツーリズム実習	3後		2		○								兼1	
	温泉療養学	3後		2		○								兼1	

専門科目	旅行医学概論	3後		2		○									兼1	
	疾病地域論	3後		2		○									兼1	
	観光交通論	2後		2		○									兼1	
	航空産業論	2前		2		○		1								
	航空サービス論	2後		2		○		1								
	ホテルオペレーション	2前		2		○									兼1	
	宿泊産業論	2後		2		○			1							
	フードビジネス論	2前		2		○			1							
	旅行産業論	2前		2		○			1							
	ホスピタリティ・ビジネスインターンシップ	2前		2		○		1	1							
	ホスピタリティ・ビジネス演習	3前		2		○			1							
	ホスピタリティ・ビジネス特論Ⅰ	3前		2		○					1					
	ホスピタリティ・ビジネス特論Ⅱ	3後		2		○					1					
	観光まちづくり論	2前		2		○		1								
	国際協力と観光	2後		2		○			1							
	地域創造インターンシップ	2後		2		○			1							
	コンテンツ・ツーリズム論	3後		2		○		1								
	エコツーリズム論	3前		2		○		1								
	地域リーダーシップ論	3前		2		○					1					
	NPO・NGO論	3後		2		○				1						
	地域型プロジェクト演習	3後		2		○		1								
	地域創造特論Ⅰ	3前		2		○									兼1	
	地域創造特論Ⅱ	3後		2		○									兼1	
	ゼミナールⅠ	3前	2			○		5	4	1						
	ゼミナールⅡ	3後	2			○		5	4	1						
	ゼミナールⅢ	4前	2			○		5	4	1						
	卒業論文・プロジェクト指導	4前・後		6		○		5	4	1						
小計（58科目）		—	16	104	0	—	5	4	1	0	0	兼19				
合計（161科目）		—	48	272	0	—	7	4	1	0	0	兼70				
学位又は称号		学士（観光交流文化学）		学位又は学科の分野			文学関係、社会学・社会福祉学関係									
卒業要件及び履修方法							授業期間等									
必修48単位、選択必修2単位、専門科目から66単位以上を修得し、 124単位以上修得すること。 （履修科目の登録上限：44単位（年間））							1学年の学期区分				2期					
							1学期の授業期間				15週					
							1時限の授業時間				90分					

教 育 課 程 等 の 概 要															
（外国語学部中国語学科）															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
外国語科目 A	英語Ⅰ	1前	2			○								兼1	
	英語Ⅱ	1後	2			○								兼1	
	実用英語演習Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	実用英語演習Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	韓国語Ⅰ	1前		2		○			1						
	韓国語Ⅱ	1後		2		○			1						
	ドイツ語Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	ドイツ語Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	フランス語Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	フランス語Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	スペイン語Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	スペイン語Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	日本語Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	日本語Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	日本語Ⅲ	1前		2		○								兼1	
	日本語Ⅳ	1後		2		○								兼1	
	日本語Ⅴ	1前		2		○								兼1	
	日本語Ⅵ	1後		2		○								兼1	
	小計（18科目）	—	4	32	0	—			1	0	0	0	0	兼9	
外国語科目 B	英語コミュニケーションⅠ	2前	2			○								兼1	
	英語コミュニケーションⅡ	2後	2			○								兼1	
	英語特別演習Ⅰ	2前		2		○								兼1	
	英語特別演習Ⅱ	2後		2		○								兼1	
	中国語特別演習Ⅰ	2前		2		○								兼1	
	中国語特別演習Ⅱ	2後		2		○								兼1	
	中国語特別演習Ⅲ	2前		2		○								兼1	
	中国語特別演習Ⅳ	2後		2		○								兼1	
	韓国語Ⅲ	2前		2		○			1						
	韓国語Ⅳ	2後		2		○			1						
	実用韓国語	3前		2		○			1						
	ドイツ語Ⅲ	2前		2		○								兼1	
	ドイツ語Ⅳ	2後		2		○								兼1	
	フランス語Ⅲ	2前		2		○								兼1	
	フランス語Ⅳ	2後		2		○								兼1	
	スペイン語Ⅲ	2前		2		○								兼1	
	スペイン語Ⅳ	2後		2		○								兼1	
	小計（17科目）	—	4	30	0	—			1	0	0	0	0	兼7	

基 盤 教 育 科 目	大学入門	1前	2			○					1						
	アカデミックライティング	1後	2			○										兼1	
	コミュニケーション概論	1後		2		○										兼1	
	テーマで学ぶ現代社会Ⅰ	1後		2		○										兼3	オムニバス
	テーマで学ぶ現代社会Ⅱ	1後		2		○					1					兼2	オムニバス
	テーマで学ぶ現代社会Ⅲ	1前		2		○			1							兼2	オムニバス
	サービスラーニングⅠ	2前		2		○										兼1	
	サービスラーニングⅡ	2後		2		○										兼1	
	データサイエンス	1後	2			○										兼4	
	データリテラシー	1前	2			○										兼3	
	統計学	2前・後		2		○										兼1	
	情報処理	1前・後		2		○										兼1	
	異文化コミュニケーション	1前		2		○										兼1	
	地域圏研究Ⅰ	1後		2		○										兼1	
	地域圏研究Ⅱ	1後		2		○										兼1	
	地域圏研究Ⅲ	1前		2		○										兼1	
	ダイバーシティ論	1後		2		○										兼1	
	フィールドスタディⅠ	1前・後		2		○										兼1	
	フィールドスタディⅡ	1前・後		2		○										兼2	
	フィールドスタディⅢ	1後		2		○										兼1	
	フィールドスタディⅣ	1後		2		○										兼1	
	キャリアデザインⅠ	2前	2			○			1								
	キャリアデザインⅡ	2後	2			○			1								
	キャリアデザインⅢ	3前		2		○				1						兼2	
	キャリアデザインⅣ	3後		2		○				1						兼2	
	インターンシップⅠ	2前・後		2		○					1						
	インターンシップⅡ	2前・後		2		○						1					
	インターンシップⅢ	3前・後		2		○										兼2	
	日本語学概論	1前		2		○										兼1	
	日本語学特論Ⅰ	1前		2		○			1								
	日本語学特論Ⅱ	1後		2		○			1								
	日本語学特論Ⅲ	1前		2		○										兼1	
	日本語教育学概論	1後		2		○										兼1	
	日本語教育実習Ⅰ	2前		2		○										兼1	
	日本語教育実習Ⅱ	2後		2		○										兼1	
	日本語教育実習Ⅲ	2前		2		○			1								
	日本語教育学特論Ⅰ	2前		2		○			1								
	日本語教育学特論Ⅱ	2後		2		○			1								
	日本語教育学特論Ⅲ	2前		2		○										兼1	
	日本文化演習	1前		2		○										兼1	
	海外語学実習Ⅰ	1前		1		○										兼1	
	海外語学実習Ⅱ	1後		1		○										兼1	
	海外語学実習Ⅲ	1前		1		○										兼1	
	海外語学実習Ⅳ	1後		1		○										兼1	
	国内語学実習Ⅰ	1前		1		○										兼1	
	国内語学実習Ⅱ	1後		1		○										兼1	
	小計（46科目）		12	74	0	—			3	1	2	0	0			兼24	

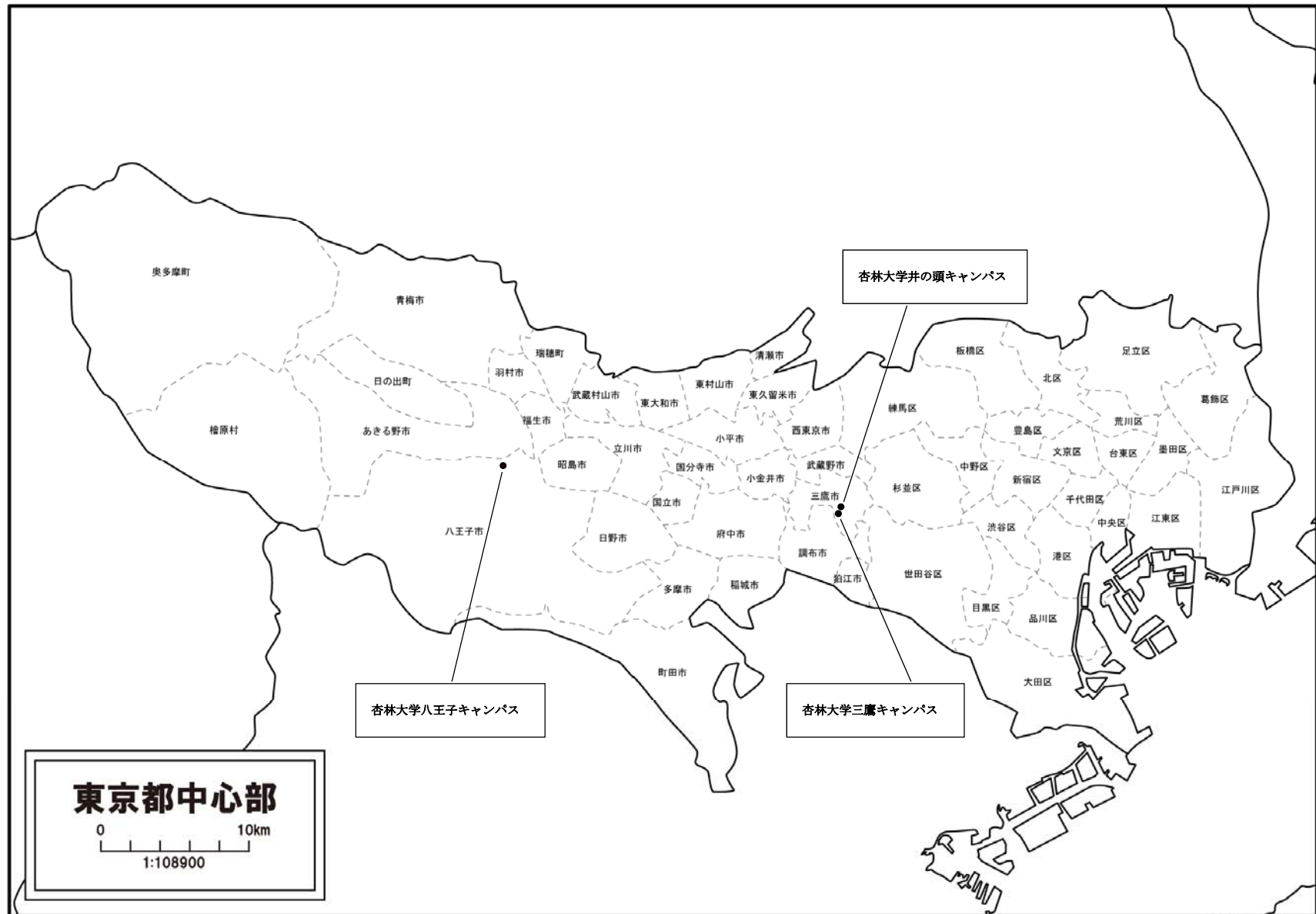
教養科目	文学	1前・後		2		○							兼1		
	社会学	1前・後		2		○							兼1		
	地理学	1前		2		○							兼1		
	経営学	1前		2		○							兼1		
	哲学	1前・後		2		○							兼1		
	倫理学	1前・後		2		○							兼1		
	心理学	1前・後		2		○							兼2		
	ホスピタリティ・コミュニケーション	1前・後		2		○							兼2		
	歴史学	1前・後		2		○							兼1		
	日本国憲法	1前・後		2		○							兼1		
	健康と体育	1後		2		○							兼1		
	社会と大学Ⅰ	1前		2		○						兼15	オムニバス		
	社会と大学Ⅱ	1前		2		○						兼13	オムニバス		
	社会と大学Ⅲ	1前		2		○			1	1	2	兼8	オムニバス		
	保健・医療の現状と未来Ⅰ	1前		2		○						兼15	オムニバス		
	保健・医療の現状と未来Ⅱ	1前		2		○						兼15	オムニバス		
	小計（16科目）	—	0	32	0	—		1	1	2	0	0	兼77		
専門科目	インテンシブ中国語Ⅰ	1前	2			○			1				兼1		
	インテンシブ中国語Ⅱ	1後	2			○			1				兼1		
	インテンシブ中国語Ⅲ	1前	2			○							兼2		
	インテンシブ中国語Ⅳ	1後	2			○							兼2		
	インテンシブ中国語Ⅴ	1前	2			○				1			兼1		
	インテンシブ中国語Ⅵ	1後	2			○				1			兼1		
	インテンシブ中国語Ⅶ	1前	2			○							兼2		
	インテンシブ中国語Ⅷ	1後	2			○							兼2		
	インテンシブ中国語Ⅸ	2前	2			○							兼1		
	インテンシブ中国語Ⅹ	2後	2			○							兼1		
	インテンシブ中国語Ⅺ	2前	2			○							兼1		
	インテンシブ中国語Ⅻ	2後	2			○							兼1		
	インテンシブ中国語ⅬⅢⅠ	2前	2			○							兼1		
	インテンシブ中国語ⅬⅣ	2後	2			○							兼1		
	インテンシブ中国語ⅬⅤ	2前	2			○				1					
	インテンシブ中国語ⅬⅥ	2後	2			○				1					
	中国語発音矯正Ⅰ	1前	2			○					1				
	中国語発音矯正Ⅱ	1後	2			○						1			
	中国語学概論	2前	2			○				1					
	中国語の文法	2後		2		○				1					
	中国語の音声	3前	2			○					1				
	デジタル時代の中国語	3後		2		○						1			
	地域研究入門	1後	2			○					1				
	中国の地誌	1前		2		○					1				
	中国語圏研究	2前	2			○					1				
	韓国語圏研究	2前		2		○			1						
	韓国の文学・文化	2後		2		○			1						
	中国文学史Ⅰ	2前		2		○								兼1	
	中国文学史Ⅱ	2後		2		○								兼1	
	日中比較文化論Ⅰ	2前		2		○								兼1	
	日中比較文化論Ⅱ	2後		2		○								兼1	
	アジア政治論	3前		2		○								兼1	

専 門 科 目	アジア経済論	3後		2		○										兼1	
	中国の政治・経済	3前		2		○										兼1	
	中国の思想	2前		2		○					1						
	中国の歴史	2後		2		○					1						
	近代中国と日本Ⅰ	3前		2		○							1				
	近代中国と日本Ⅱ	3後		2		○							1				
	中国語プレゼンテーション	3前		2		○					1						
	中国語ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ	3前		2		○											兼1
	中国語ビジネスコミュニケーション演習Ⅱ	3後		2		○											兼1
	中国語演習Ⅰ	3前		2		○											兼1
	中国語演習Ⅱ	3後		2		○											兼1
	中国語演習Ⅲ	3前		2		○											兼1
	中国語演習Ⅳ	3後		2		○											兼1
	中国語通訳法Ⅰ	3前	2			○					1			1			
	中国語通訳法Ⅱ	3後	2			○					1			1			
	中国語翻訳法Ⅰ	3前		2		○											兼1
	中国語翻訳法Ⅱ	3後		2		○											兼1
	中日通訳・翻訳Ⅰ	3前		2		○											兼1
	中日通訳・翻訳Ⅱ	3後		2		○											兼1
	日中通訳・翻訳Ⅰ	3前		2		○					1						
	日中通訳・翻訳Ⅱ	3後		2		○					1						
	ゼミナールⅠ	3前	2			○					2	2		1			
	ゼミナールⅡ	3後	2			○					2	2		1			
	ゼミナールⅢ	4前	2			○					2	2		1			
	卒業論文・課題指導	4前・後		4		○					2	2		1			
小計（57科目）	—	54	62	0	—					3	2	2	0	0	兼10		
合計（154科目）		—	74	230	0	—				3	2	2	0	0	兼94		
学位又は称号		学士（中国語コミュニケーション学）		学位又は学科の分野				文学関係									
卒業要件及び履修方法								授業期間等									
必修74単位、選択必修2単位、専門科目から66単位以上を修得し、 124単位以上修得すること。 （履修科目の登録上限：44単位（年間））								1学年の学期区分				2期					
								1学期の授業期間				15週					
								1時限の授業時間				90分					

学校法人杏林学園 収容定員変更に係る認可申請等の組織の移行表

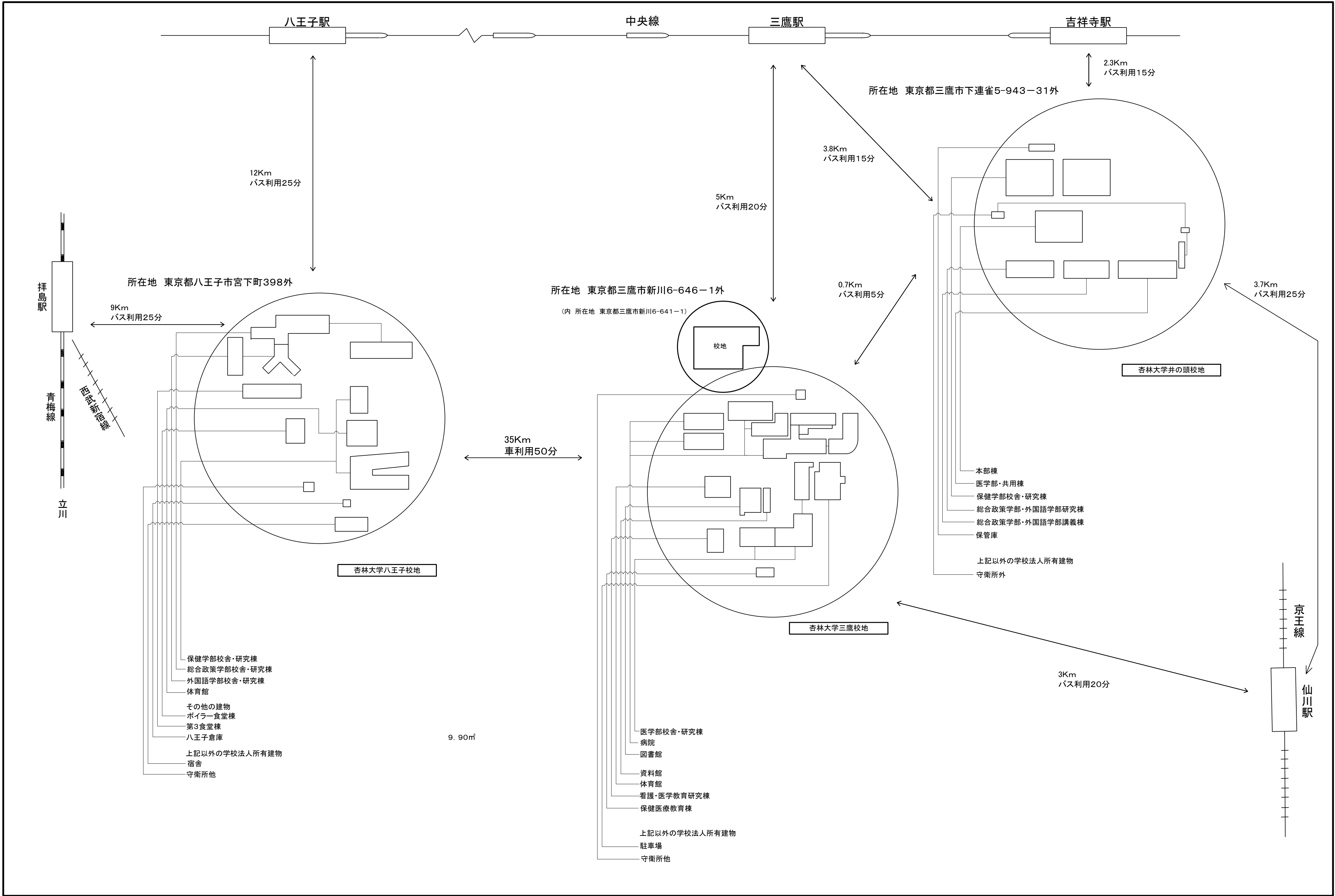
令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更事由
杏林大学					杏林大学				
医学部					医学部				
医学科	115	-	698	→	医学科	<u>105</u>	-	<u>650</u>	臨時収容定員増のための変更届出済み
保健学部					保健学部				
臨床検査技術学科	120	-	480	→	臨床検査技術学科	120	-	480	
健康福祉学科	50	-	200	→	健康福祉学科	<u>120</u>	-	<u>480</u>	収容定員増(令和3年3月認可申請済み)
看護学科	150	-	600	→	看護学科	150	-	600	
看護学専攻	(100)	-	(400)		看護学専攻	(100)	-	(400)	
看護養護教育学専攻	(50)	-	(200)		看護養護教育学専攻	(50)	-	(200)	
臨床工学科	60	-	240	→	臨床工学科	60	-	240	
救急救命学科	50	-	200	→	救急救命学科	50	-	200	
理学療法学科	56	-	224	→	理学療法学科	56	-	224	
作業療法学科	54	-	216	→	作業療法学科	54	-	216	
診療放射線技術学科	66	-	264	→	診療放射線技術学科	66	-	264	
臨床心理学科	80	-	320	→	臨床心理学科	80	-	320	
外国語学部					外国語学部				
英語学科	130	3年次 4	528	→	英語学科	130	3年次 4	528	
中国語学科	30	3年次 5	130	→	中国語学科	<u>32</u>	<u>3年次 2</u>	<u>132</u>	収容定員変更(令和3年3月認可申請済み)
観光交流文化学科	90	3年次 3	366	→	観光交流文化学科	90	<u>3年次 2</u>	<u>364</u>	収容定員変更(令和3年3月認可申請済み)
総合政策学部					総合政策学部				
総合政策学科	150	3年次 3	606	→	総合政策学科	150	<u>3年次 4</u>	<u>608</u>	収容定員変更(令和3年3月認可申請済み)
企業経営学科	80	3年次 3	326	→	企業経営学科	80	<u>3年次 2</u>	<u>324</u>	収容定員変更(令和3年3月認可申請済み)
計	1281	3年次 18	5398			<u>1343</u>	<u>3年次 14</u>	<u>5630</u>	
杏林大学大学院					杏林大学大学院				
医学研究科					医学研究科				
生理系専攻 (博士課程)	4	-	16	→		<u>0</u>	-	<u>0</u>	令和4年4月学生募集停止
病理系専攻 (博士課程)	3	-	12	→		<u>0</u>	-	<u>0</u>	令和4年4月学生募集停止
社会医学系専攻 (博士課程)	3	-	12	→		<u>0</u>	-	<u>0</u>	令和4年4月学生募集停止
内科系専攻 (博士課程)	12	-	48	→		<u>0</u>	-	<u>0</u>	令和4年4月学生募集停止
外科系専攻 (博士課程)	12	-	48	→		<u>0</u>	-	<u>0</u>	令和4年4月学生募集停止
				→	医学専攻 (博士課程)	<u>25</u>	-	<u>100</u>	専攻の設置、収容定員の変更 (令和3年4月届出予定)
保健学研究科					保健学研究科				
保健学専攻 (博士前期課程)	7	-	14	→	保健学専攻 (博士前期課程)	7	-	14	
看護学専攻 (博士前期課程)	7	-	14	→	看護学専攻 (博士前期課程)	<u>2</u>	-	<u>4</u>	収容定員の変更 (令和3年4月届出済み)
					臨床心理学専攻 (博士前期課程)	<u>25</u>	-	<u>50</u>	専攻の設置 (令和3年4月届出済み)
保健学専攻 (博士後期課程)	4	-	12	→	保健学専攻 (博士後期課程)	4	-	12	
看護学専攻 (博士後期課程)	2	-	6	→	看護学専攻 (博士後期課程)	<u>1</u>	-	<u>3</u>	収容定員の変更 (令和3年4月届出予定)
国際協力研究科					国際協力研究科				
国際開発専攻 (博士前期課程)	10	-	20	→	国際開発専攻 (博士前期課程)	<u>6</u>	-	<u>12</u>	収容定員の変更 (令和3年4月届出予定)
国際医療協力専攻 (博士前期課程)	6	-	12	→	国際医療協力専攻 (博士前期課程)	<u>4</u>	-	<u>8</u>	収容定員の変更 (令和3年4月届出予定)
グローバル・コミュニケーション専攻 (博士前期課程)	24	-	48	→	グローバル・コミュニケーション専攻 (博士前期課程)	<u>10</u>	-	<u>20</u>	収容定員の変更 (令和3年4月届出予定)
開発問題専攻 (博士後期課程)	10	-	30	→	開発問題専攻 (博士後期課程)	<u>5</u>	-	<u>15</u>	収容定員の変更 (令和3年4月届出予定)
計	104	-	292		計	<u>89</u>	-	<u>238</u>	

都道府県内における位置関係を示す図面



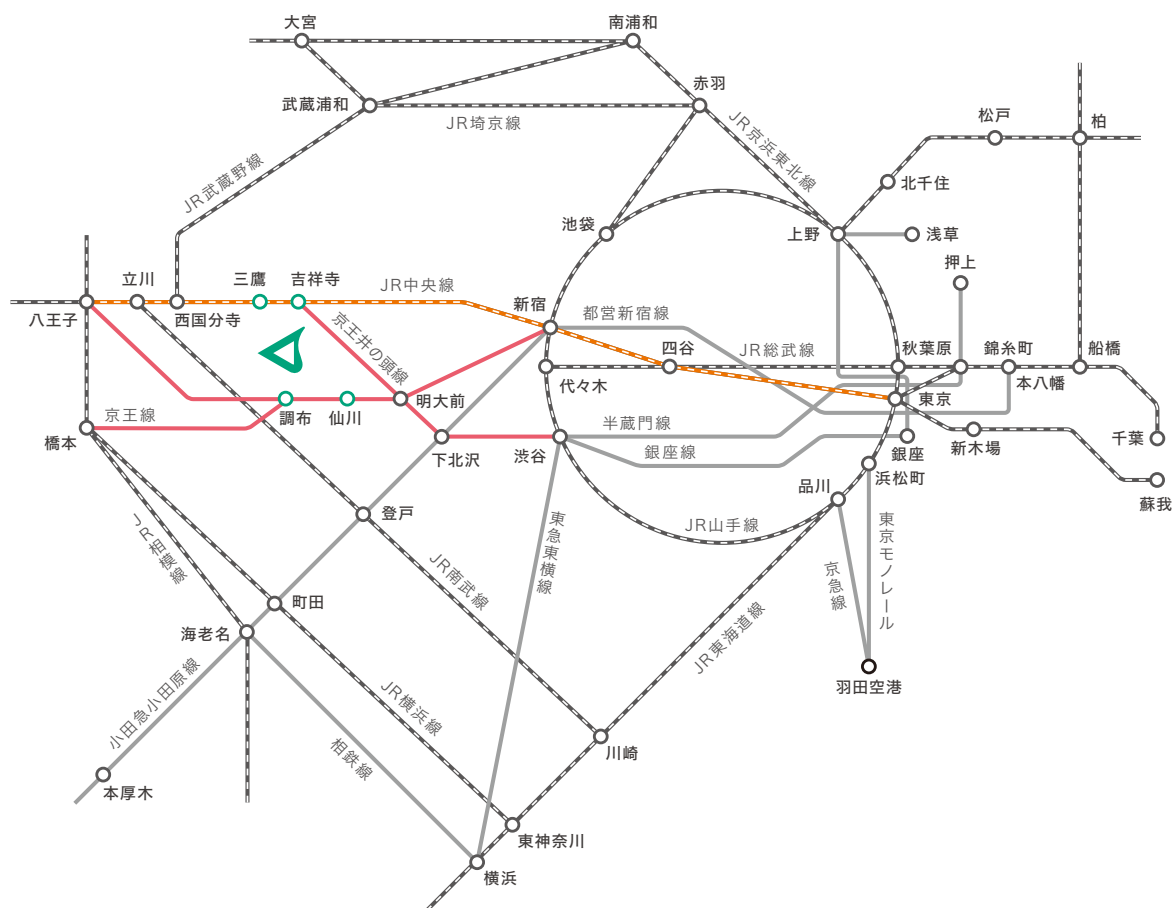
三典製 <http://www.treemap.jp>

学校の位置及び校地、校舎の配置図の概要



BY TRAIN

最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面

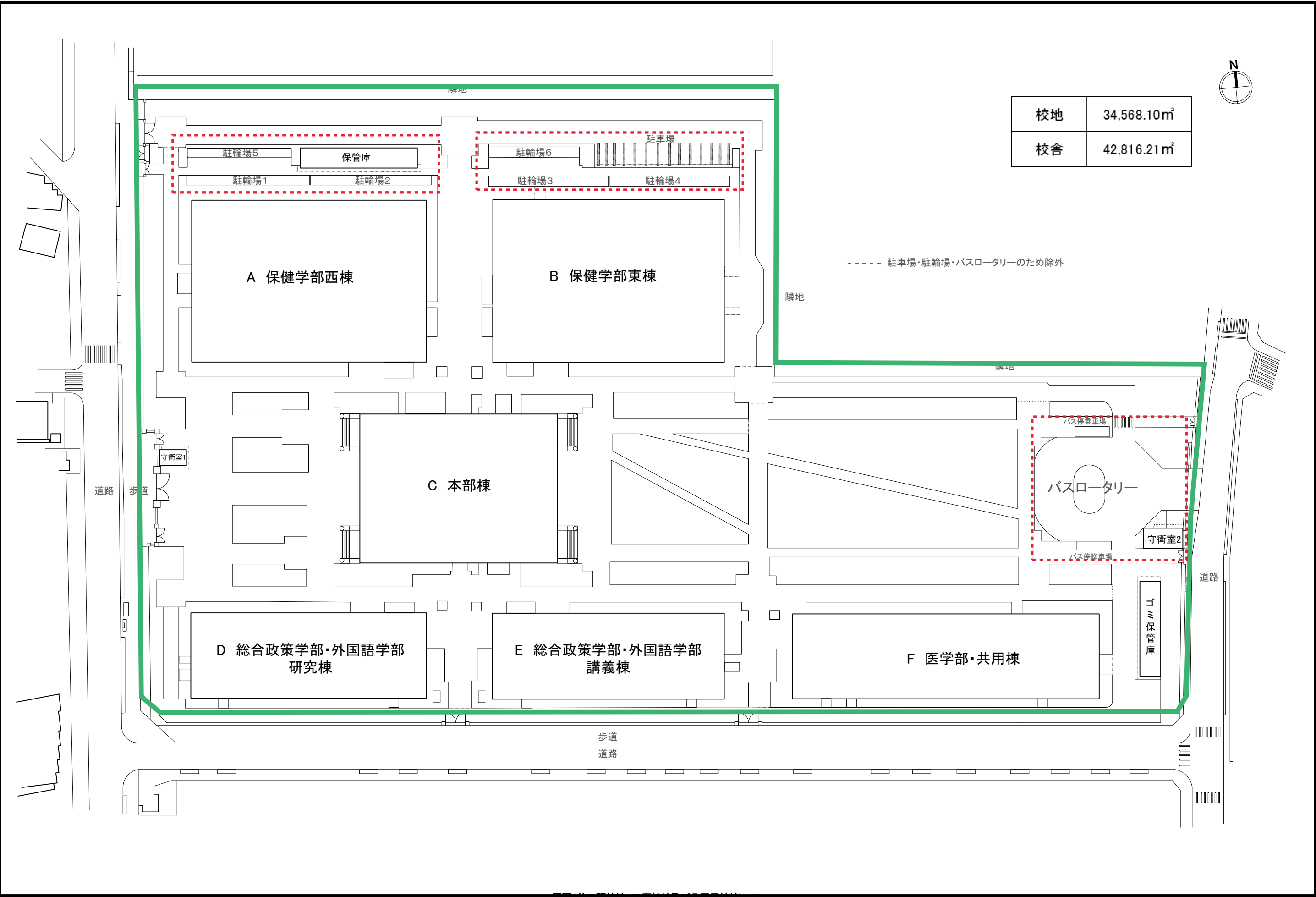


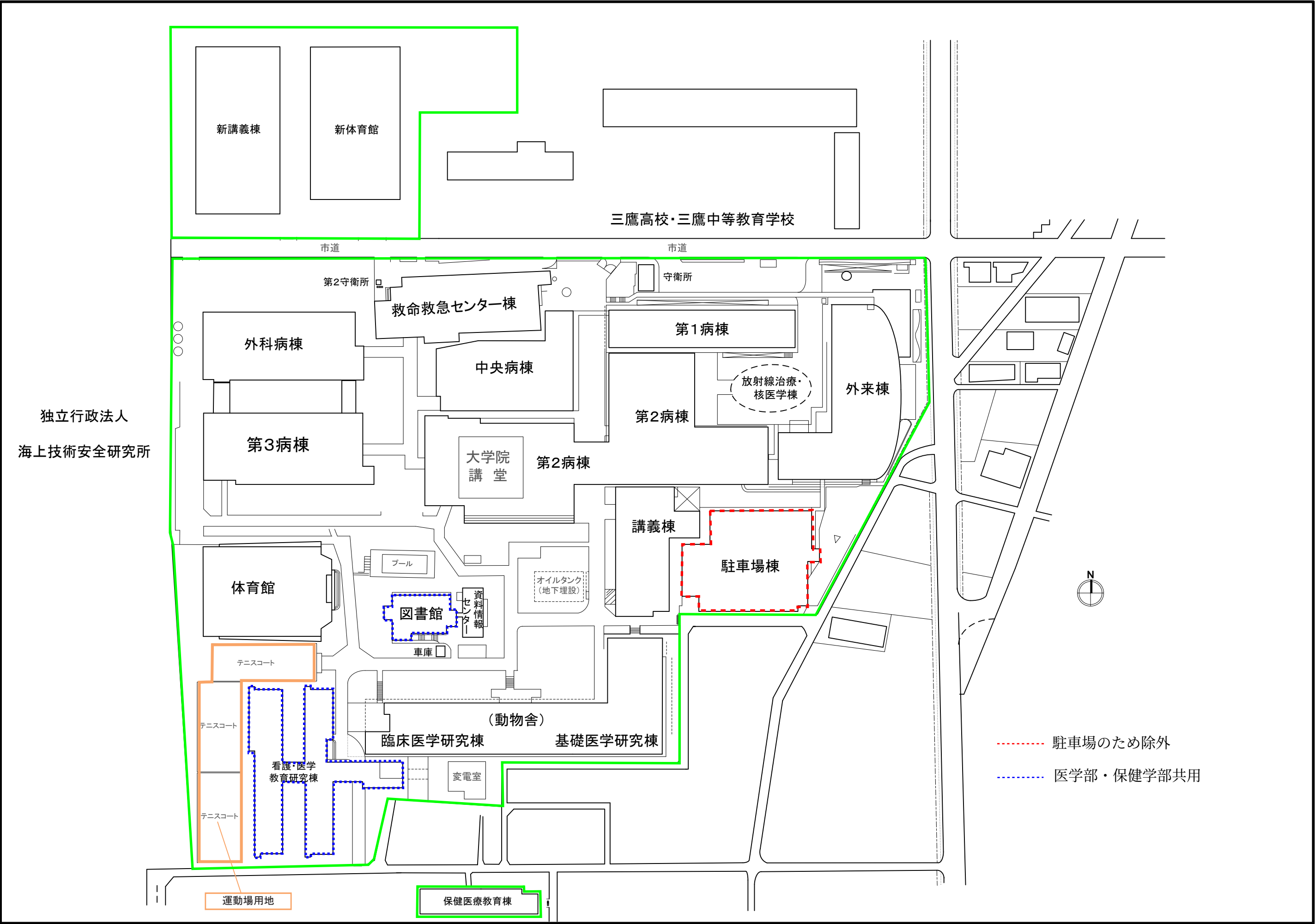
 <http://www.kyorin-u.ac.jp>

 杏林大学 Kyorin University

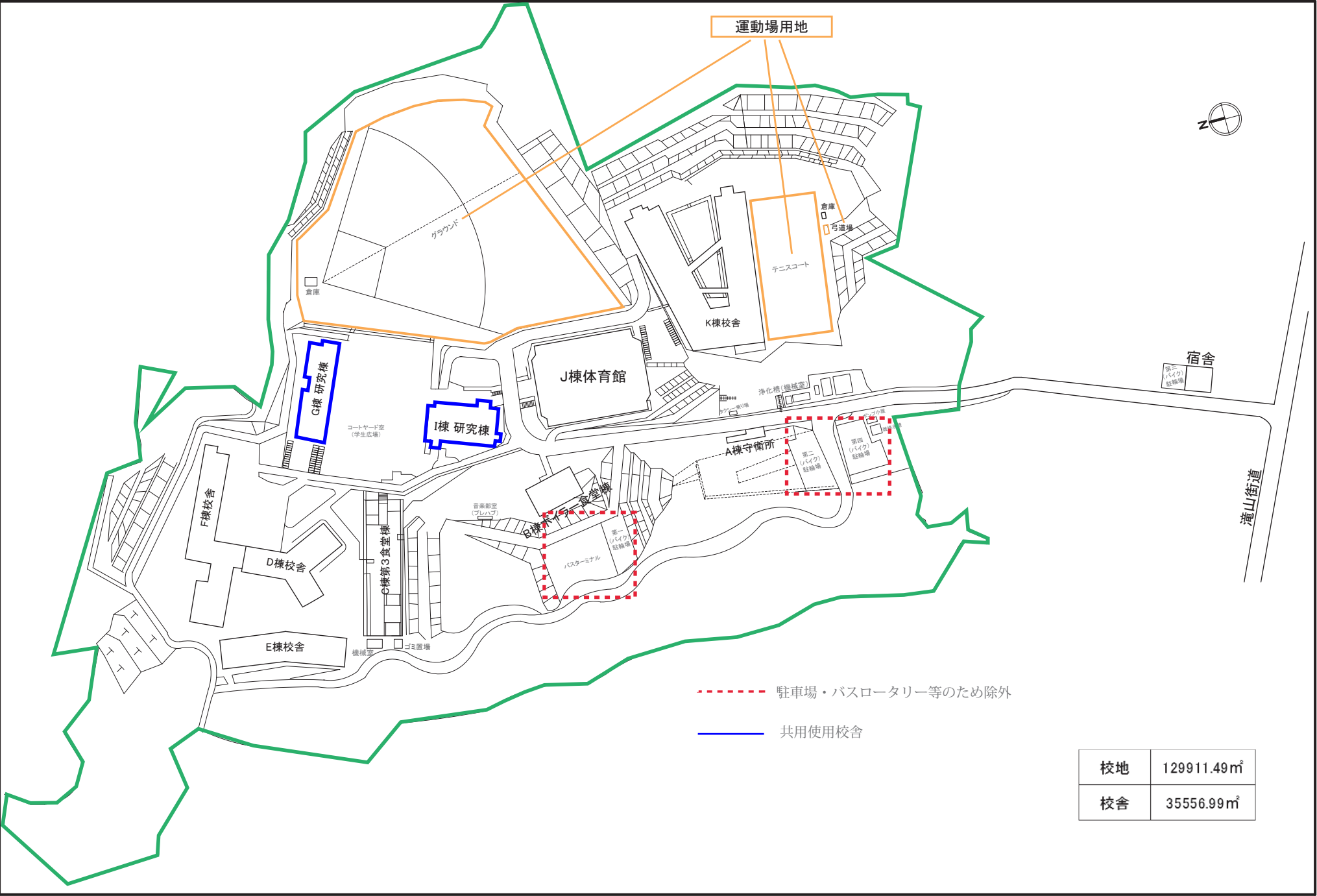
 @kyorin_univ

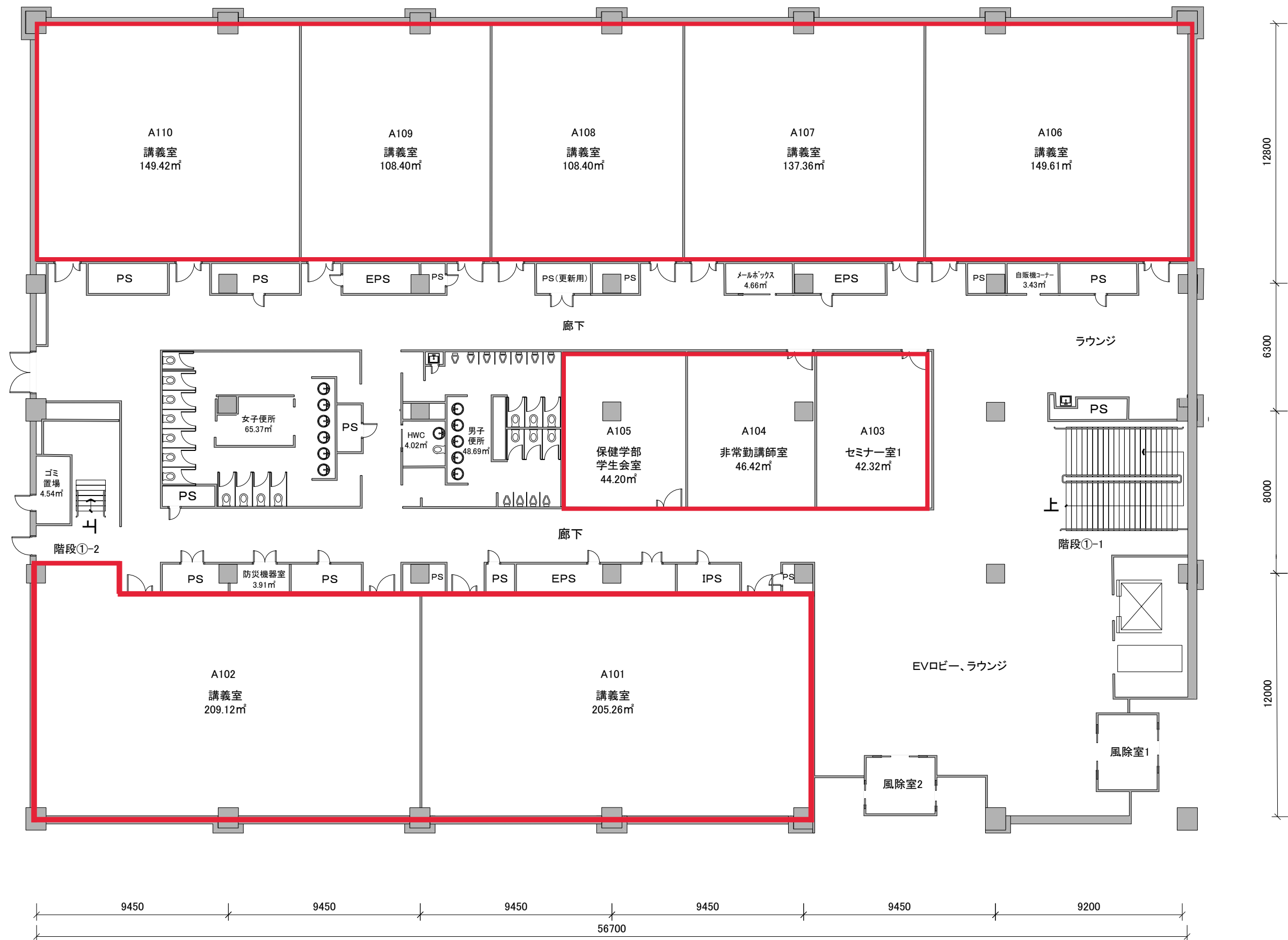
井の頭キャンパス 校舎及び運動場等の配置図



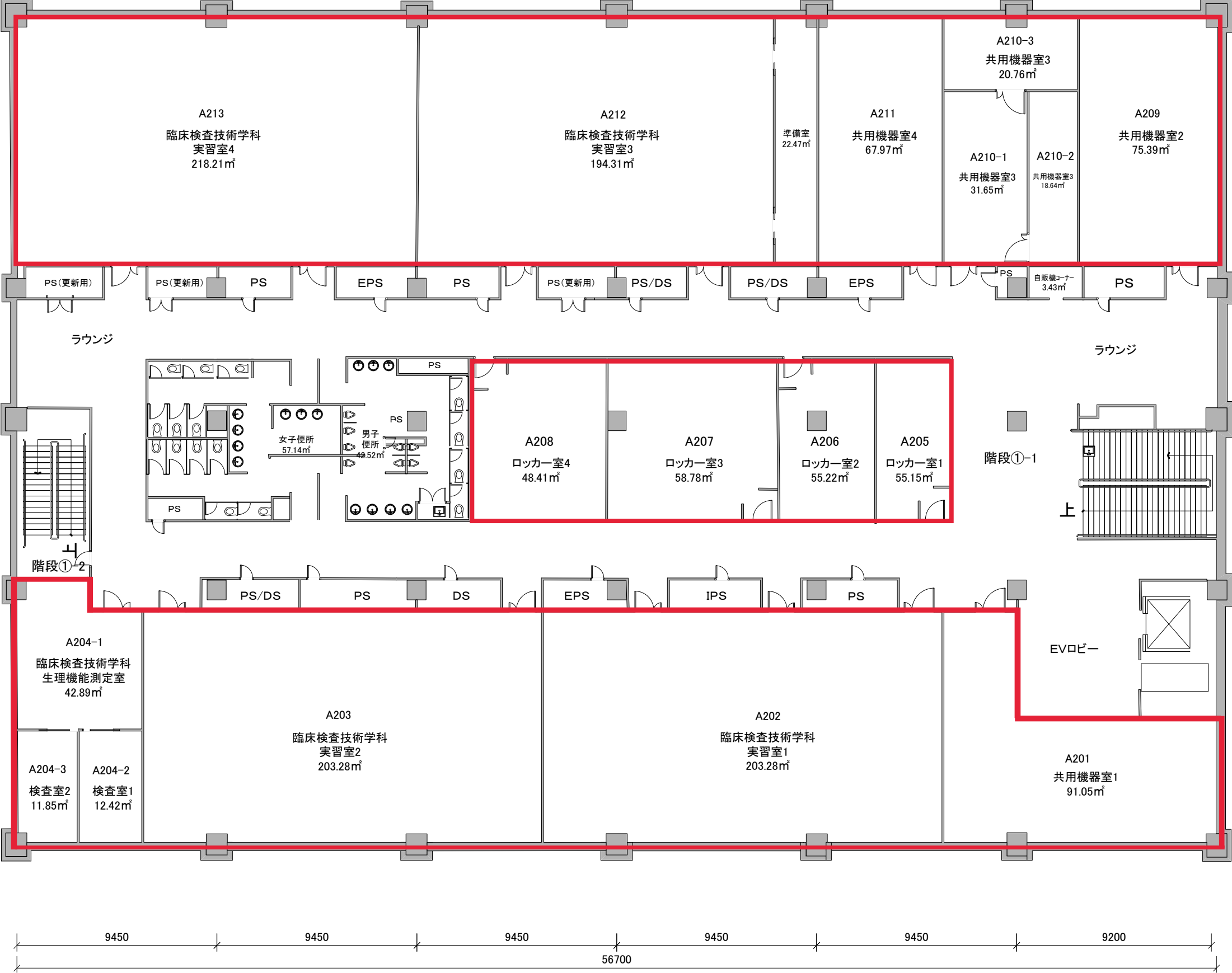


八王子キャンパス 校舎及び運動場等の配置図

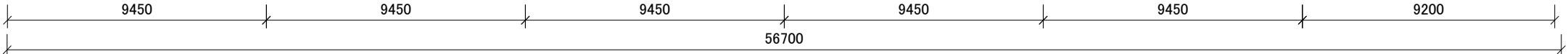




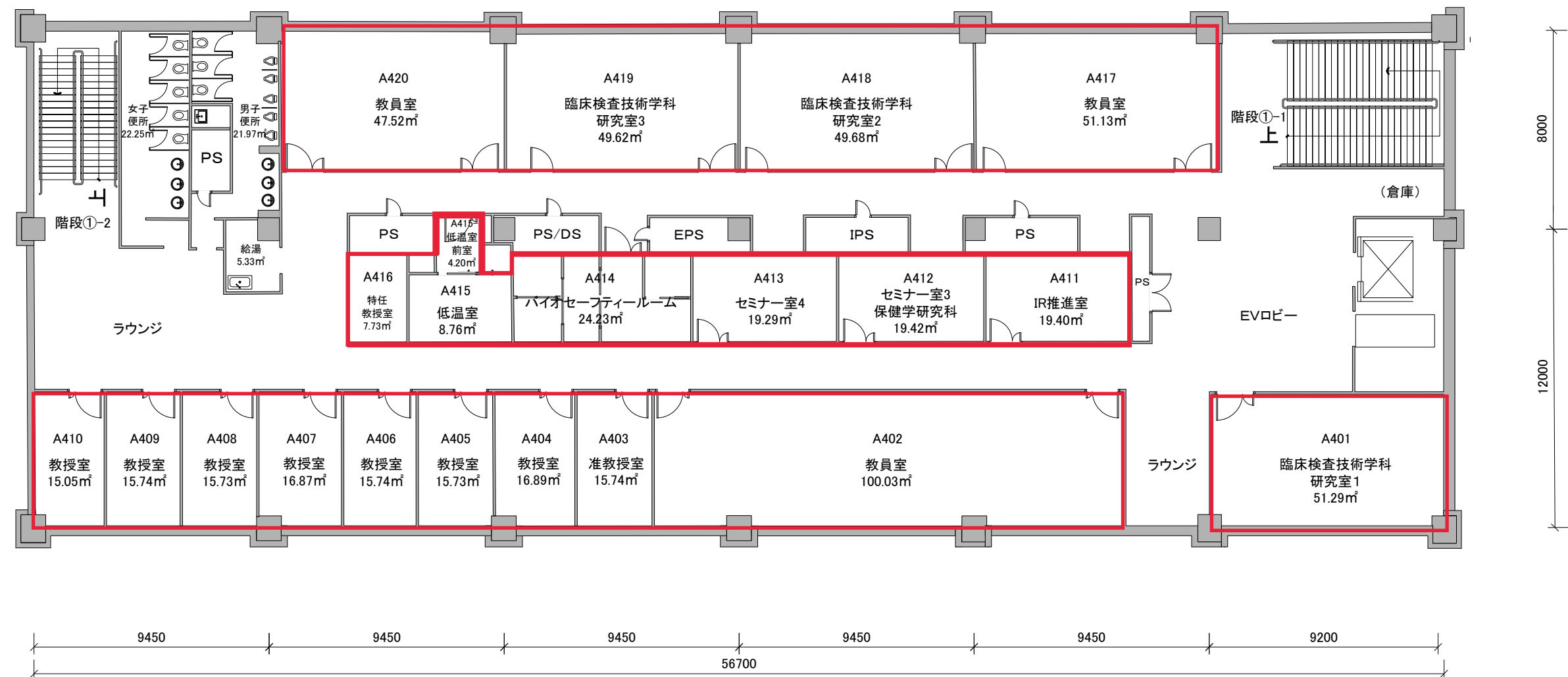
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 保健学部西棟 1階				
ファイル名 A 保健学部西棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 1 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27



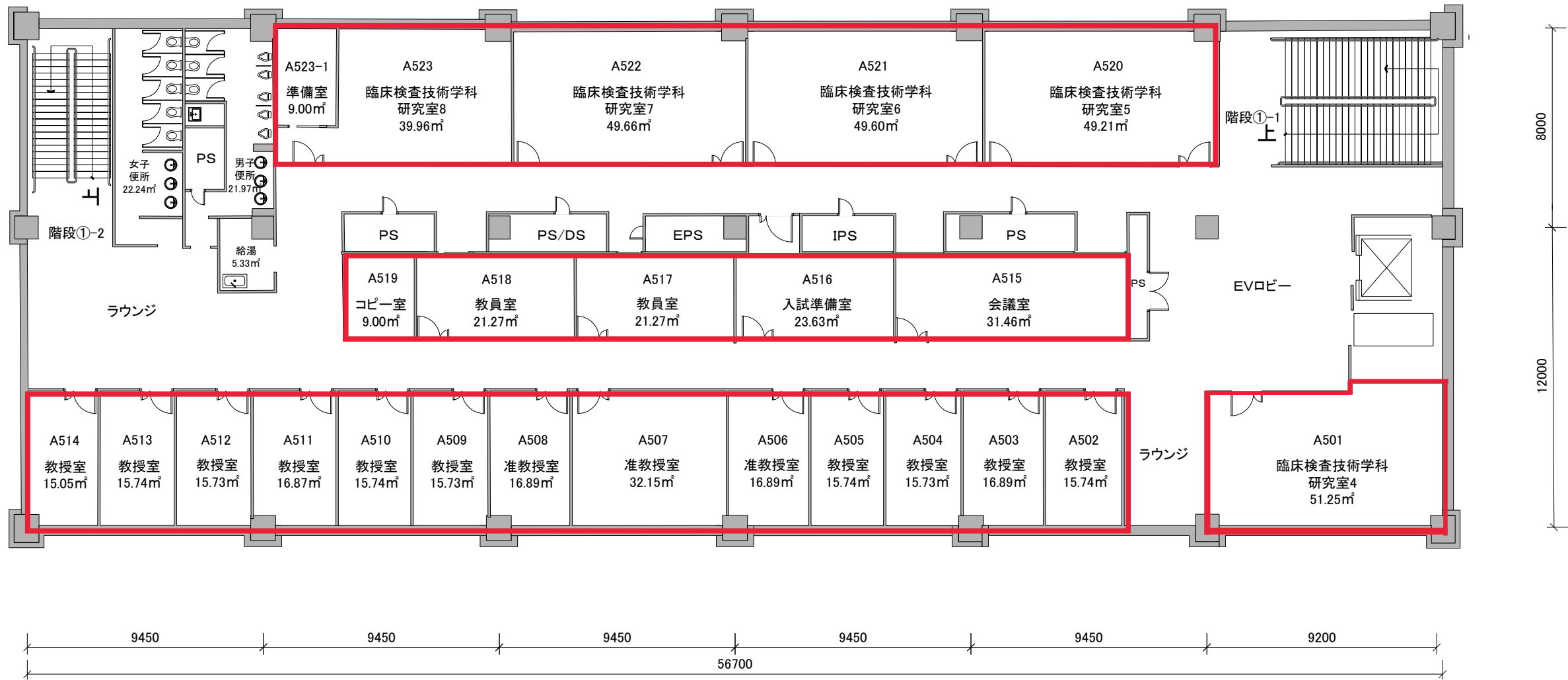
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 保健学部西棟 2階				
ファイル名 A 保健学部西棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 2 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27



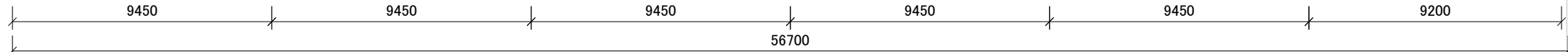
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 保健学部西棟 3階				
ファイル名 A 保健学部西棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 3 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27



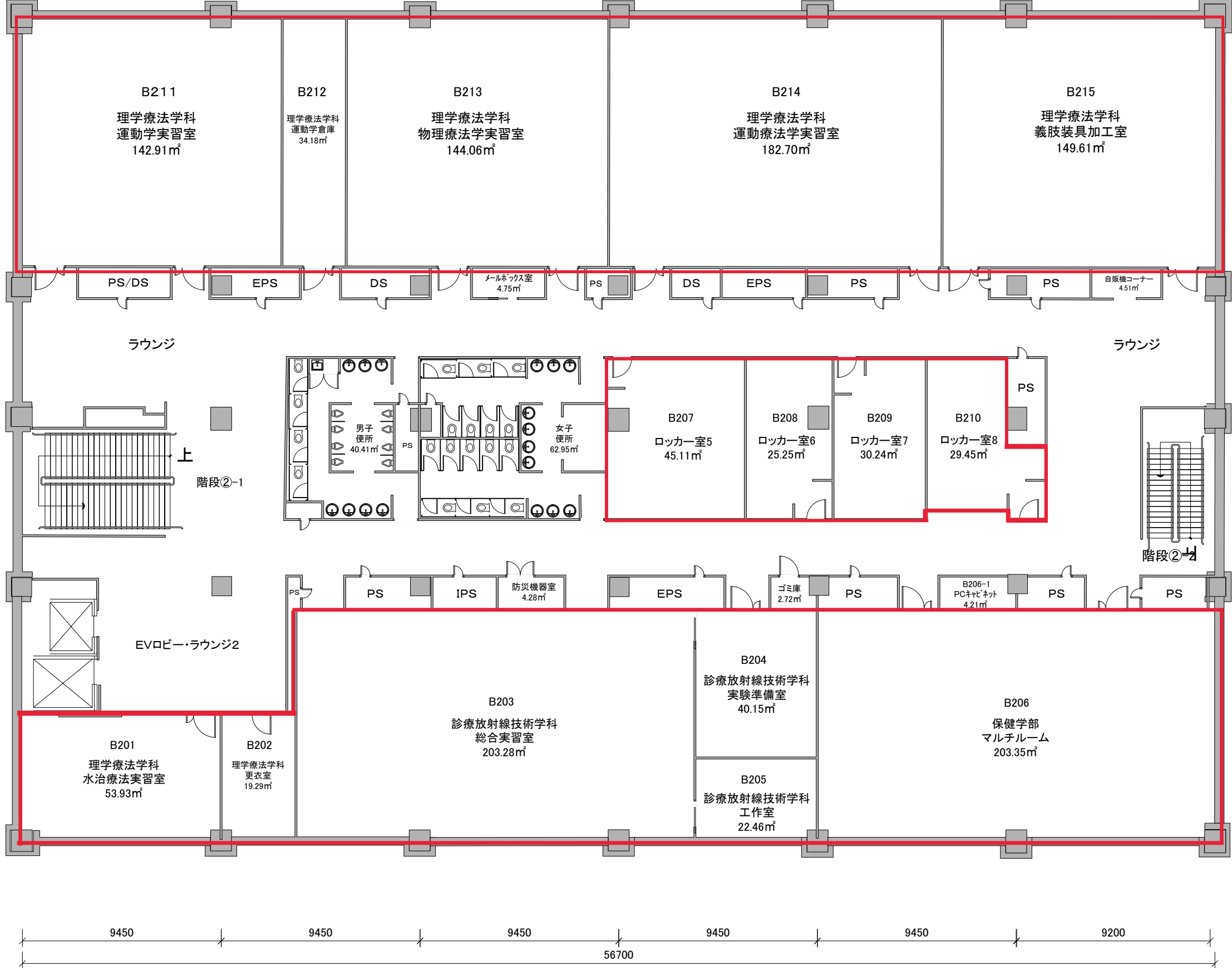
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 保健学部西棟 4階				
ファイル名 A 保健学部西棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 4 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27



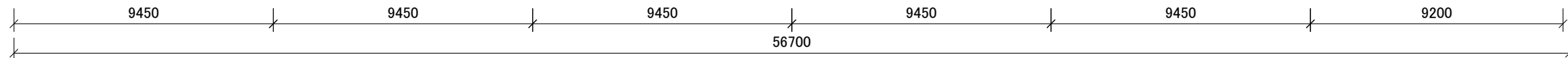
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 保健学部西棟 5階				
ファイル名 A 保健学部西棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 5 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27



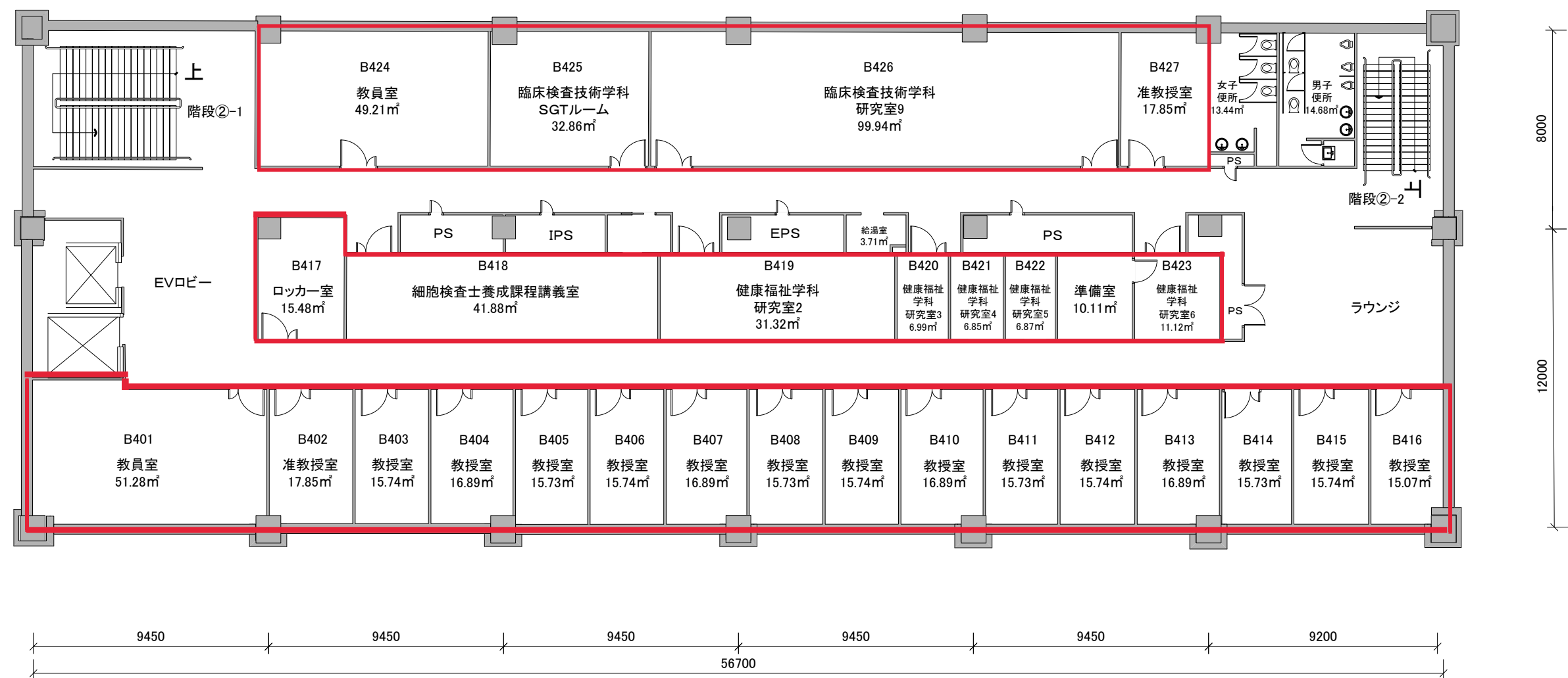
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 保健学部東棟 1階				
ファイル名 B 保健学部東棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 1 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27



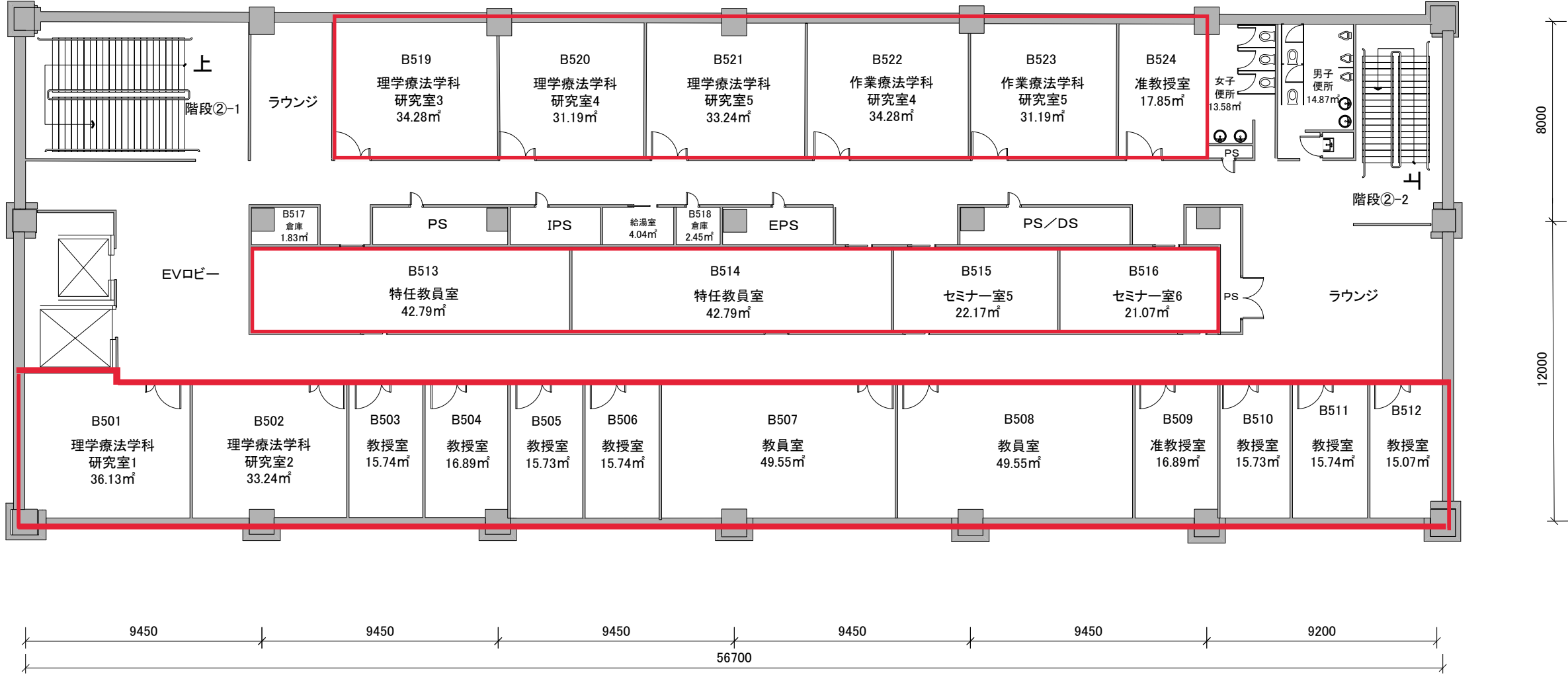
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 保健学部東棟 2階				
ファイル名 B 保健学部東棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 2 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27



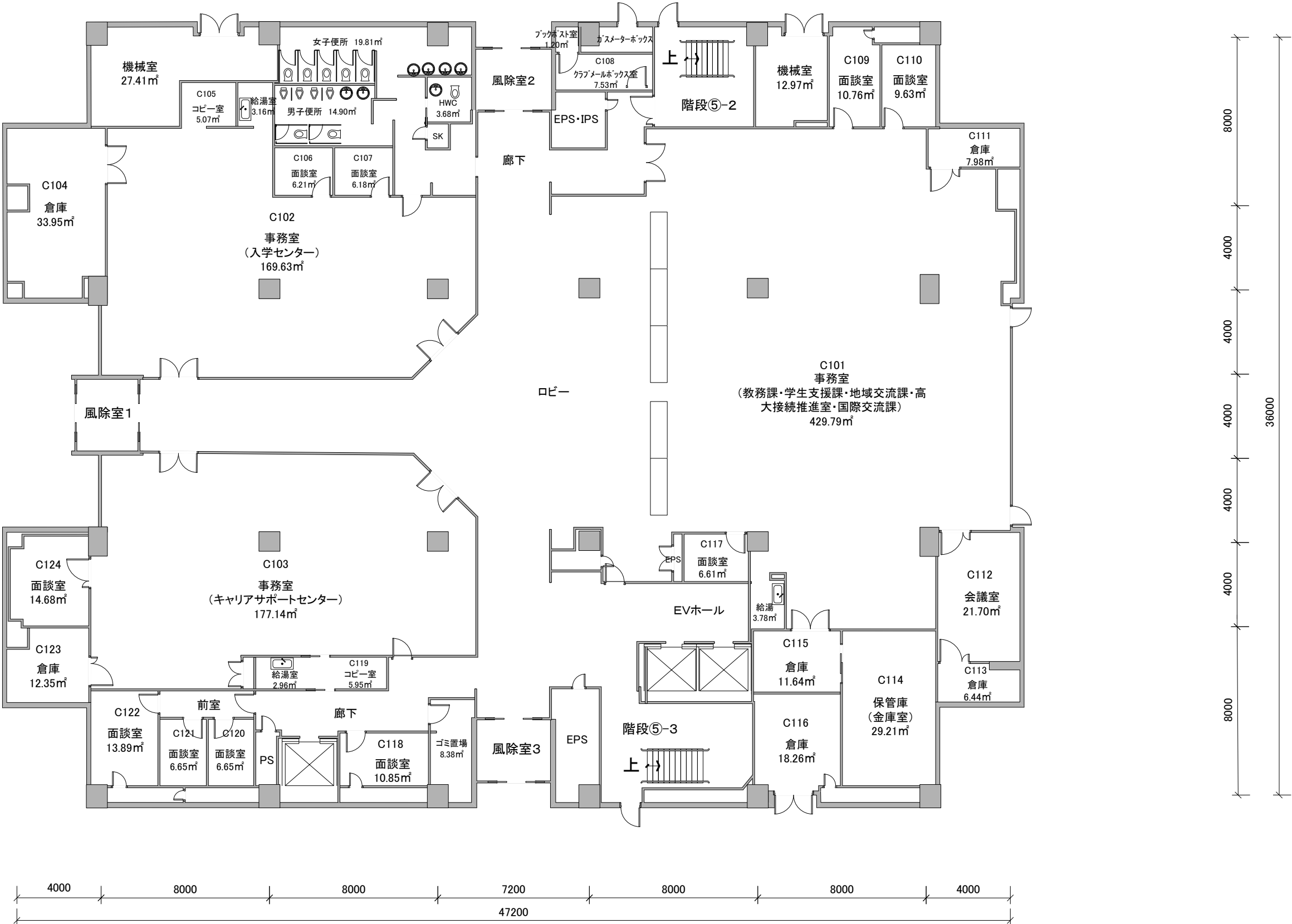
縮尺 1: 200	ページ 3 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27



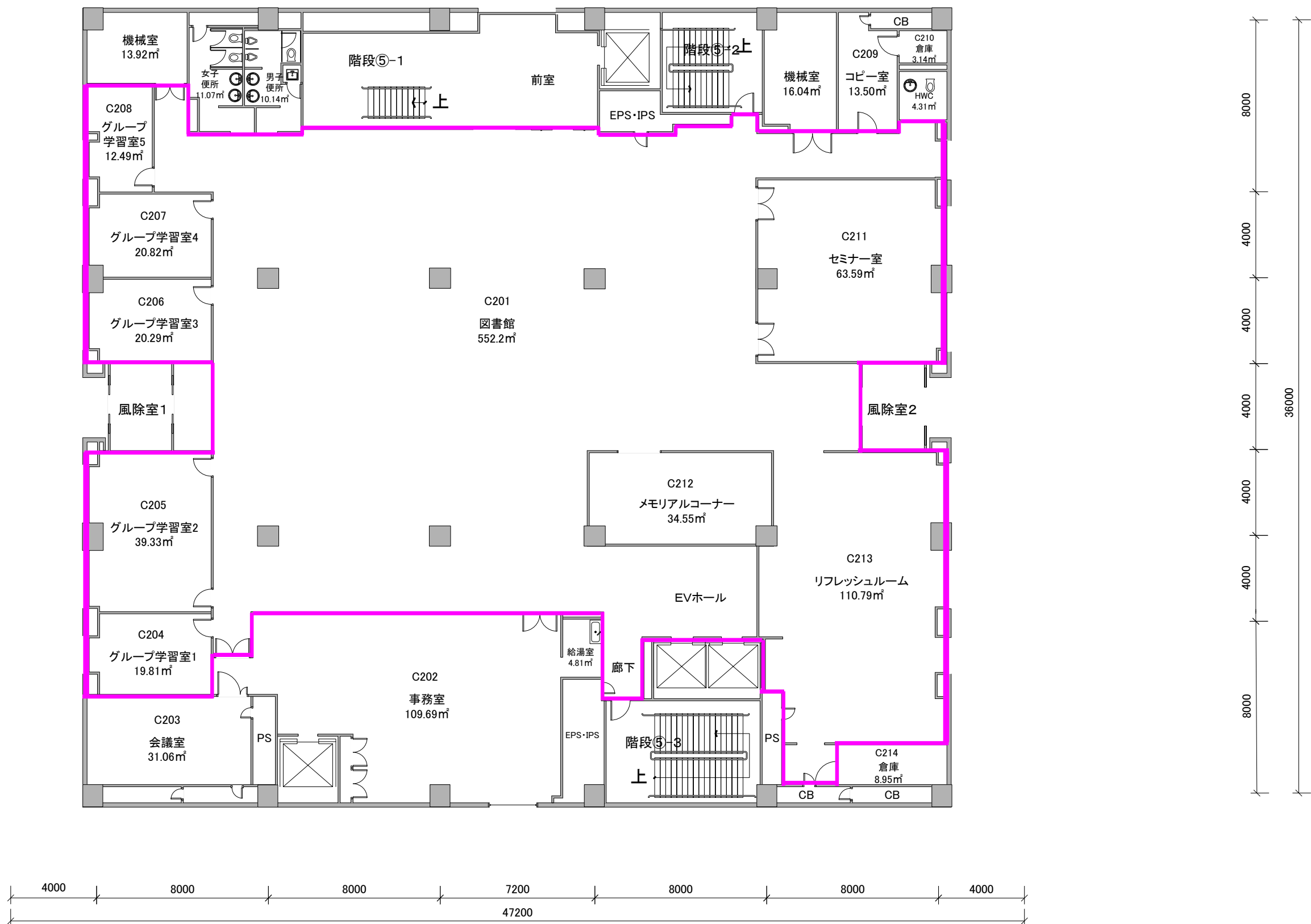
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 保健学部東棟 4階				
ファイル名 B 保健学部東棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 4 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27



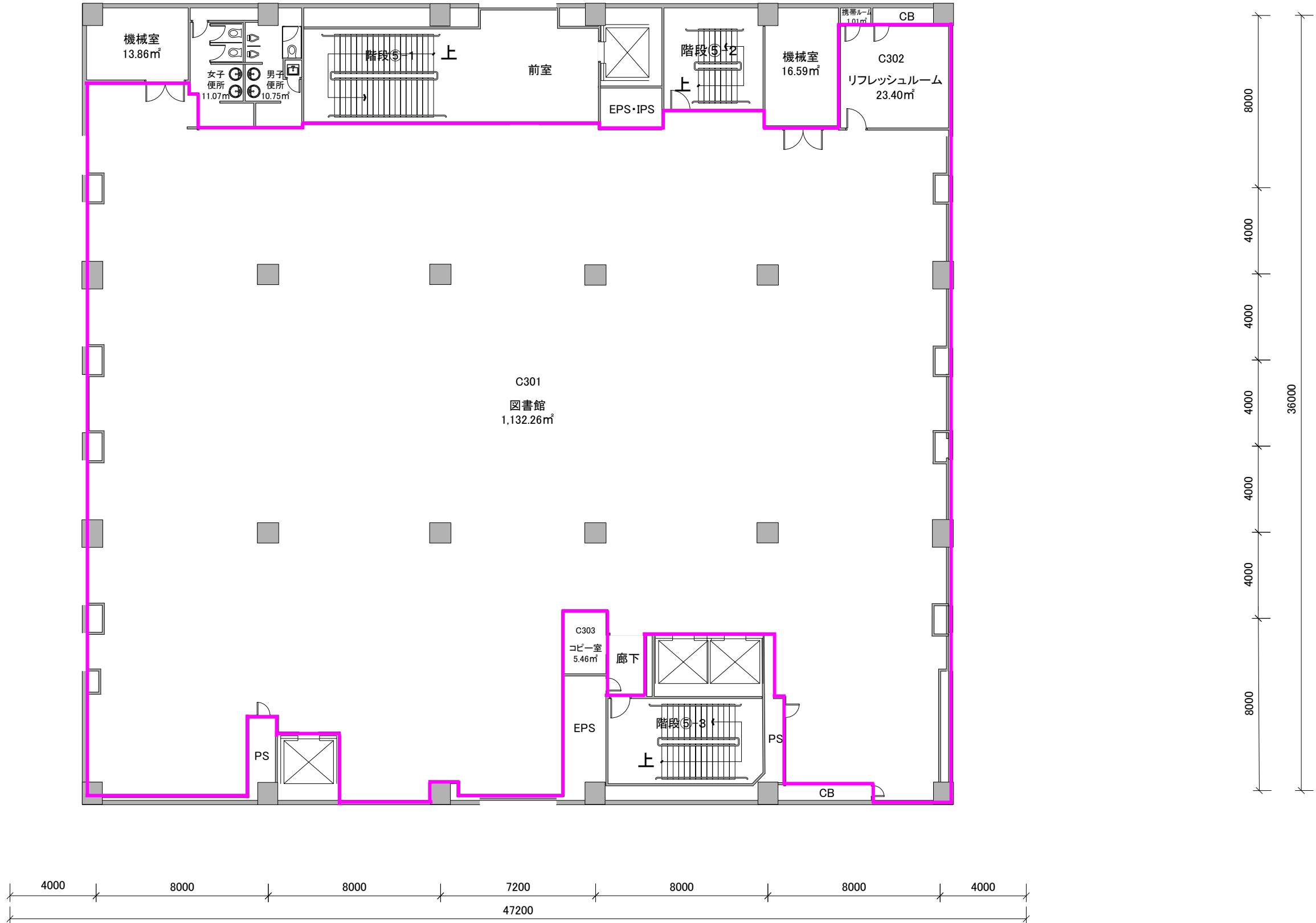
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 保健学部東棟 5階				
ファイル名 B 保健学部東棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 5 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27



学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 本部棟 1階				
ファイル名 C 本部棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 1 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27

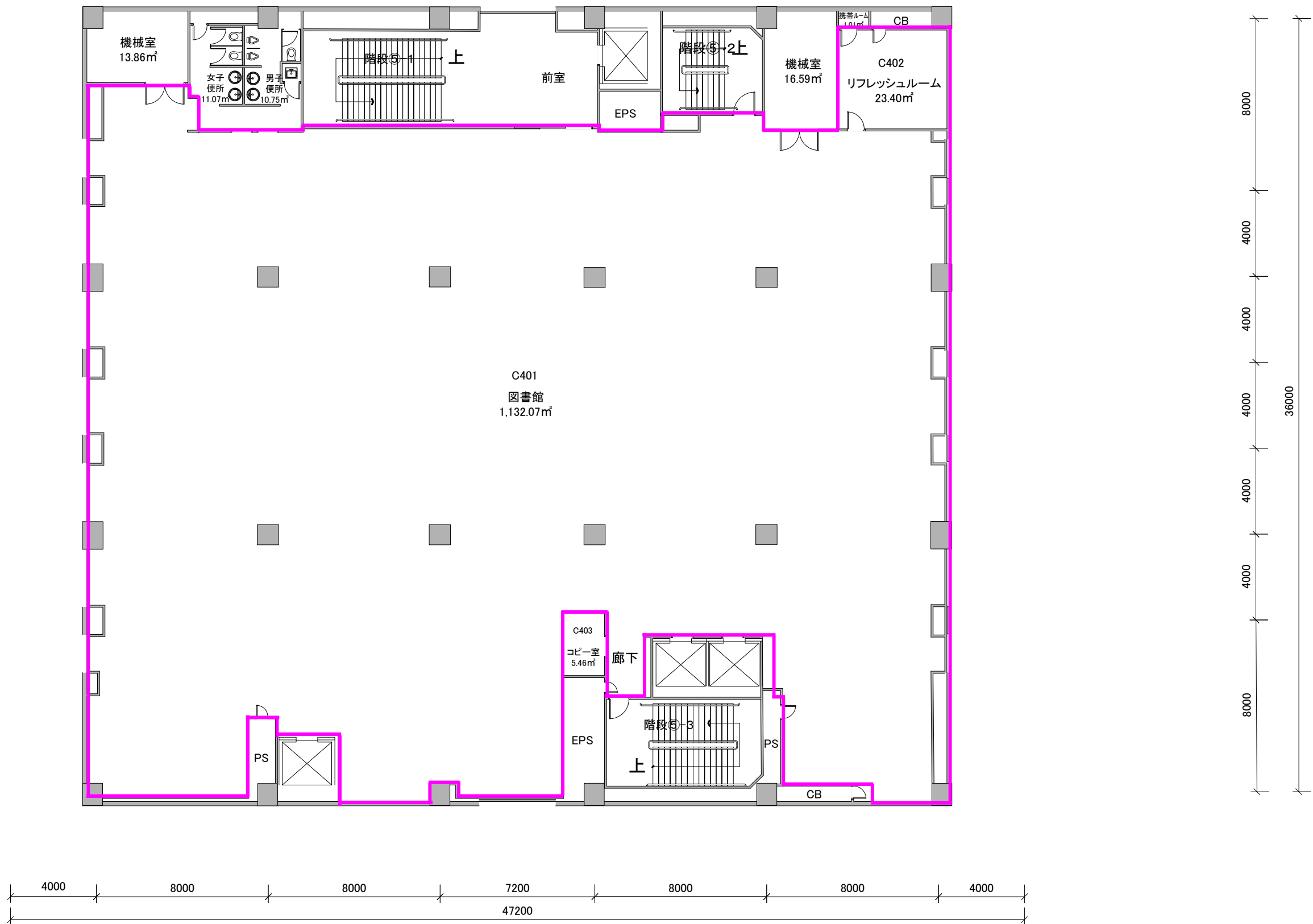


学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 本部棟 2階				
ファイル名 C 本部棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 2 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27

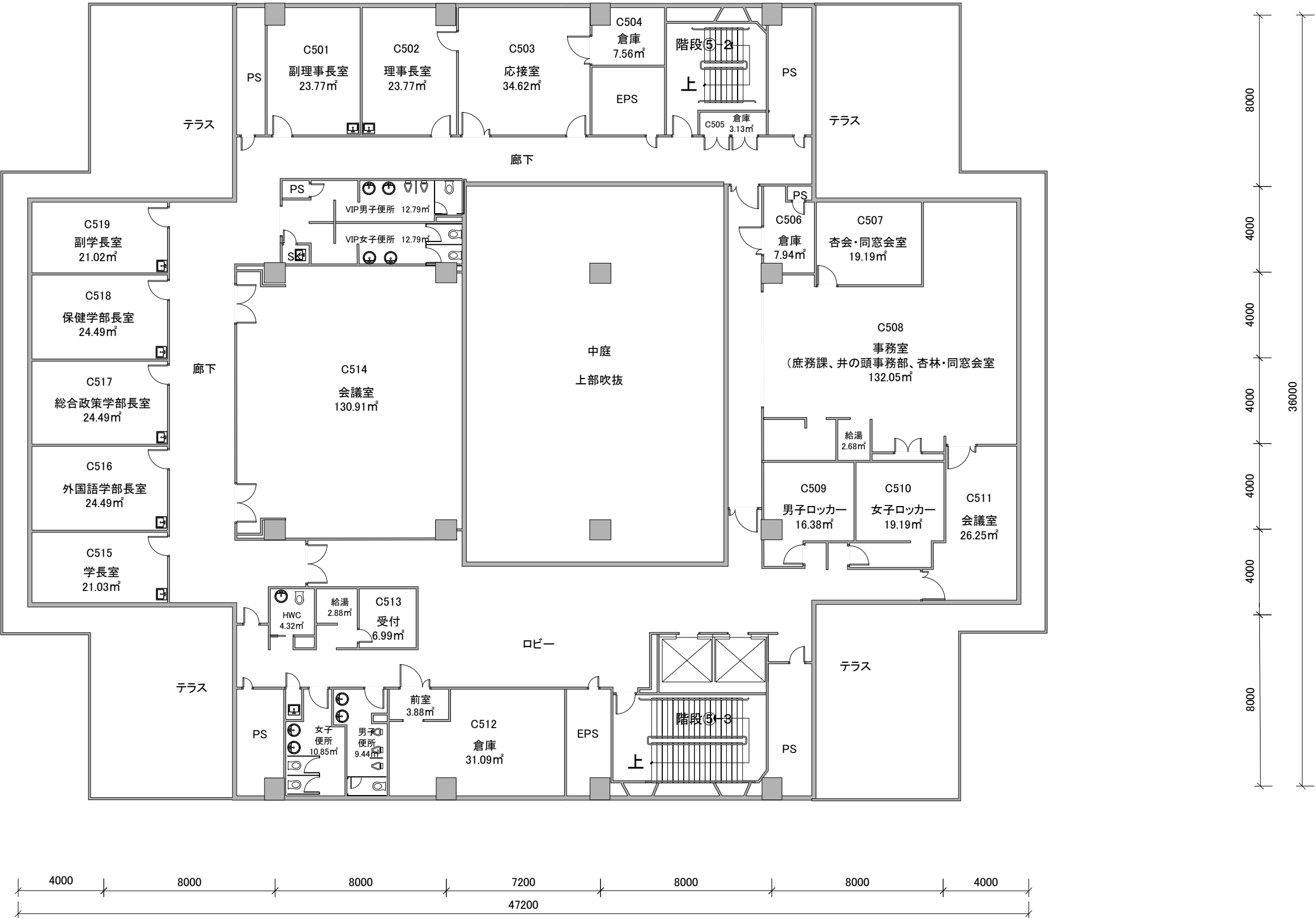


学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 本部棟 3階				
ファイル名 C 本部棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 3 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27

保健学部・総合政策学部・外国語学部共用



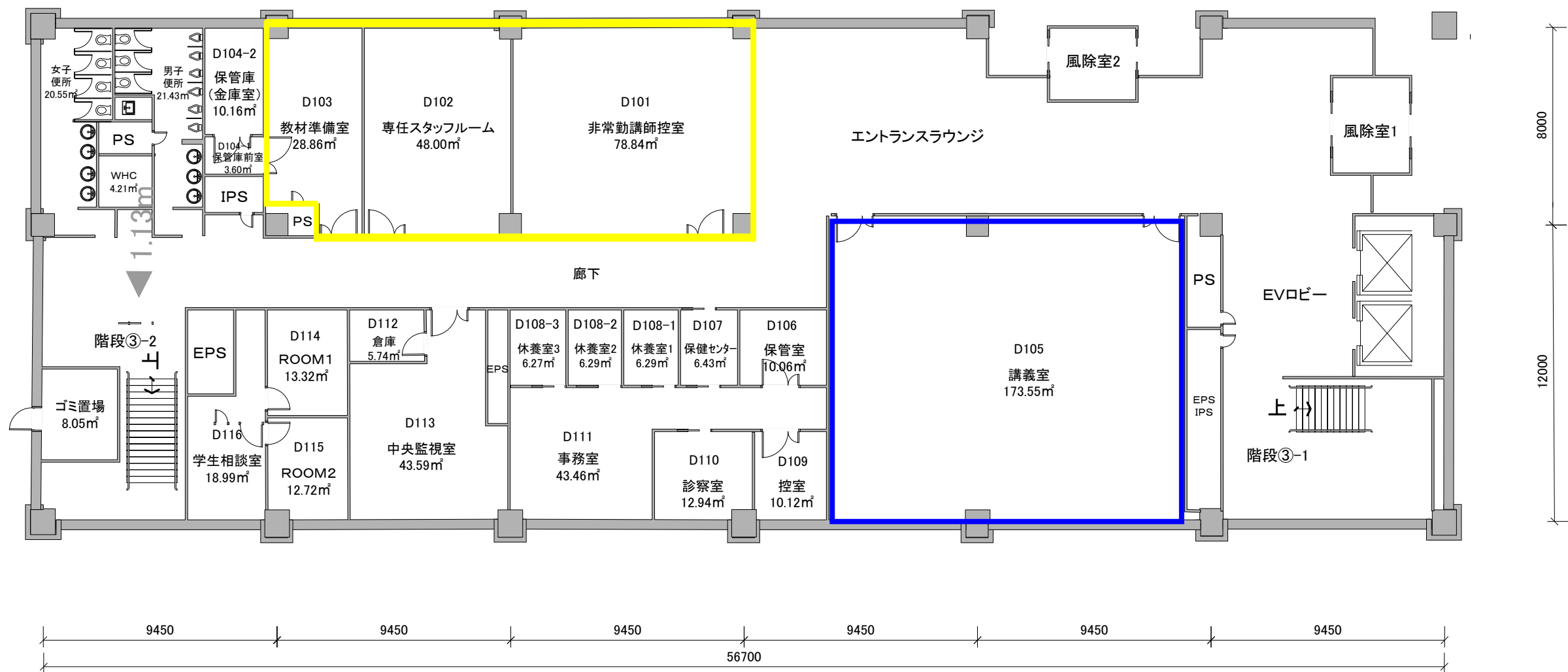
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 本部棟 4階				
ファイル名 C 本部棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 4 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27



学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 本部棟 5階				
ファイル名 C 本部棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 5 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27

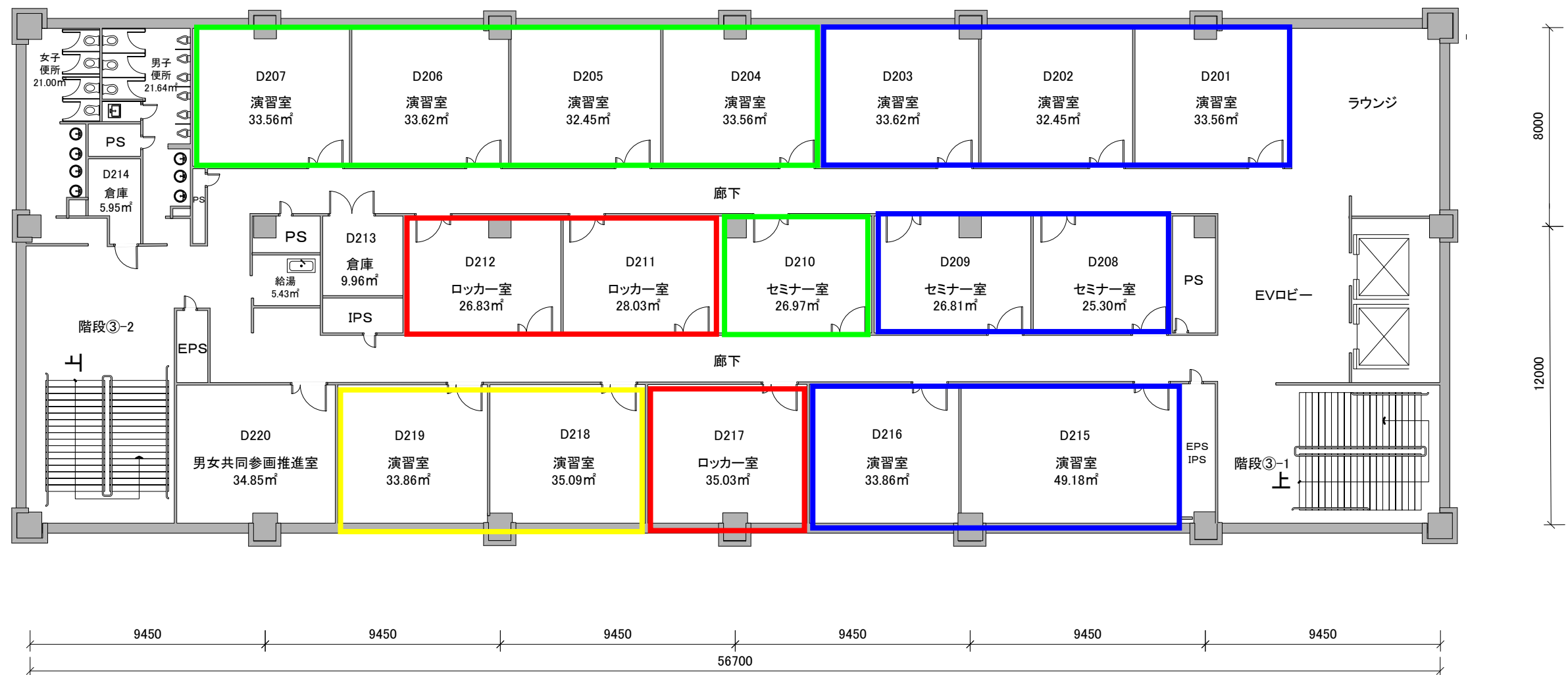
総合政策学部・外国語学部共有

総合政策学部



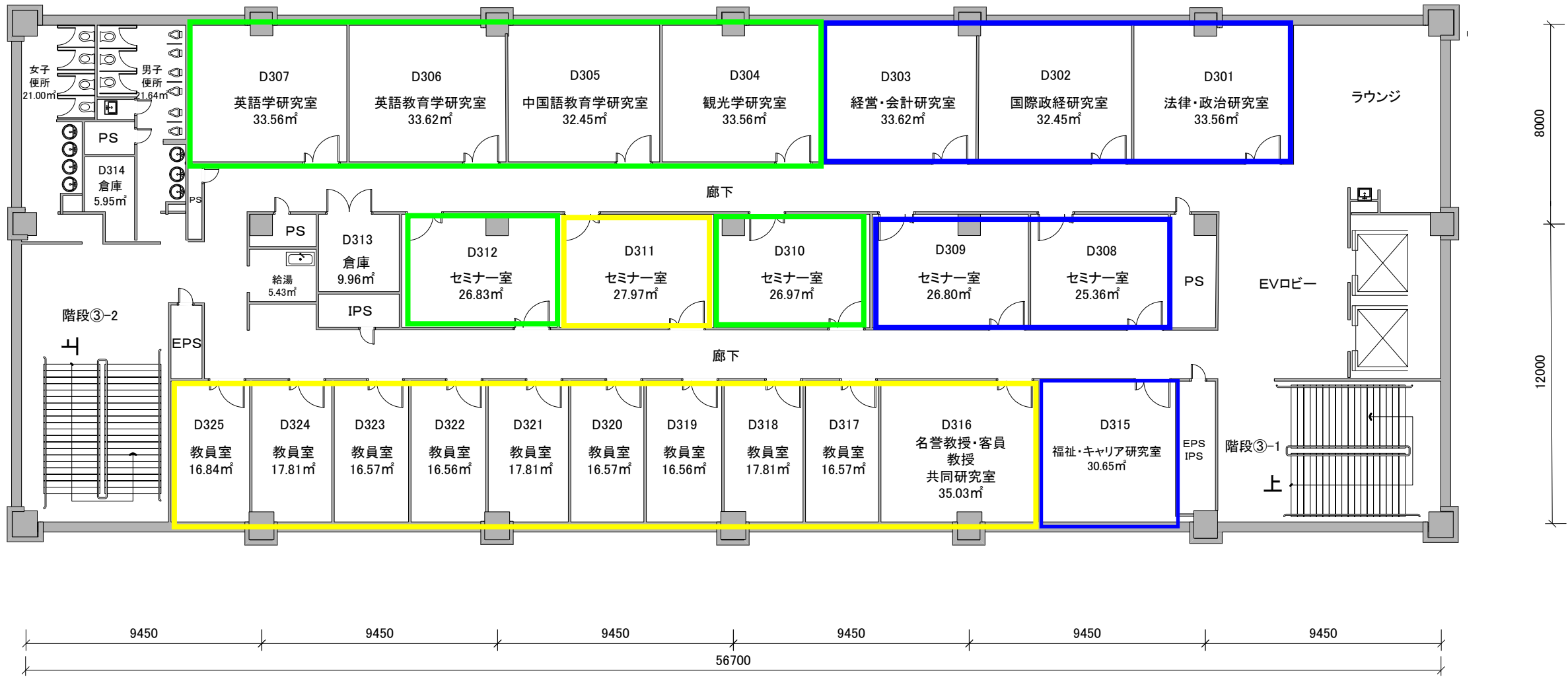
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 文系学部研究棟 1階				
ファイル名 D 文系学部研究棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 1 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27

- 総合政策学部・外国語学部共有
- 保健学部
- 総合政策学部
- 外国語学部



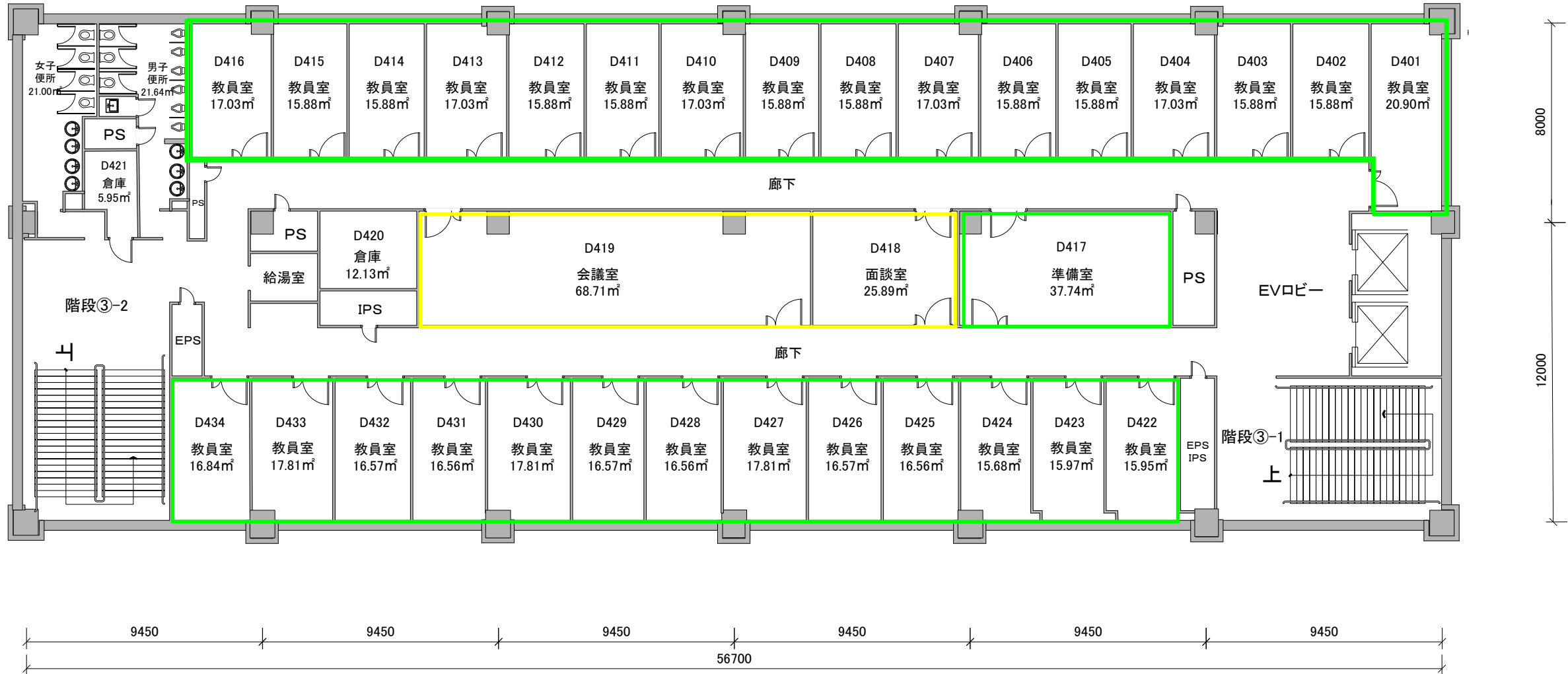
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 文系学部研究棟 2階				
ファイル名 D 文系学部研究棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 2 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27

- 外国語学部
- 総合政策学部
- 総合政策学部・外国語学部共有



学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 文系学部研究棟 3階				
ファイル名 D 文系学部研究棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 3 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27

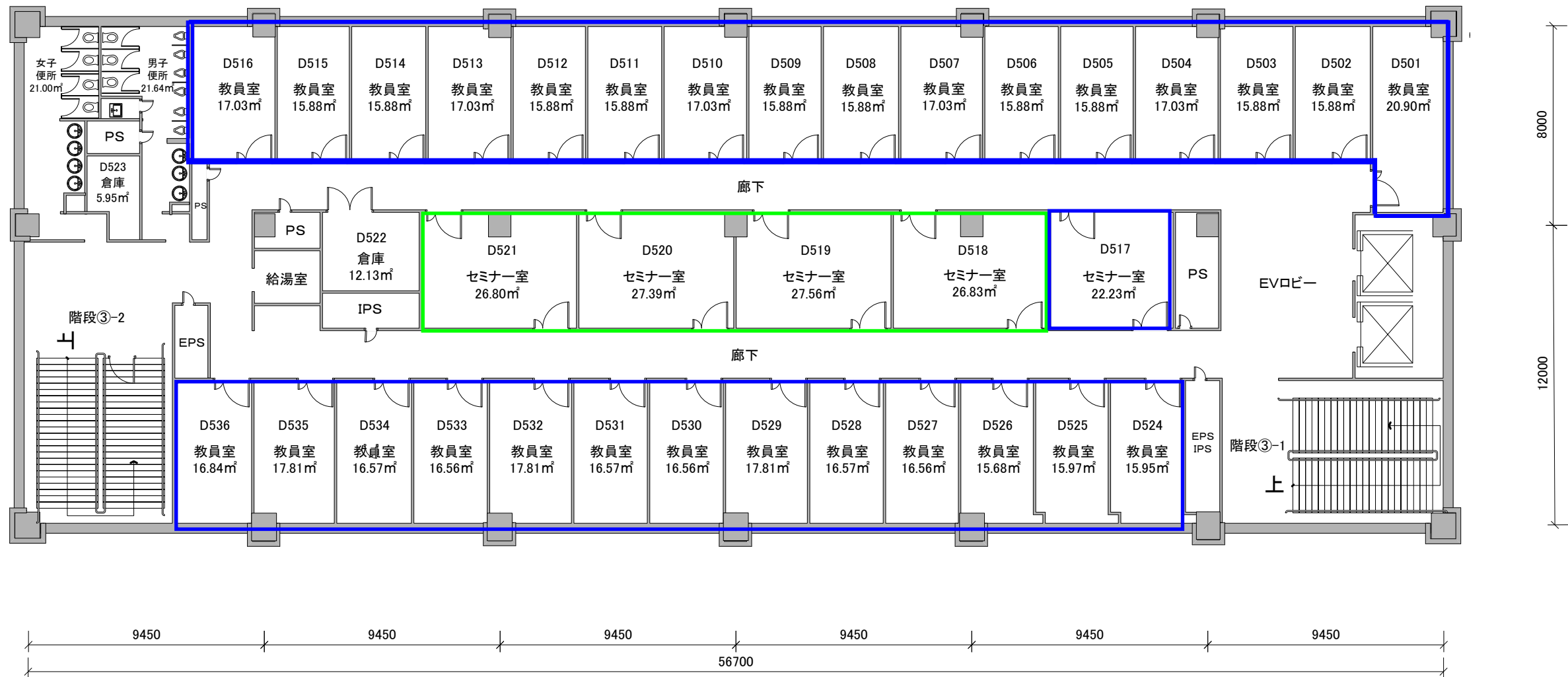
- 外国語学部
- 総合政策学部・外国語学部共有



学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 文系学部研究棟 4階				
ファイル名 D 文系学部研究棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 4 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27

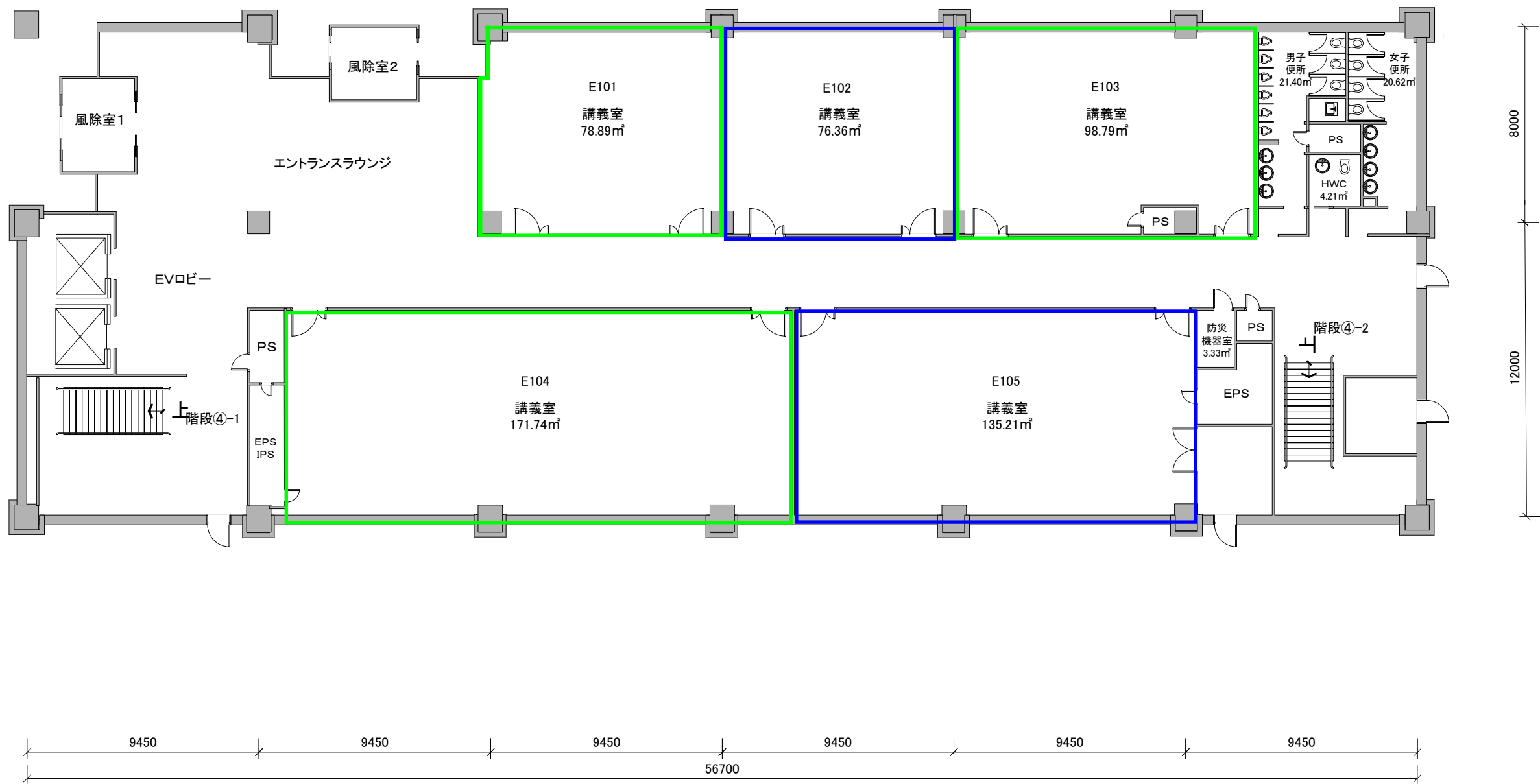
総合政策学部

外国語学部



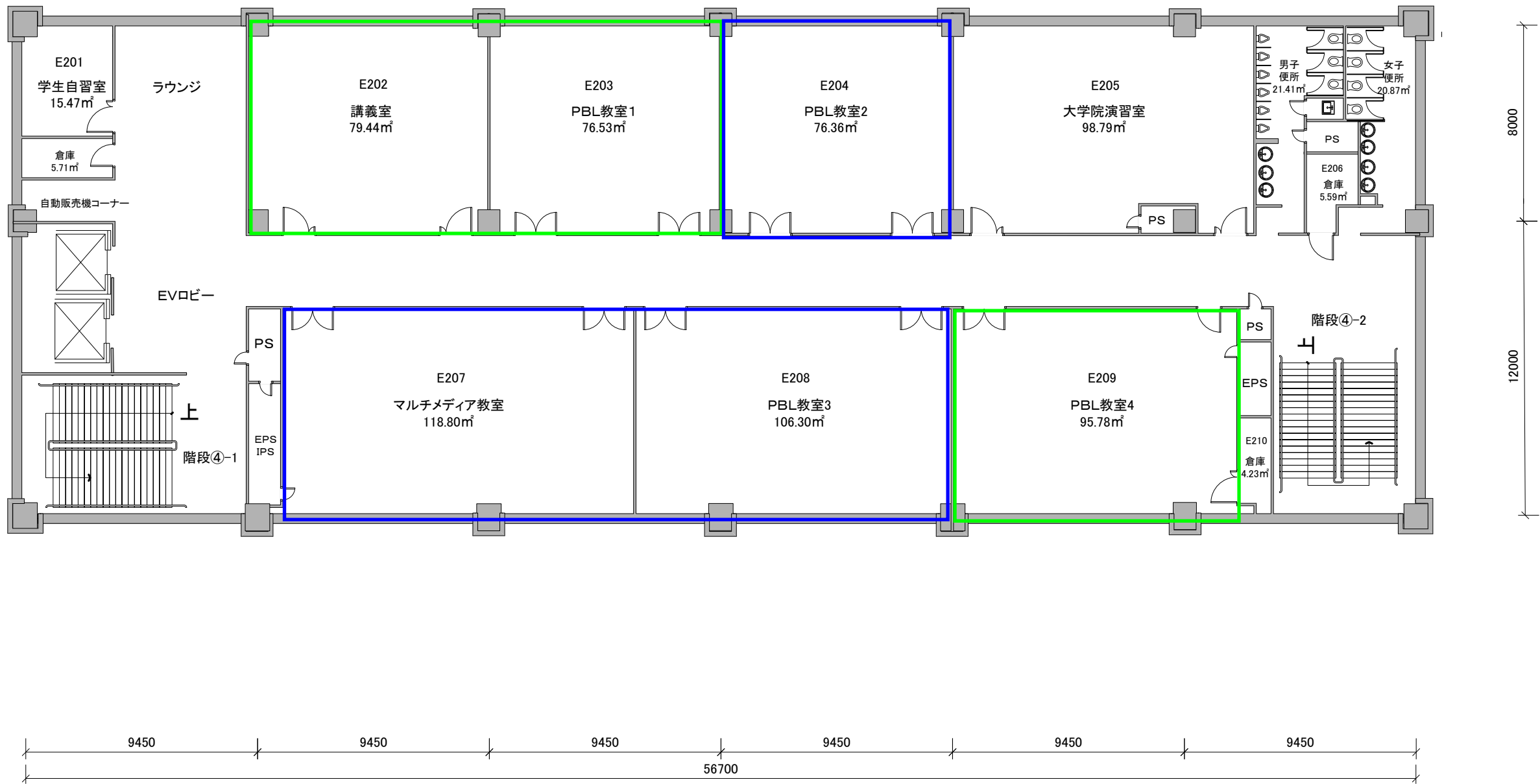
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 文系学部研究棟 5階				
ファイル名 D 文系学部研究棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 5 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27

総合政策学部
外国語学部



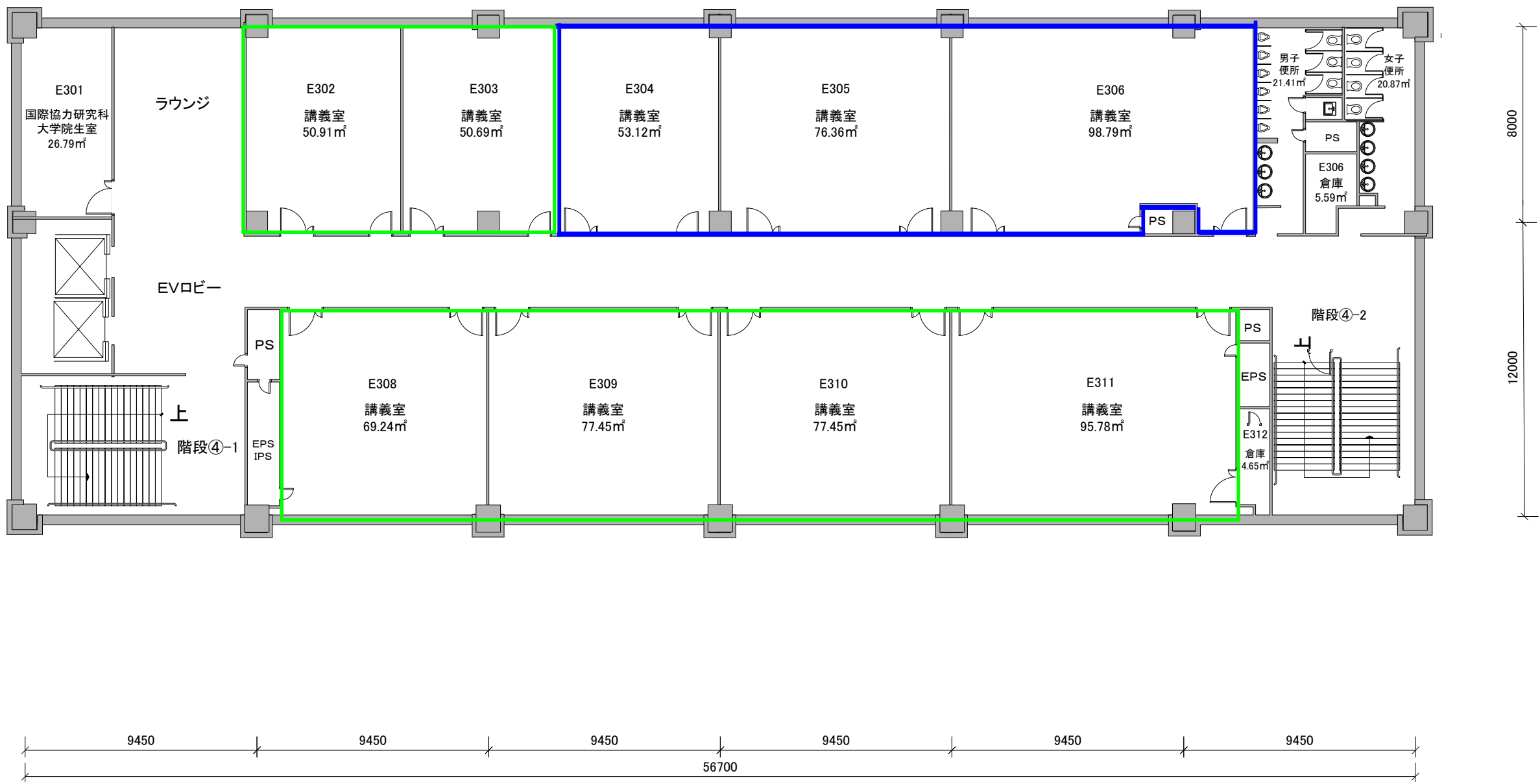
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 文系学部講義棟 1階				
ファイル名 E 文系学部講義棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 1 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27

総合政策学部
外国語学部



学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル				
文系学部講義棟 2階				
ファイル名				
E 文系学部講義棟.VSD				
縮尺	ページ	サイズ	作成者	日付
1: 200	2 / 5	A3		2015/7/27

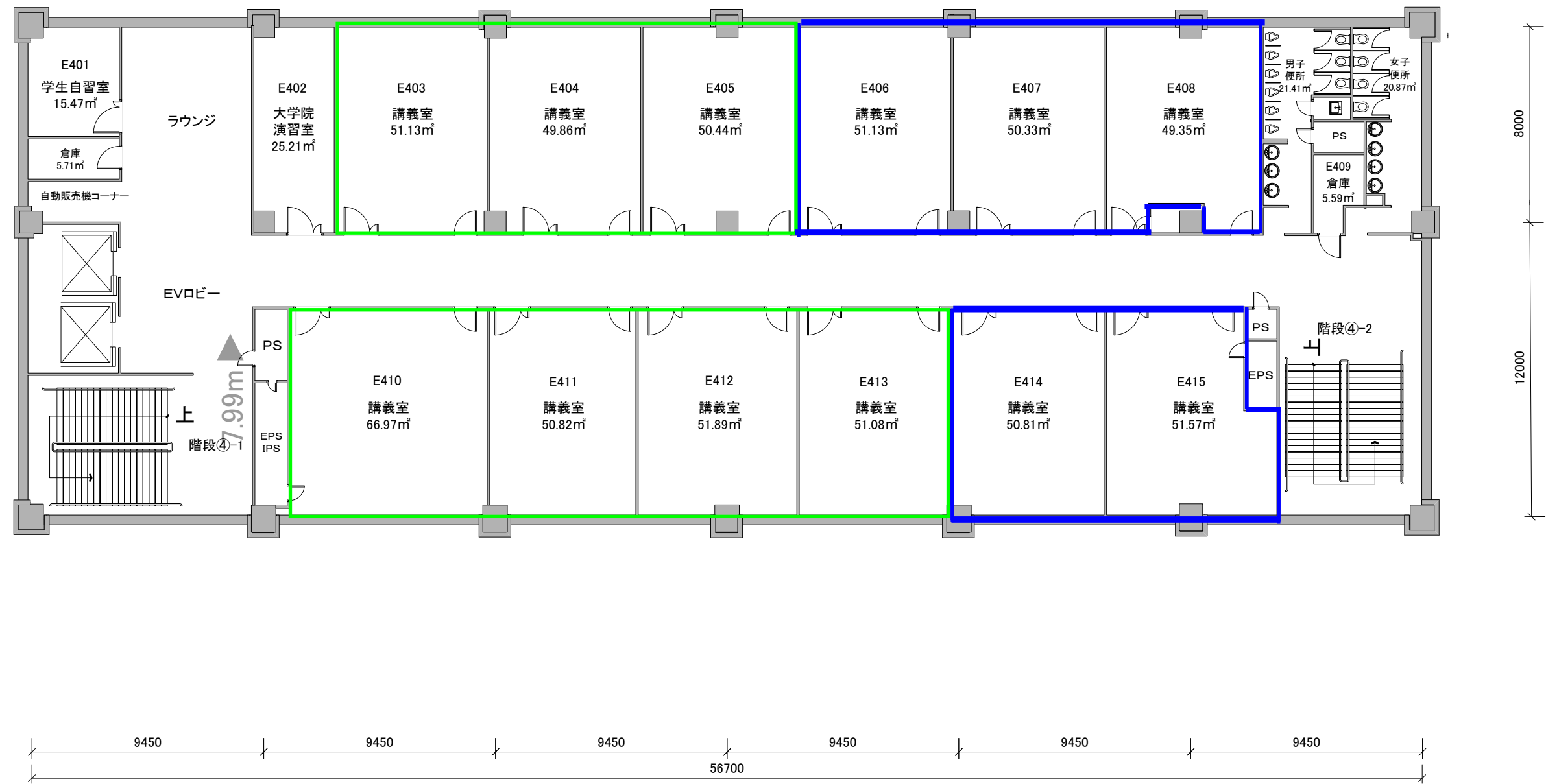
—— 総合政策学部
—— 外国語学部



学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 文系学部講義棟 3階				
ファイル名 E 文系学部講義棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 3 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27

—— 総合政策学部

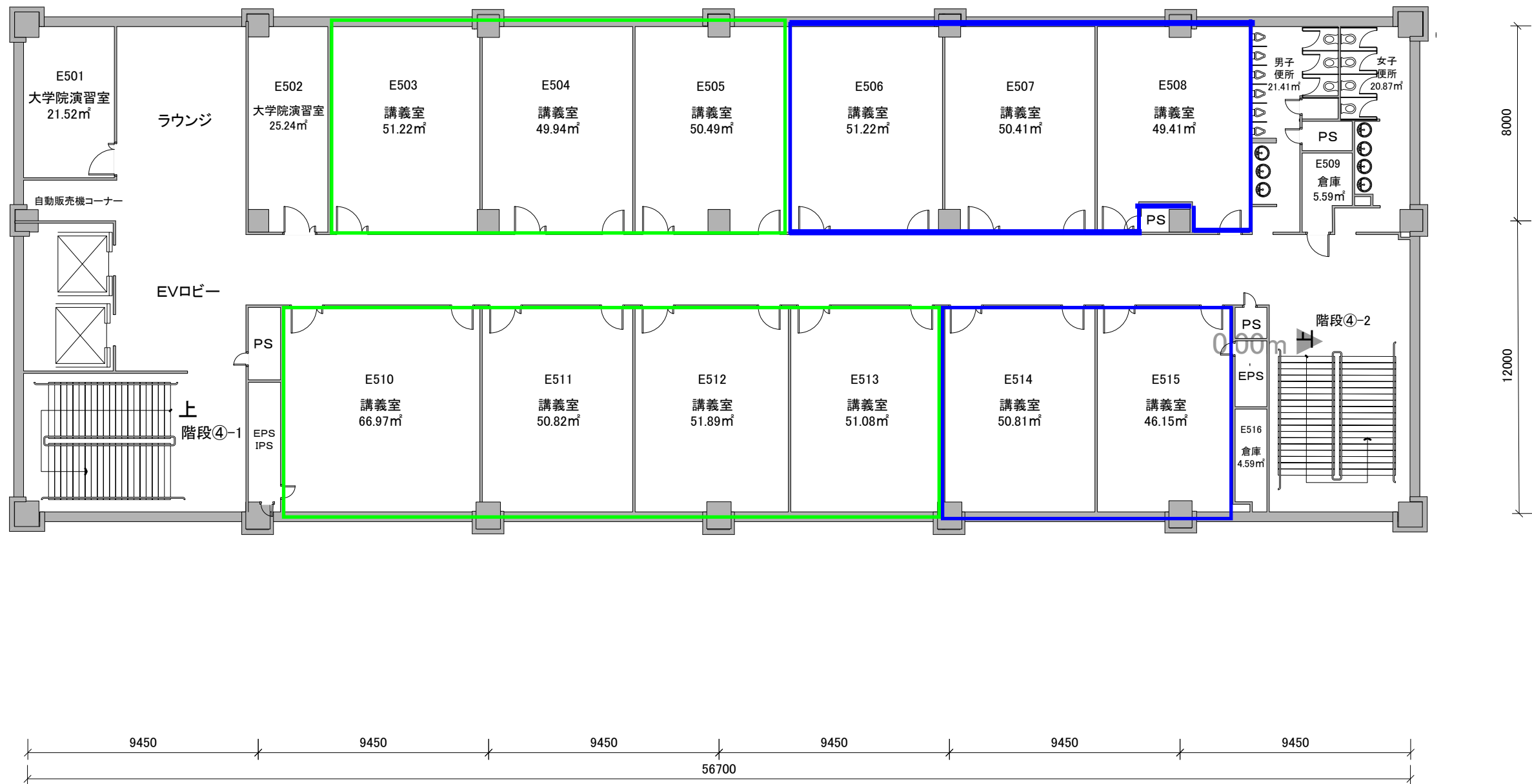
—— 外国語学部



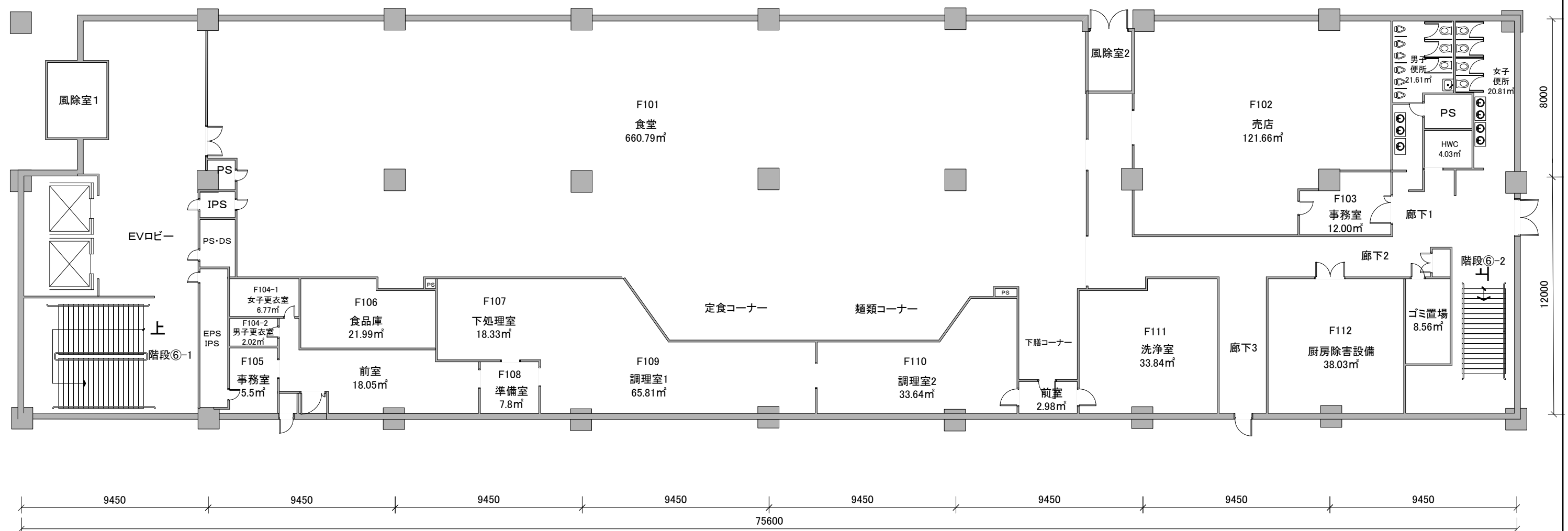
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 文系学部講義棟 4階				
ファイル名 E 文系学部講義棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 4 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27

総合政策学部

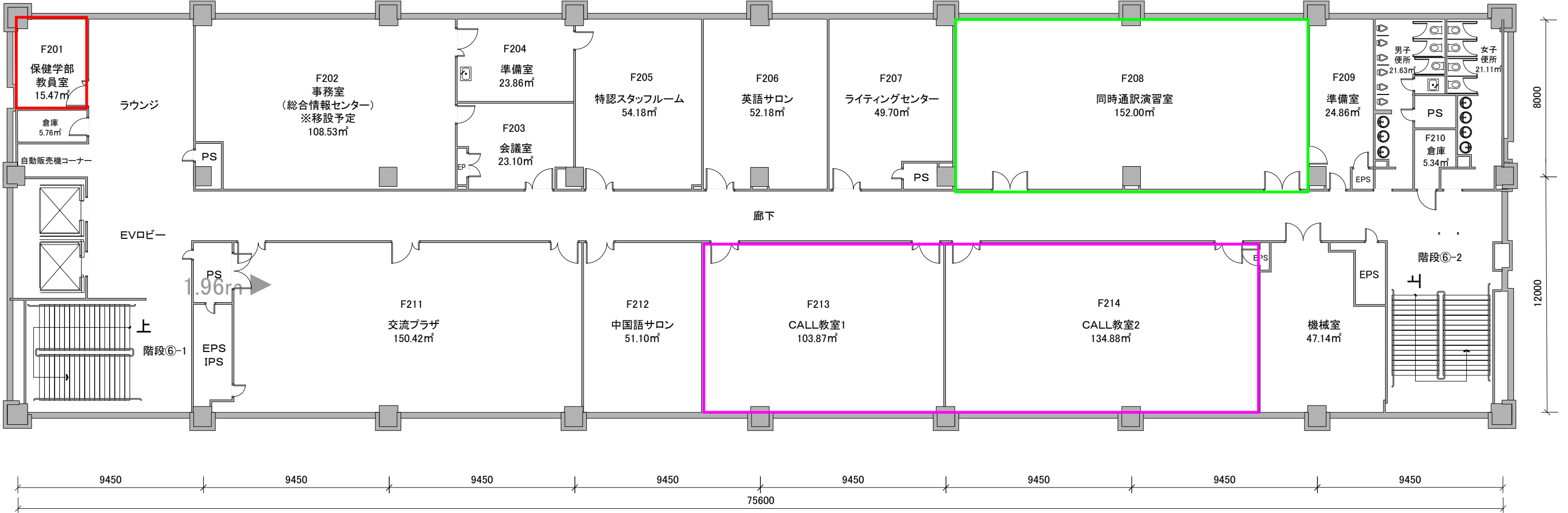
外国語学部



学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 文系学部研究棟 5階				
ファイル名 E 文系学部講義棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 5 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27

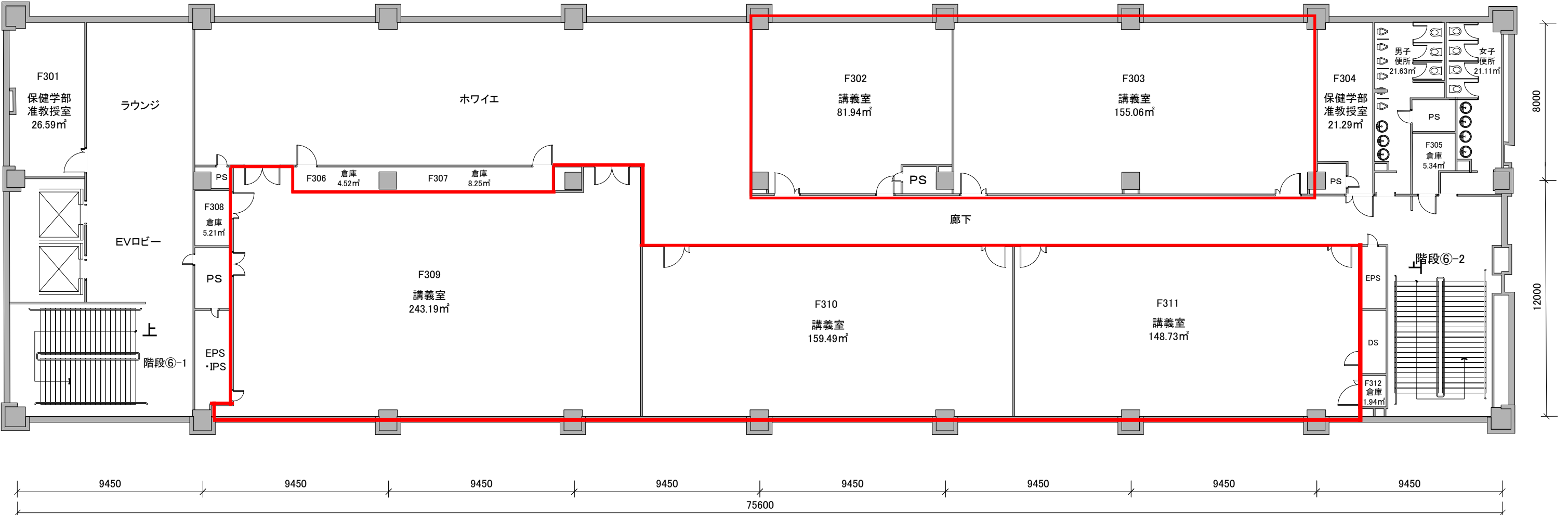


- 保健学部
- 外国語学部
- 保健学部・総合政策学部・外国語学部共用

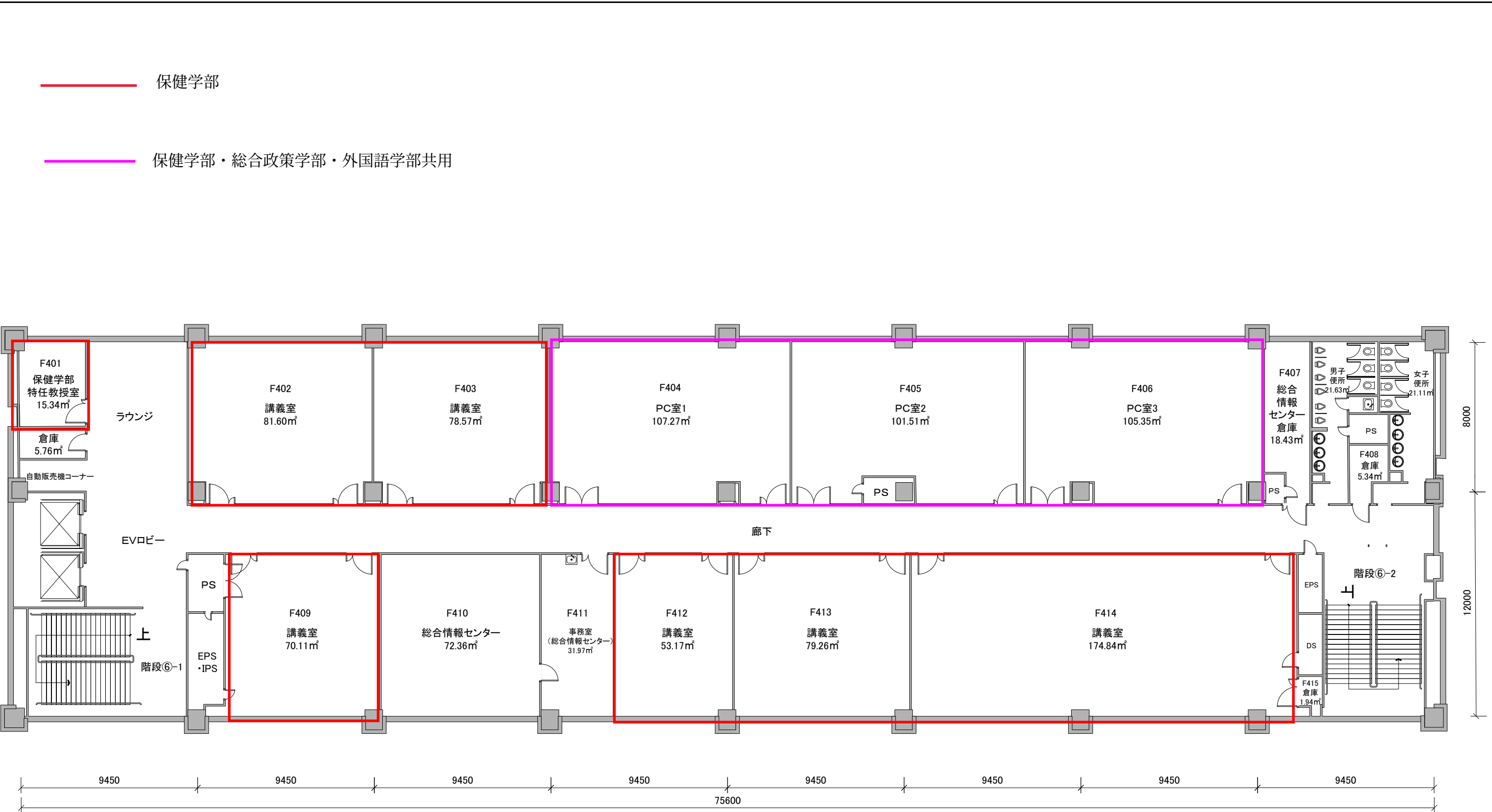


学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 医学部・共用棟 2階				
ファイル名 F 医学部・共用棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 2 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27

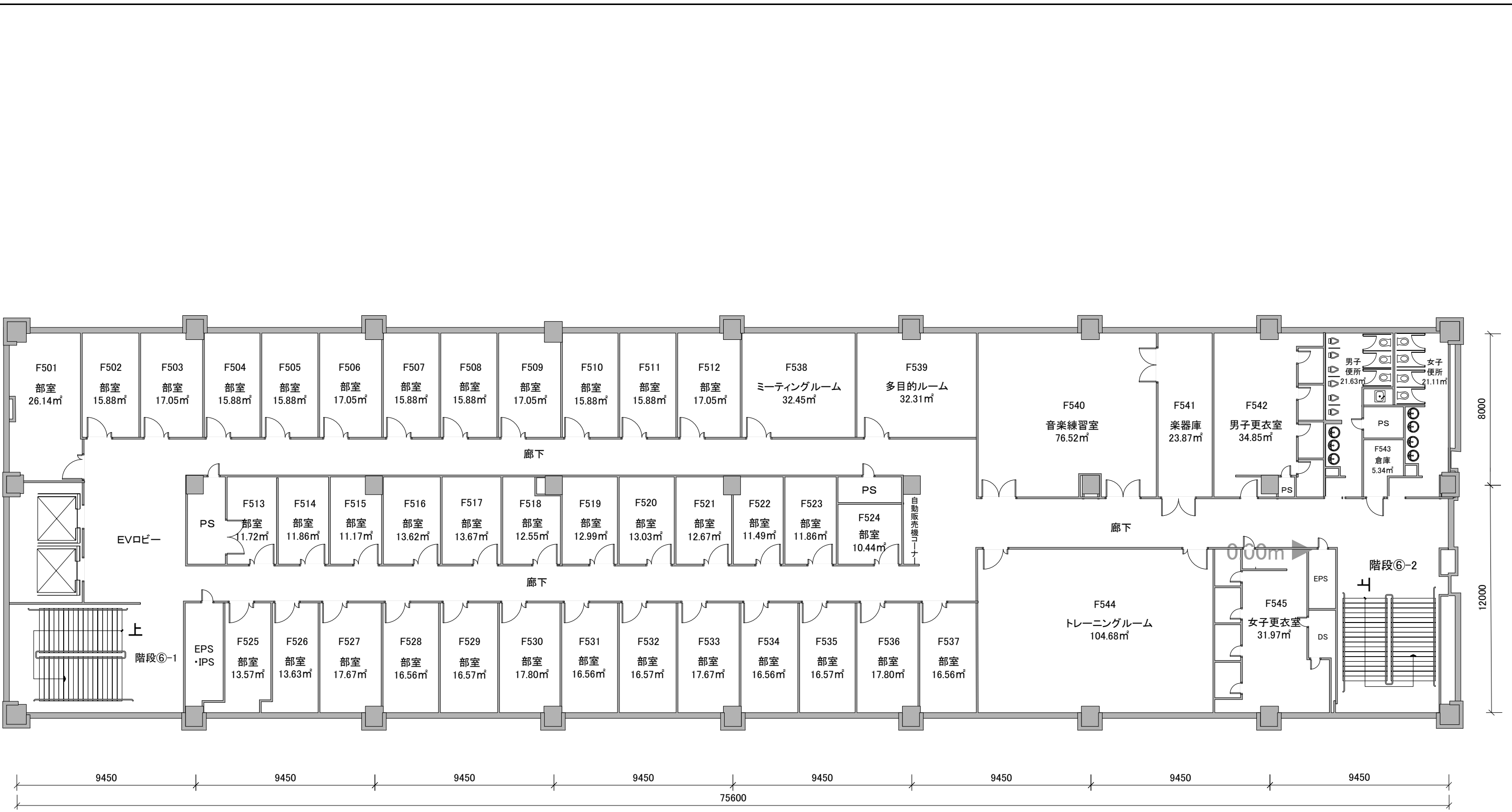
保健学部



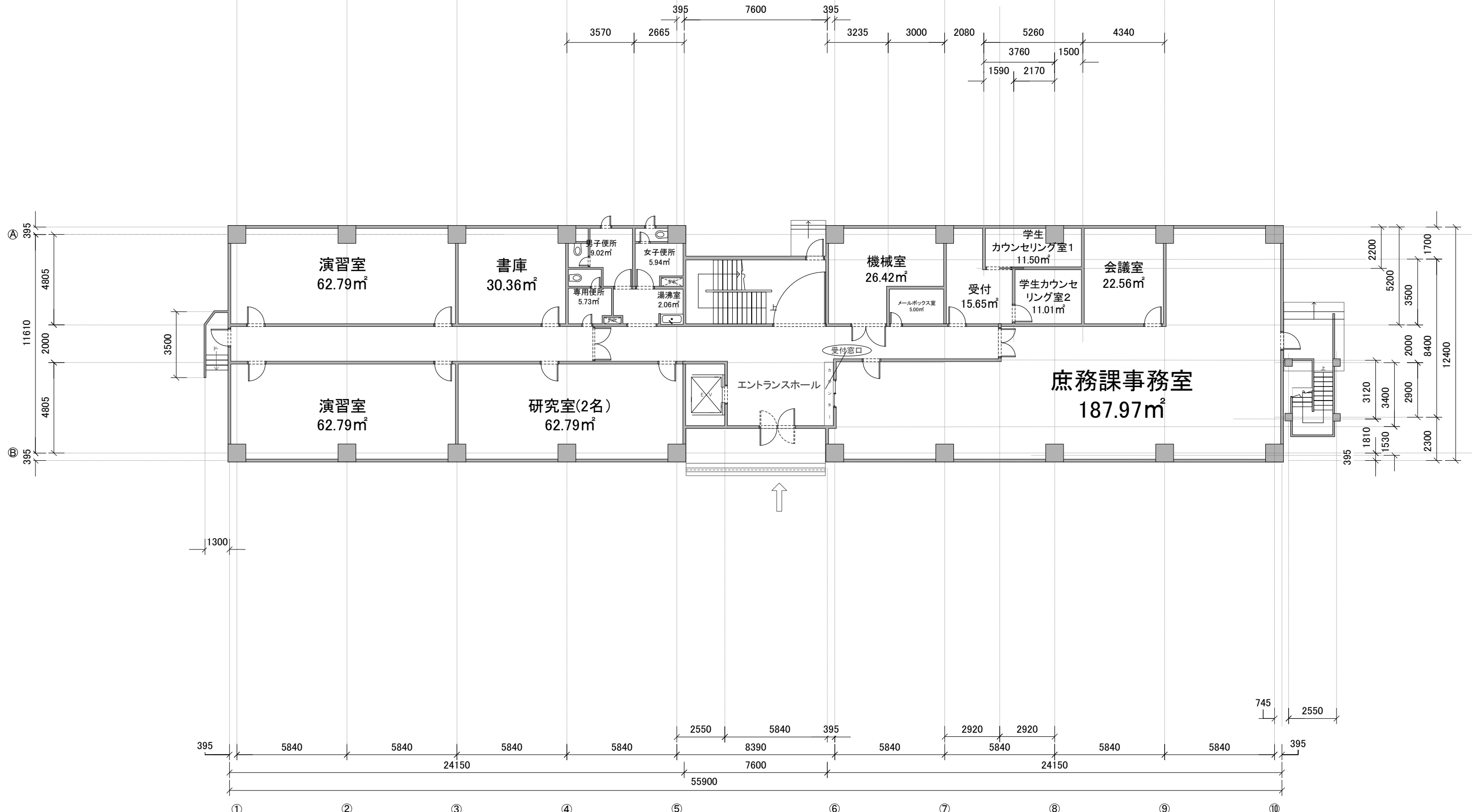
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 医学部・共用棟 3階				
ファイル名 F 医学部・共用棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 3 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27



学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 医学部・共用棟 4階				
ファイル名 F 医学部・共用棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 4 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27



学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 医学部・共用棟 5階				
ファイル名 F 医学部・共用棟.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 5 / 5	サイズ A3	作成者	日付 2015/7/27



改修前



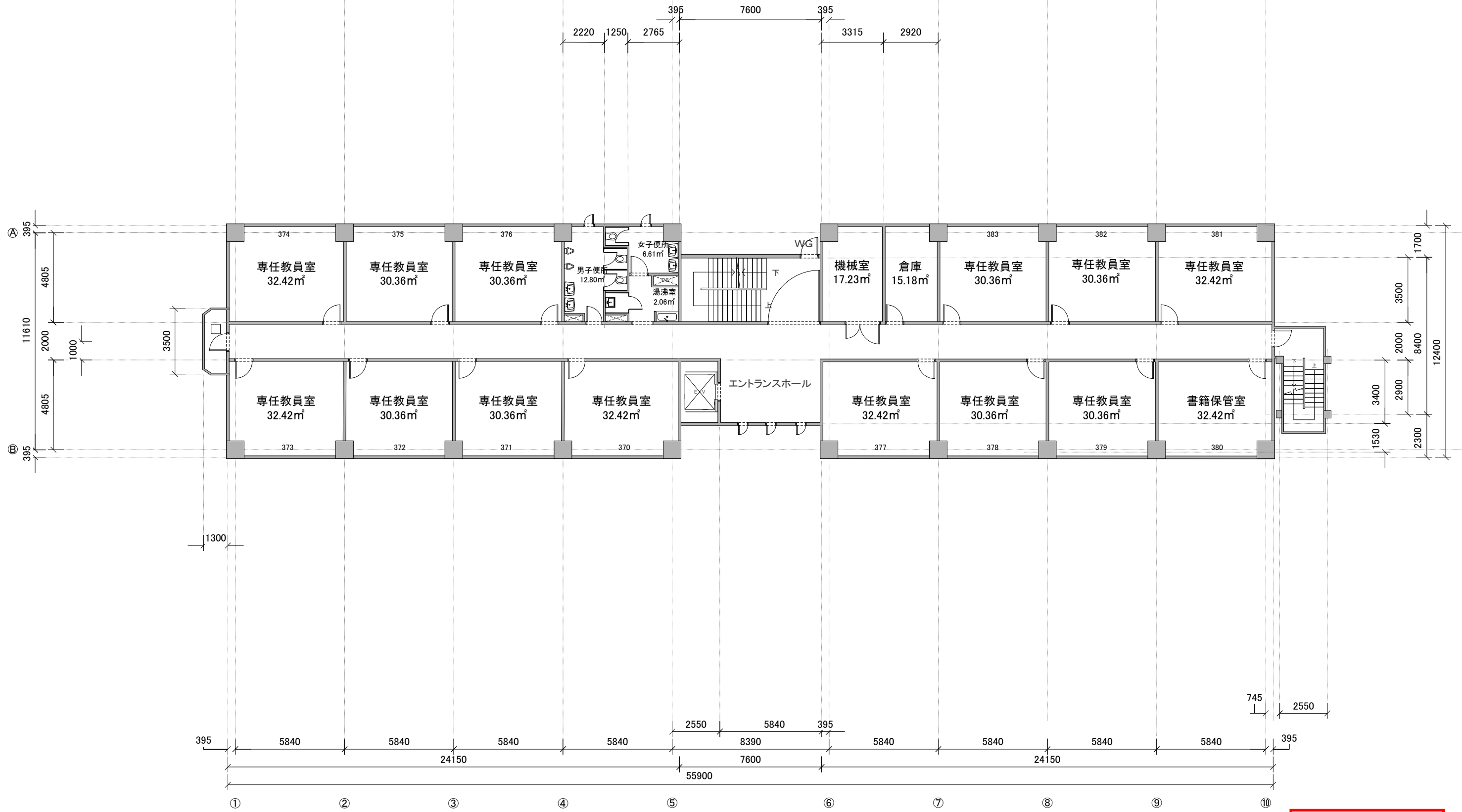
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル G棟「総合政策学部研究棟」1階平面図 床面積 662.76㎡				
ファイル名 G棟平面図H25.6.1.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 1 / 6	サイズ A3	作成者 手塚 敦	日付 2011/2/1



改修前



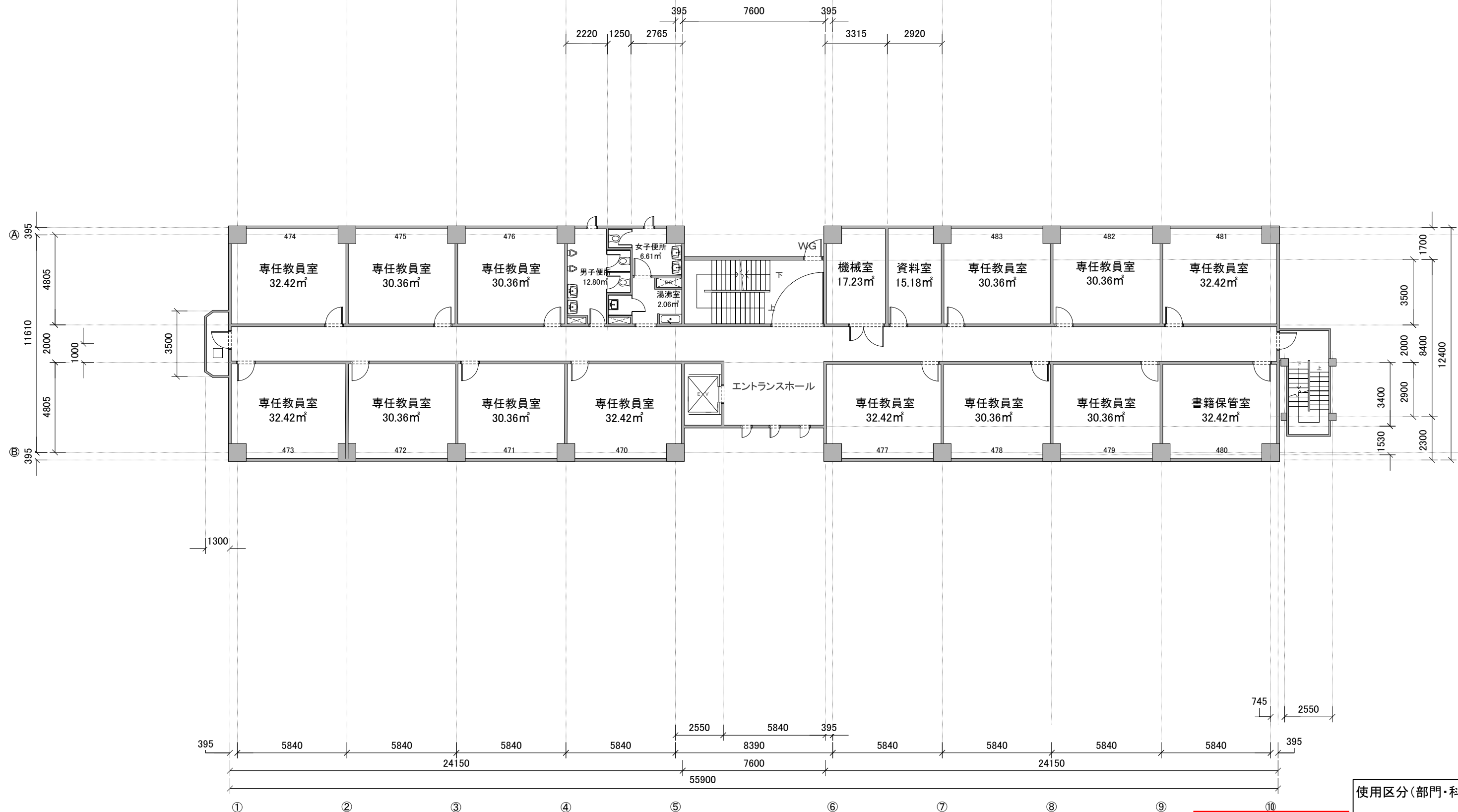
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル G棟「総合政策学部研究棟」2階平面図 床面積 662.76㎡				
ファイル名 G棟平面図H25.6.1.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 2 / 6	サイズ A3	作成者 手塚 敦	日付 2009/6/13



改修前



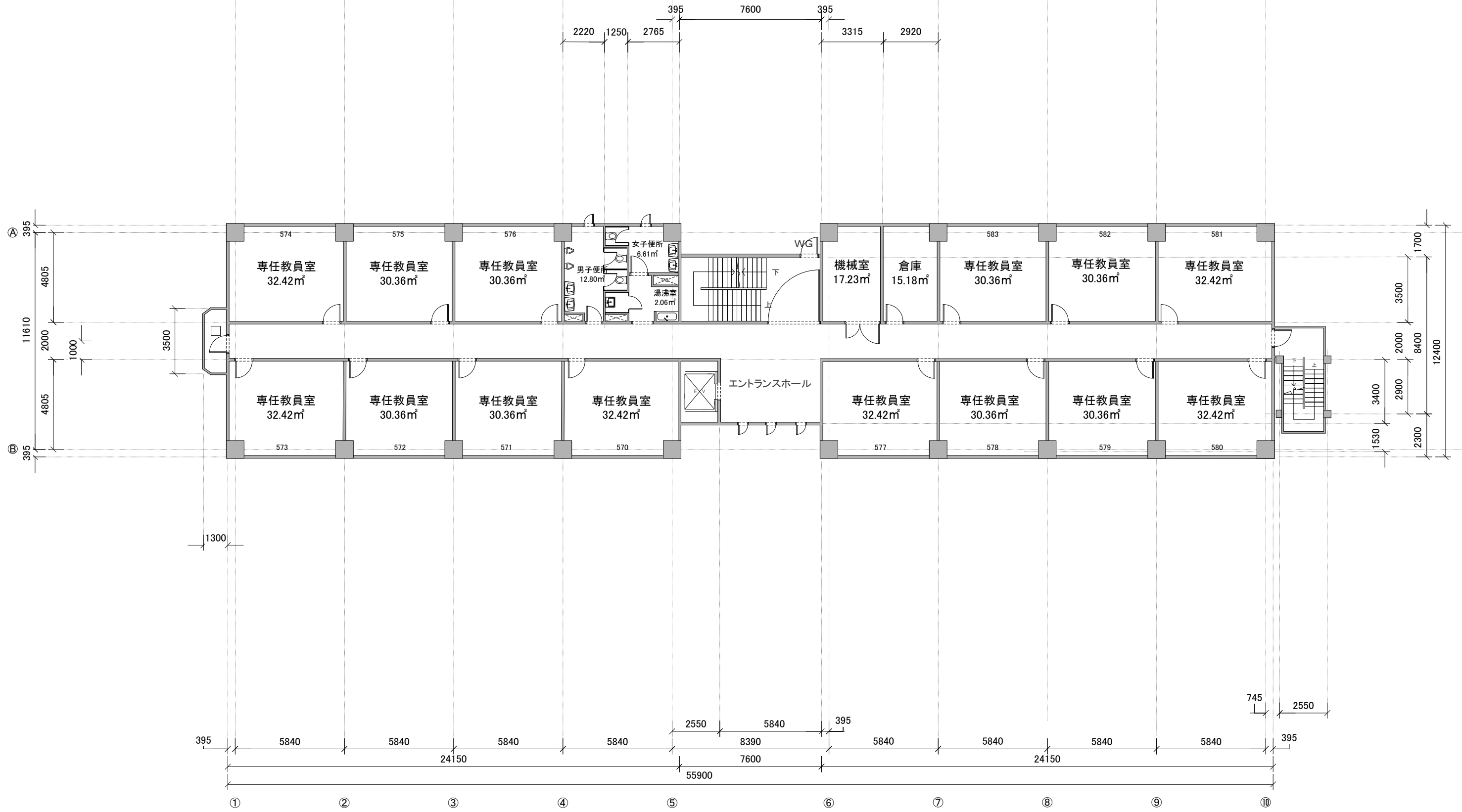
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル G棟「総合政策学部研究棟」3階平面図 床面積 662.76㎡				
ファイル名 G棟平面図H25.6.1.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 3 / 6	サイズ A3	作成者 手塚 敦	日付 2009/6/13



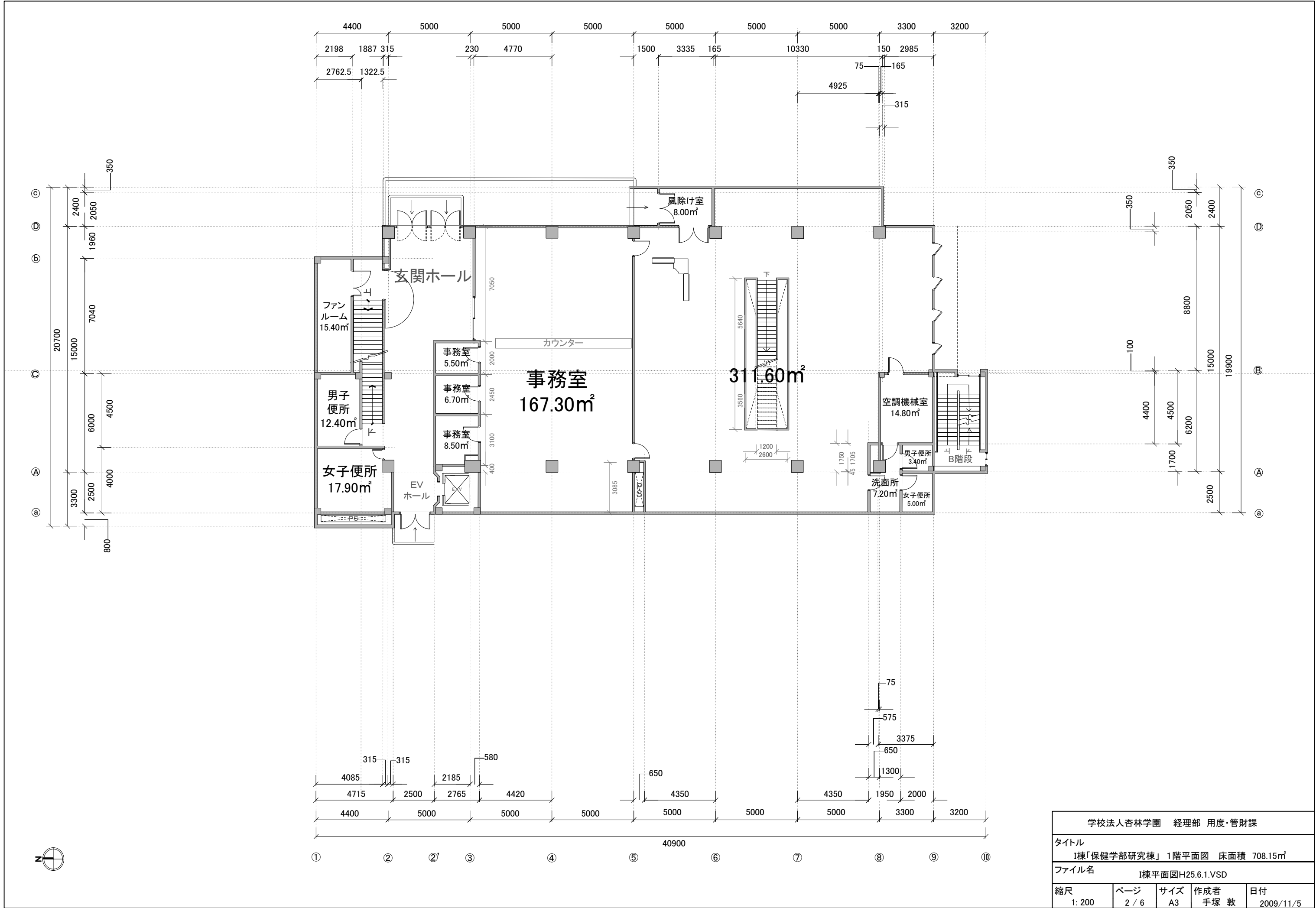
改修前

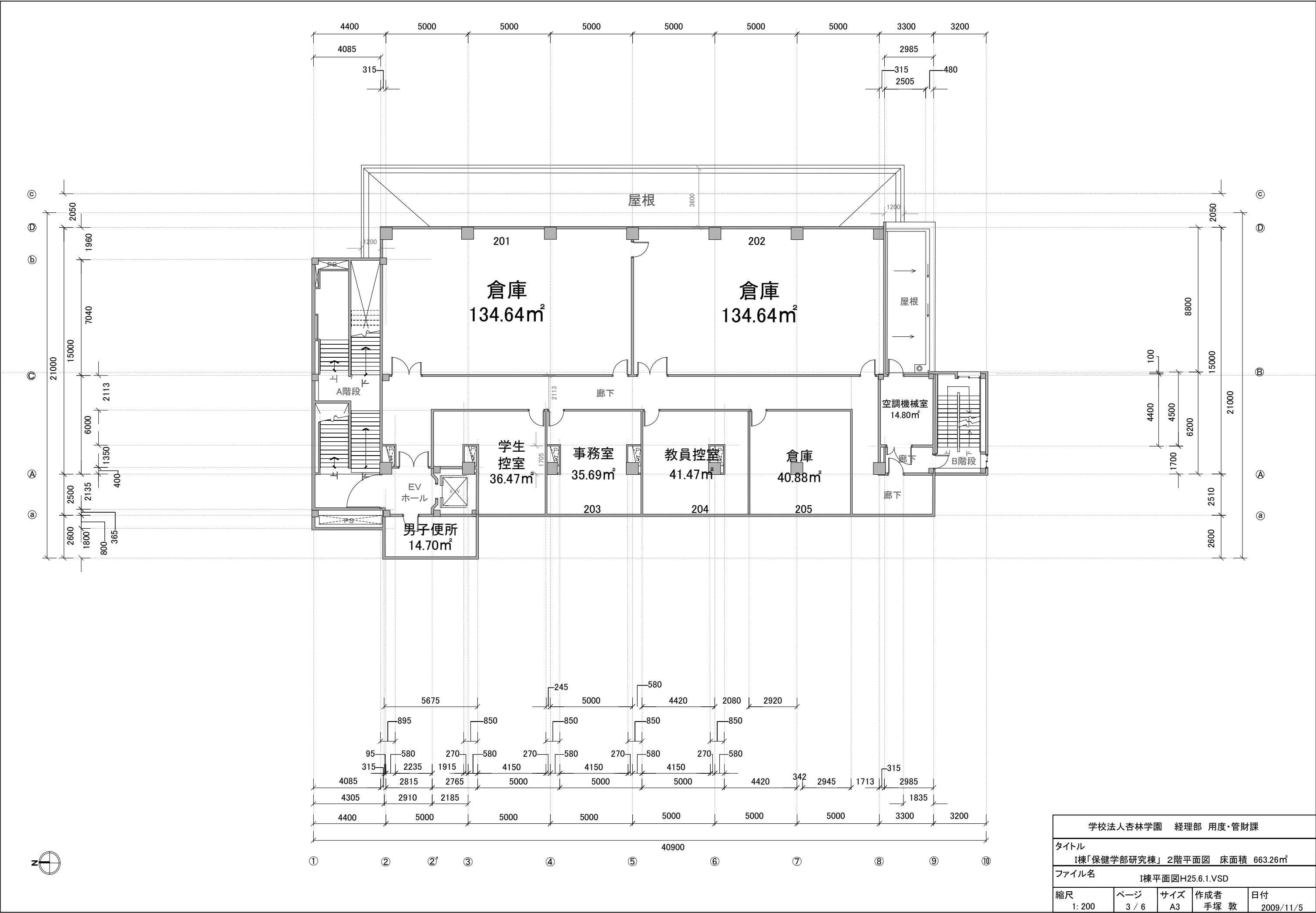
使用区分(部門・科目)

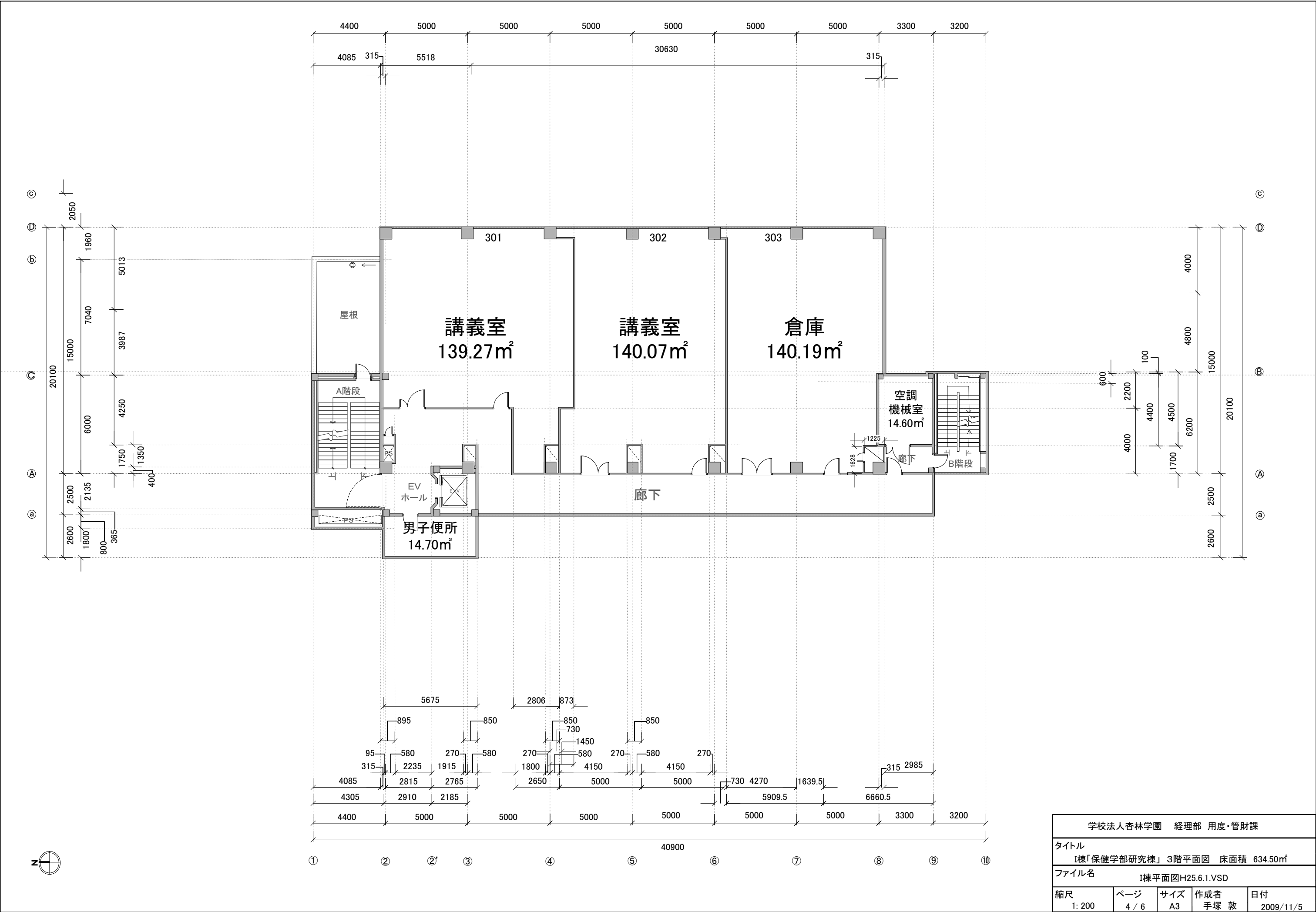
学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル G棟「総合政策学部研究棟」4階平面図 床面積 662.76㎡				
ファイル名 G棟平面図H25.6.1.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 4 / 6	サイズ A3	作成者 手塚 敦	日付 2009/6/13

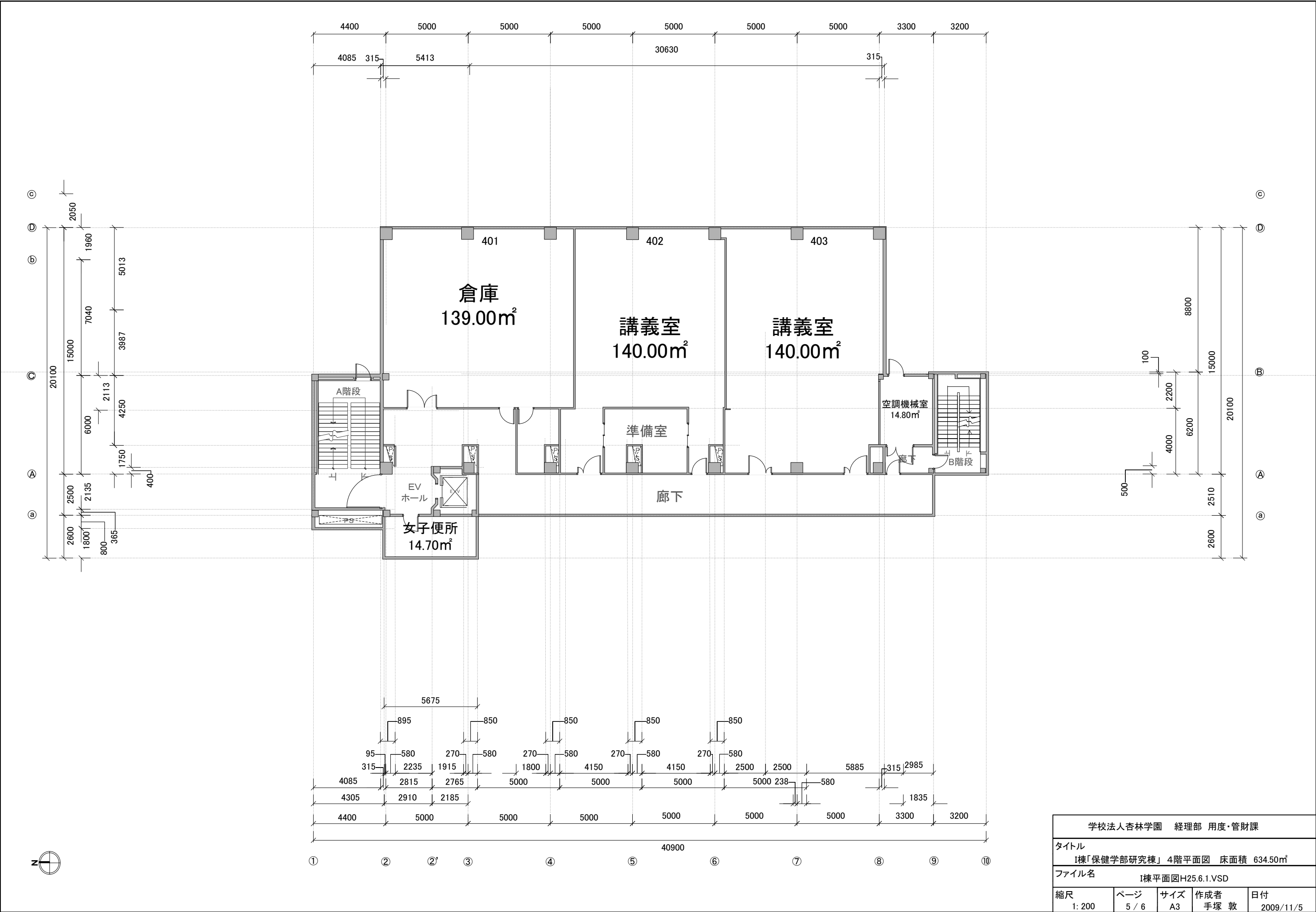


学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル G棟「総合政策学部研究棟」5階平面図 床面積 662.76㎡				
ファイル名 G棟平面図H25.6.1.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 5 / 6	サイズ A3	作成者 手塚 敦	日付 2009/6/13

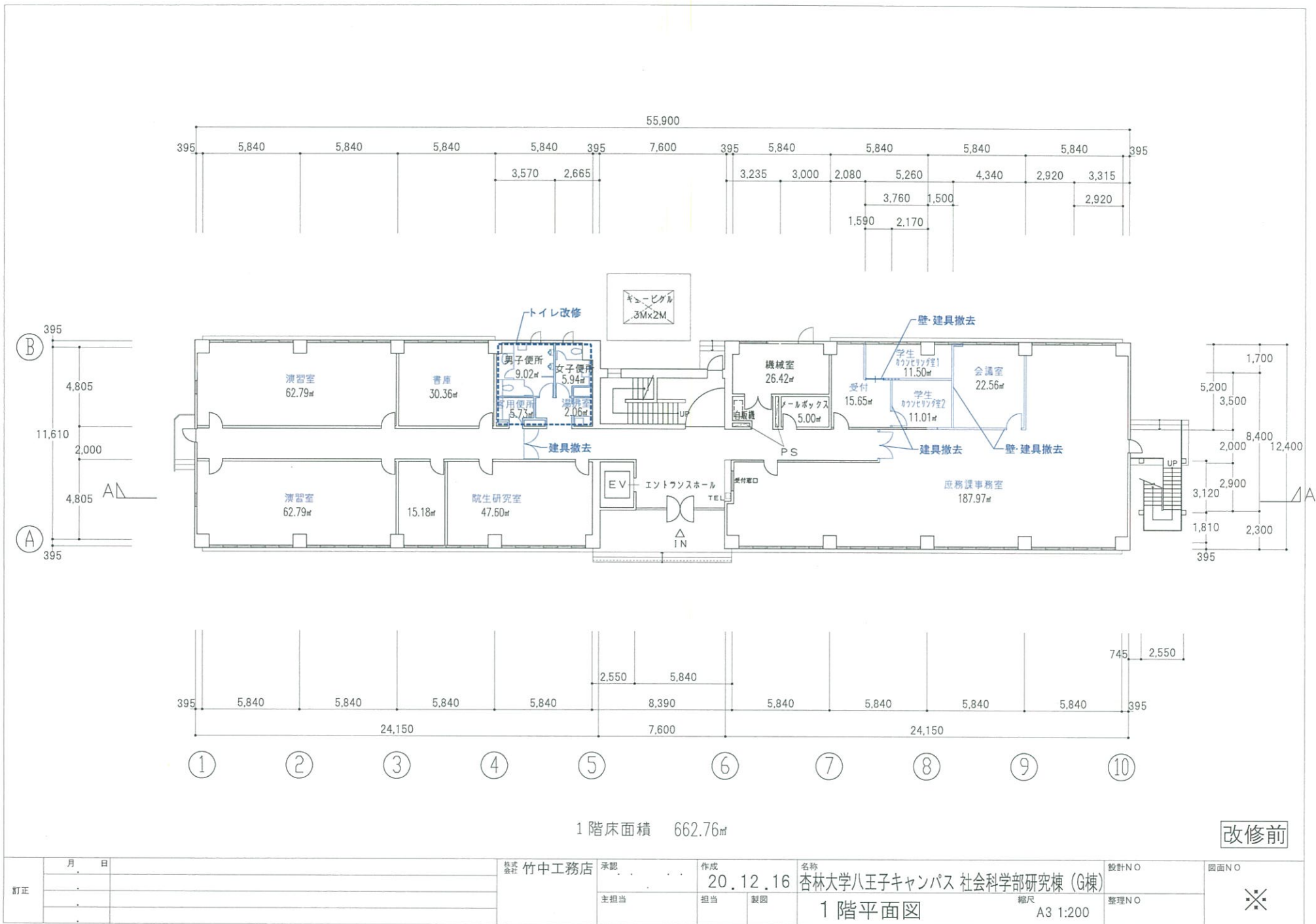


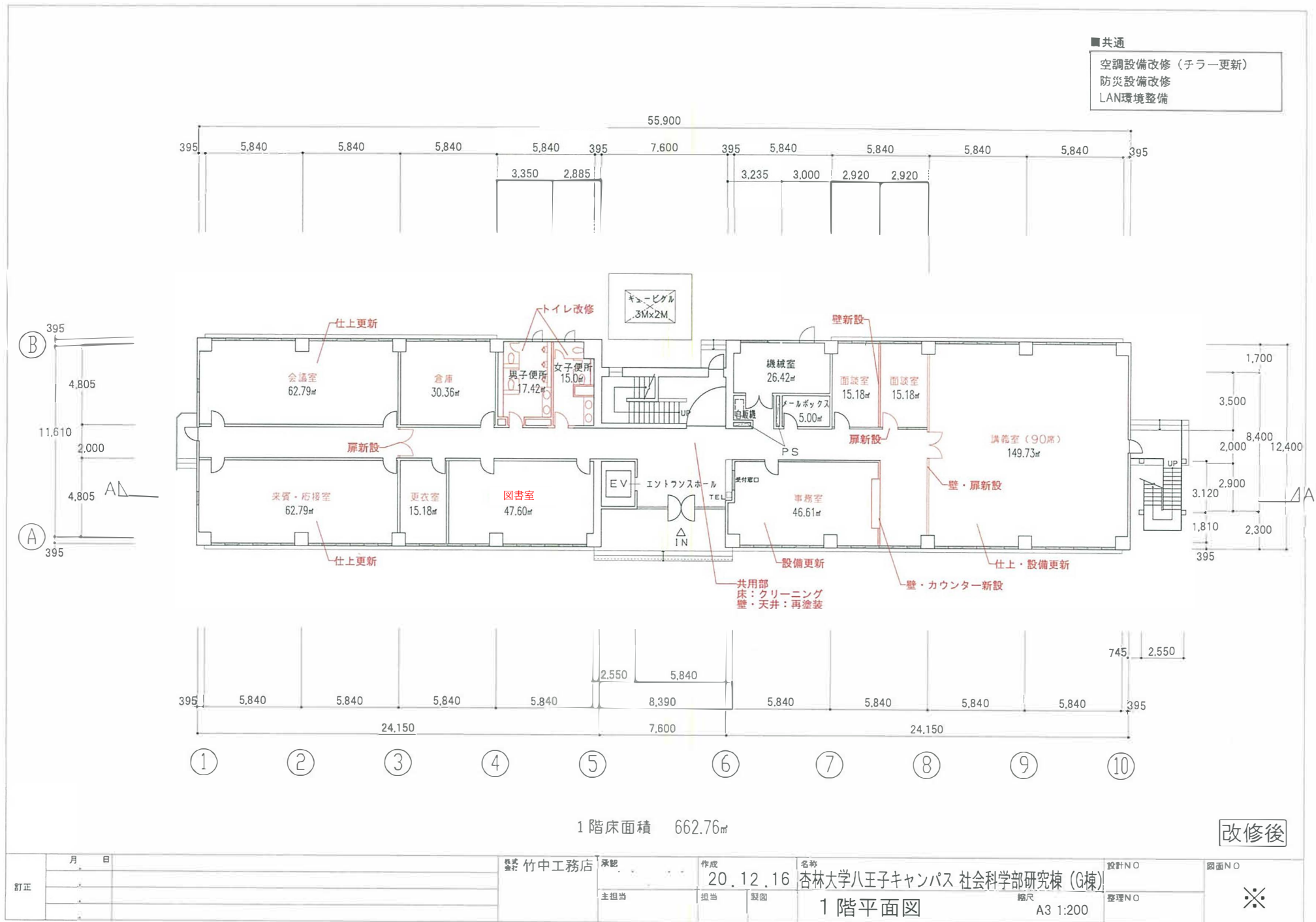


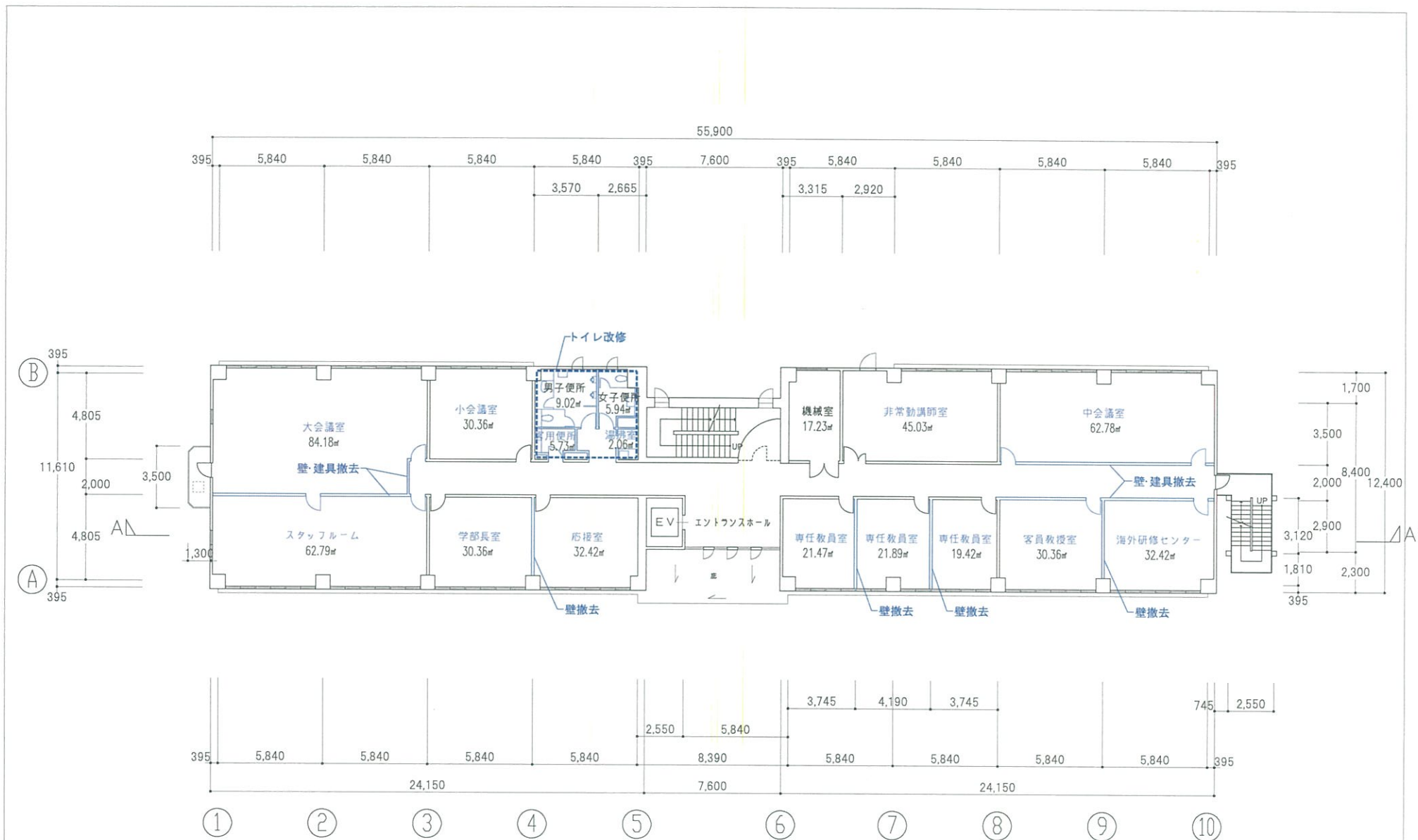




学校法人杏林学園 経理部 用度・管財課				
タイトル 1棟「保健学部研究棟」4階平面図 床面積 634.50㎡				
ファイル名 1棟平面図H25.6.1.VSD				
縮尺 1: 200	ページ 5 / 6	サイズ A3	作成者 手塚 敦	日付 2009/11/5

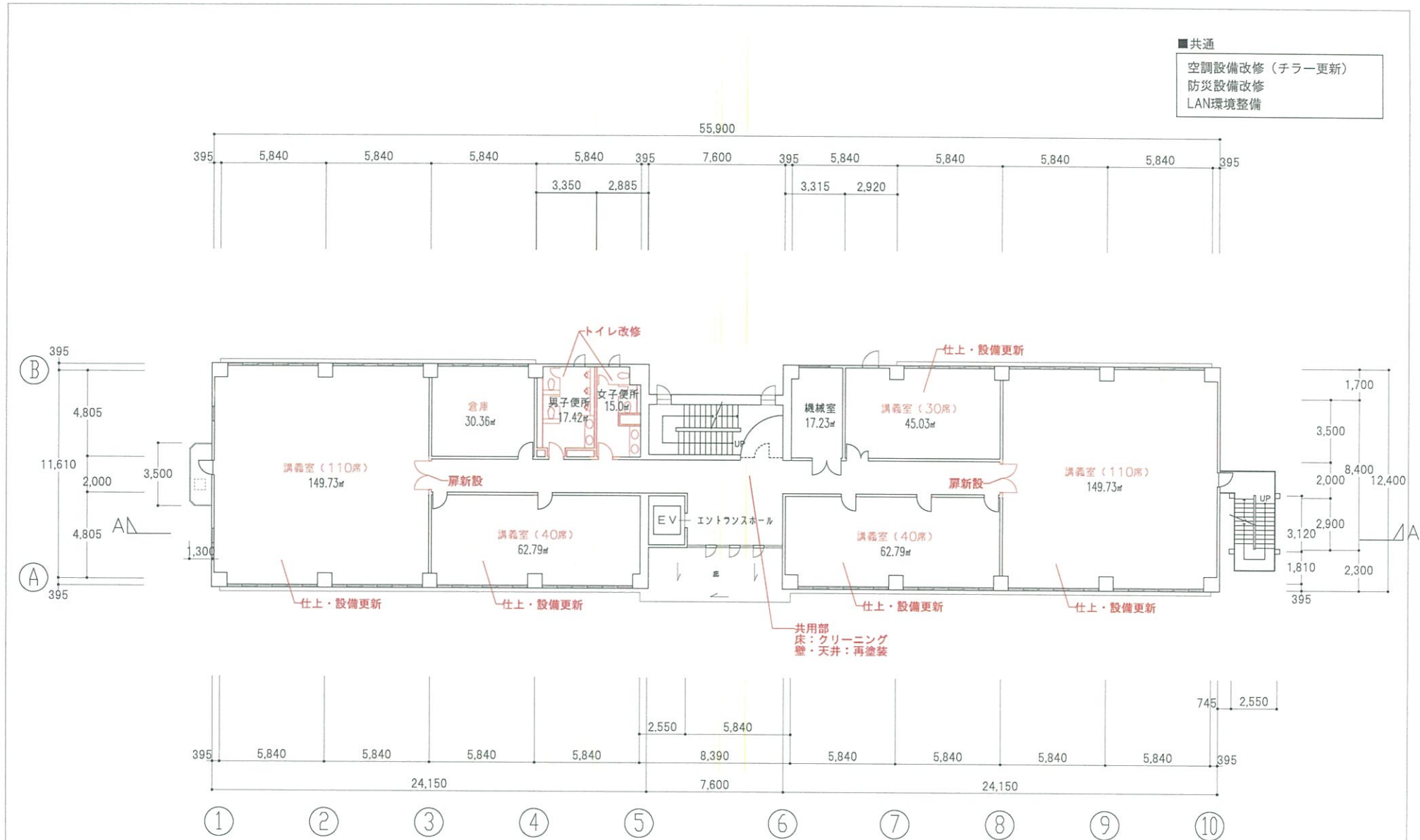




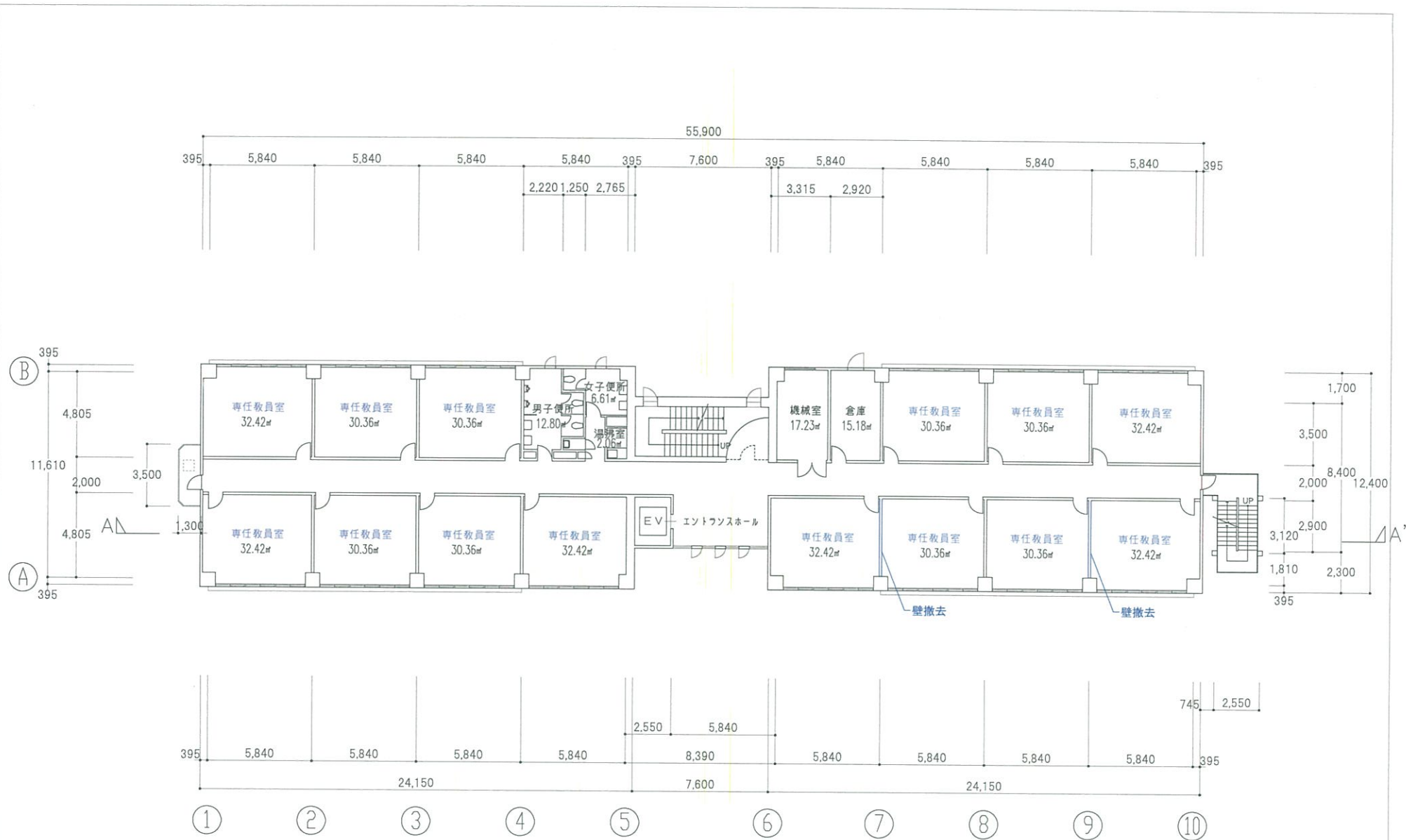


改修前

訂正	月	日	様式 金社 竹中工務店	承認	作成 20.12.16	名称 杏林大学八王子キャンパス 社会科学部研究棟 (G棟)	設計NO	図面NO ※
	.	.						
	.	.					整理NO	
	.	.						
			主担当	担当	製図	2階平面図 縮尺 A3 1:200		



訂正	月	日	株式会社 竹中工務店 承認	作成 20.12.16	名称 杏林大学八王子キャンパス 社会科学部研究棟 (G棟) 2階平面図	設計NO	図面NO
			主担当	担当	製図	縮尺 A3 1:200	整理NO

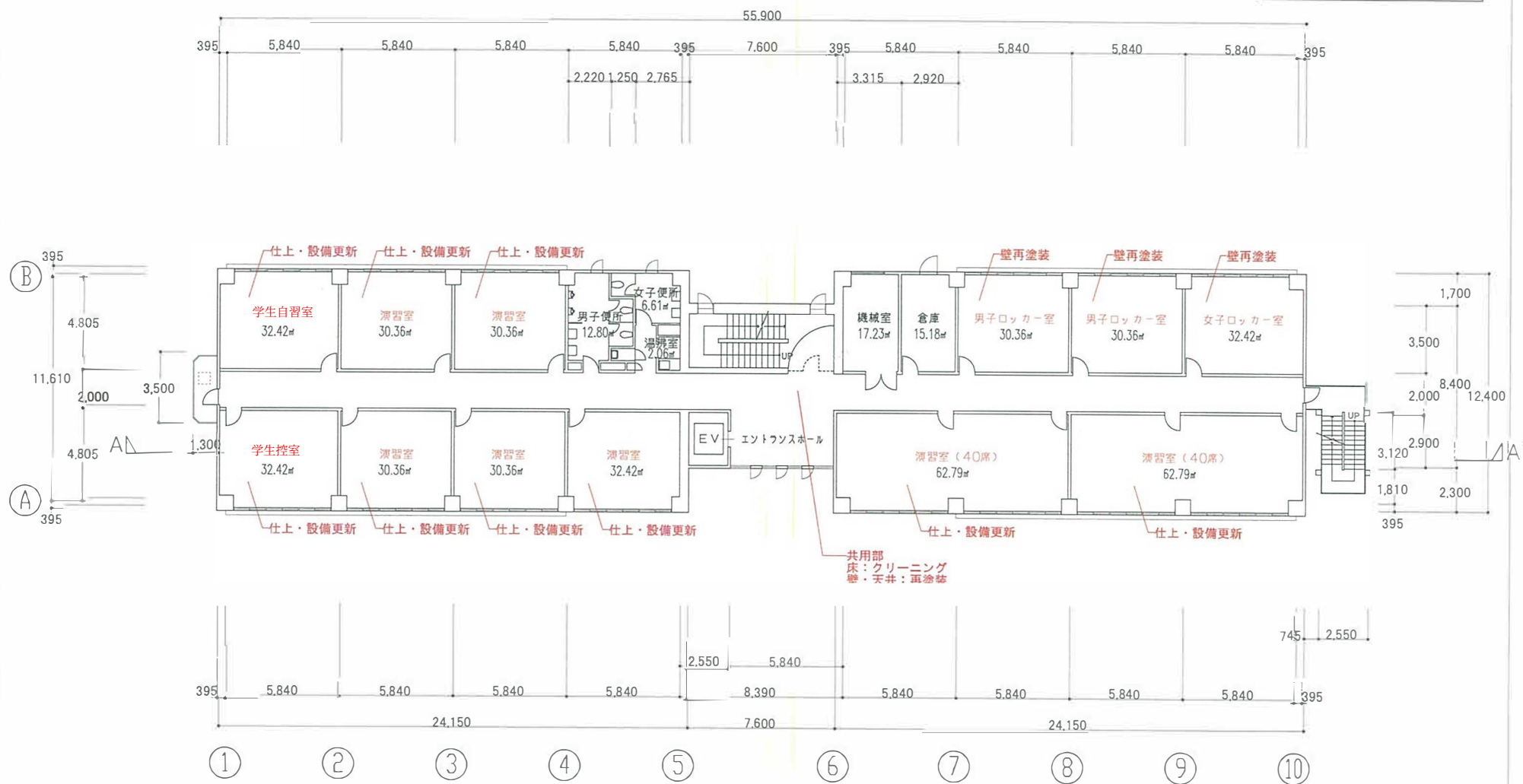


改修前

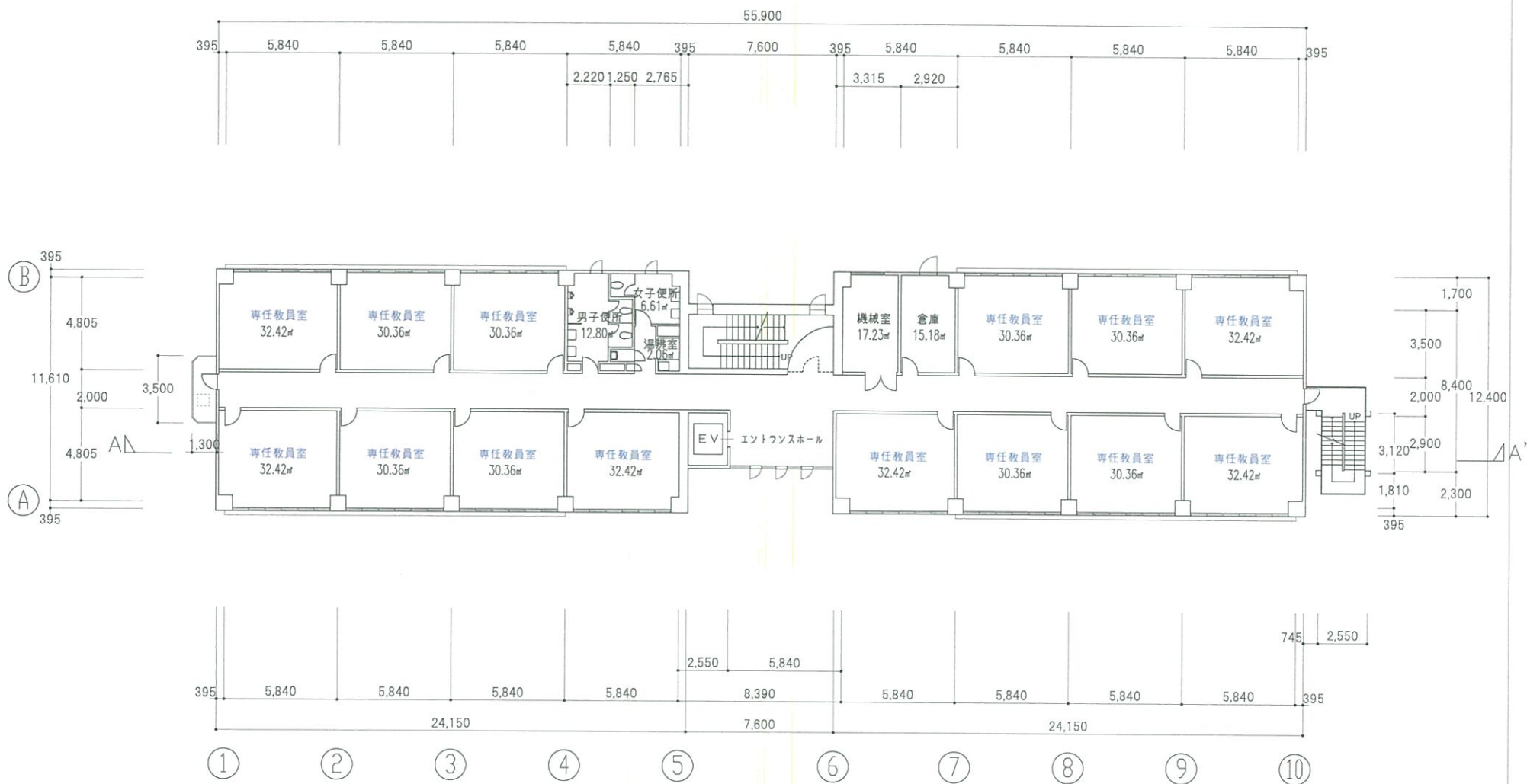
訂正	月	日	株式会社 竹中工務店	承認	作成 20.12.16	名称 杏林大学八王子キャンパス 社会科学部研究棟 (G棟) 3階平面図	設計NO	図面NO
				主担当	担当	製図	整理NO	※

■共通

空調設備改修（チラー更新）
防災設備改修
LAN環境整備



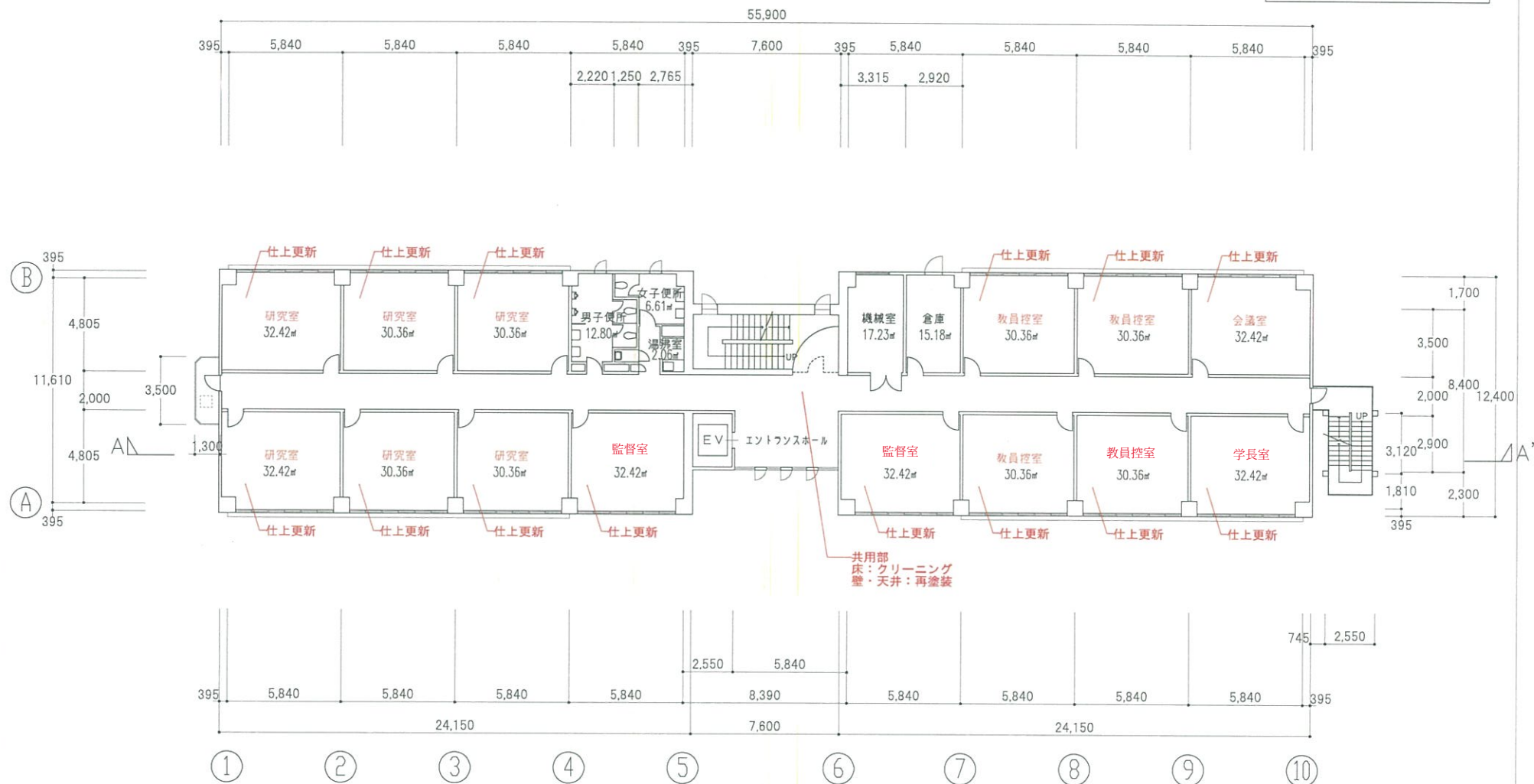
訂正	月	日	株式会社 竹中工務店	承認	作成	名称	設計NO	図面NO
					20.12.16	杏林大学八王子キャンパス 社会科学部研究棟 (G棟)		
				主担当		3階平面図	整理NO	※
						縮尺 A3 1:200		



訂正	月	日	株式会社 竹中工務店	承認	作成	名称	設計NO	図面NO
	.	.						
	.	.						
	.	.						
				主担当	担当	製図	20.12.16 杏林大学八王子キャンパス 社会科学部研究棟 (G棟)	
							4階平面図	
							縮尺 A3 1:200	
							整理NO	※

■共通

空調設備改修（チラー更新）
防災設備改修
LAN環境整備



改修後

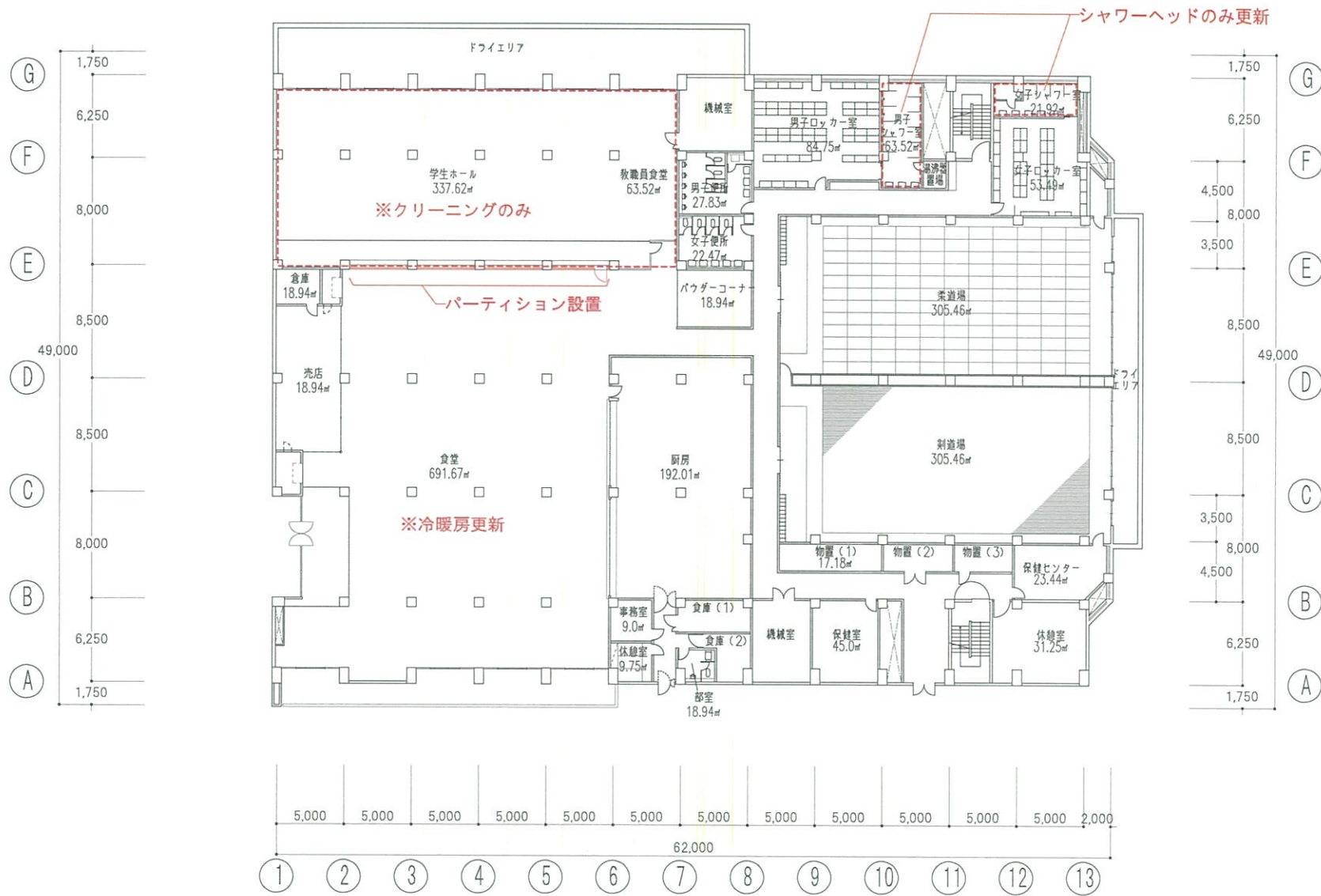
訂正	月	日	株式会社 竹中工務店	承認	作成	名称	設計NO	図面NO
	.	.						
	.	.						
				主担当	担当	製図	整理NO	※

20.12.16

杏林大学八王子キャンパス 社会科学部研究棟 (G棟)

4階平面図

縮尺 A3 1:200



訂正	月	日	株式会社 竹中工務店	承認	作成 20.12.16	名称 杏林大学八王子キャンパス体育館 (J棟) 地下1階平面図	設計NO	図面NO
				主担当	担当	製図	縮尺 A3 1:300	整理NO

2以上の校地において教育を行う場合のそれぞれの校地ごとの状況

											区分	ウ キャンパス選択型の場合
学部	八王子校地					井の頭校地					学部及び校地ごとにおける教育内容	備考
	最大受入定員	収容定員	在学者数	専任教員	校地面積 校舎面積	最大受入定員	収容定員	在学者数	専任教員	校地面積 校舎面積		
健康福祉学科	480人	設定なし	0人	8人 (8人)		480人	設定なし	205人	21人 (21人)		令和4年度以降に保健学部健康福祉学科に入学する学生は八王子校地か井の頭校地のどちらで学修するかを選択し、選択した校地で1～4年生までの学修を行う。	保健学部健康福祉学科の学生に対する八王子キャンパスの受入は収容定員変更後（令和4年度）から開始するため、申請時点での在學生はいません。
既設学部等	230人	設定なし	58人	15人 (15人)		4,100人	設定なし	4,069人	235人 (235人)		大学の強化クラブに所属する総合政策学部の既存学生に対して、令和3年度より所属学部学科の一部の科目を八王子キャンパスにて開講する。	総合政策学部総合政策学科および企業経営学科については令和3年度から2校地で教育を行います。保健学部健康福祉学科は令和4年度から2校地での教育を行います。八王子キャンパスの在学者数は、本申請時に既存の強化クラブに所属する総合政策学部総合政策学科および企業経営学科の学生数です。
	人	人	人	人 (人)		人	人	人	人 (人)			
	人	人	人	人 (人)		人	人	人	人 (人)			
計	710人	設定なし	58人	23人 (23人)		4,580人	設定なし	4,274人	256人 (256人)			

※収容定員欄には、収容定員の設定がされていない場合は、「設定なし」と記載すること。
※専任教員欄、校舎面積欄の（ ）は開設時，（ ）外は完成時の数値を記載すること。
※専任教員数について，同一の専任教員が複数の校地で授業を担当する場合には，ダブルカウントし，ダブルカウントする教員の内訳を備考欄に記載すること。

施設・設備等			八王子校地	井の頭校地	備考
学長室			1室	1室	
会議室			2室	7室	
事務室			3室	10室	
事務職員			2人	72人	
研究室			25室	184室	井の頭校地：共同居室（20人部屋が1部屋、10人部屋が6部屋、5～8名部屋が3部屋、2～3人部屋が12部屋）が整備されている。 八王子校地：研究室6室、教員控室19室（合計25室）が整備されている。
教室	講義室		10室	64室	
	演習室		7室	40室	
	実験・実習室		0室	48室	
図書館			47.60㎡ 300冊	4,424.73㎡ 199,955冊	Webシステム（MyLibrary）により電子ジャーナルや電子ブックの閲覧、各校地間で書籍の取り寄せが可能であり、学生の利便性を担保する。
図書館専任職員			1人	4人	
医務室			1室	1室	
学生自習室			1室	2室	
学生控室			2室	0室	井の頭校地についてはセミナー室（19部屋）を整備している。
運動場			有	有	八王子校地:東京都八王子宮下町476（11566.00㎡）、三鷹校地:東京都三鷹市新川6-20-2（3004.00㎡）
体育館			有	有	八王子校地:東京都八王子宮下町476（7746.33㎡）、三鷹校地:東京都三鷹市新川6-20-2（5148.20㎡）

※2以上の校地で教育を行うことを前提とした申請についてのみ本様式の記載を求めるものです。
※研究室が専任教員1人当たり1室でない場合には，備考欄に，研究室の利用形態を記述すること。
※運動場が校地の隣接地にない場合には，その旨を備考欄に記述すること。

2以上の校地において教育を行う場合のそれぞれの校地ごとの状況

											区分	オ 一部のみ別校地で教育研究を行う場合
学部	八王子校地					井の頭校地					学部及び校地ごとにおける教育内容	備考
	最大受入定員	収容定員	在学者数	専任教員	校地面積 校舎面積	最大受入定員	収容定員	在学者数	専任教員	校地面積 校舎面積		
総合政策学部 総合政策学科	150人	設定なし	47人	10人 (10人)		608人	設定なし	622人	20人 (20人)		大学の強化クラブに所属する既存学生に対して、令和3年度より所属学部学科の一部の科目を八王子キャンパスにて行う。	総合政策学部総合政策学科については令和3年度から2校地で教育を行います。八王子キャンパスの在学者数は、本申請時に既存の強化クラブに所属する総合政策学部総合政策学科の学生数です。
総合政策学部 企業経営学科	80人	設定なし	11人	5人 (5人)		324人	設定なし	340人	12人 (12人)		大学の強化クラブに所属する既存学生に対して、令和3年度より所属学部学科の一部の科目を八王子キャンパスにて行う。	総合政策学部企業経営学科については令和3年度から2校地で教育を行います。八王子キャンパスの在学者数は、本申請時に既存の強化クラブに所属する総合政策学部企業経営学科の学生数です。
既設学部等	480人	設定なし	0人	8人 (0人)		3,648人	設定なし	3,312人	224人 (224人)		保健学部健康福祉学科の学生については、八王子校地か井の頭校地のどちらで学修するかを学生に選択させ、選択した校地で1～4年生までの学修を行う。	保健学部健康福祉学科の学生に対する八王子キャンパスの受入は収容定員変更後から開始するため、申請時点での在學生はいません。また、保健学部健康福祉学科の収容定員変更後(令和4年4月)からは、健康福祉学科の専任教員は8名となり、総合政策学部総合政策学科および企業経営学科の専任教員と合わせ、合計23名となります。
	人	人	人	人 (人)		人	人	人	人 (人)			
計	710人	設定なし	58人	23人 (15人)	30,327.49㎡ 35,556.99㎡ (35,556.99㎡)	4,580人	設定なし	4,274人	256人 (256人)	34,767.00㎡ 42,816.21㎡ (42,816.21㎡)		

※収容定員欄には、収容定員の設定がされていない場合は、「設定なし」と記載すること。
※専任教員欄、校舎面積欄の（ ）は開設時、（ ）外は完成時の数値を記載すること。
※専任教員数について、同一の専任教員が複数の校地で授業を担当する場合には、ダブルカウントし、ダブルカウントする教員の内訳を備考欄に記載すること。

施設・設備等		八王子校地	井の頭校地	備考
学長室		1室	1室	
会議室		2室	7室	
事務室		3室	10室	
事務職員		2人	72人	
研究室		25室	184室	井の頭校地：共同居室（20人部屋が1部屋、10人部屋が6部屋、5～8名部屋が3部屋、2～3人部屋が12部屋）が整備されている。 八王子校地：研究室6室、教員控室19室（合計25室）が整備されている。
教室	講義室	10室	64室	
	演習室	7室	40室	
	実験・実習室	0室	48室	
図書館		47.60㎡ 300冊	4,424.73㎡ 199,955冊	Webシステム（MyLibrary）により電子ジャーナルや電子ブックの閲覧、各校地間で書籍の取り寄せが可能であり、学生の利便性を担保する。
図書館専任職員		1人	4人	
医務室		1室	1室	
学生自習室		1室	2室	
学生控室		2室	0室	井の頭校地についてはセミナー室（19部屋）を整備している。
運動場		有	有	八王子校地:東京都八王子宮下町476（11566.00㎡）、三鷹校地:東京都三鷹市新川6-20-2（3004.00㎡）
体育館		有	有	八王子校地:東京都八王子宮下町476（7746.33㎡）、三鷹校地:東京都三鷹市新川6-20-2（5148.20㎡）

※2以上の校地で教育を行うことを前提とした申請についてのみ本様式の記載を求めるものです。
※研究室が専任教員1人当たり1室でない場合には、備考欄に、研究室の利用形態を記述すること。
※運動場が校地の隣接地には、その旨を備考欄に記述すること。

2以上の校地において教育研究を行う場合のそれぞれの校地ごとの教員の勤務状況

学部等名称	番号	氏名	年齢	所属する校地	勤務状況
保健学部 健康福祉学科	1	出嶋 靖志	61	八王子校地	八王子校地:3日/週 井の頭校地:2日/週 主に八王子校地で担当授業科目(医学概論、医学基礎実習、生理学、健康福祉学、特別講義Ⅰ、特別講義Ⅱ、特別演習Ⅰ、特別演習Ⅱ、ボランティア活動、健康福祉学実習、応用保健学、環境科学、フィールドスタディⅠ、フィールドスタディⅡ)の教育および研究室における研究活動、オフィスアワーを設定し、学生相談、進路相談を行う。 井の頭校地では担当授業科目(応用保健学、医学概論)の教育と教授会や教務委員会、学科運営会議への参画を行う。
保健学部 健康福祉学科	2	照屋 浩司	63	井の頭校地	八王子校地:1日/週 井の頭校地:4日/週 主に井の頭校地で担当授業科目(公衆衛生学、公衆衛生学Ⅰ、公衆衛生学Ⅱ、疫学、健康福祉学、健康福祉学実習、社会調査概論、社会福祉調査の基礎、保健統計、フィールドスタディⅠ)の教育および研究室における研究活動、教授会、教務委員会、学科運営会議への参画を行う。また、オフィスアワーを設定し、学生相談を行う。 八王子校地では担当授業科目(社会調査概論、社会福祉調査の基礎、)の教育を行う。
保健学部 健康福祉学科	3	朝野 聡	63	井の頭校地	八王子校地:1日/週 井の頭校地:4日/週 主に井の頭校地で担当授業科目(健康教育学、保健科指導法Ⅰ、保健科指導法Ⅱ、保健科教育法Ⅰ、保健科教育法Ⅱ)の教育および研究室における研究活動、教職課程委員会や地域交流委員会、教務委員会、学部内連絡会、学科運営会議への参画を行う。また、オフィスアワーを設定し、学生相談を行う。 八王子校地では担当授業科目(健康スポーツ科学、健康教育学)の教育を行う。
保健学部 健康福祉学科	4	関澤 浩一	57	井の頭校地	八王子校地:1日/週 井の頭校地:4日/週 主に井の頭校地で担当授業科目(基礎生物学、細胞生物学、社会福祉経営論、医学基礎実習)の教育および研究室における研究活動、学部内連絡会、学科運営会議への参画を行う。また、オフィスアワーを設定し、学生相談を行う。 八王子校地では担当授業科目(基礎生物学)の教育を行う。

学部等名称	番号	氏名	年齢	所属する校地	勤務状況
保健学部 健康福祉学科	5	西村 伸大	60	八王子校地	八王子校地:4日/週 井の頭校地:1日/週 主に八王子校地で担当授業科目(医学基礎実習、健康福祉学、ボランティア活動、生化学、健康福祉学実習、特別演習Ⅰ、特別演習Ⅱ、薬理学、病理学、フィールドスタディⅠ、フィールドスタディⅡ)の教育および研究室における研究活動、オフィスアワーを設定し、学生相談を行う。 井の頭校地では担当授業科目(薬理学)の教育と、就職委員会や学部内連絡会、学科運営会議への参画を行う。
保健学部 健康福祉学科	6	森 数美	58	井の頭校地	八王子校地:1日/週 井の頭校地:4日/週 主に井の頭校地で担当授業科目(精神医学、精神疾患とその治療、精神医療、精神保健福祉の原理Ⅱ、精神障害リハビリテーション論、精神保健福祉制度論、精神保健福祉特論)の教育および研究室における研究活動、学生部委員会、学部内連絡会、学科運営会議への参画を行う。また、オフィスアワーを設定し、学生相談を行う。 八王子校地では担当授業科目(精神医学、精神保健学)の教育を行う。
保健学部 健康福祉学科	7	福田 実乃里	30	八王子校地	八王子校地:4.5日/週 井の頭校地:0.5日/週 主に八王子校地で担当授業科目(医学基礎実習、解剖学、健康福祉学、小児疾患の病態学、健康福祉学実習、看護学Ⅱ、ボランティア活動、特別演習Ⅰ、特別演習Ⅱ、外科疾患の病態学、看護学Ⅱ、フィールドスタディⅠ、フィールドスタディⅡ)の教育および研究室における研究活動、オフィスアワーを設定し、学生相談を行う。 井の頭校地では学部内連絡会と学科運営会議への参画を行う。
保健学部 健康福祉学科	8	布田 和恵	58	井の頭校地	八王子校地:2日/週 井の頭校地:3日/週 主に井の頭校地で担当授業科目(障害者福祉学、高齢保健学、看護学)の教育および研究室における研究活動、学部内連絡会や学科会議への参画を行う。また、オフィスアワーを設定し、学生相談を行う。 八王子校地では担当授業科目(小児保健学、看護学Ⅰ)の教育を行う。

2以上の校地において教育研究を行う場合のそれぞれの校地ごとの教員の勤務状況

学部等名称	番号	氏名	年齢	所属する校地	勤務状況
総合政策学部 総合政策学科	1	大山 徹	49	井の頭校地	八王子校地:1日/週 井の頭校地:4日/週 主に井の頭校地で担当授業科目(生活と法、刑法Ⅰ(総論)、刑法Ⅱ(各論)、刑事訴訟法、医事法、演習Ⅰ～Ⅵ、学際演習Ⅰ～Ⅵ、卒業研究)の教育および研究室における研究活動、オフィスアワーを設定し、教授会、専任者会議、入試委員会への参画を行う。 八王子校地では担当授業科目(刑法Ⅰ(総論)、刑法Ⅱ(各論)、刑事訴訟法、生活と法)の教育を行う。
総合政策学部 総合政策学科	2	木暮 健太郎	49	井の頭校地	八王子校地:1日/週 井の頭校地:4日/週 主に井の頭校地で担当授業科目(ベーシック政治、地域と大学、政治心理学、政治コミュニケーション、演習Ⅰ～Ⅵ、学際演習Ⅰ～Ⅵ、卒業研究)の教育および研究室における研究活動、オフィスアワーを設定し、教授会、入試委員会、専任者会議への参画学生相談を行う。 八王子校地では担当授業科目(地域と大学)の教育を行う。
総合政策学部 総合政策学科	3	渡辺 剛	51	井の頭校地	八王子校地:1日/週 井の頭校地:4日/週 主に井の頭校地で担当授業科目(ベーシック国際関係、国際政治学A、国際政治学B、アジア政治論、演習Ⅰ～Ⅵ、学際演習Ⅰ～Ⅵ、卒業研究)の教育および研究室における研究活動、オフィスアワーを設定し、教授会、学生部委員会、専任者会議への参画、学生相談を行う。 八王子校地では担当授業科目(ベーシック国際関係)の教育を行う。
総合政策学部 総合政策学科	4	北田 真理	49	井の頭校地	八王子校地:1日/週 井の頭校地:4日/週 主に井の頭校地で担当授業科目(ベーシック法律、民法総論、物権法、家族法、不動産取引と法Ⅱ、演習Ⅰ～Ⅵ、学際演習Ⅰ～Ⅵ、卒業研究)の教育および研究室における研究活動、オフィスアワーを設定し、専任者会議への参画、学生相談を行う。 八王子校地では担当授業科目(ベーシック法律、民法総論、家族法)の教育を行う。

学部等名称	番号	氏名	年齢	所属する校地	勤務状況
総合政策学部 総合政策学科	5	島村 直幸	50	井の頭校地	八王子校地:1日/週 井の頭校地:4日/週 主に井の頭校地で担当授業科目(時事問題研究B、外交政策論A、アメリカ政治論、ヨーロッパ政治論、演習Ⅰ～Ⅵ、学際演習Ⅰ～Ⅵ、卒業研究)の教育および研究室における研究活動、オフィスアワーを設定し、教務委員会、専任者会議への参画、学生相談を行う。 八王子校地では担当授業科目(時事問題研究B)の教育を行う。
総合政策学部 総合政策学科	6	半田 英俊	46	井の頭校地	八王子校地:1日/週 井の頭校地:4日/週 主に井の頭校地で担当授業科目(ベーシック政治、時事問題研究A、現代日本政治A、現代日本政治B、立法過程論、政策過程論、日本史Ⅰ、日本史Ⅱ、演習Ⅰ～Ⅵ、学際演習Ⅰ～Ⅵ、卒業研究)の教育および研究室における研究活動、オフィスアワーを設定し、教務委員会、専任者会議、教職課程委員会への参画、学生相談を行う。 八王子校地では担当授業科目(ベーシック政治、時事問題研究A)の教育を行う。
総合政策学部 総合政策学科	7	藤原 究	45	八王子校地	八王子校地:2.5日/週 井の頭校地:2.5日/週 主に八王子校地で担当授業科目(学際演習Ⅰ、学際演習Ⅱ、ライフ・プランニングⅠ、ライフ・プランニングⅡ、キャリア開発演習Ⅰ、キャリア開発演習Ⅱ)の教育および研究室における研究活動、オフィスアワーを設定し、学生相談を行う。 井の頭校地では担当授業科目(ライフ・プランニングⅠ～Ⅱ、不動産取引と法Ⅰ、キャリア開発演習Ⅰ、演習Ⅰ～Ⅵ、学際演習Ⅰ～Ⅵ、卒業研究)の教育および専任者会議への参画を行う。
総合政策学部 総合政策学科	8	三浦 秀之	38	井の頭校地	八王子校地:1日/週 井の頭校地:4日/週 主に井の頭校地で担当授業科目(ベーシック経済、国際政治経済学、Introduction to International Relations)の教育および研究室における研究活動、オフィスアワーを設定し、教務委員会、専任者会議への参画、学生相談を行う。 八王子校地では担当授業科目(ベーシック経済)の教育を行う。
総合政策学部 総合政策学科	9	尾崎 愛美	37	井の頭校地	八王子校地:1日/週 井の頭校地:4日/週 主に井の頭校地で担当授業科目(生活と法、日本国憲法、法情報調査、メディア・コンテンツと法)の教育および研究室における研究活動、オフィスアワーを設定し、専任者会議への参画、学生相談を行う。 八王子校地では担当授業科目(日本国憲法)の教育を行う。
総合政策学部 総合政策学科	10	松井孝太	34	井の頭校地	八王子校地:1日/週 井の頭校地:4日/週 主に井の頭校地で担当授業科目(ベーシック国際関係、国際政治学A、国際政治学B、アジア政治論、演習Ⅰ～Ⅵ、学際演習Ⅰ～Ⅵ、卒業研究)の教育および研究室における研究活動、オフィスアワーを設定し、および教務委員会、専任者会議への参画、学生相談を行う。 八王子校地では担当授業科目(ベーシック福祉政策)の教育を行う。

2以上の校地において教育研究を行う場合のそれぞれの校地ごとの教員の勤務状況

学部等名称	番号	氏名	年齢	所属する校地	勤務状況
総合政策学部 企業経営学科	1	伊藤 敦司	60	井の頭校地	八王子校地:1日/週 井の頭校地:4日/週 主に井の頭校地で担当授業科目(会社法Ⅰ(ガバナンス)、会社法Ⅱ(ファイナンス)、企業法総論、企業取引法、演習Ⅰ～Ⅵ、学際演習Ⅰ～Ⅵ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ)の教育および研究室における研究活動、オフィスアワーを設定し、教授会、教務委員会、専任者会議への参画学生相談を行う。 八王子校地では担当授業科目(会社法Ⅰ(ガバナンス)、会社法Ⅱ(ファイナンス)、企業取引法、企業法総論)の教育を行う。
総合政策学部 企業経営学科	2	内藤 高雄	58	八王子校地	八王子校地:2.5日/週 井の頭校地:2.5日/週 主に八王子校地で担当授業科目(ベーシック会計、財務会計論、国際会計論、学際演習Ⅰ、学際演習Ⅱ、プレゼミナールA、プレゼミナールB、基礎簿記Ⅰ、基礎簿記Ⅱ)の教育および研究室における研究活動、オフィスアワーを設定し、学生相談を行う。 井の頭校地では担当授業科目(ベーシック会計、財務会計論、国際会計論、演習Ⅰ～Ⅵ、学際演習Ⅰ～Ⅵ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、特別演習Ⅰ～Ⅳ、プロジェクト演習Ⅰ～Ⅳ)の教育および教授会、教務委員会、専任者会議への参画を行う。
総合政策学部 企業経営学科	3	糟谷 崇	43	井の頭校地	八王子校地:1日/週 井の頭校地:4日/週 主に井の頭校地で担当授業科目(ベーシック経営、行動経済学、経営学総論Ⅱ、経営戦略論、イノベーション論、演習Ⅰ～Ⅵ、学際演習Ⅰ～Ⅵ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ)の教育および研究室における研究活動、オフィスアワーを設定し、総合情報センター会議、専任者会議への参画、学生相談を行う。 八王子校地では担当授業科目(ベーシック経営、経営学総論Ⅰ、経営学総論Ⅱ、現代企業論、経営戦略論)の教育を行う。
総合政策学部 企業経営学科	4	長谷部 弘道	37	井の頭校地	八王子校地:1日/週 井の頭校地:4日/週 主に井の頭校地で担当授業科目(社会学、キャリア開発論Ⅰ、キャリア開発論Ⅱ、人的資源管理、Global Career Development、Introduction to Business、演習Ⅰ～Ⅵ、学際演習Ⅰ～Ⅵ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ)の教育および研究室における研究活動、オフィスアワーを設定し、専任者会議への参画、学生相談を行う。 八王子校地では担当授業科目(キャリア開発論Ⅰ、キャリア開発論Ⅱ)の教育を行う。

学部等名称	番号	氏名	年齢	所属する校地	勤務状況
総合政策学部 企業経営学科	5	加藤 拓	49	井の頭校地	八王子校地:1日/週 井の頭校地:4日/週 主に井の頭校地で担当授業科目(マーケティング総論、流通論、出店戦略、販売戦略、Marketing、演習Ⅰ～Ⅵ、学際演習Ⅰ～Ⅵ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ)の教育および研究室における研究活動、オフィスアワーを設定し、専任者会議への参画、学生相談を行う。 八王子校地では担当授業科目(マーケティング総論、流通論、出店戦略、販売戦略)の教育を行う。

○杏林大学学則

制定 改正	昭和45年	3月17日	
	昭和49年	4月23日	昭和50年 8月11日
	昭和52年	11月17日	昭和53年 12月25日
	昭和54年	10月25日	昭和57年 4月 1日
	昭和59年	4月 1日	昭和60年 1月 9日
	昭和61年	4月 1日	昭和63年 4月 1日
	平成 2年	12月21日	平成 3年 9月25日
	平成 4年	9月21日	平成 6年 1月24日
	平成 7年	7月 3日	平成 8年 10月23日
	平成 9年	3月28日	平成 9年 5月30日
	平成10年	3月27日	平成10年 12月11日
	平成11年	2月15日	平成11年 6月21日
	平成11年	9月20日	平成11年 12月10日
	平成12年	6月19日	平成12年 9月18日
	平成13年	5月30日	平成14年 2月26日
	平成14年	7月15日	平成14年 9月13日
	平成14年	12月 6日	平成15年 2月17日
	平成15年	9月 8日	平成15年 12月 5日
	平成16年	5月28日	平成17年 5月27日
	平成17年	7月25日	平成17年 10月26日
	平成18年	3月29日	平成18年 12月 8日
	平成19年	3月29日	平成19年 12月 7日
	平成20年	5月29日	平成20年 9月 8日
	平成20年	10月20日	平成21年 3月26日
	平成21年	5月29日	平成21年 10月26日
	平成21年	12月 3日	平成22年 5月28日
	平成22年	10月27日	平成22年 12月 3日
	平成23年	5月27日	平成23年 9月12日
	平成23年	12月 2日	平成24年 3月30日
	平成24年	5月25日	平成24年 12月 7日
	平成25年	5月24日	平成26年 2月17日
	平成26年	7月28日	平成26年 9月 8日
	平成27年	3月27日	平成27年 5月29日
	平成27年	10月19日	平成28年 3月25日
	平成28年	5月27日	平成29年 3月24日
	平成29年	5月26日	平成30年 3月28日
	平成31年	3月29日	令和 元年 5月31日
	令和 元年	10月11日	令和 2年 3月16日
	令和 2年	5月29日	令和 2年 12月 4日

第1章 目的、使命及び自己評価等

（目的）

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、かつ建学の精神に基づいて、崇高な人類愛と高度の科学精神を基盤とするすぐれた人材の育成を目的とし、もって広く人類の福祉に貢献することを使命とする。

第3類（杏林大学学則）

（自己評価等）

第1条の2 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の項目並びにその実施体制については、別に定める。

3 本学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その職員に必要な知識及び技能を修得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修の機会を設けることその他必要な取組を行うものとする。

第2章 学部、大学院等

（学部、学科）

第2条 本学に次の学部及び学科を置く。

医 学 部 医学科

保 健 学 部 臨床検査技術学科、健康福祉学科、看護学科（看護学専攻、看護養護教育学専攻）、臨床工学科、救急救命学科、理学療法学科、作業療法学科、診療放射線技術学科及び臨床心理学科

総合政策学部 総合政策学科及び企業経営学科

外 国 語 学 部 英語学科、中国語学科及び観光交流文化学科

（学部又は学科の目的）

第2条の2 学部又は学科ごとの人材の養成その他の教育研究上の目的については、次のとおりとする。

2 医学部は、豊かな人間性の涵養と、医学の発展に対応しうる基礎的及び専門的知識の修得と臨床的技能の修練を通じて、良き医師を養成することを目的とする。

3 保健学部

（1）臨床検査技術学科は、保健及び医療に携わる者として高い倫理観と、強い使命感を持ち、臨床検査に対する卓越した専門知識と技術、総合的な判断力を持つ人材を養成することを目的とする。

（2）健康福祉学科は、保健、医療、福祉、養護及び保育の専門知識と技術をもち、高い倫理観と情熱をもって人の健康と生活の支援を実践する人材を養成することを目的とする。

（3）看護学科看護学専攻は、看護を必要とする様々な人々に対して対処できるよう、的確な問題解決能力と技術をもち、人への思いやりを有し、高い倫理観を持ち、かつリーダーシップを発揮できる人材を養成することを目的とし、看護養護教育学専攻は、健康増進の実現に寄与しうる創造力と実践力を有し、特に国の将来を担う子どもたちの成長過程において、指導力を発揮できる人材を養成することを目的とする。

（4）臨床工学科は、生命維持管理装置の操作運用に関する医用生体工学の分野で、その専門的知識と技術を活かし、高い倫理観と使命感を持った実践的な臨床工学技士を養成することを目的とする。

（5）救急救命学科は、高い倫理観を持ち、救急救命の最前線で求められる迅速かつ

第3類（杏林大学学則）

的確な状況判断能力と傷病者の状況観察に基づく適切な処置技術を有する人材を養成することを目的とする。

- （6）理学療法学科は、医療人としての倫理観に裏付けされた豊かな人間性と理学療法に関する高度な知識、技術を備え、障害の機能回復だけでなく、地域医療や福祉の場における健康の維持増進など幅広い領域において貢献できる人材を養成することを目的とする。
- （7）作業療法学科は、豊かな人間性と倫理観を備え、心身に障害をもつ人々の QOL（生活の質）の維持・向上を支援するために必要な、科学的根拠に基づいた作業療法に関する幅広い専門知識と技術を身につけた人材を育成することを目的とする。
- （8）診療放射線技術学科では、診療放射線技術分野における高い専門性と確かな技術力を身につけ、豊かな人間性と高い倫理観を併せ持つ、将来にわたって医療に貢献できる人材を養成することを目的とする。
- （9）臨床心理学科は、豊かな人間性と倫理観を備え、質の高いコミュニケーションを通じて心理的な援助を必要とする人々の QOL（生活の質）の維持・向上を支援するために必要な、科学的根拠に基づいた臨床心理学を基軸とする幅広い心理学の専門知識と技術を身につけた人材を養成することを目的とする。

4 総合政策学部

- （1）総合政策学科は、社会をマクロの視点から捉え、政治、経済、法律、国際関係、福祉の各専門分野を総合的かつ学際的に学ぶことにより、グローバル社会における様々な問題を多面的に把握分析し、実践的に解決するための知識と能力を備えた人材を養成することを目的とする。
- （2）企業経営学科は、企業活動というミクロの視点に立ち、経営及び会計の各専門分野における知識の修得はもとより他の関連分野にも通曉し、グローバル社会において企業が求める幅広い知識と実務遂行のための能力、技能を備えた人材を養成することを目的とする。

5 外国語学部

- （1）英語学科は、英語の高度な運用能力と広範な背景的知識の獲得、ならびに非言語的表現も含めたコミュニケーション能力の開発に取り組み、これらを通じて、将来の予測が難しい時代を生き抜く力と専門的知識を備えた国際的な職業人を養成することを目的とする。
- （2）中国語学科は、グローバル化の進展と中国語圏を中心とするアジア地域の発展に伴い、求められる実践的な中国語運用能力の開発と地域の社会・文化に関する知識の修得により、高度な中国語コミュニケーション能力を有するとともに、国際社会における相互理解を促進し、新たな協力の創造に寄与できる人材を養成することを目的とする。
- （3）観光交流文化学科は、豊かで健全な社会生活に欠かすことのできない楽しみのための移動と滞在、それにとまなうホスピタリティと人びとの交流について、観光学の学びを通じて多様な視点からその価値を捉え、持続的な観光の発展と交流

第3類（杏林大学学則）

文化の創造を先導する人材を養成することを目的とする。

（学生定員）

第3条 学生定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	3年次編 入学定員	収容定員
医 学 部	医 学 科	105 名	—	630 名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	120 名	—	480 名
	健 康 福 祉 学 科	50 名	—	200 名
	看 護 学 科	150 名	—	600 名
	（看護学専攻）	（100 名）	（—）	（400 名）
	（看護養護教育学専攻）	（50 名）	（—）	（200 名）
	臨 床 工 学 科	60 名	—	240 名
	救 急 救 命 学 科	50 名	—	200 名
	理 学 療 法 学 科	56 名	—	224 名
	作 業 療 法 学 科	54 名	—	216 名
	診療放射線技術学科	66 名	—	264 名
	臨 床 心 理 学 科	80 名	—	320 名
総合政策学部	総 合 政 策 学 科	150 名	3 名	606 名
	企 業 経 営 学 科	80 名	3 名	326 名
外国語学部	英 語 学 科	130 名	4 名	528 名
	中 国 語 学 科	30 名	5 名	130 名
	観光交流文化学科	90 名	3 名	366 名

（大学院）

第4条 本学に大学院を置く。

2 大学院学則は別に定める。

（付属施設）

第5条 本学に付属図書館、付属図書館分館、医学部付属病院、入学センター、キャリアサポートセンター、国際交流センター、学生支援センター、三鷹保健センター、井の頭保健センター、研究推進センター、総合情報センター、地域交流推進室及び高大接続推進室を置く。これらに関する規程は別に定める。

第3章 教職員組織

第3類（杏林大学学則）

（教員組織）

第6条 本学に学園長、学長、副学長、付属病院長、付属図書館長、付属図書分館長、入学センター長、キャリアサポートセンター長、国際交流センター長、学生支援センター長、三鷹保健センター長、井の頭保健センター長、研究推進センター長、総合情報センター長、地域交流推進室長及び高大接続推進室長を置く。

2 各学部に学部長、教務部長及び学生部長を置く。

3 事務組織については、別に定める。

第7条 本学に教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員その他の職員を置く。

2 本学に客員教員又は特任教員を置くことができる。

3 教職員は専任、兼担及び兼任に区分する。

4 教職員の定員、資格、任免、勤務等に関しては、別に定める。

（学園長の任務）

第8条 学園長は、学園が設置する教育機関の教学に関する事項を総理し、教学面の諸式を司る。

（学長の任務）

第9条 学長は、本学並びに本学付属教育機関の教育及び研究に関する事項を統括する。

（副学長の任務）

第10条 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

2 副学長は、学長に事故があり学園長の指名を受けたときは、学長の任務を代行する。

（学部長の任務）

第11条 学部長は、当該学部の校務を掌理し、所属教職員を指揮監督して、教育及び研究の責に任ずる。

第4章 教授会

（教授会）

第12条 各学部に教授会を置く。

2 各学部の教授会（以下「各教授会」という。）は、それぞれの学部長が招集しその議長となる。

3 各教授会は、それぞれの学部の専任教授をもって組織する。

4 各教授会は、必要に応じ准教授その他の教職員の意見を聴くことができる。

5 各教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

（1）学生の入学、卒業及び課程の修了

（2）学位の授与

（3）第1号及び第2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

6 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下この項において「学

第3類（杏林大学学則）

長等」という。) がつかさどる次の事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

- (1) 教育に関する事項
 - (2) 教員人事に関する事項
 - (3) 学生に関する事項
 - (4) 研究に関する事項
 - (5) その他各号に関連し、学長等が必要と認めた事項
- 7 前項第2号の事項中教授の選考に関する事項の審議については、別に定める教授選考委員会において予め審議するものとする。
- 8 学園長、学長、副学長は各教授会に出席し意見を述べることができる。
- 9 教授会運営に関する細則は、別に定める。
- (大学評議会)

第12条の2 本学に杏林大学評議会（以下「評議会」という。）を置く。

- 2 評議会は、学長が招集しその議長となる。
- 3 評議会は、次に掲げる評議会委員（以下「委員」という。）をもって組織する。
- (1) 学園長
 - (2) 学長
 - (3) 副学長
 - (4) 学部長
 - (5) 附属図書館長
 - (6) 各教授会構成員の中から教授会により選任された者、各2名
- 4 前項6号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の途中で委員の交替のあったときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 評議会は、必要に応じ委員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴くことができる。
- 6 評議会においては、次の事項を審議し議決する。
- (1) 学則及びこれに基づく諸規程の制定、改廃並びにこれらの解釈に関する事項
 - (2) 大学の自己評価に関する事項
 - (3) その他大学全般の教学に関し、学長が必要と認める事項
- 7 評議会運営に関する規程は別に定める。

第5章 学年、学期及び休業日

(学年)

第13条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。ただし、秋入学者は9月15日に始まり、翌年9月14日に終る。

(学期)

第14条 学年を分けて前期又は春学期、後期又は秋学期の2学期とする。

- 2 前項の学期の呼称及び期間は、各学部において定める。

(休業日)

第15条 休業日は次のとおりとする。ただし、第4号から第6号の休業期間の始期

第3類（杏林大学学則）

及び終期は、年度ごとに学長が定める。

- (1) 日曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
 - (3) 杏林学園創立記念日 11月11日
 - (4) 春季休業
 - (5) 夏季休業
 - (6) 冬季休業
- 2 学長は、必要により臨時に休業日を設け、又は休業日を授業日に変更することができる。

第6章 修業年限及び在学年限

（修業年限）

第16条 修業年限は次のとおりとする。

医 学 部	6 年
保 健 学 部	4 年
総合政策学部	4 年
外 国 語 学 部	4 年

- 2 3年次に総合政策学部及び外国語学部編入学した者は、2年とする。

（在学年限）

第17条 卒業までの在学年限は、原則として各学部とも前条の修業年限の2倍を超えることができない。ただし、医学部においては、同一学年の在学年限を2年以内とする。

第7章 入 学

（入学の時期）

第18条 入学の時期は、学年の始めとする。

（入学資格）

第19条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校を卒業した者若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程における12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上

第3類（杏林大学学則）

の学力があると認めた者で、18歳に達したもの
（入学志願）

第20条 入学を志願する者は、所定の入学願書に別に定める入学検定料を添えて、提出しなければならない。

（入学手続）

第21条 入学選考試験に合格した者は、所定の期日までに所定の入学料その他の学納金を添えて、誓約書を提出しなければならない。

2 入学選考試験合格の通知を受け、前項の手続を完了した者は、入学を許可する。

（転入学）

第22条 次の各号の一に該当する者で、本学への転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に転入学を許可することがある。

（1）大学を卒業した者又は退学した者

（2）他の大学に在学している者

（編入学）

第22条の2 短期大学、高等専門学校を卒業した者及び第19条の各号の一に該当しその後専修学校の専門課程を卒業し文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者又はその他法令で定めるところにより資格があるとされている者は、選考の上、相当年次に編入学を許可する。

（転入学、編入学の入学志願等）

第22条の3 転入学、編入学の志願及び入学手続きについては、第20条及び第21条の規定を準用する。

（単位の認定等）

第22条の4 転入学、編入学又は再入学を許可された者の修得した単位の認定及び修業年限について、当該学部教授会にて審議する。

第8章 教育課程、履修方法、授業期間、授業の方法、単位の計算方法等

（教育課程の編成及び履修方法）

第23条 教育課程は各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成する。ただし、履修方法の細部については、各学部において定める。

（教育課程）

第23条の2 授業科目の種類並びにその単位数は、次に定めるとおりとする。

医 学 部 別表1

保 健 学 部 別表2

総合政策学部 別表3

外国語学部 別表4

（1年間の授業期間）

第24条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

（各授業科目の授業期間）

第3類（杏林大学学則）

第24条の2 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができる場合は、この限りではない。

（授業の方法）

第25条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 本学は、文部科学大臣が別に定めるところ（平成13年文部科学省告示第51号）により、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 本学は、第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても同様とする。

4 本学は、文部科学大臣が別に定めるところ（平成15年文部科学省告示第43号）により、第1項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

（単位の計算方法）

第26条 授業科目の単位の計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

（1）講義及び演習については、毎週1時間から2時間15週の授業をもって1単位とする。

（2）実験、実習及び実技については、毎週2時間から3時間15週の授業をもって1単位とする。

（3）授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合の単位数を計算するに当たっては、その組み合わせに応じ、前各号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

（単位の授与）

第26条の2 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。ただし、第26条第2項の授業科目については、論文審査等の適切な方法により学修の成果を評価して所定の単位を与える。

（試験及び進級の認定）

第27条 試験は各授業科目ごとに行う。

2 試験は、口頭又は筆記により行う。ただし、科目の性質によりあらかじめ定めたものについては、他の方法によることができる。

3 試験の成績は、S（90点以上～100点）、A（80点以上～90点未満）、B（70点以上～80点未満）、C（60点以上～70点未満）、D（60点未満）の5種とし、SA

第3類（杏林大学学則）

BCを合格、Dを不合格とする。合格した授業科目については所定の単位を与える。

- 4 進級の認定については、各学部の学修規程又は履修規程に定める。

（他の大学又は短期大学における授業科目の履修等）

第27条の2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が、外国の大学又は短期大学に留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するもの（平成16年文部科学省告示第176号）の当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

（大学以外の教育施設等における学修）

第27条の3 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修、その他文部科学大臣が定める学修（平成3年文部省告示第68号）を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、第27条の2第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

（入学前の既修得単位等の認定）

第27条の4 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学入学前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本学入学後に本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学入学前に行った第27条の3第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

- 3 前項及び前々項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第27条の2第1項（同条第2項において準用する場合を含む。）及び第27条の3第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

（成績評価基準等の明示等）

第27条の5 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

- 2 本学は、学生に対して、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

第3類（杏林大学学則）

（教育内容等の改善のための組織的研修等）

第27条の6 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

（単位互換）

第28条 単位の互換に関する規程は別に定める。

第29条 削 除

第9章 休学、転学、留学、退学等

（休学）

第30条 疾病その他やむを得ない事由のため、3か月以上修学できないときは、学長に願い出て休学することができる。この場合その事由が病気であるときは、医師の診断書を添付しなければならない。

2 休学の期間は、1年を超えることはできない。ただし、特にやむを得ない事情があると認められるときは、さらに1年を限り延長することがある。

第31条 疾病のため修学することが適当でないと認められる者に対しては、学長は当該学部長の申請により休学を命ずることができる。

（復学）

第32条 休学の期間中であっても、その事由が消滅したときは、当該学部長を経て、学長に願い出て復学することができる。この場合、休学の事由が病気である場合には、本学付属病院の医師の診断書を添付しなければならない。

第33条 休学の期間は、第16条の修業年限及び第17条の在学年限に算入しない。

2 休学の期間は、通算して3年を超えることはできない。

（転学・転学部等）

第34条 本学から他の大学に転学しようとする者は、理由書を添えて、当該学部長を経て学長に願い出て、許可を得なければならない。

2 本学内で他学部の学科又は同一学部内の他学科へ転学部又は転学科を志願した者は選考の上、これを許可することがある。転学部又は転学科した者の在学年数には、元の学部学科の在学年数の全部又は一部を通算することができる。

（留学）

第35条 本学は在学中に外国の大学等に留学することを認める。

2 留学に関する事項については、杏林大学学生国際交流規程に定める。

（退学）

第36条 疾病その他の事由により、退学しようとする者は、理由書を添え、保証人連署のうえ当該学部長を経て学長に願い出て、許可を受けなければならない。この場合、退学の事由が疾病によるときは、医師の診断書を添付しなければならない。ただし、死亡の場合は、死亡診断書等の確認により、死亡した日をもって退学とする。

2 退学願の提出と退学の許可については、本学則に定めるところによるほか、医学部においては、学修規程に定めるところによる。

第3類（杏林大学学則）

（再入学）

第37条 前条により退学した者で、2年以内に退学の事由が消滅し、再び入学を願う者があるときは、学長は当該学部長の申請により、相当年次に再入学を認めることができる。

（除籍）

第38条 次の各号の一に該当する者は、当該教授会の議を経て学長がこれを除籍する。

- （1）故なくして、3ヵ月以上授業料その他の学納金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- （2）第30条第2項に定める休学期間を超えて、なお修学できない者
- （3）第17条に定める在学年限を超える者
- （4）行方不明で失踪の届出があった者

第10章 卒業

（卒業の要件）

第39条 医学部においては、別表1-1の適用を受ける者は、6年以上在学し25.5単位を修得しなければならない。別表1-2の適用を受ける者は、6年以上在学し25.2単位を修得しなければならない。別表1-3の適用を受ける者は、6年以上在学し25.2単位を修得しなければならない。別表1-4の適用を受ける者は、6年以上在学し24.9単位を修得しなければならない。別表1-5の適用を受ける者は、6年以上在学し20.5単位を修得しなければならない。別表1-6の適用を受ける者は、6年以上在学し21.0単位を修得しなければならない。

2 保健学部臨床検査技術学科、健康福祉学科、臨床工学科、救急救命学科及び臨床心理学科においては4年以上在学し12.4単位以上を、看護学科及び診療放射線技術学科においては4年以上在学し13.3単位以上を、理学療法学科及び作業療法学科においては4年以上在学し12.5単位以上を修得しなければならない。

3 総合政策学部においては、4年以上在学し12.4単位以上を修得しなければならない。

4 外国語学部においては、4年以上在学し12.4単位以上を修得しなければならない。

5 各学部とも自由科目については、その履修により修得した単位は卒業の単位に算入しない。

6 本学の学生が、その所属する学科以外の学科（一学部に二学科以上の場合）、又は本学他学部の設置する授業科目のうち、在学する学部・学科に設置されていない授業科目については、関係学部長の許可を受けて履修することができる。

7 前項により修得した単位は、卒業に必要な単位として認定することができる。

（卒業の認定）

第40条 前条に定める卒業の要件をみたした者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

（学位）

第3類（杏林大学学則）

第41条 卒業の認定をうけた者に次に定める学士の学位を授与する。

医学部	学士（医学）
保健学部	
臨床検査技術学科	学士（保健衛生学）
健康福祉学科	学士（保健衛生学）
看護学科	学士（看護学）
臨床工学科	学士（臨床工学）
救急救命学科	学士（救急救命学）
理学療法学科	学士（理学療法学）
作業療法学科	学士（作業療法学）
診療放射線技術学科	学士（診療放射線学）
臨床心理学科	学士（臨床心理学）
総合政策学部	
総合政策学科	学士（総合政策学）
企業経営学科	学士（企業経営学）
外国語学部	
英語学科	学士（文学）
中国語学科	学士（中国語コミュニケーション学）
観光交流文化学科	学士（観光交流文化学）

（教育職員免許状）

第41条の2 本学に教職課程を置く。

2 教職に関する専門科目の種類及び単位数は、別表5-1のとおりとする。

（教育職員免許取得に必要な科目及び単位数）

第41条の3 教育職員免許を得ようとする者は、別に定める本学教職課程履修に関する規程及び教育職員免許法並びに同法施行規則の定めるところに従い、それぞれ所定の科目及び単位を修得しなければならない。

（免許状の種類及び履修学部・学科）

第41条の4 前条に規定する単位を修得することによって得られる免許状の種類並びに履修する学部・学科・専攻は次のとおりとする。

履修する学部・学科・専攻	免許状の種類	
保健学部健康福祉学科	養護教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	養護 保健 保健
保健学部看護学科 看護養護教育学専攻	養護教諭一種免許状	養護
総合政策学部総合政策学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民

第3類（杏林大学学則）

総合政策学部企業経営学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社 会 公 民
外国語学部英語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語 英 語

第11章 賞罰

（表彰）

第42条 学業その他が特にすぐれ、他の学生の範となる者があるときは、学長は教授会の議を経て、適当な方法でこれを表彰することができる。

（懲戒）

第43条 本学の建学精神、教育方針に違背し、又は学生としての本分に反した行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒は、その軽重に応じ、譴責、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

（1）性行不良で、改善の見込みのないと認められる者

（2）学力劣等で、成業の見込みがないと認められた者

（3）正当の理由がなくて、出席常でない者

（4）本学の定める諸規程に反し、又は学内の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第12章 委託学生、聴講生、科目等履修生及び外国人留学生

（委託学生）

第44条 公共又は民間の諸機関等から、委託学生の受入れについて申し入れがあったときは、欠員があり、教育上支障のない限り教授会の議を経て受入れることができる。

2 委託学生には本学則を準用する。ただし、委託学生として在学した期間及びその修得単位は、第39条に定める在学期間及び単位として換算することはできない。

（聴講生）

第45条 本学学生にあらざる者で、本学の授業科目の一部を聴講することを希望する者があるときは、教育研究上支障のない限り、聴講生としてこれを許すことができる。

2 聴講生となることが出来る者は、聴講する科目を理解するに足る学力があると教授会が認めた者に限るものとする。

3 聴講生には本学則を準用する。ただし、聴講生として在学した期間は、第39条に定める在学期間に通算しない。また、単位は授与しない。

（科目等履修生）

第46条 本学学生にあらざる者で本学の授業科目の一部を履修することを希望する者がいるときは、教育研究上支障のない限り、科目等履修生としてこれを許可することができる。

2 科目等履修生となることが出来る者は、履修する科目を理解するに足る学力があ

第3類（杏林大学学則）

ると教授会が認めた者に限るものとする。

- 3 科目等履修生には本学則を準用する。
- 4 本学科目等履修生として単位を修得した後に本学に入学した場合、当該単位の修得により当該学部教育課程の一部を履修したと当該学部が認めたときは、その単位数等に応じて、相当期間を当該学部の修業年限の2分の1を超えない範囲で第39条に定める在学期間として通算することができる。
- 5 科目等履修生には第26条の2の定めにより履修した科目の単位を授与する。
（外国人留学生）

第47条 外国人であって、本学学生としての教育を受けることを希望する者があるときは、外国人留学生として入学させることができる。

- 2 外国人留学生の入学者選抜に関しては、必要ある場合は日本語の能力に関する試験を加える。

第13章 学納金

（入学検定料、入学料等の納入）

第48条 本学に入学を志願する者は、別に定める入学検定料を納入しなければならない。

- 2 入学選考試験に合格した者は、別表6-1及び別表6-2に定める入学料、授業料その他の学納金を納入しなければならない。

- 3 前項の納入金の納入時期、納入方法等必要な事項は、別に定める。

（授業料等の納入）

第49条 本学学生は別表6-1及び別表6-2に定める授業料等その他の学納金を納入しなければならない。

- 2 前項の納入金の納入時期、納入方法等必要な事項は、別に定める。
- 3 休学又は停学中であっても、授業料等は徴収する。ただし、休学の期間が6か月以上にわたる者の授業料その他の学納金については別に定めるところにより、減免することがある。
- 4 海外留学する場合、本学に納入すべき費用については別に定める。
- 5 除籍の場合における授業料は、その納期に属する分はこれを徴収する。
- 6 授業料、実験実習費・施設設備費等を所定の期日までに納入しない者には、授業への出席、図書の閲覧、その他施設の利用を認めない。

第50条 入学料、授業料その他既納の学納金は、如何なる理由があってもこれを還付しない。

第14章 名誉学長・名誉教授

（名誉学長）

第51条 本学は、名誉学長の称号を与えることができる。

- 2 名誉学長の詳細については、別に定める。

（名誉教授）

第52条 本学は、名誉教授の称号を与えることができる。

- 2 名誉教授の詳細については、別に定める。

第3類（杏林大学学則）

第15章 雑則

（改正）

第53条 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、2つ以上の学部に関連する場合は、関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の3分の2以上が出席し出席者の3分の2以上の賛成を得たうえ、評議会及び理事会の承認を得なければならない。

附 則

- 1 本学則は、昭和45年 4月 1日から施行する。
- 2 この学則を改正しようとするときは、教授の3分の2以上が出席した医学部教授会において、出席者の3分の2以上の賛成を得なければならない。
- 3 前項の学則の改正については、理事会の承認を要するものとする。

附 則

本学則は、昭和49年 4月26日から施行する。

附 則

本学則は、昭和51年 4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和53年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、昭和54年 4月 1日から施行する。
- 2 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、両学部に関連する事項については、各学部の教授会に、医学部に関連する事項については、医学部教授会に、保健学部に関連する事項については、保健学部教授会に諮り、それぞれの賛成を得なければならない。各学部教授会は、所定の構成員たる教授の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成をもって議決する。

附 則

- 1 本学則は、昭和55年 4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定に拘らず保健学部の総定員は、次のとおりとする。

年度 学科	54年度	55年度	56年度	57年度以降
臨床検査技術学科	50名	100名	150名	200名
保健学科	50名	100名	150名	200名

附 則

本学則は、昭和57年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、昭和59年 4月 1日から施行する。
- 2 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、2つ以上の学部に関連する場

第3類（杏林大学学則）

合は関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成をもって議決するものとする。

附 則

本学則は、昭和60年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和61年 4月 1日から施行する。ただし、第3条の規定にかかわらず、昭和61年度から昭和74年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
医 学 部	医 学 科	100 名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	50 名
	保 健 学 科	50 名
社会科学部	社 会 科 学 科	300 名

附 則

- 1 本学則は、昭和63年 4月 1日から施行する。ただし、別表2-2（第24条関連）の適用については次の各号による。
 - (1) 昭和60年度入学生については適用しない。
 - (2) 昭和61年度入学生については、臨床検査技師、衛生検査技師に関する法律施行令第12条第3号の規定に基づく指定科目に限りこの表の該当科目を適用する。
 - (3) 昭和62年度入学生については、この表を適用する。

附 則

本学則は、平成 3年 4月 1日から施行する。ただし、第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
医 学 部	医 学 科	90 名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	65 名
	保 健 学 科	65 名
社 会 科 学 部	社 会 科 学 科	330 名
外 国 語 学 部	英 米 語 学 科	160 名
	中 国 語 学 科	70 名
	日 本 語 学 科	70 名

附 則

- 1 本学則は、平成 3年10月 1日から施行する。
- 2 学則第24条別表3は、平成 4年 4月 1日在籍の学生から適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成 5年 4月 1日から施行する。
- 2 別表1-2は平成5年度入学生から適用する。
- 3 平成4年度以前の入学生は別表1-1を適用する。ただし、平成5年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成4年度以前の入学生は別表1-2を適用する。

第3類（杏林大学学則）

附 則

- 1 本学則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 別表1－2は平成6年度入学生から適用する。
- 3 平成5年度の別表1－2の適用者は、平成6年度の別表1－2に読みかえる。
- 4 別表1－1の時間数は、別表1－2の同名科目単位数を時間数に換算して読みかえる。
- 5 別表1－1を適用する学生に別表1－2で開講する科目を受講させることができるものとする。ただし、その履修により修得した単位は、卒業の単位に算入しない。
- 6 保健学部臨床検査技術学科及び保健学科において、平成6年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成5年度以前の入学生は、保健学部履修規程に定める授業科目対応表により、別表2－2の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、別表2－1A及び2－1Bの授業科目で行う。
- 7 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、2つ以上の学部に関連する場合は、関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の3分の2以上が出席し出席者の3分の2以上の賛成を得たうえ、評議会の承認を得なければならない。

附 則

- 1 本学則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 別表2－3及び別表6－2は平成8年度入学生から適用する。
- 3 保健学部臨床検査技術学科、保健学科及び看護学科において、平成8年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成6年度及び平成7年度の入学生は保健学部履修規程に定める授業科目対応表により、別表2－3の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、別表2－2の授業科目で行う。

附 則

本学則は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

本学則は、平成10年 4 月 1 日から施行する。ただし、第3条の規定にかかわらず、平成10年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
医 学 部	医 学 科	90 名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	65 名
	保 健 学 科	65 名
	看 護 学 科	80 名
社会科学部	社 会 科 学 科	330 名
外国語学部	英 米 語 学 科	160 名
	中 国 語 学 科	70 名
	日 本 語 学 科	100 名

第3類（杏林大学学則）

附 則

- 1 本学則は、平成11年 4月 1日から施行する。
- 2 別表2－3は平成11年度入学生から適用する。
- 3 保健学部臨床検査技術学科、保健学科及び看護学科において、平成11年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成6年度から平成10年度までの入学生は保健学部履修規程に定める授業科目対応表により別表2－3の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、平成6年度及び平成7年度入学生は、別表2－1の授業科目で行い、平成8年度から平成10年度までの入学生は別表2－2の授業科目で行う。

附 則

- 1 本学則は、平成11年 7月 1日から施行する。
- 2 第48条第1項は、平成12年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成12年 4月 1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員				
		平成12 年 度	平成13 年 度	平成14 年 度	平成15 年 度	平成16 年 度
医 学 部	医 学 科	90 名	90 名	90 名	90 名	90 名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	55 名	55 名	55 名	55 名	55 名
	保 健 学 科	55 名	55 名	55 名	55 名	55 名
	看 護 学 科	80 名	80 名	80 名	80 名	80 名
社会科学部	社 会 科 学 科	330 名	330 名	330 名	310 名	290 名
外国語学部	英 米 語 学 科	160 名	160 名	160 名	160 名	160 名
	中 国 語 学 科	70 名	50 名	50 名	50 名	50 名
	日 本 語 学 科	100 名	100 名	80 名	80 名	80 名

- 3 別表1－1は、削除する。
- 4 別表1－4は、平成12年度入学生から適用する。
- 5 平成8年度以前の入学生は、別表1－2、及び平成11年度以前の入学生は、別表1－3を適用する。ただし平成12年度以降の学年進行に組み入れる平成11年度以前の入学生は、別表1－4を適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成13年 4月 1日から施行する。ただし、第6条の規定は、平成12年 7月 1日から施行する。
- 2 第2条の規定にかかわらず、平成13年 3月31日までに外国語学部英米語学科、中国語学科及び日本語学科に在籍する学生は、改正前の学則を適用するものと

第3類（杏林大学学則）

する。

- 3 第3条の規定にかかわらず、平成13年度から平成16年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員			
		平成13 年 度	平成14 年 度	平成15 年 度	平成16 年 度
医 学 部	医 学 科	90 名	90 名	90 名	90 名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	55 名	55 名	55 名	55 名
	保 健 学 科	55 名	55 名	55 名	55 名
	看 護 学 科	80 名	80 名	80 名	80 名
社会科学部	社 会 科 学 科	330 名	330 名	310 名	290 名
外国語学部	外 国 語 学 科	310 名	290 名	290 名	290 名

附 則

本学則は、平成13年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成14年 4月 1日から施行する。
- 2 第2条の規定にかかわらず、平成14年 3月31日までに社会科学部社会科学科に在籍する学生は、平成14年 4月 1日以降、社会科学部社会科学科に在籍する学生の当該学年に、編入若しくは転学部等によって入学する学生についても、改正前の学則を適用するものとする。
- 3 第3条の規定にかかわらず、平成14年度から平成16年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員		
		平成14年度	平成15年度	平成16年度
医 学 部	医 学 科	90名	90名	90名
保 健 学 部	臨 床 検 査 技 術 学 科	55名	55名	55名
	保 健 学 科	55名	55名	55名
	看 護 学 科	80名	80名	80名
総合政策学部	総 合 政 策 学 科	330名	310名	290名
外国語学部	外 国 語 学 科	290名	290名	290名

附 則

本学則は、平成14年 4月 1日から施行する。

附 則

第3類（杏林大学学則）

本学則は、平成15年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成14年10月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成15年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。
- 2 第19条第1項第7号の規定は、平成16年度入学生から適用する。
- 3 別表1－3は、平成16年度入学生から適用する。

附 則

本学則は、平成17年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成18年 4月 1日から施行する。
（経過措置）
- 2 この学則による改正後の第2条、第3条、第41条、第41条の3及び第41条の4は、平成18年4月1日以降の入学生に適用し、平成17年10月1日以前の入学生及び平成19年10月1日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。なお、第3条に定める総合政策学部企業経営学科及び外国語学部の編入学定員は、平成20年4月1日以降の編入学生から適用する。また、学校図書館司書教諭講習修了証書の取得に関する専門科目の種類及び単位数は、別表5－2のとおりとする。ただし、別表5－2は、平成17年10月1日以前の入学生に適用する。
- 3 この学則による別表2－1保健学科の項中「社会福祉援助技術論Ⅰ」「社会福祉援助技術論Ⅱ」「社会福祉援助技術演習Ⅰ」「社会福祉援助技術演習Ⅱ」「社会福祉援助技術演習Ⅲ」「社会福祉援助技術演習Ⅳ」「社会福祉援助技術演習Ⅴ」「社会福祉援助技術実習」「社会福祉援助技術現場実習指導」については、平成18年4月1日以降の履修者に適用し、平成17年4月1日以前の「社会福祉援助技術Ⅰ」「社会福祉援助技術Ⅱ」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術実習Ⅰ」「社会福祉援助技術実習Ⅱ」の履修者については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成17年 8月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成18年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成18年 4月 1日から施行する。

第3類（杏林大学学則）

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成19年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第2条、第3条、第39条第2項、第41条、第41条の4及び別表2－2の規定は、平成19年4月1日以降の入学生に適用し、平成18年10月1日以前の入学生並びに平成19年10月1日以前の2年次編入学生及び平成20年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。なお、第3条に定める編入学定員は、平成20年4月1日以降の2年次編入学生並びに平成21年4月1日以降の3年次編入学生から適用する。
- 3 前項の規定にかかわらず、保健学部臨床工学科については、別表2－1を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成19年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の別表4－2の規定は、平成18年4月1日以降の入学生に適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成20年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第2条、第3条及び第41条の規定は、平成20年4月1日以降の入学生に適用し、平成19年10月1日以前の入学生並びに平成21年10月1日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成20年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 別表3－2、別表3－3の改正は当該別表に定める入学生より適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成21年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第39条、第41条の4及び別表2－3の規定は、平成21年4月1日以降の入学生に適用し、平成20年10月1日以前の入学生及び平成21年10月1日以前の2年次編入学生並びに平成22年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。
- 3 前項の規定にかかわらず、保健学部臨床工学科については別表2－1を、救急救

第3類（杏林大学学則）

命学科については別表2-2を適用する。

- 4 別表3-1、別表5-1-1及び別表6-1は、適用学生が平成20年3月31日付けで卒業したことに伴い、それぞれ削除することとし、以降順次繰り上げ、改正後の別表3-1、別表3-2、別表5-1-1、別表5-1-2、別表5-1-3、別表6-1、別表6-2、別表6-3及び別表6-4は、平成20年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、平成21年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成21年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成22年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第2条、第2条の2、第3条及び第41条の規定は、平成22年4月1日以降の入学生に適用し、平成21年10月1日以前の入学生並びに平成23年10月1日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成22年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の別表3-3及び別表5-1-4は、平成22年4月1日以降の入学生に適用し、平成21年10月1日以前の入学生及び平成22年10月1日以前の2年次編入学生並びに平成23年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成22年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成22年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則改正による改正後の別表2-4は、平成22年4月1日以降の入学生から適用し、平成21年4月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成23年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第2条、第2条の2、第3条、第41条、別表2-5及び別表4-5の規定は、平成23年4月1日以降の入学生に適用し、平成22年1

第3類（杏林大学学則）

0月1日以前の入学生並びに平成24年10月1日以前の新編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成23年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成23年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第2条、第2条の2、第3条、第39条、第41条、別表2-5及び別表4-5の規定は、平成23年4月1日以降の入学生に適用し、平成22年10月1日以前の入学生並びに平成24年10月1日以前の新編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成24年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第39条及び別表2-6、別表5-1-5は、平成24年4月1日以降の入学生に適用し、平成23年10月1日以前の入学生及び平成24年10月1日以前の2年次新編入学生並びに平成25年10月1日以前の3年次新編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成23年10月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成24年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の別表1-5は、平成24年4月1日以降の入学生から適用し、平成23年4月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成24年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成25年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成25年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の別表1-6は、平成25年4月1日以降の入学生から適用し、平成24年4月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

第3類（杏林大学学則）

本学則は、平成26年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成26年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の別表1－7は、平成26年4月1日以降の入学生から適用し、平成25年4月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。
- 3 この学則による改正後の別表3－3は、平成26年4月1日以降の入学生に適用し、別表3－2は、平成22年4月1日より平成25年9月15日までの入学生並びに平成24年4月1日より平成27年9月15日以前の編入学生に適用し、別表3－1は、平成18年4月1日より平成21年10月1日以前の入学生並びに平成20年4月1日より平成23年10月1日以前の編入学生に適用する。
- 4 この学則による改正後の別表4－4は、平成26年4月1日以降の入学生に適用し、平成25年9月15日以前の入学生並びに平成27年9月15日以前の編入学生については、改正前の学則（改正前の別表4－3、4－4、4－5）を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成27年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第48条、第49条、別表2－8及び別表6－5は、平成27年4月1日以降の入学生に適用し、平成26年4月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成26年11月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成27年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成28年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第39条及び別表2－8は、平成28年4月1日以降の入学生に適用し、平成27年4月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成28年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の別表1－8及び別表2－9は、平成28年4月1日以降の入学生に適用し、平成27年4月1日以前の入学生については、改正前の学則を

第3類（杏林大学学則）

適用する。別表3－4及び別表4－5は、平成28年4月1日以降の入学生に適用し、平成27年9月15日以前の入学生並びに平成29年9月15日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成28年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成29年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第2条の2及び別表2－10は、平成29年4月1日以降の入学生から適用し、平成28年4月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成29年 4月 1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成30年 4月 1日からの入学者は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
医 学 部	医 学 科	117 名	—	702 名
保 健 学 部	臨 床 検 査 技 術 学 科	120 名	—	480 名
	健 康 福 祉 学 科	50 名	—	200 名
	看 護 学 科	150 名	—	600 名
	（看護学専攻）	（100 名）	（—）	（400 名）
	（看護養護教育学専攻）	（50 名）	（—）	（200 名）
	臨 床 工 学 科	60 名	—	240 名
	救 急 救 命 学 科	50 名	—	200 名
	理 学 療 法 学 科	56 名	—	224 名
	作 業 療 法 学 科	54 名	—	216 名
	診療放射線技術学科	66 名	—	264 名
総合政策学部	総 合 政 策 学 科	150 名	3 名	606 名
	企 業 経 営 学 科	80 名	3 名	326 名
外国語学部	英 語 学 科	130 名	4 名	528 名
	中 国 語 学 科	30 名	5 名	130 名
	観 光 交 流 文 化 学 科	90 名	3 名	366 名

附 則

（施行期日）

- 1 第2条の規定にかかわらず、平成30年 4月 1日から学部、学科は、次のとおりとする。

（学部、学科）

第2条 本学に次の学部及び学科を置く。

医 学 部 医学科

第3類（杏林大学学則）

保健学部 臨床検査技術学科、健康福祉学科、看護学科（看護学専攻、看護養護教育学専攻）、臨床工学科、救急救命学科、理学療法学科、作業療法学科、診療放射線技術学科及び臨床心理学科

総合政策学部 総合政策学科及び企業経営学科

外国語学部 英語学科、中国語学科及び観光交流文化学科

- 2 第2条の2の規定にかかわらず、平成30年4月1日から学部又は学科の目的は、次のとおりとする。

（学部又は学科の目的）

第2条の2 学部又は学科ごとの人材の養成その他の教育研究上の目的については、次のとおりとする。

- 2 医学部は、豊かな人間性の涵養と、医学の発展に対応しうる基礎的及び専門的知識の修得と臨床的技能の修練を通じて、良き医師を養成することを目的とする。

3 保健学部

- （1）臨床検査技術学科は、保健及び医療に携わる者として高い倫理観と、強い使命感を持ち、臨床検査に対する卓越した専門知識と技術、総合的な判断力を持つ人材を養成することを目的とする。
- （2）健康福祉学科は、保健、医療、福祉、養護及び保育の専門知識と技術をもち、高い倫理観と情熱をもって人の健康と生活の支援を実践する人材を養成することを目的とする。
- （3）看護学科看護学専攻は、看護を必要とする様々な人々に対して対処できるよう、的確な問題解決能力と技術をもち、人への思いやりを有し、高い倫理観を持ち、かつリーダーシップを発揮できる人材を養成することを目的とし、看護養護教育学専攻は、健康増進の実現に寄与しうる創造力と実践力を有し、特に国の将来を担う子どもたちの成長過程において、指導力を発揮できる人材を養成することを目的とする。
- （4）臨床工学科は、生命維持管理装置の操作運用に関する医用生体工学の分野で、その専門的知識と技術を活かし、高い倫理観と使命感を持った実践的な臨床工学技士を養成することを目的とする。
- （5）救急救命学科は、高い倫理観を持ち、救急救命の最前線で求められる迅速かつ的確な状況判断能力と傷病者の状況観察に基づく適切な処置技術を有する人材を養成することを目的とする。
- （6）理学療法学科は、医療人としての倫理観に裏付けされた豊かな人間性と理学療法に関する高度な知識、技術を備え、障害の機能回復だけでなく、地域医療や福祉の場における健康の維持増進など幅広い領域において貢献できる人材を養成することを目的とする。
- （7）作業療法学科は、豊かな人間性と倫理観を備え、心身に障害をもつ人々のQOL（生活の質）の維持・向上を支援するために必要な、科学的根拠に基づいた作業療法に関する幅広い専門知識と技術を身につけた人材を育成すること

第3類（杏林大学学則）

を目的とする。

（8）診療放射線技術学科では、診療放射線技術分野における高い専門性と確かな技術力を身につけ、豊かな人間性と高い倫理観を併せ持つ、将来にわたって医療に貢献できる人材を養成することを目的とする。

（9）臨床心理学科は、豊かな人間性と倫理観を備え、質の高いコミュニケーションを通じて心理的な援助を必要とする人々のQOL(生活の質)の維持・向上を支援するために必要な、科学的根拠に基づいた臨床心理学を基軸とする幅広い心理学の専門知識と技術を身につけた人材を養成することを目的とする。

4 総合政策学部

（1）総合政策学科は、社会をマクロの視点から捉え、政治、経済、法律、国際関係、福祉の各専門分野を総合的かつ学際的に学ぶことにより、グローバル社会における様々な問題を多面的に把握分析し、実践的に解決するための知識と能力を備えた人材を養成することを目的とする。

（2）企業経営学科は、企業活動というミクロの視点に立ち、経営及び会計の各専門分野における知識の修得はもとより他の関連分野にも通曉し、グローバル社会において企業が求める幅広い知識と実務遂行のための能力、技能を備えた人材を養成することを目的とする。

5 外国語学部

（1）英語学科は、異文化の垣根を越えて相互に理解し共存できる人間性そのものを陶冶し、実践的な英語運用能力の開発を通じて、実社会の中で必要な専門的知識を備えた国際的な職業人を養成することを目的とする。

（2）中国語学科は、社会のニーズに対応できる実践的な中国語運用能力を開発し、高度な知見と技能の修得により、日中間の交流を担う、中国語の高度なコミュニケーション能力を具備した人材を養成することを目的とする。

（3）観光交流文化学科は、観光産業の現場における有益な人材を輩出するため、十分な外国語運用能力に基づいたコミュニケーション力を修得した上で、正しい異文化理解、さらには産業の現状把握を通じて「ホスピタリティ」を学習し、実践的に応用できる人材を養成することを目的とする。

3 第3条の規定及び上記附則2の入学定員にかかわらず、平成30年 4月 1日からの入学定員は、下記のとおりとする。

（学生定員）

第3条 学生定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
医 学 部	医 学 科	117 名	—	702 名
保 健 学 部	臨 床 検 査 技 術 学 科	120 名	—	480 名
	健 康 福 祉 学 科	50 名	—	200 名
	看 護 学 科	150 名	—	600 名
	（看護学専攻） （看護養護教育学専攻）	（100 名） （50 名）	（—） （—）	（400 名） （200 名）

第3類（杏林大学学則）

	臨床工学科	60名	—	240名
	救急救命学科	50名	—	200名
	理学療法学科	56名	—	224名
	作業療法学科	54名	—	216名
	診療放射線技術学科	66名	—	264名
	臨床心理学科	80名	—	320名
総合政策学部	総合政策学科	150名	3名	606名
	企業経営学科	80名	3名	326名
外国語学部	英語学科	130名	4名	528名
	中国語学科	30名	5名	130名
	観光交流文化学科	90名	3名	366名

- 4 第39条の規定にかかわらず、平成30年 4月 1日から卒業の要件は、次のとおりとする。

（卒業の要件）

第39条 医学部においては、別表1－1の適用を受ける者は、6年以上在学し25.5単位を修得しなければならない。別表1－2の適用を受ける者は、6年以上在学し25.2単位を修得しなければならない。別表1－3の適用を受ける者は、6年以上在学し25.2単位を修得しなければならない。別表1－4の適用を受ける者は、6年以上在学し24.9単位を修得しなければならない。別表1－5の適用を受ける者は、6年以上在学し20.5単位を修得しなければならない。

2 保健学部臨床検査技術学科、健康福祉学科、臨床工学科、救急救命学科及び臨床心理学科においては4年以上在学し12.4単位以上を、看護学科及び診療放射線技術学科においては4年以上在学し13.3単位以上を、理学療法学科及び作業療法学科においては4年以上在学し12.5単位以上を修得しなければならない。

3 総合政策学部においては、4年以上在学し12.4単位以上を修得しなければならない。

4 外国語学部においては、4年以上在学し12.4単位以上を修得しなければならない。

5 各学部とも自由科目については、その履修により修得した単位は卒業の単位に算入しない。

6 本学の学生が、その所属する学科以外の学科（一学部に二学科以上の場合）、又は本学他学部の設置する授業科目のうち、在学する学部・学科に設置されていない授業科目については、関係学部長の許可を受けて履修することができる。

7 前項により修得した単位は、卒業に必要な単位として認定することができる。

- 5 第41条の規定にかかわらず、平成30年 4月 1日から学位は、次のとおりとする。

（学位）

第41条 卒業の認定をうけた者に次に定める学士の学位を授与する。

医学部

学士（医学）

保健学部

第3類（杏林大学学則）

臨床検査技術学科	学士（保健衛生学）
健康福祉学科	学士（保健衛生学）
看護学科	学士（看護学）
臨床工学科	学士（臨床工学）
救急救命学科	学士（救急救命学）
理学療法学科	学士（理学療法学）
作業療法学科	学士（作業療法学）
診療放射線技術学科	学士（診療放射線学）
臨床心理学科	学士（臨床心理学）
総合政策学部	
総合政策学科	学士（総合政策学）
企業経営学科	学士（企業経営学）
外国語学部	
英語学科	学士（文学）
中国語学科	学士（中国語コミュニケーション学）
観光交流文化学科	学士（観光交流文化学）

6 平成30年 4月 1日から別表2-11を追加する。

附 則

- 1 本学則は、平成30年 4月 1日から施行する。
- 2 この学則による改正後の別表5-1-3は、平成28年4月1日以降の入学生に適用する。
- 3 この学則による改正後の別表2-11は、平成30年4月1日以降の入学生に適用する。
- 4 この学則による改正後の第41条の4、別表3-5、別表4-4及び別表5-1-4は、平成31年4月1日以降の入学生及び平成33年4月1日以降の編入学生から適用する。

附 則

本学則は、平成31年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、令和 2年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、令和 2年 4月 1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、令和2年度から令和8年度までの間の医学部医学科の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

年度	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
令和2年度	115名	—	700名

第3類（杏林大学学則）

令和3年度	115名	—	698名
令和4年度	105名	—	686名
令和5年度	105名	—	674名
令和6年度	105名	—	662名
令和7年度	105名	—	650名
令和8年度	105名	—	640名

附 則

本学則は、令和 2年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、令和 3年 4月 1日から施行する。ただし、第5条及び第6条の規定は、令和 2年 6月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の別表2－14は、令和 3年 4月 1日以降の入学生から適用し、令和 2年 4月 1日以前の学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、令和 3年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 第3条の規定にかかわらず、令和 4年 4月 1日からの入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	3年次編 入学定員	収容定員
医 学 部	医 学 科	105名	—	630名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	120名	—	480名
	健康福祉学科	120名	—	480名
	看護学科	150名	—	600名
	（看護学専攻）	（100名）	（—）	（400名）
	（看護養護教育学専攻）	（50名）	（—）	（200名）
	臨床工学科	60名	—	240名
	救急救命学科	50名	—	200名
	理学療法学科	56名	—	224名
	作業療法学科	54名	—	216名

第3類（杏林大学学則）

	診療放射線技術学科	66 名	—	264 名
	臨床心理学科	80 名	—	320 名
総合政策学部	総合政策学科	150 名	4 名	608 名
	企業経営学科	80 名	2 名	324 名
外国語学部	英語学科	130 名	4 名	528 名
	中国語学科	32 名	2 名	132 名
	観光交流文化学科	90 名	2 名	364 名

- 3 第3条の規定及び上記附則2にかかわらず、令和2年度から令和8年度までの間の医学部医学科の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

年度	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
令和2年度	115 名	—	700 名
令和3年度	115 名	—	698 名
令和4年度	105 名	—	686 名
令和5年度	105 名	—	674 名
令和6年度	105 名	—	662 名
令和7年度	105 名	—	650 名
令和8年度	105 名	—	640 名

- 4 この学則による改正後の別表4－5及び5－1－5は、令和3年4月1日以降の入学生から適用し、令和2年9月15日以前の学生については、改正前の学則を適用する。
- 5 この学則による改正後の別表2－15は、令和4年4月1日以降の入学生から適用する。

第3類（杏林大学学則）

別表1－1

医学部授業科目及び単位数

〈平成20年度入学生から適用〉

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択 必修	自由 選択	
医療と教養	科学と医療	医療科学A	8			
		医療科学B	4			
		医療科学C	3			
		生物学	6			
		生体化学	8			
		医学物理学	8			
		医学統計学	2			
		プレチュートリアル	2			
	外国語	英語A	5			
		英語B	5			
		医学英語A	2			
		医学英語B	1			
		ドイツ語A			5	
		ドイツ語B			5	
		フランス語A			5	
		フランス語B			5	
		中国語A			5	
		中国語B			5	
医学の基礎	人体の構造	肉眼解剖学	8			
		組織解剖学	5			
	人体の機能	分子生物学	6			
		細胞生物学	3			
		代謝生化学A	6			
		代謝生化学B	2			
		生体統御生理学	4			
		細胞生理学	4			
	生との発	薬理学総論	4			
		病理学総論	3			

第3類（杏林大学学則）

		感染と防御	6			
		熱帯病・寄生虫学	2			
		法医学	2			
		衛生学	4			
		公衆衛生学	5			
臨床統合講義	器官の構造・機能とその異常	臨床医学総論	3			
		神経	5			
		呼吸器	4			
		循環器	4			
		消化器	6			
		腎・尿路	4			
		内分泌・代謝	3			
		血液	3			
		精神	2			
		感覚器	3			
		運動器	2			
		皮膚・形成	2			
		女性医学	2			
	老化・誕生・成長・	妊娠・分娩	2			
		発育・小児	2			
		老化と老年病	1			
		生活習慣病	1			
	系統的異常	感染症	2			
		免疫・アレルギー	2			
		腫瘍	1			
		救命と救急医療	2			
		麻酔・全身管理	1			
臨床実習	グループ実習	臨床診断総論	8			
		内科学Ⅰ実習	6			
		内科学Ⅱ実習	4			
		内科学Ⅲ実習	4			
		高齢医学実習	2			
		精神神経科学実習	2			
		小児科学実習	4			
		外科学実習	4			

第 3 類（杏林大学学則）

	小児外科学実習	1			
	救急医学実習	2			
	脳神経外科学実習	2			
	心臓血管外科学実習	2			
	整形外科実習	2			
	皮膚科学実習	2			
	形成外科学実習	1			
	泌尿器科学実習	2			
	眼科学実習	1			
	耳鼻咽喉科学実習	1			
	産科婦人科学実習	2			
	放射線医学実習	1			
	麻酔科学実習	1			
	臨床検査医学実習	1			
	病理学実習	1			
応用 実習	チュートリアル	2			
	臨床応用実習	6			
	臨床総合演習	1 6			
計					2 5 5 単位

第3類（杏林大学学則）

別表1－2

医学部授業科目及び単位数

〈平成24年度入学生から適用〉

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択必修	自由選択	
医療と教養	科学と医療	医療科学A	8			
		医療科学B	3			
		総合医療・地域医療学	1			
		和漢医学概論	1			
		生物学	6			
		生体化学	8			
		医学物理学	8			
		医学統計学	2			
		プレチュートリアル	2			
	外国語	英語A	5			
		英語B	5			
		医学英語A	2			
		医学英語B	1			
		ドイツ語A			5	
		ドイツ語B			5	
		フランス語A			5	
		フランス語B			5	
		中国語A			5	
		中国語B			5	
医学の基礎	人体の構造	肉眼解剖学	8			
		組織解剖学	5			
	人体の機能	分子生物学	6			
		細胞生物学	3			
		代謝生化学A	6			
		代謝生化学B	2			
		生体統御生理学	4			
		細胞生理学	4			

第3類（杏林大学学則）

	異常の発生と制御	薬理学	4			
		病理学総論	3			
		感染と防御	6			
		熱帯病・寄生虫学	2			
		法医学	2			
		衛生学	4			
		公衆衛生学	4			
臨床医学講義	臨床医学	臨床医学総論	1			
		呼吸器内科学	2			
		腎臓内科学	2			
		リウマチ膠原病学	1			
		神経内科学	2			
		循環器病学A	3			
		循環器病学B	4			
		血液内科学	2			
		内分泌・代謝内科学	2			
		消化器内科学	3			
		高齢医学	1			
		精神神経科学	2			
		小児科学A	1			
		小児科学B	2			
		外科学総論	1			
		消化器外科学	1			
		呼吸器・甲状腺・乳腺外科学	1			
		小児外科学	1			
		救急医学	2			
		脳神経外科学	1			
		整形外科・リハビリテーション医学	2			
		皮膚科・形成外科学	2			
		泌尿器科学	2			
		眼科学	2			
		耳鼻咽喉科学	2			
		産科婦人科学A	1			
		産科婦人科学B	1			
		放射線医学	2			

第3類（杏林大学学則）

		麻酔科学	1			
		臨床検査医学・輸血学	1			
		病理学各論A	3			
		病理学各論B	2			
		腫瘍学	1			
		感染症学	2			
		生活習慣病学	1			
臨床実習	グループ実習	臨床診断学	6			
		内科学Ⅰ実習	6			
		内科学Ⅱ実習	4			
		内科学Ⅲ実習	4			
		高齢医学実習	2			
		精神神経科学実習	2			
		小児科学実習	4			
		外科学実習	4			
		小児外科学実習	1			
		救急医学実習	2			
		脳神経外科学実習	2			
		心臓血管外科学実習	2			
		整形外科実習	2			
		皮膚科学実習	2			
		形成外科学実習	1			
		泌尿器科学実習	2			
		眼科学実習	1			
		耳鼻咽喉科学実習	1			
		産科婦人科学実習	2			
		放射線医学実習	1			
		麻酔科学実習	1			
		臨床検査医学実習	1			
		病理学実習	1			
	応用実習	チュートリアル	1			
		臨床応用実習	6			
		臨床総合演習	16			
計						252単位

第3類（杏林大学学則）

別表1－3

医学部授業科目及び単位数

〈平成25年度入学生から適用〉

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択 必修	自由 選択	
医療と教養	科学と医療	医療科学A	8			
		医療科学B	3			
		総合医療・地域医療学	1			
		和漢医学概論	1			
		生物学	6			
		生体化学	8			
		医学物理学	8			
		医学統計学	2			
		プレチュートリアル	2			
	外国語	英語A	5			
		英語B	5			
		医学英語A	2			
		医学英語B	1			
		ドイツ語A			5	
		ドイツ語B			5	
		フランス語A			5	
		フランス語B			5	
		中国語A			5	
		中国語B			5	
医学の基礎	人体の構造	肉眼解剖学	8			
		組織解剖学	5			
	人体の機能	分子生物学	6			
		細胞生物学	3			
		代謝生化学A	6			
		代謝生化学B	2			
		生体統御生理学	4			
		細胞生理学	4			
	異常の発生と制御	薬理学	4			
		病理学総論	3			
		感染と防御	6			
		熱帯病・寄生虫学	2			
		法医学	2			
		衛生学	4			
		公衆衛生学	4			

第3類（杏林大学学則）

臨床医学講義	臨床医学	臨床医学総論	1			
		呼吸器内科学	2			
		腎臓内科学	2			
		リウマチ膠原病学	1			
		神経内科学	2			
		循環器病学A	3			
		循環器病学B	4			
		血液内科学	2			
		内分泌・代謝内科学	2			
		消化器内科学	3			
		高齢医学	1			
		精神神経科学	2			
		小児科学A	1			
		小児科学B	2			
		外科学総論	1			
		消化器外科学	1			
		呼吸器・甲状腺・乳腺外科学	1			
		小児外科学	1			
		救急医学	2			
		脳神経外科学	1			
		整形外科・リハビリテーション医学	2			
		皮膚科・形成外科学	2			
		泌尿器科学	2			
		眼科学	2			
		耳鼻咽喉科学	2			
		産科婦人科学A	1			
		産科婦人科学B	1			
		放射線医学	2			
		麻酔科学	1			
		臨床検査医学・輸血学	1			
		病理学各論A	3			
		病理学各論B	2			
		腫瘍学	1			
		感染症学	2			
		生活習慣病学	1			

第3類（杏林大学学則）

臨床実習	グループ実習	臨床診断学	6			
		呼吸器内科学実習	2			
		腎臓内科・リウマチ膠原病学実習	2			
		神経内科学実習	2			
		循環器病学実習	2			
		血液内科学実習	2			
		内分泌・代謝内科学実習	2			
		消化器内科学実習	2			
		高齢医学実習	2			
		精神神経科学実習	2			
		小児科学実習	4			
		消化器外科学実習	2			
		呼吸器・甲状腺外科学実習	1			
		乳腺外科学実習	1			
		小児外科学実習	1			
		救急医学実習	2			
		脳神経外科学実習	2			
		心臓血管外科学実習	2			
		整形外科実習	2			
		皮膚科学実習	2			
		形成外科学実習	1			
		泌尿器科学実習	2			
		眼科学実習	1			
		耳鼻咽喉科学実習	1			
		産科婦人科学実習	2			
		放射線医学実習	1			
		麻酔科学実習	1			
		臨床検査医学実習	1			
	病理学実習	1				
	応用実習	チュートリアル	1			
		臨床応用実習	6			
		臨床総合演習	1 6			
計						2 5 2 単位

第3類（杏林大学学則）

別表1－4

医学部授業科目及び単位数

〈平成26年度入学生から適用〉

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択 必修	自由 選択	
医療と教養	科学と医療	医療科学A 医療科学B 総合医療・地域医療学 和漢医学概論 生物学 生体化学 医学物理学 医学統計学 プレチュートリアル	8 3 1 1 6 8 8 2 2			
	外国語	英語・医学英語Ⅰ 英語・医学英語Ⅱ 英語・医学英語Ⅲ 英語・医学英語Ⅳ 英語・医学英語Ⅴ ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	5 2 2 1		1 5 5 5 5 5	
医学の基礎	人体の構造	肉眼解剖学 組織解剖学	8 5			
	人体の機能	分子生物学 細胞生物学 代謝生化学A 代謝生化学B 生体統御生理学 細胞生理学	6 3 6 2 4 4			

第3類（杏林大学学則）

	異常の発生と制御	薬理学	4			
		病理学総論	3			
		感染と防御	6			
		熱帯病・寄生虫学	2			
		法医学	2			
		衛生学	4			
		公衆衛生学	4			
臨床医学講義	臨床医学	臨床医学総論	1			
		呼吸器内科学	2			
		腎臓内科学	2			
		リウマチ膠原病学	1			
		神経内科学	2			
		循環器病学A	3			
		循環器病学B	4			
		血液内科学	2			
		内分泌・代謝内科学	2			
		消化器内科学	3			
		高齢医学	1			
		精神神経科学	2			
		小児科学A	1			
		小児科学B	2			
		外科学総論	1			
		消化器外科学	1			
		呼吸器・甲状腺・乳腺外科学	1			
		小児外科学	1			
		救急医学	2			
		脳神経外科学	1			
		整形外科・リハビリテーション医学	2			
		皮膚科・形成外科学	2			
		泌尿器科学	2			
		眼科学	2			
		耳鼻咽喉科学	2			
		産科婦人科学A	1			
		産科婦人科学B	1			
		放射線医学	2			
		麻酔科学	1			
		臨床検査医学・輸血学	1			
		病理学各論A	3			
		病理学各論B	2			
		腫瘍学	1			
		感染症学	2			
		生活習慣病学	1			

第3類（杏林大学学則）

臨床実習	グループ実習	臨床診断学	6			
		呼吸器内科学実習	2			
		腎臓内科・リウマチ膠原病学実習	2			
		神経内科学実習	2			
		循環器病学実習	2			
		血液内科学実習	2			
		内分泌・代謝内科学実習	2			
		消化器内科学実習	2			
		高齢医学実習	2			
		精神神経科学実習	2			
		小児科学実習	4			
		消化器外科学実習	2			
		呼吸器・甲状腺外科学実習	1			
		乳腺外科学実習	1			
		小児外科学実習	1			
		救急医学実習	2			
		脳神経外科学実習	2			
		心臓血管外科学実習	2			
		整形外科実習	2			
		皮膚科学実習	2			
		形成外科学実習	1			
		泌尿器科学実習	2			
		眼科学実習	1			
		耳鼻咽喉科学実習	1			
		産科婦人科学実習	2			
		放射線医学実習	1			
		麻酔科学実習	1			
	臨床検査医学実習	1				
	病理学実習	1				
	応用実習	チュートリアル	1			
		臨床応用実習	6			
		臨床総合演習	1 6			
計						2 4 9 単位

第3類（杏林大学学則）

別表1－5

医学部授業科目及び単位数

〈平成28年度入学生から適用〉

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択 必修	自由 選択	
医療と 教養	科学 と 医療	医療科学A	4			
		医療科学B	2			
		地域と大学	2			
		和漢医学概論	1			
		生物学	4			
		生体化学	4			
		医学物理学	4			
		医学統計学	1			
		プレチュートリアル	2			
	外国 語	英語・医学英語Ⅰ	2			
		英語・医学英語Ⅱ	2			
		英語・医学英語Ⅲ	2			
		英語・医学英語Ⅳ	1			
		英語・医学英語Ⅴ			1	
		ドイツ語Ⅰ			2	
		ドイツ語Ⅱ			2	
		フランス語Ⅰ			2	
		フランス語Ⅱ			2	
		中国語Ⅰ			2	
		中国語Ⅱ			2	
医学の 基礎	構人 造体 の	肉眼解剖学Ⅰ	3			
		肉眼解剖学Ⅱ	3			
		組織解剖学	5			
	人 体 の 機 能	分子生物学	3			
		細胞生物学	2			
		代謝生化学	5			
		統合生理学	4			
		細胞生理学	4			
	異 常 の 発 生 と 制 御	薬理学	4			
		病理学A	3			
		病理学B	1			
		感染症・免疫学	5			
		熱帯病・寄生虫学	2			
		法医学	1			
		衛生学	2			
		公衆衛生学	3			

第3類（杏林大学学則）

臨床医学講義	臨床医学	臨床医学入門Ⅰ	1			
		臨床医学入門Ⅱ	1			
		臨床医学総論	1			
		呼吸器内科学	1			
		腎臓内科学	1			
		リウマチ膠原病学	1			
		神経内科学・脳卒中医学	2			
		循環器病学A	2			
		循環器病学B	2			
		血液内科学	1			
		内分泌・代謝内科学	2			
		消化器内科学	2			
		高齢医学	1			
		精神神経科学	1			
		小児科学	2			
		消化器外科学	1			
		呼吸器・甲状腺・乳腺外科学	1			
		小児外科学	1			
		救急医学	1			
		脳神経外科学・脳卒中医学	1			
		整形外科・リハビリテーション医学	1			
		皮膚科・形成外科学	1			
		泌尿器科学	1			
		眼科学	1			
		耳鼻咽喉科学	1			
		産科婦人科学	2			
		放射線医学	1			
		麻酔科学	1			
		臨床検査医学・輸血学	1			
		腫瘍学	1			
		感染症学	1			
		生活習慣病学	1			
		臨床診断学	4			
臨床実習	グループ実習	呼吸器内科学実習	2			
		腎臓内科・リウマチ膠原病学実習	2			
		神経内科学実習	1			
		脳卒中医学実習	1			
		循環器病学実習	2			
		血液内科学実習	1			
		内分泌・代謝内科学実習	2			
		消化器内科学実習	2			
		腫瘍内科学実習	1			
		高齢医学実習	2			
		精神神経科学実習	2			

第 3 類（杏林大学学則）

	小児科学実習	2			
	消化器外科学実習	2			
	呼吸器・甲状腺外科学実習	1			
	乳腺外科学実習	1			
	小児外科学実習	1			
	救急医学実習	2			
	救急総合医療学実習	1			
	脳神経外科学実習	1			
	心臓血管外科学実習	1			
	整形外科・リハビリテーション医学実習	2			
	皮膚科学実習	1			
	形成外科学実習	1			
	泌尿器科学実習	1			
	眼科学実習	1			
	耳鼻咽喉科学実習	1			
	産科婦人科学実習	2			
	放射線医学実習	1			
	麻酔科学実習	1			
	病理学実習	1			
実応 習用	チュートリアル	1			
	臨床応用実習 A	1 2			
	臨床応用実習 B	1 2			
	臨床総合演習	1 4			
計					2 0 5 単位

第3類（杏林大学学則）

別表1－6

医学部授業科目及び単位数

〈平成31年度入学生から適用〉

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択必修	自由選択	
医療と教養	科学と医療	情報科学 生命倫理と医療安全 人文生命科学特論 行動科学Ⅰ 行動科学Ⅱ 地域と大学（早期体験学習Ⅰ） 早期体験学習Ⅱ 早期体験学習Ⅲ 和漢医学概論 生物学 生体化学 医学物理学 医学統計学 プレチュートリアル	1 1 1 2 1 2 2 1 1 4 4 4 1 2			
	外国語	英語・医学英語Ⅰ 英語・医学英語Ⅱ 英語・医学英語Ⅲ 英語・医学英語Ⅳ 英語・医学英語Ⅴ 実践英語Ⅰ 実践英語Ⅱ ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	2 2 2 1 2		1 2 2 2 2 2 2	
医学の基	構人 造体 の	肉眼解剖学Ⅰ 肉眼解剖学Ⅱ 組織解剖学	1 5 5			
		分子生物学 細胞生物学 代謝生化学 統合生理学 病態生理学	3 2 5 4 4			
	異	薬理学	4			

第3類（杏林大学学則）

基礎	常 の 発 生 と 制 御	病理学A	3			
		病理学B	1			
		感染症・免疫学	5			
		熱帯病・寄生虫学	2			
		法医学	1			
		衛生学	2			
		公衆衛生学	3			
臨床 医学 講義	臨床 医学	臨床医学入門Ⅰ	1			
		臨床医学入門Ⅱ	1			
		臨床医学総論	1			
		呼吸器内科学	1			
		腎臓内科学	1			
		リウマチ膠原病学	1			
		神経内科学・脳卒中医学	2			
		循環器病学A	2			
		循環器病学B	2			
		血液内科学	1			
		内分泌・代謝内科学	2			
		消化器内科学	2			
		高齢医学	1			
		精神神経科学	1			
		小児科学	2			
		消化器外科学	1			
		呼吸器・甲状腺・乳腺外科学	1			
		小児外科学	1			
		救急医学	1			
		脳神経外科学・脳卒中医学	1			
		整形外科・リハビリテーション医学	1			
		皮膚科・形成外科学	1			
		泌尿器科学	1			
		眼科学	1			
		耳鼻咽喉科学	1			
		産科婦人科学	2			
		放射線医学	1			
		麻酔科学	1			
		臨床検査医学・輸血学	1			
		腫瘍学	1			
		感染症学	1			
		生活習慣病学	1			
		臨床診断学	4			
		臨床総合演習	1 4			
		呼吸器内科学実習	2			
		腎臓内科・リウマチ膠原病学実習	2			
		神経内科学実習	1			

第 3 類（杏林大学学則）

臨床実習	基本実習	脳卒中医学実習	1			
		循環器病学実習	2			
		血液内科学実習	1			
		内分泌・代謝内科学実習	2			
		消化器内科学実習	2			
		腫瘍内科学実習	1			
		高齢医学実習	2			
		精神神経科学実習	2			
		小児科学実習	2			
		消化器外科学実習	2			
		呼吸器・甲状腺外科学実習	1			
		乳腺外科学実習	1			
		小児外科学実習	1			
		救急医学実習	2			
		救急総合医療学実習	1			
		脳神経外科学実習	1			
		心臓血管外科学実習	1			
		整形外科・リハビリテーション医学実習	2			
		皮膚科学実習	1			
		形成外科学実習	1			
		泌尿器科学実習	1			
		眼科学実習	1			
		耳鼻咽喉科学実習	1			
		産科婦人科学実習	2			
		放射線医学実習	1			
		麻酔科学実習	1			
		病理学実習	1			
	実応習用	チュートリアル	1			
		臨床応用実習 A	1 2			
		臨床応用実習 B	1 2			
計						2 1 0 単位

第3類（杏林大学学則）

別表2-1

保健学部学科目構成

（平成19年度入学生から適用）

臨床検査技術学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
人文・社会学系				
哲 学		2		10 単位以上
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法		2		
社 会 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
芸 術		2		
数学・物理学系				
数 学		2		6 単位以上
医 療 情 報 科 学		2		
医 療 情 報 処 理		2		
医 療 情 報 処 理 演 習		2		
基 礎 物 理 学		1		
物 理 学		2		
物 理 学 実 験		1		
医 用 工 学 概 論		2		
医 用 工 学 実 験		1		
化学系				
基 礎 化 学		1		4 単位以上
無 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学 I		2		
生 物 有 機 化 学 II		2		
化 学 実 験		1		
生物学系				
基 礎 生 物 学		1		4 単位以上
生 命 科 学 概 論		2		
細 胞 生 物 学		2		
人 類 遺 伝 学		2		
生 物 学 実 験		1		
言語系				

第3類（杏林大学学則）

日 本 語 表 現 法		2		
英 語 I		2		
英 語 II		2		
英 語 III		2		
英 語 IV		2		
英 会 話		2		
医 学 英 語		2		
体育学系				
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2		
体 育 実 技 I	2			
基礎医学系				
医 学 概 論	2			
医 学 検 査 概 論	2			
保 健 学 概 論 I	2			
保 健 学 概 論 II		2		
公 衆 衛 生 学 I	2			
公 衆 衛 生 学 II		2		
解 剖 学 I	2			
解 剖 学 II		2		
解 剖 ・ 組 織 学 実 験	1			
病 理 学	2			
病 理 学 実 験	1			
生 理 学 I	2			
生 理 学 II		2		
生 理 学 実 験	1			
生 化 学 I	2			
生 化 学 II		2		
生 化 学 実 験	1			
血 液 学	2			
血 液 学 実 験	1			
免 疫 学	2			
免 疫 学 実 験	1			
微 生 物 学	2			
微 生 物 学 実 験	1			
医 動 物 学	2			
遺 伝 子 工 学		2		
遺 伝 子 工 学 実 験		1		

10 単位以上

第3類（杏林大学学則）

分 子 生 物 学		2		
分 子 細 胞 生 物 学		2		
薬 理 学		2		
実 験 動 物 学		1		
動 物 実 験 実 習		1		
救 命 救 助 法		1		
医学検査系				
生 理 機 能 検 査 学 I	2			
生 理 機 能 検 査 学 II		2		
生 理 機 能 検 査 学 実 習		2		
画 像 診 断 技 術		2		
臨 床 化 学 検 査 学 I	2			
臨 床 化 学 検 査 学 II		2		
臨 床 化 学 検 査 学 実 習		2		放射性同位元素検査技術を含む
放 射 線 概 論		2		
染 色 体 学		2		
臨 床 遺 伝 学		2		
遺 伝 子 ・ 染 色 体 検 査 学	2			
遺 伝 子 ・ 染 色 体 検 査 学 実 習		1		
病 理 診 断 学	2			
病 理 検 査 学		2		
病 理 検 査 学 実 習		2		
細 胞 診 断 学		2		
細 胞 診 断 学 実 習		1		
血 液 検 査 学	2			
血 液 検 査 学 実 習		2		
医 動 物 検 査 学 実 習		1		
微 生 物 検 査 学 I	2			
微 生 物 検 査 学 II		2		
微 生 物 検 査 学 実 習		2		
免 疫 検 査 学 I	2			
免 疫 検 査 学 II		2		
免 疫 検 査 学 実 習		2		
一 般 検 査 学	2			
一 般 検 査 学 実 習		1		
臨 床 病 態 学 I		2		
臨 床 病 態 学 II		2		

第3類（杏林大学学則）

検 査 管 理 学	2		
分 析 化 学 I	2		
分 析 化 学 II	2		
分 析 化 学 実 験	1		
専 門 実 験 ・ 実 習 手 法	1		
臨 地 実 習	6		
保健学系			
医 療 福 祉 概 論	2		
国 際 保 健 学	2		
生 活 習 慣 病 論	2		
衛生学系			
産 業 保 健 学	2		
環 境 衛 生 工 学	2		
環 境 化 学	2		
食 品 栄 養 学	2		
食 品 衛 生 学	2		
食 品 製 造 学	2		
職 業 適 性 論	2		
労 働 衛 生 法 規 I	2		
労 働 衛 生 法 規 II	2		
自由専攻			
細 胞 診 断 学 演 習 I	1		
細 胞 診 断 学 演 習 II	1		
細 胞 診 断 学 演 習 III	1		
細 胞 診 断 学 演 習 IV	1		
細 胞 診 断 学 演 習 V	1		
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習 I	1		
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習 II	1		
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特別演習 I	1		
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特別演習 II	1		
感 染 症 制 御 系 特別演習 I	1		
感 染 症 制 御 系 特別演習 II	1		
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特別演習 I	1		
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特別演習 II	1		
化 学 系 特 別 演 習 I	1		
化 学 系 特 別 演 習 II	1		
生 理 機 能 系 特別演習 I	1		

第3類（杏林大学学則）

生理機能系特別演習Ⅱ		1		
治験コーディネート特別演習		1		
薬事申請特別演習		1		
総合				
総合医療演習Ⅰ		1		
総合医療演習Ⅱ	2			
移植コーディネータ論		2		
生命倫理学特論		2		
インターンシップ		4		
卒業研究		4		4単位以上
計	52	192		124単位以上

健康福祉学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
人文・社会学系				
哲 学		2		
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法		2		
社 会 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
教 育 心 理 学		2		
発 達 心 理 学		2		10単位以上
芸 術 学		2		
倫 理 学		2		
民 俗 学		2		
国 際 関 係 論		2		
社 会 心 理 学		2		
自然科学系				
数 学		2		
統 計 学 演 習		2		
医 療 情 報 科 学		2		
情 報 処 理 演 習		2		
物 理 学		2		
物 理 学 実 験		1		
医 用 工 学 概 論		2		10単位以上

第3類（杏林大学学則）

医 用 工 学 実 験		1		
無 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学 I		2		
生 物 有 機 化 学 II		2		
化 学 実 験		1		
生 命 科 学 概 論		2		
生 物 学 実 験		1		
言語系				
日 本 語 表 現 法		2		
英 語 I		2	英語 I ・ II （各 2 単位）又 はフランス語 I ・ II （各 2 単位）のどちらかを選択 他に 4 単位以上	
英 語 II		2		
英 語 III		2		
医 学 英 語		2		
英 会 話		2		
フ ラ ン ス 語 I		2		
フ ラ ン ス 語 II		2		
フ ラ ン ス 語 III		2		
フ ラ ン ス 語 会 話		2		
体育学系				
体 育 実 技 I		2		
体 育 実 技 II		1		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2		
基礎医学系				
医 学 概 論		2		
公 衆 衛 生 学 I	2			
公 衆 衛 生 学 II		2		
解 剖 学 I	2			
解 剖 学 II		2		
解 剖 学 実 験		1		
病 理 学	2			
病 理 学 実 験		1		
生 理 学 I	2			
生 理 学 II		2		
生 理 学 実 験		1		
生 化 学 I	2			
生 化 学 II		2		
生 化 学 実 験		1		

第3類（杏林大学学則）

血	液	学		2		
血	液	学	実	1		
免	疫	学		2		
免	疫	学	実	1		
微	生	物	学	2		
微	生	物	学	1		
薬	理	学		2		
救	命	救	助	1		
専門基礎						
保	健	学	概	2		
保	健	学	概	2		
保	健	学	基	1		
保健学発展実習Ⅰ（社会調査系）				1		
保健学発展実習Ⅱ（健康教育系）				1		
保健学発展実習Ⅲ（環境系）				1		
保健学発展実習Ⅳ（遺伝系）				1		
保健学発展実習Ⅴ（心理検査系）				1		
保	健	学	応	1		
保	健	学	応	1		
基礎保健学系						
人	類	生	態	2		
環	境	保	健	2		
疫				2		
保	健	管	理	2		
健	康	社	会	2		
母	子	保	健	2		小児保健を含む
成	人	保	健	2		
精	神	保	健	2		
保	健	栄	養	2		食品学を含む
人	類	遺	伝	2		
健	康	教	育	2		
社	会	福	祉	2		
ライフステージと心理				2		
生活と看護				2		
発展保健学系						
健	康	教	育	2		
栄	養	生	態	2		

第3類（杏林大学学則）

人	口	学	2		
地	域	保 健 学	2		
国	際	保 健 学	2		
臨	床	心 理 学	2		
細	胞	遺 伝 学	2		
現	代	社 会 と 心 の 病 理	2		
認	知	心 理 学	2		
社会福祉学系					
社	会	福 祉 政 策 論	2		
老	人	福 祉 論	2		
高	齢	保 健 学	2		
障	害	者 福 祉 論	4		
児	童	福 祉 論	2		
社	会	保 障 論	4		
公	的	扶 助 論	2		
地	域	福 祉 論	2		
社	会	福 祉 援 助 技 術 総 論	4		
社	会	福 祉 援 助 技 術 論 I	2		
社	会	福 祉 援 助 技 術 論 II	2		
社	会	福 祉 援 助 技 術 演 習 I	1		
社	会	福 祉 援 助 技 術 演 習 II	1		
社	会	福 祉 援 助 技 術 演 習 III	2		
社	会	福 祉 援 助 技 術 演 習 IV	2		
社	会	福 祉 援 助 技 術 演 習 V	2		
社	会	福 祉 援 助 技 術 実 習	6		
社	会	福 祉 援 助 技 術 現 場 実 習 指 導	6		
医	療	福 祉 論	2		
家	族	福 祉 論	2		
セ	ル	フ ヘル プ グ ル ー プ 論	2		
保	健	福 祉 論	2		
初	め	て の 社 会 福 祉	2		
学校保健学系					
学	校	保 健 学 I	2	学校安全を含む	
学	校	保 健 学 II	2		
学	校	看 護 学	1		
健	康	相 談 I	2		
健	康	相 談 II	1		

第3類（杏林大学学則）

養 護 学 概 論	2		
カ ウ ン セ リ ン グ	2		
精 神 医 学	1		
保 健 科 指 導 研 究 I	2		
保 健 科 指 導 研 究 II	2		
看 護 学 I	2		
看 護 学 II	2		
看 護 学 III	2		
看 護 学 実 習	2		
救 急 看 護 学	2		
環境・食品学系			
産 業 保 健 学	2		
環 境 衛 生 工 学	2		
環 境 科 学	2		
放 射 線 概 論	2		
分 析 化 学 I	2		
分 析 化 学 II	2		
分 析 化 学 実 験	1		放射性同位元素検査学を含む
食 品 栄 養 学	2		
食 品 衛 生 学	2		
食 品 製 造 学	2		
職 業 適 性 論	2		
労 働 衛 生 法 規 I	2		
労 働 衛 生 法 規 II	2		
総合			
コ ー デ ィ ネ ー タ 論	2		
特 別 講 義 I	2		
特 別 講 義 II	2		
特 別 演 習 I	1		
特 別 演 習 II	1		
教 職 総 合 演 習	2		
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	2		
イ ン タ ー ン シ ッ プ	2		
卒 業 研 究	4		
計	24	273	124単位以上

第3類（杏林大学学則）

看護学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
一般教養領域				
人間科学系				
哲 学		2		10 単位以上
生 命 倫 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
心 理 学		2		
発 達 心 理 学		2		
社 会 心 理 学		2		
社 会 福 祉 学		2		
芸 術		2		
ホスピタリティ論		2		
文 化 人 類 学		2		1 単位以上
国 際 関 係 論		2		
健 康 スポーツ 科学		2		
体 育 実 技		1		
自然科学系				
統 計 学		2		4 単位以上
人 類 遺 伝 学		2		
物 理 学 概 論		2		
化 学 概 論		2		
生 命 科 学 概 論		2		
情 報 処 理 論	2			
言語系				
英 語 I	2			6 単位以上
英 語 II	2			
英 語 III		2		
英 会 話		2		
医 学 英 語		2		
フ ラ ン ス 語 I		2		
フ ラ ン ス 語 II		2		
フ ラ ン ス 語 III		2		
フ ラ ン ス 語 会 話		2		
日 本 語 表 現 法		2		

第3類（杏林大学学則）

専門基礎領域								
基礎医学系								
解	剖	学	2					
生	理	学	2					
生	化	学	2					
栄	養	学	2					
病	態	学	I	2				
病	態	学	II	2				
微	生	物	学	2				
薬	理	学	2					
公	衆	衛	生	学	2			
関	係	法	規	1				
カ	ウ	ン	セ	リ	ン	グ	1	
臨	床	心	理	学	1			
血	液	学	2					
免	疫	学	2					
医	学	概	論	2				
専門領域								
基礎看護学系								
看	護	学	概	論	2			
看	護	方	法	演	習	I	2	
看	護	方	法	演	習	II	2	
看	護	方	法	演	習	III	2	
看	護	方	法	演	習	IV	2	
基	礎	看	護	学	実	習	I	1
基	礎	看	護	学	実	習	II	2
在宅看護学系								
在	宅	ケ	ア	論	2			
在	宅	ケ	ア	演	習	2		
在	宅	看	護	学	実	習	2	
成人・高齢者看護学系								
成	人	看	護	学	概	論	1	
成	人	看	護	学	I	2		
成	人	看	護	学	II	2		
成	人	看	護	学	演	習	2	
成	人	看	護	学	実	習	I	4
成	人	看	護	学	実	習	II	4

第3類（杏林大学学則）

高 齡 者 看 護 学 概 論	1			
高 齡 者 看 護 学	2			
高 齡 者 看 護 学 実 習 I	2			
高 齡 者 看 護 学 実 習 II	2			
精神看護学系				
精 神 看 護 学 概 論	1			
精 神 看 護 学	2			
精 神 看 護 学 実 習	2			
精 神 看 護 学 演 習	1			
母子看護学系				
母 性 看 護 学 概 論	1			
母 性 看 護 学	2			
母 性 看 護 学 演 習	1			
母 性 看 護 学 実 習	2			
小 児 看 護 学 概 論	1			
小 児 看 護 学	2			
小 児 看 護 学 演 習	1			
小 児 看 護 学 実 習	2			
地域看護学系				
地 域 看 護 学 概 論	2			
地 域 看 護 学	2			
地 域 看 護 学 演 習 I	2			
地 域 看 護 学 演 習 II	2			
地 域 看 護 学 実 習 I	2			
地 域 看 護 学 実 習 II	1			
保健学系				
健 康 教 育 学 I		2		
産 業 保 健 学		2		
保 健 福 祉 行 政 論	2			
疫 学 ・ 保 健 統 計 学	2			
保 健 統 計	2			
保 健 学 概 論		1		
保 健 学 I		1		
保 健 学 II	1			
保 健 学 III		1		
保 健 学 IV	1			
養 護 学 概 論		2		

第3類（杏林大学学則）

学 校 保 健 学 I		2		
学 校 保 健 学 II		2		
健 康 相 談		2		
健 康 教 育 学 II		2		
地 域 福 祉 論	2			
児 童 福 祉 論		2		
老 人 福 祉 論	2			
臨床検査学系				
医 用 工 学 概 論		2		
助産学系				
助 産 学 概 論		1		
助 産 診 断 ・ 技 術 学 I		2		
助 産 診 断 ・ 技 術 学 II		2		
助 産 診 断 ・ 技 術 学 III		2		
助 産 診 断 ・ 技 術 学 IV		2		
助 産 診 断 ・ 技 術 学 V		2		
助 産 管 理 学		1		
助 産 学 特 論		1		
助 産 学 実 習 I		6		
助 産 学 実 習 II		2		
総合領域				
看 護 管 理 学		1		
看 護 教 育 論		1		
移植コーディネータ論		1		
特 別 講 義		1		
看 護 理 論		1		
看 護 倫 理		1		
疾 病 論		2		
教 職 総 合 演 習		2		
死 生 学		1		
遺 伝 看 護		1		
地 域 活 動 論	2			
総 合 看 護		2		
救 急 看 護 学		2		
医 療 安 全		1		
国 際 看 護 活 動 論		1		
災 害 看 護 活 動 論		1		

第3類（杏林大学学則）

ボランティア活動		2		
インターンシップ		4		
卒業研究		4		4単位以上
計	109	132		134単位以上

救急救命学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
倫理学		2		
生命倫理学		2		10単位以上
心理学		2		
発達心理学		2		
教育心理学		2		
芸術学		2		
民俗学		2		
数学・物理学系				
基礎物理学		1		
物理		2		
医用工学概論		2		4単位以上
数学		2		
統計学		2		
医療情報科学		2		
情報処理演習		2		
化学系				
基礎化学		1		
無機化学		2		
生物有機化学Ⅰ		2		3単位以上
生物有機化学Ⅱ		2		
化学実験		1		
生物学系				
基礎生物学		1		
生命科学概論		2		3単位以上

第3類（杏林大学学則）

細胞生物学		2		
人類遺伝学		2		
生物学実験		1		
言語系				
日本語表現法		2		
英語 I	2			
英語 II	2			
英語 III		2		
英語 IV		2		
英会話		2		
医学英語		2		
フランス語 I		2		
フランス語 II		2		
フランス語 III		2		
フランス語会話		2		
体育学系				
健康スポーツ科学		2		
体育実技 I	2			
体育実技 II	1			
基礎医学系				
医学概論		2		
公衆衛生学 I	2			
公衆衛生学 II		2		
解剖学 I	2			
解剖学 II		2		
生理学 I	2			
生理学 II		2		
生化学		2		
病理学		2		
微生物学		2		
血液学		2		
免疫学		2		
薬理学	2			
救命救助法	1			
救急医学系				
内科学 I	2			
内科学 II	2			

4単位以上

第3類（杏林大学学則）

内科学 III	2			
内科学 IV		2		
内科学 V		2		
内科学 VI		2		
医療コミュニケーション学		2		
医療安全論		2		
救急医学概論	2			
救急処置総論	2			
救急処置各論	2			
災害医学		2		
外科学 I		2		
外科学 II		2		
外傷学		2		
環境障害・急性中毒学		2		
救急搬送論		2		
小児科学		2		
産婦人科学		2		
整形外科学		2		
脳外科学		2		
精神医学		2		
放射線概論		2		
シミュレーション I	2			
シミュレーション II	2			
シミュレーション III		3		
シミュレーション IV		3		
シミュレーション V		2		
シミュレーション VI		2		
病院内実習		10		
救急車同乗実習		3		
衛生学系				
産業保健学		2		
環境衛生工学		2		
職業適性論		2		
労働衛生法規 I		2		
労働衛生法規 II		2		
総合				
移植コーディネータ論		2		

第3類（杏林大学学則）

特 別 講 義 I		2		
特 別 講 義 II		2		
特 別 演 習 I		1		
特 別 演 習 II		1		
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動		2		
イ ン タ ー ン シ ッ プ		4		
卒 業 研 究		4		4 単位以上
計	3 8	1 6 8		1 2 4 単 位 以 上

第3類（杏林大学学則）

別表2-2

保健学部学科目構成

（平成21年度入学生から適用）

臨床検査技術学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
人文・社会学系				
哲 学		2		10 単位以上
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
社 会 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
芸 術		2		
数学・物理学系				
数 学		2		6 単位以上
医 療 情 報 科 学		2		
医 療 情 報 処 理		2		
医 療 情 報 処 理 演 習		2		
基 礎 物 理 学		1		
物 理 学		2		
物 理 学 実 験		1		
医 用 工 学 概 論		2		
医 用 工 学 実 験		1		
化学系				
基 礎 化 学		1		4 単位以上
無 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学 I		2		
生 物 有 機 化 学 II		2		
化 学 実 験		1		
生物学系				
基 礎 生 物 学		1		4 単位以上
生 命 科 学 概 論		2		
細 胞 生 物 学		2		
人 類 遺 伝 学		2		
生 物 学 実 験		1		
言語系				

第3類（杏林大学学則）

日 本 語 表 現 法	2	10単位以上
英 語 I	2	
英 語 II	2	
英 語 III	2	
英 語 IV	2	
英 会 話	2	
医 学 英 語	2	
体育学系		
健康スポーツ科学	2	
基礎医学系		
医学概論	2	
医学検査概論	2	
保健学概論 I	2	
保健学概論 II	2	
公衆衛生学 I	2	
公衆衛生学 II	2	
解剖学 I	2	
解剖学 II	2	
解剖・組織学実験	1	
病理学	2	
病理学実験	1	
生理学 I	2	
生理学 II	2	
生理学実験	1	
生化学 I	2	
生化学 II	2	
生化学実験	1	
血液学	2	
血液学実験	1	
免疫疫学	2	
免疫学実験	1	
微生物学	2	
微生物学実験	1	
医動物学	2	
遺伝子工学	2	
遺伝子工学実験	1	
分子生物学	2	

第3類（杏林大学学則）

分子細胞生物学		2	
薬理学		2	
実験動物学		1	
動物実験実習		1	
救命救助法		1	
医学検査系			
生理機能検査学Ⅰ	2		
生理機能検査学Ⅱ		2	
生理機能検査学実習		2	
画像診断技術		2	
臨床化学検査学Ⅰ	2		
臨床化学検査学Ⅱ		2	
臨床化学検査学実習		2	放射性同位元素検査技術を含む
放射線概論		2	
染色体学		2	
臨床遺伝学		2	
遺伝子・染色体検査学	2		
遺伝子・染色体検査学実習		1	
病理診断学	2		
病理検査学		2	
病理検査学実習		2	
細胞診断学		2	
細胞診断学実習		1	
血液検査学	2		
血液検査学実習		2	
医動物検査学実習		1	
微生物検査学Ⅰ	2		
微生物検査学Ⅱ		2	
微生物検査学実習		2	
免疫検査学Ⅰ	2		
免疫検査学Ⅱ		2	
免疫検査学実習		2	
一般検査学	2		
一般検査学実習		1	
臨床病態学Ⅰ		2	
臨床病態学Ⅱ		2	
検査管理学		2	

第3類（杏林大学学則）

分 析 化 学 I		2		
分 析 化 学 II		2		
分 析 化 学 実 験		1		
専 門 実 験 ・ 実 習 手 法	1			
臨 地 実 習		6		
保健学系				
医 療 福 祉 概 論		2		
国 際 保 健 学		2		
生 活 習 慣 病 論		2		
衛生学系				
産 業 保 健 学		2		
環 境 衛 生 工 学		2		
環 境 化 学		2		
食 品 栄 養 学		2		
食 品 衛 生 学		2		
食 品 製 造 学		2		
職 業 適 性 論		2		
労 働 衛 生 法 規 I		2		
労 働 衛 生 法 規 II		2		
自由専攻				
細 胞 診 断 学 演 習 I		1		
細 胞 診 断 学 演 習 II		1		
細 胞 診 断 学 演 習 III		1		
細 胞 診 断 学 演 習 IV		1		
細 胞 診 断 学 演 習 V		1		
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習 I		1		
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習 II		1		
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特別演習 I		1		
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特別演習 II		1		
感 染 症 制 御 系 特別演習 I		1		
感 染 症 制 御 系 特別演習 II		1		
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特別演習 I		1		
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特別演習 II		1		
化 学 系 特 別 演 習 I		1		
化 学 系 特 別 演 習 II		1		
生 理 機 能 系 特別演習 I		1		
生 理 機 能 系 特別演習 II		1		

第3類（杏林大学学則）

治験コーディネート特別演習		1		
薬事申請特別演習		1		
総合				
総合医療演習Ⅰ		1		
総合医療演習Ⅱ	2			
移植コーディネータ論		2		
生命倫理学特論		2		
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
インターンシップ		4		
卒業研究		4		4単位以上
計	50	196		124単位以上

健康福祉学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
生命倫理学		2		10単位以上
教育心理学		2		
発達心理学		2		
芸術		2		
倫理学		2		
民俗学		2		
国際関係論		2		
自然科学系				
数学		2		
統計学演習		2		
医療情報科学		2		
情報処理演習		2		

第3類（杏林大学学則）

基礎物理学		1	10単位以上
物理学		2	
物理学実験		1	
基礎化学		1	
無機化学		2	
生物有機化学		2	
化学実験		1	
基礎生物学		1	
生命科学概論		2	
生物学実験		1	
言語系			
日本語表現法		2	英語Ⅰ・Ⅱ（各2単位） 又はフランス語Ⅰ・Ⅱ （各2単位）のどちらか を選択、他に4単位以上
英語Ⅰ		2	
英語Ⅱ		2	
英語Ⅲ		2	
医学英語		2	
英会話		2	
フランス語Ⅰ		2	
フランス語Ⅱ		2	
フランス語Ⅲ		2	
フランス語会話		2	
基礎医学系			
医学概論		2	
医学基礎実習	1		
公衆衛生学Ⅰ	2		
公衆衛生学Ⅱ		2	
解剖学Ⅰ	2		
解剖学Ⅱ		2	
病理学	2		
生理学Ⅰ	2		
生理学Ⅱ		2	
生化学Ⅰ	2		

第3類（杏林大学学則）

生 化 学 II	2		
血 液 学	2		
免 疫 学	2		
微 生 物 学	2		
微 生 物 学 实 験	1		
薬 理 学	2		
实 験 動 物 学	1		
動 物 实 験 实 習	1		
救 命 救 助 法	1		
専門基礎系			
保 健 学 概 論 I	2		
保 健 学 概 論 II	2		
保 健 学 基 礎 実 習	1		
保 健 学 発 展 実 習 I （ 社 会 調 査 系 ）	1		
保 健 学 発 展 実 習 II （ 健 康 教 育 系 ）	1		
保 健 学 発 展 実 習 III （ 環 境 系 ）	1		
保 健 学 発 展 実 習 IV （ 遺 伝 系 ）	1		
保 健 学 発 展 実 習 V （ 心 理 検 査 系 ）	1		
保 健 学 応 用 実 習 A	1		
保 健 学 応 用 実 習 B	1		
保健学系			
人 類 生 態 学	2		
環 境 保 健 学	2		
疫 学	2		
保 健 管 理 学	2		
健 康 社 会 学	2		
母 子 保 健 学	2		小児保健を含む
成 人 保 健 学	2		

第3類（杏林大学学則）

精 神 保 健 学	2		
保 健 栄 養 学	2		食品学を含む
人 類 遺 伝 学	2		
健 康 教 育 学 I	2		
健 康 教 育 学 II	2		
看 護 と 養 護	2		
栄 養 生 態 学	2		
人 口 学	2		
地 域 保 健 学	2		
国 際 保 健 学	2		
臨 床 心 理 学	2		
細 胞 遺 伝 学	2		
認 知 心 理 学	2		
病 気 の 生 化 学	2		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学	2		
社会福祉学系			
社 会 福 祉 学	2		
社 会 福 祉 政 策 論	2		
老 人 福 祉 論	2		
高 齢 保 健 学	2		
障 害 者 福 祉 論	2		
児 童 福 祉 論	2		
社 会 保 障 論	4		
公 的 扶 助 論	2		
地 域 福 祉 論	4		
社会福祉援助技術総論 I	4		
社会福祉援助技術総論 II	2		
社会福祉援助技術論 I	2		
社会福祉援助技術論 II	2		
社会福祉援助技術演習 I	1		
社会福祉援助技術演習 II	1		
社会福祉援助技術演習 III	2		150時間

第3類（杏林大学学則）

社会福祉援助技術演習Ⅳ	2	180時間 30時間（実習） 60時間（講義・演習）
社会福祉援助技術演習Ⅴ	2	
社会福祉援助技術演習Ⅵ	2	
社会福祉援助技術実習	6	
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	1	
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	4	
医 療 福 祉 論	2	
保 健 福 祉 論	2	
初めての社会福祉	2	
社会調査概論	1	
福祉行財政と福祉計画概論	1	
社会福祉経営論	1	
就労支援概論	1	
権利擁護と成年後見概論	1	
更生保護概論	1	
介護福祉論	2	
学校保健学系		
学 校 保 健 学Ⅰ	2	学校安全を含む
学 校 保 健 学Ⅱ	2	
学 校 看 護 学	1	
健 康 相 談Ⅰ	2	
健 康 相 談Ⅱ	1	
養 護 学 概 論	2	
カ ウ ン セ リ ン グ	2	
精 神 医 学	1	
保 健 科 指 導 研 究Ⅰ	2	
保 健 科 指 導 研 究Ⅱ	2	
保 健 科 教 育 法－1	2	
保 健 科 教 育 法－2	2	
看 護 学Ⅰ	2	
看 護 学Ⅱ	2	
看 護 学Ⅲ	2	

第3類（杏林大学学則）

看護学実習	2		
救急看護学	2		
環境・食品学系			
産業保健学	2		
環境衛生工学	2		
環境科学	2		
放射線概論	2		
分析化学	2		
分析化学実験	1		
食品栄養学	2		
食品衛生学	2		
食品製造学	2		
職業適性論	2		
労働衛生法規Ⅰ	2		
労働衛生法規Ⅱ	2		
総合			
コーディネータ論	2		
特別講義Ⅰ	2		
特別講義Ⅱ	2		
特別演習Ⅰ	1		
特別演習Ⅱ	1		
教職総合演習	2		
ボランティア活動	2		
インターンシップ	2		
卒業研究	4		
計	25	269	124単位以上

第3類（杏林大学学則）

看護学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
哲 学		2		10単位以上
死 生 学		2		
生 命 倫 理 学	2			
日 本 国 憲 法 学		2		
心 理 学		2		
発 達 心 理 学	2			
社 会 福 祉 学		2		
教 育 学		2		
ホスピタリティ論		2		
国 際 協 力 論		2		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2		
自然科学系				
統 計 学		2		6単位以上
人 類 遺 伝 学		2		
物 理 学 概 論		1		
化 学 概 論		1		
生 命 科 学 概 論		2		
情 報 処 理 論	2			
言語系				
英 語 I	2			10単位以上
英 語 II	2			
英 語 III		2		
英 会 話		2		
医 学 英 語		2		
日 本 語 表 現 法	2			
専門基礎分野				
人体の構造と機能・疾病の成り立ち				
形 態 ・ 機 能 学	2			
代 謝 ・ 栄 養 学	2			
薬 理 学	2			
病 原 微 生 物 学	1			

第3類（杏林大学学則）

免 疫 学	1			
病 態 治 療 論 I	2			
病 態 治 療 論 II	2			
病 態 治 療 論 III	1			
病 態 治 療 論 IV	1			
病 態 治 療 論 V	1			
病 態 治 療 論 VI	1			
病 態 治 療 論 VII	1			
病 態 治 療 論 VIII	1			
健康支援と社会保障制度				
公 衆 衛 生 学	1			
関 係 法 規	1			
保 健 福 祉 行 政 論	2			
健 康 教 育 学		2		
学 校 保 健 学 概 論	2			
学 校 保 健 学		2		
養 護 学 概 論		2		
カ ウ ン セ リ ン グ		2		
健 康 相 談		2		
疫学と統計				
疫 学	2			
保 健 統 計	2			
基礎看護学				
基礎看護学系				
看 護 学 概 論 I	1			
看 護 学 概 論 II	2			
生 活 行 動 援 助 技 術 I	2			
生 活 行 動 援 助 技 術 II	2			
ヘルスアセスメント技術	1			
看 護 過 程	1			
治 療 ・ 処 置 技 術	2			
基 礎 看 護 学 実 習 I	1			
基 礎 看 護 学 実 習 II	2			
専門看護学				
成人看護学系				
成 人 看 護 学 概 論	2			
成 人 看 護 学 I	2			

第3類（杏林大学学則）

成人看護学Ⅱ	2			
成人看護学演習	1			
成人看護学実習Ⅰ	3			
成人看護学実習Ⅱ	3			
高齢者看護学系				
高齢者看護学概論	2			
高齢者看護学	2			
高齢者看護学演習	1			
高齢者看護学実習Ⅰ	2			
高齢者看護学実習Ⅱ	2			
小児看護学系				
小児看護学概論	2			
小児看護学	2			
小児看護学演習	1			
小児看護学実習	2			
母性看護学系				
母性看護学概論	2			
母性看護学	2			
母性看護学演習	1			
母性看護学実習	2			
精神看護学系				
精神看護学概論	2			
精神看護学	2			
精神看護学演習	1			
精神看護学実習	2			
在宅看護学系				
在宅看護学	2			
在宅看護学演習	2			
在宅看護学実習	2			
地域看護学系				
地域看護学概論	2			
地域看護学方法論	2			
地域看護学Ⅰ	2			
地域看護学Ⅱ	2			
地域看護学演習	2			
地域看護学実習Ⅰ	1			
地域看護学実習Ⅱ	3			

第3類（杏林大学学則）

応用看護学				
応用看護学系				
看護研究	2			
看護倫理	1			
看護管理学	1			
総合看護学実習Ⅰ		2		どちらか一方を選択
総合看護学実習Ⅱ		2		
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
助産学専攻				
助産学系				
助産学概論		1		
周産期医学		2		
助産診断・技術学Ⅰ		1		
助産診断・技術学Ⅱ		2		
助産診断・技術学Ⅲ		2		
助産診断・技術学Ⅳ		1		
助産管理学		1		
助産学特別講義		1		
助産学実習Ⅰ		8		
助産学実習Ⅱ		1		
計	121	70		137単位以上

理学療法学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
哲学		2		必修2単位及び 選択6単位以上
社会学		2		
法学		2		
心理学		2		
生命倫理学	2			
芸術学		2		
社会福祉学		2		
倫理学		2		
発達心理学		2		

第3類（杏林大学学則）

職業適性論		2			
自然科学系					
数学		2			
統計学		2			
情報処理論	2				
基礎物理学		1			必修2単位及び 選択4単位以上
物理学概論		2			
基礎化学		1			
生化学概論		2			
基礎生物学		1			
生命科学概論		2			
言語系					
英語 I	2				
英語 II	2				
英語 III		2			
英語 IV		2			必修4単位及び 選択4単位以上
英会話		2			
医学英語		2			
日本語表現法		2			
専門基礎分野					
医学系					
解剖学 I	2				
解剖学 II	1				
解剖学実習 I	1				
解剖学実習 II	1				
生理学 I	2				
生理学 II	1				
生理学実習	1				
病理学	1				
人間発達学	2				
リハビリテーション概論	1				
臨床心理学概論	1				
精神医学	2				
内科学 I	2				必修27単位及び 選択3単位以上
内科学 II		2			
小児科	1				

第3類（杏林大学学則）

神 經 内 科 学	2			
外 科 学	1			
整 形 外 科 学	2			
脳 神 經 外 科 学	1			
リハビリテーション医学	1			
医 療 安 全 論	1			
感 染 症 学		1		
免 疫 学		1		
薬 理 学		1		
栄 養 学		1		
保健学・衛生学系				
保 健 学 概 論		2		
高 齢 保 健 学		2		
産 業 保 健 学		2		
地 域 保 健 学		2		
公 衆 衛 生 学 I		2		
公 衆 衛 生 学 II		2		
環 境 衛 生 工 学		2		
看 護 学		2		
救 命 救 助 法		1		
労 働 衛 生 法 規 I		2		
労 働 衛 生 法 規 II		2		
専門分野				
基礎理学療法学系				
理 学 療 法 概 論	1			
理 学 療 法 用 語 論		1		
運 動 学	1			
運 動 学 実 習	1			
病 態 運 動 学		2		
運 動 解 剖 学		1		
理学療法評価学系				
理 学 療 法 評 価 学 概 論	1			
理 学 療 法 評 価 学 I	1			
理 学 療 法 評 価 学 II	1			
理 学 療 法 評 価 学 実 習	1			
動 作 分 析 学		1		

4 単位以上

第3類（杏林大学学則）

理学療法治療学系					
理学療法治療学総論		1			
運動療法学	2				
運動療法学実習	1				
物理療法学Ⅰ	1				
物理療法学Ⅱ	1				
物理療法学実習	1				
義肢学	1				
義肢学実習	1				
装具学	1				
装具学実習	1				
日常生活技術学	1				
日常生活技術学実習	1				
運動器障害系理学療法学Ⅰ	1				
運動器障害系理学療法学Ⅱ	1				
神経障害系理学療法学Ⅰ	1				
神経障害系理学療法学Ⅱ	1				
内部障害系理学療法学Ⅰ	1				
内部障害系理学療法学Ⅱ	1				
小児理学療法学	1				
高次脳機能障害学		1			
高齢者理学療法学		1			
急性期理学療法学		1			
スポーツ障害理学療法学		1			
マニュアルセラピー		1			
プロフェッショナルスキル	4				
クリニカルリーズニング		1			
地域理学療法学系					
生活環境学	1				
地域理学療法学	2				
理学療法国際事情		1			
臨床実習系					
見学実習	1				
評価実習Ⅰ	2				
評価実習Ⅱ	4				
総合臨床実習	14				

必修62単位及び
選択7単位以上

第 3 類（杏林大学学則）

総合領域				
理 学 療 法 特 論 I		1		
理 学 療 法 特 論 II		1		
理 学 療 法 研 究 法		1		
応 用 理 学 療 法 学		1		
基 礎 ゼ ミ	4			
特 別 講 義 I		1		
特 別 講 義 II		1		
卒 業 研 究	4			
計	9 7	8 7		1 2 5 単 位 以 上

第3類（杏林大学学則）

別表2－3

臨床工学科（平成22年度入学生から適用）

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
人文・社会学系				
哲 学		2		10単位以上
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法		2		
社 会 学		2		
生 命 倫 理 学	2			
発 達 心 理 学		2		
芸 術		2		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2		
数学系				
基 礎 数 学		1		
数 学	2			
統 計 学 演 習		1		
医 療 情 報 科 学	2			
計 算 機 演 習	2			
応 用 数 学	2			
物理学系				
基 礎 物 理 学		1		
基 礎 電 気 学	2			
基 礎 電 子 回 路	2			
医 用 工 学 概 論	2			
化学系				
基 礎 化 学		1		3単位以上
無 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学 I		2		
生 物 有 機 化 学 II		2		
化 学 実 験		1		
生物学系				
基 礎 生 物 学		1		3単位以上
生 命 科 学 概 論		2		
細 胞 生 物 学		2		

第3類（杏林大学学則）

人 類 遺 伝 学		2	
生 物 学 実 験		1	
言語系			
日 本 語 表 現 法	2		
英 語 I		2	
英 語 II		2	
英 語 III		2	
医 学 英 語		2	
英 会 話		2	
フ ラ ン ス 語 I		2	
フ ラ ン ス 語 II		2	
フ ラ ン ス 語 III		2	
フ ラ ン ス 語 会 話		2	
基礎医学系			
医 学 概 論	2		
公 衆 衛 生 学 I	2		
公 衆 衛 生 学 II		2	
解 剖 学 I	2		
解 剖 学 II		2	
病 理 学	2		
生 理 学 I	2		
生 理 学 II	2		
生 理 学 実 験	1		
生 化 学 I		2	
生 化 学 II		2	
血 液 学		2	
免 疫 学		2	
微 生 物 学		2	
医 動 物 学		2	
薬 理 学		2	
看 護 学		2	
医学検査系			
生 理 学 検 査 I	2		
生 理 学 検 査 II	2		
画 像 診 断 技 術		2	
生 理 学 検 査 実 習		1	

英語 I・II (各 2 単位) 又はフランス語 I・II (各 2 単位)、どちらか選択、他に 4 単位以上。

2 単位以上

第3類（杏林大学学則）

臨床検査学		2		
臨床遺伝学		2		
臨床工学系				
医用電気工学	2			
医用電気工学実習		1		
医用電子工学	2			
医用電子工学実習		1		
システム工学		2		
医用情報処理工学	2			
医用情報処理工学実習		1		
医用計測工学	2			
医用計測工学実習		1		
医用機械工学	2			
生体物性学	2			
生体材料工学		2		
医用機器学概論	2			
医用計測機器学	2			
医用計測機器学実習		1		
医用治療機器学	2			
医用治療機器学実習		1		
生体機能代行装置学概論		2		
生体機能代行装置学基礎実習		1		
呼吸関連機器学		2		
呼吸関連機器学実習		1		
血液浄化装置学		2		
応用血液浄化装置学		2		
血液浄化装置学実習		1		
体外循環機器学		2		
体外循環機器学実習		1		
医用機器安全管理学Ⅰ	2			
医用機器安全管理学Ⅱ		2		
安全管理学実習		1		
臨床医学各論Ⅰ	2			
臨床医学各論Ⅱ	2			
臨床医学各論Ⅲ	2			
臨床医学各論Ⅳ	2			
医療関係法規		2		

第 3 類（杏林大学学則）

臨 床 実 習 講 義		1		
臨 床 実 習		3		
衛生学系				
産 業 保 健 学		2		
環 境 衛 生 工 学		2		
放 射 線 概 論		2		
環 境 化 学		2		
分 析 化 学 I		2		
分 析 化 学 II		2		
食 品 栄 養 学		2		
食 品 衛 生 学		2		
食 品 製 造 学		2		
職 業 適 性 論		2		
労 働 衛 生 法 規 I		2		
労 働 衛 生 法 規 II		2		
救 命 救 助 法		2		
総合				
特 別 講 義 I		2		
特 別 講 義 II		2		
特 別 演 習 I		1		
特 別 演 習 II		1		
総 合 演 習		2		
卒 業 研 究	4			
計	6 7	1 4 6		1 2 4 单 位 以 上

第3類（杏林大学学則）

別表2-4

保健学部学科目構成

（平成23年度入学生から適用）

作業療法学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
哲学		2		必修2単位及び 選択6単位以上
社会学		2		
法学		2		
心理学		2		
生命倫理	2			
芸術		2		
社会福祉		2		
倫理		2		
発達心理		2		必修2単位及び 選択4単位以上
職業適性論		2		
自然科学系				
数学		2		
統計		2		
情報処理論	2			
基礎物理学		1		
物理学概論		2		
基礎化学		1		必修4単位及び 選択4単位以上
生化学概論		2		
基礎生物学		1		
生命科学概論		2		
分子生物学		2		
人類遺伝学		2		
語学系				
英語 I	2			必修4単位及び 選択4単位以上
英語 II	2			
英語 III		2		
英語 IV		2		
英語会話		2		

第3類（杏林大学学則）

医 学 英 語		2	
日 本 語 表 現 法		2	
専門基礎分野			
医学系			
解 剖 学 I	2		
解 剖 学 II	1		
解 剖 学 実 習 I	1		
解 剖 学 実 習 II	1		
生 理 学 I	2		
生 理 学 II	1		
生 理 学 実 習	1		
病 理 学	1		
人 間 発 達 学	2		
リハビリテーション概論	1		
臨 床 心 理 学 概 論	1		
精 神 医 学	2		
内 科 学 I	2		
内 科 学 II		2	
小 児 科 学	1		
神 経 内 科 学	2		
外 科 学	1		
整 形 外 科 学	2		
脳 神 経 外 科 学	1		
リハビリテーション医学	1		
医 療 安 全 論	1		
感 染 症 学		1	
免 疫 学		1	
薬 理 学		1	
栄 養 学		1	
保健学・衛生学系			
保 健 学 概 論		2	
高 齢 保 健 学	2		
産 業 保 健 学		2	
地 域 保 健 学		2	
公 衆 衛 生 学 I		2	
公 衆 衛 生 学 II		2	
			必修27単位及び 選択3単位以上
			4単位以上

第3類（杏林大学学則）

環境衛生工学		2		
看護学		2		
救命救助法		1		
労働衛生法規Ⅰ		2		
労働衛生法規Ⅱ		2		
専門分野				
基礎作業療法学系				
作業療法学概論	1			
運動学	1			
運動学実習	1			
病態運動学		2		
基礎作業学概論	1			
基礎作業学実習Ⅰ	1			
(作業活動の基礎)				
基礎作業学実習Ⅱ	1			
(作業活動の応用)				
作業分析学Ⅰ（基本的分析）	1			
作業分析学Ⅱ（客観的分析）	1			
作業療法管理運営		1		
作業療法諸理論		1		
作業療法評価学系				
作業療法評価学Ⅰ（概要）	1			
作業療法評価学Ⅱ（疾患別）	1			
作業療法評価学実習Ⅰ	1			
(中枢神経系疾患)				
作業療法評価学実習Ⅱ	1			
(発達、精神障害)				
作業療法評価学実習Ⅲ	1			
(老年期障害)				
認知機能評価法		1		
作業療法治療学系				
身体障害作業療法学Ⅰ	1			
(内科系疾患)				
身体障害作業療法学Ⅱ	1			
(運動器系疾患)				
身体障害作業療法学Ⅲ	1			

第3類（杏林大学学則）

（中枢神経系疾患：脳血管）					
身体障害作業療法学Ⅳ	1				
（中枢神経系疾患：進行性）					
身体障害作業療法学演習	1				
高次脳機能障害作業療法学	1				
精神障害作業療法学Ⅰ（総論）	1				
精神障害作業療法学Ⅱ（疾患別）	1				
精神障害作業療法学演習	1				
発達障害作業療法学Ⅰ（総論）	1				
発達障害作業療法学Ⅱ（疾患別）	1				
発達障害作業療法学演習	1				
老年期障害作業療法学	1				
認知障害作業療法学	1				
職業関連作業療法学	1				
身体機能代償学	1				必修65単位及び 選択4単位以上
義肢装具学	1				
義肢装具学実習	1				
福祉機器適応学	1				
日常生活活動学Ⅰ（治療法）	1				
日常生活活動学Ⅱ（動作内容）	1				
バリアフリー論		1			
レクリエーション概論		1			
クリニカルリーズニング		1			
ハンドセラピー学		1			
地域作業療法学系					
地域生活作業療法学	1				
地域ケアシステム論	1				
住環境整備論	1				
地域生活作業療法学演習	1				
作業療法国際事情		1			
臨床実習系					
見学実習	1				
評価実習Ⅰ	2				
評価実習Ⅱ	4				
総合臨床実習	14				
総合領域					

第 3 類（杏林大学学則）

作業療法学特論Ⅰ		1		
作業療法学特論Ⅱ		1		
作業療法研究法		1		
応用作業療法学		1		
基礎ゼミ	2			
特別講義Ⅰ		1		
特別講義Ⅱ		1		
卒業研究	4			
計	102	86		125単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2-5

保健学部学科目構成

（平成24年度入学生から適用）

看護学科看護学専攻

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
基礎分野				
人間科学系				
哲 学		2		10単位以上
死 生 学		2		
生 命 倫 理 学	2			
日 本 国 憲 法 学		2		
心 理 学		2		
発 達 心 理 学	2			
社 会 福 祉 学		2		
教 育 学		2		
ホスピタリティ論		2		
国 際 協 力 論		2		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2		
自然科学系				
統 計 学		2		6単位以上
人 類 遺 伝 学		2		
物 理 学 概 論		1		
化 学 概 論		1		
生 命 科 学 概 論		2		
情 報 処 理 論	2			
言語系				
英 語 I	2			10単位以上
英 語 II	2			
英 語 III		2		
英 会 話		2		
医 学 英 語		2		
日 本 語 表 現 法	2			
専門基礎分野				
人体の構造と機能・疾病の成り立ち				
形 態 ・ 機 能 学	2			

第3類（杏林大学学則）

代 謝 ・ 栄 養 学	2			
薬 理 学	2			
病 原 微 生 物 学	1			
免 疫 学	1			
病 態 治 療 論 I	2			
病 態 治 療 論 II	2			
病 態 治 療 論 III	2			
病 態 治 療 論 IV	1			
病 態 治 療 論 V	1			
健康支援と社会保障制度				
公 衆 衛 生 学	1			
関 係 法 規	1			
保 健 福 祉 行 政 論 I	1			
保 健 福 祉 行 政 論 II	2			
健 康 教 育 学	2			
産 業 保 健 学 概 論		1		
学 校 保 健 学 概 論		1		
疫学と統計				
疫 学		2		
保 健 統 計		2		
基礎看護学				
基礎看護学系				
看 護 学 概 論	2			
看 護 援 助 論	1			
生 活 行 動 援 助 技 術 I	2			
生 活 行 動 援 助 技 術 II	2			
ヘルスアセスメント技術	1			
看 護 過 程	1			
治 療 ・ 処 置 技 術	2			
基 礎 看 護 学 実 習 I	1			
基 礎 看 護 学 実 習 II	2			
専門看護学				
成人看護学系				
成 人 看 護 学 概 論	2			
成 人 看 護 学 I	2			
成 人 看 護 学 II	2			

第 3 類（杏林大学学則）

成人看護学演習	2			
成人看護学実習Ⅰ	3			
成人看護学実習Ⅱ	3			
高齢者看護学系				
高齢者看護学概論	2			
高齢者看護学	2			
高齢者看護学演習	1			
高齢者看護学実習Ⅰ	2			
高齢者看護学実習Ⅱ	2			
小児看護学系				
小児看護学概論	2			
小児看護学	2			
小児看護学演習	1			
小児看護学実習	2			
母性看護学系				
母性看護学概論	2			
母性看護学	2			
母性看護学演習	1			
母性看護学実習	2			
精神看護学系				
精神看護学概論	2			
精神看護学	2			
精神看護学演習	1			
精神看護学実習	2			
在宅看護学系				
在宅看護学	2			
在宅看護学演習	2			
在宅看護学実習	2			
公衆衛生看護学系				
公衆衛生看護学概論	2			
家族相談支援論	1			
公衆衛生看護学実習Ⅰ	1			
応用看護学				
応用看護学系				
看護研究	4			
看護管理		1		

第3類（杏林大学学則）

家族看護		2	4単位以上
クリティカルケア		2	
感染症看護		2	
がん看護		2	
医療安全		2	
応用看護学実習	2		
特別講義Ⅰ	2		
特別講義Ⅱ		2	
保健師課程			
公衆衛生看護専門学系			
公衆衛生看護活動方法論Ⅰ		2	
公衆衛生看護活動方法論Ⅱ		1	
公衆衛生看護活動論Ⅰ		2	
公衆衛生看護活動論Ⅱ		2	
地区診断演習		1	
公衆衛生看護管理		1	
公衆衛生看護学実習Ⅱ		2	
公衆衛生看護学実習Ⅲ		3	
助産師課程			
助産学系			
助産学概論		2	
周産期医学Ⅰ		2	
周産期医学Ⅱ		1	
助産診断・技術学Ⅰ		1	
助産診断・技術学Ⅱ		2	
助産診断・技術学Ⅲ		2	
助産診断・技術学Ⅳ		1	
助産診断・技術学Ⅴ		2	
地域助産活動論		1	
助産管理学		2	
助産学特別講義		1	
助産学実習Ⅰ		1	
助産学実習Ⅱ		7	
助産学実習Ⅲ		2	
助産学実習Ⅳ		1	

第3類（杏林大学学則）

計	111	93		129単位以上

看護学科看護養護教育学専攻

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
基礎分野				
人間科学系				
哲 学		2		
日 本 国 憲 法	2			
芸 術		2		
教 育 心 理 学	2			
生 命 倫 理 学	2			
健 康 ス ポ ー ツ 科 学	2			
ホ ス ピ タ リ テ ィ 論		2		
自然科学系				
統 計 学		2		
遺 伝 学		2		
生 命 科 学 概 論		2		
基 礎 物 理 学		1		
基 礎 化 学		1		
情 報 処 理 論	2			
語学系				
英 語 I	2			
英 語 II	2			
英 会 話	2			
医 学 英 語		2		
日 常 中 国 語 会 話		2		
日 本 語 表 現 法		2		
専門分野				
人体の構造と機能・疾病の成り立ち				
解 剖 学 ・ 生 理 学	2			
感 染 症 ・ 免 疫 学	2			
栄養学（食品学を含む。）	2			
疾 病 の 成 り 立 ち I	2			

第3類（杏林大学学則）

疾病の成り立ちⅡ	2			
疾病の成り立ちⅢ	2			
疾病の成り立ちⅣ	2			
疾病の成り立ちⅤ	2			
疾病の成り立ちⅥ	2			
健康支援と社会保障制度				
公衆衛生学	2			
社会福祉学		2		
コンピューター演習	1			
疫学と統計				
保健統計	2			
基礎看護学分野				
基礎看護学系				
看護学概論Ⅰ	1			
看護学概論Ⅱ	2			
看護基本技術Ⅰ	2			
看護基本技術Ⅱ	2			
看護基本技術Ⅲ	1			
アセスメントと援助技術	1			
看護過程	1			
救命救助法	1			
看護基礎実習Ⅰ	1			
看護基礎実習Ⅱ	2			
専門看護学分野				
成人看護学系				
成人看護学概論	1			
成人看護学Ⅰ	2			
成人看護学Ⅱ	2			
成人看護方法	1			
成人看護学実習Ⅰ	3			
成人看護学実習Ⅱ	3			
老年看護学系				
老年看護学概論	1			
老年看護学	2			
老年看護方法	1			
老年看護学実習Ⅰ	2			
老年看護学実習Ⅱ	2			

第3類（杏林大学学則）

小児看護学系				
小児看護学概論	1			
小児看護学	2			
小児看護方法	1			
小児看護学実習	2			
母性看護学系				
母性看護学概論	1			
母性看護学	2			
母性看護方法	1			
母性看護学実習	2			
精神看護学系				
精神看護学概論	2			
精神看護学	2			
精神看護学実習	2			
統合分野				
在宅看護学系				
在宅看護学概論	2			
在宅看護学	2			
在宅看護学実習	2			
特別支援				
発達心理学	2			
小児保健学	2			
発達障害と特別支援	2			
統合看護学実習(発達障害)	2			
公衆衛生看護学分野				
公衆衛生看護学系				
公衆衛生看護学概論	2			
学校保健学系				
学校保健学概論	2			
養護実践学Ⅰ	2			
養護実践学Ⅱ	2			
健康相談活動	2			
学校教育環境づくり	1			
健康教育学概論	2			
健康教育学	2			
学校保健学実習	1			
総合分野				

第 3 類（杏林大学学則）

総合				
移植コーディネータ論		2		
ボランティア活動		1		
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
看護研究	2			
計	123	29		1 2 9 単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2－6

保健学部学科目構成

（平成25年度入学生から適用）

診療放射線技術学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
基礎分野				
人文・社会学系				
哲 学		2		必修2単位を含め 4単位以上
心 理 学		2		
生 命 倫 理 学	2			
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
社 会 学 術		2		
数学・物理学系				
基 礎 数 学	2			
医 療 情 報 科 学	2			
計 算 機 演 習	1			
統 計 学 演 習	1			
基 礎 物 理 学	2			
化学・生物学系				
基 礎 化 学	1			必修2単位を含め 4単位以上
無 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学		2		
基 礎 生 物 学	1			
生 命 科 学 概 論		2		
遺 伝 学		2		
細 胞 生 物 学		2		
言語系				
英 語 I	2			必修6単位を含め 8単位以上
英 語 II	2			
英 語 III		2		
英 語 IV		2		
英 会 話		2		
日 本 語 表 現 法	2			

第3類（杏林大学学則）

専門基礎分野				
人体の構造と機能および疾病の成り立ち				
解剖学	2			
解剖・組織学実習	1			
臨床生理学	2			
臨床生理学実習	1			
生化学	2			
感染症・免疫学	2			
薬理学		2		
公衆衛生学	2			
疾病の成り立ちⅠ（感覚器系・女性生殖器系）	2			
疾病の成り立ちⅡ（消化器系）	2			
疾病の成り立ちⅢ（呼吸器系）	2			
疾病の成り立ちⅣ（循環器系）	2			
疾病の成り立ちⅤ（神経系・脳血管系）	2			
疾病の成り立ちⅥ（腎・泌尿器系）	2			
保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学および技術				
医用電気工学	2			
医用電気工学実験	1			
医用電子工学	2			
医用電子工学実験	1			
システム工学	2			
システム工学実験	1			
放射線生物学	2			
放射線生物学演習		1		
放射線物理学Ⅰ	2			
放射線物理学Ⅱ	2			
放射線物理学演習		1		
放射化学	2			
放射化学演習		1		
放射線計測学	2			
放射線計測学演習	1			
放射線計測学実験	1			
放射線取扱技術学演習	1			
専門分野				
診療画像技術学				

第3類（杏林大学学則）

放射線画像検査技術学概論	2			
診療画像検査技術学Ⅰ	2			
診療画像検査技術学Ⅱ	2			
診療画像検査技術学Ⅲ	2			
診療画像検査機器学Ⅰ	2			
診療画像検査機器学Ⅱ	2			
画像解剖学	2			
画像解剖学演習		1		
画像医学	2			
診療画像検査技術学演習	1			
診療画像検査技術学実習	1			
核医学検査技術学				
核医学検査技術学概論	2			
核医学検査技術学各論	2			
核医学検査機器学	2			
放射性医薬品学	1			
核医学検査技術学演習		1		
放射線治療技術学				
放射線治療技術学Ⅰ	2			
放射線治療技術学Ⅱ	2			
放射線腫瘍学	2			
放射線治療機器学	2			
医用画像情報学				
医療画像情報学Ⅰ	2			
医療画像情報学Ⅱ	2			
医療システム情報学	2			
医療画像情報学演習		1		
医療画像情報学実習	1			
放射線安全管理学				
放射線安全管理技術学	2			
放射線安全管理技術学演習		1		
放射線安全管理技術学実習	1			
関係法規	2			
臨床実習				
画像検査技術学実習	6			
核医学検査技術学実習	2			

第3類（杏林大学学則）

放射線治療技術学実習	2			
総合領域				
医療総合演習	2			
医療安全学	2			
チーム医療論		2		
原書講読		2		
特別講義Ⅰ		1		
特別講義Ⅱ		1		
卒業研究	4			
計	127	43		133単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2－7

保健学部学科目構成

（平成27年度入学生から適用）

健康福祉学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲 学		2		
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法		2		
社 会 学		2		
生 命 倫 理 学	2			10単位以上
教 育 心 理 学		2		
発 達 心 理 学		2		
芸 術 学		2		
倫 理 学		2		
地 域 と 大 学	1			
自然科学系				
基 礎 数 学		1		
情 報 処 理 演 習	2			
基 礎 物 理 学		1		
基 礎 化 学	1			
無 機 化 学		2		
基 礎 生 物 学	1			
自 然 科 学 実 験	1			
言語系				
英 語 I	2			
英 語 II		2		
英 語 III		2		
医 学 英 語	2			
英 会 話		2		
基礎医学系				

第3類（杏林大学学則）

医 学 概 論	2		
医 学 基 礎 実 習	1		
公 衆 衛 生 学 I	2		
公 衆 衛 生 学 II		2	
解 剖 学	2		
病 理 学	2		
生 理 学	2		
生 化 学	2		
免 疫 学	2		
微 生 物 学	2		
微 生 物 学 実 験		1	
薬 理 学	2		
小 児 疾 患 の 病 態 学	2		
内 科 疾 患 の 病 態 学 I	2		
内 科 疾 患 の 病 態 学 II		2	
内 科 疾 患 の 病 態 学 III		2	
外 科 疾 患 の 病 態 学	2		
精 神 医 学		1	
救 命 救 助 法		1	
保健学系			
保 健 学 概 論	2		
健 康 福 祉 学	4		
健 康 福 祉 学 実 習	1		
疫 学		2	
小 児 保 健 学	2		
精 神 保 健 学	2		
保 健 栄 養 学	2		食品学を含む
健 康 教 育 学	2		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2	
社会福祉学系			
社 会 福 祉 学	2		
社 会 福 祉 政 策 論		2	
老 人 福 祉 論		2	

第3類（杏林大学学則）

高 齡 保 健 学		2		
障 害 者 福 祉 論		2		
児 童 福 祉 論	2			
社 会 保 障 論		4		
公 的 扶 助 論		2		
地 域 福 祉 論		4		
社会福祉援助技術総論Ⅰ		4		
社会福祉援助技術総論Ⅱ		2		
社会福祉援助技術論Ⅰ		2		
社会福祉援助技術論Ⅱ		2		
社会福祉援助技術演習Ⅰ		1		
社会福祉援助技術演習Ⅱ		1		
社会福祉援助技術演習Ⅲ		2		150時間
社会福祉援助技術演習Ⅳ		2		
社会福祉援助技術演習Ⅴ		2		
社会福祉援助技術演習Ⅵ		2		
社会福祉援助技術実習		6		180時間
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ		1		30時間（実習）
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ		4		60時間（講義・演習）
医 療 福 祉 論		2		
社 会 調 査 概 論	1			
福祉行政と福祉計画概論		1		
社 会 福 祉 経 営 論		1		
就 労 支 援 概 論		1		
権利擁護と成年後見概論		1		
更 生 保 護 概 論		1		
介 護 福 祉 論		2		
学校保健学系				
学 校 保 健 学Ⅰ		2		学校安全を含む
学 校 保 健 学Ⅱ		2		
学 校 看 護 学		1		
健 康 相 談Ⅰ		2		

第3類（杏林大学学則）

健康相談Ⅱ		1	
養護学概論		2	
カウンセリング	2		
保健科指導研究Ⅰ		2	
保健科指導研究Ⅱ		2	
保健科教育法－1		2	
保健科教育法－2		2	
看護学Ⅰ		2	
看護学Ⅱ		2	
看護学Ⅲ		2	
看護学実習		2	
救急看護学		2	
環境・食品学系			
産業保健学		2	
環境衛生工学		2	
環境科学		2	
放射線概論		2	
分析化学		2	
分析化学実験		1	
食品栄養学		2	
食品衛生学		2	
食品製造学		2	
職業適性論		2	
労働衛生法規Ⅰ		2	
労働衛生法規Ⅱ		2	
総合			
移植コーディネータ論		2	
特別講義Ⅰ		2	
特別講義Ⅱ		2	
特別演習Ⅰ		1	
特別演習Ⅱ		1	
ボランティア活動		2	

第 3 類（杏林大学学則）

フィールドスタディ		4		
計	5 9	1 6 4		1 2 4 単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2－8

保健学部学科目構成

（平成28年度入学生から適用）

看護学科看護学専攻

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
看護師課程				
基礎分野				
人間科学系				
哲 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
日 本 国 憲 法		2		
心 理 学		2		
発 達 心 理 学	2			
福 祉 ・ 地 域 と 大 学	2			
現 代 教 育 論		2		
ホ ス ピ タ リ テ ィ 論		2		
国 際 協 力 論		2		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2		
自然科学系				
統 計 学		2		
人 類 遺 伝 学		2		
物 理 学 概 論		1		
化 学 概 論		1		
生 命 科 学 概 論		2		
情 報 処 理 論	2			
語学系				
英 語 I	2			
英 語 II	2			
英 語 III		2		
英 会 話		2		
医 学 英 語		2		
日 本 語 表 現 法	2			
専門基礎分野				
人体の構造と機能・疾病の成り立ち				
形 態 ・ 機 能 学	2			

第3類（杏林大学学則）

代 謝 ・ 栄 養 学	2			
薬 理 学	2			
感 染 症 ・ 免 疫 学	2			
病 態 治 療 論 I	2			
病 態 治 療 論 II	2			
病 態 治 療 論 III	2			
病 態 治 療 論 IV	1			
病 態 治 療 論 V	1			
健康支援と社会保障制度				
公 衆 衛 生 学	1			
健 康 支 援 と 法 律	1			
保 健 福 祉 行 政 論 I	1			
保 健 福 祉 行 政 論 II	2			
健 康 教 育 学	2			
産 業 保 健 学 概 論		1		
学 校 保 健 学 概 論		1		
疫学と統計				
疫 学	2			
保 健 統 計	2			
基礎看護学				
基礎看護学系				
看 護 学 概 論	2			
看 護 援 助 論	1			
生 活 行 動 援 助 技 術 I	2			
生 活 行 動 援 助 技 術 II	2			
ヘルスアセスメント技術	1			
看 護 過 程	1			
治 療 ・ 処 置 の 技 術	2			
基 礎 看 護 学 実 習 I	1			
基 礎 看 護 学 実 習 II	2			
専門看護学				
成人看護学系				
成 人 看 護 学 概 論	2			
成 人 看 護 学 I	2			
成 人 看 護 学 II	2			
成 人 看 護 学 演 習	2			

保健師課程選択者は必修

第3類（杏林大学学則）

成人看護学実習Ⅰ	3			
成人看護学実習Ⅱ	3			
高齢者看護学系				
高齢者看護学概論	2			
高齢者看護学	2			
高齢者看護学演習	1			
高齢者看護学実習Ⅰ	2			
高齢者看護学実習Ⅱ	2			
小児看護学系				
小児看護学概論	2			
小児看護学	2			
小児看護学演習	1			
小児看護学実習	2			
母性看護学系				
母性看護学概論	2			
母性看護学	2			
母性看護学演習	1			
母性看護学実習	2			
精神看護学系				
精神看護学概論	2			
精神看護学	2			
精神看護学演習	1			
精神看護学実習	2			
在宅看護学系				
在宅看護学	2			
在宅看護学演習	2			
在宅看護学実習	2			
公衆衛生看護学系				
公衆衛生看護学概論	2			
家族相談支援論	1			
公衆衛生看護学実習Ⅰ	1			
応用看護学				
応用看護学系				
看護研究	4			
看護管理		2		
家族看護		2		
				看護師課程選択者は

第3類（杏林大学学則）

ク リ テ ィ カ ル ケ ア		2		選択必修 4 単位以上
が ん 看 護		2		
応 用 看 護 学 実 習	2			
特 別 講 義	2			
保健師課程				
公衆衛生看護学				
公衆衛生看護学系				
公衆衛生看護活動方法論Ⅰ		2		保健師課程選択者は必修
公衆衛生看護活動方法論Ⅱ		1		
公衆衛生看護活動論Ⅰ		2		
公衆衛生看護活動論Ⅱ		2		
地 域 診 断 演 習		1		
公 衆 衛 生 看 護 管 理		1		
公衆衛生看護学実習Ⅱ		2		
公衆衛生看護学実習Ⅲ		3		
助産師課程				
助産学専攻				
助産学系				
助 産 学 概 論		2		助産師課程選択者は必修
周 産 期 医 学 Ⅰ		2		
周 産 期 医 学 Ⅱ		1		
助 産 診 断 ・ 技 術 学 Ⅰ		1		
助 産 診 断 ・ 技 術 学 Ⅱ		2		
助 産 診 断 ・ 技 術 学 Ⅲ		2		
助 産 診 断 ・ 技 術 学 Ⅳ		1		
助 産 診 断 ・ 技 術 学 Ⅴ		2		
地 域 助 産 活 動 論		1		
助 産 管 理 学		2		
助 産 学 特 別 講 義		1		
助 産 学 実 習 Ⅰ		1		
助 産 学 実 習 Ⅱ		7		
助 産 学 実 習 Ⅲ		2		
助 産 学 実 習 Ⅳ		1		
計	1 1 5	8 2		1 3 3 単位以上

第3類（杏林大学学則）

看護学科看護養護教育学専攻

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
基礎分野				
人間科学系				
日 本 国 憲 法	2			
芸 術		2		
教 育 心 理 学	2			
生 命 倫 理 学		2		
学 校 教 育 環 境 づ くり	1			
健 康 ス ポ ー ツ 科 学	2			
健 康 教 育 学 概 論	2			
ホ ス ピ タ リ テ ィ 論		2		
国 際 協 力 論		2		
日 本 語 学		2		
日 本 人 の 言 語 行 動 学		2		
自然科学系				
基 礎 生 物 学		1		
基 礎 物 理 学		1		
基 礎 化 学		1		
基 礎 数 学		1		
情 報 処 理 論	2			
生 化 学		2		
医 用 機 器 概 論		2		
語学系				
実 用 英 語 I	2			
実 用 英 語 II	2			
英 会 話	2			
看 護 英 語		2		
日 本 語 表 現 法		2		
専門基礎分野				
人体の構造と機能・疾病の成り立ち				
解剖学(解剖学実習を含む)	2			
生 理 学	2			
病 理 学	2			
薬 理 学	2			

第3類（杏林大学学則）

感 染 症 ・ 免 疫 学	2			
栄養学（食品学を含む。）	2			
疾 病 の 成 り 立 ち I	2			
疾 病 の 成 り 立 ち II	2			
疾 病 の 成 り 立 ち III	2			
疾 病 の 成 り 立 ち IV	2			
疾 病 の 成 り 立 ち V	2			
健康支援と社会保障制度				
公 衆 衛 生 学	2			
学 校 保 健 学 概 論	2			
福 祉 ・ 地 域 と 大 学	2			
健 康 支 援 と 法 律	1			
保 健 統 計	2			
疫 学	2			
基礎看護学分野				
基礎看護学系				
看 護 学 概 論 I	1			
看 護 学 概 論 II	2			
看 護 基 本 技 術 I	2			
看 護 基 本 技 術 II	2			
看 護 基 本 技 術 III	1			
アセスメントと援助技術I	1			
看 護 過 程	1			
救 命 救 助 法	1			
看 護 基 礎 実 習 I	1			
看 護 基 礎 実 習 II	2			
専門看護学分野				
成人看護学系				
成 人 看 護 学 概 論	1			
成 人 看 護 学 I	2			
成 人 看 護 学 II	2			
アセスメントと援助技術II	1			
成 人 看 護 方 法	1			
成 人 看 護 学 実 習 I	3			
成 人 看 護 学 実 習 II	3			
老年看護学系				
老 年 看 護 学 概 論	1			

第3類（杏林大学学則）

老 年 看 護 学	2			
老 年 看 護 方 法	1			
老 年 看 護 学 実 習 I	2			
老 年 看 護 学 実 習 II	2			
小児看護学系				
小 児 看 護 学 概 論	1			
小 児 看 護 学	2			
小 児 看 護 方 法	1			
小 児 看 護 学 実 習	2			
母性看護学系				
母 性 看 護 学 概 論	1			
母 性 看 護 学	2			
母 性 看 護 方 法	1			
母 性 看 護 学 実 習	2			
精神看護学系				
精 神 看 護 学 概 論	2			
精神看護学（演習含む）	2			
精 神 看 護 学 実 習	2			
統合分野				
在宅看護学系				
在 宅 看 護 学 概 論	2			
在宅看護学（演習含む）	2			
在 宅 看 護 学 実 習	2			
公衆衛生看護学系				
公 衆 衛 生 看 護 学 概 論	2			
ヘルスプロモーション系				
小 児 保 健 学	2			
養 護 実 践 学 I	2			
養 護 実 践 学 II	2			
健 康 相 談 活 動	2			
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動		1		
看護の統合と実践				
発 達 障 害 と 特 別 支 援	2			
統合看護学実習（発達障害）	2			
看 護 ト ピ ッ ク ス		1		
医 療 看 護 英 文 読 解	1			

第3類（杏林大学学則）

国際看護学実習基礎分野		1		
国際看護学実習応用分野		1		
領域別ゼミナール(看護系)	2			
領域別ゼミナール(養護系)		2		
看護研究	2			
計	128	30		133単位以上

理学療法学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
基礎分野				
人間科学系				
心理学		2		
生命倫理学		2		
芸術		2		
社会福祉学		2		
発達心理学		2		
職業適性論		2		
日本国憲法		2		
日本語学		2		
日本人の言語行動学		2		
地域と大学	1			
自然科学系				
数学		2		
統計学		2		
情報処理論	2			
基礎物理学		1		
基礎化学		1		
生化学概論		2		
基礎生物学		1		
生命科学概論		2		
語学系				
英語 I	2			
英語 II	2			
英語 III		2		
英語 IV		2		

第3類（杏林大学学則）

英 会 話	2		8単位以上
医 学 英 語	2		
日 本 語 表 現 法	2		
専門基礎分野			
医学系			
解 剖 学	2		
リハビリテーション解剖学	1		
解 剖 学 実 習	1		
リハビリテーション解剖学実習	1		
生 理 学 I	2		
生 理 学 II	1		
生 理 学 実 習	1		
病 理 学 概 論	1		
人 間 発 達 学	2		
リハビリテーション概論	1		
臨 床 心 理 学	1		
精 神 医 学	2		
内 科 学 I	2		
内 科 学 II	2		
小 児 科 学	1		
神 経 内 科 学	2		
外 科 学	1		
整 形 外 科 学	2		
脳 神 経 外 科 学	1		
リハビリテーション医学	1		
医 療 安 全 論	1		
感 染 症 ・ 免 疫 学	2		
薬 理 学	1		
栄 養 学	1		
保健学・衛生学系			
産 業 保 健 学	2		
公 衆 衛 生 学 I	2		
公 衆 衛 生 学 II	2		
環 境 衛 生 工 学	2		
救 命 救 助 法	1		
労 働 衛 生 法 規 I	2		
			「医学系」より 必修27単位を 含めて30単位以上
			「保健学・衛生学系」 より4単位以上

第3類（杏林大学学則）

労働衛生法規Ⅱ		2		
専門分野				
基礎理学療法学系				
理学療法概論	1			
理学療法用語論		1		
運動学	1			
運動学実習	1			
病態運動学		1		
運動解剖学		1		
理学療法評価学系				
理学療法評価学概論	1			
理学療法評価学Ⅰ	1			
理学療法評価学Ⅱ	2			
理学療法評価学実習	1			
動作分析学		1		
理学療法治療学系				
理学療法治療学総論		1		
運動療法学	2			
運動療法学実習	1			
物理療法学	2			
物理療法学実習	1			
義肢学	1			
装具学	1			
義肢装具学実習	1			
日常生活技術学	1			
日常生活技術学実習	1			
運動器障害系理学療法学	2			
神経障害系理学療法学	2			
内部障害系理学療法学	2			
小児理学療法学	2			
高次脳機能障害学	1			
高齢者理学療法学		1		
急性期理学療法学		1		
スポーツ障害理学療法学		1		
マニュアルセラピー		1		
プロフェッショナルスキル	2			

「専門分野」より
必修57単位を
含めて69単位以上

第3類（杏林大学学則）

クリニカルリーズニング		1		
地域理学療法学系				
地域理学療法学	2			
理学療法国際事情		1		
臨床実習系				
見学実習	1			
評価実習Ⅰ	2			
評価実習Ⅱ	4			
総合臨床実習	14			
総合領域				
理学療法特論		2		
理学療法研究法		1		
応用理学療法学		1		
基礎ゼミ	2			
特別講義		2		
卒業研究	2			
計	91	75		125単位以上

作業療法学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
心理学		2		
生命倫理学		2		
芸術学		2		
社会福祉学		2		
発達心理学		2		
職業適性論		2		
日本国憲法		2		
日本語学		2		
日本人の言語行動学		2		
地域と大学	1			
自然科学系				
数学		2		
統計学		2		

「人間科学系」より
必修1単位を含めて
7単位以上

第3類（杏林大学学則）

情報処理論	2				
基礎物理学		1			
物理学概論		2			
基礎化学		1			
生化学概論		2			
基礎生物学		1			
生命科学概論		2			
分子生物学		2			
人類遺伝学		2			
語学系					
英語 I	2				
英語 II	2				
英語 III		2			
英語 IV		2			
英会話		2			
医学英語		2			
日本語表現法		2			
専門基礎分野					
医学系					
解剖学	2				
リハビリテーション解剖学	1				
解剖学実習	1				
リハビリテーション解剖学実習	1				
生理学 I	2				
生理学 II	1				
生理学実習	1				
運動学	1				
運動学実習	1				
病態運動学実習		1			
病理学	1				
人間発達学	2				
リハビリテーション概論	1				
臨床心理学概論	1				
精神医学	2				
内科学 I	2				
内科学 II		2			
「自然科学系」より 必修2単位を含めて 7単位以上					
「語学系」より 必修4単位を含めて 8単位以上					
「医学系」より 必修29単位を 含めて30単位以上					

第3類（杏林大学学則）

小 児 科 学	1			
神 経 内 科 学	2			
外 科 学	1			
整 形 外 科 学	2			
脳 神 経 外 科 学	1			
リハビリテーション医学	1			
医 療 安 全 論	1			
感 染 症 ・ 免 疫 学		2		
薬 理 学		1		
栄 養 学		1		
保健学・衛生学系				
産 業 保 健 学		2		
公 衆 衛 生 学 I		2		
公 衆 衛 生 学 II		2		
環 境 衛 生 工 学		2		
救 命 救 助 法		1		
労 働 衛 生 法 規 I		2		
労 働 衛 生 法 規 II		2		
専門分野				
基礎作業療法学系				
作 業 療 法 学 概 論	1			
基 礎 作 業 学 概 論	1			
基礎作業学実習Ⅰ（作業活動の基礎）	1			
基礎作業学実習Ⅱ（作業活動の応用）	1			
作業分析学Ⅰ（基本的分析）	1			
作業分析学Ⅱ（応用的分析）	1			
作 業 療 法 管 理 運 営		1		
作 業 療 法 諸 理 論		1		
作業療法評価学系				
作業療法評価学Ⅰ（総論）	1			
作業療法評価学Ⅱ（疾患別）	1			
作業療法評価学実習Ⅰ（中枢神経障害）	1			
作業療法評価学実習Ⅱ（発達、精神障害）	1			
作業療法評価学実習Ⅲ（老年期障害）	1			
認 知 機 能 評 価 法		1		
作業療法治療学系				

「保健学・衛生学系」
より4単位以上

第3類（杏林大学学則）

身体障害作業療法学Ⅰ（内科系疾患）	1				
身体障害作業療法学Ⅱ（運動器系疾患）	1				
身体障害作業療法学Ⅲ（中枢神経系疾患：脳血管）	1				
身体障害作業療法学Ⅳ（中枢神経系疾患：進行性）	1				
身体障害作業療法学演習	1				
高次脳機能障害作業療法学	1				
精神障害作業療法学Ⅰ（総論）	1				
精神障害作業療法学Ⅱ（疾患別）	1				
精神障害作業療法学演習	1				
発達障害作業療法学Ⅰ（総論）	1				
発達障害作業療法学Ⅱ（疾患別）	1				
発達障害作業療法学演習	1				
老年期障害作業療法学	1				
認知障害作業療法学	1				
職業関連作業療法学	1				
身体機能代償学		1			
義肢装具学	1				
義肢装具学実習	1				
福祉用具適応学	1				
日常生活活動学Ⅰ（総論）	1				
日常生活活動学Ⅱ（疾患別）	1				
バリアフリー論		1			
レクリエーション概論		1			
クリニカルリーズニング		1			
ハンドセラピー学	1				
地域作業療法学系					
地域生活作業療法学	1				
地域ケアシステム論	1				
住環境整備論	1				
地域生活作業療法学演習	1				
作業療法国際事情		1			
臨床実習系					
見学実習	1				
評価実習Ⅰ	2				
評価実習Ⅱ	4				
総合臨床実習	14				
総合領域					

「専門分野」より
必修63単位を
含めて69単位以上

第 3 類（杏林大学学則）

作業療法学特論Ⅰ		1		
作業療法学特論Ⅱ		1		
作業療法研究法		1		
応用作業療法学		1		
基礎ゼミ	2			
特別講義		1		
卒業研究	4			
計	9 9	7 8		1 2 5 単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2－9

保健学部学科目構成

（平成28年度入学生から適用）

臨床検査技術学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
心理学		2		
日本国憲法		2		
芸術学		2		
発達心理学		2		
社会福祉学		2		
日本語学		2		
日本人の言語行動学		2		
地域と大衆学	1			
自然科学系				
数学		2		
統計学		2		
基礎物理学		1		
物理化学		2		
物理化学実験		1		
基礎化学		1		
化学実験		1		
基礎生物学		1		
生物化学実験		1		
語学系				
日本語表現法		2		
英語Ⅰ	2			
英語Ⅱ	2			
英語Ⅲ		2		
英語Ⅳ		2		
英語会話		2		
医学英語	2			
学科基礎系				
医療情報処理演習		2		
生命科学	2			
遺伝子工学		1		
分子細胞生物学		1		
無機化学		2		
生物有機化学Ⅰ		2		
生物有機化学Ⅱ		2		
分析化学	2			
分析化学実験	1			
医療情報科学	2			

第3類（杏林大学学則）

医救	療命	学救	概助	論法	1	1		集中（実践的防災論を含む）
医医	用用	工工	学学	概論	2			
医医	用用	工工	学学	実驗	1			
放生	射命	線倫	概理	論学	2			
放生	射命	線倫	概理	論学	1			
基礎医学系						2		
公公	衆衆	衛衛	生生	学学	I 2			
公公	衆衆	衛衛	生生	学学	II 2			
解組			剖	学学	2			
組組			織	学学	2			
組組	織		学学	実	1			
病病	理理		学学	総論	2			
生生	理理		学学	I 2	2			
生生	理理		学学	II 2	2			
生血		化		学学	2			
血免		液疫		学学	2			
微微	生		物	学学	2			
医医	動		物	学学	2			
薬薬		理		学学				
臨床検査学系						1		放射性同位元素検査学を含む
生	理	機	能	検 査 学	I 2			
生	理	機	能	検 査 学	II 2			
生	理	機	能	検 査 学	実 2			
生	理	機	能	検 査 学	III 2			
臨	床	化	学	検 査 学	2			
生	体	分	子	検 査 学	2			
臨	床	化	学	検 査 学	実 2			
臨	床	遺	伝	学	1			
遺	伝	子	・	染 色 体 検 査 学	2			
遺	伝	子	・	染 色 体 検 査 学	実 1			
病	理	学	各	論	2			
病	理	検	査	学	2			
病	理	検	査	学	実 2			
細	胞	診	断	学	2			
細	胞	診	断	学	実 2			
血	液	検	査	学	2			
血	液	検	査	学	実 2			
医	動	物	検	査 学	実 1			
細	菌	検	査	学	2			
真	菌	・	ウ イ ル ス	検 査 学	2			
細	菌	・	真 菌	検 査 学	実 2			
免	疫	検	査	学	2			

第3類（杏林大学学則）

輸血・移植検査学	2			
免疫検査学実習	1			
輸血検査学実習	1			
一般検査学	2			
一般検査学実習	1			
臨床病態学	2			
臨床検査総合演習		4		
検査管理学	1			
臨床検査機器総論	2			
臨地実習		7		
臨床検査概論	1			
医療安全管理学	1			
精度管理学	1			
臨床検査基礎実習	2			
臨床検査学特論 （アドバンスドクラス）		1		
画像検査技術				
臨床検査学特論 （アドバンスドクラス）		1		
血液検査技術				
臨床検査学特論 （アドバンスドクラス）		1		
病理組織検査技術				
臨床検査学特論 （アドバンスドクラス）		1		
微生物検査技術				
臨床検査学特論 （アドバンスドクラス）		1		
輸血検査技術				
衛生学系				
産業保健学	2			
環境衛生工学	2			
環境科学	2			
食品栄養学	2			
食品衛生学	2			
食品製造学	2			
職業適性論	2			
労働衛生法規Ⅰ	2			
労働衛生法規Ⅱ	2			
細胞検査士養成課程				
入門細胞診断学演習	1			
婦人科細胞診断学演習	1			
呼吸器細胞診断学演習	1			
乳腺細胞診断学演習	1			
総合細胞診断学演習	1			
				1 単位以上
				細胞検査士養成課程 選択者は必修

第3類（杏林大学学則）

臨床細胞診断学		4		
自由専攻				
特別演習		1		
総合				
総合医療演習		1		
卒業研究		4		
国際医療検査特論		1		
計	100	100		124単位以上

臨床工学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
心理学		2		
日本国憲法学		2		
発達心理学		2		
芸術学		2		
健康スポーツ科学		2		
職業適性論		2		
生命倫理学	1			
日本語学		2		
日本人の言語行動学		2		
地域と大衆学	1			
数学系				
基礎数学		1		
数学	2			
統計学演習		1		
医療情報科学	2			
計算機演習	2			
応用数学	2			
物理学系				
基礎物理学		1		
基礎電気学	2			
基礎電子回路論	2			
医用工学概論	2			
化学系				
基礎化学		1		
無機化学		2		
生物有機化学		2		
化学実験		1		
生物学系				
基礎生物学		1		
生命科学概論		2		

第3類（杏林大学学則）

生物学実験		1	
言語系			
日本語表現法	2		
英語Ⅰ		2	
英語Ⅱ		2	
英語Ⅲ		2	
英語Ⅳ		2	
医学英語	2		
英語会話		2	
基礎医学系			
医学概論	2		
公衆衛生学Ⅰ	2		
公衆衛生学Ⅱ		2	
解剖学Ⅰ	2		
解剖学Ⅱ		2	
病理学Ⅰ	2		
病理学Ⅱ	2		
生理学Ⅰ	2		
生理学Ⅱ	2		
生理学実験	1		
生化学Ⅰ		2	
生化学Ⅱ		2	
免疫学Ⅰ		2	
免疫学Ⅱ		2	
薬理学		2	
看護学		2	
医学検査系			
生理学検査Ⅰ	2		
生理学検査Ⅱ	2		
画像診断技術		2	
生理学検査実習		1	
臨床工学系			
医用電気工学	2		
医用電気工学実習		1	
医用電子工学	2		
医用電子工学実習		1	
システム工学		2	
医用情報処理工学	2		
医用情報処理工学実習		1	
医用計測工学	2		
医用計測工学実習		1	
医用機械工学	2		
生体物性学	2		
生体材料工学		2	
医用機器学概論	2		
医用計測機器学	2		
			必修2単位を含めて 8単位以上
			2単位以上

第3類（杏林大学学則）

医用計測機器学実習	2	1	集中(実践的防災論を含む)
医用治療機器学		1	
医用治療機器学実習	2	2	
生体機能代行装置学概論		1	
生体機能代行装置学基礎実習	2	2	
呼吸関連機器学		1	
呼吸関連機器学実習	2	2	
血液浄化装置学		1	
応用血液浄化装置学	2	2	
血液浄化装置学実習		2	
体外循環機器学	2	1	
体外循環機器学実習		2	
医用機器安全管理学Ⅰ	2	2	
医用機器安全管理学Ⅱ		1	
安全管理学実習	2	2	
臨床医学各論Ⅰ		2	
臨床医学各論Ⅱ	2	2	
臨床医学各論Ⅲ		2	
臨床医学各論Ⅳ	2	2	
医療関係法規		1	
臨床実習講義	2	3	
臨床実習		2	
衛生学系	2	2	
産業保健学		2	
環境衛生工学	2	2	
労働衛生法規Ⅰ		2	
労働衛生法規Ⅱ	2	1	
救命救助法		2	
総合	4	2	
特別講義Ⅰ		2	
特別講義Ⅱ	4	1	
特別演習Ⅰ		1	
特別演習Ⅱ	4	2	
総合演習		2	
卒業研究	4	2	
計		69	106
計	69	106	124単位以上

救急救命学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
日本国憲法学		2		
心理法学		2		

第3類（杏林大学学則）

発達心理学		2			
芸術生命倫理学	1	2			必修を含めて 10単位以上
日本語学		2			
日本人の言語行動学		2			
地域と大	1				
数学・物理学系					
基礎物理学		1			
物理学		2			
医用工学概論		2			4単位以上
統計学		2			
医療情報科学		2			
情報処理演習		2			
化学系					
基礎化学		1			
無機化学		2			3単位以上
生物有機化学Ⅰ		2			
生物有機化学Ⅱ		2			
生物学系					
基礎生物学		1			
生命科学概論		2			3単位以上
細胞生物学		2			
人類遺伝学		2			
言語系					
日本語表現法		2			
英語Ⅰ	2				
英語Ⅱ	2				
英会話		2			
プレホスピタル救急英会話Ⅰ		2			6単位以上
プレホスピタル救急英会話Ⅱ		2			
医学英語		2			
体育学系					
体育実技Ⅰ	2				
体育実技Ⅱ	2				
体育実技Ⅲ		2			
体育実技Ⅳ		1			
基礎医学系					
医学概論		2			
公衆衛生学Ⅰ	2				
公衆衛生学Ⅱ		2			
解剖学Ⅰ	2				
解剖学Ⅱ		2			
生理学Ⅰ	2				

第3類（杏林大学学則）

生	理	学	Ⅱ	2			
生	化	学	学	2			
病	理	学	学	2			
微	生	物	学	2			
血	液	学	学		2		
免	疫	学	学		2		
薬	理	学	学	2			
救	命	救	助	1			集中
救急医学系							
内	科	学	I	2			
内	科	学	Ⅱ	2			
内	科	学	Ⅲ	2			
内	科	学	Ⅳ		2		
内	科	学	V		2		
内	科	学	Ⅵ		2		
医療	コミュニケーション	学			2		
救	急	医	学	概	論	2	
救	急	処	置	総	論	2	
救	急	処	置	各	論	2	
災	害	医	学		1		
外	科	学	学		2		
法	医	学	学		1		
外	傷	学	学		2		
環境	障害・急性中毒	学	I		2		
環境	障害・急性中毒	学	Ⅱ		2		
救	急	搬	送	論	2		
小	児	科	学		1		
産	婦	人	科	学	1		
整	形	外	科	学	2		
脳	外	科	学		2		
精	神	医	学		2		
放	射	線	概	論	2		
シミュレ	ー	シ	ョ	ン	I	2	
シミュレ	ー	シ	ョ	ン	Ⅱ	2	
シミュレ	ー	シ	ョ	ン	Ⅲ	2	
シミュレ	ー	シ	ョ	ン	Ⅳ		3
シミュレ	ー	シ	ョ	ン	V		3
シミュレ	ー	シ	ョ	ン	Ⅵ		2
シミュレ	ー	シ	ョ	ン	Ⅶ		2
救	急・防	災	実	習	1		見学含む
臨	床	実	習	習		6	
実	践	救	急	症	候		
救	急	車	同	乗	実	2	
実	践	的	防	災	論	1	演習含む

第 3 類（杏林大学学則）

衛生学系				
産 業 保 健 学		2		
環 境 衛 生 工 学		2		
職 業 適 性 論		2		
労 働 衛 生 法 規 I		2		
労 働 衛 生 法 規 II		2		
総合				
特 別 講 義 I		2		
特 別 講 義 II		2		
特 別 講 義 III		2		
特 別 講 義 IV		2		
卒 業 研 究	4			演習含む
計		5 1	1 2 9	1 2 4 単 位 以 上

第3類（杏林大学学則）

別表2－10

保健学部学科目構成

（平成29年度入学生から適用）

診療放射線技術学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
哲学		2		4単位以上 (必修1単位を含む)
心理学		2		
生命倫理学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
芸術学		2		
日本語学		2		
日本人の言語行動学		2		
地域と大学	1			
自然科学系				
基礎数学		1		14単位以上 (必修12単位を含む)
微分積分学	1			
応用数学	1			
基礎物理学Ⅰ	1			
基礎物理学Ⅱ	1			
計算機演習	1			
統計学演習	1			
基礎化学	1			
無機化学		2		
生物有機化学		2		
基礎生物学	1			
生命科学概論		2		
遺伝学		2		
基礎画像工学	2			
基礎科学実験Ⅰ	1			
基礎科学実験Ⅱ	1			
語学系				
英語Ⅰ	2			8単位以上 (必修6単位を含む)
英語Ⅱ	2			
英語Ⅲ		2		
英語Ⅳ		2		

第3類（杏林大学学則）

英 会 話		2		
医 学 英 語	2			
日 本 語 表 現 法		2		
専門基礎分野				
人体の構造と機能および疾病の成り立ち				
解 剖 学	2			
臨 床 生 理 学	2			
臨 床 生 理 学 実 習	1			
生 化 学		2		
感 染 症 ・ 免 疫 学	2			
薬 理 学		2		
公 衆 衛 生 学	2			
疾病の成り立ちⅠ（感覚器系・脳神経・脳血管系）	2			
疾病の成り立ちⅡ（消化器系・腎泌尿器系）	2			
疾病の成り立ちⅢ（呼吸器系）	2			
疾病の成り立ちⅣ（循環器系）	2			
救 命 救 助 法	1			
保健医療福祉における理工学の基礎並びに放射線の科学および技術				
医 用 電 気 工 学	2			
医 用 電 子 工 学	2			
医 用 工 学 実 験	1			
放 射 線 生 物 学	2			
放 射 線 生 物 学 演 習		1		
放 射 線 物 理 学 Ⅰ	2			
放 射 線 物 理 学 Ⅱ	2			
放 射 線 物 理 学 演 習		1		
放 射 化 学	2			
放 射 化 学 演 習		1		
放 射 線 計 測 学	2			
放 射 線 計 測 学 演 習		1		
放 射 線 計 測 学 実 験	1			
放 射 線 線 量 測 定 学	1			
専門分野				
診療画像技術学				
放射線画像検査技術学概論	1			
診療画像検査技術学Ⅰ	2			
診療画像検査技術学Ⅱ	2			

第3類（杏林大学学則）

診療画像検査技術学Ⅲ	2			
診療画像検査技術学Ⅳ	2			
診療画像検査技術学実習Ⅰ	1			
診療画像検査技術学実習Ⅱ	1			
診療画像検査技術学実習Ⅲ	1			
診療画像検査機器学Ⅰ	2			
診療画像検査機器学Ⅱ	2			
診療画像検査機器学Ⅲ	2			
診療画像検査機器学実習	1			
画像解剖学	2			
画像解剖学演習		1		
画像医学	2			
乳房検査技術学		1		
救急撮影技術学		1		
MRI検査技術学		1		
核医学検査技術学				
核医学検査技術学Ⅰ	2			
核医学検査技術学Ⅱ	2			
核医学検査機器学	2			
放射性医薬品学		1		
核医学検査技術学実習	1			
放射線治療技術学				
放射線治療技術学Ⅰ	2			
放射線治療技術学Ⅱ	2			
放射線腫瘍学	2			
放射線治療機器学	1			
放射線治療技術学実習	1			
医用画像情報学				
医療画像情報学Ⅰ	2			
医療画像情報学Ⅱ	2			
医療画像工学	2			
医療システム情報学	2			
医療画像情報学実習Ⅰ	1			
医療画像情報学実習Ⅱ	1			
放射線安全管理学				
放射線安全管理技術学	2			
放射線安全管理技術学演習		1		

第3類（杏林大学学則）

放射線安全管理技術学実習	1			
放射線関係法規	2			
医療安全管理学				
医療安全学	2			
医療倫理	1			
臨床実習				
画像検査技術学臨床実習	6			
核医学検査技術学臨床実習	2			
放射線治療技術学臨床実習	2			
総合領域				
医療総合演習	2			
医用統計学演習		1		
原書講読		1		
特別講義		1		
医療の最先端		1		
卒業研究	4			
計	126	51		133単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2-11

保健学部学科目構成

（平成30年度入学生から適用）

臨床心理学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
人文・社会学系				
哲 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
法 学		2		
社 会 学		2		必修を含めて10単位以上
芸 術 論		2		
職 業 適 性 論		2		
日 本 語 学 概 論		2		
こ と ば と 社 会		2		
地 域 と 大 学	1			
自然科学系				
情 報 処 理 論	2			
基 礎 生 物 学		1		
基 礎 化 学		1		
基 礎 数 学		1		
言語系				
日 本 語 表 現 法	2			
英 語 I	2			
英 語 II	2			
英 語 III	2			必修を含めて12単位以上
英 語 IV		2		
医 学 英 語		2		
英 会 話		2		
基礎医学系				
公 衆 衛 生 学	1			
医 学 概 論	1			
人体の構造と機能及び疾病 （人体の構造と機能Ⅰ）	2			
人体の構造と機能及び疾病 （人体の構造と機能Ⅱ）	2			
人体の構造と機能及び疾病 （ 疾 病 ）	2			
病 態 病 理 学		1		

第3類（杏林大学学則）

精神疾患とその治療Ⅰ	2			
精神疾患とその治療Ⅱ	2			
緩和医療学(演習を含む)	2			
救急医療		1		
救命救助法	1			
看護学・精神科リハビリテーション学系				
看護学		2		
精神看護学(精神科リハビリテーション学を含む)	2			
精神看護学・精神科リハビリテーション学演習	2			
心理学基礎科目系				
心理学概論	2			
心理学研究方法	2			
心理学統計法	2			
心理学実験Ⅰ	2			
心理学実験Ⅱ	2			
心理演習	2			
心理学発展科目系				
臨床心理学概論	2			
知覚・認知心理学入門	2			
知覚・認知心理学	2			
学習・言語心理学	2			
感情・人格心理学	2			
神経・生理心理学	2			
社会・集団・家族心理学Ⅰ	2			
社会・集団・家族心理学Ⅱ	2			
発達心理学	2			
障害者・障害児心理学	2			
心理的アセスメント	2			
心理学的支援法	2			
健康・医療心理学	2			
福祉心理学	2			
教育・学校心理学	2			
司法・犯罪心理学	2			
産業・組織心理学	2			
認知行動療法		2		
発達臨床心理学		2		
乳幼児・児童心理学		2		

第3類（杏林大学学則）

思春期・青年期心理学		2		
隣接領域				
社会福祉学		2		
学校教育学		2		
児童福祉学		2		
老人福祉学		2		
高齢保健学		2		
医療福祉学		2		
公的扶助学		2		
障害者福祉学		2		
社会福祉政策学		2		
心理実習系				
公認心理師の職責	2			
関係行政論	2			
心理基礎実習	1			
心理実習Ⅰ	1			
心理実習Ⅱ	3			
総合領域				
総合実習		2		
臨床心理学特別講義Ⅰ		2		
臨床心理学特別講義Ⅱ		2		
心理特別演習Ⅰ		1		
心理特別演習Ⅱ		1		
インターンシップ		2		
ボランティア活動		2		
基礎ゼミ	2			
卒業研究	4			
計	91	69		124単位以上

14単位以上

総合実習
インターンシップ
ボランティア活動
の中から2単位以上

総合領域以外の選択科目
から5単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2－12

保健学部学科目構成

（平成31年度入学生から適用）

健康福祉学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲 学		2		
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法		2		
社 会 学		2		
生 命 倫 理 学	2			10単位以上
教 育 心 理 学		2		
発 達 心 理 学		2		
芸 術 学		2		
倫 理 学		2		
地 域 と 大 学	1			
自然科学系				
基 礎 数 学		1		
情 報 処 理 演 習	2			
基 礎 物 理 学		1		
基 礎 化 学	1			
無 機 化 学		2		
基 礎 生 物 学	1			
自 然 科 学 実 験	1			
言語系				
英 語 I	2			
英 語 II		2		
英 語 III		2		
医 学 英 語	2			
英 会 話		2		
基礎医学系				

第3類（杏林大学学則）

医 学 概 論	2		
医 学 基 礎 実 習	1		
公 衆 衛 生 学 I	2		
公 衆 衛 生 学 II		2	
解 剖 学	2		
病 理 学	2		
生 理 学	2		
生 化 学	2		
免 疫 学	2		
微 生 物 学	2		
微 生 物 学 実 験		1	
薬 理 学	2		
小 児 疾 患 の 病 態 学	2		
内 科 疾 患 の 病 態 学 I	2		
内 科 疾 患 の 病 態 学 II		2	
内 科 疾 患 の 病 態 学 III		2	
外 科 疾 患 の 病 態 学	2		
精 神 医 学		1	
救 命 救 助 法		1	
保健学系			
保 健 学 概 論	2		
健 康 福 祉 学	4		
健 康 福 祉 学 実 習	1		
疫 学		2	
小 児 保 健 学	2		
精 神 保 健 学	2		
保 健 栄 養 学	2		食品学を含む
健 康 教 育 学	2		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2	
社会福祉学系			
社 会 福 祉 学	2		
社 会 福 祉 政 策 論		2	
老 人 福 祉 論		2	

第3類（杏林大学学則）

高 齡 保 健 学		2		
障 害 者 福 祉 論		2		
児 童 福 祉 論	2			
社 会 保 障 論		4		
公 的 扶 助 論		2		
地 域 福 祉 論		4		
社会福祉援助技術総論Ⅰ		4		
社会福祉援助技術総論Ⅱ		2		
社会福祉援助技術論Ⅰ		2		
社会福祉援助技術論Ⅱ		2		
社会福祉援助技術演習Ⅰ		1		
社会福祉援助技術演習Ⅱ		1		
社会福祉援助技術演習Ⅲ		2		
社会福祉援助技術演習Ⅳ		2		
社会福祉援助技術演習Ⅴ		2		
社会福祉援助技術演習Ⅵ		2		
社会福祉援助技術実習		6		180時間
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ		1		30時間（実習）
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ		4		60時間（講義・演習）
医 療 福 祉 論		2		
社 会 調 査 概 論	1			
福祉行政と福祉計画概論		1		
社 会 福 祉 経 営 論		1		
就 労 支 援 概 論		1		
権利擁護と成年後見概論		1		
更 生 保 護 概 論		1		
介 護 福 祉 論		2		
学校保健学系				
学 校 保 健 学Ⅰ		2		学校安全を含む
学 校 保 健 学Ⅱ		2		
学 校 看 護 学		1		
健 康 相 談Ⅰ		2		

第3類（杏林大学学則）

健康相談Ⅱ		1	
養護学概論		2	
カウンセリング	2		
保健科指導法Ⅰ		2	
保健科指導法Ⅱ		2	
保健科教育法－1		2	
保健科教育法－2		2	
看護学Ⅰ		2	
看護学Ⅱ		2	
看護学Ⅲ		2	
看護学実習		2	
救急看護学		2	
環境・食品学系			
産業保健学		2	
環境衛生工学		2	
環境科学		2	
放射線概論		2	
分析化学		2	
分析化学実験		1	
食品栄養学		2	
食品衛生学		2	
食品製造学		2	
職業適性論		2	
労働衛生法規Ⅰ		2	
労働衛生法規Ⅱ		2	
総合			
移植コーディネータ論		2	
特別講義Ⅰ		2	
特別講義Ⅱ		2	
特別演習Ⅰ		1	
特別演習Ⅱ		1	
ボランティア活動		2	

第 3 類（杏林大学学則）

フィールドスタディ		4		
計	5 9	1 6 4		1 2 4 単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2－13

保健学部学科目構成

（令和2年度入学生から適用）

理学療法学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
心理学		2		
生命倫理学		2		
芸術学		2		
社会福祉学		2		
発達心理学		2		
職業適性論		2		
日本国憲法		2		
日本語学		2		
ことばと社会		2		
地域と大学	1			
自然科学系				
数学		2		
統計学		2		
情報処理論	2			
基礎物理学		1		
基礎化学		1		
生化学概論		2		
基礎生物学		1		
生命科学概論		2		
語学系				
英語 I	2			
英語 II	2			
英語 III		2		
英語 IV		2		
英会話		2		
医学英語		2		
日本語表現法	2			
専門基礎分野				
医学系				

「基礎分野」より
必修9単位を含めて
14単位以上

第3類（杏林大学学則）

解剖学	2			
リハビリテーション解剖学	1			
解剖学実習	1			
リハビリテーション解剖学実習	1			
生理学Ⅰ	2			
生理学Ⅱ	1			
生理学実習	1			
リハビリテーション基礎医学	2			
リハビリテーション基礎医学演習	1			
病理学概論	1			
人間発達学	2			
臨床心理学	1			
精神医学	2			
内科学Ⅰ	2			
内科学Ⅱ		2		
小児科学	1			
神経内科学	2			
外科学		1		
整形外科学	2			
脳神経外科学	1			
感染症・免疫学		2		
薬理学		1		
栄養学		1		
リハビリテーション概論	1			
リハビリテーション医学	1			
保健学・衛生学系				
公衆衛生学Ⅰ	2			
公衆衛生学Ⅱ		2		
産業保健学		2		
環境衛生工学		2		
救命救助法		1		
労働衛生法規Ⅰ		2		
労働衛生法規Ⅱ		2		
専門分野				
基礎理学療法学系				
理学療法概論	1			
理学療法用語論		1		

「医学系」より
必修28単位を含めて
31単位以上

「保健・衛生学系」より
必修2単位を含めて
4単位以上

「専門分野」より

第3類（杏林大学学則）

運 動 学	2				必修69単位を含めて 76単位以上
運 動 学 演 習	1				
運 動 学 実 習	1				
病 態 運 動 学 演 習		1			
運 動 解 剖 学 演 習	1				
理学療法評価学系					
理 学 療 法 評 価 学 概 論	1				
理 学 療 法 評 価 学 演 習 I	1				
理 学 療 法 評 価 学 演 習 II	1				
理 学 療 法 評 価 学 実 習	1				
動 作 分 析 学 演 習	1				
高 次 脳 機 能 障 害 学	1				
理学療法治療学系					
理 学 療 法 治 療 学 総 論		1			
運 動 療 法 学	1				
運 動 療 法 学 実 習	1				
物 理 療 法 学	1				
物 理 療 法 学 実 習	1				
義 肢 装 具 学	1				
義 肢 装 具 学 実 習	1				
日 常 生 活 技 術 学	1				
日 常 生 活 技 術 学 実 習	1				
運動器障害系理学療法学	2				
運動器障害系理学療法学演習	1				
神経障害系理学療法学	2				
神経障害系理学療法学演習	1				
内部障害系理学療法学	2				
内部障害系理学療法学演習	1				
小 児 理 学 療 法 学	2				
小 児 理 学 療 法 学 演 習	1				
高 齢 者 理 学 療 法 学 演 習	1				
急 性 期 理 学 療 法 学		1			
スポーツ障害理学療法学		1			
徒手理学療法学演習		1			
臨床理学療法学実習	2				
臨床理学療法推論学演習		1			
理学療法管理学系					

第3類（杏林大学学則）

理学療法管理学	2			
地域理学療法系				
地域理学療法学	2			
生活環境学	1			
理学療法国際事情		1		
臨床実習系				
見学実習	1			
評価実習Ⅰ	2			
評価実習Ⅱ	4			
地域理学療法実習	1			
総合臨床実習	14			
総合領域				
障害者スポーツ演習		1		
理学療法統計学演習		1		
理学療法研究法		1		
理学療法解析手法演習		1		
応用理学療法学演習	1			
基礎理学療法学演習Ⅰ	2			
基礎理学療法学演習Ⅱ	2			
卒業研究	2			
計	108	67		125単位以上

作業療法学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
心理学	2			
生命倫理学		2		
芸術		2		
社会福祉学		2		
発達心理学		2		
職業適性論		2		
日本国憲法		2		
日本語学		2		
ことばと社会		2		
地域と大学	1			

「人間科学系」より
必修3単位を含めて
7単位以上

第3類（杏林大学学則）

自然科学系									
数				学		2			
統	計			学		2			
情	報	処	理	論	2				
基	礎	物	理	学		1			
物	理	学	概	論		2			
基	礎		化	学		1			「自然科学系」より 必修 2 単位を含めて 7 単位以上
生	化	学	概	論		2			
基	礎	生	物	学		1			
生	命	科	学	概	論	2			
分	子	生	物	学		2			
人	類	遺	伝	学		2			
語学系									
英		語		I	2				
英		語		II	2				
英		語		III		2			
英		語		IV		2			
英		会		話		2			
医	学		英	語		2			
日	本	語	表	現	法	2			
専門基礎分野									
医学系									
解		剖		学	2				
リハビリテーション				解剖学	1				
解	剖	学	実	習	1				
リハビリテーション				解剖学実習	1				
生	理		学	I	2				
生	理		学	II	1				
生	理	学	実	習	1				
運		動		学	2				
運	動	学	実	習	1				
病	態	運	動	学		1			
病		理		学	1				
人	間	発	達	学	1				
リハビリテーション				概論	1				
臨	床	心	理	学	概	論	1		
精	神		医	学	2				
</									

「自然科学系」より
必修2単位を含めて
7単位以上

「語学系」より
必修4単位を含めて
8単位以上

「医学系」より
必修29単位を含めて
30単位以上

第3類（杏林大学学則）

内 科 学Ⅰ	2				
内 科 学Ⅱ		2			
小 児 科 学		1			
神 経 内 科 学	2				
外 科 学	1				
整 形 外 科 学	2				
脳 神 経 外 科 学	1				
リハビリテーション医学	1				
感 染 症 ・ 免 疫 学		2			
薬 理 学	1				
栄 養 学	1				
保健学・衛生学系					
産 業 保 健 学		2			
公 衆 衛 生 学Ⅰ	2			「保健学・衛生学系」より 必修3単位を含めて 5単位以上	
公 衆 衛 生 学Ⅱ		2			
環 境 衛 生 工 学		2			
救 命 救 助 法	1				
労 働 衛 生 法 規Ⅰ		2			
労 働 衛 生 法 規Ⅱ		2			
専門分野					
基礎作業療法学系					
作 業 療 法 学 概 論	1				
基 礎 作 業 学 概 論	1				
基 礎 作 業 学 実 習	1				
作 業 分 析 学	1			「専門分野」より 必修6 7単位を含めて 6 8単位以上	
作 業 分 析 学 演 習	1				
作 業 療 法 諸 理 論		1			
作業療法評価学系					
作業療法評価学Ⅰ（総論）	1				
作業療法評価学Ⅱ（疾患別）	1				
作業療法評価学実習Ⅰ（中枢神経障害）	1				
作業療法評価学実習Ⅱ（発達、精神障害）	1				
作業療法評価学実習Ⅲ（老年期障害）	1				
認 知 機 能 評 価 法		1			
作業療法治療学系					
身体障害作業療法学Ⅰ	1				
身体障害作業療法学Ⅱ	1				

第3類（杏林大学学則）

身体障害作業療法学演習	1			
高次脳機能障害作業療法学	1			
精神障害作業療法学Ⅰ	1			
精神障害作業療法学Ⅱ	1			
精神障害作業療法学演習	1			
発達障害作業療法学Ⅰ	1			
発達障害作業療法学Ⅱ	1			
発達障害作業療法学演習	1			
老年期障害作業療法学	1			
認知障害作業療法学	1			
職業関連作業療法学	1			
高次機能代償学		1		
義肢装具学	1			
義肢装具学実習	1			
福祉用具適応学	1			
日常生活活動学Ⅰ（総論）	1			
日常生活活動学Ⅱ（疾患別）	1			
バリアフリー概論		1		
レクリエーション概論		1		
クリニカルリーズニング		1		
ハンドセラピー概論	1			
作業療法管理学系				
作業療法管理学	2			
地域作業療法学系				
地域生活作業療法学	1			
地域ケアシステム学	1			
住環境整備学	1			
地域生活作業療法学演習	1			
作業療法国際事情		1		
臨床実習系				
見学実習	1			
評価実習Ⅰ	1			
評価実習Ⅱ	4			
総合臨床実習	16			
地域・訪問実習	1			
総合領域				
作業療法学演習Ⅰ	1			

第 3 類（杏林大学学則）

作 業 療 法 学 演 習 II	1			
作 業 療 法 学 演 習 III	1			
作 業 療 法 学 演 習 IV	2			
卒 業 研 究 I	1			
卒 業 研 究 II	3			
計	1 0 8	6 6		1 2 5 単 位 以 上

第3類（杏林大学学則）

別表2－14

保健学部学科目構成

（令和3年度入学生から適用）

健康福祉学科

授業科目				単位数			備考
				必修	選択	自由	
人文・社会学系							
哲学			学		2		10単位以上
心理学			学		2		
日本国憲			学		2		
社会学			学	2	2		
生命倫理			学		2		
教育心理			学		2		
発達心理			学		2		
芸地			術学		2		
地域と大			学	1			
自然科学系							
基礎数学			学		1		6単位以上
情報処理			学		2		
基礎物理			習学		1		
基礎化学			学		1		
無機化学			学		2		
基礎生物			学		1		
言語系							
英語		語	I	2			6単位以上
英語		語	II	2			
英語		語	III		2		
医学英			語		2		
英語会			話		2		
基礎医学系							
医学概論			論	2			
医学基礎実習			習	1			
公衆衛生学I			I	2			
公衆衛生学II			II		2		
解剖生理学			学	2			
病理生理学			学		2		
生化学			学	2			
免疫学			学		2		
微生物学			学	2			
微生物学実験			験		1		

第3類（杏林大学学則）

薬	理	学		2		
小児疾患の病態学				2		
内科疾患の病態学Ⅰ	2					
内科疾患の病態学Ⅱ	2					
外科疾患の病態学	2					
精神医		学		1		
救命救助法				1		
保健学・福祉学系						
健康福祉学	4					
健康福祉学実習	1					
疫		学		2		
小児保健学	2					
精神保健学	2					
高齢保健学				2		
健康スポーツ科学				2		
応用保健学				2		
社会福祉学	2					
社会福祉政策論				2		
高齢者福祉論				2		
障害者福祉論				2		
児童福祉論	2					
社会保障論				4		
公的扶助論				2		
地域福祉論				4		
ソーシャルワーク総論Ⅰ	4					
ソーシャルワーク総論Ⅱ	2					
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1					
社会調査概論	1					
社会福祉学系						
ソーシャルワーク論Ⅰ				2		
ソーシャルワーク論Ⅱ				2		
ソーシャルワーク演習Ⅰ				1		
ソーシャルワーク演習Ⅱ				1		
ソーシャルワーク演習Ⅲ				2		
ソーシャルワーク演習Ⅳ				2		
ソーシャルワーク演習Ⅴ				2		
ソーシャルワーク演習Ⅵ				2		
ソーシャルワーク実習				8		
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ				4		
医療福祉論				2		
社会福祉経営論				1		
権利擁護と成年後見概論				1		

第3類（杏林大学学則）

更生保護概論		2	
介護福祉社論		2	
学校保健学系			
学校保健学 I		2	学校安全を含む
学校保健学 II		2	
学校看護学		1	
健康相談 I		2	
健康相談 II		1	
健康教育学	2		食品学を含む
保健栄養学		2	
養護学概論		2	
力ウンセリン		2	
保健科指導法 I		2	
保健科指導法 II		2	
保健科教育法 I		2	
保健科教育法 II		2	
看護学 I		2	
看護学 II		2	
看護学 III		2	
看護学実習		2	
救急看護		2	
環境・食品学系			
産業保健学		2	
環境衛生工学		2	
環境科学		2	
放射線概論		2	
分析化学実験		2	
食品栄養学		1	
食品衛生学		2	
食品製造学		2	
職業適性論		2	
労働衛生法規 I		2	
労働衛生法規 II		2	
総合			
特別講義 I		2	
特別講義 II		2	
特別演習 I		1	
特別演習 II		1	
ボランティア活動		2	
フィールドスタディ I	3		

第3類（杏林大学学則）

フィールドスタディⅡ		1		
計	52	163		124単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2－15

保健学部学科目構成

（令和4年度入学生から適用）

健康福祉学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10単位以上
心理学		2		
日本国憲		2		
社会学		2		
生命倫理	2			
教育心理		2		
発達心理		2		
芸		2		
保健・医療の現状と未来Ⅰ		2		
保健・医療の現状と未来Ⅱ		2		
社会と大学Ⅰ		2		
社会と大学Ⅱ		2		
社会と大学Ⅲ		2		
自然科学系				
基礎数学		1		6単位以上
情報処理演習		2		
基礎物理		1		
基礎化学		1		
無機化学		2		
基礎生物		1		
言語系				
英語Ⅰ	2			6単位以上
英語Ⅱ	2			
英語Ⅲ		2		
医学英語		2		
英会話		2		
基礎医学系				
医学概論	2			
医学基礎実習Ⅰ	1			
公衆衛生Ⅰ	2			
公衆衛生Ⅱ		2		
解剖生理学	2			
病理生理学	2			

第3類（杏林大学学則）

生 化 学	2		
免 疫 学		2	
微 生 物 学	2		
微 生 物 学 実 験		1	
薬 理 学		2	
小 児 疾 患 の 病 態 学		2	
内 科 疾 患 の 病 態 学 I	2		
内 科 疾 患 の 病 態 学 II	2		
外 科 疾 患 の 病 態 学	2		
精 神 医 学		1	
救 命 救 助 法		1	
保健学・福祉学系			
健 康 福 祉 学	4		
健 康 福 祉 学 実 習	1		
疫 学		2	
小 児 保 健 学	2		
精 神 保 健 学	2		
高 齢 保 健 学		2	
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2	
応 用 保 健 学		2	
社 会 福 祉 学	2		
社 会 福 祉 政 策 論		2	
高 齢 者 福 祉 論		2	
障 害 者 福 祉 論		2	
児 童 福 祉 論	2		
社 会 保 障 論		4	
公 的 扶 助 論		2	
地 域 福 祉 論		4	
ソーシャルワーク総論 I	4		
ソーシャルワーク総論 II	2		
ソーシャルワーク実習指導 I	1		
社 会 調 査 概 論	1		
社会福祉学系			
ソーシャルワーク論 I		2	
ソーシャルワーク論 II		2	
ソーシャルワーク演習 I		1	
ソーシャルワーク演習 II		1	
ソーシャルワーク演習 III		2	
ソーシャルワーク演習 IV		2	
ソーシャルワーク演習 V		2	
ソーシャルワーク演習 VI		2	
ソーシャルワーク実習		8	

第3類（杏林大学学則）

ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	4		
医療福祉論	2		
社会福祉経営論	1		
権利擁護と成年後見概論	1		
更生保護概論	2		
介護福祉論	2		
精神保健福祉学系			
社会福祉調査の基礎	2		
精神疾患とその治療	2		
精神医療	2		
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2		
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2		
精神保健福祉の原理Ⅰ	2		
精神保健福祉の原理Ⅱ	2		
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（精神保健）	2		
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ（精神保健）	2		
精神障害リハビリテーション	2		
精神保健福祉制度論	2		
ソーシャルワーク演習Ⅰ（精神保健）	1		
ソーシャルワーク演習Ⅱ（精神保健）	1		
ソーシャルワーク演習Ⅲ（精神保健）	2		
ソーシャルワーク演習Ⅳ（精神保健）	2		
ソーシャルワーク演習Ⅴ（精神保健）	2		
ソーシャルワーク演習Ⅵ（精神保健）	2		
ソーシャルワーク実習指導（精神保健）	4		
ソーシャルワーク実習（精神保健）	8		
精神保健福祉特論	2		
学校保健学系			
学校保健学Ⅰ	2		学校安全を含む
学校保健学Ⅱ	2		
学校看護学	1		
健康相談Ⅰ	2		
健康相談Ⅱ	1		
健康教育学	2		
保健栄養学	2		食品学を含む
養護学概論	2		
カウンセリング	2		
保健科指導法Ⅰ	2		

第3類（杏林大学学則）

保健科指導法	Ⅱ	2		
保健科教育法	Ⅰ	2		
保健科教育法	Ⅱ	2		
看護学	Ⅰ	2		
看護学	Ⅱ	2		
看護学	Ⅲ	2		
看護学実習	Ⅲ	2		
救急看護	Ⅲ	2		
環境・食品学系				
産業保健学		2		
環境衛生工学		2		
環境科学		2		
放射線概論		2		
分析化学		2		
分析化学実験		1		
食品栄養学		2		
食品衛生学		2		
食品製造学		2		
職業適性論		2		
労働衛生法規	Ⅰ	2		
労働衛生法規	Ⅱ	2		
総合				
特別講義	Ⅰ	2		
特別講義	Ⅱ	2		
特別演習	Ⅰ	1		
特別演習	Ⅱ	1		
ボランティア活動		2		
フィールドスタディ	Ⅰ	3		
フィールドスタディ	Ⅱ	1		
計		51	219	124単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表3－1（平成22年度入学生から適用）

総合政策学部学科目構成

総合政策学科

1 基礎教養科目

授 業 科 目 の 名 称					単 位 数			備 考
					必 修	選 択	自 由	
社 会 の し く み I					2			8 単位以上
社 会 の し く み II					2			
近 現 代 史 論						2		
読 解 力 演 習						2		
文 章 力 演 習						2		
計 算 力 演 習						2		
国 語 力 演 習						2		

2 専門科目

授 業 科 目 の 名 称					単 位 数			備 考
					必 修	選 択	自 由	
共通科目	国 際 関 係 論 I					2		32 単位以上
	国 際 関 係 論 II					2		
	経 済 原 論 I					2		
	経 済 原 論 II					2		
	憲 法 I					2		
	憲 法 II					2		
	民 法 総 論 I					2		
	民 法 総 論 II					2		
	日 本 政 治 論 I					2		
	日 本 政 治 論 II					2		
	社 会 福 祉 学 I					2		
	社 会 福 祉 学 II					2		
	環 境 保 全 論 I					2		
	環 境 保 全 論 II					2		
	健 康 科 学 I					2		
	健 康 科 学 II					2		
	財 政 金 融 論 I					2		
	財 政 金 融 論 II					2		

第3類（杏林大学学則）

	外交政策論Ⅰ	2		
	外交政策論Ⅱ	2		
	刑事法概論Ⅰ	2		
	刑事法概論Ⅱ	2		
	ヒューマンエコロジーⅠ	2		
	ヒューマンエコロジーⅡ	2		
国際政経 コース 基本科目	国際協力論Ⅰ	2		16単位以上
	国際協力論Ⅱ	2		
	国際政治学Ⅰ	2		
	国際政治学Ⅱ	2		
	経済政策論Ⅰ	2		
	経済政策論Ⅱ	2		
	国際貿易論Ⅰ	2		
	国際貿易論Ⅱ	2		
	国際金融論Ⅰ	2		
	国際金融論Ⅱ	2		
	日本経済論	2		
	アジア経済論	2		
	アメリカ経済論	2		
	ヨーロッパ経済論	2		
	世界経済論	2		
	国際投資論	2		
	経済開発論	2		
	国際経営論	2		
	環境経済学Ⅰ	2		
	環境経済学Ⅱ	2		
	環境政策論	2		
	国際法Ⅰ	2		
	国際法Ⅱ	2		
	国際政治史	2		
	比較政治学	2		
	アジア政治論	2		
	アメリカ政治論	2		
	ロシア政治論	2		
	ヨーロッパ政治論	2		
	資源エネルギー論	2		

第3類（杏林大学学則）

国際政経 コース 発展科目	経 営 学 総 論 I	2	34単位以上
	経 営 学 総 論 II	2	
	マーケティング総論 I	2	
	マーケティング総論 II	2	
	基 礎 簿 記 I	2	
	基 礎 簿 記 II	2	
	キャリア開発論 I	2	
	キャリア開発論 II	2	
	憲 法 概 論	2	
	民 法 概 論	2	
	政 治 学 概 論	2	
	経 済 原 論 演 習	2	
	憲 法 演 習	2	
	民 法 演 習	2	
	行 政 法 演 習	2	
	行 政 学 演 習	2	
	政 治 学 演 習	2	
	インターンシップ I	2	
	インターンシップ II	2	
	キャリア開発演習 I	2	
	キャリア開発演習 II	2	
	学 際 演 習 I	2	
	学 際 演 習 II	2	
	学 際 演 習 III	2	
	学 際 演 習 IV	2	
	演 習	8	
	卒 業 研 究	4	
法律行政 コース 基本科目	物 権 法 I	2	16単位以上
	物 権 法 II	2	
	家 族 法 I	2	
	家 族 法 II	2	
	刑 法 I	2	
	刑 法 II	2	
	行 政 学 I	2	
	行 政 学 II	2	
	公 共 選 択 論 I	2	

第3類（杏林大学学則）

	公 共 選 択 論 Ⅱ		2		
法律行政 コース 発展科目	行 政 法 Ⅰ		2	— 34単位以上	
	行 政 法 Ⅱ		2		
	債 権 法 Ⅰ		2		
	債 権 法 Ⅱ		2		
	労 働 法 Ⅰ		2		
	労 働 法 Ⅱ		2		
	会 社 法 Ⅰ		2		
	会 社 法 Ⅱ		2		
	民 事 訴 訟 法		2		
	刑 事 訴 訟 法		2		
	経 済 刑 法		2		
	医 事 法 総 論		2		
	医 事 法 各 論		2		
	企 業 法 総 論		2		
	企 業 取 引 法		2		
	税 法 Ⅰ		2		
	税 法 Ⅱ		2		
	基 礎 簿 記 Ⅰ		2		
	基 礎 簿 記 Ⅱ		2		
	国 際 法 Ⅰ		2		
	国 際 法 Ⅱ		2		
	環 境 法		2		
	情 報 法 制		2		
	年 金 ・ 労 働 保 険 法		2		
	比 較 政 治 学		2		
	日 本 法 制 史		2		
	日 本 政 治 史		2		
	政 策 過 程 論		2		
	立 法 過 程 論		2		
	地 方 政 府 論		2		
	キ ャ リ ア 開 発 論 Ⅰ		2		
	キ ャ リ ア 開 発 論 Ⅱ		2		
	憲 法 概 論		2		
	民 法 概 論		2		
	政 治 学 概 論		2		

第3類（杏林大学学則）

	経済原論演習	2		
	憲法演習	2		
	民法演習	2		
	行政法演習	2		
	行政学演習	2		
	政治学演習	2		
	インターンシップⅠ	2		
	インターンシップⅡ	2		
	キャリア開発演習Ⅰ	2		
	キャリア開発演習Ⅱ	2		
	学際演習Ⅰ	2		
	学際演習Ⅱ	2		
	学際演習Ⅲ	2		
	学際演習Ⅳ	2		
	演習	8		
	卒業研究	4		
環境福祉 コース 基本科目	社会保障論Ⅰ	2		16単位以上
	社会保障論Ⅱ	2		
	環境科学概論Ⅰ	2		
	環境科学概論Ⅱ	2		
	保健医療システム論Ⅰ	2		
	保健医療システム論Ⅱ	2		
	障害者・老人福祉論Ⅰ	2		
	障害者・老人福祉論Ⅱ	2		
	環境経済学Ⅰ	2		
	環境経済学Ⅱ	2		
	環境保健学	2		
	カウンセリング論	2		
	社会福祉政策論	2		
	児童福祉論	2		
	社会福祉援助技術総論Ⅰ	2		
	社会福祉援助技術総論Ⅱ	2		
	経済政策論Ⅰ	2		
	経済政策論Ⅱ	2		
	環境政策論	2		
	資源エネルギー論	2		

第3類（杏林大学学則）

環境福祉 コース 発展科目	産 業 社 会 学 I	2			
	産 業 社 会 学 II	2			
	経 営 戦 略 論 I	2			
	経 営 戦 略 論 II	2			
	国 際 協 力 論 I	2			
	国 際 協 力 論 II	2			
	医 事 法 総 論	2			
	医 事 法 各 論	2			
	環 境 法	2			
	年 金 ・ 労 働 保 険 法	2			
	労 働 法 I	2			
	労 働 法 II	2			
	経 営 学 総 論 I	2			
	経 営 学 総 論 II	2			
	マ ー ケ テ ィ ン グ 総 論 I	2			
	マ ー ケ テ ィ ン グ 総 論 II	2			
	基 礎 簿 記 I	2			
	基 礎 簿 記 II	2			
	キ ャ リ ア 開 発 論 I	2			
	キ ャ リ ア 開 発 論 II	2			
	憲 法 概 論	2			
	民 法 概 論	2			
	政 治 学 概 論	2			
	経 済 原 論 演 習	2			
	憲 法 演 習	2			
	民 法 演 習	2			
	行 政 法 演 習	2			
	行 政 学 演 習	2			
	政 治 学 演 習	2			
	イ ン タ ー ン シ ッ プ I	2			
	イ ン タ ー ン シ ッ プ II	2			
	キ ャ リ ア 開 発 演 習 I	2			
	キ ャ リ ア 開 発 演 習 II	2			
	学 際 演 習 I	2			
	学 際 演 習 II	2			
	学 際 演 習 III	2			
				— 34単位以上	

第3類（杏林大学学則）

	学 際 演 習 IV		2		
	演 習		8		
	卒 業 研 究		4		

3 専門関連科目

授 業 科 目 の 名 称			単 位 数			備 考
			必 修	選 択	自 由	
1 類	人文科学 分 野	宗 教 学 A		2		— 16 単位以上
		宗 教 学 B		2		
		哲 学 A		2		
		哲 学 B		2		
		倫 理 学 A		2		
		倫 理 学 B		2		
		歴 史 学 A		2		
		歴 史 学 B		2		
		文 学 A		2		
		文 学 B		2		
		音 楽 A		2		
		音 楽 B		2		
		人 文 科 学 概 論		2		
	社会科学 分 野	社 会 学 A		2		
		社 会 学 B		2		
		法 学 A		2		
		法学B（日本国憲法）		2		
		政 治 学 A		2		
		政 治 学 B		2		
		地 理 学 A		2		
		地 理 学 B		2		
		経 済 学 A		2		
		経 済 学 B		2		
	自然科学	数 学 A		2		
		数 学 B		2		
		統 計 学 A		2		
		統 計 学 B		2		
		物 理 学 A		2		
		物 理 学 B		2		

第3類（杏林大学学則）

	分野	化学 A	2		
		化学 B	2		
		生物学 A	2		
		生物学 B	2		
		心理学 A	2		
		心理学 B	2		
		自然科学概論	2		
2 類	第 1 外国語	英語 I	2		
		英語 II	2		
		日本語 A	2		留学生のみ
		日本語 B	2		
	第 2 外国語	発展英語 A	2		最大8単位まで 発展科目に繰り 入れる
		発展英語 B	2		
		ドイツ語 A	2		
		ドイツ語 B	2		
		フランス語 A	2		
		フランス語 B	2		
		スペイン語 A	2		
		スペイン語 B	2		
		中国語 A	2		
		中国語 B	2		
		韓国語 A	2		
		韓国語 B	2		
3 類		プレゼミナール A	2		
		プレゼミナール B	2		
		基礎演習 I	2		
		基礎演習 II	2		
		特別演習 I	2		
		特別演習 II	2		
		特別演習 III	2		
		特別演習 IV	2		
		特別演習 V	2		
		特別演習 VI	2		
		プロジェクト演習 I	2		
		プロジェクト演習 II	2		
		プロジェクト演習 III	2		

第3類（杏林大学学則）

		プロジェクト演習Ⅳ		2		
4	類	体 育 実 技 A		1		
		体 育 実 技 B		1		
		体 育 理 論		2		
自 由 科 目						

4 教職課程教科に関する科目

授業科目の名称				単位数			備考
				必修	選択	自由	
日	本	史	I			2	
日	本	史	II			2	
外	国	史	I			2	
外	国	史	II			2	
地	誌	学	I			2	
地	誌	学	II			2	

企業経営学科

1 基礎教養科目

授 業 科 目 の 名 称							単 位 数			備 考
							必 修	選 択	自 由	
社 会 の し く み	I	2					8 単位以上			
社 会 の し く み	II	2								
近 現 代 史 論			2							
読 解 力 演 習			2							
文 章 力 演 習			2							
計 算 力 演 習			2							
国 語 力 演 習			2							

— 8単位以上

2 専門科目

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必 修	選 択	自 由	
	経 営 学 総 論 I		2		
	経 営 学 総 論 II		2		
	マーケティング総論 I		2		

第3類（杏林大学学則）

共通科目	マーケティング総論Ⅱ		2		32単位以上
	経営情報論Ⅰ		2		
	経営情報論Ⅱ		2		
	キャリア開発論Ⅰ		2		
	キャリア開発論Ⅱ		2		
	基礎簿記Ⅰ		2		
	基礎簿記Ⅱ		2		
	商業簿記Ⅰ		2		
	商業簿記Ⅱ		2		
	財務会計論Ⅰ		2		
	財務会計論Ⅱ		2		
	会社法Ⅰ		2		
	会社法Ⅱ		2		
	経営管理総論Ⅰ		2		
	経営管理総論Ⅱ		2		
	人材マネジメント論Ⅰ		2		
	人材マネジメント論Ⅱ		2		
	工業簿記Ⅰ		2		
	工業簿記Ⅱ		2		
	基礎簿記各論Ⅰ		2		
	基礎簿記各論Ⅱ		2		
経営戦略 コース 基本科目	経営史Ⅰ		2		16単位以上
	経営史Ⅱ		2		
	経営戦略論Ⅰ		2		
	経営戦略論Ⅱ		2		
	財務管理論Ⅰ		2		
	財務管理論Ⅱ		2		
	流通システム論Ⅰ		2		
	流通システム論Ⅱ		2		
	経営組織論Ⅰ		2		
	経営組織論Ⅱ		2		
	中小企業経営論		2		
	国際経営論		2		
	産業社会学Ⅰ		2		
	産業社会学Ⅱ		2		

第3類（杏林大学学則）

経営戦略 コース 発展科目	財務会計各論Ⅰ	2	— 34単位以上
	財務会計各論Ⅱ	2	
	商業簿記各論Ⅰ	2	
	商業簿記各論Ⅱ	2	
	工業簿記各論Ⅰ	2	
	工業簿記各論Ⅱ	2	
	税法Ⅰ	2	
	税法Ⅱ	2	
	労働法Ⅰ	2	
	労働法Ⅱ	2	
	企業法総論	2	
	企業取引法	2	
	行政法Ⅰ	2	
	行政法Ⅱ	2	
	経済刑法	2	
	年金・労働保険法	2	
	国際法Ⅰ	2	
	国際法Ⅱ	2	
	行政学Ⅰ	2	
	行政学Ⅱ	2	
	国際政治学Ⅰ	2	
	国際政治学Ⅱ	2	
	経済原論Ⅰ	2	
	経済原論Ⅱ	2	
	財政金融論Ⅰ	2	
	財政金融論Ⅱ	2	
	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップⅠ	2	

第3類（杏林大学学則）

	インターンシップⅡ		2		
	キャリア開発演習Ⅰ		2		
	キャリア開発演習Ⅱ		2		
	学際演習Ⅰ		2		
	学際演習Ⅱ		2		
	学際演習Ⅲ		2		
	学際演習Ⅳ		2		
	演習		8		
	卒業研究		4		
経営会計 コース 基本科目	財務会計各論Ⅰ		2		16単位以上
	財務会計各論Ⅱ		2		
	商業簿記各論Ⅰ		2		
	商業簿記各論Ⅱ		2		
	工業簿記各論Ⅰ		2		
	工業簿記各論Ⅱ		2		
	税法Ⅰ		2		
	税法Ⅱ		2		
	労働法Ⅰ		2		
	労働法Ⅱ		2		
	産業社会学Ⅰ		2		
	産業社会学Ⅱ		2		
	流通システム論Ⅰ		2		
	流通システム論Ⅱ		2		
	中小企業経営論		2		
	国際経営論		2		
	経営組織論Ⅰ		2		
	経営組織論Ⅱ		2		
	経営戦略論Ⅰ		2		
	経営戦略論Ⅱ		2		
	財務管理論Ⅰ		2		
	財務管理論Ⅱ		2		
	経営史Ⅰ		2		
	経営史Ⅱ		2		
	企業法総論		2		
	企業取引法		2		
	家族法Ⅰ		2		

第3類（杏林大学学則）

経営会計 コース 発展科目	家族法	Ⅱ	2	— 34単位以上
	行政法	Ⅰ	2	
	行政法	Ⅱ	2	
	税法各論	Ⅰ	2	
	税法各論	Ⅱ	2	
	経済刑法		2	
	年金・労働保険法		2	
	国際法	Ⅰ	2	
	国際法	Ⅱ	2	
	行政学	Ⅰ	2	
	行政学	Ⅱ	2	
	国際政治学	Ⅰ	2	
	国際政治学	Ⅱ	2	
	経済原論	Ⅰ	2	
	経済原論	Ⅱ	2	
	財政金融論	Ⅰ	2	
	財政金融論	Ⅱ	2	
	憲法概論		2	
	民法概論		2	
	政治学概論		2	
	経済原論演習		2	
	憲法演習		2	
	民法演習		2	
	行政法演習		2	
	行政学演習		2	
	政治学演習		2	
	インターンシップ	Ⅰ	2	
	インターンシップ	Ⅱ	2	
	キャリア開発演習	Ⅰ	2	
	キャリア開発演習	Ⅱ	2	
	学際演習	Ⅰ	2	
	学際演習	Ⅱ	2	
	学際演習	Ⅲ	2	
	学際演習	Ⅳ	2	
	演習		8	
	卒業業研究		4	

第3類（杏林大学学則）

3 専門関連科目

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数			備 考
				必 修	選 択	自 由	
1 類	人文科学 分 野	宗 教 学 A		2			— 16 単位以上
		宗 教 学 B		2			
		哲 学 A		2			
		哲 学 B		2			
		倫 理 学 A		2			
		倫 理 学 B		2			
		歴 史 学 A		2			
		歴 史 学 B		2			
		文 学 A		2			
		文 学 B		2			
		音 楽 A		2			
		音 楽 B		2			
		人 文 科 学 概 論		2			
	社会科学 分 野	社 会 学 A		2			
		社 会 学 B		2			
		法 学 A		2			
		法学B（日本国憲法）		2			
		政 治 学 A		2			
		政 治 学 B		2			
		地 理 学 A		2			
		地 理 学 B		2			
		経 済 学 A		2			
		経 済 学 B		2			
	自然科学 分 野	数 学 A		2			
		数 学 B		2			
		統 計 学 A		2			
		統 計 学 B		2			
		物 理 学 A		2			
		物 理 学 B		2			
		化 学 A		2			
		化 学 B		2			
		生 物 学 A		2			
		生 物 学 B		2			

第3類（杏林大学学則）

		心 理 学 A		2		
		心 理 学 B		2		
		自 然 科 学 概 論		2		
2 類	第 1 外 国 語	英 語 I	2			— 留学生のみ
		英 語 II	2			
		日 本 語 A	2			
		日 本 語 B	2			
	第 2 外 国 語	発 展 英 語 A		2		最大8単位まで — 発展科目に繰り 入れる
		発 展 英 語 B		2		
		ド イ ツ 語 A		2		
		ド イ ツ 語 B		2		
		フ ラ ン ス 語 A		2		
		フ ラ ン ス 語 B		2		
		ス ペ イ ン 語 A		2		
		ス ペ イ ン 語 B		2		
		中 国 語 A		2		
		中 国 語 B		2		
		韓 国 語 A		2		
		韓 国 語 B		2		
3 類		プレゼミナール A	2			
		プレゼミナール B	2			
		基 礎 演 習 I		2		
		基 礎 演 習 II		2		
		特 別 演 習 I		2		
		特 別 演 習 II		2		
		特 別 演 習 III		2		
		特 別 演 習 IV		2		
		特 別 演 習 V		2		
		特 別 演 習 VI		2		
		プロジェクト演習 I		2		
		プロジェクト演習 II		2		
		プロジェクト演習 III		2		
		プロジェクト演習 IV		2		
4 類		体 育 実 技 A		1		
		体 育 実 技 B		1		
		体 育 理 論		2		

第3類（杏林大学学則）

自由科目					

4 教職課程教科に関する科目

授業科目の名称				単位数			備考
				必修	選択	自由	
日	本	史	I			2	
日	本	史	II			2	
外	国	史	I			2	
外	国	史	II			2	
地	誌	学	I			2	
地	誌	学	II			2	
職	業	指	導			2	

第3類（杏林大学学則）

別表3－2（平成26年度入学生から適用）

総合政策学部学科目構成

総合政策学科

1 基礎教養科目

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必 修	選 択	自 由	
社 会 の し く み I		2			8 単位以上
社 会 の し く み II		2			
地 域 と 大 学		2			
近 現 代 史 論			2		
読 解 力 演 習			2		
文 章 力 演 習			2		
計 算 力 演 習			2		
国 語 力 演 習			2		

2 専門科目

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必 修	選 択	自 由	
共通科目	国 際 関 係 論 I		2		32 単位以上
	国 際 関 係 論 II		2		
	経 済 原 論 I		2		
	経 済 原 論 II		2		
	憲 法 I		2		
	憲 法 II		2		
	民 法 総 論 I		2		
	民 法 総 論 II		2		
	日 本 政 治 論 I		2		
	日 本 政 治 論 II		2		
	社 会 福 祉 学 I		2		
	社 会 福 祉 学 II		2		
	環 境 保 全 論 I		2		
	環 境 保 全 論 II		2		
	健 康 科 学 I		2		
	健 康 科 学 II		2		
	財 政 金 融 論 I		2		

第3類（杏林大学学則）

	財 政 金 融 論 II		2		
	外 交 政 策 論 I		2		
	外 交 政 策 論 II		2		
	刑 事 法 概 論 I		2		
	刑 事 法 概 論 II		2		
	ヒューマンエコロジー I		2		
	ヒューマンエコロジー II		2		
国際政経 コース 基本科目	国 際 協 力 論 I		2		— 16 単位以上
	国 際 協 力 論 II		2		
	国 際 政 治 学 I		2		
	国 際 政 治 学 II		2		
	経 済 政 策 論 I		2		
	経 済 政 策 論 II		2		
	国 際 貿 易 論 I		2		
	国 際 貿 易 論 II		2		
	国 際 金 融 論 I		2		
	国 際 金 融 論 II		2		
	日 本 経 済 論		2		
	ア ジ ア 経 済 論		2		
	ア メ リ カ 経 済 論		2		
	ヨ ー ロ ッ パ 経 済 論		2		
	世 界 経 済 論		2		
	国 際 投 資 論		2		
	経 済 開 発 論		2		
	国 際 経 営 論		2		
	環 境 経 済 学 I		2		
	環 境 経 済 学 II		2		
	環 境 政 策 論		2		
	国 際 法 I		2		
	国 際 法 II		2		
	国 際 政 治 史		2		
	比 較 政 治 学		2		
	ア ジ ア 政 治 論		2		
	ア メ リ カ 政 治 論		2		
	ロ シ ア 政 治 論		2		
	ヨ ー ロ ッ パ 政 治 論		2		

第3類（杏林大学学則）

国際政経 コース 発展科目	資源エネルギー論	2	34単位以上
	経営学総論Ⅰ	2	
	経営学総論Ⅱ	2	
	マーケティング総論Ⅰ	2	
	マーケティング総論Ⅱ	2	
	基礎簿記Ⅰ	2	
	基礎簿記Ⅱ	2	
	キャリア開発論Ⅰ	2	
	キャリア開発論Ⅱ	2	
	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップⅠ	2	
	インターンシップⅡ	2	
	キャリア開発演習Ⅰ	2	
	キャリア開発演習Ⅱ	2	
	学際演習Ⅰ	2	
	学際演習Ⅱ	2	
	学際演習Ⅲ	2	
	学際演習Ⅳ	2	
	演習	8	
	卒業研究	4	
法律行政 コース 基本科目	物権法Ⅰ	2	16単位以上
	物権法Ⅱ	2	
	家族法Ⅰ	2	
	家族法Ⅱ	2	
	刑法Ⅰ	2	
	刑法Ⅱ	2	
	行政学Ⅰ	2	
	行政学Ⅱ	2	

第3類（杏林大学学則）

	公 共 選 択 論 I		2		
	公 共 選 択 論 II		2		
法律行政 コース 発展科目	行 政 法 I		2		
	行 政 法 II		2		
	債 権 法 I		2		
	債 権 法 II		2		
	労 働 法 I		2		
	労 働 法 II		2		
	会 社 法 I		2		
	会 社 法 II		2		
	民 事 訴 訟 法		2		
	刑 事 訴 訟 法		2		
	経 済 刑 法		2		
	医 事 法 総 論		2		
	医 事 法 各 論		2		
	企 業 法 総 論		2		
	企 業 取 引 法		2		
	税 法 I		2		
	税 法 II		2		
	基 礎 簿 記 I		2		
	基 礎 簿 記 II		2		
	国 際 法 I		2		
	国 際 法 II		2		
	環 境 法		2		
	情 報 法 制		2		
	年 金 ・ 労 働 保 険 法		2		
	比 較 政 治 学		2		— 34単位以上
	日 本 法 制 史		2		
	日 本 政 治 史		2		
	政 策 過 程 論		2		
	立 法 過 程 論		2		
	地 方 政 府 論		2		
	キ ャ リ ア 開 発 論 I		2		
	キ ャ リ ア 開 発 論 II		2		
	憲 法 概 論		2		
	民 法 概 論		2		

第3類（杏林大学学則）

	政治学概論	2		
	経済原論演習	2		
	憲法演習	2		
	民法演習	2		
	行政法演習	2		
	行政学演習	2		
	政治学演習	2		
	インターンシップⅠ	2		
	インターンシップⅡ	2		
	キャリア開発演習Ⅰ	2		
	キャリア開発演習Ⅱ	2		
	学際演習Ⅰ	2		
	学際演習Ⅱ	2		
	学際演習Ⅲ	2		
	学際演習Ⅳ	2		
	演習	8		
	卒業研究	4		
環境福祉 コース 基本科目	社会保障論Ⅰ	2		
	社会保障論Ⅱ	2		
	環境科学概論Ⅰ	2		
	環境科学概論Ⅱ	2		
	保健医療システム論Ⅰ	2		
	保健医療システム論Ⅱ	2		
	障害者・老人福祉論Ⅰ	2		
	障害者・老人福祉論Ⅱ	2		
	環境経済学Ⅰ	2		
	環境経済学Ⅱ	2		
	環境保健学	2		
	カウンセリング論	2		
	社会福祉政策論	2		
	児童福祉論	2		
	社会福祉援助技術総論Ⅰ	2		
	社会福祉援助技術総論Ⅱ	2		
	経済政策論Ⅰ	2		
	経済政策論Ⅱ	2		
	環境政策論	2		

— 16単位以上

第3類（杏林大学学則）

環境福祉 コース 発展科目	資源エネルギー論	2			
	産業社会学Ⅰ	2			
	産業社会学Ⅱ	2			
	経営戦略論Ⅰ	2			
	経営戦略論Ⅱ	2			
	国際協力論Ⅰ	2			
	国際協力論Ⅱ	2			
	医事法総論	2			
	医事法各論	2			
	環境法	2			
	年金・労働保険法	2			
	労働法Ⅰ	2			
	労働法Ⅱ	2			
	経営学総論Ⅰ	2			
	経営学総論Ⅱ	2			
	マーケティング総論Ⅰ	2			
	マーケティング総論Ⅱ	2			
	基礎簿記Ⅰ	2			
	基礎簿記Ⅱ	2			
	キャリア開発論Ⅰ	2			
	キャリア開発論Ⅱ	2			
	憲法概論	2			
	民法概論	2			
	政治学概論	2			
	経済原論演習	2			
	憲法演習	2			
	民法演習	2			
	行政法演習	2			
	行政学演習	2			
	政治学演習	2			
	インターンシップⅠ	2			
	インターンシップⅡ	2			
	キャリア開発演習Ⅰ	2			
	キャリア開発演習Ⅱ	2			
	学際演習Ⅰ	2			
	学際演習Ⅱ	2			

— 34単位以上

第3類（杏林大学学則）

	学 際 演 習 III		2		
	学 際 演 習 IV		2		
	演 習		8		
	卒 業 研 究		4		

3 専門関連科目

授 業 科 目 の 名 称			単 位 数			備 考
			必 修	選 択	自 由	
1 類	人文科学 分 野	宗 教 学 A		2		16 単位以上
		宗 教 学 B		2		
		哲 学 A		2		
		哲 学 B		2		
		倫 理 学 A		2		
		倫 理 学 B		2		
		歴 史 学 A		2		
		歴 史 学 B		2		
		文 学 A		2		
		文 学 B		2		
		音 楽 A		2		
		音 楽 B		2		
		人 文 科 学 概 論		2		
	社会科学 分 野	社 会 学 A		2		
		社 会 学 B		2		
		法 学 A		2		
		法学B（日本国憲法）		2		
		政 治 学 A		2		
		政 治 学 B		2		
		地 理 学 A		2		
		地 理 学 B		2		
		経 済 学 A		2		
		経 済 学 B		2		
		数 学 A		2		
		数 学 B		2		
		統 計 学 A		2		

第3類（杏林大学学則）

	自然科学分野	統計学 B		2		
		物理学 A		2		
		物理学 B		2		
		化学 A		2		
		化学 B		2		
		生物学 A		2		
		生物学 B		2		
		心理学 A		2		
		心理学 B		2		
		自然科学概論		2		
2類	第1外国語	英語 I	2			
		英語 II	2			
		日本語 A	2			
		日本語 B	2			留学生のみ
	第2外国語	発展英語 A		2		
		発展英語 B		2		
		ドイツ語 A		2		
		ドイツ語 B		2		
		フランス語 A		2		
		フランス語 B		2		
		スペイン語 A		2		
		スペイン語 B		2		
		中国語 A		2		
		中国語 B		2		
		韓国語 A		2		
		韓国語 B		2		
		プレゼミナール A	2			
		プレゼミナール B	2			
		基礎演習 I		2		
		基礎演習 II		2		
3類		特別演習 I		2		
		特別演習 II		2		
		特別演習 III		2		
		特別演習 IV		2		
		特別演習 V		2		
		特別演習 VI		2		

第3類（杏林大学学則）

	プロジェクト演習Ⅰ		2		
	プロジェクト演習Ⅱ		2		
	プロジェクト演習Ⅲ		2		
	プロジェクト演習Ⅳ		2		
4	体 育 実 技 A		1		
類	体 育 実 技 B		1		
	体 育 理 論		2		
自 由 科 目					

4 教職課程教科に関する科目

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数			備 考
				必 修	選 択	自 由	
日	本	史	I			2	
日	本	史	Ⅱ			2	
外	国	史	I			2	
外	国	史	Ⅱ			2	
地	誌	学	I			2	
地	誌	学	Ⅱ			2	
職	業	指	導			2	

企業経営学科

1 基礎教養科目

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数			備 考
				必 修	選 択	自 由	
社 会 の し く み	I	2					
社 会 の し く み	Ⅱ	2					
地 域 と 大 学		2					
近 現 代 史 論			2				
読 解 力 演 習			2				
文 章 力 演 習			2				
計 算 力 演 習			2				
国 語 力 演 習			2				

— 8 単位以上

第3類（杏林大学学則）

2 専門科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
共通科目	経営学総論Ⅰ		2		— 32単位以上
	経営学総論Ⅱ		2		
	マーケティング総論Ⅰ		2		
	マーケティング総論Ⅱ		2		
	経営情報論Ⅰ		2		
	経営情報論Ⅱ		2		
	キャリア開発論Ⅰ		2		
	キャリア開発論Ⅱ		2		
	基礎簿記Ⅰ		2		
	基礎簿記Ⅱ		2		
	商業簿記Ⅰ		2		
	商業簿記Ⅱ		2		
	財務会計論Ⅰ		2		
	財務会計論Ⅱ		2		
	会社法Ⅰ		2		
	会社法Ⅱ		2		
	経営管理総論Ⅰ		2		
	経営管理総論Ⅱ		2		
	人材マネジメント論Ⅰ		2		
	人材マネジメント論Ⅱ		2		
経営戦略 コース 基本科目	工業簿記Ⅰ		2		— 16単位以上
	工業簿記Ⅱ		2		
	基礎簿記各論Ⅰ		2		
	基礎簿記各論Ⅱ		2		
	経営史Ⅰ		2		
	経営史Ⅱ		2		
	経営戦略論Ⅰ		2		
	経営戦略論Ⅱ		2		
	財務管理論Ⅰ		2		
	財務管理論Ⅱ		2		
	流通システム論Ⅰ		2		
	流通システム論Ⅱ		2		
	経営組織論Ⅰ		2		

第3類（杏林大学学則）

	経 営 組 織 論 II		2		
経営戦略 コース 発展科目	中 小 企 業 経 営 論		2		
	国 際 経 営 論		2		
	産 業 社 会 学 I		2		
	産 業 社 会 学 II		2		
	財 務 会 計 各 論 I		2		
	財 務 会 計 各 論 II		2		
	商 業 簿 記 各 論 I		2		
	商 業 簿 記 各 論 II		2		
	工 業 簿 記 各 論 I		2		
	工 業 簿 記 各 論 II		2		
	税 法 I		2		
	税 法 II		2		
	労 働 法 I		2		
	労 働 法 II		2		
	企 業 法 総 論		2		
	企 業 取 引 法		2		
	行 政 法 I		2		
	行 政 法 II		2		
	経 済 刑 法		2		
	年 金 ・ 労 働 保 険 法		2		
	国 際 法 I		2		
	国 際 法 II		2		
	行 政 学 I		2		
	行 政 学 II		2		
	国 際 政 治 学 I		2		
	国 際 政 治 学 II		2		
	経 済 原 論 I		2		
	経 済 原 論 II		2		
	財 政 金 融 論 I		2		
	財 政 金 融 論 II		2		
	憲 法 概 論		2		
	民 法 概 論		2		
	政 治 学 概 論		2		
	経 済 原 論 演 習		2		
					34単位以上

第3類（杏林大学学則）

	憲法演習	2		
	民法演習	2		
	行政法演習	2		
	行政学演習	2		
	政治学演習	2		
	インターンシップⅠ	2		
	インターンシップⅡ	2		
	キャリア開発演習Ⅰ	2		
	キャリア開発演習Ⅱ	2		
	学際演習Ⅰ	2		
	学際演習Ⅱ	2		
	学際演習Ⅲ	2		
	学際演習Ⅳ	2		
	演習	8		
	卒業研究	4		
経営会計 コース 基本科目	財務会計各論Ⅰ	2	16単位以上	
	財務会計各論Ⅱ	2		
	商業簿記各論Ⅰ	2		
	商業簿記各論Ⅱ	2		
	工業簿記各論Ⅰ	2		
	工業簿記各論Ⅱ	2		
	税法Ⅰ	2		
	税法Ⅱ	2		
	労働法Ⅰ	2		
	労働法Ⅱ	2		
	産業社会学Ⅰ	2		
	産業社会学Ⅱ	2		
	流通システム論Ⅰ	2		
	流通システム論Ⅱ	2		
	中小企業経営論	2		
	国際経営論	2		
	経営組織論Ⅰ	2		
	経営組織論Ⅱ	2		
	経営戦略論Ⅰ	2		
	経営戦略論Ⅱ	2		
	財務管理論Ⅰ	2		

第3類（杏林大学学則）

経営会計 コース 発展科目	財 務 管 理 論 II	2		
	経 営 史 I	2		
	経 営 史 II	2		
	企 業 法 総 論	2		
	企 業 取 引 法	2		
	家 族 法 I	2		
	家 族 法 II	2		
	行 政 法 I	2		
	行 政 法 II	2		
	税 法 各 論 I	2		
	税 法 各 論 II	2		
	経 済 刑 法	2		
	年 金 ・ 労 働 保 険 法	2		
	国 際 法 I	2		
	国 際 法 II	2		
	行 政 学 I	2		
	行 政 学 II	2		
	国 際 政 治 学 I	2		
	国 際 政 治 学 II	2		
	経 済 原 論 I	2		
	経 済 原 論 II	2		
	財 政 金 融 論 I	2		
	財 政 金 融 論 II	2		
	憲 法 概 論	2		
	民 法 概 論	2		
	政 治 学 概 論	2		
	経 済 原 論 演 習	2		
	憲 法 演 習	2		
	民 法 演 習	2		
	行 政 法 演 習	2		
	行 政 学 演 習	2		
	政 治 学 演 習	2		
	インターンシップ I	2		
	インターンシップ II	2		
	キャリア開発演習 I	2		
	キャリア開発演習 II	2		
— 34単位以上				

第3類（杏林大学学則）

	学 際 演 習 I		2		
	学 際 演 習 II		2		
	学 際 演 習 III		2		
	学 際 演 習 IV		2		
	演 習		8		
	卒 業 研 究		4		

3 専門関連科目

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数			備 考
				必 修	選 択	自 由	
1 類	人文科学分野	宗 教 学 A		2			16 単位以上
		宗 教 学 B		2			
		哲 学 A		2			
		哲 学 B		2			
		倫 理 学 A		2			
		倫 理 学 B		2			
		歴 史 学 A		2			
		歴 史 学 B		2			
		文 学 A		2			
		文 学 B		2			
		音 楽 A		2			
		音 楽 B		2			
		人 文 科 学 概 論		2			
	社会科学分野	社 会 学 A		2			
		社 会 学 B		2			
		法 学 A		2			
		法学B（日本国憲法）		2			
		政 治 学 A		2			
		政 治 学 B		2			
		地 理 学 A		2			
		地 理 学 B		2			
		経 済 学 A		2			
		経 済 学 B		2			
		数 学 A		2			
		数 学 B		2			

第3類（杏林大学学則）

	自然科学分野	統計学 A		2		
		統計学 B		2		
		物理学 A		2		
		物理学 B		2		
		化学 A		2		
		化学 B		2		
		生物学 A		2		
		生物学 B		2		
		心理学 A		2		
		心理学 B		2		
		自然科学概論		2		
2 類	第 1 外国語	英語 I	2			
		英語 II	2			
		日本語 A	2			
		日本語 B	2			留学生のみ
	第 2 外国語	発展英語 A		2		
		発展英語 B		2		
		ドイツ語 A		2		
		ドイツ語 B		2		
		フランス語 A		2		
		フランス語 B		2		
		スペイン語 A		2		
		スペイン語 B		2		
		中国語 A		2		
		中国語 B		2		
		韓国語 A		2		
		韓国語 B		2		
	3 類	プレゼミナール A	2			
		プレゼミナール B	2			
		基礎演習 I		2		
		基礎演習 II		2		
		特別演習 I		2		
		特別演習 II		2		
		特別演習 III		2		
		特別演習 IV		2		

第3類（杏林大学学則）

	特 別 演 習 V		2		
	特 別 演 習 VI		2		
	プロジェクト演習 I		2		
	プロジェクト演習 II		2		
	プロジェクト演習 III		2		
	プロジェクト演習 IV		2		
4 類	体 育 実 技 A		1		
	体 育 実 技 B		1		
	体 育 理 論		2		
自 由 科 目					

4 教職課程教科に関する科目

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数			備 考
				必 修	選 択	自 由	
日	本	史	I			2	
日	本	史	II			2	
外	国	史	I			2	
外	国	史	II			2	
地	誌	学	I			2	
地	誌	学	II			2	
職	業	指	導			2	

第3類（杏林大学学則）

別表3-3（平成28年度入学生から適用）

総合政策学部学科目構成

総合政策学科

ベーシック科目

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
ベーシック科目	ベーシック政治		2		10単位以上
	ベーシック経済		2		
	ベーシック法律		2		
	ベーシック国際関係		2		
	ベーシック福祉政策		2		
	ベーシック経営		2		
	ベーシック会計		2		

地域と大学

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
地 域 と 大 学		2			

コース別専門科目（政治）

授 業 科 目 の 名 称			単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
専 門 科 目	コ ア 課 目	政 治 心 理 学		2		16単位以上
		政治コミュニケーション論		2		
		現代日本政治A		2		
		現代日本政治B		2		
		現代行政学A		2		
		現代行政学B		2		
		立法過程論		2		
		政策過程論		2		
		ローカル・ガバメント論A		2		
		ローカル・ガバメント論B		2		
		政治史		2		
		法制史		2		
	応 用 科 目	比較政治学		2		
		外交政策論A		2		
		外交政策論B		2		
		国際政治経済学		2		

第3類（杏林大学学則）

		国 際 政 治 学 A		2		
		国 際 政 治 学 B		2		
		ア メ リ カ 政 治 論		2		
		ア ジ ア 政 治 論		2		
		ヨ ー ロ ッ パ 政 治 論		2		
		国 際 政 治 史		2		
		憲 法 I（統 治 機 構）		2		
		憲 法 II（人 権）		2		
		行 政 法 I		2		
		行 政 法 II		2		
		地 方 自 治 と 法		2		

コース別専門科目（経済）

授 業 科 目 の 名 称			単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
専 門 科 目	コ ア 科 目	マ ク ロ 経 済 学		2		16単位 以上
		ミ ク ロ 経 済 学		2		
		国 際 経 済 学 A（貿 易）		2		
		国 際 経 済 学 B（金 融）		2		
		国 際 政 治 経 済 学		2		
		開 発 経 済 学		2		
		公 共 経 済 学		2		
		経 済 政 策 論		2		
		金 融 論		2		
		財 政 論		2		
		日 本 経 済 論		2		
		経 済 統 計		2		
	応 用 科 目	行 動 経 済 学		2		
		環 境 経 済 学		2		
		医 療 経 済 学		2		
		人 口 学		2		
		ア メ リ カ 経 済 論		2		
		ヨ ー ロ ッ パ 経 済 論		2		
		ア ジ ア 経 済 論		2		
		中東・アフリカの政治・経済		2		
		社 会 福 祉 政 策 論		2		
		日 本 の 貿 易 政 策		2		

第3類（杏林大学学則）

		法と経済		2		
		経済学説史		2		
		ゲーム理論		2		

コース別専門科目（法律）

授業科目の名称			単位数			備考
			必修	選択	自由	
専門科目	コア科目	法情報調査		2		16単位以上
		法学の現代的課題		2		
		会社法Ⅰ（ガバナンス）		2		
		会社法Ⅱ（ファイナンス）		2		
		民法総論		2		
		物権法		2		
		契約法		2		
		家族法		2		
		憲法Ⅰ（統治機構）		2		
		憲法Ⅱ（人権）		2		
	応用科目	刑法Ⅰ（総論）		2		
		刑法Ⅱ（各論）		2		
		行政法Ⅰ		2		
		行政法Ⅱ		2		
		民事訴訟法		2		
		刑事訴訟法		2		
		租税法Ⅰ		2		
		租税法Ⅱ		2		
		企業法総論		2		
		企業取引法		2		
		国際法Ⅰ		2		
		国際法Ⅱ		2		
		環境法		2		
		労働法		2		
		社会保険法		2		
		医事法		2		
		法と経済		2		
		法制史		2		
		比較法文化論		2		
		メディア・コンテンツと法		2		

第3類（杏林大学学則）

	地 方 自 治 と 法	2	
	倒 産 処 理 と 法	2	
	不 動 産 取 引 と 法 I	2	
	不 動 産 取 引 と 法 II	2	

コース別専門科目（国際関係）

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数			備 考
				必修	選択	自由	
専 門 科 目	コ ア 科 目	国 際 政 治 学 A		2			16単位 以上
		国 際 政 治 学 B		2			
		国 際 政 治 経 済 学		2			
		比 較 政 治 学		2			
		マ ク ロ 経 済 学		2			
		外 交 政 策 論 A		2			
		外 交 政 策 論 B		2			
		国 際 機 構 論		2			
		政 策 過 程 論		2			
		国 際 政 治 史		2			
	応 用 科 目	国 際 法 I		2			
		国 際 法 II		2			
		開 発 経 済 学		2			
		現 代 行 政 学 A		2			
		政 治 心 理 学		2			
		ア ジ ア 経 済 論		2			
		ア ジ ア 政 治 論		2			
		ア メ リ カ 経 済 論		2			
		ア メ リ カ 政 治 論		2			
		国 際 関 係 論 演 習		2			
		国 際 協 力 論		2			
		国 際 経 営 論		2			
		国 際 経 済 学 A（貿易）		2			
		政 治 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論		2			
		中 東 ・ ア フ リ カ の 政 治 ・ 経 済		2			
		ヨ ー ロ ッ パ 経 済 論		2			
		ヨ ー ロ ッ パ 政 治 論		2			
		経 済 統 計		2			

第3類（杏林大学学則）

コース別専門科目（福祉政策）

授 業 科 目 の 名 称			単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
専 門 科 目	コ ア 科 目	社 会 福 祉 学		2		16単位 以上
		健 康 社 会 学		2		
		健 康 科 学		2		
		人 口 学		2		
		児 童 福 祉 論		2		
		障 害 者 福 祉 論		2		
		老 人 福 祉 論		2		
		社 会 福 祉 政 策 論		2		
		社 会 保 障 論 I		2		
		社 会 保 障 論 II		2		
		環 境 保 全 論 I		2		
		環 境 保 全 論 II		2		
	応 用 科 目	医 療 経 済 学		2		
		環 境 経 済 学		2		
		公 共 経 済 学		2		
		介 護 政 策 論		2		
		社会福祉援助技術総論 I		2		
		社会福祉援助技術総論 II		2		
		カ ウ ン セ リ ン グ 論		2		
		環 境 政 策 論		2		
		ローカル・ガバメント論 A		2		
		ローカル・ガバメント論 B		2		
		日 本 経 済 論		2		
		経 済 政 策 論		2		
		財 政 論		2		
		民 法 総 論		2		
		ヒューマンエコロジー		2		
		現 代 日 本 政 治 A		2		
		現 代 日 本 政 治 B		2		
		政 策 過 程 論		2		
		憲 法 I（統治機構）		2		
		憲 法 II（人権）		2		
		家 族 法		2		
		租 税 法 I		2		

第3類（杏林大学学則）

		労働法		2		
		医事法		2		
		環境法		2		

演習

授 業 科 目 の 名 称					単 位 数			備 考
					必修	選択	自由	
専 門 演 習 科 目		演 習 I				2		
		演 習 II				2		
		演 習 III				2		
		演 習 IV				2		
		演 習 V				2		
		演 習 VI				2		
		卒 業 研 究 I				2		
		卒 業 研 究 II				2		
	学 際 演 習	学 際 演 習 I				2		4 単位 以上
		学 際 演 習 II				2		
		学 際 演 習 III				2		
		学 際 演 習 IV				2		
		学 際 演 習 V				2		
		学 際 演 習 VI				2		
		学 際 演 習 VII				2		
		学 際 演 習 VIII				2		
	特 別 演 習	特 別 演 習 I				2		
		特 別 演 習 II				2		
		特 別 演 習 III				2		
		特 別 演 習 IV				2		
	プ ロ ジ ェ ク ト 演 習	プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 I				2		
		プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 II				2		
		プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 III				2		
		プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 IV				2		

プレゼミナール

授 業 科 目 の 名 称			単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
プレゼミ ナール	プ レ ゼ ミ ナ ー ル A		2			
	プ レ ゼ ミ ナ ー ル B		2			

第3類（杏林大学学則）

一般教養科目

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数			備 考
				必修	選択	自由	
一般教養科目	生	活	と		2		10単位以上
	日	本	国		2		
	基	礎	簿		2		
	基	礎	簿		2		
	人	文	地		2		
	自	然	地		2		
	社		会		2		
	統		計		2		
	宗		教		2		
	哲				2		
	倫		理		2		
	心		理		2		
	歴		史		2		
	文				2		
	音				2		
	ダ	イ	バ		2		入門論
	イ	バ	ー		2		
	シ	テ	ィ		2		
	入	門	論		2		
	人	文	科		2		概論
	自	然	科		2		
	学	概	論		2		

外国語科目

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数			備 考
				必修	選択	自由	
外国語科目	必修外国語	英	語	I	2		
		英	語	II	2		
		英	語	III	2		
		英	語	IV	2		
	選択外国語	発	展	英	語	I	4単位以上
		発	展	英	語	II	
		中	国	語	A	2	
		中	国	語	B	2	
		韓	国	語	A	2	
		韓	国	語	B	2	
		フ	ラ	ン	ス	語	
		フ	ラ	ン	ス	語	

第3類（杏林大学学則）

		フ ラ ン ス 語 B		2		
		ド イ ツ 語 A		2		
		ド イ ツ 語 B		2		
		ス ペ イ ン 語 A		2		
		ス ペ イ ン 語 B		2		

キャリア関連科目

授 業 科 目 の 名 称			単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
キャリア関連科目	基礎 教養 分野	時 事 問 題 研 究 A	2			
		時 事 問 題 研 究 B	2			
		ラ イ テ ィ ン グ 演 習 I	2			
		ラ イ テ ィ ン グ 演 習 II	2			
		計 算 力 演 習 I	2			
		計 算 力 演 習 II	2			
		情 報 処 理 演 習 A		2		
		情 報 処 理 演 習 B		2		
	ライフ デザイン 分野	ラ イ フ ・ プ ラ ン ニ ン グ I	2			
		ラ イ フ ・ プ ラ ン ニ ン グ II	2			
		キ ャ リ ア 開 発 論 I	2			
		キ ャ リ ア 開 発 論 II	2			
		キ ャ リ ア 開 発 演 習 I	2			
		キ ャ リ ア 開 発 演 習 II	2			
		イ ン タ ー ン シ ッ プ I		2		
		イ ン タ ー ン シ ッ プ II		2		

グローバルキャリア・プログラム

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
英 語 科 目	Oral Communication 1		2		
	Oral Communication 2		2		
	Academic Writing 1		2		
	Academic Writing 2		2		
	Academic Writing 3		2		
	Recent Topics in English		2		
	Business Communication 1		2		

第3類（杏林大学学則）

		Business Communication 2		2		
関 連 科 目		Critical Thinking		2		
		Global Career Development		2		
		Communication for Business		2		
		Japan Studies		2		
		Public Speaking		2		
グ ロ ー バ ル 専 門 科 目	Introductory	Introduction to Business		2		
		Introduction to Economics		2		
		Introduction to Global Health Issues		2		
		Introduction to International Relations		2		
	Progressive	Monetary Policy and Financial System		2		
		Fiscal Policy and Tax System in Japan		2		
		Culture and Business		2		
		Global Health and Social Justice		2		
		Marketing		2		
		History of Innovation and Science		2		
		Interdisciplinary Seminar 1		2		
		Interdisciplinary Seminar 2		2		

教職課程教科に関する科目

授 業 科 目 の 名 称					単 位 数			備 考
					必修	選択	自由	
教 職 課 程 科 目	日	本	史	I			2	
	日	本	史	II			2	
	外	国	史	I			2	
	外	国	史	II			2	
	地	誌	学	I			2	
	地	誌	学	II			2	
	職	業	指	導			2	
	体	育	理	論			1	
	体	育	実	技			1	

第3類（杏林大学学則）

企業経営学科

ベーシック科目

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
ベーシック科目	ベーシック政治		2		10単位以上
	ベーシック経済		2		
	ベーシック法律		2		
	ベーシック国際関係		2		
	ベーシック福祉政策		2		
	ベーシック経営		2		
	ベーシック会計		2		

地域と大学

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
地 域 と 大 学		2			

コース別専門科目（経営）

授 業 科 目 の 名 称			単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
専 門 科 目	コ ア 科 目	経 営 学 総 論 I		2		16単位以上
		経 営 学 総 論 II		2		
		経 営 管 理 論		2		
		経 営 組 織 論		2		
		現 代 企 業 論		2		
		経 営 戦 略 論		2		
		マ ー ケ テ ィ ン グ 総 論		2		
		流 通 論		2		
		経 営 史		2		
		ミ ク ロ 経 済 学		2		
		財 務 会 計 論		2		
		管 理 会 計 論		2		
	応 用 科 目	国 際 経 営 論		2		
		ベンチャー企業論		2		
		イノベーション論		2		
		経営情報論		2		
		財務管理論		2		

第3類（杏林大学学則）

	人 的 資 源 管 理	2	
	出 店 戦 略	2	
	販 売 戦 略	2	
	原 価 計 算	2	
	会 社 法 I（ガバナンス）	2	
	企 業 取 引 法	2	
	労 働 法	2	
	租 税 法 I	2	
	現 代 ビ ジ ネ ス 演 習	2	
	経 営 特 殊 講 義	2	
	国 際 政 治 学 A	2	
	国 際 政 治 学 B	2	
	国 際 経 済 学 A（貿易）	2	
	国 際 経 済 学 B（金融）	2	
	社 会 福 祉 学	2	
	社 会 福 祉 政 策 論	2	
	行 動 経 済 学	2	
	ゲ ー ム 理 論	2	

コース別専門科目（会計）

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
専 門 科 目	コ ア 科 目	財 務 会 計 論	2		16単位 以上
		国 際 会 計 論	2		
		監 査 論	2		
		管 理 会 計 論	2		
		商 業 簿 記 I	2		
		商 業 簿 記 II	2		
		工 業 簿 記	2		
		原 価 計 算	2		
		会 社 法 I（ガバナンス）	2		
		会 社 法 II（ファイナンス）	2		
		租 税 法 I	2		
		租 税 法 II	2		
		会 計 史	2		
		税 務 会 計 論	2		
		基 礎 簿 記 演 習	2		

第3類（杏林大学学則）

応用科目	財務諸表作成演習	2	
	会計特殊講義	2	
	企業法総論	2	
	企業取引法	2	
	経営学総論Ⅰ	2	
	経営学総論Ⅱ	2	
	経営管理論	2	
	経営組織論	2	
	現代企業論	2	
	経営戦略論	2	
	マーケティング総論	2	
	流通論	2	
	財務管理論	2	
	出店戦略	2	
	販売戦略	2	
	労働法	2	
	契約法	2	
	民法総論	2	
	国際法Ⅰ	2	
	国際法Ⅱ	2	
	環境経済学	2	
	マクロ経済学	2	
	ミクロ経済学	2	

演習

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門演習科目	演習Ⅰ		2		
	演習Ⅱ		2		
	演習Ⅲ		2		
	演習Ⅳ		2		
	演習Ⅴ		2		
	演習Ⅵ		2		
	卒業研究Ⅰ		2		
	卒業研究Ⅱ		2		
	学際演習Ⅰ		2		
	学際演習Ⅱ		2		
					4単位

第3類（杏林大学学則）

	学 際 演 習	学	際	演	習	Ⅲ		2			以上			
		学	際	演	習	Ⅳ		2						
		学	際	演	習	Ⅴ		2						
		学	際	演	習	Ⅵ		2						
		学	際	演	習	Ⅶ		2						
		学	際	演	習	Ⅷ		2						
	特 別 演 習	特	別	演	習	Ⅰ		2						
		特	別	演	習	Ⅱ		2						
		特	別	演	習	Ⅲ		2						
		特	別	演	習	Ⅳ		2						
	プ ロ ジ エ ク ト 演 習	プ	ロ	ジ	エ	ク	ト	演	習	Ⅰ		2		
		プ	ロ	ジ	エ	ク	ト	演	習	Ⅱ		2		
プ		ロ	ジ	エ	ク	ト	演	習	Ⅲ	2				
プ		ロ	ジ	エ	ク	ト	演	習	Ⅳ	2				

プレゼミナール

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
プレゼミ ナール	プ レ ゼ ミ ナ ー ル A	2			
	プ レ ゼ ミ ナ ー ル B	2			

一般教養科目

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
一 般 教 養 科 目	生 活 と 法		2		10単位 以上
	日 本 国 憲 法		2		
	基 礎 簿 記 Ⅰ		2		
	基 礎 簿 記 Ⅱ		2		
	人 文 地 理 学		2		
	自 然 地 理 学		2		
	社 会 学		2		
	統 計 学		2		
	宗 教 学		2		
	哲 学		2		
	倫 理 学		2		
	心 理 学		2		

第3類（杏林大学学則）

	歴	史	学		2		
	文		学		2		
	音		楽		2		
	人	文	科	学	概	論	
	自	然	科	学	概	論	

外国語科目

授 業 科 目 の 名 称					単 位 数			備 考
					必修	選択	自由	
外国語科目	必修外国語	英	語	I	2			
		英	語	II	2			
		英	語	III	2			
		英	語	IV	2			
	選択外国語	発	展	英	語	I	2	4単位以上
		発	展	英	語	II	2	
		中	国	語	A	2		
		中	国	語	B	2		
		韓	国	語	A	2		
		韓	国	語	B	2		
		フ	ラ	ン	ス	語	A	
		フ	ラ	ン	ス	語	B	
		ド	イ	ツ	語	A	2	
		ド	イ	ツ	語	B	2	
		ス	ペ	イ	ン	語	A	
		ス	ペ	イ	ン	語	B	

キャリア関連科目

授 業 科 目 の 名 称							単 位 数			備 考
							必修	選択	自由	
キャリア関連科目	基礎教養分野	時 事 問 題 研 究 A	2							
		時 事 問 題 研 究 B	2							
		ラ イ テ ィ ン グ 演 習 I	2							
		ラ イ テ ィ ン グ 演 習 II	2							
		計 算 力 演 習 I	2							
		計 算 力 演 習 II	2							
		情 報 処 理 演 習 A		2						

第3類（杏林大学学則）

		情報処理演習 B		2		
	ライフデザイン分野	ライフ・プランニング I	2			
		ライフ・プランニング II	2			
		キャリア開発論 I	2			
		キャリア開発論 II	2			
		キャリア開発演習 I	2			
		キャリア開発演習 II	2			
		インターンシップ I		2		
		インターンシップ II		2		

グローバルキャリア・プログラム

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
英語科目	Oral Communication 1		2		
	Oral Communication 2		2		
	Academic Writing 1		2		
	Academic Writing 2		2		
	Academic Writing 3		2		
	Recent Topics in English		2		
	Business Communication 1		2		
	Business Communication 2		2		
関連科目	Critical Thinking		2		
	Global Career Development		2		
	Communication for Business		2		
	Japan Studies		2		
	Public Speaking		2		
グローバル専門科目	Introductory	Introduction to Business		2	
		Introduction to Economics		2	
		Introduction to Global Health Issues		2	
		Introduction to International Relations		2	
	Progressive	Monetary Policy and Financial System		2	
		Fiscal Policy and Tax System in Japan		2	
		Culture and Business		2	
		Global Health and Social Justice		2	
		Marketing		2	
		History of Innovation & Science		2	

第3類（杏林大学学則）

		Interdisciplinary Seminar 1		2		
		Interdisciplinary Seminar 2		2		

教職課程教科に関する科目

授 業 科 目 の 名 称					単 位 数			備 考
					必修	選択	自由	
教 職 課 程 科 目	日	本	史	I			2	
	日	本	史	II			2	
	外	国	史	I			2	
	外	国	史	II			2	
	地	誌	学	I			2	
	地	誌	学	II			2	
	職	業	指	導			2	
	体	育	理	論			1	
	体	育	実	技			1	

第3類（杏林大学学則）

別表3-4（平成31年度入学生から適用）

総合政策学部学科目構成

総合政策学科

ベーシック科目

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
ベーシック科目	ベーシック政治		2		10単位以上
	ベーシック経済		2		
	ベーシック法律		2		
	ベーシック国際関係		2		
	ベーシック福祉政策		2		
	ベーシック経営		2		
	ベーシック会計		2		

地域と大学

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
地 域 と 大 学		2			

コース別専門科目（政治）

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
専 門 科 目	コア科目	政治心理学	2		16単位以上
		政治コミュニケーション論	2		
		現代日本政治 A	2		
		現代日本政治 B	2		
		現代行政学 A	2		
		現代行政学 B	2		
		立法過程論	2		
		政策過程論	2		
		ローカル・ガバメント論 A	2		
		ローカル・ガバメント論 B	2		
		政治史	2		
		法制史	2		
	応用科目	比較政治学	2		
		外交政策論 A	2		
		外交政策論 B	2		
		国際政治経済学	2		
		国際政治学 A	2		

第3類（杏林大学学則）

	国 際 政 治 学 B	2	
	ア メ リ カ 政 治 論	2	
	ア ジ ア 政 治 論	2	
	ヨ ー ロ ッ パ 政 治 論	2	
	国 際 政 治 史	2	
	憲 法 I（統 治 機 構）	2	
	憲 法 II（人 権）	2	
	行 政 法 I	2	
	行 政 法 II	2	
	地 方 自 治 と 法	2	

コース別専門科目（経済）

授 業 科 目 の 名 称			単 位 数			備考
			必修	選択	自由	
専 門 科 目	コ ア 科 目	マ ク ロ 経 済 学		2		16 単位 以上
		ミ ク ロ 経 済 学		2		
		国 際 経 済 学 A（貿 易）		2		
		国 際 経 済 学 B（金 融）		2		
		国 際 政 治 経 済 学		2		
		開 発 経 済 学		2		
		公 共 経 済 学		2		
		経 済 政 策 論		2		
		金 融 論		2		
		財 政 論		2		
	応 用 科 目	日 本 経 済 論		2		
		経 済 統 計		2		
		行 動 経 済 学		2		
		環 境 経 済 学		2		
		医 療 経 済 学		2		
		人 口 学		2		
		ア メ リ カ 経 済 論		2		
		ヨ ー ロ ッ パ 経 済 論		2		
		ア ジ ア 経 済 論		2		
		中東・アフリカの政治・経済		2		
		社 会 福 祉 政 策 論		2		
		日 本 の 貿 易 政 策		2		
		法 と 経 済		2		

第3類（杏林大学学則）

		経済学説史		2		
		ゲーム理論		2		

コース別専門科目（法律）

授業科目の名称			単位数			備考
			必修	選択	自由	
専門科目	コア科目	法情報調査		2		16単位以上
		法学の現代的課題		2		
		会社法Ⅰ（ガバナンス）		2		
		会社法Ⅱ（ファイナンス）		2		
		民法総論		2		
		物権法		2		
		契約法		2		
		家族法		2		
		憲法Ⅰ（統治機構）		2		
		憲法Ⅱ（人権）		2		
		刑法Ⅰ（総論）		2		
		刑法Ⅱ（各論）		2		
	応用科目	行政法Ⅰ		2		
		行政法Ⅱ		2		
		民事訴訟法		2		
		刑事訴訟法		2		
		租税法Ⅰ		2		
		租税法Ⅱ		2		
		企業法総論		2		
		企業取引法		2		
		国際法Ⅰ		2		
		国際法Ⅱ		2		
		環境法		2		
		労働法		2		
		社会保障法		2		
		医事法		2		
		法と経済		2		
		法制史		2		
		比較法文化論		2		
		メディア・コンテンツと法		2		
		地方自治と法		2		

第3類（杏林大学学則）

		倒産処理と法		2		
		不動産取引と法Ⅰ		2		
		不動産取引と法Ⅱ		2		

コース別専門科目（国際関係）

授 業 科 目 の 名 称			単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
専 門 科 目	コ ア 科 目	国 際 政 治 学 A		2		16 単位 以上
		国 際 政 治 学 B		2		
		国 際 政 治 経 済 学		2		
		比 較 政 治 学		2		
		マ ク ロ 経 済 学		2		
		外 交 政 策 論 A		2		
		外 交 政 策 論 B		2		
		国 際 機 構 論		2		
		政 策 過 程 論		2		
		国 際 政 治 史		2		
		国 際 法 I		2		
		国 際 法 II		2		
	応 用 科 目	開 発 経 済 学		2		
		現 代 行 政 学 A		2		
		政 治 心 理 学		2		
		ア ジ ア 経 済 論		2		
		ア ジ ア 政 治 論		2		
		ア メ リ カ 経 済 論		2		
		ア メ リ カ 政 治 論		2		
		国 際 関 係 論 演 習		2		
		国 際 協 力 論		2		
		国 際 経 営 論		2		
		国 際 経 済 学 A（貿易）		2		
		政 治 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論		2		
		中 東 ・ ア フ リ カ の 政 治 ・ 経 済		2		
		ヨ ー ロ ッ パ 経 済 論		2		
		ヨ ー ロ ッ パ 政 治 論		2		
		経 済 統 計		2		

第3類（杏林大学学則）

コース別専門科目（福祉政策）

授 業 科 目 の 名 称			単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
専 門 科 目	コ ア 科 目	社 会 福 祉 学		2		16 単位 以上
		健 康 社 会 学		2		
		健 康 科 学		2		
		人 口 学		2		
		児 童 福 祉 論		2		
		障 害 者 福 祉 論		2		
		老 人 福 祉 論		2		
		社 会 福 祉 政 策 論		2		
		社 会 保 障 論 I		2		
		社 会 保 障 論 II		2		
		環 境 保 全 論 I		2		
		環 境 保 全 論 II		2		
	応 用 科 目	医 療 経 済 学		2		
		環 境 経 済 学		2		
		公 共 経 済 学		2		
		介 護 政 策 論		2		
		社会福祉援助技術総論 I		2		
		社会福祉援助技術総論 II		2		
		カ ウ ン セ リ ン グ 論		2		
		環 境 政 策 論		2		
		ローカル・ガバメント論 A		2		
		ローカル・ガバメント論 B		2		
		日 本 経 済 論		2		
		経 済 政 策 論		2		
		財 政 論		2		
		民 法 総 論		2		
		ヒ ュ ー マ ン エ コ ロ ジ ー		2		
		現 代 日 本 政 治 A		2		
		現 代 日 本 政 治 B		2		
		政 策 過 程 論		2		
		憲 法 I （ 統 治 機 構 ）		2		
		憲 法 II （ 人 権 ）		2		
		家 族 法		2		
		租 税 法 I		2		

第3類（杏林大学学則）

		労働法		2		
		医事法		2		
		環境法		2		

演習

授 業 科 目 の 名 称					単 位 数			備 考
					必修	選択	自由	
専門演習科目		演 習 I				2		
		演 習 II				2		
		演 習 III				2		
		演 習 IV				2		
		演 習 V				2		
		演 習 VI				2		
		卒業研究 I				2		
		卒業研究 II				2		
	学際演習	学際演習 I				2		4単位以上
		学際演習 II				2		
		学際演習 III				2		
		学際演習 IV				2		
		学際演習 V				2		
		学際演習 VI				2		
		学際演習 VII				2		
		学際演習 VIII				2		
	特別演習	特別演習 I				2		
		特別演習 II				2		
		特別演習 III				2		
		特別演習 IV				2		
	プロジェクト演習	プロジェクト演習 I				2		
		プロジェクト演習 II				2		
		プロジェクト演習 III				2		
		プロジェクト演習 IV				2		

プレゼミナール

授 業 科 目 の 名 称			単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
プレゼミ	プレゼミナール A		2			
ナール	プレゼミナール B		2			

第3類（杏林大学学則）

一般教養科目

授 業 科 目 の 名 称					単 位 数			備 考	
					必修	選択	自由		
一 般 教 養 科 目	生 活 と 法 法					2		10 単位 以上	
	日 本 国 憲 法					2			
	基 礎 簿 記 I					2			
	基 礎 簿 記 II					2			
	人 文 地 理 学					2			
	自 然 地 理 学					2			
	社 会 計 学					2			
	統 計 学					2			
	宗 教 学					2			
	哲 倫 理 学					2			
	心 理 学					2			
	歴 史 学					2			
	文 学					2			
	音 楽 学					2			

外国語科目

授 業 科 目 の 名 称					単 位 数			備 考	
					必修	選択	自由		
外 国 語 科 目	必 修 外 国 語	英 語 I			2			4 単位 以上	
		英 語 II			2				
		英 語 III			2				
		英 語 IV			2				
	選 択 外 国 語	発 展 英 語 I				2			
		発 展 英 語 II				2			
		中 国 語 A				2			
		中 国 語 B				2			
		韓 国 語 A				2			
		韓 国 語 B				2			
		フ ラ ン ス 語 A				2			

第3類（杏林大学学則）

		フ ラ ン ス 語 B		2		
		ド イ ツ 語 A		2		
		ド イ ツ 語 B		2		
		ス ペ イ ン 語 A		2		
		ス ペ イ ン 語 B		2		

キャリア関連科目

授 業 科 目 の 名 称			単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
キ ャ リ ア 関 連 科 目	基 礎 教 養 分 野	時 事 問 題 研 究 A	2			
		時 事 問 題 研 究 B	2			
		ラ イ テ ィ ン グ 演 習 I	2			
		ラ イ テ ィ ン グ 演 習 II	2			
		計 算 力 演 習 I	2			
		計 算 力 演 習 II	2			
		情 報 処 理 演 習 A		2		
		情 報 処 理 演 習 B		2		
	ラ イ フ デ ザ イ ン 分 野	ラ イ フ ・ プ ラ ン ニ ン グ I	2			
		ラ イ フ ・ プ ラ ン ニ ン グ II	2			
		キ ャ リ ア 開 発 論 I	2			
		キ ャ リ ア 開 発 論 II	2			
		キ ャ リ ア 開 発 演 習 I	2			
		キ ャ リ ア 開 発 演 習 II	2			
		イ ン タ ー ン シ ッ プ I		2		
		イ ン タ ー ン シ ッ プ II		2		

グローバルキャリア・プログラム

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
英 語 科 目	Oral Communication 1		2		
	Oral Communication 2		2		
	Academic Writing 1		2		
	Academic Writing 2		2		
	Academic Writing 3		2		
	Recent Topics in English		2		
	Business Communication 1		2		

第3類（杏林大学学則）

		Business Communication 2		2		
関 連 科 目		Critical Thinking		2		
		Global Career Development		2		
		Communication for Business		2		
		Japan Studies		2		
		Public Speaking		2		
グ ロ ー バ ル 専 門 科 目	Introductory	Introduction to Business		2		
		Introduction to Economics		2		
		Introduction to Global Health Issues		2		
		Introduction to International Relations		2		
	Progressive	Monetary Policy and Financial System		2		
		Fiscal Policy and Tax System in Japan		2		
		Culture and Business		2		
		Global Health and Social Justice		2		
		Marketing		2		
		History of Innovation and Science		2		
		Interdisciplinary Seminar 1		2		
		Interdisciplinary Seminar 2		2		

教職課程科目

授 業 科 目 の 名 称					単 位 数			備 考
					必修	選択	自由	
教 職 課 程 科 目	日	本	史	I			2	
	日	本	史	II			2	
	外	国	史	I			2	
	外	国	史	II			2	
	地	誌	学	I			2	
	地	誌	学	II			2	
	体	育	理	論			1	
	体	育	実	技			1	

第3類（杏林大学学則）

企業経営学科

ベーシック科目

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
ベーシック科目	ベーシック政治		2		10 単位 以上
	ベーシック経済		2		
	ベーシック法律		2		
	ベーシック国際関係		2		
	ベーシック福祉政策		2		
	ベーシック経営		2		
	ベーシック会計		2		

地域と大学

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
地 域 と 大 学		2			

コース別専門科目（経営）

授 業 科 目 の 名 称			単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
専 門 科 目	コ ア 科 目	経営学総論Ⅰ		2		16 単位 以上
		経営学総論Ⅱ		2		
		経営管理論		2		
		経営組織論		2		
		現代企業論		2		
		経営戦略論		2		
		マーケティング総論		2		
		流通論		2		
		経営史		2		
		ミクロ経済学		2		
		財務会計論		2		
		管理会計論		2		
		国際経営論		2		
		ベンチャー企業論		2		
		イノベーション論		2		
		経営情報論		2		

第3類（杏林大学学則）

応用科目	財務管理論	2	
	人的資源管理	2	
	現代ビジネス演習	2	
	経営特殊講義	2	
	出店戦略	2	
	販売戦略	2	
	原価計算	2	
	会社法Ⅰ（ガバナンス）	2	
	企業取引法	2	
	不動産取引と法Ⅰ	2	
	不動産取引と法Ⅱ	2	
	労働法	2	
	憲法Ⅰ（統治機構）	2	
	憲法Ⅱ（人権）	2	
	租税法Ⅰ	2	
	法と経済	2	
	国際経済学A（貿易）	2	
	国際経済学B（金融）	2	
	行動経済学	2	
	ゲーム理論	2	
	経済政策論	2	
	日本の貿易政策	2	
	社会福祉学	2	
	社会福祉政策論	2	
	国際政治学A	2	
	国際政治学B	2	
	現代日本政治A	2	
	現代日本政治B	2	

コース別専門科目（会計）

授業科目の名称						単位数		備考
						必修	選択	
		財務会計論					2	
		国際会計論					2	
		監査論					2	
		管理会計論					2	
		商業簿記Ⅰ					2	

第3類（杏林大学学則）

専門科目	コア科目	商業簿記Ⅱ	2	16 単位 以上
		工業簿記	2	
		原価計算	2	
		会社法Ⅰ（ガバナンス）	2	
		会社法Ⅱ（ファイナンス）	2	
		租税法Ⅰ	2	
		租税法Ⅱ	2	
	応用科目	会計史	2	
		税務会計論	2	
		基礎簿記演習	2	
		財務諸表作成演習	2	
		会計特殊講義	2	
		企業法総論	2	
		企業取引法	2	
		経営学総論Ⅰ	2	
		経営学総論Ⅱ	2	
		経営管理論	2	
		経営組織論	2	
		現代企業論	2	
		経営戦略論	2	
		マーケティング総論	2	
		流通論	2	
		財務管理論	2	
		出店戦略	2	
		販売戦略	2	
		民法総論	2	
		契約法	2	
物権法	2			
家族法	2			
法学の現代的課題	2			
国際法Ⅰ	2			
国際法Ⅱ	2			
労働法	2			
社会保障法	2			
社会保障論Ⅰ	2			
社会保障論Ⅱ	2			
マクロ経済学	2			

第3類（杏林大学学則）

		ミ	ク	ロ	経	済	学		2		
		金			融		論		2		
		財			政		論		2		
		環	境	経	済	学			2		
		環	境	政	策	論			2		

演習

授業科目の名称						単位数			備考	
						必修	選択	自由		
専門演習科目		演		習	I		2			
		演		習	II		2			
		演		習	III		2			
		演		習	IV		2			
		演		習	V		2			
		演		習	VI		2			
		卒業	研究	I		2				
		卒業	研究	II		2				
	学際演習	学	際	演	習	I		2	4単位以上	
		学	際	演	習	II		2		
		学	際	演	習	III		2		
		学	際	演	習	IV		2		
		学	際	演	習	V		2		
		学	際	演	習	VI		2		
		学	際	演	習	VII		2		
		学	際	演	習	VIII		2		
	特別演習	特	別	演	習	I		2		
		特	別	演	習	II		2		
		特	別	演	習	III		2		
		特	別	演	習	IV		2		
	プロジェクト演習	プロジェクト	演習	I		2				
		プロジェクト	演習	II		2				
		プロジェクト	演習	III		2				
		プロジェクト	演習	IV		2				

第3類（杏林大学学則）

プレゼミナール

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数			備 考
				必修	選択	自由	
プレゼミ ナール	プ レ ゼ ミ ナ ー ル A			2			
	プ レ ゼ ミ ナ ー ル B			2			

一般教養科目

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数			備 考
				必修	選択	自由	
一 般 教 養 科 目	生 活 と 法				2		10 単位 以上
	日 本 国 憲 法				2		
	基 礎 簿 記 I				2		
	基 礎 簿 記 II				2		
	人 文 地 理 学				2		
	自 然 地 理 学				2		
	社 会 計 学				2		
	統 計 学				2		
	宗 教 学				2		
	哲 学				2		
	倫 理 学				2		
	心 理 学				2		
	歴 史 学				2		
	文 学				2		
	音 楽 論				2		
	人 文 科 学 概 論				2		
	自 然 科 学 概 論				2		

外国語科目

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数			備 考
				必修	選択	自由	
外国語科目	必修外国語	英 語 I		2			
		英 語 II		2			
		英 語 III		2			
		英 語 IV		2			

第3類（杏林大学学則）

選択外国語	発展英語 I	2	4単位以上
	発展英語 II	2	
	中国語 A	2	
	中国語 B	2	
	韓国語 A	2	
	韓国語 B	2	
	フランス語 A	2	
	フランス語 B	2	
	ドイツ語 A	2	
	ドイツ語 B	2	
	スペイン語 A	2	
	スペイン語 B	2	

キャリア関連科目

授業科目の名称				単位数			備考
				必修	選択	自由	
キャリア関連科目	基礎教養分野	時事問題研究 A	2				
		時事問題研究 B	2				
		ライティング演習 I	2				
		ライティング演習 II	2				
		計算力演習 I	2				
		計算力演習 II	2				
		情報処理演習 A			2		
		情報処理演習 B			2		
	ライフデザイン分野	ライフ・プランニング I	2				
		ライフ・プランニング II	2				
		キャリア開発論 I	2				
		キャリア開発論 II	2				
		キャリア開発演習 I	2				
		キャリア開発演習 II	2				
		インターンシップ I			2		
		インターンシップ II			2		

第3類（杏林大学学則）

グローバルキャリア・プログラム

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
英語科目	Oral Communication 1		2		
	Oral Communication 2		2		
	Academic Writing 1		2		
	Academic Writing 2		2		
	Academic Writing 3		2		
	Recent Topics in English		2		
	Business Communication 1		2		
	Business Communication 2		2		
関連科目	Critical Thinking		2		
	Global Career Development		2		
	Communication for Business		2		
	Japan Studies		2		
	Public Speaking		2		
グローバル専門科目	Introductory		2		
			2		
			2		
			2		
	Progressive		2		
			2		
			2		
			2		
			2		
			2		
			2		
			2		

教職課程科目

授 業 科 目 の 名 称					単 位 数			備 考
					必修	選択	自由	
教 職 課 程	日 本 史	I					2	
	日 本 史	II					2	
	外 国 史	I					2	
	外 国 史	II					2	
	地 誌 学	I					2	

第 3 類（杏林大学学則）

科 目	地 体 体	誌 育 育	学 理 実	Ⅱ 論 技			2 1 1	

第3類（杏林大学学則）

別表4－1（平成23年度入学生から適用）

外国語学部学科目構成

英語学科

授 業 科 目 の 名 称						単 位 数		備 考
						必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語 I	—	1	1	1			英語及び中国語（留学生 は日本語から4単位選択） 必修12単位
	英 語 I	—	2	1	1			
	英 語 II	—	1	1	1			
	英 語 II	—	2	1	1			
	英 語 III	—	1	1	1			
	英 語 III	—	2	1	1			
	英 語 IV	—	1	1	1			
	英 語 IV	—	2	1	1			
	中 国 語 I	—	1	1	1			
	中 国 語 I	—	2	1	1			
	中 国 語 II	—	1	1	1			
	中 国 語 II	—	2	1	1			
	中 国 語 III	—	1		1		1	
	中 国 語 III	—	2		1		1	
	中 国 語 IV	—	1		1		1	
	中 国 語 IV	—	2		1		1	
	日 本 語 I	—	1		1		1	
	日 本 語 I	—	2		1		1	
	日 本 語 II	—	1		1		1	
	日 本 語 II	—	2		1		1	
	日 本 語 III	—	1		1		1	
	日 本 語 III	—	2		1		1	
	日 本 語 IV	—	1		1		1	
	日 本 語 IV	—	2		1		1	
専 門 科	英 語 学	—	1	2	2			
	英 語 学	—	2	2	2			
	英 語 音 声 学	—	1	2	2			
	英 語 音 声 学	—	2	2	2			
	英 語 史	—	1				2	

第3類（杏林大学学則）

目 A	英 語 史 ー 2		2	
	日 米 比 較 文 化 概 論		2	
	英 語 の 文 化 誌		2	
	ヨーロッパの社会と文化		2	
	英 米 文 化 論		2	
	英 米 文 学		2	
	児 童 文 学 論		2	
	社 会 言 語 学 ー 1		2	
	社 会 言 語 学 ー 2		2	
	対 照 言 語 学 ー 1		2	
	対 照 言 語 学 ー 2		2	
	認 知 言 語 学 ー 1		2	
	認 知 言 語 学 ー 2		2	
	言語獲得のメカニズムー1		2	
	言語獲得のメカニズムー2		2	
	アメリカ近現代史概説		2	
	ヨーロッパ近現代史概説		2	
	英 語 文 法 I ー 1	1		
	英 語 文 法 I ー 2	1		
	英 語 文 法 II ー 1		1	
	英 語 文 法 II ー 2		1	
	英 語 会 話 ー 1	1		
	英 語 会 話 ー 2	1		
	実 用 英 語 I		1	
	実 用 英 語 II		1	
	実 用 英 語 III		1	
	実 用 英 語 IV		1	
	I T イ ン グ リ ッ シ ュ	1		
	英 語 作 文 ー 1	1		
	英 語 作 文 ー 2	1		
	現 代 英 語 購 読 I ー 1	1		
	現 代 英 語 購 読 I ー 2	1		
	現 代 英 語 購 読 II ー 1		1	
	現 代 英 語 購 読 II ー 2		1	
	実 用 英 語 演 習 I	1		
	実 用 英 語 演 習 II	1		
	実 用 英 語 演 習 III	1		

第3類（杏林大学学則）

	実用英語演習Ⅳ	1		
	ゼミナール－1	2		
	ゼミナール－2	2		
	ゼミナール－3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専門科目 B	国際コミュニケーション論	2		英語ビジネスコミュニケーションコース
	グローバルビジネス論－1	2		
	グローバルビジネス論－2	2		
	現代北米ビジネス事情		2	
	現代ヨーロッパビジネス事情		2	
	マーケティング総論		2	
	アメリカ経済論		2	
	アメリカ政治外交論		2	
	ヨーロッパ経済論		2	
	ヨーロッパ政治外交論		2	
	ビジネスイングリッシュⅠ	1		
	ビジネスイングリッシュⅡ	1		
	ビジネスイングリッシュⅢ	1		
	ビジネスイングリッシュⅣ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅱ		1	
専門科目 C	英語教育論－1	2		英語教育コース
	英語教育論－2	2		
	英語音声学特論－1	2		
	英語音声学特論－2	2		
	英語学特論－1		2	
	英語学特論－2		2	
	英語科教育法－1		2	
	英語科教育法－2		2	
	児童英語教育論－1		2	
	児童英語教育論－2		2	
	児童英語教育教材研究		1	
	児童英語教育実習		1	
	英語発音聴取	1		
	英語文章表現法－1	1		
	英語文章表現法－2	1		

第3類（杏林大学学則）

	英語聴解・討論－1		1	
	英語聴解・討論－2		1	
専門 関連 科目 A	比較文化論Ⅰ－1		2	
	比較文化論Ⅰ－2		2	
	比較文化論Ⅱ－1		2	
	比較文化論Ⅱ－2		2	
	地域圏研究Ⅰ－1		2	
	地域圏研究Ⅰ－2		2	
	地域圏研究Ⅱ－1		2	
	地域圏研究Ⅱ－2		2	
	地域圏研究Ⅲ－1		2	
	地域圏研究Ⅲ－2		2	
	地域圏研究Ⅳ－1		2	
	地域圏研究Ⅳ－2		2	
	地域圏研究Ⅴ－1		2	
	地域圏研究Ⅴ－2		2	
	地域圏研究Ⅵ－1		2	
	地域圏研究Ⅵ－2		2	
	国際関係論Ⅰ		2	
	国際関係論Ⅱ		2	
	経済原論Ⅰ		2	
	経済原論Ⅱ		2	
	西洋史－1		2	
	西洋史－2		2	
	中国史－1		2	
	中国史－2		2	
	日本史－1		2	
	日本史－2		2	
	言語学－1		2	
	言語学－2		2	
	言語と文化－1		2	
	言語と文化－2		2	
	神話学－1		2	
	神話学－2		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論－1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論－2		2	

第3類（杏林大学学則）

	英語総合講座－1		2	
	英語総合講座－2		2	
	英語特論－1		2	
	英語特論－2		2	
	コミュニケーション概論－1	2		
	コミュニケーション概論－2	2		
	基礎演習－1	1		
	基礎演習－2	1		
	キャリア指導Ⅰ－1	1		
	キャリア指導Ⅰ－2	1		
	キャリア指導Ⅱ－1	1		
	キャリア指導Ⅱ－2	1		
	ホスピタリティ実習－1	1		
	ホスピタリティ実習－2	1		
	インターンシップⅠ		1	
	インターンシップⅡ		1	
	インターンシップⅢ		1	
	インターンシップⅣ		1	
専門 関連 科目 B	ドイツ語Ⅰ－1		1	
	ドイツ語Ⅰ－2		1	
	ドイツ語Ⅱ－1		1	
	ドイツ語Ⅱ－2		1	
	ドイツ語Ⅲ－1		1	
	ドイツ語Ⅲ－2		1	
	フランス語Ⅰ－1		1	
	フランス語Ⅰ－2		1	
	フランス語Ⅱ－1		1	
	フランス語Ⅱ－2		1	
	フランス語Ⅲ－1		1	
	フランス語Ⅲ－2		1	
	スペイン語Ⅰ－1		1	
	スペイン語Ⅰ－2		1	
	スペイン語Ⅱ－1		1	
	スペイン語Ⅱ－2		1	
	スペイン語Ⅲ－1		1	
	スペイン語Ⅲ－2		1	

第3類（杏林大学学則）

	インドネシア語Ⅰ－1	1	
	インドネシア語Ⅰ－2	1	
	インドネシア語Ⅱ－1	1	
	インドネシア語Ⅱ－2	1	
	インドネシア語Ⅲ－1	1	
	インドネシア語Ⅲ－2	1	
	韓国語Ⅰ－1	1	
	韓国語Ⅰ－2	1	
	韓国語Ⅱ－1	1	
	韓国語Ⅱ－2	1	
	韓国語Ⅲ－1	1	
	韓国語Ⅲ－2	1	
	口語英語Ⅰ－1	1	
	口語英語Ⅰ－2	1	
	口語英語Ⅱ－1	1	
	口語英語Ⅱ－2	1	
	口語英語Ⅲ－1	1	
	口語英語Ⅲ－2	1	
	口語英語Ⅳ－1	1	
	口語英語Ⅳ－2	1	
	口語中国語Ⅰ－1	1	
	口語中国語Ⅰ－2	1	
	口語中国語Ⅱ－1	1	
	口語中国語Ⅱ－2	1	
	口語中国語Ⅲ－1	1	
	口語中国語Ⅲ－2	1	
	口語中国語Ⅳ－1	1	
	口語中国語Ⅳ－2	1	
専門 関 連 科 目 C	哲学－1	2	
	哲学－2	2	
	宗教学－1	2	
	宗教学－2	2	
	歴史学－1	2	
	歴史学－2	2	
	文学－1	2	
	文学－2	2	

第3類（杏林大学学則）

	音楽	—	1	2
	音楽	—	2	2
	日本国憲法学			2
	政治学	—	1	2
	政治学	—	2	2
	地理学	—	1	2
	地理学	—	2	2
	経済学	—	1	2
	経済学	—	2	2
	数学	—	1	2
	数学	—	2	2
	物理学	—	1	2
	物理学	—	2	2
	化学	—	1	2
	化学	—	2	2
	生物学	—	1	2
	生物学	—	2	2
	健康科学			2
	食と健康のエコロジー			2
	心理学	—	1	2
	心理学	—	2	2
	統計学	—	1	2
	統計学	—	2	2
	情報処理			2
	体育理論			2
	体育実技	—	1	1
	体育実技	—	2	1
専門 関連 科目 D	日本語教育概説			2
	日本語教授法概論			2
	日本語学概論			2
	日本語音声学			2
	日本語文法論			2
	日本語意味論			2
	日本語教材教具論			2
	試験と評価			2

第3類（杏林大学学則）

	日 本 語 語 彙 論		2	
	日 本 語 文 字 表 記 概 説		2	
	日 本 語 史		2	
	日 本 人 の 言 語 行 動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	日 本 語 教 授 法 演 習		1	
	日 本 語 教 育 実 習		1	
	日 本 語 学 演 習		1	
	日 本 語 教 育 演 習		1	
専 科 門 目 関 連 E	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 科 由 目				

中国語学科

授 業 科 目 の 名 称						単 位 数		備 考
						必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語	I	—	1	1	1		英語及び中国語（留学生 は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英 語	I	—	2	1	1		
	英 語	II	—	1	1	1		
	英 語	II	—	2	1	1		
	英 語	III	—	1	1	1		
	英 語	III	—	2	1	1		
	英 語	IV	—	1	1	1		
	英 語	IV	—	2	1	1		
	中 国 語	I	—	1	1	1		
	中 国 語	I	—	2	1	1		
	中 国 語	II	—	1	1	1		
	中 国 語	II	—	2	1	1		
	中 国 語	III	—	1	1	1		
	中 国 語	III	—	2	1	1		
	中 国 語	IV	—	1	1	1		
	中 国 語	IV	—	2	1	1		

第3類（杏林大学学則）

	日 本 語 I ー 1		1	
	日 本 語 I ー 2		1	
	日 本 語 II ー 1		1	
	日 本 語 II ー 2		1	
	日 本 語 III ー 1		1	
	日 本 語 III ー 2		1	
	日 本 語 IV ー 1		1	
	日 本 語 IV ー 2		1	
	日 本 語 V ー 1		1	
	日 本 語 V ー 2		1	
	日 本 語 VI ー 1		1	
	日 本 語 VI ー 2		1	
	日 本 語 VII ー 1		1	
	日 本 語 VII ー 2		1	
専 門 科 目 A	異文化コミュニケーション	2		
	日 本 文 化 論		2	
	インテンシブ中国語 I ー 1	1		
	インテンシブ中国語 I ー 2	1		
	インテンシブ中国語 II ー 1	1		
	インテンシブ中国語 II ー 2	1		
	インテンシブ中国語 III ー 1	1		
	インテンシブ中国語 III ー 2	1		
	インテンシブ中国語 IV ー 1	1		
	インテンシブ中国語 IV ー 2	1		
	実 用 中 国 語 演 習 I		1	
	実 用 中 国 語 演 習 II		1	
	実 用 中 国 語 演 習 III		1	
	実 用 中 国 語 演 習 IV		1	
	発 展 英 語 ー 1		1	
	発 展 英 語 ー 2		1	
	中国語文章表現法 ー 1		1	
	中国語文章表現法 ー 2		1	
	中国語聴解・討論 ー 1		1	
	中国語聴解・討論 ー 2		1	
	ゼ ミ ナ ー ル ー 1	2		

第3類（杏林大学学則）

	ゼミナール－2	2		
	ゼミナール－3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専門科目 B	中国語学概論－1	2		
	中国語学概論－2	2		
	中国語音声学－1	2		
	中国語音声学－2	2		
	中国語コミュニケーション論－1	2		
	中国語コミュニケーション論－2	2		
	中国語通訳概論－1	2		
	中国語通訳概論－2	2		
	中国語翻訳概論－1	2		
	中国語翻訳概論－2	2		
	中国文学史－1		2	
	中国文学史－2		2	
	中国古典概説－1		2	
	中国古典概説－2		2	
	日中比較文化論Ⅰ－1		2	
	日中比較文化論Ⅰ－2		2	
	日中コミュニケーション研究－1		2	
	日中コミュニケーション研究－2		2	
	中国経済概論－1		2	
	中国経済概論－2		2	
	アジア経済論		2	
	中国政治外交論		2	
	実践中国語演習Ⅰ－1		1	
	実践中国語演習Ⅰ－2		1	
	実践中国語演習Ⅱ－1		1	
	実践中国語演習Ⅱ－2		1	
	実践中国語演習Ⅲ－1		1	
	実践中国語演習Ⅲ－2		1	
	実践中国語演習Ⅳ－1		1	
	実践中国語演習Ⅳ－2		1	
	時事中国語－1		1	
	時事中国語－2		1	

第3類（杏林大学学則）

	商 業 中 国 語 ー 1		1	
	商 業 中 国 語 ー 2		1	
専 門 関 連 科 目 A	比 較 文 化 論 I ー 1		2	
	比 較 文 化 論 I ー 2		2	
	比 較 文 化 論 II ー 1		2	
	比 較 文 化 論 II ー 2		2	
	地 域 圏 研 究 I ー 1		2	
	地 域 圏 研 究 I ー 2		2	
	地 域 圏 研 究 II ー 1		2	
	地 域 圏 研 究 II ー 2		2	
	地 域 圏 研 究 III ー 1		2	
	地 域 圏 研 究 III ー 2		2	
	地 域 圏 研 究 IV ー 1		2	
	地 域 圏 研 究 IV ー 2		2	
	地 域 圏 研 究 V ー 1		2	
	地 域 圏 研 究 V ー 2		2	
	地 域 圏 研 究 VI ー 1		2	
	地 域 圏 研 究 VI ー 2		2	
	国 際 関 係 論 I		2	
	国 際 関 係 論 II		2	
	経 済 原 論 I		2	
	経 済 原 論 II		2	
	西 洋 史 ー 1		2	
	西 洋 史 ー 2		2	
	中 国 史 ー 1		2	
	中 国 史 ー 2		2	
	日 本 史 ー 1		2	
	日 本 史 ー 2		2	
	言 語 学 ー 1		2	
	言 語 学 ー 2		2	
	言 語 と 文 化 ー 1		2	
	言 語 と 文 化 ー 2		2	
	神 話 学 ー 1		2	
	神 話 学 ー 2		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	

第3類（杏林大学学則）

	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英語総合講座-1		2	
	英語総合講座-2		2	
	英語特論-1		2	
	英語特論-2		2	
	コミュニケーション概論-1	2		
	コミュニケーション概論-2	2		
	基礎演習-1	1		
	基礎演習-2	1		
	キャリア指導Ⅰ-1	1		
	キャリア指導Ⅰ-2	1		
	キャリア指導Ⅱ-1	1		
	キャリア指導Ⅱ-2	1		
	ホスピタリティ実習-1	1		
	ホスピタリティ実習-2	1		
	インターンシップⅠ		1	
	インターンシップⅡ		1	
	インターンシップⅢ		1	
	インターンシップⅣ		1	
専門 関 連 科 目 B	ドイツ語Ⅰ-1		1	
	ドイツ語Ⅰ-2		1	
	ドイツ語Ⅱ-1		1	
	ドイツ語Ⅱ-2		1	
	ドイツ語Ⅲ-1		1	
	ドイツ語Ⅲ-2		1	
	フランス語Ⅰ-1		1	
	フランス語Ⅰ-2		1	
	フランス語Ⅱ-1		1	
	フランス語Ⅱ-2		1	
	フランス語Ⅲ-1		1	
	フランス語Ⅲ-2		1	
	スペイン語Ⅰ-1		1	
	スペイン語Ⅰ-2		1	
	スペイン語Ⅱ-1		1	
	スペイン語Ⅱ-2		1	

第3類（杏林大学学則）

	ス ペ イ ン 語 III - 1		1	
	ス ペ イ ン 語 III - 2		1	
	イ ン ド ネ シ ア 語 I - 1		1	
	イ ン ド ネ シ ア 語 I - 2		1	
	イ ン ド ネ シ ア 語 II - 1		1	
	イ ン ド ネ シ ア 語 II - 2		1	
	イ ン ド ネ シ ア 語 III - 1		1	
	イ ン ド ネ シ ア 語 III - 2		1	
	韓 国 語 I - 1		1	
	韓 国 語 I - 2		1	
	韓 国 語 II - 1		1	
	韓 国 語 II - 2		1	
	韓 国 語 III - 1		1	
	韓 国 語 III - 2		1	
	口 語 英 語 I - 1		1	
	口 語 英 語 I - 2		1	
	口 語 英 語 II - 1		1	
	口 語 英 語 II - 2		1	
	口 語 英 語 III - 1		1	
	口 語 英 語 III - 2		1	
	口 語 英 語 IV - 1		1	
	口 語 英 語 IV - 2		1	
	口 語 中 国 語 I - 1		1	
	口 語 中 国 語 I - 2		1	
	口 語 中 国 語 II - 1		1	
	口 語 中 国 語 II - 2		1	
	口 語 中 国 語 III - 1		1	
	口 語 中 国 語 III - 2		1	
	口 語 中 国 語 IV - 1		1	
	口 語 中 国 語 IV - 2		1	
専 門 関 連	哲 学 - 1		2	
	哲 学 - 2		2	
	宗 教 学 - 1		2	
	宗 教 学 - 2		2	
	歴 史 学 - 1		2	
	歴 史 学 - 2		2	

第3類（杏林大学学則）

科目 C	文	学	—	1	2				
	文	学	—	2	2				
	音	楽	—	1	2				
	音	楽	—	2	2				
	日	本	国	憲	法	2			
	法				学	2			
	政	治	学	—	1	2			
	政	治	学	—	2	2			
	地	理	学	—	1	2			
	地	理	学	—	2	2			
	経	済	学	—	1	2			
	経	済	学	—	2	2			
	数	学	—	1	2				
	数	学	—	2	2				
	物	理	学	—	1	2			
	物	理	学	—	2	2			
	化	学	—	1	2				
	化	学	—	2	2				
	生	物	学	—	1	2			
	生	物	学	—	2	2			
	健	康	科	学	2				
	食と健康のエコロジー				2				
	心	理	学	—	1	2			
	心	理	学	—	2	2			
	統	計	学	—	1	2			
	統	計	学	—	2	2			
	情	報	処	理	2				
	体	育	理	論	2				
	体	育	実	技	—	1			
	体	育	実	技	—	2			
専門	日	本	語	教	育	概	説	2	
	日	本	語	教	授	法	概	論	2
	日	本	語	学	概	論	2		
	日	本	語	音	声	学	2		
	日	本	語	文	法	論	2		

第3類（杏林大学学則）

関連科目目D	日本語意味論		2	
	日本語教材教具論		2	
	試験と評価		2	
	日本語語彙論		2	
	日本語文字表記概説		2	
	日本語史		2	
	日本人の言語行動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	日本語教授法演習		1	
	日本語教育実習		1	
	日本語学演習		1	
	日本語教育演習		1	
専門科目 関連E	他学部 の 設置 科目			
自由科目				

観光交流文化学科

授業科目の名称						単位数		備考
						必修	選択	
専門外国語科目	英語	I	—	1	1			英語及び中国語8単位、又は英語及び韓国語8単位(留学生は日本語8単位) 必修16単位
	英語	I	—	2	1			
	英語	II	—	1	1			
	英語	II	—	2	1			
	英語	III	—	1	1			
	英語	III	—	2	1			
	英語	IV	—	1	1			
	英語	IV	—	2	1			
	中国語	I	—	1			1	
	中国語	I	—	2			1	
	中国語	II	—	1			1	
	中国語	II	—	2			1	
	中国語	III	—	1			1	

第3類（杏林大学学則）

中国語Ⅲ－2	1
中国語Ⅳ－1	1
中国語Ⅳ－2	1
韓国語Ⅰ－1	1
韓国語Ⅰ－2	1
韓国語Ⅱ－1	1
韓国語Ⅱ－2	1
韓国語Ⅲ－1	1
韓国語Ⅲ－2	1
韓国語Ⅳ－1	1
韓国語Ⅳ－2	1
日本語Ⅰ－1	1
日本語Ⅰ－2	1
日本語Ⅱ－1	1
日本語Ⅱ－2	1
日本語Ⅲ－1	1
日本語Ⅲ－2	1
日本語Ⅳ－1	1
日本語Ⅳ－2	1
日本語Ⅴ－1	1
日本語Ⅴ－2	1
日本語Ⅵ－1	1
日本語Ⅵ－2	1
日本語Ⅶ－1	1
日本語Ⅶ－2	1
インテンシブ中国語Ⅰ－1	1
インテンシブ中国語Ⅰ－2	1
インテンシブ中国語Ⅱ－1	1
インテンシブ中国語Ⅱ－2	1
インテンシブ中国語Ⅲ－1	1
インテンシブ中国語Ⅲ－2	1
インテンシブ中国語Ⅳ－1	1
インテンシブ中国語Ⅳ－2	1
観光交流文化論	2
ホスピタリティ論	2

第3類（杏林大学学則）

専門科目 A	国際観光論	2			
	交流文化論	2			
	異文化コミュニケーション論	2			
	サービス文化論	2			
	サービス日本語	2			
	紀行文文学論		2		
	観光メディア論		2		
	観光心理学		2		
	観光人類学		2		
	観光地理学		2		
	観光保健論		2		
	福祉観光論		2		
	観光マーケティング論		2		
	キャリアデザインⅠ	2			
	キャリアデザインⅡ	2			
	基礎英語Ⅰ－1	1			
	基礎英語Ⅰ－2	1			
	基礎英語Ⅱ－1	1			
	基礎英語Ⅱ－2	1			
	観光英語Ⅰ－1	1			
	観光英語Ⅰ－2	1			
	観光英語Ⅱ－1	1			
	観光英語Ⅱ－2	1			
	観光中国語－1		1		
	観光中国語－2		1		
	観光韓国語－1		1		
	観光韓国語－2		1		
	観光手話基礎		1		
	観光手話		1		
	実用英語－1	1			
	実用英語－2	1			
	観光基礎演習－1	1			
	観光基礎演習－2	1			
	ゼミナール－1	2			
	ゼミナール－2	2			
	ゼミナール－3	2			

8単位以上

観光中国語－1・2（各1単位）又は観光韓国語－1・2（各1単位）のどちらかを選択必修

第3類（杏林大学学則）

	卒業論文・課題指導		4	
専門科目 B	サービス産業論	2		
	ファシリテーション論	2		
	ファシリテーション実習	1		
	航空産業論		2	
	航空サービス論		2	
	宿泊産業論		2	
	宿泊サービス論		2	
	外食産業論		2	
	外食サービス論		2	
	旅行産業論		2	
	旅行サービス論		2	
	ホスピタリティマネジメント論		2	
	観光政策・行政論		2	
	風景・景観論		2	
	イベント・コンベンション論		2	
	エンターテインメント産業論		2	
	ツアーガイド論		2	
	ブライダルコーディネート論		2	
	多摩八王子観光論		2	
	世界遺産観光論		2	
	旅行医学概論		2	
	サービス衛生論		2	
	観光交流文化特論Ⅰ		2	
	観光交流文化特論Ⅱ		2	
	観光交流文化特論Ⅲ		2	
	観光交流文化特論Ⅳ		2	
	観光交流文化特論Ⅴ		2	
	観光交流文化特論Ⅵ		2	
専門 関 連	比較文化論Ⅰ－1		2	
	比較文化論Ⅰ－2		2	
	比較文化論Ⅱ－1		2	
	比較文化論Ⅱ－2		2	
	アメリカ社会論－1		2	
	アメリカ社会論－2		2	

第3類（杏林大学学則）

科目 A	中国事情	2	
	韓国事情	2	
	地域圏研究Ⅰ－1	2	
	地域圏研究Ⅰ－2	2	
	地域圏研究Ⅱ－1	2	
	地域圏研究Ⅱ－2	2	
	地域圏研究Ⅲ－1	2	
	地域圏研究Ⅲ－2	2	
	地域圏研究Ⅳ－1	2	
	地域圏研究Ⅳ－2	2	
	地域圏研究Ⅴ－1	2	
	地域圏研究Ⅴ－2	2	
	地域圏研究Ⅵ－1	2	
	地域圏研究Ⅵ－2	2	
	国際関係論Ⅰ	2	
	国際関係論Ⅱ	2	
	経済原論Ⅰ	2	
	経済原論Ⅱ	2	
	西洋史－1	2	
	西洋史－2	2	
	中国史－1	2	
	中国史－2	2	
	日本史－1	2	
	日本史－2	2	
	言語学－1	2	
	言語学－2	2	
	言語と文化－1	2	
	言語と文化－2	2	
	日中文化交流史－1	2	
	日中文化交流史－2	2	
	日韓文化交流史－1	2	
	日韓文化交流史－2	2	
	神話学	2	
	文化人類学	2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論－1	2	

第3類（杏林大学学則）

	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英語総合講座-1		2	
	英語総合講座-2		2	
	英語特論-1		2	
	英語特論-2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	基礎演習-1	1		
	基礎演習-2	1		
	キャリア指導Ⅰ-1	1		
	キャリア指導Ⅰ-2	1		
	キャリア指導Ⅱ-1	1		
	キャリア指導Ⅱ-2	1		
	ホスピタリティ実習-1	1		
	ホスピタリティ実習-2	1		
	インターンシップⅠ		1	インターンシップⅠ～Ⅳ のうち1科目選択必修
	インターンシップⅡ		1	
	インターンシップⅢ		1	
	インターンシップⅣ		1	
専門 関 連 科 目 B	ドイツ語Ⅰ-1		1	
	ドイツ語Ⅰ-2		1	
	ドイツ語Ⅱ-1		1	
	ドイツ語Ⅱ-2		1	
	ドイツ語Ⅲ-1		1	
	ドイツ語Ⅲ-2		1	
	フランス語Ⅰ-1		1	
	フランス語Ⅰ-2		1	
	フランス語Ⅱ-1		1	
	フランス語Ⅱ-2		1	
	フランス語Ⅲ-1		1	
	フランス語Ⅲ-2		1	
	スペイン語Ⅰ-1		1	
	スペイン語Ⅰ-2		1	
	スペイン語Ⅱ-1		1	
	スペイン語Ⅱ-2		1	
	スペイン語Ⅲ-1		1	

第3類（杏林大学学則）

ス ペ イ ン 語 III - 2	1	
インドネシア語 I - 1	1	
インドネシア語 I - 2	1	
インドネシア語 II - 1	1	
インドネシア語 II - 2	1	
インドネシア語 III - 1	1	
インドネシア語 III - 2	1	
情 報 英 語 I	1	
情 報 英 語 II	1	
情 報 中 国 語 I	1	
情 報 中 国 語 II	1	
情 報 日 本 語	1	
口 語 英 語 I - 1	1	
口 語 英 語 I - 2	1	
口 語 英 語 II - 1	1	
口 語 英 語 II - 2	1	
口 語 英 語 III - 1	1	
口 語 英 語 III - 2	1	
口 語 英 語 IV - 1	1	
口 語 英 語 IV - 2	1	
口 語 英 語 V - 1	1	
口 語 英 語 V - 2	1	
中 国 語 演 習 I - 1	2	
中 国 語 演 習 I - 2	2	
中 国 語 演 習 II - 1	2	
中 国 語 演 習 II - 2	2	
中 国 語 演 習 III - 1	2	
中 国 語 演 習 III - 2	2	
中 国 語 実 習 I - 1	1	
中 国 語 実 習 I - 2	1	
中 国 語 実 習 II - 1	1	
中 国 語 実 習 II - 2	1	
中 国 語 実 習 III - 1	1	
中 国 語 実 習 III - 2	1	
哲 学 - 1	2	
哲 学 - 2	2	

第3類（杏林大学学則）

専門 関連 科目 C	宗 教 学	—	1	2
	宗 教 学	—	2	2
	歴 史 学	—	1	2
	歴 史 学	—	2	2
	文 学	—	1	2
	文 学	—	2	2
	音 楽	—	1	2
	音 楽	—	2	2
	日 本 国 憲 法 学			2
	法 学			2
	政 治 学	—	1	2
	政 治 学	—	2	2
	地 理 学	—	1	2
	地 理 学	—	2	2
	経 済 学	—	1	2
	経 済 学	—	2	2
	数 学	—	1	2
	数 学	—	2	2
	物 理 学	—	1	2
	物 理 学	—	2	2
	化 学	—	1	2
	化 学	—	2	2
	生 物 学	—	1	2
	生 物 学	—	2	2
	健 康 科 学			2
	食 と 健 康 の エ コ ロ ジ ー			2
	心 理 学	—	1	2
	心 理 学	—	2	2
	統 計 学	—	1	2
	統 計 学	—	2	2
	情 報 処 理			2
	体 育 理 論			1
	体 育 実 技	—	1	1
	体 育 実 技	—	2	1
	日 本 語 教 育 概 説			2

第3類（杏林大学学則）

専門 関連 科目 D	日本語教授法概論		2	
	日本語学概論		2	
	日本語音声学		2	
	日本語文法論		2	
	日本語意味論		2	
	日本語教材教具論		2	
	試験と評価		2	
	日本語語彙論		2	
	日本語文字表記概説		2	
	日本語史		2	
	日本人の言語行動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	日本語教授法演習		1	
	日本語教育実習		1	
専門 関連 科目 E	日本語学演習		1	
	日本語教育演習		1	
専科 目 連 E	他学部設置科目			
自由 科目				

第3類（杏林大学学則）

別表4－2（平成26年度入学生から適用）

外国語学部学科目構成

英語学科

授 業 科 目 の 名 称						単 位 数		備 考
						必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語 I	—	1	1		1		英語及び中国語（留学生 は日本語から4単位選択） 必修12単位
	英 語 I	—	2	1		1		
	英 語 II	—	1	1		1		
	英 語 II	—	2	1		1		
	英 語 III	—	1	1		1		
	英 語 III	—	2	1		1		
	英 語 IV	—	1	1		1		
	英 語 IV	—	2	1		1		
	中 国 語 I	—	1	1		1		
	中 国 語 I	—	2	1		1		
	中 国 語 II	—	1	1		1		
	中 国 語 II	—	2	1		1		
	中 国 語 III	—	1		1			
	中 国 語 III	—	2		1			
	中 国 語 IV	—	1		1			
	中 国 語 IV	—	2		1			
	日 本 語 I	—	1		1			
	日 本 語 I	—	2		1			
	日 本 語 II	—	1		1			
	日 本 語 II	—	2		1			
	日 本 語 III	—	1		1			
	日 本 語 III	—	2		1			
	日 本 語 IV	—	1		1			
	日 本 語 IV	—	2		1			
専 門 科	英 語 学	—	1	2		2		
	英 語 学	—	2	2		2		
	英 語 史	—	1		2			
	英 語 史	—	2		2			
	日 米 比 較 文 化 概 論				2			

第3類（杏林大学学則）

目	ヨーロッパの社会と文化			2	
A	英米文化論			2	
	英米文学			2	
	児童文学論			2	
	社会言語学－1			2	
	社会言語学－2			2	
	対照言語学－1			2	
	対照言語学－2			2	
	認知言語学－1			2	
	認知言語学－2			2	
	アメリカ近現代史概説			2	
	ヨーロッパ近現代史概説			2	
	グローバル人材論			2	
	グローバルシチズンシップ論			2	
	アジアン・ホスピタリティ論			2	
	交流フィールドワーク			1	
	英語文法Ⅰ－1	1			
	英語文法Ⅰ－2	1			
	英語文法Ⅱ－1		1		
	英語文法Ⅱ－2		1		
	英語会話－1	1			
	英語会話－2	1			
	実用英語Ⅰ			1	
	実用英語Ⅱ			1	
	英語作文－1	1			
	英語作文－2	1			
	現代英語購読Ⅰ－1	1			
	現代英語購読Ⅰ－2	1			
	現代英語購読Ⅱ－1		1		
	現代英語購読Ⅱ－2		1		
	実用英語演習Ⅰ	1			
	実用英語演習Ⅱ	1			
	実用英語演習Ⅲ	1			
	実用英語演習Ⅳ	1			
	ゼミナール－1	2			
	ゼミナール－2	2			
	ゼミナール－3	2			

第3類（杏林大学学則）

	卒業論文・課題指導		4	
専門科目 B	国際コミュニケーション論	2		英語ビジネスコミュニケーションコース
	グローバルビジネス論－1	2		
	グローバルビジネス論－2	2		
	現代北米ビジネス事情		2	
	現代ヨーロッパビジネス事情		2	
	マーケティング総論		2	
	アメリカ経済論		2	
	アメリカ政治外交論		2	
	ヨーロッパ経済論		2	
	ヨーロッパ政治外交論		2	
	ビジネスイングリッシュⅠ	1		
	ビジネスイングリッシュⅡ	1		
	ビジネスイングリッシュⅢ	1		
	ビジネスイングリッシュⅣ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅱ		1	
専門科目 C	英語教育論－1	2		英語教育コース
	英語教育論－2	2		
	英語音声学－1	2		
	英語音声学－2	2		
	英語音声学特論－1	2		
	英語音声学特論－2	2		
	英語学特論Ⅰ－1		2	
	英語学特論Ⅰ－2		2	
	英語学特論Ⅱ－1		2	
	英語学特論Ⅱ－2		2	
	英語科教育法－1		2	
	英語科教育法－2		2	
	児童英語教育論－1		2	
	児童英語教育論－2		2	
	児童英語教育教材研究		1	
	児童英語教育実習		1	
	英語発音聴取	1		
	英語文章表現法－1	1		
	英語文章表現法－2	1		

第3類（杏林大学学則）

	英語聴解・討論－1		1	
	英語聴解・討論－2		1	
専門 関連 科目 A	比較文化論Ⅰ－1		2	
	比較文化論Ⅰ－2		2	
	比較文化論Ⅱ－1		2	
	比較文化論Ⅱ－2		2	
	地域圏研究Ⅰ－1		2	
	地域圏研究Ⅰ－2		2	
	地域圏研究Ⅱ－1		2	
	地域圏研究Ⅱ－2		2	
	地域圏研究Ⅲ－1		2	
	地域圏研究Ⅲ－2		2	
	地域圏研究Ⅳ－1		2	
	地域圏研究Ⅳ－2		2	
	地域圏研究Ⅴ－1		2	
	地域圏研究Ⅴ－2		2	
	地域圏研究Ⅵ－1		2	
	地域圏研究Ⅵ－2		2	
	国際関係論Ⅰ		2	
	国際関係論Ⅱ		2	
	経済原論Ⅰ		2	
	経済原論Ⅱ		2	
	西洋史－1		2	
	西洋史－2		2	
	中国史－1		2	
	中国史－2		2	
	日本史－1		2	
	日本史－2		2	
	言語学－1		2	
	言語学－2		2	
	言語と文化－1		2	
	言語と文化－2		2	
	神話学－1		2	
	神話学－2		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論－1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論－2		2	

第3類（杏林大学学則）

	英語総合講座－1		2	
	英語総合講座－2		2	
	英語特論－1		2	
	英語特論－2		2	
	コミュニケーション概論－1	2		
	コミュニケーション概論－2	2		
	地域と大学	2		
	基礎演習－1	1		
	基礎演習－2	1		
	キャリア指導Ⅰ－1	1		
	キャリア指導Ⅰ－2	1		
	キャリア指導Ⅱ－1	1		
	キャリア指導Ⅱ－2	1		
	ホスピタリティ実習	1		
	プロジェクト演習Ⅰ		1	
	プロジェクト演習Ⅱ		1	
	インターンシップⅠ		1	
	インターンシップⅡ		1	
	インターンシップⅢ		1	
	インターンシップⅣ		1	
専門 関連 科目 B	ドイツ語Ⅰ－1		1	
	ドイツ語Ⅰ－2		1	
	ドイツ語Ⅱ－1		1	
	ドイツ語Ⅱ－2		1	
	ドイツ語Ⅲ－1		1	
	ドイツ語Ⅲ－2		1	
	フランス語Ⅰ－1		1	
	フランス語Ⅰ－2		1	
	フランス語Ⅱ－1		1	
	フランス語Ⅱ－2		1	
	フランス語Ⅲ－1		1	
	フランス語Ⅲ－2		1	
	スペイン語Ⅰ－1		1	
	スペイン語Ⅰ－2		1	
	スペイン語Ⅱ－1		1	
	スペイン語Ⅱ－2		1	

第3類（杏林大学学則）

	ス	ペ	イ	ン	語	Ⅲ	－	1	1		
	ス	ペ	イ	ン	語	Ⅲ	－	2	1		
	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	Ⅰ	－	1	1
	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	Ⅰ	－	2	1
	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	Ⅱ	－	1	1
	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	Ⅱ	－	2	1
	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	Ⅲ	－	1	1
	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	Ⅲ	－	2	1
	韓	国	語			Ⅰ	－	1	1		
	韓	国	語			Ⅰ	－	2	1		
	韓	国	語			Ⅱ	－	1	1		
	韓	国	語			Ⅱ	－	2	1		
	韓	国	語			Ⅲ	－	1	1		
	韓	国	語			Ⅲ	－	2	1		
	口	語	英	語		Ⅰ	－	1	1		
	口	語	英	語		Ⅰ	－	2	1		
	口	語	英	語		Ⅱ	－	1	1		
	口	語	英	語		Ⅱ	－	2	1		
	口	語	英	語		Ⅲ	－	1	1		
	口	語	英	語		Ⅲ	－	2	1		
	口	語	英	語		Ⅳ	－	1	1		
	口	語	英	語		Ⅳ	－	2	1		
	口	語	中	国	語	Ⅰ	－	1	1		
	口	語	中	国	語	Ⅰ	－	2	1		
	口	語	中	国	語	Ⅱ	－	1	1		
	口	語	中	国	語	Ⅱ	－	2	1		
	口	語	中	国	語	Ⅲ	－	1	1		
	口	語	中	国	語	Ⅲ	－	2	1		
口	語	中	国	語	Ⅳ	－	1	1			
口	語	中	国	語	Ⅳ	－	2	1			
専 門 関 連	哲		学			－		1	2		
	哲		学			－		2	2		
	宗	教	学			－		1	2		
	宗	教	学			－		2	2		
	歴	史	学			－		1	2		
	歴	史	学			－		2	2		

第3類（杏林大学学則）

科目 C	文	学	—	1	2				
	文	学	—	2	2				
	音	楽	—	1	2				
	音	楽	—	2	2				
	日	本	国	憲	法	2			
	法				学	2			
	政	治	学	—	1	2			
	政	治	学	—	2	2			
	地	理	学	—	1	2			
	地	理	学	—	2	2			
	経	済	学	—	1	2			
	経	済	学	—	2	2			
	数	学	—	1	2				
	数	学	—	2	2				
	物	理	学	—	1	2			
	物	理	学	—	2	2			
	化	学	—	1	2				
	化	学	—	2	2				
	生	物	学	—	1	2			
	生	物	学	—	2	2			
	健	康	科		学	2			
	食と健康の	エ	コ	ロ	ジ	ー	2		
	心	理	学	—	1	2			
	心	理	学	—	2	2			
	統	計	学	—	1	2			
	統	計	学	—	2	2			
	情	報		処	理	2			
	体	育		理	論	2			
	体	育	実	技	—	1	1		
	体	育	実	技	—	2	1		
専門 関連	日	本	語	教	育	概	説	2	
	日	本	語	教	授	法	概	論	2
	日	本	語	学	概	論	2		
	日	本	語	音	声	学	2		
	日	本	語	文	法	論	2		
	日	本	語	意	味	論	2		

第3類（杏林大学学則）

科目 D	日本語教材教具論		2	
	試験と評価		2	
	日本語語彙論		2	
	日本語文字表記概説		2	
	日本語史		2	
	日本人の言語行動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	日本文化論		2	
	日本語教授法演習		1	
	日本語教育実習		1	
	日本語学演習		1	
	日本語教育演習		1	
	日本文化演習Ⅰ		1	
	日本文化演習Ⅱ		1	
	日本文化演習Ⅲ		1	
	日本語表現演習		1	
専科 門目 関連 連 E	他学部 の 設置 科目			
自科 由 目				

中国語学科

授業科目の名称						単位数		備考
						必修	選択	
専門 外国 語 科 目	英語Ⅰ	—	1	1				英語及び中国語（留学生 は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英語Ⅰ	—	2	1				
	英語Ⅱ	—	1	1				
	英語Ⅱ	—	2	1				
	英語Ⅲ	—	1	1				
	英語Ⅲ	—	2	1				
	英語Ⅳ	—	1	1				
	英語Ⅳ	—	2	1				
	中国語Ⅰ	—	1	1				

第3類（杏林大学学則）

	中国語 I	—	2	1		
	中国語 II	—	1	1		
	中国語 II	—	2	1		
	中国語 III	—	1	1		
	中国語 III	—	2	1		
	中国語 IV	—	1	1		
	中国語 IV	—	2	1		
	日本語 I	—	1		1	
	日本語 I	—	2		1	
	日本語 II	—	1		1	
	日本語 II	—	2		1	
	日本語 III	—	1		1	
	日本語 III	—	2		1	
	日本語 IV	—	1		1	
	日本語 IV	—	2		1	
	日本語 V	—	1		1	
	日本語 V	—	2		1	
	日本語 VI	—	1		1	
	日本語 VI	—	2		1	
	日本語 VII	—	1		1	
	日本語 VII	—	2		1	
専門科目 A	異文化コミュニケーション			2		
	日本文化論				2	
	インテンシブ中国語 I	—	1	1		
	インテンシブ中国語 I	—	2	1		
	インテンシブ中国語 II	—	1	1		
	インテンシブ中国語 II	—	2	1		
	インテンシブ中国語 III	—	1	1		
	インテンシブ中国語 III	—	2	1		
	インテンシブ中国語 IV	—	1	1		
	インテンシブ中国語 IV	—	2	1		
	実用中国語演習 I				1	
	実用中国語演習 II				1	
	実用中国語演習 III				1	
	実用中国語演習 IV				1	

第3類（杏林大学学則）

	発展英語－1		1	
	発展英語－2		1	
	中国語文章表現法－1		1	
	中国語文章表現法－2		1	
	中国語聴解・討論－1		1	
	中国語聴解・討論－2		1	
	グローバル人材論		2	
	グローバルシチズンシップ論		2	
	アジアン・ホスピタリティ論		2	
	交流フィールドワーク		1	
	ゼミナール－1	2		
	ゼミナール－2	2		
	ゼミナール－3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専門科目 B	中国語学概論－1	2		
	中国語学概論－2	2		
	中国語音声学－1	2		
	中国語音声学－2	2		
	中国語コミュニケーション論－1	2		
	中国語コミュニケーション論－2	2		
	中国語通訳概論－1	2		
	中国語通訳概論－2	2		
	中国語翻訳概論－1	2		
	中国語翻訳概論－2	2		
	中国文学史－1		2	
	中国文学史－2		2	
	中国古典概説－1		2	
	中国古典概説－2		2	
	日中比較文化論Ⅰ－1		2	
	日中比較文化論Ⅰ－2		2	
	日中コミュニケーション研究－1		2	
	日中コミュニケーション研究－2		2	
	中国経済概論－1		2	
	中国経済概論－2		2	

第3類（杏林大学学則）

	ア ジ ア 経 済 論	2	
	中 国 政 治 外 交 論	2	
	実践中国語演習Ⅰ－1	1	
	実践中国語演習Ⅰ－2	1	
	実践中国語演習Ⅱ－1	1	
	実践中国語演習Ⅱ－2	1	
	実践中国語演習Ⅲ－1	1	
	実践中国語演習Ⅲ－2	1	
	実践中国語演習Ⅳ－1	1	
	実践中国語演習Ⅳ－2	1	
	時 事 中 国 語 － 1	1	
	時 事 中 国 語 － 2	1	
	商 業 中 国 語 － 1	1	
	商 業 中 国 語 － 2	1	
専 門 関 連 科 目 A	比 較 文 化 論 Ⅰ － 1	2	
	比 較 文 化 論 Ⅰ － 2	2	
	比 較 文 化 論 Ⅱ － 1	2	
	比 較 文 化 論 Ⅱ － 2	2	
	地 域 圏 研 究 Ⅰ － 1	2	
	地 域 圏 研 究 Ⅰ － 2	2	
	地 域 圏 研 究 Ⅱ － 1	2	
	地 域 圏 研 究 Ⅱ － 2	2	
	地 域 圏 研 究 Ⅲ － 1	2	
	地 域 圏 研 究 Ⅲ － 2	2	
	地 域 圏 研 究 Ⅳ － 1	2	
	地 域 圏 研 究 Ⅳ － 2	2	
	地 域 圏 研 究 Ⅴ － 1	2	
	地 域 圏 研 究 Ⅴ － 2	2	
	地 域 圏 研 究 Ⅵ － 1	2	
	地 域 圏 研 究 Ⅵ － 2	2	
	国 際 関 係 論 Ⅰ	2	
	国 際 関 係 論 Ⅱ	2	
	経 済 原 論 Ⅰ	2	
	経 済 原 論 Ⅱ	2	
	西 洋 史 － 1	2	

第3類（杏林大学学則）

西	洋	史	－	2		2			
中	国	史	－	1		2			
中	国	史	－	2		2			
日	本	史	－	1		2			
日	本	史	－	2		2			
言	語	学	－	1		2			
言	語	学	－	2		2			
言	語	と	文	化	－	1			
言	語	と	文	化	－	2			
神	話	学	－	1		2			
神	話	学	－	2		2			
クリエイティブ・コミュニケーション論－1						2			
クリエイティブ・コミュニケーション論－2						2			
英	語	総	合	講	座	－	1		
英	語	総	合	講	座	－	2		
英	語	特	論	－	1		2		
英	語	特	論	－	2		2		
コミュニケーション概論－1					2				
コミュニケーション概論－2					2				
地 域 と 大 学					2				
基	礎	演	習	－	1	1			
基	礎	演	習	－	2	1			
キ	ャ	リ	ア	指	導	I	－	1	1
キ	ャ	リ	ア	指	導	I	－	2	1
キ	ャ	リ	ア	指	導	Ⅱ	－	1	1
キ	ャ	リ	ア	指	導	Ⅱ	－	2	1
ホスピタリティ実習－1					1				
ホスピタリティ実習－2					1				
プロジェクト演習Ⅰ						1			
プロジェクト演習Ⅱ						1			
インターンシップⅠ						1			
インターンシップⅡ						1			
インターンシップⅢ						1			
インターンシップⅣ						1			

第3類（杏林大学学則）

専門 関連 科目 B	ドイツ語 I	ー	1		1	
	ドイツ語 I	ー	2		1	
	ドイツ語 II	ー	1		1	
	ドイツ語 II	ー	2		1	
	ドイツ語 III	ー	1		1	
	ドイツ語 III	ー	2		1	
	フランス語 I	ー	1		1	
	フランス語 I	ー	2		1	
	フランス語 II	ー	1		1	
	フランス語 II	ー	2		1	
	フランス語 III	ー	1		1	
	フランス語 III	ー	2		1	
	スペイン語 I	ー	1		1	
	スペイン語 I	ー	2		1	
	スペイン語 II	ー	1		1	
	スペイン語 II	ー	2		1	
	スペイン語 III	ー	1		1	
	スペイン語 III	ー	2		1	
	インドネシア語 I	ー	1		1	
	インドネシア語 I	ー	2		1	
	インドネシア語 II	ー	1		1	
	インドネシア語 II	ー	2		1	
	インドネシア語 III	ー	1		1	
	インドネシア語 III	ー	2		1	
	韓国語 I	ー	1		1	
	韓国語 I	ー	2		1	
	韓国語 II	ー	1		1	
	韓国語 II	ー	2		1	
	韓国語 III	ー	1		1	
	韓国語 III	ー	2		1	
	口語英語 I	ー	1		1	
	口語英語 I	ー	2		1	
	口語英語 II	ー	1		1	
	口語英語 II	ー	2		1	

第 3 類 (杏林大学学則)

	口 語 英 語 III — 1	1	
	口 語 英 語 III — 2	1	
	口 語 英 語 IV — 1	1	
	口 語 英 語 IV — 2	1	
	口 語 中 国 語 I — 1	1	
	口 語 中 国 語 I — 2	1	
	口 語 中 国 語 II — 1	1	
	口 語 中 国 語 II — 2	1	
	口 語 中 国 語 III — 1	1	
	口 語 中 国 語 III — 2	1	
	口 語 中 国 語 IV — 1	1	
	口 語 中 国 語 IV — 2	1	
専 門 関 連 科 目 C	哲 学 — 1	2	
	哲 学 — 2	2	
	宗 教 学 — 1	2	
	宗 教 学 — 2	2	
	歴 史 学 — 1	2	
	歴 史 学 — 2	2	
	文 学 — 1	2	
	文 学 — 2	2	
	音 楽 — 1	2	
	音 楽 — 2	2	
	日 本 国 憲 法 学	2	
	法 学	2	
	政 治 学 — 1	2	
	政 治 学 — 2	2	
	地 理 学 — 1	2	
	地 理 学 — 2	2	
	経 済 学 — 1	2	
	経 済 学 — 2	2	
	数 学 — 1	2	
	数 学 — 2	2	
	物 理 学 — 1	2	
	物 理 学 — 2	2	
	化 学 — 1	2	
	化 学 — 2	2	

第3類（杏林大学学則）

	生 物 学 ー 1		2	
	生 物 学 ー 2		2	
	健 康 科 学		2	
	食 と 健 康 の エ コ ロ ジ ー		2	
	心 理 学 ー 1		2	
	心 理 学 ー 2		2	
	統 計 学 ー 1		2	
	統 計 学 ー 2		2	
	情 報 処 理		2	
	体 育 理 論		2	
	体 育 実 技 ー 1		1	
	体 育 実 技 ー 2		1	
専 門 関 連 科 目 D	日 本 語 教 育 概 説		2	
	日 本 語 教 授 法 概 論		2	
	日 本 語 学 概 論		2	
	日 本 語 音 声 学		2	
	日 本 語 文 法 論		2	
	日 本 語 意 味 論		2	
	日 本 語 教 材 教 具 論		2	
	試 験 と 評 価		2	
	日 本 語 語 彙 論		2	
	日 本 語 文 字 表 記 概 説		2	
	日 本 語 史		2	
	日 本 人 の 言 語 行 動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	日 本 語 教 授 法 演 習		1	
	日 本 語 教 育 実 習		1	
	日 本 語 学 演 習		1	
	日 本 語 教 育 演 習		1	
	日 本 文 化 演 習 I		1	
	日 本 文 化 演 習 II		1	
	日 本 文 化 演 習 III		1	
	日 本 語 表 現 演 習		1	
専 門 関 連 科 目 E	他 学 部 の 設 置 科 目			

第3類（杏林大学学則）

自 科 由 目				

観光交流文化学科

授 業 科 目 の 名 称						単 位 数		備 考
						必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語	I	—	1	1	1		英語及び中国語8単位、又は 英語及び韓国語8単位(留学生は日本語8単位) 必修16単位
	英 語	I	—	2	1			
	英 語	II	—	1	1			
	英 語	II	—	2	1			
	英 語	III	—	1	1			
	英 語	III	—	2	1			
	英 語	IV	—	1	1			
	英 語	IV	—	2	1			
	中 国 語	I	—	1			1	
	中 国 語	I	—	2			1	
	中 国 語	II	—	1			1	
	中 国 語	II	—	2			1	
	中 国 語	III	—	1			1	
	中 国 語	III	—	2			1	
	中 国 語	IV	—	1			1	
	中 国 語	IV	—	2			1	
	韓 国 語	I	—	1			1	
	韓 国 語	I	—	2			1	
	韓 国 語	II	—	1			1	
	韓 国 語	II	—	2			1	
	韓 国 語	III	—	1			1	
	韓 国 語	III	—	2			1	
	韓 国 語	IV	—	1			1	
	韓 国 語	IV	—	2			1	
	日 本 語	I	—	1			1	
	日 本 語	I	—	2			1	
	日 本 語	II	—	1			1	
	日 本 語	II	—	2			1	
	日 本 語	III	—	1			1	

第3類（杏林大学学則）

	日 本 語 III ー 2		1	
	日 本 語 IV ー 1		1	
	日 本 語 IV ー 2		1	
	日 本 語 V ー 1		1	
	日 本 語 V ー 2		1	
	日 本 語 VI ー 1		1	
	日 本 語 VI ー 2		1	
	日 本 語 VII ー 1		1	
	日 本 語 VII ー 2		1	
専 門 科 目 A	観 光 学 入 門	2		フィールドスタディー I～IV、および交流フ ィールドワークのうち 1科目選択必修
	ホ ス ピ タ リ テ ィ 論	2		
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ ー I		1	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ ー II		1	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ ー III		1	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ ー IV		1	
	交 流 フ ィ ー ル ド ワ ー ク		1	8単位以上
	国 際 観 光 論	2		
	交 流 文 化 論	2		
	日 本 語 表 現 論	2		
	文 章 表 現 法	2		
	異文化コミュニケーション論		2	
	サ ー ビ ス 文 化 論		2	
	観 光 心 理 学		2	
	観 光 人 類 学		2	
	観 光 地 理 学		2	
	観 光 保 健 論		2	
	福 祉 観 光 論		2	
	観 光 マ ー ケ テ ィ ン グ 論		2	
	キ ャ リ ア デ ザ イン I	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン II	2		
	英 語 文 法 I ー 1	1		
	英 語 文 法 I ー 2	1		
	英 語 文 法 II ー 1		1	
	英 語 文 法 II ー 2		1	
	英 語 会 話 ー 1	1		
	英 語 会 話 ー 2	1		

第3類（杏林大学学則）

	英語作文－1	1		
	英語作文－2	1		
	観光英語－1	1		
	観光英語－2	1		
	観光中国語－1		1	観光中国語－1・2（各1単位）又は観光韓国語－1・2（各1単位）のどちらかを選択必修
	観光中国語－2		1	
	観光韓国語－1		1	
	観光韓国語－2		1	
	観光手話基礎		1	
	観光手話		1	
	実用英語－1	1		
	実用英語－2	1		
	グローバル人材論		2	
	グローバルシチズンシップ論		2	
	アジアン・ホスピタリティ論		2	
	観光基礎演習－1	1		
	観光基礎演習－2	1		
	ゼミナール－1	2		
	ゼミナール－2	2		
	ゼミナール－3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専門科目B	サービス産業論	2		
	ファシリテーション論	2		
	ファシリテーション実習	1		
	航空産業論		2	
	航空サービス論		2	
	宿泊産業論		2	
	宿泊サービス論		2	
	外食産業論		2	
	外食サービス論		2	
	旅行産業論		2	
	旅行サービス論		2	
	ホスピタリティマネジメント論		2	
	観光政策・行政論		2	
	風景・景観論		2	
	イベント・コンベンション論		2	

第3類（杏林大学学則）

	エンターテインメント産業論	2	
	ブライダルコーディネート論	2	
	世界遺産観光論	2	
	旅行医学概論	2	
	サービス衛生論	2	
	リスクマネジメント論	2	
	観光交流文化特論Ⅰ	2	
	観光交流文化特論Ⅱ	2	
	観光交流文化特論Ⅲ	2	
	観光交流文化特論Ⅳ	2	
専門 関 連 科 目 A	比較文化論Ⅰ－1	2	
	比較文化論Ⅰ－2	2	
	比較文化論Ⅱ－1	2	
	比較文化論Ⅱ－2	2	
	地域圏研究Ⅰ－1	2	
	地域圏研究Ⅰ－2	2	
	地域圏研究Ⅱ－1	2	
	地域圏研究Ⅱ－2	2	
	地域圏研究Ⅲ－1	2	
	地域圏研究Ⅲ－2	2	
	地域圏研究Ⅳ－1	2	
	地域圏研究Ⅳ－2	2	
	地域圏研究Ⅴ－1	2	
	地域圏研究Ⅴ－2	2	
	地域圏研究Ⅵ－1	2	
	地域圏研究Ⅵ－2	2	
	国際関係論Ⅰ	2	
	国際関係論Ⅱ	2	
	経済原論Ⅰ	2	
	経済原論Ⅱ	2	
	西洋史－1	2	
	西洋史－2	2	
	中国史－1	2	
	中国史－2	2	
	日本史－1	2	

第3類（杏林大学学則）

	日 本 史	－	2		2	
	言 語 学	－	1		2	
	言 語 学	－	2		2	
	言 語 と 文 化	－	1		2	
	言 語 と 文 化	－	2		2	
	神 話 学	－	1		2	
	神 話 学	－	2		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論	－	1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論	－	2		2	
	英 語 総 合 講 座	－	1		2	
	英 語 総 合 講 座	－	2		2	
	英 語 特 論	－	1		2	
	英 語 特 論	－	2		2	
	コミュニケーション概論	－	1	2		
	コミュニケーション概論	－	2	2		
	地 域 と 大 学			2		
	基 礎 演 習	－	1	1		
	基 礎 演 習	－	2	1		
	キャリア指導	I	－	1	1	
	キャリア指導	I	－	2	1	
	キャリア指導	II	－	1	1	
	キャリア指導	II	－	2	1	
	ホスピタリティ実習			1		
	プロジェクト演習	I		1		
	プロジェクト演習	II		1		
	インターンシップ	I			1	インターンシップ I～IV のうち1科目選択必修
	インターンシップ	II			1	
	インターンシップ	III			1	
	インターンシップ	IV			1	
専 門 関 連	ド イ ツ 語	I	－	1	1	
	ド イ ツ 語	I	－	2	1	
	ド イ ツ 語	II	－	1	1	
	ド イ ツ 語	II	－	2	1	
	ド イ ツ 語	III	－	1	1	
	ド イ ツ 語	III	－	2	1	

第3類（杏林大学学則）

科目 B	フランス語 I	－	1	1
	フランス語 I	－	2	1
	フランス語 II	－	1	1
	フランス語 II	－	2	1
	フランス語 III	－	1	1
	フランス語 III	－	2	1
	スペイン語 I	－	1	1
	スペイン語 I	－	2	1
	スペイン語 II	－	1	1
	スペイン語 II	－	2	1
	スペイン語 III	－	1	1
	スペイン語 III	－	2	1
	インドネシア語 I	－	1	1
	インドネシア語 I	－	2	1
	インドネシア語 II	－	1	1
	インドネシア語 II	－	2	1
	インドネシア語 III	－	1	1
	インドネシア語 III	－	2	1
	口語英語 I	－	1	1
	口語英語 I	－	2	1
	口語英語 II	－	1	1
	口語英語 II	－	2	1
	口語英語 III	－	1	1
	口語英語 III	－	2	1
	口語英語 IV	－	1	1
	口語英語 IV	－	2	1
	口語中国語 I	－	1	1
	口語中国語 I	－	2	1
	口語中国語 II	－	1	1
	口語中国語 II	－	2	1
	口語中国語 III	－	1	1
	口語中国語 III	－	1	1
	口語中国語 IV	－	1	1
	口語中国語 IV	－	2	1
	哲学	－	1	2
	哲学	－	2	2

第3類（杏林大学学則）

専門 関連 科目 C	宗 教 学	—	1	2
	宗 教 学	—	2	2
	歴 史 学	—	1	2
	歴 史 学	—	2	2
	文 学	—	1	2
	文 学	—	2	2
	音 楽	—	1	2
	音 楽	—	2	2
	日 本 国 憲 法 学			2
	法 学			2
	政 治 学	—	1	2
	政 治 学	—	2	2
	地 理 学	—	1	2
	地 理 学	—	2	2
	経 済 学	—	1	2
	経 済 学	—	2	2
	数 学	—	1	2
	数 学	—	2	2
	物 理 学	—	1	2
	物 理 学	—	2	2
	化 学	—	1	2
	化 学	—	2	2
	生 物 学	—	1	2
	生 物 学	—	2	2
	健 康 科 学			2
	食 と 健 康 の エ コ ロ ジ ー			2
	心 理 学	—	1	2
	心 理 学	—	2	2
	統 計 学	—	1	2
	統 計 学	—	2	2
	情 報 処 理			2
	体 育 理 論			2
	体 育 実 技	—	1	1
	体 育 実 技	—	2	1
	日 本 語 教 育 概 説			2

第3類（杏林大学学則）

専門 関連 科目 D	日本語教授法概論		2	
	日本語学概論		2	
	日本語音声学		2	
	日本語文法論		2	
	日本語意味論		2	
	日本語教材教具論		2	
	試験と評価		2	
	日本語語彙論		2	
	日本語文字表記概説		2	
	日本語史		2	
	日本人の言語行動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	日本文化論		2	
	日本語教授法演習		1	
	日本語教育実習		1	
	日本語学演習		1	
	日本語教育演習		1	
	日本文化演習Ⅰ		1	
	日本文化演習Ⅱ		1	
	日本文化演習Ⅲ		1	
	日本語表現演習		1	
専門 関連 科目 E	他学部設置科目			
自由 科目				

第3類（杏林大学学則）

別表4－3（平成28年度入学生から適用）

外国語学部学科目構成

英語学科

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数		備 考
				必修	選択	
外国語科目A	英語	I		1		留学生等本学が指定する 学生は日本語6単位選択 必修
	英語	II		1		
	英語	III		1		
	英語	IV		1		
	英語	V		1		
	英語	VI		1		
	英語	VII		1		
	英語	VIII		1		
	英語文法	I		1		
	英語文法	II		1		
	英語作文	I		1		
	英語作文	II		1		
	実用英語	I		1		
	実用英語	II		1		
	実用英語	III		1		
	実用英語	IV		1		
	実用英語演習	I		1		
	実用英語演習	II		1		
	中国語	I		1		
	中国語	II		1		
	中国語	III		1		
	中国語	IV		1		
	中国語	V		1		
	中国語	VI		1		
	日本語	I			1	
	日本語	II			1	
	日本語	III			1	
	日本語	IV			1	
	日本語	V			1	
	日本語	VI			1	
	日本語	VII			1	
	日本語	VIII			1	

第3類（杏林大学学則）

外国語科目B	目的別英語演習Ⅰ	2	
	目的別英語演習Ⅱ	2	
	目的別英語演習Ⅲ	2	
	目的別英語演習Ⅳ	2	
	目的別英語演習Ⅴ	2	
	目的別英語演習Ⅵ	2	
	目的別英語演習Ⅶ	2	
	目的別中国語演習Ⅰ	2	
	目的別中国語演習Ⅱ	2	
	目的別中国語演習Ⅲ	2	
	目的別中国語演習Ⅳ	2	
	目的別中国語演習Ⅴ	2	
	韓国語Ⅰ	2	
	韓国語Ⅱ	2	
	韓国語Ⅲ	2	
	韓国語Ⅳ	2	
	ドイツ語Ⅰ	2	
	ドイツ語Ⅱ	2	
	ドイツ語Ⅲ	2	
	ドイツ語Ⅳ	2	
	フランス語Ⅰ	2	
	フランス語Ⅱ	2	
	フランス語Ⅲ	2	
	フランス語Ⅳ	2	
	スペイン語Ⅰ	2	
	スペイン語Ⅱ	2	
	スペイン語Ⅲ	2	
	スペイン語Ⅳ	2	
	口語英語Ⅰ	1	
	口語英語Ⅱ	1	
	口語英語Ⅲ	1	
	口語英語Ⅳ	1	
	口語英語Ⅴ	1	
	口語英語Ⅵ	1	
	口語英語Ⅶ	1	
	口語英語Ⅷ	1	

第3類（杏林大学学則）

		口 語 中 国 語 I		1	
		口 語 中 国 語 II		1	
		口 語 中 国 語 III		1	
		口 語 中 国 語 IV		1	
		口 語 中 国 語 V		1	
		口 語 中 国 語 VI		1	
		口 語 中 国 語 VII		1	
		口 語 中 国 語 VIII		1	
基 盤 教 育 科 目		大 学 入 門 I	1		
		大 学 入 門 II	1		
		日 本 語 表 現 実 習 I	1		
		日 本 語 表 現 実 習 II	1		
		グローバルコミュニケーション論	2		
		グ ロ ー バ ル 人 材 論	2		
		日 本 文 化 論	2		
		ホスピタリティ・コミュニケーション	1		
		地 域 と 大 学	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン I	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン II	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン III	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン IV	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン V	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン VI	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習		2	
		フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ I		2	
		フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ II		2	
		フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ III		2	
		フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ IV		2	
		フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ V		2	
		イ ン タ ー ン シ ッ プ I		1	
		イ ン タ ー ン シ ッ プ II		1	
		イ ン タ ー ン シ ッ プ III		1	
教 養 こ と		異文化コミュニケーション		2	
		こ と ば と 文 化		2	
		こ と ば と 社 会		2	
		言 語 の 歴 史 (英)		2	

第3類（杏林大学学則）

科目	ば	言語の歴史（中）		2	
	と	言語の歴史（日）		2	
文化	英	米	文	学	2
	児	童	文	学	2
		アジアの文学・文化（日）		2	
		アジアの文学・文化（中）		2	
		アジアの文学・文化（韓）		2	
グローバル社会と地域	グ	グローバル社会と国際協力		2	
	ロ	ダイバーシティ入門		2	
	バ	日本と世界の近現代史		2	
	ル	生活と法		2	
	社	日本国憲法		2	
	会	社会学		2	
	と	ミクロ経済学		2	
	地	マクロ経済学		2	
	域	統計学		2	
		観光学入門		2	
		マーケティング入門		2	
		ホスピタリティ入門		2	
		アジアン・ホスピタリティ		2	
		人文地理学		2	
		自然地理学		2	
		地域圏研究Ⅰ		2	
		地域圏研究Ⅱ		2	
		地域圏研究Ⅲ		2	
		地域圏研究Ⅳ		2	
		地域圏研究Ⅴ		2	
		地域圏研究Ⅵ		2	
人間と健康	哲	学		2	
	倫	理学		2	
	心	理学		2	
	宗	教		2	
	健	健康科学Ⅰ		2	
	健	健康科学Ⅱ		2	
	体	体育論		1	
	体	体育実技		1	

第3類（杏林大学学則）

日本語教育	ファシリテーション論		2	
	日本語学概論		2	
	日本語教育概論		2	
	日本語学特論Ⅰ		2	
	日本語学特論Ⅱ		2	
	日本語学特論Ⅲ		2	
	日本語学特論Ⅳ		2	
	日本語教育学特論Ⅰ		2	
	日本語教育学特論Ⅱ		2	
	日本語教育学特論Ⅲ		2	
	日本語教育学特論Ⅳ		2	
	日本語授業の実践Ⅰ		2	
	日本語授業の実践Ⅱ		2	
	日本語教育実習Ⅰ		1	
	日本語教育実習Ⅱ		1	
	日本文化演習Ⅰ		2	
	日本文化演習Ⅱ		2	
専門科目 （英語ビジネスコミュニケーション）	発展英文法		2	
	発展英語読解		2	
	発展英作文		2	
	発展英語聴解		2	
	ビジネスイングリッシュⅠ	2		
	ビジネスイングリッシュⅡ	2		
	グローバルビジネス論Ⅰ	2		
	グローバルビジネス論Ⅱ	2		
	ビジネスコミュニケーション論Ⅰ		2	
	ビジネスコミュニケーション論Ⅱ		2	
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ		2	
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅱ		2	
	Introduction to Business		2	
	Introduction to Economics		2	
	Business Cycle and Monetary Policy		2	
	現代企業論		2	
	経営戦略論		2	
	人材マネジメント論		2	
	国際会計論		2	

第3類（杏林大学学則）

シ ョ ン コ ー ス)	国 際 経 済 学 I		2	
	国 際 経 済 学 II		2	
	ア メ リ カ 政 治 論		2	
	ア メ リ カ 経 済 論		2	
	ヨ ー ロ ッ パ 政 治 論		2	
	ヨ ー ロ ッ パ 経 済 論		2	
	ア ジ ア 政 治 論		2	
	ア ジ ア 経 済 論		2	
	ゼ ミ ナ ー ル I	2		
	ゼ ミ ナ ー ル II	2		
専 門 科 目 （ 英 語 教 育 コ ー ス ）	ゼ ミ ナ ー ル III	2		4 単位以上
	卒 業 論 文 ・ 課 題 指 導		4	
	発 展 英 文 法		2	
	発 展 英 語 読 解		2	
	発 展 英 作 文		2	
	発 展 英 語 聴 解		2	
	英 語 発 音 聴 取	2		
	英 語 翻 訳 論		2	
	英 語 翻 訳 ワ ー ク シ ョ ッ プ		2	
	比 較 文 化 と 異 文 化 理 解		2	
	英 語 学 特 論 I		2	
	英 語 学 特 論 II		2	
	英 語 学 特 論 III		2	
	英 語 学 特 論 IV		2	
	英 語 学 演 習 I		2	
	英 語 学 演 習 II		2	
	英 語 学 演 習 III		2	
	英 語 学 演 習 IV		2	
	英 語 音 声 学	2		
	社 会 言 語 学		2	
	認 知 言 語 学		2	
	英 語 教 育 論 I	2		
	英 語 教 育 論 II	2		
	英 語 科 教 育 法 I		2	
	英 語 科 教 育 法 II		2	
	児 童 英 語 教 育 論 I		2	

第3類（杏林大学学則）

	児童英語教育論Ⅱ		2	
	児童英語教育教材研究		2	
	児童英語教育実習		1	
	英語教育演習Ⅰ		2	
	英語教育演習Ⅱ		2	
	情報処理		2	
	ゼミナールⅠ	2		
	ゼミナールⅡ	2		
	ゼミナールⅢ	2		
	卒業論文・課題指導		4	
関連科目	他学部 の 設置科目			
自由科目				

中国語学科

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数		備 考
				必修	選択	
外国語科目A	英語	I	1			留学生等本学が指定する 学生は日本語8単位必修
	英語	Ⅱ	1			
	英語	Ⅲ	1			
	英語	Ⅳ	1			
	英語	V	1			
	英語	Ⅵ	1			
	中国語	I	1			
	中国語	Ⅱ	1			
	中国語	Ⅲ	1			
	中国語	Ⅳ	1			
	中国語	V	1			
	中国語	Ⅵ	1			
	中国語	Ⅶ	1			
	中国語	Ⅷ	1			
	日本語	I			1	
	日本語	Ⅱ			1	
	日本語	Ⅲ			1	
	日本語	Ⅳ			1	
	日本語	V			1	

第3類（杏林大学学則）

	日 本 語 VI		1	
	日 本 語 VII		1	
	日 本 語 VIII		1	
外国語科目B	目的別英語演習 I		2	
	目的別英語演習 II		2	
	目的別英語演習 III		2	
	目的別英語演習 IV		2	
	目的別英語演習 V		2	
	目的別英語演習 VI		2	
	目的別英語演習 VII		2	
	目的別中国語演習 I		2	
	目的別中国語演習 II		2	
	目的別中国語演習 III		2	
	目的別中国語演習 IV		2	
	目的別中国語演習 V		2	
	韓 国 語 I		2	
	韓 国 語 II		2	
	韓 国 語 III		2	
	韓 国 語 IV		2	
	ド イ ツ 語 I		2	
	ド イ ツ 語 II		2	
	ド イ ツ 語 III		2	
	ド イ ツ 語 IV		2	
	フ ラ ン ス 語 I		2	
	フ ラ ン ス 語 II		2	
	フ ラ ン ス 語 III		2	
	フ ラ ン ス 語 IV		2	
	ス ペ イ ン 語 I		2	
	ス ペ イ ン 語 II		2	
	ス ペ イ ン 語 III		2	
	ス ペ イ ン 語 IV		2	
	口 語 英 語 I		1	
	口 語 英 語 II		1	
	口 語 英 語 III		1	
	口 語 英 語 IV		1	
	口 語 英 語 V		1	

第3類（杏林大学学則）

	口 語 英 語 VI		1	
	口 語 英 語 VII		1	
	口 語 英 語 VIII		1	
	口 語 中 国 語 I		1	
	口 語 中 国 語 II		1	
	口 語 中 国 語 III		1	
	口 語 中 国 語 IV		1	
	口 語 中 国 語 V		1	
	口 語 中 国 語 VI		1	
	口 語 中 国 語 VII		1	
	口 語 中 国 語 VIII		1	
基 盤 教 育 科 目	大 学 入 門 I	1		
	大 学 入 門 II	1		
	日 本 語 表 現 実 習 I	1		
	日 本 語 表 現 実 習 II	1		
	グローバルコミュニケーション論	2		
	グ ロ ー バ ル 人 材 論	2		
	日 本 文 化 論	2		
	ホスピタリティ・コミュニケーション	1		
	地 域 と 大 学	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン I	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン II	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン III	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン IV	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン V	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン VI	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン 演 習		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ I		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ II		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ III		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ IV		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ V		2	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ I		1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ II		1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ III		1	
	異文化コミュニケーション		2	

第3類（杏林大学学則）

教 養 科 目	こ と ば と 文 化	2		
	こ こ と ば と 社 会	2		
	こ 言 語 の 歴 史 (英)	2		
	ば 言 語 の 歴 史 (中)	2		
	と 言 語 の 歴 史 (日)	2		
	文 英 米 文 学	2		
	化 児 童 文 学	2		
	アジアの文学・文化(日)	2		
	アジアの文学・文化(中)	2		
	アジアの文学・文化(韓)	2		
	グ ロ ー バ ル 社 会 と 地 域	グローバル社会と国際協力	2	
		ダイバーシティ入門	2	
		日本と世界の近現代史	2	
		生 活 と 法	2	
		日 本 国 憲 法	2	
		社 会 学	2	
		ミ ク ロ 経 済 学	2	
		マ ク ロ 経 済 学	2	
		統 計 学	2	
観 光 学 入 門		2		
マ ー ケ テ ィ ン グ 入 門		2		
ホ ス ピ タ リ テ ィ 入 門		2		
アジアン・ホスピタリティ		2		
人 文 地 理 学		2		
自 然 地 理 学		2		
地 域 圏 研 究 I	2			
地 域 圏 研 究 II	2			
地 域 圏 研 究 III	2			
地 域 圏 研 究 IV	2			
地 域 圏 研 究 V	2			
地 域 圏 研 究 VI	2			
人 間 と	哲 学	2		
	倫 理 学	2		
	心 理 学	2		
	宗 教 学	2		
	健 康 科 学 I	2		

第3類（杏林大学学則）

	健康	健康科学Ⅱ		2	
		体育理論		1	
		体育実技		1	
日本語教育		ファシリテーション論		2	
		日本語学概論		2	
		日本語教育概論		2	
		日本語学特論Ⅰ		2	
		日本語学特論Ⅱ		2	
		日本語学特論Ⅲ		2	
		日本語学特論Ⅳ		2	
		日本語教育学特論Ⅰ		2	
		日本語教育学特論Ⅱ		2	
		日本語教育学特論Ⅲ		2	
		日本語教育学特論Ⅳ		2	
		日本語授業の実践Ⅰ		2	
		日本語授業の実践Ⅱ		2	
		日本語教育実習Ⅰ		1	
		日本語教育実習Ⅱ		1	
		日本文化演習Ⅰ		2	
		日本文化演習Ⅱ		2	
専門科目		インテンシブ中国語Ⅰ		1	
		インテンシブ中国語Ⅱ		1	
		インテンシブ中国語Ⅲ		1	
		インテンシブ中国語Ⅳ		1	
		インテンシブ中国語Ⅴ		1	
		インテンシブ中国語Ⅵ		1	
		インテンシブ中国語Ⅶ		1	
		インテンシブ中国語Ⅷ		1	
		中国語発音実習Ⅰ		1	
		中国語発音実習Ⅱ		1	
		ビジネス中国語Ⅰ		2	
		ビジネス中国語Ⅱ		2	
		中国語通訳法Ⅰ		2	
		中国語通訳法Ⅱ		2	
		中国語翻訳法Ⅰ		2	
		中国語翻訳法Ⅱ		2	
					4単位以上

第3類（杏林大学学則）

	中国語演習Ⅰ		2	
	中国語演習Ⅱ		2	
	中国語演習Ⅲ		2	
	中国語演習Ⅳ		2	
	日中通訳・翻訳演習Ⅰ		2	
	日中通訳・翻訳演習Ⅱ		2	
	日中通訳・翻訳演習Ⅲ		2	
	日中通訳・翻訳演習Ⅳ		2	
	中国語学概論	2		
	中国語文法論	2		
	中国語音声学		2	
	中国文学史Ⅰ		2	
	中国文学史Ⅱ		2	
	日中比較文化論Ⅰ	2		
	日中比較文化論Ⅱ	2		
	アジア政治論		2	
	アジア経済論		2	
	中国経済概論		2	
	中国語翻訳ワークショップ		2	
	認知言語学		2	
	中国語ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ		2	
	中国語ビジネスコミュニケーション演習Ⅱ		2	
	ゼミナールⅠ	2		
	ゼミナールⅡ	2		
	ゼミナールⅢ	2		
	卒業論文・課題指導		4	
関連科目	他学部設置科目			
自由科目				

観光交流文化学科

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数		備 考
				必修	選択	
	英 語	I	1		留学生等本学が指定する 学生は日本語 6 単位選択 必修	
	英 語	II	1			
	英 語	III	1			

第 3 類（杏林大学学則）

外国語科目 A	英語	IV	1		
	英語	V	1		
	英語	VI	1		
	英語	VII	1		
	英語	VIII	1		
	英語 文 法	I		1	
	英語 文 法	II		1	
	英語 作文	I		1	
	英語 作文	II		1	
	実用英語	I	1		
	実用英語	II	1		
	実用英語	III	1		
	実用英語	IV	1		
	実用英語 演習	I	1		
	実用英語 演習	II	1		
	中国語	I	1		
	中国語	II	1		
	中国語	III	1		
	中国語	IV	1		
	中国語	V	1		
	中国語	VI	1		
	日本語	I		1	
	日本語	II		1	
	日本語	III		1	
	日本語	IV		1	
	日本語	V		1	
	日本語	VI		1	
	日本語	VII		1	
	日本語	VIII		1	
外国語科目 B	目的別英語演習	I		2	
	目的別英語演習	II		2	
	目的別英語演習	III		2	
	目的別英語演習	IV		2	
	目的別英語演習	V		2	
	目的別英語演習	VI		2	
	目的別英語演習	VII		2	

第3類（杏林大学学則）

目的別中国語演習Ⅰ	2	
目的別中国語演習Ⅱ	2	
目的別中国語演習Ⅲ	2	
目的別中国語演習Ⅳ	2	
目的別中国語演習Ⅴ	2	
韓国語Ⅰ	2	
韓国語Ⅱ	2	
韓国語Ⅲ	2	
韓国語Ⅳ	2	
ドイツ語Ⅰ	2	
ドイツ語Ⅱ	2	
ドイツ語Ⅲ	2	
ドイツ語Ⅳ	2	
フランス語Ⅰ	2	
フランス語Ⅱ	2	
フランス語Ⅲ	2	
フランス語Ⅳ	2	
スペイン語Ⅰ	2	
スペイン語Ⅱ	2	
スペイン語Ⅲ	2	
スペイン語Ⅳ	2	
英語Ⅰ	1	
英語Ⅱ	1	
英語Ⅲ	1	
英語Ⅳ	1	
英語Ⅴ	1	
英語Ⅵ	1	
英語Ⅶ	1	
英語Ⅷ	1	
中国語Ⅰ	1	
中国語Ⅱ	1	
中国語Ⅲ	1	
中国語Ⅳ	1	
中国語Ⅴ	1	
中国語Ⅵ	1	
中国語Ⅶ	1	

第3類（杏林大学学則）

	口 語 中 国 語 VIII		1	
基 盤 教 育 科 目	大 学 入 門 I	1		2 単位以上
	大 学 入 門 II	1		
	日 本 語 表 現 実 習 I	1		
	日 本 語 表 現 実 習 II	1		
	グローバルコミュニケーション論	2		
	グ ロ ー バ ル 人 材 論	2		
	日 本 文 化 論	2		
	ホスピタリティ・コミュニケーション	1		
	地 域 と 大 学	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン I	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン II	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン III	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン IV	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン V	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン VI	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ I		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ II		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ III		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ IV		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ V		2	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ I		1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ II		1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ III		1	
教 養 科 目	異文化コミュニケーション		2	
	こ と ば と 文 化		2	
	こ と ば と 社 会		2	
	言 語 の 歴 史 (英)		2	
	言 語 の 歴 史 (中)		2	
	言 語 の 歴 史 (日)		2	
	英 米 文 学		2	
	児 童 文 学		2	
	アジアの文学・文化(日)		2	
	アジアの文学・文化(中)		2	
	アジアの文学・文化(韓)		2	

第3類（杏林大学学則）

グローバル社会と地域	グローバル社会と国際協力		2	
	ダイバーシティ入門		2	
	日本と世界の近現代史		2	
	生活と法		2	
	日本国憲法学		2	
	社会		2	
	ミクロ経済学		2	
	マクロ経済学		2	
	統計学		2	
	観光学入門	2		
	マーケティング入門		2	
	ホスピタリティ入門	2		
	アジアン・ホスピタリティ		2	
	人文地理学		2	
	自然地理学		2	
	地域圏研究Ⅰ		2	
	地域圏研究Ⅱ		2	
人間と健康	地域圏研究Ⅲ		2	
	地域圏研究Ⅳ		2	
	地域圏研究Ⅴ		2	
	地域圏研究Ⅵ		2	
	哲学		2	
	倫理学		2	
	心理学		2	
健康	宗教学		2	
	健康科学Ⅰ		2	
	健康科学Ⅱ		2	
	体育理論		1	
	体育実技		1	
日本語教育	ファッション論		2	
	日本語学概論		2	
	日本語教育概論		2	
	日本語学特論Ⅰ		2	
	日本語学特論Ⅱ		2	
	日本語学特論Ⅲ		2	
	日本語学特論Ⅳ		2	

第3類（杏林大学学則）

	日本語教育学特論Ⅰ		2	
	日本語教育学特論Ⅱ		2	
	日本語教育学特論Ⅲ		2	
	日本語教育学特論Ⅳ		2	
	日本語授業の実際Ⅰ		2	
	日本語授業の実際Ⅱ		2	
	日本語教育実習Ⅰ		1	
	日本語教育実習Ⅱ		1	
	日本文化演習Ⅰ		2	
	日本文化演習Ⅱ		2	
専門科目 A	国際観光論		2	
	交流文化論		2	
	サービス文化論		2	
	観光心理学		2	
	観光人類学		2	
	観光地理学		2	
	観光保健論		2	
	福祉観光論		2	
	観光マーケティング論		2	
	観光英語Ⅰ	2		
	観光英語Ⅱ	2		
	観光英語Ⅲ		2	
	観光英語Ⅳ		2	
	観光中国語Ⅰ		2	
	観光中国語Ⅱ		2	
	観光手話基礎		2	
	観光手話		2	
	プロジェクト演習Ⅰ	2		
	プロジェクト演習Ⅱ		2	
	観光基礎演習Ⅰ	2		
	観光基礎演習Ⅱ	2		
	ゼミナールⅠ	2		
	ゼミナールⅡ	2		
	ゼミナールⅢ	2		
	卒業論文・課題指導		4	
	サービス産業論		2	

第3類（杏林大学学則）

専門科目 目 B	基礎簿記Ⅰ	2		
	基礎簿記Ⅱ	2		
	旅行産業論	2		
	旅行サービス論	2		
	ホスピタリティマネジメント論	2		
	航空産業論	2		
	航空サービス論	2		
	宿泊産業論	2		
	宿泊サービス論	2		
	フードビジネス論	2		
	フードビジネスサービス論	2		
	観光政策・行政論	2		
	風景・景観論	2		
	イベント・コンベンション論	2		
	エンターテインメント産業論	2		
	ブライダルコーディネート論	2		
	世界遺産観光論	2		
	旅行医学概論	2		
	観光リスクマネジメント論	2		
	観光交流文化特論Ⅰ	2		
	観光交流文化特論Ⅱ	2		
	観光交流文化特論Ⅲ	2		
	観光交流文化特論Ⅳ	2		
関連科目	他学部設置科目			
自由科目				

第3類（杏林大学学則）

別表4－4（平成31年度入学生から適用）

外国語学部学科目構成

英語学科

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数		備 考
				必修	選択	
外国語科目A	英語	I	1			留学生等本学が指定する 学生は日本語6単位選択 必修
	英語	II	1			
	英語	III	1			
	英語	IV	1			
	英語	V	1			
	英語	VI	1			
	英語	VII	1			
	英語	VIII	1			
	英語文法	I	1			
	英語文法	II	1			
	英語作文	I	1			
	英語作文	II	1			
	実用英語	I	1			
	実用英語	II	1			
	実用英語	III	1			
	実用英語	IV	1			
	実用英語演習	I	1			
	実用英語演習	II	1			
	中国語	I	1			
	中国語	II	1			
	中国語	III	1			
	中国語	IV	1			
	中国語	V	1			
	中国語	VI	1			
	日本語	I			1	
	日本語	II			1	
	日本語	III			1	
	日本語	IV			1	
	日本語	V			1	
	日本語	VI			1	
	日本語	VII			1	
	日本語	VIII			1	

第3類（杏林大学学則）

外国語科目B	目的別英語演習Ⅰ	2	
	目的別英語演習Ⅱ	2	
	目的別英語演習Ⅲ	2	
	目的別英語演習Ⅳ	2	
	目的別英語演習Ⅴ	2	
	目的別英語演習Ⅵ	2	
	目的別英語演習Ⅶ	2	
	目的別中国語演習Ⅰ	2	
	目的別中国語演習Ⅱ	2	
	目的別中国語演習Ⅲ	2	
	目的別中国語演習Ⅳ	2	
	目的別中国語演習Ⅴ	2	
	韓国語Ⅰ	2	
	韓国語Ⅱ	2	
	韓国語Ⅲ	2	
	韓国語Ⅳ	2	
	ドイツ語Ⅰ	2	
	ドイツ語Ⅱ	2	
	ドイツ語Ⅲ	2	
	ドイツ語Ⅳ	2	
	フランス語Ⅰ	2	
	フランス語Ⅱ	2	
	フランス語Ⅲ	2	
	フランス語Ⅳ	2	
	スペイン語Ⅰ	2	
	スペイン語Ⅱ	2	
	スペイン語Ⅲ	2	
	スペイン語Ⅳ	2	
	口語英語Ⅰ	1	
	口語英語Ⅱ	1	
	口語英語Ⅲ	1	
	口語英語Ⅳ	1	
	口語英語Ⅴ	1	
	口語英語Ⅵ	1	
	口語英語Ⅶ	1	
	口語英語Ⅷ	1	

第3類（杏林大学学則）

	口 語 中 国 語 I		1	
	口 語 中 国 語 II		1	
	口 語 中 国 語 III		1	
	口 語 中 国 語 IV		1	
	口 語 中 国 語 V		1	
	口 語 中 国 語 VI		1	
	口 語 中 国 語 VII		1	
	口 語 中 国 語 VIII		1	
基 盤 教 育 科 目	大 学 入 門 I	1		
	大 学 入 門 II	1		
	日 本 語 表 現 実 習 I	1		
	日 本 語 表 現 実 習 II	1		
	グローバルコミュニケーション論	2		
	グ ロ ー バ ル 人 材 論	2		
	日 本 文 化 論	2		
	ホスピタリティ・コミュニケーション	1		
	地 域 と 大 学	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン I	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン II	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン III	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン IV	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン V	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン VI	2		
	キャリアデザイン演習		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ I		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ II		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ III		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ IV		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ V		2	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ I		1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ II		1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ III		1	
	異文化コミュニケーション		2	
	こ と ば と 文 化		2	
	こ と ば と 社 会		2	
	言 語 の 歴 史 (英)		2	

第3類（杏林大学学則）

教 養 科 目	こ と ば と 文 化	言 語 の 歴 史 （ 中 ）		2	
		言 語 の 歴 史 （ 日 ）		2	
		英 語 文 学 I		2	
		英 語 文 学 II		2	
		アジアの文学・文化（日）		2	
		アジアの文学・文化（中）		2	
		アジアの文学・文化（韓）		2	
	グ ロ ー バ ル 社 会 と 地 域	グローバル社会と国際協力		2	
		ダイバーシティ入門		2	
		日本と世界の近現代史		2	
		生 活 と 法		2	
		日 本 国 憲 法		2	
		社 会 学		2	
		ミ ク ロ 経 済 学		2	
		マ ク ロ 経 済 学		2	
		統 計 学		2	
		観 光 学 入 門		2	
		マ ー ケ テ ィ ン グ 入 門		2	
		ホ ス ピ タ リ テ ィ 入 門		2	
		アジアン・ホスピタリティ		2	
		人 文 地 理 学		2	
		自 然 地 理 学		2	
		地 域 圏 研 究 I		2	
		地 域 圏 研 究 II		2	
		地 域 圏 研 究 III		2	
		地 域 圏 研 究 IV		2	
		地 域 圏 研 究 V		2	
		地 域 圏 研 究 VI		2	
	人 間 と 健 康	哲 学		2	
		倫 理 学		2	
		心 理 学		2	
		宗 教 学		2	
		健 康 科 学 I		2	
		健 康 科 学 II		2	
		体 育 理 論		1	
		体 育 実 技		1	

第3類（杏林大学学則）

日本語教育	ファシリテーション論		2	
	日本語学概論		2	
	日本語教育概論		2	
	日本語学特論Ⅰ		2	
	日本語学特論Ⅱ		2	
	日本語学特論Ⅲ		2	
	日本語学特論Ⅳ		2	
	日本語教育学特論Ⅰ		2	
	日本語教育学特論Ⅱ		2	
	日本語教育学特論Ⅲ		2	
	日本語教育学特論Ⅳ		2	
	日本語授業の実践Ⅰ		2	
	日本語授業の実践Ⅱ		2	
	日本語教育実習Ⅰ		1	
	日本語教育実習Ⅱ		1	
	日本文化演習Ⅰ		2	
	日本文化演習Ⅱ		2	
専門科目 （英語ビジネスコミュニケーション）	Writing Strategies		2	
	Communication Strategies		2	
	Integrated EnglishⅠ		2	
	Integrated EnglishⅡ		2	
	ビジネスイングリッシュⅠ	2		
	ビジネスイングリッシュⅡ	2		
	グローバルビジネス論Ⅰ	2		
	グローバルビジネス論Ⅱ	2		
	ビジネスコミュニケーション論Ⅰ		2	
	ビジネスコミュニケーション論Ⅱ		2	
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ		2	
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅱ		2	
	Introduction to Business		2	
	Introduction to Economics		2	
	Business Cycle and Monetary Policy		2	
	現代企業論		2	
	経営戦略論		2	
	人材マネジメント論		2	
	国際会計論		2	

第3類（杏林大学学則）

シ ョ ン コ ー ス)	国 際 経 済 学 I		2	
	国 際 経 済 学 II		2	
	ア メ リ カ 政 治 論		2	
	ア メ リ カ 経 済 論		2	
	ヨ ー ロ ッ パ 政 治 論		2	
	ヨ ー ロ ッ パ 経 済 論		2	
	ア ジ ア 政 治 論		2	
	ア ジ ア 経 済 論		2	
	ゼ ミ ナ ー ル I	2		
	ゼ ミ ナ ー ル II	2		
専 門 科 目 （ 英 語 教 育 コ ー ス ）	ゼ ミ ナ ー ル III	2		4 単位以上
	卒 業 論 文 ・ 課 題 指 導		4	
	Writing Strategies		2	
	Communication Strategies		2	
	Integrated English I		2	
	Integrated English II		2	
	英 語 発 音 聴 取	2		
	英 語 翻 訳 論		2	
	英語翻訳ワークショップ		2	
	異 文 化 交 流		2	
	英 語 学 特 論 I		2	
	英 語 学 特 論 II		2	
	英 語 学 特 論 III		2	
	英 語 学 特 論 IV		2	
	英 語 学 演 習 I		2	
	英 語 学 演 習 II		2	
	英 語 学 演 習 III		2	
	英 語 学 演 習 IV		2	
	英 語 音 声 学	2		
	社 会 言 語 学		2	
	認 知 言 語 学		2	
	英 語 教 育 論 I	2		
	英 語 教 育 論 II	2		
	英 語 科 教 育 法 I		2	
	英 語 科 教 育 法 II		2	
	児 童 英 語 教 育 論 I		2	

第3類（杏林大学学則）

	児童英語教育論Ⅱ		2	
	児童英語教育教材研究		2	
	児童英語教育実習		1	
	英語教育演習Ⅰ		2	
	英語教育演習Ⅱ		2	
	情報処理		2	
	ゼミナールⅠ	2		
	ゼミナールⅡ	2		
	ゼミナールⅢ	2		
	卒業論文・課題指導		4	
関連科目	他学部設置科目			
自由科目				

中国語学科

授業科目の名称				単位数		備考
				必修	選択	
外国語科目A	英語Ⅰ			1		留学生等本学が指定する学生は日本語8単位必修
	英語Ⅱ			1		
	英語Ⅲ			1		
	英語Ⅳ			1		
	英語Ⅴ			1		
	英語Ⅵ			1		
	中国語Ⅰ			1		
	中国語Ⅱ			1		
	中国語Ⅲ			1		
	中国語Ⅳ			1		
	中国語Ⅴ			1		
	中国語Ⅵ			1		
	中国語Ⅶ			1		
	中国語Ⅷ			1		
	日本語Ⅰ				1	
	日本語Ⅱ				1	
	日本語Ⅲ				1	
	日本語Ⅳ				1	
	日本語Ⅴ				1	
	日本語Ⅵ				1	

第3類（杏林大学学則）

	日 本 語 VII		1	
	日 本 語 VIII		1	
外国語科目B	目的別英語演習 I		2	
	目的別英語演習 II		2	
	目的別英語演習 III		2	
	目的別英語演習 IV		2	
	目的別英語演習 V		2	
	目的別英語演習 VI		2	
	目的別英語演習 VII		2	
	目的別中国語演習 I		2	
	目的別中国語演習 II		2	
	目的別中国語演習 III		2	
	目的別中国語演習 IV		2	
	目的別中国語演習 V		2	
	韓国語 I		2	
	韓国語 II		2	
	韓国語 III		2	
	韓国語 IV		2	
	ドイツ語 I		2	
	ドイツ語 II		2	
	ドイツ語 III		2	
	ドイツ語 IV		2	
	フランス語 I		2	
	フランス語 II		2	
	フランス語 III		2	
	フランス語 IV		2	
	スペイン語 I		2	
	スペイン語 II		2	
	スペイン語 III		2	
	スペイン語 IV		2	
	口語英語 I		1	
	口語英語 II		1	
	口語英語 III		1	
	口語英語 IV		1	
	口語英語 V		1	
	口語英語 VI		1	

第3類（杏林大学学則）

	口 語 英 語 VII		1	
	口 語 英 語 VIII		1	
	口 語 中 国 語 I		1	
	口 語 中 国 語 II		1	
	口 語 中 国 語 III		1	
	口 語 中 国 語 IV		1	
	口 語 中 国 語 V		1	
	口 語 中 国 語 VI		1	
	口 語 中 国 語 VII		1	
	口 語 中 国 語 VIII		1	
基 盤 教 育 科 目	大 学 入 門 I	1		
	大 学 入 門 II	1		
	日 本 語 表 現 実 習 I	1		
	日 本 語 表 現 実 習 II	1		
	グローバルコミュニケーション論	2		
	グ ロ ー バ ル 人 材 論	2		
	日 本 文 化 論	2		
	ホスピタリティ・コミュニケーション	1		
	地 域 と 大 学	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン I	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン II	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン III	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン IV	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン V	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン VI	2		
	キャリアデザイン演習		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ I		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ II		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ III		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ IV		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ V		2	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ I		1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ II		1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ III		1	
	異文化コミュニケーション		2	
	こ と ば と 文 化		2	

第3類（杏林大学学則）

教 養 科 目	こ	こ と ば と 社 会		2	
	と	言 語 の 歴 史 (英)		2	
	ば	言 語 の 歴 史 (中)		2	
	と	言 語 の 歴 史 (日)		2	
	文	英 語 文 学 I		2	
	化	英 語 文 学 II		2	
		アジアの文学・文化(日)		2	
		アジアの文学・文化(中)		2	
		アジアの文学・文化(韓)		2	
	グ	グローバル社会と国際協力		2	
	ロ	ダイバーシティ入門		2	
	ー	日本と世界の近現代史		2	
	バ	生 活 と 法		2	
	ル	日 本 国 憲 法		2	
	社	社 会 学		2	
	会	ミ ク ロ 経 済 学		2	
	と	マ ク ロ 経 済 学		2	
	地	統 計 学		2	
	域	観 光 学 入 門		2	
人 間 と 健 康		マ ー ケ テ ィ ン グ 入 門		2	
		ホ ス ピ タ リ テ ィ 入 門		2	
		ア ジ ア ン ・ ホ ス ピ タ リ テ ィ		2	
		人 文 地 理 学		2	
		自 然 地 理 学		2	
		地 域 圏 研 究 I		2	
		地 域 圏 研 究 II		2	
		地 域 圏 研 究 III		2	
		地 域 圏 研 究 IV		2	
		地 域 圏 研 究 V		2	
		地 域 圏 研 究 VI		2	
	哲	学		2	
	倫	理 学		2	
	心	理 学		2	
	宗	教 学		2	
	健	康 科 学 I		2	
	健	康 科 学 II		2	

第3類（杏林大学学則）

		体 育 理 論		1	
		体 育 実 技		1	
	日 本 語 教 育	フ ァ シ リ テ ー シ ョ ン 論		2	
		日 本 語 学 概 論		2	
		日 本 語 教 育 概 論		2	
		日 本 語 学 特 論 I		2	
		日 本 語 学 特 論 II		2	
		日 本 語 学 特 論 III		2	
		日 本 語 学 特 論 IV		2	
		日 本 語 教 育 学 特 論 I		2	
		日 本 語 教 育 学 特 論 II		2	
		日 本 語 教 育 学 特 論 III		2	
		日 本 語 教 育 学 特 論 IV		2	
		日 本 語 授 業 の 実 際 I		2	
		日 本 語 授 業 の 実 際 II		2	
		日 本 語 教 育 実 習 I		1	
		日 本 語 教 育 実 習 II		1	
		日 本 文 化 演 習 I		2	
		日 本 文 化 演 習 II		2	
専 門 科 目		イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 I		1	
		イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 II		1	
		イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 III		1	
		イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 IV		1	
		イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 V		1	
		イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 VI		1	
		イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 VII		1	
		イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 VIII		1	
		中 国 語 発 音 実 習 I		1	
		中 国 語 発 音 実 習 II		1	
		ビ ジ ネ ス 中 国 語 I		2	
		ビ ジ ネ ス 中 国 語 II		2	
		中 国 語 通 訳 法 I		2	
		中 国 語 通 訳 法 II		2	
		中 国 語 翻 訳 法 I		2	
		中 国 語 翻 訳 法 II		2	
		中 国 語 演 習 I		2	
					4 単位以上

第3類（杏林大学学則）

	中国語演習Ⅱ		2	
	中国語演習Ⅲ		2	
	中国語演習Ⅳ		2	
	日中通訳・翻訳演習Ⅰ		2	
	日中通訳・翻訳演習Ⅱ		2	
	日中通訳・翻訳演習Ⅲ		2	
	日中通訳・翻訳演習Ⅳ		2	
	中国語学概論	2		
	中国語文法論	2		
	中国語音声学		2	
	中国文学史Ⅰ		2	
	中国文学史Ⅱ		2	
	日中比較文化論Ⅰ	2		
	日中比較文化論Ⅱ	2		
	アジア政治論		2	
	アジア経済論		2	
	中国経済概論		2	
	中国語翻訳ワークショップ		2	
	認知言語学		2	
	中国語ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ		2	
	中国語ビジネスコミュニケーション演習Ⅱ		2	
	ゼミナールⅠ	2		
	ゼミナールⅡ	2		
	ゼミナールⅢ	2		
	卒業論文・課題指導		4	
関連科目	他学部設置科目			
自由科目				

観光交流文化学科

授業科目の名称				単位数		備考
				必修	選択	
外国	英語Ⅰ		1			留学生等本学が指定する 学生は日本語6単位選択 必修
	英語Ⅱ		1			
	英語Ⅲ		1			
	英語Ⅳ		1			

第 3 類（杏林大学学則）

語 科 目 A	英	語	V	1		
	英	語	VI	1		
	英	語	VII	1		
	英	語	VIII	1		
	英	語	文 法 I		1	
	英	語	文 法 II		1	
	英	語	作 文 I		1	
	英	語	作 文 II		1	
	実	用	英 語 I	1		
	実	用	英 語 II	1		
	実	用	英 語 III	1		
	実	用	英 語 IV	1		
	実	用	英 語 演 習 I	1		
	実	用	英 語 演 習 II	1		
	中	国	語 I	1		
	中	国	語 II	1		
	中	国	語 III	1		
	中	国	語 IV	1		
	中	国	語 V	1		
	中	国	語 VI	1		
	日	本	語 I		1	
	日	本	語 II		1	
	日	本	語 III		1	
	日	本	語 IV		1	
	日	本	語 V		1	
	日	本	語 VI		1	
	日	本	語 VII		1	
	日	本	語 VIII		1	
外 国 語 科 目 B	目 的 別	英 語 演 習 I			2	
	目 的 別	英 語 演 習 II			2	
	目 的 別	英 語 演 習 III			2	
	目 的 別	英 語 演 習 IV			2	
	目 的 別	英 語 演 習 V			2	
	目 的 別	英 語 演 習 VI			2	
	目 的 別	英 語 演 習 VII			2	
	目 的 別	中 国 語 演 習 I			2	

第3類（杏林大学学則）

目的別中国語演習Ⅱ	2	
目的別中国語演習Ⅲ	2	
目的別中国語演習Ⅳ	2	
目的別中国語演習Ⅴ	2	
韓国語Ⅰ	2	
韓国語Ⅱ	2	
韓国語Ⅲ	2	
韓国語Ⅳ	2	
ドイツ語Ⅰ	2	
ドイツ語Ⅱ	2	
ドイツ語Ⅲ	2	
ドイツ語Ⅳ	2	
フランス語Ⅰ	2	
フランス語Ⅱ	2	
フランス語Ⅲ	2	
フランス語Ⅳ	2	
スペイン語Ⅰ	2	
スペイン語Ⅱ	2	
スペイン語Ⅲ	2	
スペイン語Ⅳ	2	
口語英語Ⅰ	1	
口語英語Ⅱ	1	
口語英語Ⅲ	1	
口語英語Ⅳ	1	
口語英語Ⅴ	1	
口語英語Ⅵ	1	
口語英語Ⅶ	1	
口語英語Ⅷ	1	
口語中国語Ⅰ	1	
口語中国語Ⅱ	1	
口語中国語Ⅲ	1	
口語中国語Ⅳ	1	
口語中国語Ⅴ	1	
口語中国語Ⅵ	1	
口語中国語Ⅶ	1	
口語中国語Ⅷ	1	

第3類（杏林大学学則）

基 盤 教 育 科 目	大 学 入 門 I	1		2 単位以上	
	大 学 入 門 II	1			
	日 本 語 表 現 実 習 I	1			
	日 本 語 表 現 実 習 II	1			
	グローバルコミュニケーション論	2			
	グ ロ ー バ ル 人 材 論	2			
	日 本 文 化 論	2			
	ホスピタリティ・コミュニケーション	1			
	地 域 と 大 学	2			
	キ ャ リ ア デ ザ イン I	2			
	キ ャ リ ア デ ザ イン II	2			
	キ ャ リ ア デ ザ イン III	2			
	キ ャ リ ア デ ザ イン IV	2			
	キ ャ リ ア デ ザ イン V	2			
	キ ャ リ ア デ ザ イン VI	2			
	キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習		2		
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ I		2		
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ II		2		
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ III		2		
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ IV		2		
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ V		2		
	イ ン タ ー ン シ ッ プ I		1		
	イ ン タ ー ン シ ッ プ II		1		
	イ ン タ ー ン シ ッ プ III		1		
教 養 科 目	こ と ば と 文 化	異文化コミュニケーション		2	
		こ と ば と 文 化		2	
		こ と ば と 社 会		2	
		言 語 の 歴 史 (英)		2	
		言 語 の 歴 史 (中)		2	
		言 語 の 歴 史 (日)		2	
		英 語 文 学 I		2	
		英 語 文 学 II		2	
		アジアの文学・文化(日)		2	
		アジアの文学・文化(中)		2	
		アジアの文学・文化(韓)		2	
			グローバル社会と国際協力		

第3類（杏林大学学則）

グローバル社会と地域	ダイバーシティ入門		2	
	日本と世界の近現代史		2	
	生活と法		2	
	日本国憲法		2	
	社会学		2	
	ミクロ経済学		2	
	マクロ経済学		2	
	統計学		2	
	観光学入門	2		
	マーケティング入門		2	
	ホスピタリティ入門	2		
	アジアン・ホスピタリティ		2	
	人文地理学		2	
	自然地理学		2	
	地域圏研究Ⅰ		2	
	地域圏研究Ⅱ		2	
	地域圏研究Ⅲ		2	
	地域圏研究Ⅳ		2	
	地域圏研究Ⅴ		2	
	地域圏研究Ⅵ		2	
人間と健康	哲学		2	
	倫理学		2	
	心理学		2	
	宗教学		2	
	健康科学Ⅰ		2	
	健康科学Ⅱ		2	
	体育理論		1	
日本語教育	体育実技		1	
	ファシリテーション論		2	
	日本語学概論		2	
	日本語教育概論		2	
	日本語学特論Ⅰ		2	
	日本語学特論Ⅱ		2	
	日本語学特論Ⅲ		2	
	日本語学特論Ⅳ		2	
	日本語教育学特論Ⅰ		2	

第3類（杏林大学学則）

		日本語教育学特論Ⅱ		2	
		日本語教育学特論Ⅲ		2	
		日本語教育学特論Ⅳ		2	
		日本語授業の実際Ⅰ		2	
		日本語授業の実際Ⅱ		2	
		日本語教育実習Ⅰ		1	
		日本語教育実習Ⅱ		1	
		日本文化演習Ⅰ		2	
		日本文化演習Ⅱ		2	
専門科目 A		国際観光論		2	
		交流文化論		2	
		サービス文化論		2	
		観光心理学		2	
		観光人類学		2	
		観光地理学		2	
		観光保健論		2	
		福祉観光論		2	
		観光マーケティング論		2	
		観光英語Ⅰ	2		
		観光英語Ⅱ	2		
		観光英語Ⅲ		2	
		観光英語Ⅳ		2	
		観光中国語Ⅰ		2	
		観光中国語Ⅱ		2	
		観光手話基礎		2	
		観光手話		2	
		プロジェクト演習Ⅰ	2		
		プロジェクト演習Ⅱ		2	
		観光基礎演習Ⅰ	2		
		観光基礎演習Ⅱ	2		
		ゼミナールⅠ	2		
		ゼミナールⅡ	2		
		ゼミナールⅢ	2		
		卒業論文・課題指導		4	
		サービス産業論		2	
		基礎簿記Ⅰ		2	

第3類（杏林大学学則）

専門科目 目 B	基礎簿記Ⅱ		2	
	旅行産業論		2	
	旅行サービス論		2	
	ホスピタリティマネジメント論		2	
	航空産業論		2	
	航空サービス論		2	
	宿泊産業論		2	
	宿泊サービス論		2	
	フードビジネス論		2	
	フードビジネスサービス論		2	
	観光政策・行政論		2	
	風景・景観論		2	
	イベント・コンベンション論		2	
	エンターテインメント産業論		2	
	ブライダルコーディネート論		2	
	世界遺産観光論		2	
	旅行医学概論		2	
	観光リスクマネジメント論		2	
	観光交流文化特論Ⅰ		2	
	観光交流文化特論Ⅱ		2	
	観光交流文化特論Ⅲ		2	
	観光交流文化特論Ⅳ		2	
関連科目	他学部 の 設置 科目			
自由科目				

第3類（杏林大学学則）

別表4－5（令和3年度入学生から適用）

外国語学部学科目構成

英語学科

授業科目の名称	単位数		備考
	必修	選択	
外国語科目A	英語 I	2	
	英語 II	2	
	英語 III	2	
	英語 IV	2	
	実用英語演習 I	2	
	実用英語演習 II	2	
	中国語 I	2	
	中国語 II	2	
	韓国語 I	2	
	韓国語 II	2	
	ドイツ語 I	2	
	ドイツ語 II	2	
	フランス語 I	2	
	フランス語 II	2	
	スペイン語 I	2	
	スペイン語 II	2	
	日本語 I	2	
	日本語 II	2	
	日本語 III	2	
	日本語 IV	2	
	日本語 V	2	
	日本語 VI	2	
外国語科目B	英語特別演習 I	2	
	英語特別演習 II	2	
	中国語 III	2	
	中国語 IV	2	
	中国語特別演習 I	2	
	中国語特別演習 II	2	
	中国語特別演習 III	2	
	中国語特別演習 IV	2	
	韓国語 III	2	
	韓国語 IV	2	

第3類（杏林大学学則）

	実 用 韓 国 語		2	
	ド イ ツ 語 III		2	
	ド イ ツ 語 IV		2	
	フ ラ ン ス 語 III		2	
	フ ラ ン ス 語 IV		2	
	ス ペ イ ン 語 III		2	
	ス ペ イ ン 語 IV		2	
基 盤 教 育 科 目	大 学 入 門	2		2単位以上
	アカデミックライティング	2		
	コミュニケーション概論		2	
	テーマで学ぶ現代社会Ⅰ		2	
	テーマで学ぶ現代社会Ⅱ		2	
	テーマで学ぶ現代社会Ⅲ		2	
	サービスラーニングⅠ		2	
	サービスラーニングⅡ		2	
	データサイエンス	2		
	データリテラシー	2		
	統計学		2	
	情報処理		2	
	異文化コミュニケーション		2	
	地域圏研究Ⅰ		2	
	地域圏研究Ⅱ		2	
	地域圏研究Ⅲ		2	
	ダイバーシティ論		2	
	フィールドスタディⅠ		2	
	フィールドスタディⅡ		2	
	フィールドスタディⅢ		2	
	フィールドスタディⅣ		2	
	キャリアデザインⅠ	2		
	キャリアデザインⅡ	2		
	キャリアデザインⅢ		2	
	キャリアデザインⅣ		2	
	インターンシップⅠ		2	
	インターンシップⅡ		2	
	インターンシップⅢ		2	
	日本語学概論		2	

第3類（杏林大学学則）

	日 本 語 学 特 論 I		2	
	日 本 語 学 特 論 II		2	
	日 本 語 学 特 論 III		2	
	日 本 語 教 育 学 概 論		2	
	日 本 語 教 育 実 習 I		2	
	日 本 語 教 育 実 習 II		2	
	日 本 語 教 育 実 習 III		2	
	日 本 語 教 育 学 特 論 I		2	
	日 本 語 教 育 学 特 論 II		2	
	日 本 語 教 育 学 特 論 III		2	
	日 本 文 化 演 習		2	
	海 外 語 学 実 習 I		1	
	海 外 語 学 実 習 II		1	
	海 外 語 学 実 習 III		1	
	海 外 語 学 実 習 IV		1	
	国 内 語 学 実 習 I		1	
	国 内 語 学 実 習 II		1	
教 養 科 目	文 学		2	
	社 会 学		2	
	地 理 学		2	
	経 営 学		2	
	哲 学		2	
	倫 理 学		2	
	心 理 学		2	
	ホスピタリティ・コミュニケーション		2	
	歴 史 学		2	
	日 本 国 憲 法		2	
	健 康 と 体 育		2	
	社 会 と 大 学 I		2	
	社 会 と 大 学 II		2	
	社 会 と 大 学 III		2	
	保 健 ・ 医 療 の 現 状 と 未 来 I		2	
	保 健 ・ 医 療 の 現 状 と 未 来 II		2	
	英 語 の 世 界	2		専 門 科 目 か ら 66単 位 以 上
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン と 人 間	2		
	英 語 文 法 I		2	

第3類（杏林大学学則）

専門科目	英語文法Ⅱ	2	2単位以上
	目的別英語演習Ⅰ	2	
	目的別英語演習Ⅱ	2	
	目的別英語演習Ⅲ	2	
	目的別英語演習Ⅳ	2	
	目的別英語演習Ⅴ	2	
	目的別英語演習Ⅵ	2	
	目的別英語演習・上級Ⅰ	2	
	目的別英語演習・上級Ⅱ	2	
	目的別英語演習・上級Ⅲ	2	
	目的別英語演習・上級Ⅳ	2	
	英語文献講読Ⅰ	2	
	英語文献講読Ⅱ	2	
	英語音声学	2	
	英語発音聴取	2	
	英語翻訳論	2	
	英語翻訳演習	2	
	Writing Strategies	2	
	Communication Strategies	2	
	Integrated EnglishⅠ	2	
	Integrated EnglishⅡ	2	
	英語学演習Ⅰ	2	
	英語学演習Ⅱ	2	
	英語学演習Ⅲ	2	
	英語学演習Ⅳ	2	
	英語学演習Ⅴ	2	
	英語学特論Ⅰ	2	
	英語学特論Ⅱ	2	
	英語学特論Ⅲ	2	
	英語学特論Ⅳ	2	
	英語学特論Ⅴ	2	
	表象文化論Ⅰ	2	
	表象文化論Ⅱ	2	
	異文化コミュニケーション特論	2	
	異文化交流	2	
	西洋的思考と哲学	2	

第3類（杏林大学学則）

	G l o b a l I s s u e s I		2	
	G l o b a l I s s u e s II		2	
	英 文 学 特 論 I		2	
	英 文 学 特 論 II		2	
	米 文 学 特 論 I		2	
	米 文 学 特 論 II		2	
	英 語 文 学		2	
	社 会 言 語 学		2	
	認 知 言 語 学		2	
	英 語 教 育 論 I		2	
	英 語 教 育 論 II		2	
	英 語 科 教 育 法 I		2	
	英 語 科 教 育 法 II		2	
	ゼ ミ ナ ー ル I	2		
	ゼ ミ ナ ー ル II	2		
	ゼ ミ ナ ー ル III	2		
	卒 業 論 文 ・ 課 題 指 導	4		
関 連 目	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 由 科 目				

中国語学科

授業科目の名称						単位数		備考
						必修	選択	
外国語科目A	英語	I	2					
	英語	II	2					
	実用英語演習	I		2				
	実用英語演習	II		2				
	韓国語	I		2				
	韓国語	II		2				
	ドイツ語	I		2				
	ドイツ語	II		2				
	フランス語	I		2				
	フランス語	II		2				
	スペイン語	I		2				
	スペイン語	II		2				

第3類（杏林大学学則）

	日 本 語 I		2	
	日 本 語 II		2	
	日 本 語 III		2	
	日 本 語 IV		2	
	日 本 語 V		2	
	日 本 語 VI		2	
外国語科目B	英語コミュニケーション I	2		
	英語コミュニケーション II	2		
	英語特別演習 I		2	
	英語特別演習 II		2	
	中国語特別演習 I		2	
	中国語特別演習 II		2	
	中国語特別演習 III		2	
	中国語特別演習 IV		2	
	韓国語 III		2	
	韓国語 IV		2	
	実用韓国語		2	
	ドイツ語 III		2	
	ドイツ語 IV		2	
	フランス語 III		2	
	フランス語 IV		2	
	スペイン語 III		2	
	スペイン語 IV		2	
基盤教育科目	大学入門	2		
	アカデミックライティング	2		
	コミュニケーション概論		2	
	テーマで学ぶ現代社会 I		2	
	テーマで学ぶ現代社会 II		2	
	テーマで学ぶ現代社会 III		2	
	サービスラーニング I		2	
	サービスラーニング II		2	
	データサイエンス	2		
	データリテラシー	2		
	統計学		2	
	情報処理		2	
	異文化コミュニケーション		2	

2単位以上

第3類（杏林大学学則）

	地 域 圏 研 究 I		2	
	地 域 圏 研 究 II		2	
	地 域 圏 研 究 III		2	
	ダ イ バ ー シ テ ィ 論		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ I		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ II		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ III		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ IV		2	
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン I	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン II	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン III		2	
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン IV		2	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ I		2	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ II		2	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ III		2	
	日 本 語 学 概 論		2	
	日 本 語 学 特 論 I		2	
	日 本 語 学 特 論 II		2	
	日 本 語 学 特 論 III		2	
	日 本 語 教 育 学 概 論		2	
	日 本 語 教 育 実 習 I		2	
	日 本 語 教 育 実 習 II		2	
	日 本 語 教 育 実 習 III		2	
	日 本 語 教 育 学 特 論 I		2	
	日 本 語 教 育 学 特 論 II		2	
	日 本 語 教 育 学 特 論 III		2	
	日 本 文 化 演 習		2	
	海 外 語 学 実 習 I		1	
	海 外 語 学 実 習 II		1	
	海 外 語 学 実 習 III		1	
	海 外 語 学 実 習 IV		1	
	国 内 語 学 実 習 I		1	
	国 内 語 学 実 習 II		1	
	文 学		2	
社 会	学		2	
地 理	学		2	

第3類（杏林大学学則）

教 養 科 目	経 営 学	2	
	哲 学	2	
	倫 理 学	2	
	心 理 学	2	
	ホスピタリティ・コミュニケーション	2	
	歴 史 学	2	
	日 本 国 憲 法	2	
	健 康 と 体 育	2	
	社 会 と 大 学 I	2	
	社 会 と 大 学 II	2	
	社 会 と 大 学 III	2	
	保 健 ・ 医 療 の 現 状 と 未 来 I	2	
	保 健 ・ 医 療 の 現 状 と 未 来 II	2	
専 門 科 目	インテンシブ中国語 I	2	専門科目から 66単位以上
	インテンシブ中国語 II	2	
	インテンシブ中国語 III	2	
	インテンシブ中国語 IV	2	
	インテンシブ中国語 V	2	
	インテンシブ中国語 VI	2	
	インテンシブ中国語 VII	2	
	インテンシブ中国語 VIII	2	
	インテンシブ中国語 IX	2	
	インテンシブ中国語 X	2	
	インテンシブ中国語 X I	2	
	インテンシブ中国語 X II	2	
	インテンシブ中国語 X III	2	
	インテンシブ中国語 X IV	2	
	インテンシブ中国語 X V	2	
	インテンシブ中国語 X VI	2	
	中国語発音矯正 I	2	
	中国語発音矯正 II	2	
	中国語学概論	2	
	中国語の文法	2	
	中国語の音声	2	
	デジタル時代の中国語	2	
	地域研究入門	2	

第3類（杏林大学学則）

	中国の地誌		2	
	中国語圏研究	2		
	韓国語圏研究		2	
	韓国の文学・文化		2	
	中国文学史Ⅰ		2	
	中国文学史Ⅱ		2	
	日中比較文化論Ⅰ		2	
	日中比較文化論Ⅱ		2	
	アジア政治論		2	
	アジア経済論		2	
	中国の政治・経済		2	
	中国の思想		2	
	中国の歴史		2	
	近代中国と日本Ⅰ		2	
	近代中国と日本Ⅱ		2	
	中国語プレゼンテーション		2	
	中国語ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ		2	
	中国語ビジネスコミュニケーション演習Ⅱ		2	
	中国語演習Ⅰ		2	
	中国語演習Ⅱ		2	
	中国語演習Ⅲ		2	
	中国語演習Ⅳ		2	
	中国語通訳法Ⅰ	2		
	中国語通訳法Ⅱ	2		
	中国語翻訳法Ⅰ		2	
	中国語翻訳法Ⅱ		2	
	中日通訳・翻訳Ⅰ		2	
	中日通訳・翻訳Ⅱ		2	
	日中通訳・翻訳Ⅰ		2	
	日中通訳・翻訳Ⅱ		2	
	ゼミナールⅠ	2		
	ゼミナールⅡ	2		
	ゼミナールⅢ	2		
	卒業論文・課題指導		4	
関連科目	他学部設置科目			

第3類（杏林大学学則）

自 科 由 目							
観光交流文化学科							
授 業 科 目 の 名 称					単 位 数		備 考
					必修	選択	
外国語科目A	英語			I	2		
	英語			II	2		
	英語			III	2		
	英語			IV	2		
	実用英語	演習		I		2	
	実用英語	演習		II		2	
	中国語			I		2	
	中国語			II		2	
	韓国語			I		2	
	韓国語			II		2	
	ドイツ語			I		2	
	ドイツ語			II		2	
	フランス語			I		2	
	フランス語			II		2	
	スペイン語			I		2	
	スペイン語			II		2	
	日本語			I		2	
	日本語			II		2	
日本語			III		2		
日本語			IV		2		
日本語			V		2		
日本語			VI		2		
外国語科目B	英語			V	2		
	英語			VI	2		
	英語			VII	2		
	英語			VIII	2		
	英語	特別演習		I		2	
	英語	特別演習		II		2	
	中国語			III		2	
	中国語			IV		2	
	中国語	特別演習		I		2	
	中国語	特別演習		II		2	

第3類（杏林大学学則）

	中国語特別演習Ⅲ		2	
	中国語特別演習Ⅳ		2	
	韓国語Ⅲ		2	
	韓国語Ⅳ		2	
	実用韓国語		2	
	ドイツ語Ⅲ		2	
	ドイツ語Ⅳ		2	
	フランス語Ⅲ		2	
	フランス語Ⅳ		2	
	スペイン語Ⅲ		2	
	スペイン語Ⅳ		2	
基 盤 教 育 科 目	大学入門	2		2単位以上
	アカデミックライティング	2		
	コミュニケーション概論		2	
	テーマで学ぶ現代社会Ⅰ		2	
	テーマで学ぶ現代社会Ⅱ		2	
	テーマで学ぶ現代社会Ⅲ		2	
	サービスラーニングⅠ		2	
	サービスラーニングⅡ		2	
	データサイエンス	2		
	データリテラシー	2		
	統計学		2	
	情報処理		2	
	異文化コミュニケーション		2	
	地域圏研究Ⅰ		2	
	地域圏研究Ⅱ		2	
	地域圏研究Ⅲ		2	
	ダイバーシティ論		2	
	フィールドスタディⅠ		2	
	フィールドスタディⅡ		2	
	フィールドスタディⅢ		2	
	フィールドスタディⅣ		2	
	キャリアディベロップメントⅠ	2		
	キャリアディベロップメントⅡ	2		
	キャリアデザインⅢ	2		
	キャリアデザインⅣ	2		

第3類（杏林大学学則）

	インターンシップ I		2	
	日本語学概論		2	
	日本語学特論 I		2	
	日本語学特論 II		2	
	日本語学特論 III		2	
	日本語教育学概論		2	
	日本語教育実習 I		2	
	日本語教育実習 II		2	
	日本語教育実習 III		2	
	日本語教育学特論 I		2	
	日本語教育学特論 II		2	
	日本語教育学特論 III		2	
	日本文化演習		2	
	海外語学実習 I		1	
	海外語学実習 II		1	
	海外語学実習 III		1	
	海外語学実習 IV		1	
	国内語学実習 I		1	
	国内語学実習 II		1	
教養科目	文学		2	
	社会学		2	
	地理学		2	
	経営学		2	
	哲学		2	
	倫理学		2	
	心理学		2	
	ホスピタリティ・コミュニケーション		2	
	歴史学		2	
	日本国憲法		2	
	健康と体育		2	
	社会と大学 I		2	
	社会と大学 II		2	
	社会と大学 III		2	
	保健・医療の現状と未来 I		2	
	保健・医療の現状と未来 II		2	
	ホスピタリティ入門	2		専門科目から

第3類（杏林大学学則）

専 門 科 目	観 光 学 入 門	2	66単位以上
	現代社会と観光ホスピタリティ	2	
	観 光 基 礎 演 習	2	
	観 光 調 査 法	2	
	交 流 文 化 論	2	
	観 光 心 理 学	2	
	観 光 地 理 学	2	
	観 光 政 策 論	2	
	観 光 マ ー ケ テ ィ ン グ 論	2	
	人 的 資 源 管 理 論	2	
	フ ァ シ リ テ ー シ ョ ン 実 習	2	
	ホ ス ピ タ リ テ ィ 財 務 会 計 論	2	
	観 光 リ ス ク マ ネ ジ メ ン ト 論	2	
	観 光 メ デ ィ ア 論	2	
	観 光 資 源 論 I	2	
	観 光 資 源 論 II	2	
	観 光 コ ン テ ン ツ デ ザ イ ン 実 習	2	
	T o u r i s m E n g l i s h I	2	
	T o u r i s m E n g l i s h II	2	
	観 光 実 用 英 語 イ ン テ ン シ ブ I	2	
	観 光 実 用 英 語 イ ン テ ン シ ブ II	2	
	健 康 科 学 の 基 礎	2	
	ウ ェ ル ネ ス ツ ー リ ズ ム 論	2	
	温 泉 観 光 学	2	
	観 光 衛 生 論	2	
	福 祉 観 光 論	2	
	観 光 手 話 I	2	
	観 光 手 話 II	2	
	ウ ェ ル ネ ス ツ ー リ ズ ム 実 習	2	
	温 泉 療 養 学	2	
	旅 行 医 学 概 論	2	
	疾 病 地 域 論	2	
	観 光 交 通 論	2	
	航 空 産 業 論	2	
	航 空 サ ー ビ ス 論	2	
	ホ テ ル オ ペ レ ー シ ョ ン	2	

第3類（杏林大学学則）

	宿 泊 産 業 論		2	
	フ ー ド ビ ジ ネ ス 論		2	
	旅 行 産 業 論		2	
	ホスピタリティ・ビジネスインターンシップ		2	
	ホスピタリティ・ビジネス演習		2	
	ホスピタリティ・ビジネス特論Ⅰ		2	
	ホスピタリティ・ビジネス特論Ⅱ		2	
	観 光 ま ち づ くり 論		2	
	国 際 協 力 と 観 光		2	
	地 域 創 造 インターンシップ		2	
	コ ン テ ン ツ ・ ツ ー リ ズ ム 論		2	
	エ コ ツ ー リ ズ ム 論		2	
	地 域 リ ー ダ ー シ ッ プ 論		2	
	N P O ・ N G O 論		2	
	地 域 型 プロジェクト演習		2	
	地 域 創 造 特 論 Ⅰ		2	
	地 域 創 造 特 論 Ⅱ		2	
	ゼ ミ ナ ー ル Ⅰ	2		
	ゼ ミ ナ ー ル Ⅱ	2		
	ゼ ミ ナ ー ル Ⅲ	2		
	卒業論文・プロジェクト指導		6	
関 連 科 目	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 由 科 目				

第3類（杏林大学学則）

別表5－1－1

教 職 に 関 す る 科 目 構 成
(平成22年度入学生から適用)

授 業 科 目 の 名 称	単 位	備 考
教 職 総 論	2	
教 育 原 理	2	
教 育 心 理 学	2	
教 育 社 会 学	2	
保 健 科 教 育 法 Ⅰ	2	
保 健 科 教 育 法 Ⅱ	2	
社 会 科 教 育 法	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法	2	
商 業 科 教 育 法 Ⅰ	2	
商 業 科 教 育 法 Ⅱ	2	
英 語 科 教 育 法 Ⅰ	2	
英 語 科 教 育 法 Ⅱ	2	
保 健 科 指 導 研 究 Ⅰ	2	
保 健 科 指 導 研 究 Ⅱ	2	
社 会 科 指 導 研 究	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 指 導 研 究	2	
英 語 科 指 導 研 究 Ⅰ	2	
英 語 科 指 導 研 究 Ⅱ	2	
道 徳 教 育 の 研 究	2	
特 別 活 動 の 研 究	2	
教 育 の 方 法 ・ 技 術	2	
生 徒 指 導 の 研 究	2	
進 路 指 導 の 研 究	1	
教育相談（カウンセリングを含む）	2	
教 職 実 践 演 習 （ 中 ・ 高 ）	2	
教 職 実 践 演 習 （ 養 護 教 諭 ）	2	
教 育 実 習 Ⅰ	1	
教 育 実 習 Ⅱ	2	
教 育 実 習 Ⅲ	2	
養 護 実 習 Ⅰ	1	
養 護 実 習 Ⅱ	4	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得ようとする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

第3類（杏林大学学則）

別表5－1－2

教 職 に 関 す る 科 目 構 成
(平成24年度入学生から適用)

授 業 科 目 の 名 称	単 位	備 考
教 職 総 論	2	
教 育 原 理	2	
教 育 心 理 学	2	
教 育 社 会 学	2	
保 健 科 教 育 法 Ⅰ	2	
保 健 科 教 育 法 Ⅱ	2	
社 会 科 教 育 法	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法	2	
商 業 科 教 育 法 Ⅰ	2	
商 業 科 教 育 法 Ⅱ	2	
英 語 科 教 育 法 Ⅰ	2	
英 語 科 教 育 法 Ⅱ	2	
保 健 科 指 導 研 究 Ⅰ	2	
保 健 科 指 導 研 究 Ⅱ	2	
社 会 科 指 導 研 究	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 指 導 研 究	2	
英 語 科 指 導 研 究 Ⅰ	2	
英 語 科 指 導 研 究 Ⅱ	2	
道 徳 教 育 指 導 論	2	
特 別 活 動 指 導 論	2	
教 育 の 方 法 ・ 技 術	2	
生 徒 指 導 論	2	
進 路 指 導 論	1	
教育相談（カウンセリングを含む）	2	
教 育 実 習 Ⅰ	1	
教 育 実 習 Ⅱ	2	
教 育 実 習 Ⅲ	2	
養 護 実 習 Ⅰ	1	
養 護 実 習 Ⅱ	4	
教 職 実 践 演 習 （ 中 ・ 高 ）	2	
教 職 実 践 演 習 （ 養 護 教 諭 ）	2	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得ようとする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

第3類（杏林大学学則）

別表5－1－3

教 職 に 関 す る 科 目 構 成
（平成28年度入学生から適用）

授 業 科 目 の 名 称	単 位	備 考
教 職 総 論	2	
教 育 原 理	2	
教 育 心 理 学	2	
教 育 社 会 学	2	
保 健 科 教 育 法 Ⅰ	2	
保 健 科 教 育 法 Ⅱ	2	
社 会 科 教 育 法	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法	2	
商 業 科 教 育 法 Ⅰ	2	
商 業 科 教 育 法 Ⅱ	2	
英 語 科 教 育 法 Ⅰ	2	
英 語 科 教 育 法 Ⅱ	2	
保 健 科 指 導 研 究 Ⅰ	2	
保 健 科 指 導 研 究 Ⅱ	2	
社 会 科 指 導 研 究	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 指 導 研 究	2	
英 語 科 指 導 研 究 Ⅰ	2	
英 語 科 指 導 研 究 Ⅱ	2	
道 徳 教 育 指 導 論	2	
特 別 活 動 指 導 論	2	
教 育 の 方 法 ・ 技 術	2	
生 徒 指 導 論	2	
進 路 指 導 論	1	
教育相談（カウンセリングを含む）	2	
教 育 実 習 Ⅰ	1	
教 育 実 習 Ⅱ	2	
教 育 実 習 Ⅲ	2	
養 護 実 習 Ⅰ	1	
養 護 実 習 Ⅱ	4	
教 職 実 践 演 習（中・高）	2	
教 職 実 践 演 習（養護教諭）	2	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得ようとする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。
ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目として卒業の単位に算入しない。

第3類（杏林大学学則）

別表5-1-4

教職に関する科目構成
（平成31年度入学生から適用）

授 業 科 目 の 名 称	単 位	備 考
教 職 総 論	2	
教育原理（教育課程を含む）	2	
教 育 心 理 学	2	
教 育 社 会 学	2	
特 別 支 援 教 育 論	2	
保 健 科 教 育 法 Ⅰ	2	
保 健 科 教 育 法 Ⅱ	2	
社 会 科 教 育 法	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法	2	
英 語 科 教 育 法 Ⅰ	2	
英 語 科 教 育 法 Ⅱ	2	
保 健 科 指 導 法 Ⅰ	2	
保 健 科 指 導 法 Ⅱ	2	
社 会 科 指 導 法	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 指 導 法	2	
英 語 科 指 導 法 Ⅰ	2	
英 語 科 指 導 法 Ⅱ	2	
道 徳 教 育 指 導 論	2	
総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 指 導 法	1	
特 別 活 動 指 導 論	1	
教 育 の 方 法 ・ 技 術	2	
生 徒 指 導 論	1	
進 路 指 導 論	1	
教育相談（カウンセリングを含む）	2	
教 育 実 習 Ⅰ	1	
教 育 実 習 Ⅱ	2	
教 育 実 習 Ⅲ	2	
養 護 実 習 Ⅰ	1	
養 護 実 習 Ⅱ	4	
教 職 実 践 演 習（中・高）	2	
教 職 実 践 演 習（養護教諭）	2	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得ようとする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。
ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目として卒業の単位に算入しない。

第3類（杏林大学学則）

別表5－1－5

教 職 に 関 す る 科 目 構 成
(令和3年度入学生から適用)

授 業 科 目 の 名 称	単 位	備 考
教 職 総 論	2	
教育原理（教育課程を含む）	2	
教 育 心 理 学	2	
教 育 社 会 学	2	
特 別 支 援 教 育 論	2	
保 健 科 教 育 法 Ⅰ	2	
保 健 科 教 育 法 Ⅱ	2	
社 会 科 教 育 法	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法	2	
英 語 科 教 育 法 Ⅰ	2	
英 語 科 教 育 法 Ⅱ	2	
保 健 科 指 導 法 Ⅰ	2	
保 健 科 指 導 法 Ⅱ	2	
社 会 科 指 導 研 究	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 指 導 研 究	2	
英 語 科 指 導 研 究 Ⅰ	2	
英 語 科 指 導 研 究 Ⅱ	2	
道 徳 教 育 指 導 論	2	
総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 指 導 法	1	
特 別 活 動 指 導 論	1	
教 育 の 方 法 ・ 技 術	2	
生 徒 指 導 論	1	
進 路 指 導 論	1	
教育相談(カウンセリングを含む)	2	
教 育 実 習 Ⅰ	1	
教 育 実 習 Ⅱ	2	
教 育 実 習 Ⅲ	2	
養 護 実 習 Ⅰ	1	
養 護 実 習 Ⅱ	4	
教 職 実 践 演 習（中・高）	2	
教 職 実 践 演 習（養護教諭）	2	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得ようとする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。
ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目として卒業の単位に算入しない。

第3類（杏林大学学則）

別表6－1

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	1,500,000円	250,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	3,000,000円 (年額)	1,150,000円 (年額)	720,000円 (年額)	720,000円 (年額)
実 験 実 習 費	1,000,000円 (年額)	300,000円 (年額)		
施 設 設 備 費	4,000,000円 (初年度) 1,500,000円 (2年次以降)	200,000円 (年額)	200,000円 (年額)	200,000円 (年額)

- 1 平成20年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

第 3 類（杏林大学学則）

別表 6－2

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	1,500,000円	250,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	3,000,000円 (年額)	1,150,000円 (年額)	720,000円 (年額)	720,000円 (年額)
実 験 実 習 費	1,000,000円 (年額)	健康福祉学科、 臨床心理学科 50,000円 (年額)		
		上記を除く 全学科 300,000円 (年額)		
施 設 設 備 費	4,000,000円 (初年度) 1,500,000円 (2年次以降)	200,000円 (年額)	200,000円 (年額)	200,000円 (年額)

- 1 平成27年度入学生から適用する。ただし、臨床心理学科については平成30年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

変更の事由及び時期を記載した書類

1 変更の事由

保健学部健康福祉学科の入学定員増員と総合政策学部・外国語学部の3年次編入学定員変更による収容定員に係る学則変更。

【保健学部】

保健学部では開設以来、チーム医療を支える専門職としての医療スタッフ養成に力を注ぎ社会の要請に応えてきた。そのため社会から高い評価を受け、毎年多くの志望者を集め、就職率も高い値を示している。一方、我が国の高齢化社会において、高齢者が要介護状態になる原因で最も多いのが「筋力の低下と関節疾患」および「認知症」であり、これらへの対策が緊急の課題となっている。前者については適切な運動が有効であり、後者に対しては住み慣れた地域で暮らすことが進行を遅らせると言われている。そこで健康福祉学科では運動療法を指導できる人材と、認知症を始め精神疾患を有する人達の環境調整をすることのできる精神保健福祉士の養成をすることとし、そのための入学定員70名を増員することにした。運動療法を指導できる人材養成に対しては、医療知識を基に高齢者一人ひとりに対して、全身状態像と照らし合わせて適切な運動プログラムを実践できるように、心身に及ぼす身体活動全般にわたって基礎的な知識から応用まで幅広く学び、高齢者における生活の質の向上と健康寿命の延伸を図る指導者の養成を行うことにした。また、認知症は増加傾向にあるが、精神科疾患の患者にもノーマライゼーションを実践していく中で、住み慣れた環境で安心して居住できる環境調整が必要とされる場合も多い。それらを鑑み、広く認知症の状態や精神状態の把握ができ、地域で生活するため環境調整をすることのできる精神保健福祉士の養成も行うことにした。

【総合政策学部】

近年、総合政策学部への3年次編入学希望者が増加傾向にあるが、その人数割合として総合政策学科と企業経営学科では2～4：1となっている。このことから、3年次編入学定員を総合政策学科は3名から4名、企業経営学科は3名から2名に変更する。

【外国語学部】

近年、3年次からの専門教育についていけるだけの十分な基礎知識・技能を備えていない者もいたため、定員を満たせない結果となっている。このことから、3年次編入学定員を中国語学科5名から2名、観光交流文化学科3名から2名（計4名減）とし、中国語学科における1年次入学定員を30名から32名とする。

2 変更内容

杏林大学学則 第3条において、下記のとおり保健学部健康福祉学科と外国語学部中国語学科の入学定員、及び総合政策学部総合政策学科、企業経営学科、外国語学部観光交流文化学科、中国語学科の3年次編入学定員を変更した。

- (1)第3条 保健学部健康福祉学科の入学定員50名を120名に増員、収容定員200名を480名に増員。
- (2)第3条 総合政策学部総合政策学科の3年次編入学定員3名を4名に増員、収容定員606名を608名に増員。
- (3)第3条 総合政策学部企業経営学科の3年次編入学定員3名を2名に減員、収容定員236名を234名に減員。
- (4)第3条 外国語学部中国語学科の入学定員30名を32名に増員、3年次編入学定員5名を2名に減員、収容定員130名を132名に増員。
- (5)第3条 外国語学部観光交流文化学科の3年次入学定員3名を2名に減員、収容定員366名を364名に減員。

3 変更の時期

令和 4年 4月 1日

杏林大学学則 新旧対照表

新	旧
制定 昭和45年 3月17日 改正 昭和49年 4月23日 昭和50年 8月11日 — 省 略 — 令和 2年 5月29日 令和 2年12月 4日	制定 昭和45年 3月17日 改正 昭和49年 4月23日 昭和50年 8月11日 — 省 略 — 令和 2年 5月29日
第1条～第2条 — 省 略 — (学部又は学科の目的) 第2条の2 学部又は学科ごとの人材の養成その他の教育研究上の目的については、次のとおりとする。 2～4 — 省 略 — 5 外国語学部 (1) 英語学科は、<u>英語の高度な運用能力と広範な背景的知識の獲得、ならびに非言語的表現も含めたコミュニケーション能力の開発に取り組み、これらを通じて、将来の予測が難しい時代を生き抜く力と専門的知識を備えた国際的な職業人を養成することを目的とする。</u> (2) 中国語学科は、<u>グローバル化の進展と中国語圏を中心とするアジア地域の発展に伴い、求められる実践的な中国語運用能力の開発と地域の社会・文化に関する知識の修得により、高度な中国語コミュニケーション能力を有するとともに、国際社会における相互理解を促進し、新たな協力の創造に寄与できる人材を養成することを目的とする。</u> (3) 観光交流文化学科は、<u>豊かで健全な社会生活に欠かすことのできない楽しみのための移動と滞在、それにともなうホスピタリティと人びとの交流について、観光学の学びを通じて多様な視点からその価値を捉え、持続的な観光の発展と交流文化の創造を先導する人材を養成することを目的とする。</u>	第1条～第2条 — 省 略 — (学部又は学科の目的) 第2条の2 学部又は学科ごとの人材の養成その他の教育研究上の目的については、次のとおりとする。 2～4 — 省 略 — 5 外国語学部 (1) 英語学科は、<u>異文化の垣根を越えて相互に理解し共存できる人間性そのものを陶冶し、実践的な英語運用能力の開発を通じて、実社会の中で必要な専門的知識を備えた国際的な職業人を養成することを目的とする。</u> (2) 中国語学科は、<u>社会のニーズに対応できる実践的な中国語運用能力を開発し、高度な知見と技能の修得により、日中間の交流を担う、中国語の高度なコミュニケーション能力を具備した人材を養成することを目的とする。</u> (3) 観光交流文化学科は、<u>観光産業の現場における有益な人材を輩出するため、充分な外国語運用能力に基づいたコミュニケーション力を修得した上で、正しい異文化理解、さらには産業の現状把握を通じて「ホスピタリティ」を学習し、実践的に応用できる人材を養成することを目的とする。</u>
第3条～第35条 — 省 略 — (退学) 第36条 疾病その他の事由により、退学しようとする者は、理由書を添え、保証人連署のうえ当該学部長を経て学長に願い出て、許可を受けなければならない。この場合、退学の事由が疾病によるときは、医師の診断書を添付しなければならない。ただし、死亡の場合は、死亡診断書等の確認により、死亡した日をもって退学とする。 <u>2 退学願の提出と退学の許可については、本学則に定めるところによるほか、医学部においては、学修規程に定めるところによる。</u>	第3条～第35条 — 省 略 — (退学) 第36条 疾病その他の事由により、退学しようとする者は、理由書を添え、保証人連署のうえ当該学部長を経て学長に願い出て、許可を受けなければならない。この場合、退学の事由が疾病によるときは、医師の診断書を添付しなければならない。ただし、死亡の場合は、死亡診断書等の確認により、死亡した日をもって退学とする。
第37条～第53条 — 省 略 —	第37条～第53条 — 省 略 —
附 則 — 省 略 —	附 則 — 省 略 —

杏林大学学則 新旧対照表

新					旧				
<u>附 則</u> <u>(施行期日)</u> 1 本学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。 <u>(経過措置)</u> 2 第3条の規定にかかわらず、令和 4 年 4 月 1 日からの入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。					【参考：現行の第3条（学生定員）】				
学 部	学 科	入学定員	3 年次編 入学定員	収容定員	学 部	学 科	入学定員	3 年次編 入学定員	収容定員
医 学 部	医 学 科	105 名	—	630 名	医 学 部	医 学 科	105 名	—	630 名
保 健 学 部	臨 床 検 査 技 術 学 科	120 名	—	480 名	保 健 学 部	臨 床 検 査 技 術 学 科	120 名	—	480 名
	健 康 福 祉 学 科	<u>120 名</u>	—	<u>480 名</u>		健 康 福 祉 学 科	<u>50 名</u>	—	<u>200 名</u>
	看 護 学 科	150 名	—	600 名		看 護 学 科	150 名	—	600 名
	(看護学専攻)	(100 名)	(—)	(400 名)		(看護学専攻)	(100 名)	(—)	(400 名)
	(看護養護教育学専攻)	(50 名)	(—)	(200 名)		(看護養護教育学専攻)	(50 名)	(—)	(200 名)
	臨 床 工 学 科	60 名	—	240 名		臨 床 工 学 科	60 名	—	240 名
	救 急 救 命 学 科	50 名	—	200 名		救 急 救 命 学 科	50 名	—	200 名
	理 学 療 法 学 科	56 名	—	224 名		理 学 療 法 学 科	56 名	—	224 名
	作 業 療 法 学 科	54 名	—	216 名		作 業 療 法 学 科	54 名	—	216 名
	診療放射線技術学科	66 名	—	264 名		診療放射線技術学科	66 名	—	264 名
	臨 床 心 理 学 科	80 名	—	320 名		臨 床 心 理 学 科	80 名	—	320 名
総合政策学部	総 合 政 策 学 科	150 名	<u>4 名</u>	<u>608 名</u>	総合政策学部	総 合 政 策 学 科	150 名	<u>3 名</u>	<u>606 名</u>
	企 業 経 営 学 科	80 名	<u>2 名</u>	<u>324 名</u>		企 業 経 営 学 科	80 名	<u>3 名</u>	<u>326 名</u>
外国語学部	英 語 学 科	130 名	4 名	528 名	外国語学部	英 語 学 科	130 名	4 名	528 名

杏林大学学則 新旧対照表

新					旧				
	中 国 語 学 科	32 名	2 名	132 名		中 国 語 学 科	30 名	5 名	130 名
	観 光 交 流 文 化 学 科	90 名	2 名	364 名		観 光 交 流 文 化 学 科	90 名	3 名	366 名

3 第3条の規定及び上記附則2にかかわらず、令和2年度から令和8年度までの間の医学部医学科の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

年度	入学定員	3 年次編入学定員	収容定員
令和2年度	115 名	—	700 名
令和3年度	115 名	—	698 名
令和4年度	105 名	—	686 名
令和5年度	105 名	—	674 名
令和6年度	105 名	—	662 名
令和7年度	105 名	—	650 名
令和8年度	105 名	—	640 名

4 この学則による改正後の別表4－5及び5-1-5は、令和 3 年 4 月 1 日以降の入学生から適用し、令和 2 年 9 月 1 5 日以前の学生については、改正前の学則を適用する。

5 この学則による改正後の別表2－1 5は、令和 4 年 4 月 1 日以降の入学生から適用する。

別表1－1～別表2－1 4

— 省 略 —

別表1－1～別表2－1 4

— 省 略 —

杏林大学学則 新旧対照表

新					旧				
別表 2－1 5					【参考：現行の学則別表（別表 2－1 4（令和 3 年度入学生から適用））】				
保健学部学科目構成 (令和 4 年度入学生から適用)					保健学部学科目構成				
健康福祉学科					健康福祉学科				
授業科目	単位数			備考	授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由			必修	選択	自由	
人文・社会学系					人文・社会学系				
哲学		2		10 単位以上	哲学		2		10 単位以上
心理学		2			心理学		2		
日本国憲法		2			日本国憲法		2		
社会学		2			社会学		2		
生命倫理学	2				生命倫理学	2			
教育心理学		2			教育心理学		2		
発達心理学		2			発達心理学		2		
芸術		2			芸術		2		
保健・医療の現状と未来Ⅰ		2			地域と大 学	1			
保健・医療の現状と未来Ⅱ		2							
社会と大学Ⅰ		2							
社会と大学Ⅱ		2							
社会と大学Ⅲ		2							
自然科学系					自然科学系				
基礎数学		1		6 単位以上	基礎数学		1		6 単位以上
情報処理演習		2			情報処理演習		2		
基礎物理学		1			基礎物理学		1		
基礎化学		1			基礎化学		1		
無機化学		2			無機化学		2		
基礎生物学		1			基礎生物学		1		
言語系					言語系				
英語Ⅰ	2				英語Ⅰ	2			
英語Ⅱ	2				英語Ⅱ	2			

杏林大学学則 新旧対照表

新										旧									
英 語	Ⅲ	2								英 語	Ⅲ	2							
医 学 英 語		2			6 単位以上					医 学 英 語		2				6 単位以上			
英 会 話		2								英 会 話		2							
基礎医学系										基礎医学系									
医 学 概 論	2									医 学 概 論	2								
医 学 基 礎 実 習	1									医 学 基 礎 実 習	1								
公 衆 衛 生 学 I	2									公 衆 衛 生 学 I	2								
公 衆 衛 生 学 II		2								公 衆 衛 生 学 II		2							
解 剖 学	2									解 剖 学	2								
病 理 学		2								病 理 学		2							
生 理 学	2									生 理 学	2								
生 化 学	2									生 化 学	2								
免 疫 学		2								免 疫 学		2							
微 生 物 学	2									微 生 物 学	2								
微 生 物 学 実 験		1								微 生 物 学 実 験		1							
薬 理 学		2								薬 理 学		2							
小 児 疾 患 の 病 態 学		2								小 児 疾 患 の 病 態 学		2							
内 科 疾 患 の 病 態 学 I	2									内 科 疾 患 の 病 態 学 I	2								
内 科 疾 患 の 病 態 学 II	2									内 科 疾 患 の 病 態 学 II	2								
外 科 疾 患 の 病 態 学	2									外 科 疾 患 の 病 態 学	2								
精 神 医 学		1								精 神 医 学		1							
救 命 救 助 法		1								救 命 救 助 法		1							
保健学・福祉学系										保健学・福祉学系									
健 康 福 祉 学	4									健 康 福 祉 学	4								
健 康 福 祉 学 実 習	1									健 康 福 祉 学 実 習	1								
疫 学		2								疫 学		2							
小 児 保 健 学	2									小 児 保 健 学	2								
精 神 保 健 学	2									精 神 保 健 学	2								
高 齢 保 健 学		2								高 齢 保 健 学		2							
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2								健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2							
応 用 保 健 学		2								応 用 保 健 学		2							

杏林大学学則 新旧対照表

新					旧				
社 会 福 祉 学	2				社 会 福 祉 学	2			
社 会 福 祉 政 策 論	2				社 会 福 祉 政 策 論	2			
高 齢 者 福 祉 論	2				高 齢 者 福 祉 論	2			
障 害 者 福 祉 論	2				障 害 者 福 祉 論	2			
児 童 福 祉 論	2				児 童 福 祉 論	2			
社 会 保 障 論	4				社 会 保 障 論	4			
公 的 扶 助 論	2				公 的 扶 助 論	2			
地 域 福 祉 論	4				地 域 福 祉 論	4			
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 総 論 I	4				ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 総 論 I	4			
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 総 論 II	2				ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 総 論 II	2			
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習 指 導 I	1				ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習 指 導 I	1			
社 会 調 査 概 論	1				社 会 調 査 概 論	1			
社会福祉学系					社会福祉学系				
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 論 I	2				ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 論 I	2			
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 論 II	2				ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 論 II	2			
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 I	1				ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 I	1			
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 II	1				ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 II	1			
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 III	2				ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 III	2			
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 IV	2				ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 IV	2			
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 V	2				ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 V	2			
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 VI	2				ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 VI	2			
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習	8				ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習	8			
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習 指 導 II	4				ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 習 指 導 II	4			
医 療 福 祉 論	2				医 療 福 祉 論	2			
社 会 福 祉 経 営 論	1				社 会 福 祉 経 営 論	1			
権 利 擁 護 と 成 年 後 見 概 論	1				権 利 擁 護 と 成 年 後 見 概 論	1			
更 生 保 護 概 論	2				更 生 保 護 概 論	2			
介 護 福 祉 論	2				介 護 福 祉 論	2			
精神保健福祉学系									
社 会 福 祉 調 査 の 基 礎	2								
精 神 疾 患 と そ の 治 療	2								

杏林大学学則 新旧対照表

新					旧				
精 神 医 療		2							
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ		2							
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ		2							
精 神 保 健 福 祉 の 原 理 Ⅰ		2							
精 神 保 健 福 祉 の 原 理 Ⅱ		2							
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（精神保健）		2							
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ（精神保健）		2							
精神障害リハビリテーション論		2							
精 神 保 健 福 祉 制 度 論		2							
ソーシャルワーク演習Ⅰ（精神保健）		1							
ソーシャルワーク演習Ⅱ（精神保健）		1							
ソーシャルワーク演習Ⅲ（精神保健）		2							
ソーシャルワーク演習Ⅳ（精神保健）		2							
ソーシャルワーク演習Ⅴ（精神保健）		2							
ソーシャルワーク演習Ⅵ（精神保健）		2							
ソーシャルワーク実習指導（精神保健）		4							
ソーシャルワーク実習（精神保健）		8							
精 神 保 健 福 祉 特 論		2							
学校保健学系					学校保健学系				
学 校 保 健 学 Ⅰ	2		学校安全を含む		学 校 保 健 学 Ⅰ	2		学校安全を含む	
学 校 保 健 学 Ⅱ	2				学 校 保 健 学 Ⅱ	2			
学 校 看 護 学	1				学 校 看 護 学	1			
健 康 相 談 Ⅰ	2				健 康 相 談 Ⅰ	2			
健 康 相 談 Ⅱ	1				健 康 相 談 Ⅱ	1			
健 康 教 育 学	2				健 康 教 育 学	2			
保 健 栄 養 学	2		食品学を含む		保 健 栄 養 学	2		食品学を含む	
養 護 学 概 論	2				養 護 学 概 論	2			
カ ウ ン セ リ ン グ	2				カ ウ ン セ リ ン グ	2			
保 健 科 指 導 法 Ⅰ	2				保 健 科 指 導 法 Ⅰ	2			
保 健 科 指 導 法 Ⅱ	2				保 健 科 指 導 法 Ⅱ	2			
保 健 科 教 育 法 Ⅰ	2				保 健 科 教 育 法 Ⅰ	2			
保 健 科 教 育 法 Ⅱ	2				保 健 科 教 育 法 Ⅱ	2			

杏林大学学則 新旧対照表

新					旧				
看護学Ⅰ		2			看護学Ⅰ		2		
看護学Ⅱ		2			看護学Ⅱ		2		
看護学Ⅲ		2			看護学Ⅲ		2		
看護学実習		2			看護学実習		2		
救急看護学		2			救急看護学		2		
環境・食品学系					環境・食品学系				
産業保健学		2			産業保健学		2		
環境衛生工学		2			環境衛生工学		2		
環境科学		2			環境科学		2		
放射線概論		2			放射線概論		2		
分析化学		2			分析化学		2		
分析化学実験		1			分析化学実験		1		
食品栄養学		2			食品栄養学		2		
食品衛生学		2			食品衛生学		2		
食品製造学		2			食品製造学		2		
職業適性論		2			職業適性論		2		
労働衛生法規Ⅰ		2			労働衛生法規Ⅰ		2		
労働衛生法規Ⅱ		2			労働衛生法規Ⅱ		2		
総合					総合				
特別講義Ⅰ		2			特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2			特別講義Ⅱ		2		
特別演習Ⅰ		1			特別演習Ⅰ		1		
特別演習Ⅱ		1			特別演習Ⅱ		1		
ボランティア活動		2			ボランティア活動		2		
フィールドスタディⅠ	3				フィールドスタディⅠ	3			
フィールドスタディⅡ		1			フィールドスタディⅡ		1		
計	<u>51</u>	<u>219</u>		124単位以上	計	<u>52</u>	<u>163</u>		124単位以上
別表3－1～別表4－4					別表3－1～別表4－4				
－ 省 略 －					－ 省 略 －				

杏林大学学則 新旧対照表

新						旧		
別表４－５（令和３年度入学生から適用）						【参考となる既存別表なし】		
外国語学部学科目構成								
英語学科								
授 業 科 目 の 名 称					単 位 数		備 考	
					必修	選択		
外国語科目 A	英語			I	2			
	英語			II	2			
	英語			III	2			
	英語			IV	2			
	実用英語	演習		I		2		
	実用英語	演習		II		2		
	中国語			I		2		
	中国語			II		2		
	韓国語			I		2		
	韓国語			II		2		
	ドイツ語			I		2		
	ドイツ語			II		2		
	フランス語			I		2		
	フランス語			II		2		
	スペイン語			I		2		
	スペイン語			II		2		
	日本語			I		2		
	日本語			II		2		
	日本語			III		2		
	日本語			IV		2		
	日本語			V		2		
	日本語			VI		2		
外国語科	英語特別	演習		I		2		
	英語特別	演習		II		2		
	中国語			III		2		
	中国語			IV		2		
	中国語特別	演習		I		2		
	中国語特別	演習		II		2		

杏林大学学則 新旧対照表

新					旧				
目 B	中 国 語 特 別 演 習	Ⅲ		2					
	中 国 語 特 別 演 習	Ⅳ		2					
	韓 国 語	Ⅲ		2					
	韓 国 語	Ⅳ		2					
	実 用 韓 国 語			2					
	ド イ ツ 語	Ⅲ		2					
	ド イ ツ 語	Ⅳ		2					
	フ ラ ン ス 語	Ⅲ		2					
	フ ラ ン ス 語	Ⅳ		2					
	ス ペ イ ン 語	Ⅲ		2					
	ス ペ イ ン 語	Ⅳ		2					
基 盤 教 育 科 目	大 学 入 門		2						
	アカデミックライティング		2						
	コミュニケーション概論			2	2単位以上				
	テーマで学ぶ現代社会Ⅰ			2					
	テーマで学ぶ現代社会Ⅱ			2					
	テーマで学ぶ現代社会Ⅲ			2					
	サービスマナーニングⅠ			2					
	サービスマナーニングⅡ			2					
	データサイエンス		2						
	データリテラシー		2						
	統計学			2					
	情報処理			2					
	異文化コミュニケーション			2					
	地域圏研究Ⅰ			2					
	地域圏研究Ⅱ			2					
	地域圏研究Ⅲ			2					
	ダイバーシティ論			2					
	フイーールドスタディⅠ			2					
	フイーールドスタディⅡ			2					
	フイーールドスタディⅢ			2					
	フイーールドスタディⅣ			2					
	キャリアデザインⅠ		2						

杏林大学学則 新旧対照表

新										旧											
	キ	ャ	リ	ア	デ	ザ	イ	ン	Ⅱ	2											
	キ	ャ	リ	ア	デ	ザ	イ	ン	Ⅲ		2										
	キ	ャ	リ	ア	デ	ザ	イ	ン	Ⅳ		2										
	イ	ン	タ	ー	ン	シ	ッ	プ	Ⅰ		2										
	イ	ン	タ	ー	ン	シ	ッ	プ	Ⅱ		2										
	イ	ン	タ	ー	ン	シ	ッ	プ	Ⅲ		2										
	日	本	語	学	概	論					2										
	日	本	語	学	特	論	Ⅰ				2										
	日	本	語	学	特	論	Ⅱ				2										
	日	本	語	学	特	論	Ⅲ				2										
	日	本	語	教	育	学	概	論			2										
	日	本	語	教	育	実	習	Ⅰ			2										
	日	本	語	教	育	実	習	Ⅱ			2										
	日	本	語	教	育	実	習	Ⅲ			2										
	日	本	語	教	育	学	特	論	Ⅰ		2										
	日	本	語	教	育	学	特	論	Ⅱ		2										
	日	本	語	教	育	学	特	論	Ⅲ		2										
	日	本	文	化	演	習					2										
	海	外	語	学	実	習	Ⅰ				1										
	海	外	語	学	実	習	Ⅱ				1										
海	外	語	学	実	習	Ⅲ			1												
海	外	語	学	実	習	Ⅳ			1												
国	内	語	学	実	習	Ⅰ			1												
国	内	語	学	実	習	Ⅱ			1												
教 養 科 目	文								学			2									
	社			会					学			2									
	地			理					学			2									
	経			営					学			2									
	哲								学			2									
	倫			理					学			2									
	心			理					学			2									
	ホスピタリティ・コミュニケーション 歴											2									
				史				学			2										

杏林大学学則 新旧対照表

新					旧				
	日 本 国 憲 法		2						
	健 康 と 体 育		2						
	社 会 と 大 学 I		2						
	社 会 と 大 学 II		2						
	社 会 と 大 学 III		2						
	保 健 ・ 医 療 の 現 状 と 未 来 I		2						
	保 健 ・ 医 療 の 現 状 と 未 来 II		2						
専 門 科 目	英 語 の 世 界	2		専門科目から					
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン と 人 間	2		66単位以上					
	英 語 文 法 I		2	2単位以上					
	英 語 文 法 II		2						
	目 的 別 英 語 演 習 I		2						
	目 的 別 英 語 演 習 II		2						
	目 的 別 英 語 演 習 III		2						
	目 的 別 英 語 演 習 IV		2						
	目 的 別 英 語 演 習 V		2						
	目 的 別 英 語 演 習 VI		2						
	目 的 別 英 語 演 習 ・ 上 級 I		2						
	目 的 別 英 語 演 習 ・ 上 級 II		2						
	目 的 別 英 語 演 習 ・ 上 級 III		2						
	目 的 別 英 語 演 習 ・ 上 級 IV		2						
	英 語 文 献 講 読 I	2							
	英 語 文 献 講 読 II	2							
	英 語 音 声 学		2						
	英 語 発 音 聴 取		2						
	英 語 翻 訳 論		2						
	英 語 翻 訳 演 習		2						
W r i t i n g S t r a t e g i e s		2							
C o m m u n i c a t i o n S t r a t e g i e s		2							
I n t e g r a t e d E n g l i s h I		2							
I n t e g r a t e d E n g l i s h II		2							
英 語 学 演 習 I		2							
英 語 学 演 習 II		2							

杏林大学学則 新旧対照表

新										旧									
	英	語	学	演	習	Ⅲ		2											
	英	語	学	演	習	Ⅳ		2											
	英	語	学	演	習	Ⅴ		2											
	英	語	学	特	論	Ⅰ		2											
	英	語	学	特	論	Ⅱ		2											
	英	語	学	特	論	Ⅲ		2											
	英	語	学	特	論	Ⅳ		2											
	英	語	学	特	論	Ⅴ		2											
	表	象	文	化	論	Ⅰ		2											
	表	象	文	化	論	Ⅱ		2											
	異文化コミュニケーション特論							2											
	異文化交 流							2											
	西洋的 思考と哲学							2											
	Global Issues Ⅰ							2											
	Global Issues Ⅱ							2											
	英	文	学	特	論	Ⅰ		2											
	英	文	学	特	論	Ⅱ		2											
	米	文	学	特	論	Ⅰ		2											
	米	文	学	特	論	Ⅱ		2											
	英	語	文	学		Ⅱ		2											
	社	会	言	語	学	Ⅱ		2											
	認	知	言	語	学	Ⅱ		2											
	英	語	教	育	論	Ⅰ		2											
	英	語	教	育	論	Ⅱ		2											
	英	語	科	教	育	法	Ⅰ	2											
	英	語	科	教	育	法	Ⅱ	2											
	ゼ	ミ	ナ	ー	ル	Ⅰ	2												
	ゼ	ミ	ナ	ー	ル	Ⅱ	2												
	ゼ	ミ	ナ	ー	ル	Ⅲ	2												
	卒業論文・課題指導							4											
関 連 目 録	他学部設置科目																		

杏林大学学則 新旧対照表

新					旧		
自由科目							
中国語学科							
授業科目の名称					単位数		備考
					必修	選択	
外国語科目A	英語			I	2		
	英語			II	2		
	実用英語		演習	I		2	
	実用英語		演習	II		2	
	韓国語			I		2	
	韓国語			II		2	
	ドイツ語			I		2	
	ドイツ語			II		2	
	フランス語			I		2	
	フランス語			II		2	
	スペイン語			I		2	
	スペイン語			II		2	
	日本語			I		2	
	日本語			II		2	
	日本語			III		2	
	日本語			IV		2	
日本語			V		2		
日本語			VI		2		
外国語科目B	英語コミュニケーション			I	2		
	英語コミュニケーション			II	2		
	英語特別演習			I		2	
	英語特別演習			II		2	
	中国語特別演習			I		2	
	中国語特別演習			II		2	
	中国語特別演習			III		2	
	中国語特別演習			IV		2	

杏林大学学則 新旧対照表

新						旧	
	韓国語Ⅲ		2				
	韓国語Ⅳ		2				
	実用韓国語		2				
	ドイツ語Ⅲ		2				
	ドイツ語Ⅳ		2				
	フランス語Ⅲ		2				
	フランス語Ⅳ		2				
	スペイン語Ⅲ		2				
	スペイン語Ⅳ		2				
基 盤 教 育 科 目	大学入門	2					
	アカデミックライティング	2					
	コミュニケーション概論		2	2単位以上			
	テーマで学ぶ現代社会Ⅰ		2				
	テーマで学ぶ現代社会Ⅱ		2				
	テーマで学ぶ現代社会Ⅲ		2				
	サービスラーニングⅠ		2				
	サービスラーニングⅡ		2				
	データサイエンス	2					
	データリテラシー	2					
	統計学		2				
	情報処理解		2				
	異文化コミュニケーション		2				
	地域圏研究Ⅰ		2				
	地域圏研究Ⅱ		2				
	地域圏研究Ⅲ		2				
	ダイバーシティ論		2				
	フィールドスタディⅠ		2				
	フィールドスタディⅡ		2				
	フィールドスタディⅢ		2				
	フィールドスタディⅣ		2				
	キャリアデザインⅠ	2					
	キャリアデザインⅡ	2					
	キャリアデザインⅢ		2				

杏林大学学則 新旧対照表

新				旧			
	キャリアデザイン	IV	2				
	インターンシップ	I	2				
	インターンシップ	II	2				
	インターンシップ	III	2				
	日本語学概論		2				
	日本語学特論	I	2				
	日本語学特論	II	2				
	日本語学特論	III	2				
	日本語教育学概論		2				
	日本語教育実習	I	2				
	日本語教育実習	II	2				
	日本語教育実習	III	2				
	日本語教育学特論	I	2				
	日本語教育学特論	II	2				
	日本語教育学特論	III	2				
	日本文化演習		2				
	海外語学実習	I	1				
	海外語学実習	II	1				
	海外語学実習	III	1				
	海外語学実習	IV	1				
教養科目	国内語学実習	I	1				
	国内語学実習	II	1				
	文学	学	2				
	社会学	学	2				
	地理学	学	2				
	経営学	学	2				
	哲学	学	2				
	倫理学	学	2				
	心理学	学	2				
	ホスピタリティ・コミュニケーション		2				
	歴史学	学	2				
	日本国憲	法	2				
	健康と体育	育	2				

杏林大学学則 新旧対照表

新					旧
	社 会 と 大 学 I		2		
	社 会 と 大 学 II		2		
	社 会 と 大 学 III		2		
	保 健 ・ 医 療 の 現 状 と 未 来 I		2		
	保 健 ・ 医 療 の 現 状 と 未 来 II		2		
専 門 科 目	イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 I	2		専門科目から 66単位以上	
	イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 II	2			
	イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 III	2			
	イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 IV	2			
	イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 V	2			
	イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 VI	2			
	イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 VII	2			
	イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 VIII	2			
	イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 IX	2			
	イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 X	2			
	イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 X I	2			
	イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 X II	2			
	イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 X III	2			
	イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 X IV	2			
	イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 X V	2			
	イ ン テ ン シ ブ 中 国 語 X VI	2			
	中 国 語 発 音 矯 正 I	2			
	中 国 語 発 音 矯 正 II	2			
	中 国 語 学 概 論	2			
	中 国 語 の 文 法		2		
	中 国 語 の 音 声	2			
	デ ジ タ ル 時 代 の 中 国 語		2		
	地 域 研 究 入 門	2			
	中 国 の 地 誌		2		
	中 国 語 圏 研 究	2			
	韓 国 語 圏 研 究		2		
韓 国 の 文 学 ・ 文 化		2			
中 国 文 学 史 I		2			

杏林大学学則 新旧対照表

新					旧				
	中国文学史	Ⅱ		2					
	日中比較文化論	Ⅰ		2					
	日中比較文化論	Ⅱ		2					
	アジア政治論			2					
	アジア経済論			2					
	中国の政治・経済			2					
	中国の思想			2					
	中国の歴史			2					
	近代中国と日本	Ⅰ		2					
	近代中国と日本	Ⅱ		2					
	中国語プレゼンテーション			2					
	中国語ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ			2					
	中国語ビジネスコミュニケーション演習Ⅱ			2					
	中国語演習Ⅰ	Ⅰ		2					
	中国語演習Ⅱ	Ⅱ		2					
	中国語演習Ⅲ	Ⅲ		2					
	中国語演習Ⅳ	Ⅳ		2					
	中国語通訳法Ⅰ	Ⅰ	2						
	中国語通訳法Ⅱ	Ⅱ	2						
	中国語翻訳法Ⅰ	Ⅰ		2					
	中国語翻訳法Ⅱ	Ⅱ		2					
	中日通訳・翻訳Ⅰ	Ⅰ		2					
	中日通訳・翻訳Ⅱ	Ⅱ		2					
	日中通訳・翻訳Ⅰ	Ⅰ		2					
	日中通訳・翻訳Ⅱ	Ⅱ		2					
	ゼミナールⅠ	Ⅰ	2						
	ゼミナールⅡ	Ⅱ	2						
	ゼミナールⅢ	Ⅲ	2						
	卒業論文・課題指導			4					
関連科目	他学部設置科目								
自由科目									

杏林大学学則 新旧対照表

新							旧	
観光交流文化学科								
授 業 科 目 の 名 称					単 位 数		備 考	
					必修	選択		
外国語科目 A	英語			I	2			
	英語			II	2			
	英語			III	2			
	英語			IV	2			
	実用英語	英	演習	I		2		
	実用英語	英	演習	II		2		
	中国語			I		2		
	中国語			II		2		
	韓国語			I		2		
	韓国語			II		2		
	ドイツ語	イ	ツ	I		2		
	ドイツ語	イ	ツ	II		2		
	フランス語	ラ	ン	I		2		
	フランス語	ラ	ン	II		2		
	スペイン語	ペ	イ	I		2		
	スペイン語	ペ	イ	II		2		
	日本語	本		I		2		
	日本語	本		II		2		
	日本語	本		III		2		
	日本語	本		IV		2		
	日本語	本		V		2		
	日本語	本		VI		2		
	英語			V	2			
	英語			VI	2			
	英語			VII	2			
	英語			VIII	2			
	英語	特	演習	I		2		
	英語	特	演習	II		2		
	中国語			III		2		

杏林大学学則 新旧対照表

新					旧				
外国語科目B	中国語	IV		2					
	中国語特別演習 I	I		2					
	中国語特別演習 II	II		2					
	中国語特別演習 III	III		2					
	中国語特別演習 IV	IV		2					
	韓国語	III		2					
	韓国語	IV		2					
	実用韓国語			2					
	ドイツ語	III		2					
	ドイツ語	IV		2					
	フランス語	III		2					
	フランス語	IV		2					
	スペイン語	III		2					
	スペイン語	IV		2					
基礎教育科目	大学入門		2						
	アカデミックライティング		2						
	コミュニケーション概論			2	2単位以上				
	テーマで学ぶ現代社会 I	I		2					
	テーマで学ぶ現代社会 II	II		2					
	テーマで学ぶ現代社会 III	III		2					
	サービスラーニング I	I		2					
	サービスラーニング II	II		2					
	データサイエンス		2						
	データリテラシー		2						
	統計学			2					
	情報処理			2					
	異文化コミュニケーション			2					
	地域圏研究 I	I		2					
	地域圏研究 II	II		2					
	地域圏研究 III	III		2					
	ダイバーシティ論			2					
	フィールドスタディ I	I		2					
	フィールドスタディ II	II		2					

杏林大学学則 新旧対照表

新						旧					
	フ	ィ	ー	ル	ド	ス	タ	デ	ィ	Ⅲ	
	フ	ィ	ー	ル	ド	ス	タ	デ	ィ	Ⅳ	
	キ	ャ	リ	ア	デ	ィ	ベ	ロ	ッ	プ	メ
	キ	ャ	リ	ア	デ	ィ	ベ	ロ	ッ	プ	メ
	キ	ャ	リ	ア	デ	ザ	イ	ン		Ⅲ	
	キ	ャ	リ	ア	デ	ザ	イ	ン		Ⅳ	
	イ	ン	タ	ー	ン	シ	ッ	プ		Ⅰ	
	日	本	語	学	概	論					
	日	本	語	学	特	論				Ⅰ	
	日	本	語	学	特	論				Ⅱ	
	日	本	語	学	特	論				Ⅲ	
	日	本	語	教	育	学	概	論			
	日	本	語	教	育	実	習			Ⅰ	
	日	本	語	教	育	実	習			Ⅱ	
	日	本	語	教	育	実	習			Ⅲ	
	日	本	語	教	育	学	特	論		Ⅰ	
	日	本	語	教	育	学	特	論		Ⅱ	
	日	本	語	教	育	学	特	論		Ⅲ	
	日	本	文	化	演	習					
	海	外	語	学	実	習				Ⅰ	
	海	外	語	学	実	習				Ⅱ	
	海	外	語	学	実	習				Ⅲ	
	海	外	語	学	実	習				Ⅳ	
	国	内	語	学	実	習				Ⅰ	
	国	内	語	学	実	習				Ⅱ	
	文									学	
	社									学	
	地									学	
	経									学	
	哲									学	
	倫									学	

杏林大学学則 新旧対照表

新					旧	
教 養 科 目	心 理 学		2			
	ホスピタリティ・コミュニケーション		2			
	歴 史 学		2			
	日 本 国 憲 法 学		2			
	健 康 と 体 育		2			
	社 会 と 大 学 I		2			
	社 会 と 大 学 II		2			
	社 会 と 大 学 III		2			
	保 健 ・ 医 療 の 現 状 と 未 来 I		2			
	保 健 ・ 医 療 の 現 状 と 未 来 II		2			
専 門 科 目	ホ ス ピ タ リ テ ィ 入 門	2		専門科目から 66単位以上		
	観 光 学 入 門	2				
	現 代 社 会 と 観 光 ホ ス ピ タ リ テ ィ	2				
	観 光 基 礎 演 習	2				
	観 光 調 査 法	2				
	交 流 文 化 論		2			
	観 光 心 理 学		2			
	観 光 地 理 学		2			
	観 光 政 策 論		2			
	観 光 マ ー ケ テ ィ ン グ 論		2			
	人 的 資 源 管 理 論		2			
	フ ァ シ リ テ ー シ ョ ン 実 習		2			
	ホ ス ピ タ リ テ ィ 財 務 会 計 論		2			
	観 光 リ ス ク マ ネ ジ メ ン ト 論		2			
	観 光 メ デ ィ ア 論		2			
	観 光 資 源 論 I		2			
	観 光 資 源 論 II		2			
	観 光 コ ン テ ン ツ デ ザ イン 実 習		2			
	T o u r i s m E n g l i s h I		2			
	T o u r i s m E n g l i s h II		2			
	観 光 実 用 英 語 イ ン テ ン シ ブ I		2			
	観 光 実 用 英 語 イ ン テ ン シ ブ II		2			
	健 康 科 学 の 基 礎		2			

杏林大学学則 新旧対照表

新					旧				
	ウェルネスツーリズム論		2						
	温泉観光学		2						
	観光衛生論		2						
	福祉観光論		2						
	観光手話Ⅰ		2						
	観光手話Ⅱ		2						
	ウェルネスツーリズム実習		2						
	温泉療養学		2						
	旅行医学概論		2						
	疾病地域論		2						
	観光交通論		2						
	航空産業論		2						
	航空サービス論		2						
	ホテルオペレーション		2						
	宿泊産業論		2						
	フードビジネス論		2						
	旅行産業論		2						
	ホスピタリティ・ビジネスインターンシップ		2						
	ホスピタリティ・ビジネス演習		2						
	ホスピタリティ・ビジネス特論Ⅰ		2						
	ホスピタリティ・ビジネス特論Ⅱ		2						
	観光まちづくり論		2						
	国際協力と観光		2						
	地域創造インターンシップ		2						
	コンテンツ・ツーリズム論		2						
	エコツーリズム論		2						
	地域リーダーシップ論		2						
	N P O ・ N G O 論		2						
	地域型プロジェクト演習		2						
	地域創造特論Ⅰ		2						
	地域創造特論Ⅱ		2						
	ゼミナールⅠ	2							
	ゼミナールⅡ	2							

杏林大学学則 新旧対照表

新						旧		
	ゼミナールⅢ 卒業論文・プロジェクト指導	2	6					
関連科目	他学部設置科目							
自由科目								
別表５－１－１～５－１－４　－省略－						別表５－１－１～５－１－４　－省略－		
別表５－１－５ 教職に関する科目構成 (令和３年度入学生から適用)						【参考：現行の学則別表〔別表５－１－４(平成３１年度入学生から適用)〕】 教職に関する科目構成		
授業科目の名称		単位	備考			授業科目の名称	単位	備考
教職総論		2				教職総論	2	
教育原理（教育課程を含む）		2				教育原理（教育課程を含む）	2	
教育心理学		2				教育心理学	2	
教育社会学		2				教育社会学	2	
特別支援教育論		2				特別支援教育論	2	
保健科教育法Ⅰ		2				保健科教育法Ⅰ	2	
保健科教育法Ⅱ		2				保健科教育法Ⅱ	2	
社会科教育法		2				社会科教育法	2	
社会科・公民科教育法		2				社会科・公民科教育法	2	
英語科教育法Ⅰ		2				英語科教育法Ⅰ	2	
英語科教育法Ⅱ		2				英語科教育法Ⅱ	2	
保健科指導法Ⅰ		2				保健科指導研究Ⅰ	2	
保健科指導法Ⅱ		2				保健科指導研究Ⅱ	2	
社会科指導研究		2				社会科指導研究	2	
社会科・公民科指導研究		2				社会科・公民科指導研究	2	
英語科指導研究Ⅰ		2				英語科指導研究Ⅰ	2	
英語科指導研究Ⅱ		2				英語科指導研究Ⅱ	2	

杏林大学学則 新旧対照表

新			旧		
道 徳 教 育 指 導 論	2		道 徳 教 育 指 導 論	2	
総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 指 導 法	1		総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 指 導 法	1	
特 別 活 動 指 導 論	1		特 別 活 動 指 導 論	1	
教 育 の 方 法 ・ 技 術	2		教 育 の 方 法 ・ 技 術	2	
生 徒 指 導 論	1		生 徒 指 導 論	1	
進 路 指 導 論	1		進 路 指 導 論	1	
教育相談(カウンセリングを含む)	2		教育相談(カウンセリングを含む)	2	
教 育 実 習 I	1		教 育 実 習 I	1	
教 育 実 習 II	2		教 育 実 習 II	2	
教 育 実 習 III	2		教 育 実 習 III	2	
養 護 実 習 I	1		養 護 実 習 I	1	
養 護 実 習 II	4		養 護 実 習 II	4	
教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高)	2		教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高)	2	
教 職 実 践 演 習 (養 護 教 諭)	2		教 職 実 践 演 習 (養 護 教 諭)	2	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得ようとする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表 2 から別表 4 により開設されている科目を除き、自由科目として卒業の単位に算入しない。

別表 6－1～6－2

－ 省 略 －

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得ようとする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表 2 から別表 4 により開設されている科目を除き、自由科目として卒業の単位に算入しない。

別表 6－1～6－2

－ 省 略 －

目次 学則の変更の趣旨等を記載した書類(本文)

1. 学則変更（収容定員変更）の内容	p. 2
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性	p. 2
2-1) 学則変更（収容定員変更）の必要性	p. 2
2-2) 定員管理に関して	p. 7
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	p. 8
3-1) 教育課程の変更内容	p. 8
3-2) 教育方法および履修指導方法の変更内容	p. 8
3-3) 教員組織の変更内容	p. 9
3-4) 施設・設備について	p. 14

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

【保健学部】

杏林大学保健学部は、2022（令和4）年4月1日より、入学定員を以下のとおり変更する。

健康福祉学科の入学定員を120名、収容定員を480名とする。

これにより、保健学部の入学定員は756名、収容定員は3024名となる。

【総合政策学部】

杏林大学総合政策学部は、2022（令和4）年4月1日より、3年次編入学生の定員を以下のとおり変更する。

①総合政策学科の3年次編入学生の定員を4名、収容定員を608名とする。

②企業経営学科の3年次編入学生の定員を2名、収容定員を324名とする。

これにより、総合政策学部の入学定員は230名、収容定員は932名となる。

【外国語学部】

杏林大学外国語学部は、2022（令和4）年4月1日より、入学定員および3年次編入学生の定員を以下のとおり変更する。

①中国語学科の入学定員を32名、3年次編入学生の定員を2名、収容定員を132名とする。

②観光交流文化学科の3年次編入学生の定員を2名、収容定員を364名とする。

これにより、外国語学部の入学定員は252名、収容定員は1024名となる。

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

2-1) 学則変更（収容定員変更）の必要性

杏林大学は、学校法人杏林学園が1966(昭和41)年に臨床検査技師を養成することを目的に三鷹キャンパスに「杏林学園短期大学(後に保健学部に変更)」を設立したことに始まる。「真・善・美の探究」を建学の精神に掲げ、1970(昭和45)年に杏林大学として医学部医学科ならびに附属病院を設置した。その後も発展を続け、1979(昭和54)年には八王子キャンパスに保健学部、1984(昭和59)年に社会科学部(後に総合政策学部に変更)、1988(昭和63)年に外国語学部を設置した。また、大学院として、医学研究科、保健学研究科、国際協力研究科を相次いで開設し、2020(令和2)年5月1日現在では、4学部3研究科を擁する総合大学となっている。また、創立50周年となる2016(平成28)年4月、三鷹市に位置する井の頭キャンパスを開設し、これからの50年に向け、新たなスタートを切り4年が経過したところである。

一方、この間、積極的に教育改革を行うことを目的に、学長を中心とした各学部教職員より構成された杏林大学中長期計画委員会が設置され、毎回テーマごとに、十分な経験を有する学内者あるいは学外者から意見を聞き、委員の間で活発な議論がなされた。それらの成果は2004(平成16)年9月「八王子キャンパスの将来構想に関する提言」としてまとめられ、さらに2005(平成17)年12月「杏林大学における中長期改革に関する提言」としてまとめられた。これらの提言を受けて、全学的な教育の

質の向上を目指して、課題解決を実行に移すため、教職協働による中期計画実行委員会が組織され、早期施行の必要性の高いものから順に3期に分けて押し進めることとし、詳細については第1次中期計画(2006年度から2009年度)、第2次中期計画(2010年度から2012年度)、第3次中期計画(2013年度から2015年度)として取りまとめられ、全学的に実行してきた。また、2016(平成28)年度からは井の頭キャンパス開設とともに新しい短期計画および中期計画を再編成し、全学的な活動を行っている。その中で最も重視しているものの一つに「地域とグローバル」があり、これらを活動の両輪として捉え、「Moving global, staying local」をモットーに掲げ、更なる飛躍を遂げるために学長指導下で強力に押し進めている。

こうした地道な活動分野の中には文部科学省補助事業に選ばれ、さらに活動を活発化した分野もある。具体的には「中国語圏で活躍するスマートでタフな日中英トライリンガル人材育成」(経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援2012年)、「新しい都市型高齢社会における地域と大学の統合知の拠点」(地(知)の拠点整備事業2013年)、「女性研究者研究活動支援事業(一般型)」(科学技術人材育成費補助事業2014年)、「日英中トライリンガル育成のための高大接続」(大学教育再生加速プログラム2014年)であるが、これらの事業に採択されたことは、第1次から第3次の中期計画の確実な実行と、不断の自己点検および評価に基づく本学の諸活動の成果が評価された結果だと考えている。また、積極的な大学改革や教育改革の効果は、着実に本学志願者の増加としても現れている。18歳人口の減少傾向にもかかわらず、全学部において安定した志願者を集め、毎年総志願者数は1万人をはるかに超えている状況である。

今回の保健学部、総合政策学部および外国語学部の入学定員変更は、社会の要請に応じて本学の教育改革をさらに押し進め、地域社会あるいは国際社会において活躍する人材をより多く育成することを目指しているものである。そのために、本学志願者の需要を踏まえて確実に学生確保するとともに、教育体制をさらに整備充実させ強化していくものである。

【保健学部】

1970(昭和45)年杏林大学医学部開設当時、病院や医療施設の医療スタッフは、医師・歯科医師・薬剤師は大学での教育を受けていたが、コメディカルスタッフは専門学校における教育が主であった。杏林大学では医学部開設以来、医師と同様に医療スタッフも、専門分野の教育・研究に精通した専任の教員による教育が重要と考え、コメディカルスタッフの教育を大学で行うことを目指した。1979(昭和54)年八王子キャンパスにコメディカルスタッフの教育を行う医療系学部を開設することとし、杏林学園短期大学から臨床検査技師教育を受け継いだ臨床検査技術学科、および保健学を主たる研究領域とする保健学科の2学科からなる保健学部を開設した。その後、医療の進歩と共に社会の要請が多様化し、広く国民の健康の維持増進あるいは福祉の充実が求められ、コメディカルスタッフの専門領域も拡大してきた。そのため、臨床検査技師以外のコメディカルスタッフについても、大学あるいは大学院での教育が必要になってきた。

そのような中であって保健学部では、1994(平成6)年4月看護学科開設、2006(平成18)年4月臨床工学科開設、2007(平成19)年4月保健学科を健康福祉学科に名称変更するとともに福祉領域の充実を図り、2007(平成19)年4月救急救命学科開設、2008(平成20)年4月大学院保健学研究科看護学専攻博士前期課程開設、2009(平成21)年4月理学療法学科開設、2010(平成22)年4月大学院保健学研究

科看護学専攻博士後期課程開設、2011(平成 23)年 4 月作業療法学科開設、2013(平成 25)年 4 月診療放射線技術学科開設、2018(平成 30)年 4 月臨床心理学科開設を行い、学生教育に誠心誠意努力してきた。

本学の学生教育の成果は徐々に上がってきている。東京都福祉保健局 2016(平成 28)年医師・歯科医師・薬剤師調査によると、東京都全域の医師数は 10 万人あたり 328 名であるが、多摩地域では 193 名であり、多摩地域の医師数は依然として東京都全域の医師数には及ばないが、調査するごとに改善している状況にある。また、多摩地域では医師だけでなくコメディカルスタッフも不足していると考えられるため、医療スタッフの充実を目指し、社会の要請、とりわけ杏林大学が基盤としている多摩地域の医療福祉の要請に応える努力をしてくている。学科増設を行い、学生教育に真摯に取り組んでいる効果が少しずつ表れ、多摩地域の医療施設に就職する学生も増加傾向にあるなど、日進月歩の医療の中でコメディカルが、チーム医療の担い手として無くてはならない存在になり、医療の質の向上に大きく貢献し現在に至っている。

一方、厚生労働省は、国民が安心、満足、納得を得ることができる持続可能な保健医療システムを実現するために、2035 年の保健医療が達成すべきビジョンを 3 つ提示している。その 1 つとして、「Lean Healthcare」を挙げ、保健医療の価値を高めることを目指している。そこでは、保健医療サービスの質を向上させるだけでなく、対象者の意識を変容させ自らの健康を向上させるための主体的な判断や選択ができる環境が整備されることが必要とされている。具体的には、生活習慣病や超高齢社会への対策においては、対象者が自ら保健行動をおこす仕組みづくりが求められるが、なかでも運動習慣の定着は生活習慣病への対処や予防だけでなく、高齢者の健康寿命を延伸すると言われている。

内閣府「平成 30 年版高齢社会白書」によると、70 歳以上の高齢者において介護支援が必要となった主な原因は「認知症」が約 19%、「転倒・骨折」が約 12%、「関節疾患」が約 10%で認知症以外では運動器の障害によるものが多く、適切な運動の重要性が指摘されている。総務省統計局「統計トピックス No. 126」によると令和 2 年 9 月段階で全国の 70 歳以上の高齢者は 2791 万人であり、転倒リスクの高い高齢者は全国で 500 万人以上いると推計され、高齢者の転倒・転落予防対策は重要課題である。厚生労働省白書では 2040 年の高齢者人口ピークを迎えるまでに健康寿命 3 年の延伸を目標に掲げており、これを実現するために高齢者一人ひとりに合った適切な運動が求められている。しかし、現状では高齢者に適切な運動を指導できる人材はごく少なく、指導者数の面からみて健康寿命 3 年の延伸目標達成には程遠い状況であると言える。このような状況の中で高齢者の転倒・転落に関する病態と治療法を理解し、患者に寄り添い、科学的な見地に基づいて患者の運動指導が出来る指導者を養成することは早急に行われるべきことと考えられる。

また、介護支援が必要となった主な原因では「認知症」が一番多く、これに対する対策も必要とされている。認知症に対しては患者本人だけではなく、家族も含めた環境調整も必要とされているが、このことは認知症だけでなく、他の精神科領域の患者についても同様である。我が国において認知症も含めた精神科領域の患者数は厚生労働省「精神疾患のデータ平成 29 年度版」によると約 419 万人であり、入院患者は減少傾向にあるが、精神科を受診する外来患者は増加傾向にある。地域で生活する患者の増加が考えられるが、認知症患者や統合失調症患者にとって、社会で自立して生活をしていくことは難しい場合が多く、様々な援助を必要とすることが多い。それらの援助の主体を

任っているのは精神保健福祉士である。精神保健福祉士は患者の病像の把握を基に、精神症状の悪化や深刻化を未然に防ぐために環境調整を行いながら、生活を支える重要な役割を担っている。精神保健福祉士の現状を見ると、東京都には養成課程を持つ大学は18校あるが、必ずしも社会の要請に応えるのに十分な人数の精神保健福祉士養成がされている状況とは言えない。その中でも杏林大学の位置する多摩地域にあっては精神科病院が多く、精神保健福祉士が不足している状況にある。

2020（令和2）年1月頃より我が国においても新型コロナウイルス感染症が増加し、東京都においては2回の緊急事態宣言が出されるなど、感染症対策が重要視されている。このような状況下で精神科領域の患者だけでなく、高齢者も自宅で過ごす時間が増加し、施設で行うリハビリテーションなど積極的な治療形態の減少があり、心身の機能低下傾向が見られるなど、大きな問題となっている。今後のウイズコロナ、アフターコロナ時代にあつては、施設だけでなく自宅も含めた様々な場所で運動機能が衰えない工夫や、精神面での安定が重要視されると考えられるため、健康福祉学科における人材の養成は社会の要請に応えるものと確信している。

以上のことを勘案して、健康福祉学科においては介護予防に重点をおき、確かな医療知識を基に患者一人ひとりに対して、全身状態像と照らし合わせて適確な運動を指導できる人材の養成、および精神医療に精通し、すぐれた環境調整能力を持つ精神保健福祉士の養成がこれからの社会の要請と捉え、適確な運動を指導できる人材の養成と精神保健福祉士の養成を行うこととした。これまで、健康福祉学科に入学してくる学生は養護教諭や社会福祉士を目指す学生が主であったが、新たに運動指導をできる人材の養成および精神保健福祉士養成を行うことで、養護教諭や社会福祉士を目指す学生以外にも健康福祉学科を志望してくる学生が増加すると考えられるため、入学定員を70名増やし志望者の意気込みに応えることとした。

杏林大学においては、文部科学省から新型コロナ禍において3密を避けるためにキャンパスの有効利用を推奨するとの通達がされてきたことを真摯に受け止め、現在体育施設のみを使用している八王子キャンパスにおいて、今後は講義・演習に関しても使用することにし準備を進めてしている。具体的には健康福祉学科入学後、運動指導者を希望する者に対しては、井の頭キャンパスだけでなく運動施設の充実している八王子キャンパスも使用して教育研究を行うこととした。運動指導が無理なく行われるためには、心身の健康と運動やスポーツ科学に関連する広範な学問領域を学習する必要がある。身体機能や身体活動の役割に関する基礎知識を学習し、その上に立って規則的な運動やスポーツ活動を行うことによる生活の質の向上、および心身への影響のメカニズムなどを学修する。さらにはスポーツや運動を通じた生活の質の向上を実現するための具体的な方法についても教育研究することとしている。

また、精神保健福祉士養成について、すでに健康福祉学科においては社会福祉士の養成を行っていることもあり、福祉系の専門職として幅広い知識を有する精神保健福祉士養成が可能と考えられる。更には、医学部付属病院や医学部精神神経科関連病院における患者中心の医療現場での実習が可能であり、深い知識が得られる積極的な教育を行うことを通して、精神科の患者に寄り添った精神保健福祉士の養成を行う。

【総合政策学部】

総合政策学部の理念・目的は、教育の本質を総合的な教養と実践力の涵養と考え、その実現を目指し、単眼的な専門的知識のみに捉われない学際的教育を通じて、あらゆる社会科学の観点から複眼的・多角的に社会現象を考察・分析・評価し、さまざまな社会問題の解決に向けて行動する能力を備えた人材を育成することにある。総合政策学部は1984(昭和59)年に「社会科学部」として創設され、2002(平成14)年度に「総合政策学部」に名称を変更したが、今日に至るまで9,000人を超える学位取得者を輩出し、公務員、IT、金融、流通、サービス、教育、製造など多くの分野で活躍している。総合政策学部は学生が専門的に学ぶ領域を大学に入学後、実際に学んでから決めることができるのを特徴の一つとしているし、学部教育の大きな柱となっている。

また、時代の推移とともにカリキュラムの改革を行い、社会の要請に応えてきた。具体的には2002(平成14)年度には従来の「国際政経」「経営情報」「法律行政」の3コースに加えて、新たに社会の要請が大きかった「環境福祉」コースを増設した。また2006(平成18)年度からは、主として公的部門に軸足を置く総合政策学科と、民間部門に軸足を置く企業経営学科の2学科制を採用し、時代の推移に適合させてきた。さらに2016(平成28)年度より、「国際政経」や「環境福祉」などと複数分野を組み合わせていたコース名称を、「政治」「経済」「法律」「国際関係」「福祉政策」「経営」「会計」というように、学生が主として学ぶ分野の名称に変更した。つまり、軸足を置く分野を主コースとし、学生が他に学ぶ分野を自由に組み合わせる事が可能なシステムにした。このカリキュラムの変更によって様々な学びが可能となった。例を上げれば経済学だけを勉強することは可能だし、経済学と法律学を併せて勉強することも可能である。様々な分野に興味のある学生には、三つ四つ以上の学問領域を自由に組み合わせることも可能である。つまり、様々な形で学際性を高め、時代の要請に真摯に応えたものと言える。

入学定員について総合政策学部では、1年次入学定員を総合政策学科150名、企業経営学科80名の合計230名に、また3年次編入学生の定員を総合政策学科3名、企業経営学科3名の合計6名に定めていた。しかし、近年、3年次編入学試験における総合政策学部の志望者の増加が顕著であり、その中でも総合政策学科を志望者する学生が多くなっている。総合政策学科と企業経営学科の1年次入学定員比率を見ると、2:1にしていることもあり、3年次編入学生の割合も2:1とするのが望ましいと考えられる。

以上のことから、総合政策学部の3年次編入学生の定員を総合政策学科4名、企業経営学科2名の合計6名に変更することとした。

【外国語学部】

外国語学部の理念・目的は、外国語の習得を通じて、言葉の持つ豊かな創造性とコミュニケーション機能の可能性を追求するとともに、異文化の垣根を越えて相互に理解し共存できる人間性そのものを陶冶し、実践的な外国語運用能力の開発を通じて、実社会の中で必要な専門的知識を備えた国際的な職業人を養成することである。本学部は、1988(昭和63)年に設置されて以来、現在までに8,000名を超える学位取得者を、公務員、教育、金融、商業、観光、サービス、製造などの各界に輩出しており、理念・目的に掲げた人材養成を具現化してきた。

また、前述の文部科学省補助事業である、「中国語圏で活躍するスマートでタフな日中英トライリンガル人材育成」、「新しい都市型高齢社会における地域と大学の統合知の拠点」、「日英中トライリンガル育成のための高大接続」の主たる取組学部として、全学的事業推進の中核的役割を担ってきた。その成果が社会から高い評価を得て、それが近年における志願者数の増加となって現れていると考えている。

外国語学部においても総合政策学部と同様に3年次編入学を受け入れ、3年次編入学試験を行ってきた。これまで3年次編入学定員を、英語学科4名、中国語学科5名、観光交流文化学科3名と定めてきたが、中国語学科と観光交流文化学科では、3年次からの専門教育に対して十分な基礎知識と技能を備えていないのではないかとと思われる学生もあり、結果的に定員を満たせないことも多く、過去3年間においても定員を満たすことができなかった。そのため、3年次編入学定員の変更を行うこととした。具体的には英語学科4名、中国語学科5名、観光交流文化学科3名を、英語学科4名、中国語学科2名、観光交流文化学科2名の4名減とし、減じた4名分を1年次入学定員2名分に換算し、中国語学科に組み入れることにした。したがって、中国語学科における1年次入学定員は30名から32名に変更することとした。

2-2) 定員管理に関して

2015(平成27)年6月19日に行われた文部科学大臣定例記者会見の席上、大臣から「大学におきまして、学生定員に対する在学者数の割合を、本来は定員が決まっているわけですから1.0にすることが原則であったのですが、今までそれが結構緩やかになっていたということがありました。」と発言され、また、大学基準協会の入学定員に関する審査基準において、定員超過の場合の提言指針として、下記の指針が述べられていた。

《実験・実習を伴う分野》	1.20 以上：努力課題	1.25 以上：改善勧告
《医学・歯学》	1.00 を超える：努力課題	1.05 以上：改善勧告
《上記以外の分野》	1.25 以上：努力課題	1.30 以上：改善勧告

以上の観点より、入学定員について、杏林大学では平成28年度入学性までは医学部以外は1.00から1.20未満の範囲内であれば、有り得る場合もあるのではないかと緩やかに考え、そのため補欠合格者を決めるにあたり、同点者はすべて繰り上げ合格にするなど厳密な定員管理をしていたとはいえない面があった。学科によっては1点で20名から30名程度の補欠者がおり、必ずしも学生定員に対する入学者数が1.0にならないことも多かった。しかし、2017(平成29)年度入学生からは定員管理を厳格にし、医学部同様に、入学定員に対する入学者数1.0を厳守し、仮に辞退者が出た場合には、辞退者数だけを繰り上げ合格者にする方策を採り現在に至っている。また、今後も継続して定員管理を行っていく。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

【保健学部】

3-1) 教育課程の変更内容

今般の入学定員、収容定員の変更に伴う教育課程の変更は行わず、今後とも良質な人材の養成を続けていく。

保健学部では教育課程の編成・実施方針(カリキュラムポリシー)に基づき、また、その体系性に応じた科目ごとの到達目標を設定し、各学科に相応しい教育内容による授業が行われている。

1年次に導入教育・初年次教育に配慮した授業や就業意識の涵養のためのキャリア教育も導入されている。また、4つの異なる学問分野を擁する総合大学としての利点を生かすため、連携科目において他学部教員による授業が行われている。また、「地域と大学」をテーマとする授業やグローバル化を目指した教育が全学的に実施されており、他学部・他学科履修の制度など専門性のみならず、幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するための教育内容となっている。

a) 教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）

次の教育目標が確実に達成されるよう、以下の方針に沿って教育課程を編成し、実施する。

- ・保健、医療、看護および福祉に関する広い視野と専門知識・技術を習得させる。
- ・保健、医療、看護および福祉に携わる者として高い倫理観と強い使命感を養成する。
- ・自ら問題を見つけ、それを解決できる科学的思考力や判断力を養成する。
- ・幅広いコミュニケーション能力を持ち、チーム医療を実践する能力を養成する。
- ・国際的視野を持って活動できる医療従事者を養成する。

b) 健康福祉学科の教育課程

健康福祉学科では1年次に社会人として必須とされる分野である一般教養科目を始め、基礎医学、保健学を中心に基礎力を身につけるための科目が、2年次には専門分野における基礎科目を中心に必要な知識や技術を学ぶための科目が、3年次では実践的な能力を身につけるための学内演習や実習科目が設定されている。最終学年では専門分野に応じて思考能力や問題解決能力、研究能力を習得するために卒業研究が設定されている。

3-2) 教育方法および履修指導方法の変更内容

保健学部では教育課程の編成・実施方針に沿った教育方法を行っており、健康福祉学科も同様である。今回の収容定員増員に伴う教育方法および履修指導方法の変更は行わない。

健康福祉学科において教育目標を達成するために、講義で基礎知識を身につけ、これを踏まえて演習あるいは実験、その後の実習にスムーズに移行できるような授業形態を採用している。また、教育方法としては講義室にパソコン、タブレット、スクリーンを設置し、電子白板による授業ならびにアンサーチェッカーを活用しての講義を行っている。また、必要に応じてディスカッション、プレゼンテーション、PBL(プロブレム・ベースト・ラーニング)やフィールドワークなどの学生の能動的な学習を取り込んだ授業形態を取り入れている。演習・実験・実習においては各担当教員が要項を作成し、それぞれの目的を学生に十分理解してもらうとともに、報告書や実習記録の作成指導を行っている。

また、事前学習などの教室以外での必要な学習については、シラバスに明示し学習しやすいように工夫している。また、1年間の履修可能単位数を49単位に設定することで、単位の実質化を図っている。

学習指導については、入学時に全般的な説明をするだけでなく、各学年においても毎年、前期は4月、後期は9月にガイダンスを行い、シラバスに明示した各科目の到達目標、履修モデル、カリキュラムマップ、科目ナンバリング、就職や進路について説明している。また、それ以外の時期においては、担任教員、教務委員の教員および教務課職員が常時対応し学生の便宜を図っている。

3-3) 教員組織の変更内容

健康福祉学科の定員増に伴い、教員3名の増員を行った。それに伴い教員数は21名（うち教授5名）、となり、大学設置基準上（別添資料1参照）の必要教員数を大きく上回る教員となっている。また、専任教員一人当たりの在籍学生数は、収容定員変更後でも22.8名であり、個々の学生に目の行き届いた少人数教育を行うにふさわしい教員組織を整えている。

【総合政策学部】

3-1) 教育課程の変更内容

総合政策学部ではセメスター制を導入し、教育課程の編成・実施方針に沿った教育方法を行っているため今回の収容定員の変更においては教育課程を変更しない。

① 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）と概要

現在の教育課程は、前述の理念・目的のもとに策定されたディプロマ・ポリシー達成のための以下のカリキュラム・ポリシーに基づいて編成されている。

- ・社会から求められる、職業人としての基礎教養・基礎能力を涵養する。
- ・多様化・複雑化する社会現象に関し、学際的視野に立ち、現代社会に対応しうる21世紀型市民を養成する。
- ・学生と教員との人間的繋がりを重視した「Person to Person」による少人数教育を行う。

このポリシーに基づき、ベーシック科目、専門科目、専門演習科目、プレゼミナール、一般教養科目、外国語科目、キャリア関連科目の7つの科目区分からなる教育課程を体系的に編成している。

・ベーシック科目

多角的視野と学際的教養を身につけるため、総合政策・企業経営の両学科に存在する計7つのコースに対応しており、それぞれの学問分野の概要を知ることができ、コース選択の指標にもなる。

・専門科目

総合政策学科においては、政治、経済、法律、国際関係、福祉政策の各コース別に置かれており、「コア科目」群と「応用科目」群に分かれ、明確な体系性のもと各分野の専門的知識を習得する。

企業経営学科においては、経営、会計の各コース別に置かれており、「コア科目」群と「応用科目」群に分かれ、明確な体系性のもと各分野の専門的知識を習得する。

・専門演習科目

専門的知識のさまざまな応用と問題解決能力を身につける。

- ・プレゼミナール

初年次における大学生活への円滑な導入と、大学でのさまざまな学びに必要となる基本的スキルを学び、それらに慣れ親しむ機会を提供する。

- ・一般教養科目

高い倫理観を持ち、幅広い分野にわたっての教養を身につける。

- ・外国語科目

学生のニーズに応じて、社会人として求められる基礎的・実践的語学能力や、留学を前提とした学業向けの英語能力を習得する。

- ・キャリア関連科目

各自のライフプランを作成し、文章力、読解力、時事問題への知見といった基礎的能力を身につけ、実際の就職活動シミュレーションの経験を通じて、社会人として求められる実践的能力を習得する。

また、各科目の配当学期により教育課程の順次性に配慮し、同時に科目ナンバリングによって教育課程の体系性と順次性を学生に明示している。

②教育課程の点検と改善

総合政策学科および企業経営学科では、各学期終了時に GPA による評価を行っている。さらに 2017（平成 29 年）度からは、卒業時に学生一人ひとりが教育課程を通じて達成した成果を自己評価調査書にまとめ、提出することを義務付けているとともに、全国大学 IR コンソーシアムによる「学生共通調査」を実施し、加盟大学との比較を行い、全国レベルでの学士課程の成果を把握している。

以上のとおり、現在の教育課程において、これまでと同等の教育・指導を行っていくため、総合政策学科と企業経営学科の編入学定員の変更を行っても、現在と同等の水準の教育内容が担保されている。

3-2) 教育方法および履修指導方法の変更内容

総合政策学部では、今回の編入学定員変更においては教育方法および履修指導方法を変更しない。

a) 総合政策学科、企業経営学科における現在の教育方法

プレゼミナールにおける 2 人担任制や、専門分野の異なる複数の教員による演習授業である学際演習など、少人数のアクティブラーニング形式・PBL 型の授業を多数開講している。

また、グローバル・キャリア・プログラム（GCP）を設け、希望者に対し留学前には集中的英語教育を行い、帰国後には英語による専門科目、演習科目を用意している。

そして単位の実質化、学修時間の実効化を図るため、1 学期に履修できる単位の上限を 24 単位としている。

さらに、各学期終了時に学生による授業評価アンケートを実施し、高い評価を獲得した授業担当者には「ベストティーチャー賞」を授与している。一方で複数学期にわたって評価の芳しくない教員に対しては「ピアオブザーブ」を通じての授業改善を求めるなど、FD 諸活動を通じて常に教育・授業方法等の改善に努めている。

b) 総合政策学科の履修指導方法

学生にとって科目履修は重要なことであるため、入学時のオリエンテーションだけでなく、随時教務課職員による対応を行い、その上1年次には2人の担任によるプレゼミナールを通じて、2年次、3年次、4年次はゼミナール担当教員を通じて履修指導や大学生活全般の相談に対応している。

その中でも1年次のプレゼミナールの第2学期には、総合政策学科の政治、経済、法律、国際関係、福祉政策の各コースの詳細な説明を行うとともに、学生は6週にわたって各コースのミニ演習に参加することができ、コース選択やゼミナール選択の参考とすることができるように配慮している。

c) 企業経営学科の履修指導方法

学生にとって科目履修は重要なことであるため、入学時のオリエンテーションだけでなく、随時教務課職員による対応を行い、その上1年次には2人の担任によるプレゼミナールを通じて、2年次、3年次、4年次はゼミナール担当教員を通じて履修指導や大学生活全般の相談に対応している。

1年次のプレゼミナールの第2学期では、企業経営学科の経営、会計の各コースの詳細な説明を行うとともに、学生は6週にわたって各コースのミニ演習に参加することができ、コース選択やゼミナール選択の参考とすることができるように配慮している。

以上のことから、教育方法および履修指導方法についても、これまでと同等の水準が担保されている。

3-3) 教員組織の変更内容

a) 総合政策学科

総合政策学科では、20人を専任教員として配置しており、大学設置基準上（別添資料1参照）の学科における必要教員数13人を大きく上回る教員数となっている。また、専任教員一人当たりの在籍学生数は、収容定員変更後でも30.4名であり、個々の学生に目の行き届いた少人数教育を行うにふさわしい教員組織を整えている。

今回の収容定員の変更に伴って、学部教育の基本である「Person to Person」の精神は何ら揺らぐことがないと確信しており、よって教員組織の変更は行わない。

b) 企業経営学科

企業経営学科では、12人を専任教員として配置しており、大学設置基準上（別添資料1参照）の学科における必要教員数10人を上回る教員数となっている。また、専任教員一人当たりの在籍学生数は、収容定員変更後でも27名であり、個々の学生に目の行き届いた少人数教育を行うにふさわしい教員組織を整えている。

今回の収容定員の変更に伴って、学部教育の基本である「Person to Person」の精神は何ら揺らぐことがないと確信しており、よって教員組織の変更は行わない。

【外国語学部】

3-1) 教育課程の変更内容

外国語学部では、今回の収容定員の変更において、教育課程を変更しない。

a) 教育課程の編成・実施方針(カリキュラムポリシー)と概要

現在の教育課程は、前述の理念・目的のもとに策定されたディプロマ・ポリシー達成のためのカリキュラム・ポリシーに基づいて編成されている。

- ・ 外国語(英語・中国語等)の実践的かつ高度な運用能力の基盤として、学部独自の外国語習得プログラム(Practical English Program、Chinese for International Communication)を実施する。
- ・ 外国語の運用能力を高めるため、学年ごとに目標を設定し、その達成度を検証するための共通テストを実施する。
- ・ 学士課程へのスムーズな移行を図るため「大学入門」「日本語表現演習」などの初年次教育を充実するとともに、外国語学部の教育目標を踏まえた高大接続の推進を図る。
- ・ 問題発見力・問題解決力・自己表現力が修得できるような能動的学修方法を取り入れた科目を積極的に導入する。
- ・ 対人コミュニケーション力を涵養するため、「ホスピタリティ・コミュニケーション」などの実践的科目を配置する。
- ・ 多様な価値観の認識と正しい異文化理解を深めるため、「グローバルコミュニケーション論」などの異文化理解に資する科目を配置する。
- ・ グローバル社会での適応能力を涵養するため、海外留学・研修・実習プログラムを積極的に導入する。
- ・ 学士課程修了後の将来設計に資するような「キャリアデザイン」「インターンシップ」などの科目を配置する。

このポリシーに基づき、外国語科目、基盤教育科目、教養科目そして専門科目の4つの科目区分からなる教育課程を体系的に編成している。

・外国語科目

学部独自のプログラムであるPractical English Program、Chinese for International Communicationを必修とした外国語科目での学修を通して、実践的かつ高度な外国語運用能力を習得する。

・基盤教育科目

「Global」「Local」「Hospitality」「Career」をキーワードとする科目で構成され、国際社会、地域社会、産業界および高校と大学の円滑な接続ができる能力を身に着ける。

・教養科目

幅広い教養を身に着け、異文化の垣根を越えて相互に理解し共存できる人間性を陶冶する。

・専門科目

各学科、コースに求められる共通の基礎専門能力と、それらをさらに発展させた専門能力を習得する。

また、各科目の配当学期(外国語学部は2学期制)による教育課程の順次性に配慮し、同時にカリキュラムマップや科目ナンバリングによって教育課程の体系性と順次性を学生に明示している。

b) 教育課程の点検と改善

GPAやルーブリックなどの学部内のデータ、さらに学生の入学時基礎力調査、卒業時調査、全国大学IRコンソーシアム調査、外国語検定試験などの外部機関によるデータを指標にした成果測定結果をもとに教育課程の点検・評価および改善を行っている。

以上のとおり、現在の教育課程において、これまでと同等以上の教育・指導を行っていくため、収容定員の変更を行っても、現在と同等以上の教育内容が担保されている。

3-2) 教育方法および履修指導方法の変更内容

外国語学部では、今回の収容定員の変更において、教育方法および履修指導方法を変更しない。

a) 現在の教育方法

外国語科目、基盤教育科目および専門科目において約半数の科目を演習科目および実習科目(各1単位)として設置し、2単位講義科目との連動を含め、適正な授業形態を採用している。特に演習科目および実習科目においては、少人数教育(授業目標に応じて5から25名)を行っている。

学生の主体的参加を促す授業方法として、多くの科目で、アクティブラーニング方式やPBL型の授業を導入し、またPCやAV機器はいうに及ばず、CALL機器やマルチメディア機器、さらに同時通訳演習機器など多彩な教育機器を用いた授業を実施している。同時に、授業外時間の学修を促進するためのe-learningやe-bookの活用なども行っている。

また、単位の実質化、学修時間の実効化をさらに図るため1学期に履修できる単位の上限を22単位としている。

さらに、各学期終了時に実施する「授業評価アンケート」をもとにした授業方法の改善や、アンケート結果から“Teacher of the Year”を選び、その授業を他の教員が見学するなどのFD諸活動を通し、常に教育・授業方法等の改善に努めている。

b) 現在の履修指導方法

1・2年次では全専任教員がアカデミック・アドバイザーとして、3・4年次はゼミナール担当教員が履修指導や大学生活全般の相談に対応している。特に、GPAが一定の基準値を下回る学生については、その状況を教務委員会にて把握した上で、アカデミック・アドバイザーとゼミナール担当教員が各学期の開始時に学習指導・履修指導を行っている。

以上のことから、教育方法および履修指導方法についても、これまでと同等かそれ以上のものが可能である。

3-3) 教員組織の変更内容

a) 中国語学科

中国語学科では、8人を専任教員として配置しており、大学設置基準上（別添資料1参照）の学科における必要教員数6人を上回る教員数となっている。また、専任教員一人当たりの在籍学生数は、収容定員変更後でも16.5名であり、個々の学生に目の行き届いた少人数教育を行うにふさわしい教員組織を整えている。

今回の収容定員の変更に伴っては、学部教育の基本である少人数教育の堅持はなされている。したがって、現在の教員組織で十分対応できるものであるため、教員組織の変更は行わない。

b) 観光交流文化学科

観光交流文化学科では、12人を専任教員として配置しており、大学設置基準上（別添資料1参照）の学科における必要教員数10人を上回る教員数となっている。また、専任教員一人当たりの在籍学生数は、収容定員変更後でも30.3名であり、個々の学生に目の行き届いた教育を行うにふさわしい教員組織を整えている。

今回の収容定員の変更に伴っては、学部教育の基本である少人数教育の堅持はなされている。したがって、現在の教員組織で十分対応できるものであるため、教員組織の変更は行わない。

3-4) 施設・設備について

【大学全体】

大学全体の施設・設備として校舎敷地は、大学全体で221,276.82㎡(井の頭キャンパス34,565.00㎡)であり、同様に校舎面積は120,390.62㎡(井の頭キャンパス42,816.21㎡)である。平成28年4月にオープンした井の頭キャンパスには、最新の施設・設備を配備しており、保健学部専用の講義室が20室、他学部で管理しており共用で使用している講義室が40室、共用のアクティブラーニング機能を整えた演習室、セミナー室、PBL教室、およびPC・AV等の設備が充実したマルチメディア教室・CALL教室など、授業形態に合わせた学習環境が整っている。また、キャンパスには座席数586席、蔵書約20万冊を有し、ラーニングコモンズフロアを備えた井の頭図書館があり、多方面から学生の学習支援を行っている。

【井の頭キャンパス】

a) 保健学部

保健学部の各学科には学生実習専用の演習室や実習室が用意されており、また、各学科の実習室や機器室には、学生実習専用の機器類が備えられている。例を上げると、

臨床検査技術学科：実習室1、2、3、4(各実習室の面積200から220㎡)、機器室1、2、3、4(面積50から90㎡)

健康福祉学科：学校保健室(90㎡)、演習室(PBL教室)(110㎡)

臨床工学科：実習室1、2(各120㎡)、工作室(20㎡)、機器室(24㎡)

救急救命学科：救急医学系実習室(300㎡)

理学療法学科：運動学実習室(143㎡)、運動療法実習室(183㎡)、理学療法実習室(144㎡)、義肢装具加工室(150㎡)、水治療実習室(54㎡)

作業療法学科：運動療法学実習室(176 m²)、木工・金工・陶工・絵画演習室(140 m²)、日常動作訓練室(117 m²)

診療放射線技術学科：総合実習室(210 m²)、工作室(25 m²)、情報実習室(70 m²)、放射化学実験室(75 m²)、体外計測実習室(46 m²)、X線透視撮影室(55 m²)、X線CT室(45 m²)、MRI室(61 m²)、大型医療機器操作室(80 m²)

看護学科看護養護教育学専攻：基礎実習室(190 m²)、母子実習室(160 m²)、成人・老年実習室(105 m²)、在宅実習室(117 m²)

以上から、今回の健康福祉学科の入学定員の増員によって、教育の質に支障は来さないと考えられる。

b) 総合政策学部および外国語学部

井の頭キャンパスでは、外国語学部と校舎・教室・演習室を共用しており、その内訳は以下の通りである。

収容定員 20 人まで	25 教室
同 21～50 人	30 教室
同 51～100 人	13 教室
同 101～200 人	3 教室

このほか、保健学部と共用の教室、医学部も含めた4学部共用の教室等も備えている。現在、使用率はそのほとんどの教室において50%程度となっており、総合政策学科・企業経営学科のそれぞれの収容定員の変更により各科目のクラス数あるいは履修者数が増加しても充分に対応可能である。

また、アクティブラーニングやPBL型の授業に適した教室、PCやAV機器のほか、CALL機器やマルチメディア機器等多彩な教育機器を整備した教室も備えている。

教室・研究室等も十分に確保しており、新キャンパスには最新の施設・設備が導入されていることから、新たな施設・設備を拡充しなくても現在と比べてなんら遜色のない教育を行うことができる。

【八王子キャンパス】

八王子キャンパスの施設・設備として校舎敷地は、118,345.49 m²であり、校舎面積は35,556.99 m²である。講義室や演習室として下記の部屋を整備する。

- ・ 149.73 m² × 3 部屋（講義室 3 部屋）
- ・ 139.27～140.07 m² × 4 部屋（講義室 4 部屋）
- ・ 45.03～62.79 m² × 5 部屋（講義室 3 部屋、演習室 2 部屋）
- ・ 30.36～32.42 m² × 5 部屋（演習室 5 部屋）

4 2校地における教育研究計画

健康福祉学科の入学定員の増員に伴い、井の頭キャンパスおよび八王子キャンパスで教育研究を行うこととする。各キャンパスにおける収容定員（最大受入人数）は以下のとおりである。

- ・井の頭キャンパス：4,580名
- ・八王子キャンパス：710名

八王子キャンパスには専任教員5人を予定し、初年度は3人（うち1人は教授）、翌々年度1人、完成年度1人を配置する。健康福祉学科を中心とした保健学部の科目担当教員は、井の頭キャンパスおよび八王子キャンパスで教育を担当するが、移動等で負担がかからないように、それぞれのキャンパスにおける時間割を配慮する。また学生の移動においても負担がかからないように遠隔授業の活用など、カリキュラム編成を考慮する（別添資料2、3、4、5の履修モデル参照）。

【別添資料－教育課程等の概要】

- ・別添資料6 保健学部健康福祉学科
- ・別添資料7 保健学部健康福祉学科（井の頭キャンパス）
- ・別添資料8 保健学部健康福祉学科（八王子キャンパス）
- ・別添資料9 総合政策学部総合政策学科
- ・別添資料10 総合政策学部総合政策学科（井の頭キャンパス）
- ・別添資料11 総合政策学部総合政策学科（八王子キャンパス）
- ・別添資料12 総合政策学部企業経営学科
- ・別添資料13 総合政策学部企業経営学科（井の頭キャンパス）
- ・別添資料14 総合政策学部企業経営学科（八王子キャンパス）
- ・別添資料15 外国語学部観光交流文化学科
- ・別添資料16 外国語学部中国語学科

目次 学則の変更の趣旨等を記載した書類(資料)

別添資料1	大学設置基準に定める専任教員数との比較	p. 2
別添資料2	【健康福祉学科】教職課程履修モデル	p. 3
別添資料3	【健康福祉学科】社会福祉士課程履修モデル	p. 4
別添資料4	【健康福祉学科】精神保健福祉士課程履修モデル	p. 5
別添資料5	【健康福祉学科】八王子キャンパス履修モデル	p. 6
別添資料6	教育課程の概要 (保健学部健康福祉学科)	p. 7
別添資料7	教育課程の概要 (保健学部健康福祉学科 井の頭キャンパス)	p. 10
別添資料8	教育課程の概要 (保健学部健康福祉学科 八王子キャンパス)	p. 13
別添資料9	教育課程の概要 (総合政策学部総合政策学科)	p. 16
別添資料10	教育課程の概要 (総合政策学部総合政策学科 井の頭キャンパス)	p. 21
別添資料11	教育課程の概要 (総合政策学部総合政策学科 八王子キャンパス)	p. 26
別添資料12	教育課程の概要 (総合政策学部企業経営学科)	p. 28
別添資料13	教育課程の概要 (総合政策学部企業経営学科 井の頭キャンパス)	p. 32
別添資料14	教育課程の概要 (総合政策学部企業経営学科 八王子キャンパス)	p. 36
別添資料15	教育課程の概要 (外国語学部観光交流文化学科)	p. 38
別添資料16	教育課程の概要 (外国語学部中国語学科)	p. 42

大学設置基準に定める専任教員数との比較

学部	学 科	専任教員数		大学設置基準に定める専任教員数
		健康福祉学科増員前	健康福祉学科増員後	
保健学部	健康福祉学科	19 (5)	21 (5)	10 (5)
	臨床検査技術学科	43 (11)	43 (11)	10 (5)
	救命学科学科	18 (4)	18 (4)	8 (4)
	作業療法学科	15 (4)	15 (4)	8 (4)

※（ ）：教授の人数

学部	学 科	専任教員数		大学設置基準に定める専任教員数
		3年次編入学定員変更前	3年次編入学定員変更後	
総合政策学部	総合政策学科	20 (11)	20 (11)	13 (7)
	企業経営学科	12 (7)	12 (7)	10 (5)

※（ ）：教授の人数

学部	学 科	専任教員数		大学設置基準に定める専任教員数
		入学定員／3年次編入学定員変更前	入学定員／3年次編入学定員変更後	
外国語学部	中国語学科	8 (4)	8 (4)	6 (3)
	観光交流文化学科	12 (7)	12 (7)	10 (5)

※（ ）：教授の人数

【健康福祉学科 履修モデル】 養護教諭を希望する学生の履修例

*は選択科目										
卒業要件(124単位)										
分野		1年次		2年次		3年次		4年次		計
基礎分野	人文・社会学系	生命倫理学	2							11
		地域と大学	1							
		* 心理学	2							
		* 日本国憲法	2							
* 教育心理学		2								
* 発達心理学		2								
自然科学系	* 基礎数学	1	* 情報処理演習	2					7	
	* 基礎化学	1								
	* 無機化学	2								
	* 基礎生物学	1								
言語系	英語Ⅰ	2	* 英会話	2					8	
	英語Ⅱ	2	* 医学英語	2						
小計			20		6		0		0	26
専門基礎分野	基礎医学系	医学概論	2	生化学	2	外科疾患の病態学	2			24
		医学基礎実習	1	微生物学	2	* 精神医学	1			
		公衆衛生学Ⅰ	2	内科疾患の病態学Ⅰ	2					
		解剖学	2	内科疾患の病態学Ⅱ	2					
生理学		2	* 薬理学	2						
			* 小児疾患の病態学	2						
保健学・福祉学系	健康福祉学	4	健康福祉学実習	1	* 疫学	2			27	
	社会福祉学	2	小児保健学	2	* 応用保健学	2				
	ソーシャルワーク総論	4	精神保健学	2						
	健康スポーツ科学	2	児童福祉論	2						
			ソーシャルワーク総論Ⅱ	2						
			ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1						
			社会調査概論	1						
小計			21		23		7		0	51
専門分野	社会福祉学系									0
	学校保健学系			健康教育学	2	* 学校保健学Ⅱ	2			34
				* 学校保健学Ⅰ	2	* 学校看護学	1			
				* 養護学概論	2	* 健康相談Ⅰ	2			
				* 看護学Ⅰ	2	* 健康相談Ⅱ	1			
				* 看護学Ⅱ	2	* 保健栄養学	2			
					* カウンセリング	2				
					* 保健科指導法Ⅰ	2				
					* 保健科指導法Ⅱ	2				
				* 保健科教育法Ⅰ	2					
				* 保健科教育法Ⅱ	2					
				* 看護学Ⅲ	2					
				* 看護学実習	2					
				* 救急看護学	2					
環境・食品学系	* 職業適性論	2	* 産業保健学	2						4
	総合	* 特別講義Ⅰ	2	* 特別講義Ⅱ	2	* 特別演習Ⅱ	1	フィールドスタディⅠ	3	10
			* 特別演習Ⅰ	1			フィールドスタディⅡ	1		
小計			4		15		25		4	48
合計			45		44		32		4	125
教職課程		* 教育原理（教育課程を含む）	2	* 道 教育指導論	2	* 養護実習Ⅰ（事前指導）	1	* 養護実習Ⅰ（事後指導）		24
		* 教職総論	2	* 特別活動指導論	1			* 養護実習Ⅱ	4	
		* 教育社会学	2	* 教育の方法・技術	2			* 教職実践演習	2	
				* 生徒指導論	1					
				* 教育相談(カウンセリングを含む)	2					
				* 特別支援教育論	2					
				* 総合的な学習の時間の指導法	1					
合計			6		11		1		6	24

【健康福祉学科 履修モデル】 社会福祉士を希望する学生の履修例

*は選択科目

卒業要件(124単位)															
分野		1年次		2年次	3年次	4年次	計								
基礎分野	人文・社会学系	生命倫理学	2				11								
		地域と大学	1												
		* 心理学	2												
		* 日本国憲法	2												
		* 社会学	2												
* 教育心理学		2													
* 発達心理学		2													
自然科学系	* 基礎数学	1	* 情報処理演習	2		7									
	* 基礎化学	1													
	* 無機化学	2													
	* 基礎生物学	1													
言語系	英語Ⅰ	2	* 医学英語	2		8									
	英語Ⅱ	2					* 英会話	2							
小計		22		6	0	0	26								
専門基礎分野	基礎医学系	医学概論	2	生化学	2	外科疾患の病態学	2	20							
		医学基礎実習	1	微生物学	2										
		公衆衛生学Ⅰ	2	内科疾患の病態学Ⅰ	2										
		解剖学	2	内科疾患の病態学Ⅱ	2										
		生理学	2	健康福祉学実習	1		* 障害者福祉論		2	* 社会福祉政策論	2				
* 救命救助法		1	小児保健学									2	* 社会保障論	4	* 公的扶助論
健康福祉学		4	精神保健学			2						* 地域福祉論	4		
保健学・福祉学系	社会福祉学	2	児童福祉論	2			39								
	ソーシャルワーク総論	4	ソーシャルワーク総論Ⅱ	2											
	* 健康スポーツ科学	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1											
			社会調査概論	1											
			* 高齢者福祉論	2											
	小計		22					21	12	4	59				
	社会福祉学系	* ソーシャルワーク論Ⅰ	2	* ソーシャルワーク演習Ⅰ				1	* ソーシャルワーク演習Ⅳ	2	* ソーシャルワーク演習Ⅵ	2	36		
		* ソーシャルワーク論Ⅱ	2	* ソーシャルワーク演習Ⅱ				1	* ソーシャルワーク演習Ⅴ	2	* 介護福祉論	2			
			* ソーシャルワーク演習Ⅲ	2	* ソーシャルワーク実習	8									
			* 医療福祉論	2	* ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	4									
			* 社会福祉経営論	1	* 権利擁護と成年後見概論	1									
学校保健学系					* 更生保護概論	2									
					* カウンセリング	2									
	環境・食品学系			健康教育学	2				2						
	総合			職業適性論	2				2						
小計		4		11	21	8	44								
合計		48		38	33	12	129								

【健康福祉学科 履修モデル】 精神保健福祉士を希望する学生の履修例

*は選択科目

卒業要件(124単位)										
分野		1年次		2年次		3年次		4年次		計
基礎分野	人文・社会学系	* 心理学	2	* 保健・医療の現状と未来Ⅰ	2	* 保健・医療の現状と未来Ⅱ	2			10
		生命倫理学	2							
		* 発達心理学	2							
	自然科学系	基礎化学	1	* 情報処理演習	2					6
		無機化学	2							
		基礎生物学	1							
	言語系	英語Ⅰ	2	* 医学英語	2					6
英語Ⅱ		2								
小計			14		6		2		0	22
専門基礎分野	基礎医学系	医学概論	2	生化学	2	外科疾患の病態学	2			19
		医学基礎実習	1	微生物学	2					
		公衆衛生学Ⅰ	2	内科疾患の病態学Ⅰ	2					
		解剖学	2	内科疾患の病態学Ⅱ	2					
生理学		2								
保健学・福祉学系	健康福祉学	4	健康福祉学実習	1	* 社会保障論	4	* 社会福祉政策論	2	33	
	社会福祉学	2	小児保健学	2	* 地域福祉論	4				
	ソーシャルワーク総論	4	精神保健学	2						
			高齢者福祉論	2						
			ソーシャルワーク総論Ⅱ	2						
			ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1						
			社会調査概論	1						
			* 障害者福祉論	2						
小計			19		21		10		2	52
専門分野	社会福祉学系	* ソーシャルワーク論Ⅰ	2	* 社会福祉経営論	1	* 権利擁護と成年後見概論	1		8	
		* ソーシャルワーク論Ⅱ	2			* 更生保護概論	2			
	精神保健福祉学系	* 社会福祉調査の基礎	2	* 精神医療	2	* ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ（精神保健）	2	* ソーシャルワーク演習Ⅵ（精神保健）	2	46
		* 精神疾患とその治療	2	* 現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2	* 精神障害リハビリテーション論	2	* 精神保健福祉特論	2	
* 精神保健福祉の原理Ⅰ		2	* 現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2	* ソーシャルワーク演習Ⅳ（精神保健）	2				
* ソーシャルワーク演習Ⅰ（精神保健）		1	* 精神保健福祉の原理Ⅱ	2	* ソーシャルワーク演習Ⅴ（精神保健）	2				
* 精神保健福祉制度論		2	* ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（精神保健）	2	* ソーシャルワーク実習指導（精神保健）	4				
		* ソーシャルワーク演習Ⅱ（精神保健）	1	* ソーシャルワーク実習（精神保健）	8					
		* ソーシャルワーク演習Ⅲ（精神保健）	2							
小計			13		14		23		4	54
	学校保健学系			健康教育学	2					2
	環境・食品学系									0
	総合							フィールドスタディⅠ	3	3
小計			0		2		0		3	5
合計			46		43		35		9	133

【健康福祉学科 履修モデル】 八王子キャンパス学生の履修例

*は選択科目

卒業要件(124単位)										
分野		1年次		2年次		3年次		4年次		計
基礎分野	人文・社会学系	生命倫理学	2	* 発達心理学	2	* 教育心理学	2			18
		* 保健・医療の現状と未来Ⅰ	2	* 保健・医療の現状と未来Ⅱ	2	* 心理学	2			
		* 社会と大学Ⅰ	2							
		* 社会と大学Ⅱ	2							
* 社会と大学Ⅲ		2								
	自然科学系	* 基礎数学	1	* 情報処理演習	2					6
		* 無機化学	2							
		* 基礎生物学	1							
	言語系	英語Ⅰ	2	* 英語Ⅲ	2					6
		英語Ⅱ	2							
小計			18		8		4		0	30
専門基礎分野	基礎医学系	医学概論	2	生化学	2	外科疾患の病態学	2			30
		医学基礎実習	1	微生物学	2	* 薬理学	2			
		公衆衛生学Ⅰ	2	内科疾患の病態学Ⅰ	2	* 公衆衛生学Ⅱ	2			
		解剖学	2	内科疾患の病態学Ⅱ	2	* 病理学	2			
生理学		2	* 救命救助法	1	* 免疫学	2				
			* 小児疾患の病態学	2						
保健学・福祉学系	健康福祉学	4	健康福祉学実習	1	* 高齢保健学	2			29	
	社会福祉学	2	小児保健学	2	* 応用保健学	2				
	ソーシャルワーク総論Ⅰ	4	精神保健学	2						
	* 健康スポーツ科学	2	* 高齢者福祉論	2						
		児童福祉論	2							
		ソーシャルワーク総論Ⅱ	2							
		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1							
		社会調査概論	1							
小計			21		24		14		0	59
専門分野	社会福祉学系									0
	精神保健福祉学系	* 社会福祉調査の基礎	2							2
小計			2		0		0		0	2
学校保健学系				健康教育学	2	* 保健栄養学	2			10
				* 看護学Ⅰ	2	* カウンセリング	2			
				* 看護学Ⅱ	2					
環境・食品学系						* 環境科学	2	* 産業保健学	2	12
						* 食品栄養学	2	* 労働衛生法規Ⅱ	2	
						* 食品衛生学	2			
						* 労働衛生法規Ⅰ	2			
総合		* 特別講義Ⅰ	2	* 特別講義Ⅱ	2	* 特別演習Ⅰ	1			11
		* ボランティア活動	1	* 特別演習Ⅱ	1					
小計			3		9		13		8	33
合計			41		41		31		8	124

別記様式第 2 号（その 2 の 1）

（用紙 日本産業規格 A 4 縦型）

教 育 課 程 等 の 概 要															
(保健学部健康福祉学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文・社会学系	哲学	1前・後		2		○								兼2	
	心理学	1前		2		○								兼1	
	日本国憲	1前		2		○								兼1	
	社会学	1前・後		2		○								兼1	
	生命倫理	1後	2			○								兼4	オムニバス
	教育心理学	1前		2		○								兼1	
	発達心理学	1後		2		○								兼1	
	芸術	1前・後		2		○								兼1	
	保健・医療の現状と未来Ⅰ	1前		2		○			1			1		兼15	オムニバス
	保健・医療の現状と未来Ⅱ	1前		2		○								兼13	オムニバス
	社会と大学Ⅰ	1前		2		○								兼15	オムニバス
	社会と大学Ⅱ	1前		2		○								兼13	オムニバス
	社会と大学Ⅲ	1前		2		○								兼12	オムニバス
小計（ 13科目）		—	2	24	0	—			1	0	0	1	0	兼79	
自然科学系	基礎数学	1前		1		○								兼1	
	情報処理演習	2前		2			○							兼1	
	基礎物理	1前		1		○								兼1	
	基礎化学	1前		1		○								兼1	
	無機化学	1後		2		○					1			兼1	
	基礎生物	1前		1		○									
小計（ 6科目）		—	0	8	0	—			0	0	1	0	0	兼4	
言語系	英語Ⅰ	1前	2			○								兼1	
	英語Ⅱ	1後	2			○								兼1	
	英語Ⅲ	2前		2		○			1					兼1	
	医学英語	2前		2		○									
	英会話	2前・後		2		○								兼2	
小計（ 5科目）		—	4	6	0	—			1	0	0	0	0	兼4	
基礎医学系	医学概論	1後	2			○			1					兼6	
	医学基礎実習	1通	1					○			1			兼2	オムニバス
	公衆衛生学Ⅰ	1前	2			○			2	3	1			兼2	オムニバス
	公衆衛生学Ⅱ	1後		2		○			1	2	1	2		兼2	オムニバス
	解剖生理学	1前	2			○				1				兼3	オムニバス
	病理生理学	1後		2		○								兼1	
	生化学	1後	2			○								兼2	オムニバス
	免疫学	2後	2			○								兼3	オムニバス
	微生物学	2後	2			○								兼1	
	微生物学実験	2後	2			○								兼1	
	薬理学	3前		1				○						兼3	
	小児疾患の病態学	2前		2		○				1				兼1	
	内科疾患の病態学Ⅰ	2後	2			○								兼3	オムニバス
	内科疾患の病態学Ⅱ	2後	2			○				1					
	外科疾患の病態学	3前	2			○								兼5	オムニバス
	精神医学	1後		1		○					1				
	救命救急学	1前		1			○							兼1	
小計（ 18科目）		—	19	13	0	—			3	4	1	2	0	兼29	

保健学・福祉学系	健康福祉学	1通	4			○			1	3	2	1		兼2	オムニバス
	健康福祉学実習	2後	1					○	2	3	1	3		兼2	
	疫児保健学	3後		2		○			1	1				兼1	オムニバス
	小児保健学	2前	2			○								兼5	オムニバス
	精神保健学	2後	2			○								兼1	
	高齢保健学	2後		2		○				1					
	健康スポーツ科学	1後		2			○					1		兼1	オムニバス
	応用保健学	3前		2		○			1						
	社会福祉学	1後	2			○				1		2		兼1	オムニバス
	社会福祉政策論	4前		2		○								兼1	
	高齢者福祉論	2後		2		○				1					
	障害者福祉論	2後		2		○						1			
	児童福祉論	2前	2			○								兼2	オムニバス
	社会的扶助論	4後		2		○				1		2		兼1	オムニバス
社会福祉学系	地域福祉論	3前		4		○								兼1	
	ソーシャルワーク総論Ⅰ	1後	4			○						2			オムニバス
	ソーシャルワーク総論Ⅱ	2前	2			○						1			
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2前	1					○		1		2		兼1	
	社会調査概論	2前	1			○			1	1		2		兼1	オムニバス
	小計（20科目）	—	21	24	0	—			3	4	3	4	0	兼13	
	ソーシャルワーク論Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	ソーシャルワーク論Ⅱ	1前		2		○								兼1	
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2前		1		○								兼1	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2前		1			○			1		2		兼1	
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	2後		2			○			1		2		兼1	
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	3前		2			○			1		2		兼1	
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	3後		2			○			1		2		兼1	
	ソーシャルワーク演習Ⅵ	4前		2			○			1		2		兼1	
	ソーシャルワーク実習	3通		8				○		1		2		兼1	
精神保健福祉学系	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3通		4			○			1		2		兼1	
	医療福祉論	2前		2			○							兼1	
	社会福祉経営論	2後		1		○					1				
	権利擁護と成年後見論	3前		1		○						1			
	更生保護概論	3前		2		○				1					
	介護福祉論	4後		2		○				1					
	小計（15科目）	—	0	34	0	—			0	1	1	2	0	兼2	
	社会福祉調査の基礎	1後		2		○			1						
	精神疾患とその治療	1後		2		○					1				
	精神医療	2前		2		○					1				
	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2前		2		○			1						
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2後		2		○			1						
	精神保健福祉の原理Ⅰ	1後		2		○					1				
	精神保健福祉の原理Ⅱ	2前		2		○			1						
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（精神保健）	2後		2		○			1						
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ（精神保健）	3前		2		○			1						
	精神障害リハビリテーション論	3前		2		○					1				
	精神保健福祉制度論	1後		2		○					1				
	ソーシャルワーク演習Ⅰ（精神保健）	1後		1			○		1						
	ソーシャルワーク演習Ⅱ（精神保健）	2前		1			○		1						
	ソーシャルワーク演習Ⅲ（精神保健）	2後		2			○		1						
	ソーシャルワーク演習Ⅳ（精神保健）	3前		2			○		1						
	ソーシャルワーク演習Ⅴ（精神保健）	3後		2			○		1						
	ソーシャルワーク演習Ⅵ（精神保健）	4前		2			○		1						
	ソーシャルワーク実習指導（精神保健）	3通		4				○	1						
	ソーシャルワーク実習（精神保健）	3通		8				○	1						
	精神保健福祉特論	4後		2		○			1		1				
	小計（20科目）	—	0	46	0	—			2	0	1	0	0	兼0	

学校保健学系	学	校	保	健	学	I	2前		2		○				1	1			兼1	オムニバス
	学	校	保	健	学	II	3前		2		○					1			兼2	オムニバス
	学	校	看	護	学	I	3後		1		○			1		1			兼7	オムニバス
	健	康	相	談	I	3前		2		○					1	1			兼3	オムニバス
	健	康	相	談	II	3後		1		○			1		1			兼1	オムニバス	
	健	康	教	育	学	2後		2		○				1						
	保	健	栄	養	学	3前		2		○				1						
	養	護	学	概	論	2後		2		○					1			兼1	オムニバス	
	力	ウ	ン	セ	リ	ン	グ	3前	2		○					1		兼2	オムニバス	
	保	健	科	指	導	法	I	3前	2		○				1					
	保	健	科	指	導	法	II	3後	2		○				1					
	保	健	科	教	育	法	I	3前	2		○				1					
	保	健	科	教	育	法	II	3後	2		○				1					
	看		護		学	I	2前		2		○			1			1			オムニバス
	看		護		学	II	2後		2		○			1			1			オムニバス
	看		護		学	III	3前		2		○			1			1			オムニバス
	看		護		学		3後		2				○	1			1			
救	急	看	護	学		3前		2		○			1							
小計（ 18科目）							—	2	32	0	—			2	3	2	1	0	兼11	
環境・食品学系	産	業	保	健	学	2前		2		○					1				兼1	オムニバス
	環	境	衛	生	工	学	3前		2		○								兼1	
	環	境		科	学	2後		2		○									兼1	
	放	射	線	概	論	3後		2		○									兼3	オムニバス
	分	析		化	学	3後		2		○									兼1	
	分	析	化	学	実	験	3前	1		○									兼3	
	食	品	栄	養	学	2後		2		○				1						
	食	品	衛	生	学	3前		2		○				1				兼1	オムニバス	
	食	品	製	造	学	2前		2		○				1						
	職	業	適	性	論	2後		2		○				1	1				兼9	オムニバス
	労	働	衛	生	法	規	I	3前	2		○								兼1	オムニバス
	労	働	衛	生	法	規	II	3前	2		○								兼1	
小計（ 12科目）							—	0	23	0	—			1	2	0	0	0	兼16	
総合	特	別	講	義	I	1後		2		○				1						
	特	別	講	義	II	2前		2		○				1		2			兼1	
	特	別	演	習	I	1・2・3前		1			○			1	2	1	2		兼2	
	特	別	演	習	II	1・2・3後		1			○			1	2	1	2		兼3	
	ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	活	1・2通	2		○			1		2				
	フ	ィ	ー	ル	ド	ス	タ	デ	I	4通			○	4	4	3	4		兼2	
	フ	ィ	ー	ル	ド	ス	タ	デ	II	4通			○	4	4	3	4		兼2	
小計（ 7科目）							—	3	9	0	—			4	4	3	4	0		
合計（ 134科目）							—	51	219	0	—			5	5	4	4	0	兼137	
学位又は称号			学士（保健衛生学）			学位又は学科の分野			保健衛生学関係											
卒業要件及び履修方法										授業期間等										
必修51単位、人文・社会学系の選択科目から8単位以上、自然科学系の選択科目から6単位以上、言語系の選択科目から2単位以上、保健学・衛生学系の選択科目から2単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：49単位（年間））										1 学年の学期区分				2 期						
										1 学期の授業期間				15 週						
										1 時限の授業時間				90 分						

教 育 課 程 等 の 概 要															
(保健学部健康福祉学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文・社会学系	哲学	1前・後		2		○								兼2	
	心理学	1前		2		○								兼1	
	日本国憲	1前		2		○								兼1	
	社会学	1前・後		2		○								兼1	
	生命倫理	1後	2			○								兼4	オムニバス
	教育心理学	1前		2		○								兼1	
	発達心理学	1後		2		○								兼1	
	芸術	1前・後		2		○								兼1	
	保健・医療の現状と未来Ⅰ	1前		2		○								兼15	オムニバス
	保健・医療の現状と未来Ⅱ	1前		2		○			1			1		兼13	オムニバス
	社会と大学Ⅰ	1前		2		○								兼15	オムニバス
	社会と大学Ⅱ	1前		2		○								兼13	オムニバス
	社会と大学Ⅲ	1前		2		○								兼12	オムニバス
小計（13科目）		—	2	24	0	—			1	0	0	1	0	兼79	
自然科学系	基礎数学	1前		1		○								兼1	
	情報処理演習	2前		2			○							兼1	
	基礎物理	1前		1		○								兼1	
	基礎化学	1前		1		○								兼1	
	無機化学	1後		2		○					1			兼1	
	基礎生物	1前		1		○								兼1	
小計（6科目）		—	0	8	0	—			0	0	1	0	0	兼4	
言語系	英語Ⅰ	1前	2			○								兼1	
	英語Ⅱ	1後	2			○								兼1	
	英語Ⅲ	2前		2		○								兼1	
	医学英語	2前		2		○			1						
	英会話	2前・後		2		○								兼2	
小計（5科目）		—	4	6	0	—			1	0	0	0	0	兼4	
基礎医学系	医学概論	1後	2			○			1					兼6	
	医学基礎実習Ⅰ	1通	1					○			1			兼2	オムニバス
	公衆衛生学Ⅰ	1前	2			○			2	3	1			兼2	オムニバス
	公衆衛生学Ⅱ	1後		2		○			1	2	1	2		兼2	オムニバス
	解剖生理学Ⅰ	1前	2			○				1				兼3	オムニバス
	病理生理学Ⅰ	1後		2		○								兼1	
	生化学Ⅰ	1後	2			○								兼2	オムニバス
	生化学Ⅱ	2後	2			○								兼3	オムニバス
	免疫学Ⅰ	2後		2		○								兼1	
	微生物学Ⅰ	2後	2			○								兼1	
	微生物学Ⅱ	2後		2		○								兼3	
	薬理学Ⅰ	3前		1				○						兼1	
	薬理学Ⅱ	2前		2		○								兼3	
	小児疾患の病態学Ⅰ	2後		2		○				1				兼3	オムニバス
	内科疾患の病態学Ⅰ	2前	2			○									
	内科疾患の病態学Ⅱ	2後	2			○				1				兼5	オムニバス
	外科疾患の病態学Ⅰ	3前	2			○									
	精神医学Ⅰ	1後		1		○					1				
	救命救急学Ⅰ	1前		1			○							兼1	
小計（18科目）		—	19	13	0	—			3	4	1	2	0	兼29	

保健学・福祉学系	健康福祉学	1通	4			○			1	3	2	1		兼2	オムニバス
	健康福祉学実習	2後	1					○	2	3	1	3		兼2	
	疫児保健学	3後		2		○			1	1				兼1	オムニバス
	小児保健学	2前	2			○								兼5	オムニバス
	精神保健学	2後	2			○								兼1	
	高齢保健学	2後		2		○				1					
	健康スポーツ科学	1後		2			○					1		兼1	オムニバス
	応用保健学	3前		2		○			1						
	社会福祉学	1後	2			○				1		2		兼1	オムニバス
	社会福祉政策論	4前		2		○								兼1	
	高齢者福祉論	2後		2		○				1					
	障害者福祉論	2後		2		○						1			
	児童福祉論	2前	2			○								兼2	オムニバス
	社会的扶助論	4後		2		○				1		2		兼1	オムニバス
社会福祉学系	地域福祉論	3前		4		○								兼1	
	ソーシャルワーク総論Ⅰ	1後	4			○						2			オムニバス
	ソーシャルワーク総論Ⅱ	2前	2			○						1			
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2前	1					○		1		2		兼1	
	社会調査概論	2前	1			○			1	1		2		兼1	オムニバス
	小計（20科目）	—	21	24	0	—			3	4	3	4	0	兼13	
	ソーシャルワーク論Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	ソーシャルワーク論Ⅱ	1前		2		○								兼1	
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2前		1		○								兼1	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2前		1			○			1		2		兼1	
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	2後		2			○			1		2		兼1	
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	3前		2			○			1		2		兼1	
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	3後		2			○			1		2		兼1	
	ソーシャルワーク演習Ⅵ	4前		2			○			1		2		兼1	
	ソーシャルワーク実習	3通		8				○		1		2		兼1	
精神保健福祉学系	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3通		4			○			1		2		兼1	
	医療福祉論	2前		2			○							兼1	
	社会福祉経営論	2後		1		○					1				
	権利擁護と成年後見論	3前		1		○						1			
	更生保護概論	3前		2		○				1					
	介護福祉論	4後		2		○				1					
	小計（15科目）	—	0	34	0	—			0	1	1	2	0	兼2	
	社会福祉調査の基礎	1後		2		○			1						
	精神疾患とその治療	1後		2		○					1				
	精神医療	2前		2		○					1				
	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2前		2		○			1						
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2後		2		○			1						
	精神保健福祉の原理Ⅰ	1後		2		○					1				
	精神保健福祉の原理Ⅱ	2前		2		○			1						
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（精神保健）	2後		2		○			1						
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ（精神保健）	3前		2		○			1						
精神保健福祉学系	精神障害リハビリテーション論	3前		2		○						1			
	精神保健福祉制度論	1後		2		○						1			
	ソーシャルワーク演習Ⅰ（精神保健）	1後		1			○		1						
	ソーシャルワーク演習Ⅱ（精神保健）	2前		1			○		1						
	ソーシャルワーク演習Ⅲ（精神保健）	2後		2			○		1						
	ソーシャルワーク演習Ⅳ（精神保健）	3前		2			○		1						
	ソーシャルワーク演習Ⅴ（精神保健）	3後		2			○		1						
	ソーシャルワーク演習Ⅵ（精神保健）	4前		2			○		1						
	ソーシャルワーク実習指導（精神保健）	3通		4				○	1						
	ソーシャルワーク実習（精神保健）	3通		8				○	1						
	精神保健福祉特論	4後		2		○			1		1				
	小計（20科目）	—	0	46	0	—			2	0	1	0	0	兼0	

学校保健学系	学	校	保	健	学	I	2前		2		○				1	1			兼1	オムニバス
	学	校	保	健	学	II	3前		2		○					1			兼2	オムニバス
	学	校	看	護	学	I	3後		1		○			1		1		兼7	オムニバス	
	健	康	相	談	I	3前		2		○				1		1		兼3	オムニバス	
	健	康	相	談	II	3後		1		○				1		1		兼1	オムニバス	
	健	康	教	育	学	2後	2			○				1						
	保	健	栄	養	学	3前		2		○				1						
	養	護	学	概	論	2後	2			○					1			兼1	オムニバス	
	力	ウ	ン	セ	リ	グ	3前		2		○							兼2	オムニバス	
	保	健	科	指	導	I	3前		2		○				1					
	保	健	科	指	導	II	3後		2		○				1					
	保	健	科	教	育	法	I	3前		2		○			1					
	保	健	科	教	育	法	II	3後		2		○			1					
	看		護		学	I	2前		2		○			1			1			オムニバス
看		護		学	II	2後		2		○			1			1			オムニバス	
看		護		学	III	3前		2		○			1			1			オムニバス	
看		護		学		3後		2					1			1				
救	急	看		護	学	3前		2		○			1							
小計（ 18科目）							—	2	32	0	—			2	3	2	1	0	兼11	
環境・食品学系	産	業	保	健	学	2前		2		○					1				兼1	オムニバス
	環	境	衛	生	工	学	3前		2		○								兼1	
	環	境		科	学	2後		2		○								兼1		
	放	射	線	概	論	3後		2		○								兼3	オムニバス	
	分	析	化	学	学	3後		2		○								兼1		
	分	析	化	学	実	験	3前	1		○								兼3		
	食	品	栄	養	学	2後		2		○				1						
	食	品	衛	生	学	3前		2		○				1				兼1	オムニバス	
	食	品	製	造	学	2前		2		○				1						
	職	業	適	性	論	2後		2		○			1	1				兼9	オムニバス	
	労	働	衛	生	法	規	I	3前		2		○						兼1	オムニバス	
労	働	衛	生	法	規	II	3前		2		○						兼1			
小計（ 12科目）							—	0	23	0	—			1	2	0	0	0	兼16	
総合	特	別	講	義	I	1後		2		○				1						
	特	別	講	義	II	2前		2		○				1		2			兼1	
	特	別	演	習	I	1・2・3前		1			○			1	2	1	2		兼2	
	特	別	演	習	II	1・2・3後		1			○			1	2	1	2		兼3	
	ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	活	1・2通			○			1		2				
	フ	ィ	ー	ル	ド	ス	タ	デ	I	4通			○	4	4	3	4		兼2	
	フ	ィ	ー	ル	ド	ス	タ	デ	II	4通			○	4	4	3	4		兼2	
小計（ 7科目）							—	3	9	0	—			4	4	3	4	0		
合計（ 134科目）							—	51	219	0	—			5	5	4	4	0	兼137	
学位又は称号			学士（保健衛生学）			学位又は学科の分野			保健衛生学関係											
卒業要件及び履修方法										授業期間等										
必修51単位、人文・社会学系の選択科目から8単位以上、自然科学系の選択科目から6単位以上、言語系の選択科目から2単位以上、保健学・衛生学系の選択科目から2単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：49単位（年間））										1 学年の学期区分					2 期					
										1 学期の授業期間					15 週					
										1 時限の授業時間					90 分					

八王子キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙 日本産業規格A4縦型）

教 育 課 程 等 の 概 要															
(保健学部健康福祉学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文・社会学系	哲学	1前・後		2		○								兼2	オンライン
	心理学	1前		2		○								兼1	
	日本国憲	1前		2		○								兼1	オンライン
	社会学	1前・後		2		○								兼1	
	生命倫理	1後	2			○								兼1	
	教育心理学	1前		2		○								兼1	
	発達心理学	1後		2		○								兼1	
	芸術	1前・後		2		○								兼1	オンライン
	保健・医療の現状と未来Ⅰ	1前		2		○								兼15	オンライン
	保健・医療の現状と未来Ⅱ	1前		2		○			1			1		兼13	オンライン
	社会と大学Ⅰ	1前		2		○								兼15	オンライン
	社会と大学Ⅱ	1前		2		○								兼13	オンライン
	社会と大学Ⅲ	1前		2		○								兼12	オンライン
小計（13科目）		—	2	24	0	—			1	0	0	1	0	兼76	
自然科学系	基礎数学	1前		1		○								兼1	
	情報処理演習	2前		2			○							兼1	オンライン
	基礎物理	1前		1		○								兼1	
	基礎化学	1前		1		○								兼1	
	無機化学	1後		2		○								兼1	
	基礎生物	1前		1		○					1				
小計（6科目）		—	0	8	0	—			0	0	1	0	0	兼4	
言語系	英語Ⅰ	1前	2			○								兼1	
	英語Ⅱ	1後	2			○								兼1	
	英語Ⅲ	2前		2		○								兼1	
	医学英語	2前		2		○			1						
	英会話	2前・後		2		○								兼2	オンライン
小計（5科目）		—	4	6	0	—			1	0	0	0	0	兼3	
基礎医学系	医学概論	1後	2			○			1						
	医学基礎実習	1通	1					○	1		1	1			
	公衆衛生学Ⅰ	1前	2			○			2	3	1			兼2	オンライン
	公衆衛生学Ⅱ	1後		2		○			1	2	1	2		兼2	オンライン
	解剖学	1前	2			○						1			
	病理学	1後		2		○					1				
	生理学	1後	2			○			1						
	生化学	2後	2			○					1				
	免疫学	2後		2		○								兼1	
	微生物学	2後	2			○								兼1	
	微生物学実験	3前		1				○						兼1	
	薬理学	2前		2		○					1				
	小児疾患の病態学Ⅰ	2後		2		○						1		兼2	オンライン
	内科疾患の病態学Ⅱ	2後	2			○				1					オンライン
	外科疾患の病態学	3前	2			○						1			
	精神医学	1後		1		○					1				
	救命救助法	1前		1			○							兼1	井の頭
小計（18科目）		—	19	13	0	—			3	3	1	2	0	兼7	

保健学・福祉学系	健康福祉学実習	1通	4			○			1		1	1				
	健康福祉学	2後	1					○	1		1	1				
	疫児保健学	3後		2		○			1	1					兼1	オンライン
	小児保健学	2前	2			○						1				
	精神保健学	2後	2			○					1					
	高齢保健学	2後		2		○									兼1	
	健康スポーツ科学	1後		2			○			1						
	応用保健学	3前		2		○			1							
	社会福祉学	1後	2			○				1		2			兼1	オンライン
	社会福祉政策論	4前		2		○									兼1	オンライン
	高齢者福祉論	2後		2		○				1						オンライン
	障害者福祉論	2後		2		○						1				オンライン
	児童福祉論	2前	2			○									兼1	オンライン
	社会保障論	3前		4		○				1		2			兼1	オンライン
社会福祉学系	公的扶助論	4後		2		○									兼1	オンライン
	地域福祉論	3前		4		○									兼1	オンライン
	ソーシャルワーク総論Ⅰ	1後	4			○						1				オンライン
	ソーシャルワーク総論Ⅱ	2前	2			○						1				オンライン
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2前	1					○	1		1	1				
	社会調査概論	2前	1			○									兼1	
	小計（20科目）	—	21	24	0	—			3	4	3	4	0		兼13	
	ソーシャルワーク論Ⅰ	1前		2		○									兼1	オンライン
	ソーシャルワーク論Ⅱ	1前		2		○									兼1	オンライン
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2前		1		○									兼1	オンライン
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2前		1			○			1		2			兼1	オンライン
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	2後		2			○			1		2			兼1	オンライン
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	3前		2			○			1		2			兼1	オンライン
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	3後		2			○			1		2			兼1	オンライン
精神保健福祉学系	ソーシャルワーク演習Ⅵ	4前		2			○			1		2			兼1	オンライン
	ソーシャルワーク実習	3通		8				○		1		2			兼1	オンライン
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3通		4			○			1		2			兼1	オンライン
	医療福祉論	2前		2			○								兼1	オンライン
	社会福祉経営論	2後		1		○					1					オンライン
	権利擁護と成年後見論	3前		1		○						1				オンライン
	更生保護概論	3前		2		○				1						オンライン
	介護福祉論	4後		2		○				1						オンライン
	小計（15科目）	—	0	34	0	—			0	1	1	2	0		兼2	
	社会福祉調査の基礎	1後		2		○			1							
	精神疾患とその治療	1後		2		○					1					
	精神医療	2前		2		○					1					
	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2前		2		○			1							オンライン
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2後		2		○			1							オンライン
	精神保健福祉の原理Ⅰ	1後		2		○					1					
	精神保健福祉の原理Ⅱ	2前		2		○			1							オンライン
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（精神保健）	2後		2		○			1							オンライン
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ（精神保健）	3前		2		○			1							オンライン
	精神障害リハビリテーション論	3前		2		○					1					
	精神保健福祉制度論	1後		2		○					1					
	ソーシャルワーク演習Ⅰ（精神保健）	1後		1			○		1							
	ソーシャルワーク演習Ⅱ（精神保健）	2前		1			○		1							
	ソーシャルワーク演習Ⅲ（精神保健）	2後		2			○		1							
	ソーシャルワーク演習Ⅳ（精神保健）	3前		2			○		1							
	ソーシャルワーク演習Ⅴ（精神保健）	3後		2			○		1							
	ソーシャルワーク演習Ⅵ（精神保健）	4前		2			○		1							
	ソーシャルワーク実習指導（精神保健）	3通		4				○	1							
	ソーシャルワーク実習（精神保健）	3通		8				○	1							
	精神保健福祉特論	4後		2		○			1		1					
	小計（20科目）	—	0	46	0	—			2	0	1	0	0		兼0	

学校保健学系	学	校	保	健	学	I	2前		2		○				1	1			兼1	オンライン
	学	校	保	健	学	II	3前		2		○					1			兼2	オンライン
	学	校	看	護	学	3後		1		○				1		1			兼7	オンライン
	健	康	相	談	I	3前		2		○					1		1		兼3	オンライン
	健	康	相	談	II	3後		1		○				1		1			兼1	オンライン
	健	康	教	育	学	2後	2			○					1					
	保	健	栄	養	学	3前		2		○					1					オンライン
	養	護	学	概	論	2後		2		○						1			兼1	オンライン
	力	ウ	ン	セ	リ	グ	3前		2		○								兼1	
	保	健	科	指	導	I	3前		2		○				1					
	保	健	科	指	導	II	3後		2		○				1					
	保	健	科	教	育	I	3前		2		○				1					
	保	健	科	教	育	II	3後		2		○				1					
看		護		学	I	2前		2		○						1				
看		護		学	II	2後		2		○						1				
看		護		学	III	3前		2		○						1				
看	護	学	実	習	3後		2					○				2				
救	急	看	護	学	3前		2			○						1				
小計（ 18科目）							—	2	32	0	—			2	3	2	1	0	兼11	
環境・食品学系	産	業	保	健	学	2前		2		○					1				兼1	オンライン
	環	境	衛	生	工	学	3前		2		○								兼1	オンライン
	環	境	科		学	2後		2		○									兼1	
	放	射	線	概	論	3後		2		○									兼3	オンライン
	分	析	化		学	3後		2		○									兼1	オンライン
	分	析	化	学	実	験	3前		1		○								兼3	オンライン
	食	品	栄	養	学	2後		2		○					1					オンライン
	食	品	衛	生	学	3前		2		○					1				兼1	オンライン
	食	品	製	造	学	2前		2		○					1					オンライン
	職	業	適	性	論	2後		2		○				1	1				兼9	オンライン
労	働	衛	生	法	規	I	3前		2		○				1				兼1	オンライン
労	働	衛	生	法	規	II	3前		2		○							兼1	オンライン	
小計（ 12科目）							—	0	23	0	—			1	2	0	0	0	兼16	
総合	特	別	講	義	I	1後		2		○				1						
	特	別	講	義	II	2前		2		○				1						
	特	別	演	習	I	1・2・3前		1			○			1		1	1			
	特	別	演	習	II	1・2・3後		1			○			1		1	1			
	ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	活	動	1・2通		○			1		1	1			
	フ	ィ	ー	ル	ド	ス	タ	デ	ィ	I	4通			1		1	1			
	フ	ィ	ー	ル	ド	ス	タ	デ	ィ	II	4通			1		1	1			
小計（ 7科目）							—	3	9	0	—			1	0	1	4	0	兼0	
合計（ 134科目）							—	51	219	0	—			5	4	5	6	0	兼111	
学位又は称号			学士（保健衛生学）				学位又は学科の分野				保健衛生学関係									
卒業要件及び履修方法											授業期間等									
必修51単位、人文・社会学系の選択科目から8単位以上、自然科学系の選択科目から6単位以上、言語系の選択科目から2単位以上、保健学・衛生学系の選択科目から2単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：49単位（年間））											1 学年の学期区分					2 期				
											1 学期の授業期間					15 週				
											1 時限の授業時間					90 分				

別記様式第2号（その2の1）

（用紙 日本産業規格 A 4 縦型）

教 育 課 程 等 の 概 要																
(総合政策学部総合政策学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
ベーシック科目	ベーシック政治	1前・後		2		○			1	1						
	ベーシック経済	1前・後		2		○				1						
	ベーシック法律	1前・後		2		○				1						
	ベーシック国際関係	1前・後		2		○			1							
	ベーシック福祉政策	1前・後		2		○					1					
	ベーシック経営	1前・後		2		○									兼1	
	ベーシック会計	1前・後		2		○									兼1	
	小計 (7科目)	—	0	14	0	—			2	3	1	0	0	兼1		
地域と大学	地域と大学	1前	2				○		1						兼1	
	小計 (1科目)	—	2	0	0	—			1	0	0	0	0	兼1		
コース別専門科目 (政治)	コア科目	政治心理学	2前		2		○			1						
		政治コミュニケーション論	2後		2		○			1						
		現代日本政治A	2前		2		○				1					
		現代日本政治B	2後		2		○				1					
		現代行政学A	2前		2		○			1						
		現代行政学B	2後		2		○			1						
		立法過程論	2前		2		○				1					
		政策過程論	2後		2		○				1					
		ローカル・ガバメント論A	2前		2		○			1						
		ローカル・ガバメント論B	2後		2		○			1						
		政治史	2前		2		○								兼1	
		法制史	2後		2		○								兼1	
	応用科目	比較政治学	2前		2		○			1						
		外交政策論A	2前		2		○				1					
		外交政策論B	2後		2		○			1						
		国際政治経済学	2後		2		○				1					
		国際政治学A	2前		2		○			1						
		国際政治学B	2後		2		○			1						
		アメリカ政治論	2前		2		○				1					
		アジア政治論	2後		2		○			1						
		ヨーロッパ政治論	2後		2		○				1					
		国際政治史	2前		2		○			1						
		憲法Ⅰ (統治機構)	2前		2		○					1				
		憲法Ⅱ (人権)	2後		2		○					1				
		行政法Ⅰ	2前		2		○					1				
		行政法Ⅱ	2後		2		○					1				
		地方自治と法	2後		2		○			1						
小計 (27科目)		—	0	54	0	—			5	3	1	0	0	兼1		

コース別専門科目（経済）	専門科目	コア科目	マクロ経済学	2前		2		○			1							兼1		
			ミクロ経済学	2後		2		○										兼1		
			国際経済学A（貿易）	2前		2		○												
			国際経済学B（金融）	2前		2		○			1									
			国際政治経済学	2後		2		○				1								
			開発経済学	2前		2		○										兼1		
			公共経済学	2前		2		○			1									
			経済政策論	2後		2		○										兼1		
			金融論	2前		2		○										兼1		
			財政論	2前		2		○										兼1		
			日本経済論	2後		2		○										兼1		
			経済統計学	2後		2		○										兼1		
			応用科目	行動経済学	2前		2		○											兼1
				環境経済学	2前		2		○			1								
				医療経済学	2前		2		○			1								
				人口学	2後		2		○											兼1
				アメリカ経済学	2前		2		○						1					
				ヨーロッパ経済論	2後		2		○			1								
				アジア経済論	2前		2		○											兼1
	中東・アフリカの政治・経済	2前			2		○											兼1		
	社会福祉政策論	2後			2		○			1										
	日本の貿易政策	2後			2		○											兼1		
	法と経済	2前		2		○											兼1			
	経済学説史	2後		2		○			1											
	ゲーム理論	2後		2		○			1											
	小計（ 25科目）			—	0	50	0	—			4	1	0	1	0	兼8				
コース別専門科目（法律）	専門科目	コア科目	法情報調査	2後		2		○					1							
			法学の現代的課題	2後		2		○										兼1		
			会社法Ⅰ（ガバナンス）	2前		2		○										兼1		
			会社法Ⅱ（ファイナンス）	2後		2		○										兼1		
			民法総論	2前		2		○					1							
			物権法	2前		2		○					1							
			契約法	2後		2		○											兼1	
			家族法	2後		2		○					1							
			憲法Ⅰ（統治機構）	2前		2		○						1						
			憲法Ⅱ（人権）	2後		2		○						1						
			刑法Ⅰ（総論）	2前		2		○			1									
			刑法Ⅱ（各論）	2後		2		○			1									
	応用科目	行政法Ⅰ	2前		2		○						1							
		行政法Ⅱ	2後		2		○						1							
		民事訴訟法	2前		2		○											兼1		
		刑事訴訟法	2前		2		○			1										
		租税法Ⅰ	2前		2		○											兼1		
		租税法Ⅱ	2後		2		○											兼1		
		企業法総論	2前		2		○											兼1		
		企業取引法	2後		2		○											兼1		
		国際法Ⅰ	2前		2		○			1										
		国際法Ⅱ	2後		2		○			1										
		環境法	2前		2		○											兼1		
		労働法	2前		2		○											兼1		
		社会保障法	2前		2		○											兼1		
		医事法	2後		2		○			1										
		法と経済	2前		2		○											兼1		
		法制史	2後		2		○											兼1		
		比較法文化論	2後		2		○											兼1		
		メディア・コンテンツと法	2前		2		○						1							
		地方自治と法	2後		2		○			1										
		倒産処理と法	2後		2		○											兼1		
		不動産取引と法Ⅰ	2前		2		○					1								
		不動産取引と法Ⅱ	2後		2		○					1								
		小計（ 34科目）			—	0	68	0	—			3	2	2	0	0	兼8			

コース別専門科目（国際関係）	専門科目	コア科目	国際政治学A	2前		2		○			1					
			国際政治学B	2後		2		○			1					
			国際政治経済学	2後		2		○				1				
			比較政治学	2前		2		○			1					
			マクロ経済学	2前		2		○			1					
			外交政策論A	2後		2		○				1				
			外交政策論B	2前		2		○			1					
			国際機構論	2後		2		○			1					
			政策過程論	2後		2		○				1				
			国際政治史	2前		2		○			1					
			国際法Ⅰ	2前		2		○			1					
			国際法Ⅱ	2後		2		○			1					
			応用科目	開発経済学	2前		2		○							
	現代行政学A	2前			2		○			1						
	政治心理学	2前			2		○			1						
	アジア経済論	2前			2		○								兼1	
	アジア政治論	2前			2		○			1						
	アメリカ経済論	2前			2		○				1					
	アメリカ政治論	2前			2		○				1					
	国際関係論演習	2後			2		○			1						
	国際協力論	2前			2		○			1						
	国際経営論	2前			2		○								兼1	
	国際経済学A（貿易）	2前			2		○								兼1	
	政治コミュニケーション論	2後			2		○			1						
	中東・アフリカの政治・経済	2前			2		○								兼1	
	ヨーロッパ経済論	2後			2		○			1						
	ヨーロッパ政治論	2後			2		○				1					
	経済統計	2後			2		○								兼1	
	小計（ 28科目）			—	0	56	0	—			7	1	1	0	0	兼6
	コース別専門科目（福祉政策）	専門科目	コア科目	社会福祉学	2後		2		○			1				
健康社会学				2後		2		○			1					
健康科学				2前		2		○								兼1
人口学				2後		2		○								兼1
児童福祉論				2後		2		○								兼1
障害者福祉論				2前		2		○								兼1
老人福祉論				2後		2		○								兼1
社会福祉政策論				2前		2		○			1					
社会保障論Ⅰ				2前		2		○				1				
社会保障論Ⅱ				2後		2		○				1				
環境保全論Ⅰ				2前		2		○			1					
環境保全論Ⅱ				2後		2		○			1					
応用科目		医療経済学	2前		2		○			1						
		環境経済学	2前		2		○			1						
		公共経済学	2前		2		○			1						
		介護政策論	2後		2		○			1						
		社会福祉援助技術総論Ⅰ	2後		2		○								兼1	
		社会福祉援助技術総論Ⅱ	2後		2		○								兼1	
		カウンセリング論	2後		2		○								兼1	
		環境政策論	2前		2		○								兼1	
		ローカル・ガバメント論A	2前		2		○			1						
		ローカル・ガバメント論B	2後		2		○			1						
		日本経済論	2後		2		○								兼1	
		経済政策論	2後		2		○								兼1	
		財政論	2前		2		○								兼1	
		民法総論	2前		2		○				1					
		ヒューマンエコロジー	2前		2		○								兼1	
		現代日本政治A	2前		2		○				1					
		現代日本政治B	2後		2		○				1					
		政策過程論	2後		2		○				1					
憲法Ⅰ（統治機構）	2前		2		○					1						
憲法Ⅱ（人権）	2後		2		○					1						
家族法	2前		2		○				1							
租税法Ⅰ	2前		2		○								兼1			
労働法	2前		2		○								兼1			
医事法	2後		2		○			1								
環境法	2前		2		○								兼1			
小計（ 37科目）			—	0	74	0	—			5	2	1	0	0	兼11	

演習	専門演習科目	演習Ⅰ	2前		2			○		11	5	4			兼9	
		演習Ⅱ	2後		2			○		11	5	4			兼9	
		演習Ⅲ	3前		2			○		11	4	3			兼10	
		演習Ⅳ	3後		2			○		11	4	3			兼10	
		演習Ⅴ	4前		2			○		11	5	1			兼11	
		演習Ⅵ	4後		2			○		11	5	1			兼11	
		卒業研究Ⅰ	4前		2			○		11	5	1			兼11	
		卒業研究Ⅱ	4後		2			○		11	5	1			兼11	
	学際演習	学際演習Ⅰ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
		学際演習Ⅱ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
		学際演習Ⅲ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
		学際演習Ⅳ	2前・後		2			○		7	1	1			兼4	
		学際演習Ⅴ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
		学際演習Ⅵ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
		学際演習Ⅶ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
		学際演習Ⅷ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
	特別演習	特別演習Ⅰ	1前		2			○							兼1	
		特別演習Ⅱ	1前		2			○							兼1	
		特別演習Ⅲ	1前		2			○							兼1	
		特別演習Ⅳ	1前		2			○							兼1	
	プロジェクト演習	プロジェクト演習Ⅰ	1前		2			○							兼1	
		プロジェクト演習Ⅱ	1前		2			○							兼1	
		プロジェクト演習Ⅲ	1前		2			○							兼1	
		プロジェクト演習Ⅳ	1前		2			○							兼1	
	小計（24科目）		—	0	48	0		—		11	5	4	0	0	兼11	
演習	演習	演習Ⅰ	1前	2				○		1					兼1	
		演習Ⅱ	1後	2				○		1					兼1	
		小計（2科目）	—	4	0	0		—		1	0	0	0	0	兼1	
一般教養科目	一般教養科目	生活と法	1前・後		2			○		1		1				
		日本国憲法	1前・後		2			○				2				
		基礎簿記Ⅰ	1前		2			○							兼3	
		基礎簿記Ⅱ	1後		2			○							兼3	
		人文地理学	1前		2			○							兼1	
		自然地理学	1後		2			○							兼1	
		社会学	1前		2			○							兼1	
		統計学	1前		2			○		1						
		宗教学	1前・後		2			○							兼1	
		哲学	1前・後		2			○							兼1	
		倫理学	1前・後		2			○							兼1	
		心理学	1前・後		2			○							兼2	
		歴史学	1前・後		2			○							兼1	
		文学	1前・後		2			○							兼1	
		音楽	1前・後		2			○							兼1	
		ダイバーシティ入門	1後		2			○							兼1	
		人文科学概論	1前		2			○							兼1	
		自然科学概論	1前		2			○							兼1	
	小計（18科目）		—	0	36	0		—		2	0	2	0	0	兼13	
外国語科目	必修外国語	英語Ⅰ	1前	2				○							兼2	
		英語Ⅱ	1前	2				○				1			兼4	
		英語Ⅲ	1後	2				○							兼2	
		英語Ⅳ	1後	2				○				1			兼3	
	選択外国語	発展英語Ⅰ	2前		2			○							兼2	
		発展英語Ⅱ	2後		2			○							兼2	
		中国語A	2前		2			○							兼1	
		中国語B	2後		2			○							兼1	
		韓国語A	2前		2			○							兼1	
		韓国語B	2後		2			○							兼1	
		フランス語A	2前		2			○							兼1	
		フランス語B	2後		2			○							兼1	
		ドイツ語A	2前		2			○							兼1	
		ドイツ語B	2後		2			○							兼1	
		スペイン語A	2前		2			○							兼1	
		スペイン語B	2後		2			○							兼1	
	小計（16科目）		—	8	24	0		—		0	0	1	0	0	兼10	

キャリア 関連科目	基礎 教養 分野	時事問題研究A	1前・後	2			○			1						
		時事問題研究B	1前・後	2			○			1						
		ライティング演習Ⅰ	2前	2			○								兼3	
		ライティング演習Ⅱ	2後	2			○								兼3	
		計算力演習Ⅰ	2前	2			○								兼2	
		計算力演習Ⅱ	2後	2			○								兼2	
		情報処理演習A	2前		2		○								兼1	
		情報処理演習B	2後		2		○								兼1	
	ライフ デザ イン 分野	ライフ・プランニングⅠ	1前	2				○			1					
		ライフ・プランニングⅡ	1後	2				○			1					
キャリア開発論Ⅰ		2前	2				○							兼2		
キャリア開発論Ⅱ		2後	2				○							兼2		
キャリア開発演習Ⅰ		3前	2				○			1						
キャリア開発演習Ⅱ		3後	2				○			1						
インターンシップⅠ		2前		2				○		1						
インターンシップⅡ		2後		2				○		1						
小計（ 16科目）			—	24	8		—			0	3	0	0	0	兼7	
グ ロ ー バ ル キ ャ リ ア ・ プ ロ グ ラ ム	英 語 科 目	Oral Communication 1	1前		2			○								兼1
		Oral Communication 2	1後		2			○								兼1
		Academic Writing 1	1前		2			○				1				
		Academic Writing 2	1後		2			○				1				
		Academic Writing 3	2前		2			○				1				
		Recent Topics in English	2前		2			○							兼1	
		Business Communication 1	2後		2			○							兼1	
		Business Communication 2	3前		2			○							兼1	
	関 連 科 目	Critical Thinking	1後		2			○			1					
		Global Career Development	1後		2			○							兼1	
		Communication for Business	2前		2			○			1					
		Japan Studies	2前		2			○							兼1	
		Public Speaking	2前		2			○							兼1	
	グ ロ ー バ ル 専 門 科 目	Introductory Progressive	Introduction to Business	2後		2			○							兼1
			Introduction to Economics	2後		2			○							兼1
			Introduction to Global Health Issues	2後		2			○			1				
			introduction to International Relations	2後		2			○				1			
			Monetary Policy and Financial System	2後		2			○							兼1
			Fiscal Policy and Tax System in Japan	2後		2			○							兼1
			Culture and Business	2後		2			○			1				
			Global Health and Social Justice	2後		2			○			1				
			Marketing	2後		2			○							兼1
			History of Innovation and Science	2後		2			○							兼1
			Interdisciplinary Seminar 1	2前		2			○			1		1		兼1
			Interdisciplinary Seminar 2	2後		2			○			1		1		兼1
小計（ 25科目）			—	0	50	0	—			3	1	1	0	0	兼11	
教 職 科 目		日本史Ⅰ	1前			2	○				1					
		日本史Ⅱ	1後			2	○				1					
		外国史Ⅰ	1前			2	○								兼1	
		外国史Ⅱ	1後			2	○								兼1	
		地誌学Ⅰ	1前			2	○								兼1	
		地誌学Ⅱ	1後			2	○								兼1	
		体育理論	1前			1	○								兼1	
		体育実技	1前			1			○						兼1	
		小計（ 8科目）			—	0	0	14	—			0	1	0	0	0
合計（ 267科目）			—	38	482	14	—			11	5	4	0	0	兼54	
学位又は称号		学士（総合政策学）			学位又は学科の分野				法学、経済学、社会学・社会福祉学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
必修科目38単位以外にベーシック科目から10単位以上、自コースの自コースからコア科目16単位を含む20単位以上、自学科及び他学科の専門科目36単位以上、学際演習から4単位以上、一般教養科目から10単位以上、外国語科目の選択科目から4単位以上、その他に選択科目から2単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：48単位（年間））								1 学年の学期区分				2 期				
								1 学期の授業期間				15 週				
								1 時限の授業時間				90 分				

井の頭キャンパス

別記様式第 2 号（その 2 の 1）

（用紙 日本産業規格 A 4 縦型）

教 育 課 程 等 の 概 要																
(総合政策学部総合政策学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
ベーシック科目	ベーシック政治	1前・後		2		○			1	1						
	ベーシック経済	1前・後		2		○				1						
	ベーシック法律	1前・後		2		○				1						
	ベーシック国際関係	1前・後		2		○			1							
	ベーシック福祉政策	1前・後		2		○					1					
	ベーシック経営	1前・後		2		○									兼1	
	ベーシック会計	1前・後		2		○									兼1	
	小計 (7科目)	—	0	14	0	—			2	3	1	0	0	兼1		
地域と大学	地域と大学	1前	2				○		1						兼1	
	小計 (1科目)	—	2	0	0	—			1	0	0	0	0	兼1		
コース別専門科目 (政治)	コア科目	政治心理学	2前		2		○			1						
		政治コミュニケーション論	2後		2		○			1						
		現代日本政治A	2前		2		○				1					
		現代日本政治B	2後		2		○				1					
		現代行政学A	2前		2		○			1						
		現代行政学B	2後		2		○			1						
		立法過程論	2前		2		○				1					
		政策過程論	2後		2		○				1					
		ローカル・ガバメント論A	2前		2		○			1						
		ローカル・ガバメント論B	2後		2		○			1						
		政治史	2前		2		○								兼1	
		法制史	2後		2		○								兼1	
	応用科目	比較政治学	2前		2		○			1						
		外交政策論A	2前		2		○				1					
		外交政策論B	2後		2		○			1						
		国際政治経済学	2後		2		○				1					
		国際政治学A	2前		2		○			1						
		国際政治学B	2後		2		○			1						
		アメリカ政治論	2前		2		○				1					
		アジア政治論	2後		2		○			1						
		ヨーロッパ政治論	2後		2		○				1					
		国際政治史	2前		2		○			1						
		憲法Ⅰ (統治機構)	2前		2		○					1				
		憲法Ⅱ (人権)	2後		2		○					1				
		行政法Ⅰ	2前		2		○					1				
		行政法Ⅱ	2後		2		○					1				
		地方自治と法	2後		2		○			1						
小計 (27科目)		—	0	54	0	—			5	3	1	0	0	兼1		

コース別専門科目（経済）	専門科目	コア科目	マクロ経済学	2前		2		○			1						兼1		
			ミクロ経済学	2後		2		○									兼1		
			国際経済学A（貿易）	2前		2		○											
			国際経済学B（金融）	2前		2		○			1								
			国際政治経済学	2後		2		○				1							
			開発経済学	2前		2		○									兼1		
			公共経済学	2前		2		○			1								
			経済政策論	2後		2		○									兼1		
			金融論	2前		2		○									兼1		
			財政論	2前		2		○									兼1		
			日本経済論	2後		2		○									兼1		
			経済統計学	2後		2		○									兼1		
			応用科目	行動経済学	2前		2		○										兼1
				環境経済学	2前		2		○			1							
				医療経済学	2前		2		○			1							
				人口学	2後		2		○									兼1	
				アメリカ経済学	2前		2		○						1				
				ヨーロッパ経済論	2後		2		○			1							
				アジア経済論	2前		2		○									兼1	
				中東・アフリカの政治・経済	2前		2		○									兼1	
	社会福祉政策論	2後			2		○			1									
	日本の貿易政策	2後			2		○									兼1			
	法と経済	2前		2		○									兼1				
	経済学説史	2後		2		○			1										
	ゲーム理論	2後		2		○			1										
	小計（ 25科目）			—	0	50	0	—			4	1	0	1	0	兼8			
コース別専門科目（法律）	専門科目	コア科目	法情報調査	2後		2		○					1						
			法学の現代的課題	2後		2		○									兼1		
			会社法Ⅰ（ガバナンス）	2前		2		○									兼1		
			会社法Ⅱ（ファイナンス）	2後		2		○									兼1		
			民法総論	2前		2		○				1							
			物権法	2前		2		○				1							
			契約法	2後		2		○									兼1		
			家族法	2後		2		○				1							
			憲法Ⅰ（統治機構）	2前		2		○					1						
			憲法Ⅱ（人権）	2後		2		○					1						
			刑法Ⅰ（総論）	2前		2		○			1								
			刑法Ⅱ（各論）	2後		2		○			1								
			応用科目	行政法Ⅰ	2前		2		○						1				
				行政法Ⅱ	2後		2		○						1				
	民事訴訟法	2前			2		○										兼1		
	刑事訴訟法	2前			2		○			1									
	租税法Ⅰ	2前			2		○										兼1		
	租税法Ⅱ	2後			2		○										兼1		
	企業法総論	2前			2		○										兼1		
	企業取引法	2後			2		○										兼1		
	国際法Ⅰ	2前			2		○			1									
	国際法Ⅱ	2後			2		○			1									
	環境法	2前			2		○										兼1		
	労働法	2前			2		○										兼1		
	社会保障法	2前			2		○										兼1		
	医事法	2後			2		○			1									
	法と経済	2前			2		○										兼1		
	法制史	2後			2		○										兼1		
	比較法文化論	2後			2		○										兼1		
	メディア・コンテンツと法	2前			2		○					1							
	地方自治と法	2後			2		○			1									
	倒産処理と法	2後			2		○										兼1		
	不動産取引と法Ⅰ	2前		2		○				1									
	不動産取引と法Ⅱ	2後		2		○				1									
小計（ 34科目）			—	0	68	0	—			3	2	2	0	0	兼8				

コース別専門科目（国際関係）	専門科目	コア科目	国際政治学A	2前		2		○			1							
			国際政治学B	2後		2		○			1							
			国際政治経済学	2後		2		○				1						
			比較政治学	2前		2		○			1							
			マクロ経済学	2前		2		○			1							
			外交政策論A	2後		2		○				1						
			外交政策論B	2前		2		○			1							
			国際機構論	2後		2		○			1							
			政策過程論	2後		2		○				1						
			国際政治史	2前		2		○			1							
			国際法Ⅰ	2前		2		○			1							
			国際法Ⅱ	2後		2		○			1							
			応用科目	開発経済学	2前		2		○				1					兼1
				現代行政学A	2前		2		○			1						
	政治心理学	2前			2		○			1						兼1		
	アジア経済論	2前			2		○											
	アジア政治論	2前			2		○			1								
	アメリカ経済論	2前			2		○				1							
	アメリカ政治論	2前			2		○				1							
	国際関係論演習	2後			2		○			1								
	国際協力論	2前			2		○			1								
	国際経営論	2前			2		○									兼1		
	国際経済学A（貿易）	2前			2		○									兼1		
	政治コミュニケーション論	2後			2		○			1								
	中東・アフリカの政治・経済	2前			2		○									兼1		
	ヨーロッパ経済論	2後			2		○			1								
	ヨーロッパ政治論	2後			2		○				1							
	経済統計	2後			2		○									兼1		
	小計（ 28科目）			—	0	56	0	—			7	1	1	0	0	兼6		
	コース別専門科目（福祉政策）	専門科目	コア科目	社会福祉学	2後		2		○			1						
健康社会学				2後		2		○			1							
健康科学				2前		2		○									兼1	
人口学				2後		2		○									兼1	
児童福祉論				2後		2		○									兼1	
障害者福祉論				2前		2		○									兼1	
老人福祉論				2後		2		○									兼1	
社会福祉政策論				2前		2		○			1							
社会保障論Ⅰ				2前		2		○				1						
社会保障論Ⅱ				2後		2		○				1						
環境保全論Ⅰ				2前		2		○			1							
環境保全論Ⅱ				2後		2		○			1							
応用科目		医療経済学	2前		2		○			1								
		環境経済学	2前		2		○			1								
		公共経済学	2前		2		○			1								
		介護政策論	2後		2		○			1								
		社会福祉援助技術総論Ⅰ	2後		2		○									兼1		
		社会福祉援助技術総論Ⅱ	2後		2		○									兼1		
		カウンセリング論	2後		2		○									兼1		
		環境政策論	2前		2		○									兼1		
		ローカル・ガバメント論A	2前		2		○			1								
		ローカル・ガバメント論B	2後		2		○			1								
		日本経済論	2後		2		○									兼1		
		経済政策論	2後		2		○									兼1		
		財政論	2前		2		○									兼1		
		民法総論	2前		2		○				1							
		ヒューマンエコロジー	2前		2		○									兼1		
		現代日本政治A	2前		2		○				1							
		現代日本政治B	2後		2		○				1							
		政策過程論	2後		2		○				1							
	憲法Ⅰ（統治機構）	2前		2		○					1							
	憲法Ⅱ（人権）	2後		2		○					1							
家族法	2前		2		○				1									
租税法Ⅰ	2前		2		○									兼1				
労働法	2前		2		○									兼1				
医事法	2後		2		○			1										
環境法	2前		2		○									兼1				
小計（ 37科目）			—	0	74	0	—			5	2	1	0	0	兼11			

演習	専門演習科目	演習Ⅰ	2前		2			○		11	5	4			兼9	
		演習Ⅱ	2後		2			○		11	5	4			兼9	
		演習Ⅲ	3前		2			○		11	4	3			兼10	
		演習Ⅳ	3後		2			○		11	4	3			兼10	
		演習Ⅴ	4前		2			○		11	5	1			兼11	
		演習Ⅵ	4後		2			○		11	5	1			兼11	
		卒業研究Ⅰ	4前		2			○		11	5	1			兼11	
		卒業研究Ⅱ	4後		2			○		11	5	1			兼11	
		学際演習Ⅰ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
		学際演習Ⅱ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
		学際演習Ⅲ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
		学際演習Ⅳ	2前・後		2			○		7	1	1			兼4	
		学際演習Ⅴ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
		学際演習Ⅵ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
		学際演習Ⅶ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
		学際演習Ⅷ	2前・後		2			○		7	2	1			兼4	
	特別演習	特別演習Ⅰ	1前		2			○							兼1	
		特別演習Ⅱ	1前		2			○							兼1	
		特別演習Ⅲ	1前		2			○							兼1	
		特別演習Ⅳ	1前		2			○							兼1	
	プロジェクト演習	プロジェクト演習Ⅰ	1前		2			○							兼1	
		プロジェクト演習Ⅱ	1前		2			○							兼1	
		プロジェクト演習Ⅲ	1前		2			○							兼1	
		プロジェクト演習Ⅳ	1前		2			○							兼1	
	小計（24科目）		—	0	48	0	—			11	5	4	0	0	兼11	
演習	演習	演習Ⅰ	1前	2				○		1					兼1	
		演習Ⅱ	1後	2				○		1					兼1	
		小計（2科目）	—	4	0	0	—			1	0	0	0	0	兼1	
一般教養科目	一般教養科目	生活と法	1前・後		2			○		1		1				
		日本国憲法	1前・後		2			○				2				
		基礎簿記Ⅰ	1前		2			○							兼3	
		基礎簿記Ⅱ	1後		2			○							兼3	
		人文地理学	1前		2			○							兼1	
		自然地理学	1後		2			○							兼1	
		社会学	1前		2			○							兼1	
		統計学	1前		2			○		1						
		宗教学	1前・後		2			○							兼1	
		哲学	1前・後		2			○							兼1	
		倫理学	1前・後		2			○							兼1	
		心理学	1前・後		2			○							兼2	
		歴史学	1前・後		2			○							兼1	
		文学	1前・後		2			○							兼1	
		音楽	1前・後		2			○							兼1	
		ダイバーシティ入門	1後		2			○							兼1	
		人文科学概論	1前		2			○							兼1	
		自然科学概論	1前		2			○							兼1	
	小計（18科目）		—	0	36	0	—			2	0	2	0	0	兼13	
外国語科目	必修外国語	英語Ⅰ	1前	2				○							兼2	
		英語Ⅱ	1前	2				○				1			兼4	
		英語Ⅲ	1後	2				○							兼2	
		英語Ⅳ	1後	2				○				1			兼3	
	選択外国語	発展英語Ⅰ	2前		2			○							兼2	
		発展英語Ⅱ	2後		2			○							兼2	
		中国語A	2前		2			○							兼1	
		中国語B	2後		2			○							兼1	
		韓国語A	2前		2			○							兼1	
		韓国語B	2後		2			○							兼1	
		フランス語A	2前		2			○							兼1	
		フランス語B	2後		2			○							兼1	
		ドイツ語A	2前		2			○							兼1	
		ドイツ語B	2後		2			○							兼1	
		スペイン語A	2前		2			○							兼1	
		スペイン語B	2後		2			○							兼1	
	小計（16科目）		—	8	24	0	—			0	0	1	0	0	兼10	

キャリア 関連科目	基礎 教養 分野	時事問題研究A	1前・後	2			○			1						
		時事問題研究B	1前・後	2			○			1						
		ライティング演習Ⅰ	2前	2			○								兼3	
		ライティング演習Ⅱ	2後	2			○								兼3	
		計算力演習Ⅰ	2前	2			○								兼2	
		計算力演習Ⅱ	2後	2			○								兼2	
		情報処理演習A	2前		2		○								兼1	
		情報処理演習B	2後		2		○								兼1	
	ライフ デザ イン 分野	ライフ・プランニングⅠ	1前	2				○			1					
		ライフ・プランニングⅡ	1後	2				○			1					
キャリア開発論Ⅰ		2前	2				○							兼2		
キャリア開発論Ⅱ		2後	2				○							兼2		
キャリア開発演習Ⅰ		3前	2				○			1						
キャリア開発演習Ⅱ		3後	2				○			1						
インターンシップⅠ		2前		2				○		1						
インターンシップⅡ		2後		2				○		1						
小計（ 16科目）			—	24	8		—			0	3	0	0	0	兼7	
グ ロ ー バ ル キ ャ リ ア ・ プ ロ グ ラ ム	英 語 科 目	Oral Communication 1	1前		2			○								兼1
		Oral Communication 2	1後		2			○								兼1
		Academic Writing 1	1前		2			○				1				
		Academic Writing 2	1後		2			○				1				
		Academic Writing 3	2前		2			○				1				
		Recent Topics in English	2前		2			○							兼1	
		Business Communication 1	2後		2			○							兼1	
		Business Communication 2	3前		2			○							兼1	
	関 連 科 目	Critical Thinking	1後		2			○			1					
		Global Career Development	1後		2			○							兼1	
		Communication for Business	2前		2			○			1					
		Japan Studies	2前		2			○							兼1	
		Public Speaking	2前		2			○							兼1	
	グ ロ ー バ ル 専 門 科 目	Introductory Progressive	Introduction to Business	2後		2			○							兼1
			Introduction to Economics	2後		2			○							兼1
			Introduction to Global Health Issues	2後		2			○			1				
			introduction to International Relations	2後		2			○				1			
			Monetary Policy and Financial System	2後		2			○							兼1
			Fiscal Policy and Tax System in Japan	2後		2			○							兼1
			Culture and Business	2後		2			○			1				
			Global Health and Social Justice	2後		2			○			1				
			Marketing	2後		2			○							兼1
			History of Innovation and Science	2後		2			○							兼1
			Interdisciplinary Seminar 1	2前		2			○			1		1		兼1
			Interdisciplinary Seminar 2	2後		2			○			1		1		兼1
小計（ 25科目）			—	0	50	0	—			3	1	1	0	0	兼11	
教 職 科 目		日本史Ⅰ	1前			2	○				1					
		日本史Ⅱ	1後			2	○				1					
		外国史Ⅰ	1前			2	○								兼1	
		外国史Ⅱ	1後			2	○								兼1	
		地誌学Ⅰ	1前			2	○								兼1	
		地誌学Ⅱ	1後			2	○								兼1	
		体育理論	1前			1	○								兼1	
		体育実技	1前			1			○						兼1	
		小計（ 8科目）			—	0	0	14	—			0	1	0	0	0
合計（ 267科目）			—	38	482	14	—			11	5	4	0	0	兼54	
学位又は称号		学士（総合政策学）			学位又は学科の分野				法学、経済学、社会学・社会福祉学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
必修科目38単位以外にベーシック科目から10単位以上、自コースの自コースからコア科目16単位を含む20単位以上、自学科及び他学科の専門科目36単位以上、学際演習から4単位以上、一般教養科目から10単位以上、外国語科目の選択科目から4単位以上、その他に選択科目から2単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：48単位（年間））								1 学年の学期区分				2 期				
								1 学期の授業期間				15 週				
								1 時限の授業時間				90 分				

八王子キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙 日本産業規格 A 4 縦型）

教 育 課 程 等 の 概 要														
（総合政策学部総合政策学科）														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
ベーシック科目	ベーシック政治	1前・後		2		○				1				
	ベーシック経済	1前・後		2		○				1				
	ベーシック法律	1前・後		2		○				1				
	ベーシック国際関係	1前・後		2		○					1			
	ベーシック福祉政策	1前・後		2		○								
	ベーシック経営	1前・後		2		○								
	ベーシック会計	1前・後		2		○								
	小計（ 7科目）	—	0	14	0	—			1	3	1	0	0	兼1 兼1
地域と大学	地域と大学	1前	2				○		1					
	小計（ 1科目）	—	2	0	0	—			1	0	0	0	0	兼0
コース別専門科目（法律）	コア科目	会社法Ⅰ（ガバナンス）	2前	2		○								兼1
		会社法Ⅱ（ファイナンス）	2後	2		○								兼1
		民法総論	2前	2		○				1				
		家族法	2後	2		○				1				
		刑法Ⅰ（総論）	2前	2		○			1					
		刑法Ⅱ（各論）	2後	2		○			1					
	応用科目	刑事訴訟法	2前	2		○			1					兼1
		企業法総論	2前	2		○								兼1
		企業取引法	2後	2		○								兼1
		小計（ 9科目）	—	0	18	0	—		1	1	0	0	0	兼1
専門科目	応用科目	民法総論	2前	2		○				1				
		家族法	2前	2		○				1				
		小計（ 2科目）	—	0	4	0	—		0	1	0	0	0	兼0
演習	学際演習	学際演習Ⅰ	2前・後	2			○			1				兼1
		学際演習Ⅱ	2前・後	2			○			1				兼1
		小計（ 2科目）	—	0	4	0	—		0	1	0	0	0	兼2
プレゼミナール		プレゼミナールA	1前	2			○							兼1
		プレゼミナールB	1後	2			○							兼1
		小計（ 2科目）	—	4	0	0	—		0	0	0	0	0	兼1
一般教養科目		生活と法	1前・後	2		○			1					
		日本国憲法	1前・後	2		○					1			
		基礎簿記Ⅰ	1前	2		○								兼1
		基礎簿記Ⅱ	1後	2		○								兼1
		心理学	1前・後	2		○								兼1
		小計（ 5科目）	—	0	10	0	—		1	0	1	0	0	兼2

外国語科目	必修外国語	英語Ⅰ	1前	2			○								兼1
		英語Ⅱ	1前	2			○							兼1	
		英語Ⅲ	1後	2			○							兼1	
		英語Ⅳ	1後	2			○							兼1	
	選択外国語	発展英語Ⅰ	2前		2		○								兼1
発展英語Ⅱ		2後		2		○								兼1	
小計（ 6科目）		－	8	4	0	－			0	0	2	0	0	兼1	
キャリア関連科目	基礎教養分野	時事問題研究A	1前・後	2				○			1				
		時事問題研究B	1前・後	2				○			1				
		ライティング演習Ⅰ	2前	2				○							兼1
		ライティング演習Ⅱ	2後	2				○							兼1
		計算力演習Ⅰ	2前	2				○							兼1
		計算力演習Ⅱ	2後	2				○							兼1
	ライフデザイン分野	ライフ・プランニングⅠ	1前	2				○			1				
		ライフ・プランニングⅡ	1後	2				○			1				
		キャリア開発論Ⅰ	2前	2				○							兼1
		キャリア開発論Ⅱ	2後	2				○							兼1
		キャリア開発演習Ⅰ	3前	2				○			1				
		キャリア開発演習Ⅱ	3後	2				○			1				
小計（ 12科目）		－	24	8	0	－			0	3	0	0	0	兼4	
合計（ 46科目）			－	38	62	0	－			3	4	2	0	0	兼10
学位又は称号		学士（総合政策学）			学位又は学科の分野				法学、経済学、社会学・社会福祉学関係						
卒業要件及び履修方法									授業期間等						
必修科目38単位以外にベーシック科目から10単位以上、自コースの自コースからコア科目16単位を含む20単位以上、自学科及び他学科の専門科目36単位以上、学際演習から4単位以上、一般教養科目から10単位以上、外国語科目の選択科目から4単位以上、その他に選択科目から2単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：48単位（年間））									1 学年の学期区分				2 期		
									1 学期の授業期間				15 週		
									1 時限の授業時間				90 分		

別記様式第 2 号（その 2 の 1）

（用紙 日本産業規格 A 4 縦型）

教 育 課 程 等 の 概 要															
(総合政策学部企業経営学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
ベーシック科目	ベーシック政治	1前・後		2		○									兼2
	ベーシック経済	1前・後		2		○									兼1
	ベーシック法律	1前・後		2		○									兼1
	ベーシック国際関係	1前・後		2		○									兼1
	ベーシック福祉政策	1前・後		2		○									兼1
	ベーシック経営	1前・後		2		○				1					
	ベーシック会計	1前・後		2		○			1						
	小計（ 7科目）	—	0	14	0	—			1	1	0	0	0	兼6	
地域と大学	地域と大学	1前	2				○		1						兼1
	小計（ 1科目）	—	2	0	0	—			1	0	0	0	0	兼1	
コース別専門科目（経営）	コア科目	経営学総論Ⅰ	2前	2		○									兼1
		経営学総論Ⅱ	2後	2		○				1					
		経営管理論	2前	2		○			1					兼1	
		経営組織論	2前	2		○									
		現代企業論	2後	2		○			1						
		経営戦略論	2前	2		○				1					
		マーケティング総論	2前	2		○					1				
		流通論	2前	2		○					1				
		経営史	2後	2		○								兼1	
		ミクロ経済学	2後	2		○								兼1	
		財務会計論	2前	2		○			1						
		管理会計論	2後	2		○				1					
		応用科目	国際経営論	2前	2		○								兼1
	ベンチャー企業論		2前	2		○								兼1	
	イノベーション論		2後	2		○								兼1	
	経営情報論		2後	2		○								兼1	
	財務管理論		2後	2		○								兼1	
	人的資源管理		2前	2		○								兼1	
	現代ビジネス演習		2後	2		○								兼1	
	経営特殊講義		2後	2		○								兼1	
	出店戦略		2後	2		○								兼1	
	販売戦略		2後	2		○								兼1	
	原価計算		2後	2		○								兼1	
	会社法Ⅰ（ガバナンス）		2前	2		○								兼1	
	企業取引法		2後	2		○								兼1	
	不動産取引と法Ⅰ		2前	2		○								兼1	
	不動産取引と法Ⅱ		2後	2		○								兼1	
	労働法		2前	2		○								兼1	
	憲法Ⅰ（統治機構）		2前	2		○								兼1	
	憲法Ⅱ（人権）		2後	2		○								兼1	
	租税法Ⅰ		2前	2		○			1						
	法と経済		2前	2		○			1						
	国際経済学A（貿易）		2前	2		○								兼1	
	国際経済学B（金融）		2前	2		○								兼1	
	行動経済学		2前	2		○					1				
	ゲーム理論		2後	2		○								兼1	
	経済政策論		2後	2		○			1						
	日本の貿易政策		2後	2		○								兼1	
	社会福祉学		2後	2		○								兼1	
	社会福祉政策論		2前	2		○								兼1	
	国際政治学A		2前	2		○								兼1	
	国際政治学B		2後	2		○								兼1	
	現代日本政治A		2後	2		○								兼1	
	現代日本政治B		2前	2		○								兼1	
	小計（ 27科目）		—	0	54	0	—			5	2	1	0	0	兼17

コース別専門科目（会計）	専門科目	コア科目	財務会計論	2前		2		○			1						
			国際会計論	2後		2		○			1						
			監査論	2前		2		○				1					
			管理会計論	2後		2		○				1					
			商業簿記Ⅰ	2前		2		○								兼1	
			商業簿記Ⅱ	2後		2		○								兼1	
			工業簿記	2前		2		○								兼1	
			原価計算	2後		2		○								兼1	
			会社法Ⅰ（ガバナンス）	2前		2		○			1						
			会社法Ⅱ（ファイナンス）	2後		2		○			1						
			租税法Ⅰ	2後		2		○			1						
			租税法Ⅱ	2後		2		○			1						
	応用科目	会計史	2後		2		○				1						
		税務会計論	2後		2		○			1							
		基礎簿記演習	2前		2		○									兼1	
		財務諸表作成演習	2後		2		○									兼1	
		会計特殊講義	2後		2		○									兼1	
		企業法総論	2前		2					1							
		企業取引法	2後		2					1							
		経営学総論Ⅰ	2前		2											兼1	
		経営学総論Ⅱ	2後		2						1						
		経営管理論	2前		2					1							
		経営組織論	2前		2											兼1	
		現代企業論	2後		2					1							
		経営戦略論	2前		2						1						
		マーケティング総論	2前		2							1					
		流通論	2前		2							1					
		財務管理論	2後		2					1							
		出店戦略	2後		2							1					
		販売戦略	2後		2							1					
		民法総論	2前		2											兼1	
		契約法	2後		2											兼1	
		物権法	2前		2											兼1	
		家族法	2後		2											兼1	
		法学の現代的課題	2後		2											兼1	
		国際法Ⅰ	2前		2											兼1	
		国際法Ⅱ	2後		2											兼1	
		労働法	2前		2											兼1	
		社会保障法	2前		2											兼1	
		社会保障論Ⅰ	2前		2											兼1	
		社会保障論Ⅱ	2後		2											兼1	
		マクロ経済学	2前		2											兼1	
		ミクロ経済学	2後		2											兼1	
		金融論	2前		2						1						
		財政論	2前		2						1						
		環境経済学	2前		2											兼1	
		環境政策論	2前		2											兼1	
小計（ 25科目）			—	0	50	0	—			6	2	1	0	0	兼14		

演習	専門 演習科目	演習Ⅰ	2前		2			○		5	3	1			兼20	
		演習Ⅱ	2後		2			○		5	3	1			兼20	
		演習Ⅲ	3前		2			○		6	3	1			兼18	
		演習Ⅳ	3後		2			○		6	3	1			兼18	
		演習Ⅴ	4前		2			○		6	3	1			兼18	
		演習Ⅵ	4後		2			○		6	3	1			兼18	
		卒業研究Ⅰ	4前		2			○		6	3	1			兼18	
		卒業研究Ⅱ	4後		2			○		6	3	1			兼18	
	学際 演習	学際演習Ⅰ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
		学際演習Ⅱ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
		学際演習Ⅲ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
		学際演習Ⅳ	2前・後		2			○		2	1	1			兼9	
		学際演習Ⅴ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
		学際演習Ⅵ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
		学際演習Ⅶ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
		学際演習Ⅷ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
	特別 演習	特別演習Ⅰ	1前		2			○		1						
		特別演習Ⅱ	1前		2			○		1						
		特別演習Ⅲ	1前		2			○		1						
		特別演習Ⅳ	1前		2			○		1						
	プロ ジェ クト 演 習	プロジェクト演習Ⅰ	1前		2			○		1						
		プロジェクト演習Ⅱ	1前		2			○		1						
		プロジェクト演習Ⅲ	1前		2			○		1						
		プロジェクト演習Ⅳ	1前		2			○		1						
	小計（ 24科目）		—	0	48	0		—		6	3	1	0	0	兼21	
プレ ゼ ミ ナ ー ル		プレゼミナールA	1前	2				○		1					兼1	
		プレゼミナールB	1後	2				○		1					兼1	
		小計（ 2科目）	—	4	0	0		—		1	0	0	0	0	兼1	
一 般 教 養 科 目		生活と法	1前		2			○							兼2	
		日本国憲法	1前		2			○							兼2	
		基礎簿記Ⅰ	1前		2			○		1	1				兼1	
		基礎簿記Ⅱ	1前		2			○		1	1				兼1	
		人文地理学	1前		2			○							兼1	
		自然地理学	1前		2			○							兼1	
		社会学	1前		2			○			1					
		統計学	1前		2			○		1						
		宗教学	1前・後		2			○							兼1	
		哲学	1前・後		2			○							兼1	
		倫理学	1前・後		2			○							兼1	
		心理学	1前・後		2			○							兼2	
		歴史学	1前・後		2			○							兼1	
		文学	1前・後		2			○							兼1	
		音楽	1前・後		2			○							兼1	
		人文科学概論	1前		2			○							兼1	
		自然科学概論	1前		2			○							兼1	
	小計（ 18科目）		—	0	36	0		—		2	2	0	0	0	兼12	
外 国 語 科 目	必修 外国 語	英語Ⅰ	1前	2				○				1			兼1	
		英語Ⅱ	1前	2				○							兼5	
		英語Ⅲ	1後	2				○				1			兼1	
		英語Ⅳ	1後	2				○							兼4	
	選択 外国 語	発展英語Ⅰ	2前		2			○							兼2	
		発展英語Ⅱ	2後		2			○							兼2	
		中国語A	2前		2			○							兼1	
		中国語B	2後		2			○							兼1	
		韓国語A	2前		2			○							兼1	
		韓国語B	2後		2			○							兼1	
		フランス語A	2前		2			○							兼1	
		フランス語B	2後		2			○							兼1	
		ドイツ語A	2前		2			○							兼1	
		ドイツ語B	2後		2			○							兼1	
		スペイン語A	2前		2			○							兼1	
		スペイン語B	2後		2			○							兼1	
	小計（ 16科目）		—	8	24	0		—		0	0	1	0	0	兼11	

キャリア 関連科目	基礎 教養 分野	時事問題研究A	1前・後	2			○							兼1		
		時事問題研究B	1前・後	2			○						兼1			
		ライティング演習Ⅰ	2前	2			○						兼3			
		ライティング演習Ⅱ	2後	2			○						兼3			
		計算力演習Ⅰ	2前	2			○						兼2			
		計算力演習Ⅱ	2後	2			○						兼2			
		情報処理演習A	2前		2		○						兼1			
		情報処理演習B	2後		2		○						兼1			
		ライフ デザイン 分野	ライフ・プランニングⅠ	1前	2			○						兼1		
	ライフ・プランニングⅡ		1後	2			○						兼1			
キャリア開発論Ⅰ	2前		2			○		1				兼1				
キャリア開発論Ⅱ	2後		2			○		1				兼1				
キャリア開発演習Ⅰ	3前		2			○						兼1				
キャリア開発演習Ⅱ	3後		2			○						兼1				
インターンシップⅠ	2前			2			○					兼1				
インターンシップⅡ	2後		2			○					兼1					
小計（ 16科目）			—	24	8	0	—			0	1	0	0	0	兼8	
グロ ー バ ル キ ャ リ ア ・ プ ロ グ ラ ム	英語 科目	Oral Communication 1	1前		2			○				1				
		Oral Communication 2	1後		2			○				1				
		Academic Writing 1	1前		2			○							兼1	
		Academic Writing 2	1後		2			○							兼1	
		Academic Writing 3	2前		2			○							兼1	
		Recent Topics in English	2前		2			○							兼1	
		Business Communication 1	2後		2			○							兼1	
		Business Communication 2	3前		2			○							兼1	
	関連 科目	Critical Thinking	1後		2			○							兼1	
		Global Career Development	1後		2			○		1						
		Communication for Business	2前		2			○							兼1	
		Japan Studies	2前		2			○							兼1	
		Public Speaking	2前		2			○			1					
	グロ ー バ ル 専 門 科 目	Introductory Progressive	Introduction to Business	2後		2			○			1				
			Introduction to Economics	2後		2			○							兼1
			Introduction to Global Health Issues	2後		2			○							兼1
			introduction to International Relations	2後		2			○							兼1
			Monetary Policy and Financial System	2後		2			○		1					
			Fiscal Policy and Tax System in Japan	2後		2			○		1					
			Culture and Business	2後		2			○							兼1
			Global Health and Social Justice	2後		2			○							兼1
			Marketing	2後		2			○			1				
			History of Innovation and Science	2後		2			○							兼1
			Interdisciplinary Seminar 1	2前		2			○			1				兼2
			Interdisciplinary Seminar 2	2後		2			○			1				兼2
小計（ 25科目）			—	0	50	0	—			2	2	2	0	0	兼10	
教職 科目		日本史Ⅰ	1前			2	○								兼1	
		日本史Ⅱ	1後			2	○								兼1	
		外国史Ⅰ	1前			2	○								兼1	
		外国史Ⅱ	1後			2	○								兼1	
		地誌学Ⅰ	1前			2	○								兼1	
		地誌学Ⅱ	1後			2	○								兼1	
		体育理論	1前			1	○								兼1	
		体育実技	1前			1			○						兼1	
		小計（ 8科目）			—	0	0	14	—			0	0	0	0	0
合計（ 267科目）			—	38	284	14	—			7	3	2	0	0	兼58	
学位又は称号		学士（総合政策学）		学位又は学科の分野				経済学								
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
必修科目38単位以外にベーシック科目から10単位以上、自コースの自コースからコア科目16単位を含む20単位以上、自学科及び他学科の専門科目36単位以上、学際演習から4単位以上、一般教養科目から10単位以上、外国語科目の選択科目から4単位以上、その他に選択科目から2単位以上を修得し、124単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：48単位（年間））								1 学年の学期区分				2 期				
								1 学期の授業期間				15 週				
								1 時限の授業時間				90 分				

井の頭キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

（用紙 日本産業規格 A 4 縦型）

教 育 課 程 等 の 概 要															
(総合政策学部企業経営学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
ベーシック科目	ベーシック政治	1前・後		2		○								兼2	
	ベーシック経済	1前・後		2		○								兼1	
	ベーシック法律	1前・後		2		○								兼1	
	ベーシック国際関係	1前・後		2		○								兼1	
	ベーシック福祉政策	1前・後		2		○								兼1	
	ベーシック経営	1前・後		2		○			1						
	ベーシック会計	1前・後		2		○			1						
	小計（ 7科目）	—	0	14	0	—			1	1	0	0	0	兼6	
地域と大学	地域と大学	1前	2				○		1					兼1	
	小計（ 1科目）	—	2	0	0	—			1	0	0	0	0	兼1	
コース別専門科目（経営）	コア科目	経営学総論Ⅰ	2前	2		○				1	1				兼1
		経営学総論Ⅱ	2後	2		○									
		経営管理論	2前	2		○									
		経営組織論	2前	2		○									兼1
		現代企業論	2後	2		○				1					
		経営戦略論	2前	2		○					1				
		マーケティング総論	2前	2		○						1			
		流通論	2前	2		○						1			
		経営史	2後	2		○									兼1
		ミクロ経済学	2後	2		○									兼1
		財務会計論	2前	2		○				1					
		管理会計論	2後	2		○					1				
		応用科目	国際経営論	2前		2		○							
	ベンチャー企業論		2前		2		○								兼1
	イノベーション論		2後		2		○								兼1
	経営情報論		2後		2		○								兼1
	財務管理論		2後		2		○								兼1
	人的資源管理		2前		2		○								兼1
	現代ビジネス演習		2後		2		○								兼1
	経営特殊講義		2後		2		○								兼1
	出店戦略		2後		2		○								兼1
	販売戦略		2後		2		○								兼1
	原価計算		2後		2		○								兼1
	会社法Ⅰ（ガバナンス）		2前		2		○								兼1
	企業取引法		2後		2		○								兼1
	不動産取引と法Ⅰ		2前		2		○								兼1
	不動産取引と法Ⅱ		2後		2		○								兼1
	労働法		2前		2		○								兼1
	憲法Ⅰ（統治機構）		2前		2		○								兼1
	憲法Ⅱ（人権）		2後		2		○								兼1
	租税法Ⅰ		2前		2		○			1					
	法と経済		2前		2		○			1					
	国際経済学A（貿易）		2前		2		○								兼1
	国際経済学B（金融）		2前		2		○								兼1
	行動経済学		2前		2		○				1				
	ゲーム理論		2後		2		○								兼1
	経済政策論		2後		2		○			1					
	日本の貿易政策		2後		2		○								兼1
	社会福祉学		2後		2		○								兼1
	社会福祉政策論		2前		2		○								兼1
	国際政治学A		2前		2		○								兼1
	国際政治学B		2後		2		○								兼1
	現代日本政治A		2後		2		○								兼1
	現代日本政治B		2前		2		○								兼1
	小計（ 27科目）		—	0	54	0	—			5	2	1	0	0	兼17

コース別専門科目（会計）	専門科目	コア科目	財務会計論	2前		2		○			1							
			国際会計論	2後		2		○			1							
			監査論	2前		2		○				1						
			管理会計論	2後		2		○				1						
			商業簿記Ⅰ	2前		2		○								兼1		
			商業簿記Ⅱ	2後		2		○								兼1		
			工業簿記	2前		2		○								兼1		
			原価計算	2後		2		○								兼1		
			会社法Ⅰ（ガバナンス）	2前		2		○			1							
			会社法Ⅱ（ファイナンス）	2後		2		○			1							
			租税法Ⅰ	2後		2		○			1							
			租税法Ⅱ	2後		2		○			1							
	応用科目	会計史	2後		2		○				1							
		税務会計論	2後		2		○			1								
		基礎簿記演習	2前		2		○									兼1		
		財務諸表作成演習	2後		2		○									兼1		
		会計特殊講義	2後		2		○									兼1		
		企業法総論	2前		2					1								
		企業取引法	2後		2					1								
		経営学総論Ⅰ	2前		2											兼1		
		経営学総論Ⅱ	2後		2						1							
		経営管理論	2前		2					1								
		経営組織論	2前		2											兼1		
		現代企業論	2後		2					1								
		経営戦略論	2前		2						1							
		マーケティング総論	2前		2							1						
		流通論	2前		2							1						
		財務管理論	2後		2					1								
		出店戦略	2後		2								1					
		販売戦略	2後		2								1					
		民法総論	2前		2												兼1	
		契約法	2後		2												兼1	
		物権法	2前		2												兼1	
		家族法	2後		2												兼1	
		法学の現代的課題	2後		2												兼1	
		国際法Ⅰ	2前		2												兼1	
		国際法Ⅱ	2後		2												兼1	
		労働法	2前		2												兼1	
		社会保障法	2前		2												兼1	
		社会保障論Ⅰ	2前		2												兼1	
		社会保障論Ⅱ	2後		2												兼1	
		マクロ経済学	2前		2												兼1	
		ミクロ経済学	2後		2												兼1	
		金融論	2前		2						1							
		財政論	2前		2						1							
		環境経済学	2前		2												兼1	
		環境政策論	2前		2												兼1	
小計（ 25科目）			—	0	50	0	—			6	2	1	0	0	兼14			

演習	専門 演習科目	演習Ⅰ	2前		2			○		5	3	1			兼20	
		演習Ⅱ	2後		2			○		5	3	1			兼20	
		演習Ⅲ	3前		2			○		6	3	1			兼18	
		演習Ⅳ	3後		2			○		6	3	1			兼18	
		演習Ⅴ	4前		2			○		6	3	1			兼18	
		演習Ⅵ	4後		2			○		6	3	1			兼18	
		卒業研究Ⅰ	4前		2			○		6	3	1			兼18	
		卒業研究Ⅱ	4後		2			○		6	3	1			兼18	
	学際 演習	学際演習Ⅰ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
		学際演習Ⅱ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
		学際演習Ⅲ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
		学際演習Ⅳ	2前・後		2			○		2	1	1			兼9	
		学際演習Ⅴ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
		学際演習Ⅵ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
		学際演習Ⅶ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
		学際演習Ⅷ	2前・後		2			○		2	1	1			兼10	
	特別 演習	特別演習Ⅰ	1前		2			○		1						
		特別演習Ⅱ	1前		2			○		1						
		特別演習Ⅲ	1前		2			○		1						
		特別演習Ⅳ	1前		2			○		1						
	プロ ジェ クト 演 習	プロジェクト演習Ⅰ	1前		2			○		1						
		プロジェクト演習Ⅱ	1前		2			○		1						
		プロジェクト演習Ⅲ	1前		2			○		1						
		プロジェクト演習Ⅳ	1前		2			○		1						
	小計（ 24科目）		—	0	48	0		—		6	3	1	0	0	兼21	
プレ ゼ ミ ナ ー ル		プレゼミナールA	1前	2				○		1					兼1	
		プレゼミナールB	1後	2				○		1					兼1	
		小計（ 2科目）	—	4	0	0		—		1	0	0	0	0	兼1	
一般 教 養 科 目		生活と法	1前		2			○							兼2	
		日本国憲法	1前		2			○							兼2	
		基礎簿記Ⅰ	1前		2			○		1	1				兼1	
		基礎簿記Ⅱ	1前		2			○		1	1				兼1	
		人文地理学	1前		2			○							兼1	
		自然地理学	1前		2			○							兼1	
		社会学	1前		2			○			1					
		統計学	1前		2			○		1						
		宗教学	1前・後		2			○							兼1	
		哲学	1前・後		2			○							兼1	
		倫理学	1前・後		2			○							兼1	
		心理学	1前・後		2			○							兼2	
		歴史学	1前・後		2			○							兼1	
		文学	1前・後		2			○							兼1	
		音楽	1前・後		2			○							兼1	
		人文科学概論	1前		2			○							兼1	
		自然科学概論	1前		2			○							兼1	
	小計（ 18科目）		—	0	36	0		—		2	2	0	0	0	兼12	
外国 語 科 目	必修 外国 語	英語Ⅰ	1前	2				○				1			兼1	
		英語Ⅱ	1前	2				○							兼5	
		英語Ⅲ	1後	2				○				1			兼1	
		英語Ⅳ	1後	2				○							兼4	
	選択 外国 語	発展英語Ⅰ	2前		2			○							兼2	
		発展英語Ⅱ	2後		2			○							兼2	
		中国語A	2前		2			○							兼1	
		中国語B	2後		2			○							兼1	
		韓国語A	2前		2			○							兼1	
		韓国語B	2後		2			○							兼1	
		フランス語A	2前		2			○							兼1	
		フランス語B	2後		2			○							兼1	
		ドイツ語A	2前		2			○							兼1	
		ドイツ語B	2後		2			○							兼1	
		スペイン語A	2前		2			○							兼1	
		スペイン語B	2後		2			○							兼1	
	小計（ 16科目）		—	8	24	0		—		0	0	1	0	0	兼11	

キャリア 関連科目	基礎 教養 分野	時事問題研究A	1前・後	2			○							兼1		
		時事問題研究B	1前・後	2			○						兼1			
		ライティング演習Ⅰ	2前	2			○						兼3			
		ライティング演習Ⅱ	2後	2			○						兼3			
		計算力演習Ⅰ	2前	2			○						兼2			
		計算力演習Ⅱ	2後	2			○						兼2			
		情報処理演習A	2前		2		○						兼1			
		情報処理演習B	2後		2		○						兼1			
	ライフ デザイン 分野	ライフ・プランニングⅠ	1前	2				○						兼1		
		ライフ・プランニングⅡ	1後	2				○						兼1		
キャリア開発論Ⅰ		2前	2				○			1			兼1			
キャリア開発論Ⅱ		2後	2				○			1			兼1			
キャリア開発演習Ⅰ		3前	2				○						兼1			
キャリア開発演習Ⅱ		3後	2				○						兼1			
インターンシップⅠ		2前		2				○					兼1			
インターンシップⅡ		2後		2					○				兼1			
小計（ 16科目）			—	24	8	0	—			0	1	0	0	0	兼8	
グロ ー バ ル キ ャ リ ア ・ プ ロ グ ラ ム	英 語 科 目	Oral Communication 1	1前		2			○				1				
		Oral Communication 2	1後		2			○				1				
		Academic Writing 1	1前		2			○							兼1	
		Academic Writing 2	1後		2			○							兼1	
		Academic Writing 3	2前		2			○							兼1	
		Recent Topics in English	2前		2			○							兼1	
		Business Communication 1	2後		2			○							兼1	
		Business Communication 2	3前		2			○							兼1	
	関 連 科 目	Critical Thinking	1後		2			○							兼1	
		Global Career Development	1後		2			○			1					
		Communication for Business	2前		2			○							兼1	
		Japan Studies	2前		2			○							兼1	
		Public Speaking	2前		2			○				1				
	グロ ー バ ル 専 門 科 目	Introductory Progressive	Introduction to Business	2後		2			○			1				
			Introduction to Economics	2後		2			○							兼1
			Introduction to Global Health Issues	2後		2			○							兼1
			introduction to International Relations	2後		2			○							兼1
			Monetary Policy and Financial System	2後		2			○			1				
			Fiscal Policy and Tax System in Japan	2後		2			○			1				
			Culture and Business	2後		2			○							兼1
			Global Health and Social Justice	2後		2			○							兼1
			Marketing	2後		2			○				1			
			History of Innovation and Science	2後		2			○							兼1
			Interdisciplinary Seminar 1	2前		2			○			1				兼2
			Interdisciplinary Seminar 2	2後		2			○			1				兼2
小計（ 25科目）			—	0	50	0	—			2	2	2	0	0	兼10	
教 職 科 目		日本史Ⅰ	1前			2	○								兼1	
		日本史Ⅱ	1後			2	○								兼1	
		外国史Ⅰ	1前			2	○								兼1	
		外国史Ⅱ	1後			2	○								兼1	
		地誌学Ⅰ	1前			2	○								兼1	
		地誌学Ⅱ	1後			2	○								兼1	
		体育理論	1前			1	○								兼1	
		体育実技	1前			1			○						兼1	
小計（ 8科目）			—	0	0	14	—			0	0	0	0	0	兼4	
合計（ 267科目）			—	38	284	14	—			7	3	2	0	0	兼58	
学位又は称号		学士（総合政策学）		学位又は学科の分野				経済学								
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
必修科目38単位以外にベーシック科目から10単位以上、自コースの自コースからコア科目16単位を含む20単位以上、自学科及び他学科の専門科目36単位以上、学際演習から4単位以上、一般教養科目から10単位以上、外国語科目の選択科目から4単位以上、その他に選択科目から2単位以上を修得し、124単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：48単位（年間））								1 学年の学期区分				2 期				
								1 学期の授業期間				15 週				
								1 時限の授業時間				90 分				

教 育 課 程 等 の 概 要															
(総合政策学部企業経営学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
ベーシック科目	ベーシック政治	1前・後		2		○								兼1	
	ベーシック経済	1前・後		2		○								兼1	
	ベーシック法律	1前・後		2		○								兼1	
	ベーシック国際関係	1前・後		2		○								兼1	
	ベーシック福祉政策	1前・後		2		○								兼1	
	ベーシック経営	1前・後		2		○			1						
	ベーシック会計	1前・後		2		○			1						
	小計（ 7科目）	－	0	14	0	－			1	1	0	0	0	兼5	
地域と大学	地域と大学	1前	2				○							兼1	
	小計（ 1科目）	－	2	0	0	－			0	0	0	0	0	兼1	
コース別専門科目（経営）	コア科目	経営学総論Ⅰ	2前	2		○				1					
		経営学総論Ⅱ	2後	2		○				1					
		現代企業論	2後	2		○				1					
		経営戦略論	2前	2		○				1					
		マーケティング総論	2前	2		○					1				
		流通論	2前	2		○					1				
		財務会計論	2前	2		○			1						
	応用科目	出店戦略	2後	2		○						1			
		販売戦略	2後	2		○						1			
		会社法Ⅰ（ガバナンス）	2前	2		○			1						
		企業取引法	2後	2		○			1						
		小計（ 11科目）	－	0	22	0	－			2	1	1	0	0	兼0
コース別専門科目（会計）	コア科目	財務会計論	2前	2		○			1						
		国際会計論	2後	2		○			1						
		会社法Ⅰ（ガバナンス）	2前	2		○			1						
		会社法Ⅱ（ファイナンス）	2後	2		○			1						
	応用科目	企業法総論	2前	2					1						
		企業取引法	2後	2					1						
		経営学総論Ⅰ	2前	2						1					
		経営学総論Ⅱ	2後	2						1					
		現代企業論	2後	2						1					
		経営戦略論	2前	2							1				
		マーケティング総論	2前	2								1			
		流通論	2前	2								1			
		出店戦略	2後	2								1			
		販売戦略	2後	2								1			
		民法総論	2前	2										兼1	
		家族法	2後	2										兼1	
		小計（ 16科目）	－	0	32	0	－			2	1	1	0	0	兼1
演習	学際演習	学際演習Ⅰ	2前・後	2			○		1					兼1	
		学際演習Ⅱ	2前・後	2			○		1					兼1	
	小計（ 2科目）	－	0	4	0	－			1	8	5	0	0	兼1	
プレゼミナール	プレゼミナールA	1前	2				○		1						
	プレゼミナールB	1後	2				○		1						
	小計（ 2科目）	－	4	0	0	－			1	0	0	0	0	兼0	

一般教養科目		生活と法	1前		2		○								兼1	
		日本国憲法	1前		2		○								兼1	
		基礎簿記Ⅰ	1前		2		○			1						
		基礎簿記Ⅱ	1前		2		○			1						
		心理学	1前・後		2		○								兼2	
		小計（ 5科目）			—	0	10	0	—			1	0	0	0	0
外国語科目	必修外国語	英語Ⅰ	1前	2			○								兼1	
		英語Ⅱ	1前	2			○								兼1	
		英語Ⅲ	1後	2			○								兼1	
		英語Ⅳ	1後	2			○								兼1	
	選択外国	発展英語Ⅰ	2前		2			○								兼1
		発展英語Ⅱ	2後		2			○								兼1
小計（ 6科目）			—	8	4	0	—			0	0	0	0	0	兼1	
キャリア関連科目	基礎教養分野	時事問題研究A	1前・後	2				○								兼1
		時事問題研究B	1前・後	2				○								兼1
		ライティング演習Ⅰ	2前	2				○								兼1
		ライティング演習Ⅱ	2後	2				○								兼1
		計算力演習Ⅰ	2前	2				○								兼1
		計算力演習Ⅱ	2後	2				○								兼1
	ライフデザイン分野	ライフ・プランニングⅠ	1前	2					○							兼1
		ライフ・プランニングⅡ	1後	2					○							兼1
		キャリア開発論Ⅰ	2前	2					○			1				
		キャリア開発論Ⅱ	2後	2					○			1				
		キャリア開発演習Ⅰ	3前	2					○							兼1
		キャリア開発演習Ⅱ	3後	2					○							兼1
小計（ 12科目）			—	24	0		—			0	1	0	0	0	兼6	
合計（ 62科目）			—	38	86	0	—			6	3	1	0	0	兼17	
学位又は称号		学士（総合政策学）			学位又は学科の分野				経済学							
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
必修科目38単位以外にベーシック科目から10単位以上、自コースの自コースからコア科目16単位を含む20単位以上、自学科及び他学科の専門科目36単位以上、学際演習から4単位以上、一般教養科目から10単位以上、外国語科目の選択科目から4単位以上、その他に選択科目から2単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：48単位（年間））								1学年の学期区分				2期				
								1学期の授業期間				15週				
								1時限の授業時間				90分				

別記様式第2号（その2の1）

（用紙 日本産業規格A4縦型）

教 育 課 程 等 の 概 要														
(外国語学部観光交流文化学科)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
外国 語科 目 A	英語Ⅰ	1前	2			○								兼3
	英語Ⅱ	1後	2			○								兼3
	英語Ⅲ	1前	2			○								兼4
	英語Ⅳ	1後	2			○								兼4
	実用英語演習Ⅰ	1前		2		○								兼1
	実用英語演習Ⅱ	1後		2		○								兼1
	中国語Ⅰ	1前		2		○								兼1
	中国語Ⅱ	1後		2		○								兼1
	韓国語Ⅰ	1前		2		○								兼1
	韓国語Ⅱ	1後		2		○								兼1
	ドイツ語Ⅰ	1前		2		○								兼1
	ドイツ語Ⅱ	1後		2		○								兼1
	フランス語Ⅰ	1前		2		○								兼1
	フランス語Ⅱ	1後		2		○								兼1
	スペイン語Ⅰ	1前		2		○								兼1
	スペイン語Ⅱ	1後		2		○								兼1
	日本語Ⅰ	1前		2		○								兼1
	日本語Ⅱ	1後		2		○								兼1
	日本語Ⅲ	1前		2		○								兼1
	日本語Ⅳ	1後		2		○								兼1
	日本語Ⅴ	1前		2		○								兼1
	日本語Ⅵ	1後		2		○								兼1
	小計（22科目）	—	8	36	0	—			0	0	0	0	0	兼17
外国 語科 目 B	英語Ⅴ	2前	2			○								兼4
	英語Ⅵ	2後	2			○								兼4
	英語Ⅶ	2前	2			○								兼4
	英語Ⅷ	2後	2			○								兼4
	英語特別演習Ⅰ	2前		2		○								兼1
	英語特別演習Ⅱ	2後		2		○								兼1
	中国語Ⅲ	2前		2		○								兼1
	中国語Ⅳ	2後		2		○								兼1
	中国語特別演習Ⅰ	2前		2		○								兼1
	中国語特別演習Ⅱ	2後		2		○								兼1
	中国語特別演習Ⅲ	2前		2		○								兼1
	中国語特別演習Ⅳ	2後		2		○								兼1
	韓国語Ⅲ	2前		2		○								兼1
	韓国語Ⅳ	2後		2		○								兼1
	実用韓国語	3前		2		○								兼1
	ドイツ語Ⅲ	2前		2		○								兼1
	ドイツ語Ⅳ	2後		2		○								兼1
	フランス語Ⅲ	2前		2		○								兼1
	フランス語Ⅳ	2後		2		○								兼1
	スペイン語Ⅲ	2前		2		○								兼1
	スペイン語Ⅳ	2後		2		○								兼1
	小計（43科目）	—	8	34	0	—			0	0	0	0	0	兼16

基 盤 教 育 科 目	大学入門	1前	2			○			1	2	1					
	アカデミックライティング	1後	2			○								兼4		
	コミュニケーション概論	1後		2		○								兼1		
	テーマで学ぶ現代社会Ⅰ	1後		2		○			1					兼2	オムニバス	
	テーマで学ぶ現代社会Ⅱ	1後		2		○					1			兼2	オムニバス	
	テーマで学ぶ現代社会Ⅲ	1前		2		○			1					兼2	オムニバス	
	サービスマーケティングⅠ	2前		2		○			1							
	サービスマーケティングⅡ	2後		2		○			1							
	データサイエンス	1後	2			○								兼4		
	データリテラシー	1前	2			○								兼3		
	統計学	2前・後		2		○								兼1		
	情報処理	1前・後		2		○								兼1		
	異文化コミュニケーション	1前		2		○			1							
	地域圏研究Ⅰ	1後		2		○			1							
	地域圏研究Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	地域圏研究Ⅲ	1前		2		○								兼1		
	ダイバーシティ論	1後		2		○								兼1		
	フィールドスタディⅠ	1前・後		2		○			1							
	フィールドスタディⅡ	1前・後		2		○				2						
	フィールドスタディⅢ	1後		2		○			1							
	フィールドスタディⅣ	1後		2		○			1							
	キャリアディベロップメントⅠ	1後	2			○			1	2	1					
	キャリアディベロップメントⅡ	2前	2			○			2	1	1					
	キャリアデザインⅢ	3前	2			○			1					兼2		
	キャリアデザインⅣ	3後	2			○			1					兼2		
	インターンシップⅠ	2前・後		2		○			1	1	1					
	日本語学概論	1前		2		○								兼1		
	日本語学特論Ⅰ	1前		2		○								兼1		
	日本語学特論Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	日本語学特論Ⅲ	1前		2		○								兼1		
	日本語教育学概論	1後		2		○								兼1		
	日本語教育実習Ⅰ	2前		2		○								兼1		
	日本語教育実習Ⅱ	2後		2		○								兼1		
	日本語教育実習Ⅲ	2前		2		○								兼1		
	日本語教育学特論Ⅰ	2前		2		○								兼1		
	日本語教育学特論Ⅱ	2後		2		○								兼1		
	日本語教育学特論Ⅲ	2前		2		○								兼1		
	日本文化演習	1前		2		○								兼1		
	海外語学実習Ⅰ	1前		1		○			1							
	海外語学実習Ⅱ	1後		1		○			1							
	海外語学実習Ⅲ	1前		1		○			1							
	海外語学実習Ⅳ	1後		1		○			1							
	国内語学実習Ⅰ	1前		1		○			1							
	国内語学実習Ⅱ	1後		1		○			1							
小計（87科目）			16	66	0	—			7	4	1	0	0	兼23		

教養科目	文学	1前・後		2		○								兼1	
	社会学	1前・後		2		○								兼1	
	地理学	1前		2		○								兼1	
	経営学	1前		2		○								兼1	
	哲学	1前・後		2		○								兼1	
	倫理学	1前・後		2		○								兼1	
	心理学	1前・後		2		○								兼2	
	ホスピタリティ・コミュニケーション	1前・後		2		○								兼2	
	歴史学	1前・後		2		○								兼1	
	日本国憲法	1前・後		2		○								兼2	
	健康と体育	1後		2		○								兼1	
	社会と大学Ⅰ	1前		2		○								兼15	オムニバス
	社会と大学Ⅱ	1前		2		○								兼13	オムニバス
	社会と大学Ⅲ	1前		2		○			4	2				兼6	オムニバス
	保健・医療の現状と未来Ⅰ	1前		2		○								兼15	オムニバス
	保健・医療の現状と未来Ⅱ	1前		2		○								兼15	オムニバス
	小計（16科目）	一	0	32	0	一			4	2	0	0	0	兼71	
専門科目	ホスピタリティ入門	1前	2			○			1						
	観光学入門	1後	2			○			1						
	現代社会と観光ホスピタリティ	1後	2			○					1				
	観光基礎演習	2前・後	2			○			1	3					
	観光調査法	2後	2			○			1	2					
	交流文化論	2後		2		○			1						
	観光心理学	2前		2		○								兼1	
	観光地理学	2後		2		○			1						
	観光政策論	2後		2		○								兼1	
	観光マーケティング論	2前		2		○								兼1	
	人的資源管理論	2前		2		○			1						
	ファシリテーション実習	2後		2		○								兼1	
	ホスピタリティ財務会計論	2後		2		○				1					
	観光リスクマネジメント論	2後		2		○			1						
	観光メディア論	2前		2		○				1					
	観光資源論Ⅰ	2前		2		○								兼1	
	観光資源論Ⅱ	2後		2		○			1						
	観光コンテンツデザイン実習	3後		2		○								兼1	
	Tourism EnglishⅠ	3前		2		○								兼1	
	Tourism EnglishⅡ	3後		2		○								兼1	
	観光実用英語インテンシブⅠ	3前		2		○								兼1	
	観光実用英語インテンシブⅡ	3後		2		○								兼1	
	健康科学の基礎	1後		2		○								兼1	
	ウェルネスツーリズム論	2前		2		○			1						
	温泉観光学	2前		2		○			1						
	観光衛生論	2前		2		○								兼1	
	福祉観光論	2前		2		○				1					
	観光手話Ⅰ	2前		2		○								兼1	
	観光手話Ⅱ	2後		2		○								兼1	
	ウェルネスツーリズム実習	3後		2		○								兼1	
	温泉療養学	3後		2		○								兼1	

専門科目	旅行医学概論	3後		2		○									兼1	
	疾病地域論	3後		2		○									兼1	
	観光交通論	2後		2		○									兼1	
	航空産業論	2前		2		○		1								
	航空サービス論	2後		2		○		1								
	ホテルオペレーション	2前		2		○									兼1	
	宿泊産業論	2後		2		○			1							
	フードビジネス論	2前		2		○			1							
	旅行産業論	2前		2		○			1							
	ホスピタリティ・ビジネスインターンシップ	2前		2		○		1	1							
	ホスピタリティ・ビジネス演習	3前		2		○			1							
	ホスピタリティ・ビジネス特論Ⅰ	3前		2		○				1						
	ホスピタリティ・ビジネス特論Ⅱ	3後		2		○				1						
	観光まちづくり論	2前		2		○		1								
	国際協力と観光	2後		2		○			1							
	地域創造インターンシップ	2後		2		○			1							
	コンテンツ・ツーリズム論	3後		2		○		1								
	エコツーリズム論	3前		2		○		1								
	地域リーダーシップ論	3前		2		○				1						
	NPO・NGO論	3後		2		○			1							
	地域型プロジェクト演習	3後		2		○		1								
	地域創造特論Ⅰ	3前		2		○									兼1	
	地域創造特論Ⅱ	3後		2		○									兼1	
	ゼミナールⅠ	3前	2			○		5	4	1						
	ゼミナールⅡ	3後	2			○		5	4	1						
	ゼミナールⅢ	4前	2			○		5	4	1						
	卒業論文・プロジェクト指導	4前・後		6		○		5	4	1						
小計（58科目）		—	16	104	0	—	5	4	1	0	0	兼19				
合計（161科目）		—	48	272	0	—	7	4	1	0	0	兼70				
学位又は称号		学士（観光交流文化学）		学位又は学科の分野			文学関係、社会学・社会福祉学関係									
卒業要件及び履修方法							授業期間等									
必修48単位、選択必修2単位、専門科目から66単位以上を修得し、 124単位以上修得すること。 （履修科目の登録上限：44単位（年間））							1学年の学期区分			2期						
							1学期の授業期間			15週						
							1時限の授業時間			90分						

別記様式第2号（その2の1）

（用紙 日本産業規格A 4 縦型）

教 育 課 程 等 の 概 要															
（外国語学部中国語学科）															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
外国語科目 A	英語Ⅰ	1前	2			○								兼1	
	英語Ⅱ	1後	2			○								兼1	
	実用英語演習Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	実用英語演習Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	韓国語Ⅰ	1前		2		○			1						
	韓国語Ⅱ	1後		2		○			1						
	ドイツ語Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	ドイツ語Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	フランス語Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	フランス語Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	スペイン語Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	スペイン語Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	日本語Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	日本語Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	日本語Ⅲ	1前		2		○								兼1	
	日本語Ⅳ	1後		2		○								兼1	
	日本語Ⅴ	1前		2		○								兼1	
	日本語Ⅵ	1後		2		○								兼1	
	小計（18科目）	—	4	32	0	—			1	0	0	0	0	兼9	
外国語科目 B	英語コミュニケーションⅠ	2前	2			○								兼1	
	英語コミュニケーションⅡ	2後	2			○								兼1	
	英語特別演習Ⅰ	2前		2		○								兼1	
	英語特別演習Ⅱ	2後		2		○								兼1	
	中国語特別演習Ⅰ	2前		2		○								兼1	
	中国語特別演習Ⅱ	2後		2		○								兼1	
	中国語特別演習Ⅲ	2前		2		○								兼1	
	中国語特別演習Ⅳ	2後		2		○								兼1	
	韓国語Ⅲ	2前		2		○			1						
	韓国語Ⅳ	2後		2		○			1						
	実用韓国語	3前		2		○			1						
	ドイツ語Ⅲ	2前		2		○								兼1	
	ドイツ語Ⅳ	2後		2		○								兼1	
	フランス語Ⅲ	2前		2		○								兼1	
	フランス語Ⅳ	2後		2		○								兼1	
	スペイン語Ⅲ	2前		2		○								兼1	
	スペイン語Ⅳ	2後		2		○								兼1	
	小計（17科目）	—	4	30	0	—			1	0	0	0	0	兼7	

基 盤 教 育 科 目	大学入門	1前	2			○					1						
	アカデミックライティング	1後	2			○										兼1	
	コミュニケーション概論	1後		2		○										兼1	
	テーマで学ぶ現代社会Ⅰ	1後		2		○										兼3	オムニバス
	テーマで学ぶ現代社会Ⅱ	1後		2		○					1					兼2	オムニバス
	テーマで学ぶ現代社会Ⅲ	1前		2		○			1							兼2	オムニバス
	サービスラーニングⅠ	2前		2		○										兼1	
	サービスラーニングⅡ	2後		2		○										兼1	
	データサイエンス	1後	2			○										兼4	
	データリテラシー	1前	2			○										兼3	
	統計学	2前・後		2		○										兼1	
	情報処理	1前・後		2		○										兼1	
	異文化コミュニケーション	1前		2		○										兼1	
	地域圏研究Ⅰ	1後		2		○										兼1	
	地域圏研究Ⅱ	1後		2		○										兼1	
	地域圏研究Ⅲ	1前		2		○										兼1	
	ダイバーシティ論	1後		2		○										兼1	
	フィールドスタディⅠ	1前・後		2		○										兼1	
	フィールドスタディⅡ	1前・後		2		○										兼2	
	フィールドスタディⅢ	1後		2		○										兼1	
	フィールドスタディⅣ	1後		2		○										兼1	
	キャリアデザインⅠ	2前	2			○			1								
	キャリアデザインⅡ	2後	2			○			1								
	キャリアデザインⅢ	3前		2		○				1						兼2	
	キャリアデザインⅣ	3後		2		○				1						兼2	
	インターンシップⅠ	2前・後		2		○					1						
	インターンシップⅡ	2前・後		2		○						1					
	インターンシップⅢ	3前・後		2		○										兼2	
	日本語学概論	1前		2		○										兼1	
	日本語学特論Ⅰ	1前		2		○			1								
	日本語学特論Ⅱ	1後		2		○			1								
	日本語学特論Ⅲ	1前		2		○										兼1	
	日本語教育学概論	1後		2		○										兼1	
	日本語教育実習Ⅰ	2前		2		○										兼1	
	日本語教育実習Ⅱ	2後		2		○										兼1	
	日本語教育実習Ⅲ	2前		2		○			1								
	日本語教育学特論Ⅰ	2前		2		○			1								
	日本語教育学特論Ⅱ	2後		2		○			1								
	日本語教育学特論Ⅲ	2前		2		○										兼1	
	日本文化演習	1前		2		○										兼1	
	海外語学実習Ⅰ	1前		1		○										兼1	
	海外語学実習Ⅱ	1後		1		○										兼1	
	海外語学実習Ⅲ	1前		1		○										兼1	
	海外語学実習Ⅳ	1後		1		○										兼1	
	国内語学実習Ⅰ	1前		1		○										兼1	
	国内語学実習Ⅱ	1後		1		○										兼1	
	小計（46科目）		12	74	0	—			3	1	2	0	0			兼24	

教養科目	文学	1前・後		2		○							兼1	
	社会学	1前・後		2		○							兼1	
	地理学	1前		2		○							兼1	
	経営学	1前		2		○							兼1	
	哲学	1前・後		2		○							兼1	
	倫理学	1前・後		2		○							兼1	
	心理学	1前・後		2		○							兼2	
	ホスピタリティ・コミュニケーション	1前・後		2		○							兼2	
	歴史学	1前・後		2		○							兼1	
	日本国憲法	1前・後		2		○							兼1	
	健康と体育	1後		2		○							兼1	
	社会と大学Ⅰ	1前		2		○						兼15	オムニバス	
	社会と大学Ⅱ	1前		2		○						兼13	オムニバス	
	社会と大学Ⅲ	1前		2		○			1	1	2	兼8	オムニバス	
	保健・医療の現状と未来Ⅰ	1前		2		○						兼15	オムニバス	
	保健・医療の現状と未来Ⅱ	1前		2		○						兼15	オムニバス	
	小計（16科目）	—	0	32	0	—		1	1	2	0	0	兼77	
専門科目	インテンシブ中国語Ⅰ	1前	2			○			1				兼1	
	インテンシブ中国語Ⅱ	1後	2			○			1				兼1	
	インテンシブ中国語Ⅲ	1前	2			○							兼2	
	インテンシブ中国語Ⅳ	1後	2			○							兼2	
	インテンシブ中国語Ⅴ	1前	2			○				1			兼1	
	インテンシブ中国語Ⅵ	1後	2			○				1			兼1	
	インテンシブ中国語Ⅶ	1前	2			○							兼2	
	インテンシブ中国語Ⅷ	1後	2			○							兼2	
	インテンシブ中国語Ⅸ	2前	2			○							兼1	
	インテンシブ中国語Ⅹ	2後	2			○							兼1	
	インテンシブ中国語Ⅺ	2前	2			○							兼1	
	インテンシブ中国語Ⅻ	2後	2			○							兼1	
	インテンシブ中国語ⅫⅢ	2前	2			○							兼1	
	インテンシブ中国語ⅫⅣ	2後	2			○							兼1	
	インテンシブ中国語ⅫⅤ	2前	2			○				1				
	インテンシブ中国語ⅫⅥ	2後	2			○				1				
	中国語発音矯正Ⅰ	1前	2			○					1			
	中国語発音矯正Ⅱ	1後	2			○						1		
	中国語学概論	2前	2			○				1				
	中国語の文法	2後		2		○				1				
	中国語の音声	3前	2			○						1		
	デジタル時代の中国語	3後		2		○						1		
	地域研究入門	1後	2			○				1				
	中国の地誌	1前		2		○				1				
	中国語圏研究	2前	2			○				1				
	韓国語圏研究	2前		2		○			1					
	韓国の文学・文化	2後		2		○			1					
	中国文学史Ⅰ	2前		2		○							兼1	
	中国文学史Ⅱ	2後		2		○							兼1	
	日中比較文化論Ⅰ	2前		2		○							兼1	
	日中比較文化論Ⅱ	2後		2		○							兼1	
	アジア政治論	3前		2		○							兼1	

専 門 科 目	アジア経済論	3後		2		○									兼1	
	中国の政治・経済	3前		2		○									兼1	
	中国の思想	2前		2		○				1						
	中国の歴史	2後		2		○				1						
	近代中国と日本Ⅰ	3前		2		○						1				
	近代中国と日本Ⅱ	3後		2		○						1				
	中国語プレゼンテーション	3前		2		○			1							
	中国語ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ	3前		2		○									兼1	
	中国語ビジネスコミュニケーション演習Ⅱ	3後		2		○									兼1	
	中国語演習Ⅰ	3前		2		○									兼1	
	中国語演習Ⅱ	3後		2		○									兼1	
	中国語演習Ⅲ	3前		2		○									兼1	
	中国語演習Ⅳ	3後		2		○									兼1	
	中国語通訳法Ⅰ	3前	2			○			1			1				
	中国語通訳法Ⅱ	3後	2			○			1			1				
	中国語翻訳法Ⅰ	3前		2		○									兼1	
	中国語翻訳法Ⅱ	3後		2		○									兼1	
	中日通訳・翻訳Ⅰ	3前		2		○									兼1	
	中日通訳・翻訳Ⅱ	3後		2		○									兼1	
	日中通訳・翻訳Ⅰ	3前		2		○			1							
	日中通訳・翻訳Ⅱ	3後		2		○			1							
	ゼミナールⅠ	3前	2			○			2	2		1				
	ゼミナールⅡ	3後	2			○			2	2		1				
	ゼミナールⅢ	4前	2			○			2	2		1				
	卒業論文・課題指導	4前・後		4		○			2	2		1				
小計（57科目）	—	54	62	0	—			3	2	2	0	0	兼10			
合計（154科目）		—	74	230	0	—		3	2	2	0	0	兼94			
学位又は称号		学士（中国語コミュニケーション学）		学位又は学科の分野				文学関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
必修74単位、選択必修2単位、専門科目から66単位以上を修得し、 124単位以上修得すること。 （履修科目の登録上限：44単位（年間））								1学年の学期区分				2期				
								1学期の授業期間				15週				
								1時限の授業時間				90分				

目次 学生の確保の見通し等を記載した書類(本文)

1. 学生の確保の見通しおよび申請者としての取組状況	p. 2
(1) 学生の確保の見通し	p. 2
①定員充足の見込み	p. 2
②定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	p. 6
(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況	p. 9
①入試制度・形態の現状	p. 9
②入試に関する説明会等の取組状況	p. 11
2. 人材需要の動向等社会の要請	p. 12
(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的	p. 12
(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	p. 13

学生の確保の見通し等を記載した書類

1. 学生の確保の見通しおよび申請者としての取組状況

(1) 学生確保の見通し

① 定員充足の見込み

【大学全体】

本学は、1966（昭和41）年に創設されて以来、安定的に入学定員を確保してきた。18歳人口が減少する中においても、2014（平成26）年以来志願者は増加傾向にあり、2018（平成30）年度入試の志願者総数は15,408人、2019（令和元）年度は17,181人と増加している。

このことは、各学部の教育はもちろんのこと、文部科学省の補助事業である「中国語圏で活躍するスマートでタフな日中英トライリンガル人材育成」（2012年）、「新しい都市型高齢社会における地域と大学の統合知の拠点」（2013年）、「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」（2014年）、「日英中トライリンガル育成のための高大接続」（2014年）に採択されるなど、様々な大学としての取組が本学志望者および社会から評価された結果だと考えている。

さらに、2016（平成28）年4月に、看護学科看護学専攻を除く保健学部の各学科、総合政策学部および外国語学部は、主な使用キャンパスを八王子キャンパスからJR三鷹駅やJR吉祥寺駅から徒歩圏内である井の頭キャンパスに移転した。

高校生にとって駅からの距離や新しくできたキャンパスで学ぶということは大きな魅力の一つであり、新たな志願者を獲得することに繋がると考えられる。リクルートマーケティングパートナーズが実施した高校生の分野別希望調査「大学ブランド力調査2019」によると、杏林大学は、医療・保健・衛生分野で多くの支持を集めており、高校生が希望する大学の一つとなっていると考えられる。それらを反映し直近の2019（令和元）年度の入試では、志望者総数17,181人と過去最も多い志望者数であった。

今回の保健学部、総合政策学部および外国語学部の入学定員あるいは3年次編入定員の変更は、社会の要請に応えるものであり、地域社会あるいは国際社会において活躍できる人材を養成することを目指している。

なお、今回の学則変更は、既存学部・学科について行うものであり、新たな学部・学科の設置や、教育課程の変更を伴うものではなく、学生納付金の変更もない。

【保健学部】

保健学部全体では前述のように安定した状態にあるので、今回、定員増の申請をする健康福祉学科の学生確保の見通しについて述べる。

健康福祉学科の現状は養護教諭希望者と社会福祉士をベースとする福祉関係の分野を希望する学生および健康科学を学び一般企業への就職を希望する学生から成り立っている。

しかし、専攻等の方式は取らず、必修科目51単位以外は選択科目になっており、学生がその中から必要な科目を選択し卒業要件の124単位以上の単位を取得することで卒業できる様式である。その選択科目に養護教諭に必要な科目、社会福祉士に必要な科目等をプログラムとして示しており、学生は希望によって選択することができる。したがって、養護教諭や社会福祉士を希望しない学生は履修要目に示されている科目を自由に選択でき、将来社会人として必要な科目を学修することができる。卒業生の進路としては下表に示す通り福祉系、養護教諭、企業等、進学・留学であるが、約20%は一般企業等へ就職している。

	2017.3 卒	2018.3 卒	2019.3 卒	2020.3 卒	2021.3 卒
福祉系	8 人	4 人	14 人	9 人	17 人
養護教諭	14 人	17 人	25 人	18 人	14 人
企業等	1 人	2 人	15 人	11 人	9 人
進学・留学			4 人	3 人	2 人
その他（未定者含む）	0	2 人	3 人	5 人	9 人
卒業生数	23 人	25 人	61 人	46 人	51 人

志望者数は定員50人に対し、2021年度は229人、2020年度は212人、2019年度は213人、2018年度は200人と4倍以上の倍率となっている。特に2021年度はコロナ禍での入試であったため、志願者の動向が危惧されたが、例年と同等な志願者が得られた。今回、上記を希望する学生の他に、高齢者の健康寿命延伸にかかわるスポーツを基本とする運動指導者を養成する分野と、福祉分野の充実を目指し精神保健福祉士も加えた福祉関係の分野にも拡大し、それぞれに必要な科目とプログラムを履修要目に提示し、学生の選択の幅を広げ、それぞれを希望する学生の要望に応えることにし、入学定員を70人増員することとした。

今回の健康福祉学科における入学定員の増員では、入学後、運動指導者を希望する学生に対しては、井の頭キャンパスだけでなく運動施設の充実している八王子キャンパスも使用して教育研究を行うこととしている。運動を指導するためには、健康スポーツ科学に関連する広範な学問領域から、心身に及ぼすスポーツや運動を含む身体活動の役割に関する基礎知識を学習した上で、スポーツや運動を通じた生活の質の向上を実現するための具体的な方法についての教育研究を行うが、そのためには、解剖学、生理学、運動学などの専門基礎分野の学習は必須であり、健康福祉学科が属する保健学部には、様々な医学的領域における専門性の高い教員がおり医学部付属病院と連携し教育を行っているため、学生は専門基礎分野においてより広くかつ専門的に学ぶことができる。また、実践的なスポーツ指導方法や運動療法を学ぶためには充実した運動施設が必要となるが、八王子キャンパスは運動場や体育館などの運動設備を有している。運動場は、11,566.00㎡の敷地面積があり野球場として使用可能でありナイター設備も整っている。また、体育館は7,746.33㎡の敷地面積があり、バスケットボールのコートを2面取ることができる広さがある。このことは、運動指導者を目指し健康スポーツ科学を学ぶことにおいて最適な学習環境であると考えている。

また、社会福祉士だけでなく精神保健福祉士もベースとする福祉関係分野での活躍を希望する学生に関しては、すでに健康福祉学科において社会福祉士を念頭に置いた授業形態を行っており、福祉系の専門職として幅広い知識を教授することが可能であり、実習に関しても医学部付属病院や医学部精神神経科関連病院における患者中心の医療現場で行うことができるように配慮している。したがって、社会福祉士あるいは精神保健福祉士を基礎に卒業後福祉関係の分野で十分な力を発揮できるように学びの環境を整えている。

旺文社大学受験パスナビによると、東京都内には体育学・健康科学系統の大学が14校あり、各大学独自の教育が行われているが、入学試験の倍率は3.1倍から7.2倍で推移している。また福祉系学部は東京都内には25校あり、各大学独自の教育が行われているが、入学試験の倍率は2.5倍から7.3倍である。

本学と他大学の立地条件、運動施設および教育内容を比較検討しても大きな差は見られず、本学への入学希望者は他大学とほぼ同様な状態となるものと思われ、定員充足は可能と考えら

れる。

精神保健福祉士に関しては、公益財団法人社会福祉復興・試験センターによる福祉系の国家資格に関する調査によると、精神保健福祉士資格所有者においては、併せ持つ資格として社会福祉士が最も多く、かなりの人数になっていることが示されている。このことは福祉の分野では多岐にわたるサポートが必要な状況が多く、幅広い知識と技術が必要と言われており、関連する分野も積極的に学び、資格を取得することが多いと考えられている。つまり多くの知識と技術を十分身につけることが必要と言われている。今後も精神保健福祉士として社会で活躍するためには、精神科領域の知識や技能だけでなく、社会一般の基礎的な知識や技能も必要とされることができる。

東京都内には2021年3月現在、社会福祉士27240名、精神保健福祉士11,630名が登録されているが、精神保健福祉士の人数は社会福祉士の人数の約43%と少ない。精神保健福祉士のかなりの人数が社会福祉士の資格も取得している現状を考慮すると、健康福祉学科においては、精神保健福祉士を取得しようとする学生は社会福祉士の取得も念頭に置いていると思われるし、社会福祉士取得希望者でも精神保健福祉士の資格取得も希望する可能性が高いと思われる。

健康福祉学科における過去3年間の社会福祉士取得希望者は下記の表に示すように、入学者のかなりの割合で社会福祉士取得希望者がいる。

健康福祉学科	年度	社会福祉士取得希望者数 (入学者に対する比率)
	2018（平成30）年	27人（54%）
	2019（令和元）年	16人（28%）
	2020（令和2）年	18人（35%）

これらの社会福祉士取得希望者は健康福祉学科へ入学してきた学生であるが、志願者数も入学者に対する比率と同程度と考えられる。健康福祉学科全体の志願者数は2018年度200人、2019年度213人、2020年度212人であったので、社会福祉士取得希望者数は108人、60人、74人と推定され、現状でも社会福祉士や精神保健福祉士取得を目指す課程において十分な志願者がいることがうかがわれる。

また、今回の精神保健福祉士に関する新たなカリキュラムの増設により、効率的に福祉系の2つの国家資格を取得することが可能となり、それらを希望する学生の要望に応えることで社会福祉学系を志願する学生から新規に志願者を掘り起こすことも十分に可能であると考えられる。

次にスポーツを基に適切な運動を指導できる人材の養成について見てみる。まずスポーツ健康科学系統の大学では、前述の旺文社による調査によると、スポーツに興味のある受験生は多く、入学試験の倍率は3.1倍から7.2倍で推移しており、各大学とも定員を満たすに十分な受験生がいると考えられる。本学においても他のスポーツ健康科学系統の大学と立地条件、教育環境など遜色は見られないので、他大学と同様な傾向になるものと思われる。

保健学部においてはもう一つの重要な要因を挙げることが出来る。毎年行われている推薦入試およびA0入試においては個別面接が行われ、その中で志望動機や将来の目標を述べてもらっている。理学療法学科においても2009年4月の開設以来、推薦入試とA0入試において志望学生に個別面接が行われており、志望動機や将来の目標を述べてもらっているが、過去12年間のデータを見ると約30%が理学療法士の資格にはこだわらず、スポーツを基本とした健康教育あるいは

は健康指導を実践したいとの希望が強い志願者であることが判明している。つまり理学療法学科にこだわらず、スポーツを基本とした健康教育あるいは健康指導を実践可能な領域であれば構わないという考えであった。現実的には理学療法士が行う疾病回復後にリハビリテーションを行い社会復帰の援助を行うという立場ではなく、健康人を対象にスポーツを基本とした疾病の予防に重点を置き、超高齢社会にも対応し、介護予防に重点を置き、医療知識を基に全身状態と照らし合わせて適格な運動を指導できる運動療法士を希望している実態があることが判明した。

詳細については後述するが、現状において上記のスポーツを基本とする健康教育関連領域志願者数は年によりばらつきはあるが、360人から423人と推定され、健康福祉学科で70人の定員増をしたとしても、定員確保には十分な人数を満たしている。

今までも健康福祉学科では健康教育が行われているが、スポーツを基本とする健康教育ではないため、これら志望学生の進学選択分野の範囲には入っていなかったと思われる。対面式で行われた2019年までのオープンキャンパスにおいては、理学療法学科志望者にスポーツを基本とする健康指導者になりたいとの相談者も20%ほどおり、スポーツを基本とする運動指導者希望の学生の多さが伺われた。今回、スポーツを基本に健康科学を主体とした健康教育を行うことにしたので、これらの志望学生の選択の範疇に入ることになり、選択の幅が広がったものと考えられる。

また、実際に入学した理学療法学科新入生に対するアンケート調査においても、スポーツ関連学問領域への興味を持っている学生が多いことが判明し、スポーツ健康科学への期待度も大きいことが伺われた。

したがって、健康福祉学科70人の入学定員増を行ったとしても、入学者の確保は十分に可能な状況にあると考えられる。

【総合政策学部】

総合政策学部において編入学試験の定員は、従来、総合政策学科3名、企業経営学科3名となっている。しかしながら近年、総合政策学科を志望する学生が非常に多くなってきている。これは、総合政策学科には政治コース、経済コース、法律コース、国際関係コース、福祉政策コースの5コースが、企業経営学科には経営コース、会計コースの2コースが設置されていることに原因があると思われる。実際、第1学年から入学する学生の志願者の割合も、総合政策学科・企業経営学科でほぼ2:1となっており、募集定員も150名・80名となっている。そこでこのような志願者の動向を考慮し、総合政策学科4名、企業経営学科2名に、編入学試験の募集定員の変更を申請した。

【外国語学部】

外国語学部においては、2015（平成27）年度入試以降に過去 5 年間安定して学生を確保してきた。特に2016（平成28）年度の井の頭キャンパス移転以降は志願者が増加傾向にあり、2015（平成27）年度入試では学部全体で838人、キャンパスへの移転年である2016（平成28）年度入試では1,191人、2019（令和元）年では2,823人と5年で3倍となっている。今回収容定員および3年次編転入学生の定員を変更する中国語学科では2015（平成27）年度59人から、2019（令和元）年度513人へと大幅に増加している。

日本私立学校振興・共済事業団のまとめた「2019（令和元）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」によれば、18歳人口の減少が予測される中、南関東（神奈川、埼玉、千葉、東京の一都三県）では、大学志願者総数が前年度比1.05倍と微増傾向が続いている。また、全国の学部別の

志願者における外国語学部は前年度比0.98と微減傾向にある。その中で、本学外国語学部の中国語学科および観光交流文化学科は、2019（令和元）年度入試において前年度比それぞれ1.6倍、1.3倍と大きな伸びを見せている。

さらに、これまでの学部の教育、各種採択事業での取り組みに加え、新しいキャンパスでの学びが新たな魅力となっており、長期的かつ安定的な定員充足は可能と考える。

したがって、中国語学科の定員増を行ったとしても入学者の確保は十分に可能な状況にある。

② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

【保健学部】

今回、入学定員を増員する健康福祉学科の過去5年間（2016年から2020年）の入学試験状況を下表に示す。基礎医学、医療学、学校保健学等を学んだ養護教諭と社会福祉士を養成する健康福祉学科の志願倍率は、過去5年間において3.44倍から7.67倍で推移しており、安定した定員充足が保たれている。

	年度	入学定員 (A)	志願者数 (B)	倍率(B/A)	入学数者
健康福祉学科	2016（平成28）年	36人	276人	7.67	53人
	2017（平成29）年	36人	172人	3.44	43人
	2018（平成30）年	50人	200人	4.00	50人
	2019（令和元）年	50人	213人	4.26	56人
	2020（令和2）年	50人	212人	4.24	52人

また、今回の入学定員を増員により、養護教諭あるいは福祉関係分野を希望する学生の他に、高齢者の健康寿命延伸にかかわるスポーツを基本とする運動指導者を養成するが、2020（令和2）年度の学校基本調査によれば、過去5年間における全国の体育学部（健康・スポーツ系は含まず）の志願者数は、2016（平成28）年度以降、36,826人、39,182人、36,860人、36,072人、36,820人と毎年3万6千人以上の志願者数数を確保している（別添資料1）。更に、全国体育スポーツ系大学協議会に加盟する52大学のうち、東京都内にある14校（旺文社パスナビよりデータ抽出）について、2018（平成30）年度以降3年間の一般入試における志願者総数をみると、33,203人、33,089人、32,475人と推移し、入学定員（3,421人、3,600人、3,447人）に対する倍率も毎年9倍超を維持しており、体育・健康科学系を志願する学生はある一定の志願規模を有しており、学生確保は十分にできると考えられる（別添資料2）。なお、広告社株式会社がまとめた「運動部に所属する生徒の進路について」の調査結果（別添資料3）によれば、運動部に所属する高校生の健康スポーツ科学に対する興味については、かなり興味がある（14.3%）、やや興味がある（60%）と合わせて74.3%の生徒が健康スポーツの分野に興味を持っていることが示されている。

保健学部においては前述のように、もう一つの要因を挙げることが出来る。推薦入試およびAO入試における個別面接で、理学療法学科を志望している学生の約30%は必ずしも理学療法士を目指しているわけではなく、どちらかというスポーツを基本とした健康教育を希望している学生であった。これらのことから、その年度の入学志願者の約30%は、将来スポーツを基本とした健康教育を行うことを希望していることが推測された。

また、入学後の理学療法学科新入生アンケート調査結果においては、新入生の約10%が理学療法士を目指すというより、スポーツを通じた健康教育に関心を示していた。アンケート

の中で重複回答可の調査項目である「最も興味のある学問領域は何か」という問いに対して、多い順にスポーツ（57.4%）、医療（40.0%）、福祉（2.9%）という回答結果となり、理学療法学科では医療よりもスポーツ関連学問領域への興味を持っている学生が多いという結果であった（別添資料4）。その上、スポーツの学問領域を選択した理由については「高校時代運動部に所属していたから」であった。このアンケート結果と過去5年間の志願倍率に鑑みると、理学療法学科の入学希望者の中には、スポーツ関連学問領域を希望する学生も多く含まれていることが考えられた。今回の増員において、そうした学生の要望に沿った学びの機会を提供することで、社会の要請に真摯に向かい合うことができるものと判断するに至った。

次に具体的な数字を基に述べる。下表は理学療法学科の過去5年間（2016年から2020年）の入学試験志望者状況である。志願倍率は年度によって多少のばらつきはあるが、最近3年間では18倍から19倍と高倍率で推移しており、安定した定員充足が保たれている。

	年度	入学定員 (A)	志願者数 (B)	倍率(B/A)	入学者数
理学療法学科	2016（平成28）年	45人	1163人	25.84	52人
	2017（平成29）年	56人	1209人	21.59	56人
	2018（平成30）年	56人	1017人	18.16	62人
	2019（令和元）年	56人	1024人	18.29	59人
	2020（令和2）年	56人	1056人	18.86	59人

下表は理学療法学科の過去5年間（2016年から2020年）の推薦およびA0入学試験志望者状況と面接時にスポーツ関連を希望した志願者数を示したものである。これも多少のばらつきはあるが、志願者の30%から40%はスポーツを基本とした健康教育関連領域を希望している志願者であることが見て取れる。

年度	志願者(A)	スポーツ希望者(B)	B/A(%)
2016（平成28）年	86人	27人	31（%）
2017（平成29）年	98人	34人	35（%）
2018（平成30）年	75人	25人	33（%）
2019（令和元）年	63人	24人	40（%）
2020（令和2）年	119人	46人	39（%）

上記の推薦入試およびA0入試における志願者比率から、スポーツを基本とする健康教育関連領域希望者を推定すると次の表のようになる。

年度	理学療法学科志願者数	推定されるスポーツ希望者
2016（平成28）年	1163人	360人
2017（平成29）年	1209人	423人
2018（平成30）年	1017人	335人
2019（令和元）年	1024人	409人
2020（令和2）年	1056人	411人

現状においてスポーツを基本とする健康教育関連領域志願者数は年によりばらつきはあるが、360人から423人で健康福祉学科70人の定員増をしたとしても、定員確保には十分な人数を満たしている。

更に、充実した運動設備を整えている本学は、自ら運動を行い実践的な健康スポーツ科学を学ぶことを希望する学生の要望に応えることができるため、学習環境から見ても学生確保は十分にできると考える。

また、今回の入学定員の増員においては、福祉分野の充実を目指し、社会福祉士だけでなく精神保健福祉士を希望する学生に対して教育活動を行うが、東京都内にある社会福祉学部25校について、2018(平成30)年度以降3年間の一般入試における志願者総数をみると、84,145人、90,811人、80,903人と推移し、入学定員(8,607人、8,861人、8,675人)に対する倍率も毎年9倍超を維持しており、社会福祉学部系を志願する学生の志願規模は大きく学生確保は十分にできると考えられる(別添資料5)。

このような状況において、井の頭キャンパスの立地条件および八王子キャンパスの運動設備や医学部付属病院と連携した質の高い実習を含む教育内容は、志願者にとって魅力的な材料となり得ると考えられる。

したがって、健康福祉学科において入学定員70人の増員を行ったとしても、安定した収容定員を確保できると判断した。

【総合政策学部】

以下の表は2018年～2021年までの4年間の総合政策学部編入学・転入学試験の志願者・ならびに合格者をまとめたものである。この表でも明らかなように、総合政策学科を志望する学生が企業経営学科を志望する学生に比べて、非常に多くなっている。また編入学・転入学試験の志願者自体も毎年増加する傾向にあると思われる。従って、総合政策学科4名、企業経営学科2名に、編入学試験の募集定員の変更をしたとしても、十分に定員を確保することが可能であると考えられる。

表 総合政策学部編入学・転入学試験の志願者・ならびに合格者一覧

	2018年		2019年		2020年		2021年	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
総合政策学科	3	2	9	7	8	5	15	10
企業経営学科	0	0	6	2	2	1	3	1
合計	3	2	15	9	10	6	18	11

【外国語学部】

前述のとおり、「2019(令和元)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」を見ると、南関東(神奈川県、埼玉県、千葉県、東京都)においては、大学志願者総数は微増傾向が続いている。

また、この中でとりわけ人文科学系である外国語学部の動向を見ると、2018(平成30年)度から2019(令和元)年度にかけて前年度比0.98倍となり、入学定員は210人減であるにもかかわらず、志願者数は前年度比1.04倍となり3,897人増加している。他方、本学中国語学科志

願者の推移は以下の通りである。

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
中国語学科	59	109	277	310	513

井の頭新キャンパスで1年次から学ぶことになる2016（平成28）年度入試志願者は、前年度比約1.8倍の大幅な増加となり、直近の2019（令和元年）度入試と比較すると8.7倍となった。

また、関東圏で中国語学科を設置している大学（神奈川大学、大東文化大学、拓殖大学、明海大学、目白大学）の2019年度、推薦入試を除く入試区分における志願者数と合格者数は以下の通りである。

	神奈川大学	大東文化大学	拓殖大学	明海大学	目白大学
志願者数	242	611	202	93	181
合格者数	66	123	51	27	33

本学のみならず、関東圏においては、高校生の中国語教育に対するニーズが高いことがうかがえる。

外国語学部教育、各種事業の採択を受け、「グローバル」と「地域」さらには「高校」との円滑な接続に取り組む学部の諸活動、さらに井の頭新キャンパスの立地・利便性に対する評価が、この結果に表れていると考えている。井の頭キャンパスが完成し、新キャンパスで学べるようになり、さらに高校生が実際に新キャンパスを見学して検討できるようになった今、より一層中国語学科の志願者は増加することが予想でき、安定した収容定員を確保できると判断した。

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学では、全学部の学生確保に向けた取組として、入学センターおよび各学部の入試委員会が主体となって、全教職員協働によって、受験制度の改善と学生募集広報活動の強化を図ってきた。

入学試験形態については、各学部の入学者受入れの方針に基づき、センター利用入試、推薦入試、一般入試を基本とし、帰国子女入試、外国人留学生入試、社会人入試、A0入試等の受験者のニーズに配慮した適切かつ多様な形態の入学試験を実施している。

学生募集については、入学者受入れの方針に基づき、大学ホームページ、受験雑誌、新聞、電車の車内広告、オープンキャンパス、高校教員への説明会、進学相談会、高校訪問等により広く告知している。その効果は、オープンキャンパスの参加者数の増加や志願者の増加等に現れていると自己評価している。具体的な取組状況と実績は、次のとおりであり、2021（令和3）年度入試においても、前年度の方向性を継承する。

①入試制度・形態の現状

保健学部では、A0入試、推薦入試、一般入試、大学入学共通テスト利用入試を基本とし、帰国子女入試、外国人留学生入試を行っている。一般入試の入学試験科目は英語を必須とし、数学、国語、物理、化学、生物から2科目選択とし、かつ複数の試験日を設定して学科併願を可能としている。推薦入試では適性検査（筆記試験）に加え、面接試験を複数の面接官で行い、公正さを担保している。A0入試ではその出願資格が「募集要項」などに明示されており、面接・選抜を複数教員が担当することで採点の客観性を確保している。

総合政策学部では、A0入試、推薦入試、一般入試、大学入学共通テスト利用入試に加え、編

入学・転入学入試、帰国子女入試、外国人留学生入試、秋学期外国人留学生入試、秋学期外国人留学生編入学・転入学入試など、国際的規模での社会的要請に配慮した適切かつ多様な選抜制度を採用・運用している。推薦入試やAO入試ではその出願資格が「募集要項」などに明示されており、面接・選抜を複数教員が担当することで採点の客観性を確保している。一般入試、大学入学共通テスト利用入試についても、科目・配点・出題範囲を「募集要項」に明示しており、さらに前年度入試の合格最低点・倍率などの情報を「入試 Information」で公表している。

外国語学部では、AO入試、推薦入試、一般入試、大学入学共通テスト利用入試に加え、社会人入試、編入学・転入学入試、帰国子女入試、外国人留学生入試、秋学期外国人留学生入試、秋学期外国人留学生編入学・転入学入試など、国際的規模での社会的要請に配慮した適切かつ多様な選抜制度を採用・運用している。推薦入試やAO入試ではその出願資格が「募集要項」などに明示されており、面接・選抜を複数教員が担当することで採点の客観性を確保している。一般入試、大学入学共通テスト利用入試についても、科目・配点・出題範囲を「募集要項」に明示しており、さらに前年度入試の合格最低点・倍率などの情報を「入試 Information」で公表している。

② 入試に関する説明会等の取組状況 オープンキャンパス

年度別実施回数・来場者数(2015 年度～2019 年度・大学全体)

	実施回数	来場者数
2015（平成 27）年度	3 回	5,221
2016（平成 28）年度	3 回	6,711
2017（平成 29）年度	3 回	6,617
2018（平成 30）年度	4 回	7,394
2019（令和元）年度	4 回	8,044

高校教員への説明会

年度別実施回数・参加者校数(2018 年度～2019 年度)

	実施回数	参加者校
2018（平成 30）年度	2 回	133 校
2019（令和元）年度	2 回	141 校

この表からわかるように、年々オープンキャンパスへの参加者は増加している。キャンパス移転や前述の各種事業の採択を受けての取組、卒業後の進路・就職状況、さらに入試等を高校の進学指導担当教員に向けて説明会を実施している。

進学相談会

年度別実施回数・来場者数(2015 年度～2019 年度)

	実施回数	来場者数
2015（平成 27）年度	203 回	不明
2016（平成 28）年度	257 回	4,034
2017（平成 29）年度	247 回	4,025
2018（平成 30）年度	133 回	4,102
2019（令和元）年度	180 回	2,289

予備校、進学塾や受験産業が開催し、受験生と直接接することができる「進学相談会」を重要なものと位置づけて、可能な限り積極的に参加している。

高校訪問

高校訪問 年度別訪問校数(2015 年度～2019 年度)

	訪問校数
2015（平成 27 年）度	285
2016（平成 28）年度	148
2017（平成 29）年度	167
2018（平成 30）年度	211
2019（令和元）年度	355

教職員全員で関東圏を中心に高校訪問を実施してきた。2016（平成 28）年度以降、その数を減らし、代わりに模擬授業等での訪問を増やしてきたが、2018（平成 30）年度以降は、臨床心理学科の新設に伴い、その数を増やしている。

2. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

杏林大学の理念・目的は、「教育基本法および学校教育法に則り、かつ建学の精神に基づいて、崇高な人類愛と高度の科学精神を基盤とするすぐれた人材の育成を目的とし、もって広く人類の福祉に貢献することを使命とする」ことと、杏林大学学則に明記している。

これらの理念・目的の基本となる建学の精神は、「眞・善・美の探究」である。「眞・善・美の探究」を通じて、優れた人格を持ち、人のために尽くすことの出来る国際的な人材を育成することが、本学の教育理念である。「眞」は真実・真理を究めるための学問をすることであり、真実・真理に対して謙虚であるとともに、自ら進んで学び、研究することを意味している。「善」は倫理観を持ったよき人間性・人格を形成することであり、他人に対してやさしく、思いやる心を持った人格を自ら築き上げて、人のために尽くすことである。「美」は真理に対し謙虚に学ぶ姿勢を持ち、他人を尊重し、自らの身を持するのに厳しく、美しいものを美しいと感じる感性を磨くよう努めれば、自然に美しい立派な風格のある人間に成長していくことを意味している。これらの探究を通じて人間形成を図り、国家と人類社会の興隆と繁栄に役立つ有為な人材を育成することが本学に共通する理念である。

【保健学部】

保健学部は、本学の建学の精神である「眞・善・美の探究」にもとづいて、保健・医療・看護・福祉の分野で、専門知識と技術を教授し、科学的なものの見方と思いやりを涵養して、将来広い視野から物事をとらえ、人々がより健康的に生きることをサポートできる人材を育成することを目的としている。

健康福祉学科

① 養成する人材像

保健、医療、福祉、養護および保育の専門意識と技術をもち、高い倫理観と情熱を

もって人の健康と生活の支援を実践する人材を養成することを目的とする。

② 教育上の目的

人々の健康と生活を支援するために、豊富な健康、医療および福祉の知識と技術を有し、さらに幅広い相談援助ができる専門家を養成する。具体的には、学校保健領域、社会福祉領域および精神保健領域に置いて多角的対応ができ、且つ即戦力となりうる養護教諭、社会福祉士および精神保健福祉士の育成を図ること、および健康福祉行政分野で活躍しうる人材育成を主な目標とする。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

内閣府の「2019（令和元）年版高齢社会白書」によれば65歳以上の人口の推移は、2015（平成27）年3,395万人、2018（平成30）年3,558万人と増加しており、「団塊の世代」が75歳以上となる2025（令和7）年には3,677万人に達すると見込まれている。また、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県の一都三県について見てみると、厚生労働省「社会保障審議会 介護保険部会資料都市部の高齢化対策に関する検討会報告書（平成25年10月2日）」（表1）に示すように、65歳以上の人口は、高い増加率を示している。

（表1）都道府県別65歳以上の人口推移

	平成22年 (万人)	平成37年 (万人)	増加数 (万人)	増加率
東京都	267.9	332.2	64.3	+24%
神奈川県	183.0	244.8	61.8	+34%
埼玉県	147.0	198.2	51.2	+35%
千葉県	133.9	179.8	45.8	+34%

出典：厚生労働省「平成25年10月2日の社会保障審議会 介護保険部会資料都市部の高齢化対策に関する検討会報告書」

また、高齢者人口の増加と共に認知症高齢者の増加も見られ、認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）によると、2012（平成24）年で462万人と推計されており、2025（令和7）年には約700万人、65歳以上の高齢者の約5人に1人に達することが見込まれ予測されている。東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県で見ても、厚生労働省「介護保険事業状況報告 都道府県別 要介護認定者数」によると、要介護（要支援）認定数は増加傾向にある。

このように高齢者の増加によって、認知症や生活習慣病だけでなく、さまざまな疾患を持つ患者の増加が見られ、医療分野だけでなく、福祉・介護分野においても人材確保の必要性に迫られている。

表2は厚生労働省「患者調査」で平成23年、26年、29年の主な疾病分類別にみる全国の患者数を示したものである。この3回の患者数推移をみると、認知症を含む神経系の疾患、生活習慣病である循環器系の疾患のうち心疾患や血管疾患は増加し、他の疾患は横ばい状況であることが分かる。そのため、超高齢社会の中にあって、生活リハビリテーションを担当する理学療法士や作業療法士だけでなく、介護予防に重点をおき、確かな医療知識を基に患者一人ひとりに対して、全身状態像と照らし合わせて適確な運動を指導できる人材や精神医療に精通し、すぐれた環境調整能力を持つ精神保健福祉士などのコメディカルスタッフの需要が見込まれる。東京都を例に挙げても、東京都の医師数は23区内では充足しているが、三鷹市以西はかなり不足している現状にあり、コメディカルスタッフも同様と考えられ、多摩地域を含む三鷹市以西

では不足している状況と判断できる。

(表2)主な疾病分類別患者数

(単位：千人)

疾患別	平成 23 年	平成 26 年	平成 29 年
神経系	264.7	297.2	291.2
アルツハイマー病(神経系疾患再掲)	73.3	92.1	96
循環器系の疾患	1,199.6	1,173.1	1,117.5
心疾患(循環器疾患再掲)	192.2	193.8	198.2
血管疾患(循環器疾患再掲)	283.8	253.4	266.7
呼吸器疾患	797.7	759.1	725.8
筋骨格系及び結合組織の疾患	1,064.4	947.7	948.6
精神及び行動の障害	503.4	523.2	512.9

出典：厚生労働省「患者調査」

以上より、医療職におけるコメディカルスタッフの必要性は、公的な機関はもちろんのこととして、介護・福祉サービスの分野、医薬品業界、医療機器業界といった民間企業においても活躍の場が期待されてきている。現状でもすでにこれらの分野への就職をしている学生も少しずつ増えている。少子高齢化社会においては病気の予防・健康推進が高まるなか、十分な医療知識を有しコミュニケーション能力の高い人材の需要が見込まれる。

次に、本学保健学部における最近5年の求人件数について見てみる。求人数の実績推移は別添資料6のとおりである。就職希望者に対して十分な求人数が確保できているといえる。

収容定員の変更を計画している健康福祉学科における就職率実績は別添資料7のとおりである。収容定員を増加した場合においても卒業後の進路について十分に見込めるものと考えられる。

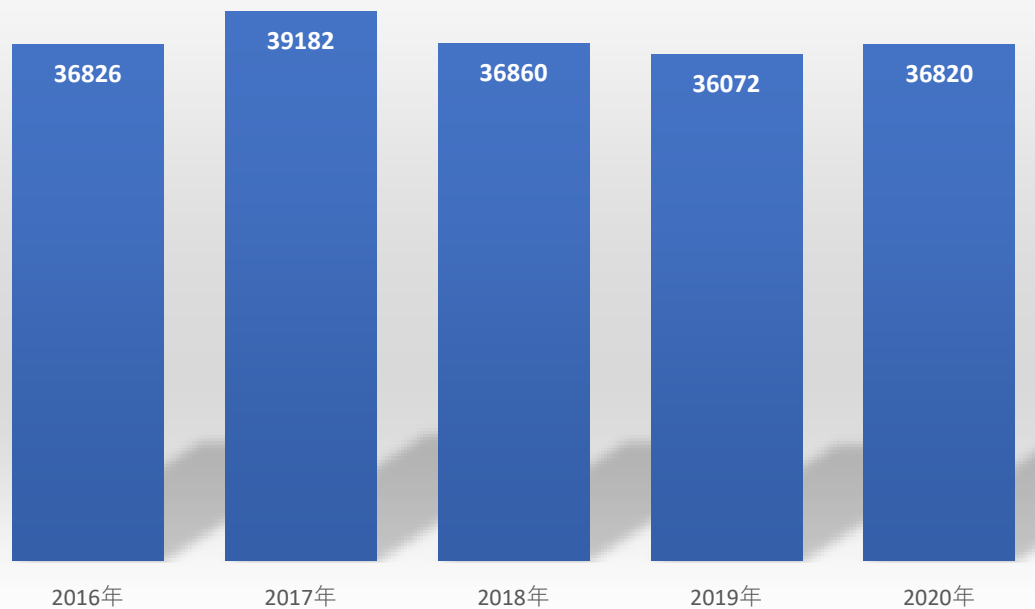
また、健康福祉学科の就職進路状況は別添資料8に示すとおりである。健康福祉学科は公立・私立学校の養護教諭、一般企業、福祉施設、病院職員への就職状況であり、このところ求人数も増加傾向にあるため、収容定員を増加した場合においても卒業後の進路は十分見込める。

以上のように、これまでの就職実績から収容定員の変更を行う健康福祉学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は社会的・地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであり、今後の学生の就職先の確保は十分に可能であると考えられる。

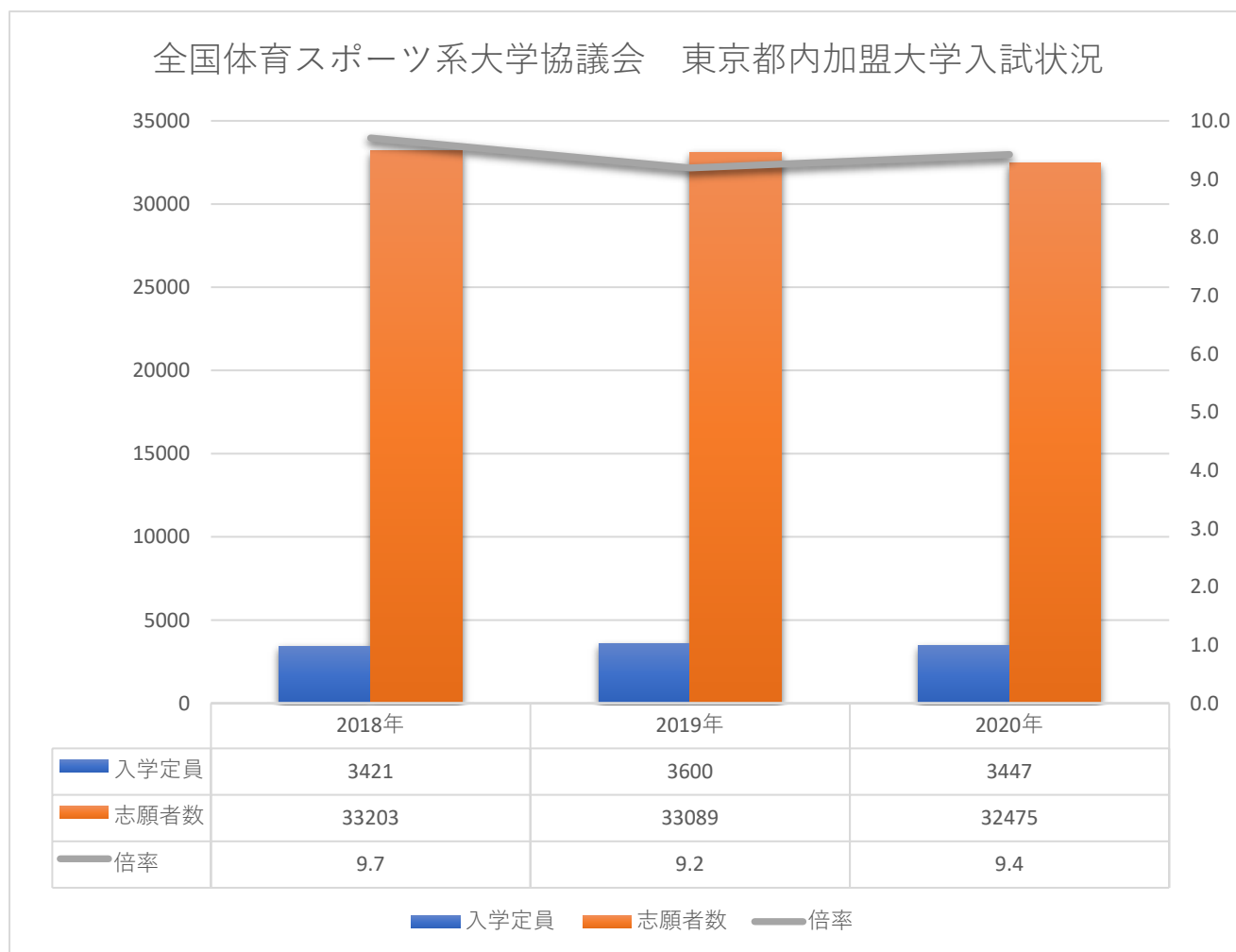
目次 学生の確保の見通し等を記載した書類(資料)

資料1	体育学部志望者数の推移	p. 2
資料2	全国体育スポーツ系大学協議会 東京都内加盟大学入試状況	p. 3
資料3	健康スポーツ科学に対する興味	p. 4
資料4	理学療法学科在校生の受験時における希望分野	p. 5
資料5	東京都内にある社会福祉学部入試状況	p. 6
資料6	保健学部求人数	p. 7
資料7	保健学部就職決定率	p. 8
資料8	杏林大学保健学部健康福祉学科 就職先分類別就職率	p. 9

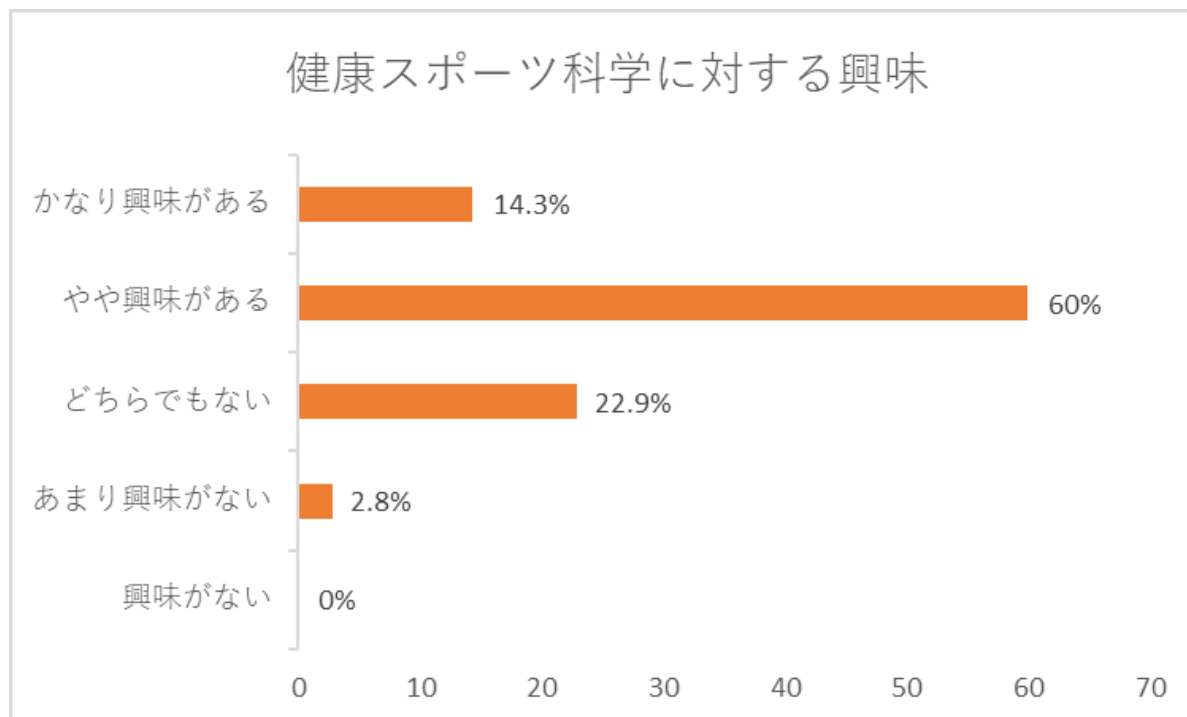
体育学部志願者数 の推移



※文部科学省：※文部科学省：学校基本調査年次統計「関係学科別 大学入学状況」2016 年～2020 年参照



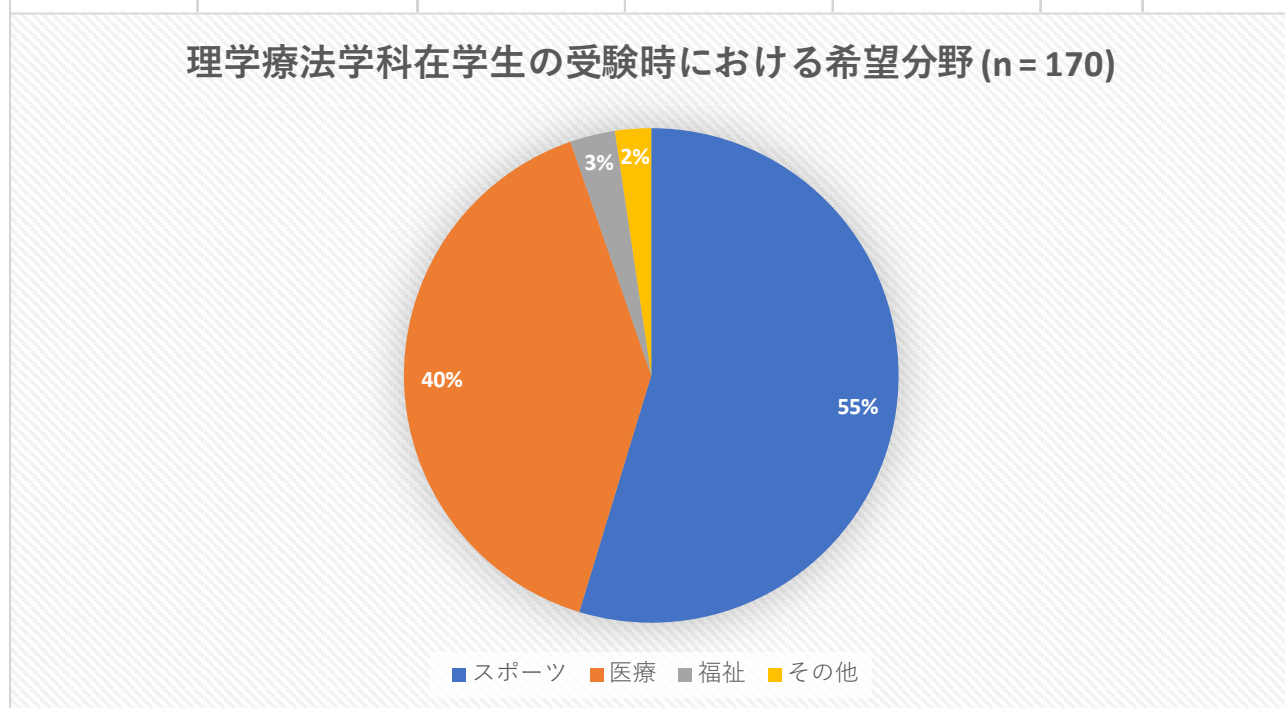
※旺文社パスナビよりデータを抽出し、全国体育スポーツ系大学協議会に加盟する東京都内にある 14 大学を集計。



廣告社株式会社：運動部に所属する生徒に関する進路について

運動部（硬式野球部・男子バスケットボール部・女子バレーボール部・女子バドミントン部）に所属する生徒（1,017 人）を対象。

理学療法学科在学生の受験時における希望分野 (n = 170)						
入学年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	合計	構成比率
スポーツ	28	20	26	19	93	54.7%
医療	24	9	16	19	68	40.0%
福祉	4	0	0	1	5	2.9%
その他	0	1	1	2	4	2.4%
回答数	56	30	43	41	170	

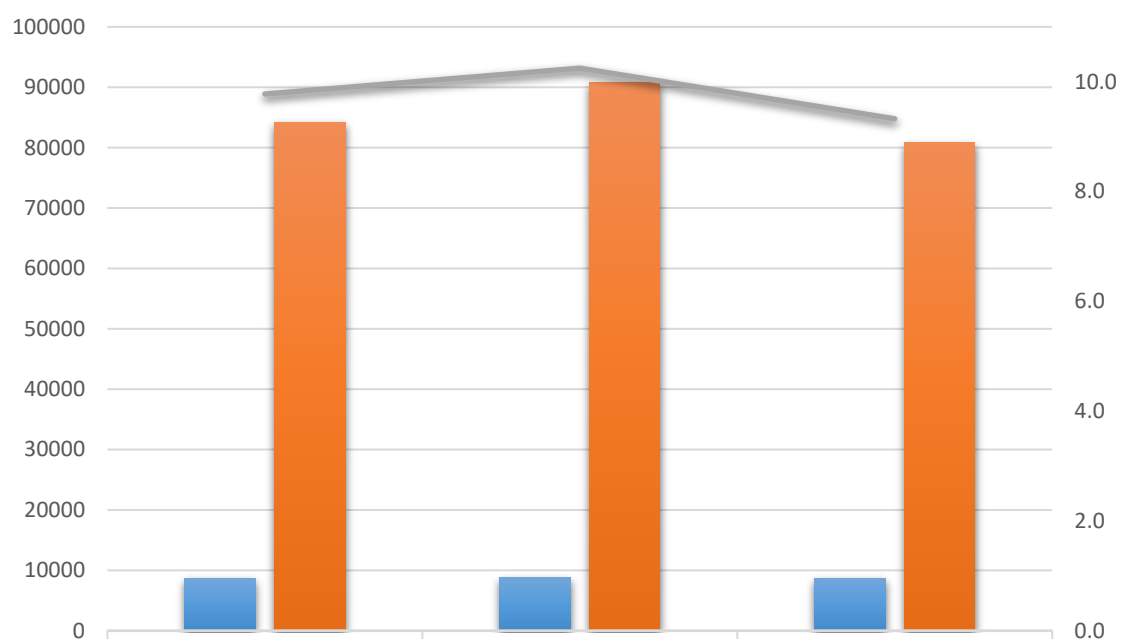


理学療法学科在校生の受験時における希望分野

理学療法学科入学時のアンケート調査結果 170 人を対象

調査項目：あなたが当学科を受験した際に最も興味のある学問領域は何ですか？

東京都内にある社会福祉学部入試状況



入学定員	8607	8861	8675
志願者数	84145	90811	80903
倍率	9.8	10.2	9.3

入学定員 志願者数 倍率

※旺文社パスナビよりデータを抽出し、東京都内にある社会福祉学部 25 大学（1 校非公開）を集計。

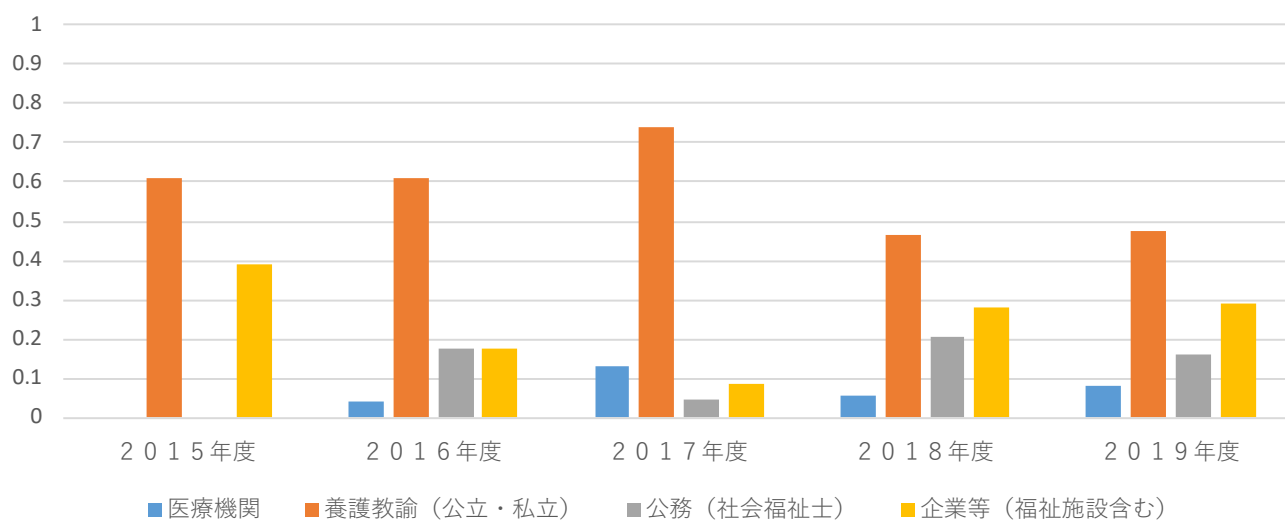
保健学部 求人件数（過去5年）											
	臨床検査技術学科	看護学科 (看護師・助産師)	看護学科 (保健師)	臨床工学科	救急救命学科	看護学科・健康福祉学科 (養護教諭)	健康福祉学科 (社会福祉士・MSW等)	理学療法学科	作業療法学科	診療放射線学科	保健学部
2019年度	468			302		41	251	823	860	329	3074
2018年度	450			299		52	296	875	893	315	3180
2017年度	535	433	139	308	131	85	336	838	880	302	3987
2016年度	525	436	139	302	131	38	295	828	870	305	3869
2015年度	575	531	168	361	124	51	374	952	1028		4164

保健学部 就職率（過去5年）

	臨床検査技術学科	看護学科看護学専攻	看護学科看護学専攻 看護学科看護学専攻	臨床工学科	救急救命学科	健康福祉学科	理学療法学科	作業療法学科	診療放射線学科	保健学部
2019年度	100.0	100.0	96.2	88.7	95.8	90.5	100.0	100.0	96.1	96.9
2018年度	98.8	100.0	100.0	89.6	79.5	96.4	100.0	100.0	100.0	96.7
2017年度	98.9	100.0	97.1	86.1	94.4	100.0	100.0	100.0	97.7	97.7
2016年度	100.0	100.0	100.0	85.7	72.3	100.0	100.0	100.0	100.0	95.9
2015年度	98.7	100.0	97.0	91.9	82.1	94.7	100.0	100.0		96.6

※ 就職率＝就職内定者／就職希望者（進学・その他除く）

杏林大学保健学部健康福祉学科 就職先分類別就職率



杏林大学保健学部健康福祉学科 就職先分類別就職率 (2015-2019年度)

進路	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
医療機関	0.0%	4.3%	13.0%	5.5%	7.9%
養護教諭 (公立・私立)	61.1%	60.9%	73.9%	46.3%	47.4%
公務 (社会福祉士)	0.0%	17.4%	4.4%	20.4%	15.8%
企業等 (福祉施設含む)	38.9%	17.4%	8.7%	27.8%	28.9%
	100.0%	100.0%	100.00%	100.00%	100.00%

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
	学長	大瀧 純一 ＜平成30年4月＞		博士 (医学)		杏林大学学長 (平成30年4月)

（注） 高等専門学校にあっては校長について記入すること。

杏林大学と三鷹市との包括的な連携に関する協定書

杏林大学と三鷹市（以下「市」という。）及び三鷹市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、杏林大学と市及び教育委員会が相互の資源及び研究成果等の交流を促進し、活力ある地域社会の創造、人財育成及び相互の発展に資することを目的とする。

（連携事業）

第2条 杏林大学と市及び教育委員会は、前条の目的を達成するため、教育、生涯学習、まちづくり、地域の産業・文化の振興、健康・福祉、自然・環境、学術研究その他の分野において包括的に連携し協力する。

（連携協議会）

第3条 前条に掲げる事項の円滑な推進を図るため、連携協議会を設置するものとする。

2 連携協議会並びに事業経費の相互負担等については別途定める。

（有効期限）

第4条 この協定の有効期限は、協定締結の日から平成26年3月31日までとする。ただし、期間満了の1月前までに三者のいずれかから異議の申し出がない場合は、有効期限をさらに1年間継続するものとし、その後もまた同様とする。

（その他）

第5条 この協定に定めのない事項について定める必要が生じたとき、又はこの協定に定める事項を変更しようとするときは、三者間協議の上、定めるものとする。

この協定の締結を証するため、本協定書3通を作成し、杏林大学と市及び教育委員会が署名捺印の上、各自その1通を保有する。

平成25年9月6日

東京都三鷹市新川六丁目20番2号

杏林大学

学長

跡見裕

東京都三鷹市野崎一丁目1番1号

三鷹市

市長

清原慶子

東京都三鷹市下連雀九丁目11番7号

三鷹市教育委員会

教育長

高部明夫

羽村市と杏林大学との連携に関する協定書

羽村市（以下「甲」という。）と杏林大学（以下「乙」という。）は、相互の発展に資するため、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、甲と乙が相互の資源及び研究成果等の交流を促進し、活力ある地域社会の創造、人材育成及び両者の発展に資することを目的とする。

（連携事業）

第2条 甲と乙は、前条の目的を達成するため、教育、生涯学習、まちづくり、地域の産業・文化の振興、健康・福祉、自然・環境、学術研究、その他の分野において連携し協力する。

（連携協議会）

第3条 前条に掲げる事項の円滑な推進を図るため、連携協議会を設置するものとする。

2 連携協議会並びに事業経費の相互負担等については別途定める。

（有効期限）

第4条 この協定の有効期限は、協定締結の日から平成23年3月31日までとする。ただし、期間満了の1月前までに甲乙のいずれかから異議の申し出がない場合は、有効期限をさらに1年間継続するものとし、その後もまた同様とする。

（その他）

第5条 この協定に定めのない事項について定める必要が生じたとき、またはこの協定に定める事項を変更しようとするときは、甲、乙協議の上、定めるものとする。

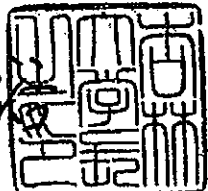
この協定の締結を証するため、本協定書2通を作成し、甲及び乙が署名捺印の上、各自その1通を保有する。

平成22年6月29日

（甲）東京都羽村市緑ヶ丘五丁目2番地1
羽村市
羽村市長

（乙）東京都三鷹市新川六丁目20番2号
杏林大学
杏林大学長

並木 心 

跡見 祐 

武蔵野市と杏林大学との包括的な連携に関する協定書

武蔵野市（以下「甲」という。）と杏林大学（以下「乙」という。）は、相互の発展に資するため、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、甲と乙が相互の資源及び研究成果等の交流を促進し、活力ある地域社会の創造、人材育成及び相互の発展に資することを目的とする。

（連携内容）

第2条 甲と乙は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項について包括的に連携し協力するものとする。

- （1）教育、生涯学習に関すること。
- （2）まちづくり、地域の産業・文化に関すること。
- （3）健康・福祉に関すること。
- （4）自然・環境に関すること。
- （5）学術研究に関すること。
- （6）前各号に掲げるもののほか、甲及び乙が相互に必要と認める分野に関すること。

（連携窓口）

第3条 甲及び乙は、前条各号に掲げる事項の円滑な推進を図るため、それぞれに連携窓口を設置し、適宜協議するものとする。

（相互交流）

第4条 甲及び乙は、この協定に基づく連携及び協力を継続的に展開していくための協議の機会を設けるものとする。

（有効期限）

第5条 この協定の有効期限は、協定締結の日から令和2年3月31日までとする。ただし、期間満了の1月前までに甲乙いずれからも異議の申し出がない場合は、有効期限をさらに1年間継続するものとし、その後もまた同様とする。

（その他）

第6条 この協定に定めのない事項について定める必要が生じたとき、又はこの協定に定める事項を変更しようとするときは、甲、乙協議の上、定めるものとする。

この協定の締結を証するため、本協定書2通を作成し、甲及び乙が署名捺印の上、各自その1通を保有する。

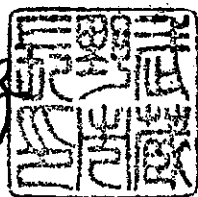
令和2年1月28日

（甲）東京都武蔵野市緑町2丁目2番28号

武蔵野市

武蔵野市長

松下 玲子

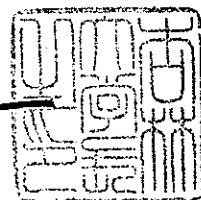


（乙）東京都三鷹市新川6丁目20番2号

杏林大学

杏林大学長

大龍 純一



No.	学校名	〒	住所	備考
1	大成高等学校	181-0012	東京都三鷹市上連雀6-7-5	
2	関東国際高等学校	151-0071	渋谷区本町3-2-2	
3	聖徳学園中学・高等学校	180-8601	東京都武蔵野市境南町2-11-8	
4	順天中学・高等学校	114-0022	東京都北区王子本町1-17-13	
5	東京都立三鷹中等教育学校	181-0004	東京都三鷹市新川6-21-21	書面締結至らず ラウンドテーブル等参加
6	東京都立青梅総合高等学校	198-0041	東京都青梅市勝沼1丁目60番1号	
7	神奈川県立神奈川総合高等学校	221-0812	横浜市神奈川区平川町19-2	
8	日出学園中学・高等学校	272-0824	市川市菅野3-23-1	
9	東京都立武蔵村山高等学校	208-0035	東京都武蔵村山市中原1-7-1	
10	東京都立羽村高等学校	205-0012	東京都羽村市羽4152-1	書面締結至らず ラウンドテーブル等参加
11	明治学院東村山高等学校	189-0024	東京都東村山市富士見町1-12-3	書面締結至らず ラウンドテーブル等参加
12	藤村女子高等学校	180-8505	東京都武蔵野市吉祥寺本町2-16-3	
13	東京都立府中東高等学校	183-0012	東京都府中市押立町4-21	
14	東京都立調布南高等学校	182-0025	東京都調布市多摩川6-2-1	
15	東京都立杉並総合高等学校	168-0073	東京都杉並区下高井戸5-17-1	書面締結至らず ラウンドテーブル等参加
16	工学院大学附属高等学校	192-8622	八王子市中野町2647-2	書面締結至らず ラウンドテーブル等参加
17	神奈川県立横浜清陵高等学校	232-0007	神奈川県横浜市南区清水ヶ丘41	書面締結至らず ラウンドテーブル等参加
18	神奈川県立大和西高等学校	242-0006	大和市南林間9-5-1	書面締結至らず ラウンドテーブル等参加
19	東京都立東大和高等学校	207-0015	東京都東大和市中央三丁目945番地	書面締結至らず ラウンドテーブル等参加
20	八王子北高等学校	193-0803	東京都八王子市檜原町601	現在疎遠

審査意見への対応を記載した書類（7月）

（目次） 保健学部 健康福祉学科

1. 過去の志願倍率や入学定員の充足状況をもって本学科における学生確保の見通しを説明しているが、本学科の収容定員を増加させる主たる目的が、従前から養成してきた人材に加えて、「介護予防に重点を置き、確かな医療知識を基に患者一人ひとりに対して、全身状態像と照らし合わせて的確な運動を指導できる人材の養成、および精神医療に精通し、すぐれた環境調整能力を持つ精神保健福祉士の養成」することであることに鑑みれば、収容定員増加後の本学科への入学志願者は、従前の入学志願者とは必ずしも一致しないものと考えられる。このため、本学科で収容定員増加後に養成する人材等を踏まえて、客観的な根拠に基づき、長期的な学生確保の見通しがあることを改めて明確に説明すること。・・・1

審査意見への対応を記載した書類

(是正事項) 保健学部健康福祉学科

過去の志願倍率や入学定員の充足状況をもって本学科における学生確保の見通しを説明しているが、本学科の収容定員を増加させる主たる目的が、従前から養成してきた人材に加えて、「介護予防に重点を置き、確かな医療知識を基に患者一人ひとりに対して、全身状態像と照らし合わせて的確な運動を指導できる人材の養成、および精神医療に精通し、すぐれた環境調整能力を持つ精神保健福祉士の養成」することであることに鑑みれば、収容定員増加後の本学科への入学志願者は、従前の入学志願者とは必ずしも一致しないものと考えられる。このため、本学科で収容定員増加後に養成する人材等を踏まえて、客観的な根拠に基づき、長期的な学生確保の見通しがあることを改めて明確に説明すること。

【対応】

1. 概要

杏林大学保健学部健康福祉学科（以下「本学科」という。）では開設以来定員は充足しており、過去6年間の志願者の推移は下表に示すようになっている。

年度	入学定員	志願者数	入学者数
2016（平成28）年	36人	276人	53人
2017（平成29）年	36人	172人	43人
2018（平成30）年	50人	200人	50人
2019（令和元）年	50人	213人	56人
2020（令和2）年	50人	212人	52人
2021（令和3）年	50人	229人	51人

このことは、本学科の取り組みや卒業生の就職状況などの要因が、受験生や保護者および社会からの認知度・信頼度の向上につながり、また、これまでの取り組みが学生のニーズにも整合しているものと考えている。

この度、本学科では定員70人増を計画しているが、今までの志願者数や志願傾向、マイナビ進学が2021年4月に行った東京近辺の高校生のニーズ調査、リクルート進学総研の進学ブランド力調査2020の結果から、本学科の70人定員増においても、十分に定員を満たすことができるものと思われる。

2. 審査意見を踏まえ本学科が定員増に至った基本的な経緯や背景、必要性について説明する。

1) 定員増に至った基本的な経緯や背景および必要性

本学科を取り巻く社会情勢等の変化や国の政策により、基調的には収容定員増の必要性が十分高い。

本学科は2007年4月に保健学科から健康福祉学科に名称変更し、健康科学をベースとした健康増進、福祉に重点を置いた人材の養成の基本コンセプトに基づき、漸進的なカリキュラム編成を行い、学生の主体性を重んじながらも、社会で求められる人材の養成を行っている。その中でも特に多摩地域を主とした地域社会との連携強化を図ってきている。この地域連携事業に関しては三鷹市、羽村市、武蔵野市と地域包括協定を結び（付表1、付表2、付表3）、特に健康・福祉の分野において、高齢者の適切な運動を取り入れた健康増進について強い要望があり、本学科の教員を中心に様々な実践を行い、地域住民の健康増進に大きく寄与している。また、その状況や結果についてはホームページに掲載し、冊子を作り、積極的に公開することで社会的な認知が得られるよう努力している。

本学科の卒業生は養護教諭や社会福祉士として活躍しているだけでなく、健康科学を学修し一般企業へ就職して、様々な部署で社会貢献をしている。このような取り組みを通し、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県を中心に受験生や保護者への認知度・信頼度は向上し、現在に至っている。

本学科の履修要目において、精神保健福祉士プログラムとスポーツを基にした健康科学プログラムを追加することで福祉分野と健康科学分野の拡充がはかられ、本学科の学生の選択肢を広げることができ、今まで以上に社会に貢献できる人材の養成ができると確信している。

また、2014年に文部科学省高大接続に関する補助事業に選定されたが、毎年2回、参加20高校（付表4）とAPラウンドテーブルを開催して、さまざまな意見交換を行っている。その中であって、高校生の関心の高いスポーツを基に健康増進を目指す領域の開設を求める意見が多く、本学科に設置希望がなされていた。

一方、国の政策において、厚生労働省白書では、2040年の高齢者人口ピークを迎えるまでに健康寿命3年の延伸が目標に掲げられている。健康運動は生活習慣病への対処や予防だけでなく、高齢者の健康寿命を延伸すると言われている。一般的に高齢者において介護支援が必要となった主な原因は「関節疾患」が約20%、「転倒・骨折」が約15%で運動器の障害によるものが多く、適切な運動の重要性が指摘されている。転倒リスクの高い高齢者は全国で400万人以上いると言われており、高齢者の転倒・転落予防対策は重要課題である。そのため高齢者一人ひとりに合った適切な運動が求められているが、高齢者の転倒・転落に関する病態と治療法を理解し、患者に寄り添い、科学的な見地に

基づいて患者の運動指導が出来る指導者は少なく、その養成が必要とされている。すなわち、このスポーツを基本とした健康運動を指導する人材養成は、国策に見合ったものと言える。

2) 入学定員増の長期的・安定的な学生の確保

保健学部においては推薦入試および A0 入試においては個別面接を課しているが、その中で理学療法学科開設以来の推薦入試および A0 入試において、過去 12 年間のデータを詳細に分析した。志望動機および卒業後の目標を詳細に検討した結果、約 30%は必ずしも理学療法士を目指しているわけではなく、スポーツを基本とした健康教育を希望している学生であった。これらのことから、その年度の入学志願者の約 30%は、将来スポーツを基本とした健康教育や健康指導を実践したいとの希望が強い志願者であることが予測された。

この予測に対し、対面式で行われた2019年のオープンキャンパスにおいて、理学療法学科志望者427人に、理学療法士以外でスポーツを基本とする健康指導者養成への興味の有無、入学の可否について調査を行った。その結果、104人（24.4%）が興味を持ち、しかも入学したいとの回答があった。予測値30%より5ポイント低かったが、健康教育や健康指導を実践したいとの希望が強く、本学科志願者の確保につながるものと言える。

下表は理学療法学科の過去 5 年間（2016 年から 2020 年）の推薦および A0 入学試験志望者状況と面接時にスポーツ関連を希望した志願者数を示したものである。多少のばらつきはあるが、志願者の 30%から 40%はスポーツを基本とした健康教育関連領域を希望する志願者であった。

年度	志願者(A)	スポーツ希望者(B)	B/A(%)
2016（平成28）年	86人	27人	31（%）
2017（平成29）年	98人	34人	35（%）
2018（平成30）年	75人	25人	33（%）
2019（令和元）年	63人	24人	40（%）
2020（令和 2）年	119人	46人	39（%）

本学科では前述のように、養護教諭希望者、福祉系への希望者、一般企業への就職希望者がおり、高校生の進路からすると3通りの専門領域で、入学試験では各々の志望者から成り立っている。大学進学予備校のデータからすると、本学のような場合、推薦入試、A0入試、センター試験利用入試、一般入試のいずれの試験においても、入学者全体に対する個々の専門領域入学者の割合と志望者全体に対する個々の専門領域志望者の割合はほぼ同じと言われていることを勘案し、上記の推薦入試とA0入試におけるスポーツ希望者の比率およびオープンキャンパスの回答結果から出てきた比率約24%から、スポーツを基本とする健康教育関連領域希望者を予測すると次の表のようになる。

年度	理学療法学科志願者数(B)	予測されるスポーツ希望者
2016（平成28）年	1163人	280人～360人
2017（平成29）年	1209人	290人～423人
2018（平成30）年	1017人	244人～335人
2019（令和元）年	1024人	246人～409人
2020（令和2）年	1056人	253人～411人

現状において上記のスポーツを基本とする健康教育関連領域志願者数は年度によりばらつきはあるが、244人から423人と予測され、本学科で70人の定員増をしたとしても、定員確保には十分な人数を満たしている。

一方、マイナビ進学が2021年4月に東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県の高校2年生と3年生の合計638人を対象とした進学ニーズ調査では、医療・健康スポーツ・福祉を希望する生徒は200人（31.4%）であり、多くの進学希望者がいることが判明した。また、リクルート進学総研が、高校3年生の大学に対する志願度やイメージを調査した「進学ブランド力調査2020」の結果では、関東の女子高校生が選んだ「志願したい大学」の中で杏林大学は17位に位置し、志願対象の大学の一つであった。

したがって、本学科ではスポーツを基本とする運動指導者養成に対して十分な志願者が見込まれ、本学科の定員を満たすものと思われる。

精神保健福祉士に関しては、東京都内には2021年3月現在、社会福祉士27240名、精神保健福祉士11630名が登録されているが、精神保健福祉士の人数は社会福祉士の人数の約43%と少ない。公益財団法人社会福祉復興・試験センターによると精神保健福祉士のかなりの人数が社会福祉士の資格も取得していることが示されているので、本学科においても、精神保健福祉士を取得しようとする学生は社会福祉士の取得も念頭に置いていると思われる。逆に社会福祉士取得希望者でも精神保健福祉士の資格取得も希望する可能性が高いと思われる。

本学科における過去3年間の入学時社会福祉士取得希望者は下記の表に示すように、年度による差はあるが、入学者の30%は社会福祉士取得希望者がいる。

健康福祉学科	年度	社会福祉士取得希望者数 (入学者に対する比率)
	2018（平成30）年	27人（54%）
	2019（令和元）年	16人（28%）
	2020（令和2）年	18人（35%）

これらの本学科へ入学してきた社会福祉士取得希望者数の比率と、志願者数に占める割合は前述のように同程度と考えると、本学科全体の志願者数は2018年度200人、2019年度213人、2020年度212人であったので、社会福祉士取得を希望する志願者は108人、60人、74人と推定され、現状でも社会福祉士や精神保健福祉士取得を目指す課程において十分な志願者がいると考えられる。

また、今回の精神保健福祉士に関する新たなカリキュラムの増設により、効率的に福祉系の2つの国家資格を取得することが可能となり、それらを希望する学生の要望に応えることができ、新規に志願者を掘り起こすことも十分に可能であると考えている。

以上より、本学科70人の定員増を行っても、スポーツを基本とする運動指導者養成および精神保健福祉士養成のプログラムを増設することも含め、安定的に定員を確保できると確信している。

13. 新旧対照表

A. その他

(保健学部 健康福祉学科)

区分	旧	新	補正理由																		
学生確保の見通し等を記載した書類（本文） 1. 学生の確保の見通	保健学部の過去 5 年間の入学者選抜試験（推薦入試、一般入試、センター試験利用入試）における志願倍率（志願者数 / 募集定員数）は、下記の表に示すように 2015（平成 27）年度入試では 14.22 倍、2016（平成 28）年度入試では 16.11 倍、2017（平成 29）年度入試では 13.38 倍、2018（平成 30）年度入試では 11.21 倍、そして 2019（令和元）年度入試では 11.81 倍であった。18 歳人口が減少する中、志願倍率は毎年 11 倍を超えており「杏林大学保健学部で学びたい」という需要が継続的に存在していることがうかがわれる。	保健学部全体では前述のように安定した状態にあるので、今回、定員増の申請をする健康福祉学科の学生確保の見通しについて述べる。 健康福祉学科の現状は養護教諭希望者と社会福祉士をベースとする福祉関係の分野を希望する学生および健康科学を学び一般企業への就職を希望する学生から成り立っている。 しかし、専攻等の方式は取らず、必修科目 51 単位以外は選択科目になっており、学生がその中から必要な科目を選択し卒業要件の124単位以上の単位を取得することで卒業できる様式である。その選択科目に養護教諭に必要な科目、社会福祉士に必要な科目等をプログラムとして示してあり、学生は希望によって選択することができる。したがって、養護教諭や社会福祉士を希望しない学生は履修要目に示されている科目を自由に選択でき、将来社会人として必要な科目を学修することができる。卒業生の進路としては下表に示す通り福祉系、養護教諭、企業等、進学・留学であるが、約20%は一般企業等へ就職している。	審査意見 1 を踏まえ、説明文章及び文章の構成・文中の表を追加・																		
	<table><tr><td></td><td>志願倍率（志願者数） 募集定員数</td></tr><tr><td>2015(平成 27)年度入試</td><td>14.22</td></tr><tr><td>2016(平成 28)年度入試</td><td>16.11</td></tr><tr><td>2017(平成 29)年度入試</td><td>13.38</td></tr></table>			志願倍率（志願者数） 募集定員数	2015(平成 27)年度入試	14.22	2016(平成 28)年度入試	16.11	2017(平成 29)年度入試	13.38	<table><tr><td>2021.3 卒</td><td>2020.3 卒</td><td>2019.3 卒</td><td>2018.3 卒</td><td>2017.3 卒</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	2021.3 卒	2020.3 卒	2019.3 卒	2018.3 卒	2017.3 卒					
		志願倍率（志願者数） 募集定員数																			
	2015(平成 27)年度入試	14.22																			
	2016(平成 28)年度入試	16.11																			
2017(平成 29)年度入試	13.38																				
2021.3 卒	2020.3 卒	2019.3 卒	2018.3 卒	2017.3 卒																	

し
お
よ
び
申
請
者
と
し
て
の
取
組
状
況
(
1
)
学
生
確
保
の
見
通
し

①
定
員
充
足
の
見
込
み
【
保

2018(平成 30) 年度入試	11. 21
2019 (令和元) 年度入試	11. 81

保健学部の立ち位置である保健医療領域では、コ・メディカルがチーム医療の担い手として無くてはならない存在となり、医療の質の向上に大きく貢献しているが、必ずしも十分な医療従事者数とは言えない現状がある。

総務省統計局「国勢調査」「2019 年労働力調査年報」によると医療・福祉就業者を含む専門的・技術職業従事者は増加傾向にあり、需要が増加していると言えるが、現状は厚生労働省「労働経済動向調査」に示されているように、医療福祉業種の従事者数は不足状態にある。つまり、我が国の医療・福祉従事者数は増加傾向にあるものの、実際に医療や福祉の現場で働いている従事者数は未だ不足状態にあると言える。

このような社会情勢の中、杏林大学保健学部では、開設以来、保健医療分野における優れた医療従事者の養成に力を注ぎ、社会の要請に応えた学科編成を行ってきた。現在、保健学部は、臨床検査技術学科、健康福祉学科、看護学科(看護学専攻、看護養護教育学専攻)、臨床工学科、救急救命学科、理学療法学科、作業療法学科、診療放射線技術学科、臨床心理学科の 9 学科 2 専攻を展開し、卒業生は保健医療分野や福祉分野で活躍している。

福祉系	8 人	4 人	14 人	9 人	17 人
養護教諭	14 人	17 人	25 人	18 人	14 人
企業等	1 人	2 人	15 人	11 人	9 人
進学・留学			4 人	3 人	2 人
そ の 他 (未定者含む)	0	2 人	3 人	5 人	9 人
卒業生数	23 人	25 人	61 人	46 人	51 人

志望者数は定員50人に対し、2021年度は229人、2020年度は212人、2019年度は213人、2018年度は200人と4倍以上の倍率となっている。特に2021年度はコロナ禍での入試であったため、志願者の動向が危惧されたが、例年と同等な志願者が得られた。今回、上記を希望する学生の他に、高齢者の健康寿命延伸にかかわるスポーツを基本とする運動指導者を養成する分野と、福祉分野の充実を目指し精神保健福祉士も加えた福祉関係の分野にも拡大し、それぞれに必要な科目とプログラムを履修要目に提示し、学生の選択の幅を広げ、それぞれを希望する学生の要望に応えることにし、入学定員を70人増員することとした。

今回の健康福祉学科における入学定員の増員では、入学後、運動指導者を希望する学生に対しては、井の頭キャンパスだけでなく運動施設

修
正
・
す
る
。

健 学 部 】	そのような卒業生の社会での活躍を反映し、保健学部オープンキャンパスには毎年多くの高校生が参加している。下記の表は過去 5 年間のオープンキャンパス参加者数を示しているが、毎年 4,000 名以上の高校生が来校している。特に直近の 2019（令和元）年度は 5,064 名の高校生が実際の大学を見学し、在校生の話を聞き、入試情報を得るために訪れた。 オープンキャンパス 年度別実施回数・来場者数（保健学部） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>実 施 回 数</th><th>来 場 者 数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015（平成27）年度</td><td>2 回</td><td>3,492</td></tr> <tr> <td>2016（平成28）年度</td><td>2 回</td><td>4,398</td></tr> <tr> <td>2017（平成29）年度</td><td>2 回</td><td>4,195</td></tr> <tr> <td>2018（平成30）年度</td><td>2 回</td><td>4,635</td></tr> <tr> <td>2019（令和元）年度</td><td>2 回</td><td>5,064</td></tr> <tr> <td>2020（令和2）年度</td><td>中止</td><td></td></tr> </tbody> </table> したがって、保健学部は保健医療分野に興味を持つ高校生にとって、進学先の一つとして考慮されていることが示唆されている。 補足ではあるが卒業後の就職について言及する。就職求人数を別添資料 1 に、就職決定率を別添資料 2 に示した。		実 施 回 数	来 場 者 数	2015（平成27）年度	2 回	3,492	2016（平成28）年度	2 回	4,398	2017（平成29）年度	2 回	4,195	2018（平成30）年度	2 回	4,635	2019（令和元）年度	2 回	5,064	2020（令和2）年度	中止		の充実している八王子キャンパスも使用して教育研究を行うこととしている。運動を指導するためには、健康スポーツ科学に関連する広範な学問領域から、心身に及ぼすスポーツや運動を含む身体活動の役割に関する基礎知識を学習した上で、スポーツや運動を通じた生活の質の向上を実現するための具体的な方法についての教育研究を行うが、そのためには、解剖学、生理学、運動学などの専門基礎分野の学習は必須であり、健康福祉学科が属する保健学部には、様々な医学的領域における専門性の高い教員がおり医学部付属病院と連携し教育を行っているため、学生は専門基礎分野においてより広くかつ専門的に学ぶことができる。また、実践的なスポーツ指導方法や運動療法を学ぶためには充実した運動施設が必要となるが、八王子キャンパスは運動場や体育館などの運動設備を有している。運動場は、11,566.00㎡の敷地面積があり野球場として使用可能でありナイター設備も整っている。また、体育館は7,746.33㎡の敷地面積があり、バスケットボールのコートを2面取ることができる広さがある。このことは、運動指導者を目指し健康スポーツ科学を学ぶことにおいて最適な学習環境であると考えている。 また、社会福祉士だけでなく精神保健福祉士もベースとする福祉関係分野での活躍を希望する学生に関しては、すでに健康福祉学科において社会福祉士を念頭に置いた授業形態を行っており、福祉系の専門職として幅広い知識を教授することが可能であり、実習に関しても医学部付属病院や医学部精神神経科関連病院における患者中心の医療現場で行うことができるように配慮している。したがって、社会福祉士あるいは精神保健福祉士を基礎に卒業後福祉関係の分野で十分な力を発揮できるように学びの環境を整えている。 旺文社大学受験パスナビによると、東京都内
	実 施 回 数	来 場 者 数																					
2015（平成27）年度	2 回	3,492																					
2016（平成28）年度	2 回	4,398																					
2017（平成29）年度	2 回	4,195																					
2018（平成30）年度	2 回	4,635																					
2019（令和元）年度	2 回	5,064																					
2020（令和2）年度	中止																						

<u>求人数は各学科とも定員の 4～15 倍以上であり、就職率は過去 5 年間一貫して、学部平均 95%以上を維持している。これらのことは高校生にとって、卒業後の自分の将来を着実に見据えることができる特徴を持っていると言える。</u> <u>今までの入学志願者数、オープンキャンパス参加数、卒業時の就職状態を勘案すると、杏林大学保健学部は長期的に安定した定員充足が可能であると判断できる。</u> <u>保健学部全体では前述のように安定した状態にあるので、今回、定員増の申請をする健康福祉学科の学生確保の見通しについて述べる。</u> <u>健康福祉学科の現状は養護教諭希望者と社会福祉士をベースとする福祉関係の分野を希望する学生から成り立っている。志望者数は定員 50 名に対し、2020 年度は 212 人、2019 年度は 213 人、2018 年度は 200 人と 4 倍以上の倍率となっている。今回、養護教諭あるいは福祉関係分野を希望する学生の他に、高齢者の健康寿命延伸にかかわるスポーツを基本とする運動指導者を養成する分野と、福祉分野の充実を目指し精神保健福祉士も加えた福祉関係の分野に拡大し、それぞれを希望する学生の要望に 대응することにし、入学定員を 70 人増員することとした。</u> <u>今回の健康福祉学科における入学定員の増員では、入学後、運動指導者を希望する学生に対しては、井の頭キャンパスだけでなく運動施設の充実している八王子キャンパスも使用して教育研究を行うこととしている。運動を指導するためには、健康スポーツ科学に関連する</u>	<u>には体育学・健康科学系統の大学が14校あり、各大学独自の教育が行われているが、入学試験の倍率は3.1倍から7.2倍で推移している。また福祉系学部は東京都内には25校あり、各大学独自の教育が行われているが、入学試験の倍率は2.5倍から7.3倍である。</u> <u>本学と他大学の立地条件、運動施設および教育内容を比較検討しても大きな差は見られず、本学への入学希望者は他大学とほぼ同様な状態となるものと思われ、定員充足は可能と考えられる。</u> <u>精神保健福祉士に関しては、公益財団法人社会福祉復興・試験センターによる福祉系の国家資格に関する調査によると、精神保健福祉士資格所有者においては、併せ持つ資格として社会福祉士が最も多く、かなりの人数になっていることが示されている。このことは福祉の分野では多岐にわたるサポートが必要な状況が多く、幅広い知識と技術が必要と言われており、関連する分野も積極的に学び、資格を取得することが多いと考えられている。つまり多くの知識と技術を十分身につけることが必要と言われている。今後も精神保健福祉士として社会で活躍するためには、精神科領域の知識や技能だけでなく、社会一般の基礎的な知識や技能も必要とされることが言える。</u> <u>東京都内には2021年3月現在、社会福祉士27240名、精神保健福祉士11,630名が登録されているが、精神保健福祉士の人数は社会福祉士の人数の約43%と少ない。精神保健福祉士のかなりの人数が社会福祉士の資格も取得している現状を考慮すると、健康福祉学科においては、精神保健福祉士を取得しようとする学生は社会福祉士の取得も念頭に置いていると思われるし、社会福祉士取得希望者でも精神保健福祉士の資格取得も希望する可能性が高いと思われる。</u>

広範な学問領域から、心身に及ぼすスポーツや運動を含む身体活動の役割に関する基礎知識を学習した上で、スポーツや運動を通じた生活の質の向上を実現するための具体的な方法についての教育研究を行うが、そのためには、解剖学、生理学、運動学などの専門基礎分野の学習は必須であり、健康福祉学科が属する保健学部には、様々な医学的領域における専門性の高い教員がおり医学部附属病院と連携し教育を行っているため、学生は専門基礎分野においてより広くかつ専門的に学ぶことができる。また、実践的なスポーツ指導方法や運動療法を学ぶためには充実した運動施設が必要となるが、八王子キャンパスは運動場や体育館などの運動設備を有している。運動場は、11,566.00 m²の敷地面積があり野球場として使用可能でありナイター設備も整っている。また、体育館は7,746.33 m²の敷地面積があり、バスケットボールのコートを2面取ることができる広さがある。このことは、運動指導者を目指し健康スポーツ科学を学ぶことにおいて最適な学習環境であると考えている。

また、社会福祉士だけでなく精神保健福祉士もベースとする福祉関係分野での活躍を希望する学生に関しては、すでに健康福祉学科において社会福祉士を念頭に置いた授業形態を行っており、福祉系の専門職として幅広い知識を教授することが可能であり、実習に関しても医学部附属病院や医学部精神神経科関連病院における患者中心の医療現場で行うことができるように配慮している。したがって、社会福祉士あるいは精神保健福祉士を基礎に卒業後福祉関係

健康福祉学科における過去3年間の社会福祉士取得希望者は下記の表に示すように、入学者のかなりの割合で社会福祉士取得希望者がいる。

健康福祉学科	年度	社会福祉士取得希望者数 (入学者に対する比率)
	2018（平成30）年	27人 (54%)
	2019（令和元）年	16人 (28%)
	2020（令和2）年	18人 (35%)

これらの社会福祉士取得希望者は健康福祉学科へ入学してきた学生であるが、志願者数も入学者に対する比率と同程度と考えられる。健康福祉学科全体の志願者数は2018年度200人、2019年度213人、2020年度212人であったので、社会福祉士取得希望者数は108人、60人、74人と推定され、現状でも社会福祉士や精神保健福祉士取得を目指す課程において十分な志願者がいることがうかがわれる。

また、今回の精神保健福祉士に関する新たなカリキュラムの増設により、効率的に福祉系の2つの国家資格を取得することが可能となり、それらを希望する学生の要望に応えることで社会福祉学系を志願する学生から新規に志願者を掘り起こすことも十分に可能であると考えられる。

<u>の分野で十分な力を発揮できるように 学びの環境を整えている。</u> <u>旺文社大学受験パスナビによると、東 京都内には体育学・健康科学系統の大学 が 14 校あり、各大学独自の教育が行わ れているが、一般入学試験の倍率は 3.1 倍から 7.2 倍で推移している。また福祉 系学部は東京都内には 25 校あり、各大 学独自の教育が行われているが、一般入 学試験の倍率は 2.5 倍から 7.3 倍であ る。</u> <u>本学と他大学の立地条件、運動施設お よび教育内容を比較検討しても大きな 差は見られず、本学への入学希望者は他 大学とほぼ同様な状態となるものと思 われ、定員充足は可能と考えられる。</u> <u>したがって、健康福祉学科の入学定員増 を行ったとしても、入学者の確保は十分 に可能な状況にあると考えられる。</u>	<u>次にスポーツを基に適切な運動を指導できる 人材の養成について見てみる。まずスポーツ健 康科学系統の大学では、前述の旺文社による調 査によると、スポーツに興味のある受験生は多 く、入学試験の倍率は3.1倍から7.2倍で推移し ており、各大学とも定員を満たすに十分な受験 生がいると考えられる。本学においても他のス ポーツ健康科学系統の大学と立地条件、教育環 境など遜色は見られないので、他大学と同様な 傾向になるものと思われる。</u> <u>保健学部においてはもう一つの重要な要因を 挙げることが出来る。毎年行われている推薦入 試およびA0入試においては個別面接が行われ、 その中で志望動機や将来の目標を述べてもらっ ている。理学療法学科においても2009年4月の 開設以来、推薦入試とA0入試において志望学生 に個別面接が行われており、志望動機や将来の 目標を述べてもらっているが、過去12年間のデ ータを見ると約30%が理学療法士の資格にはこ だわらず、スポーツを基本とした健康教育ある いは健康指導を実践したいとの希望が強い志願 者であることが判明している。つまり理学療法 学科にこだわらず、スポーツを基本とした健康 教育あるいは健康指導を実践可能な領域であれ ば構わないという考えであった。現実的には理 学療法士が行う疾病回復後にリハビリテーショ ンを行い社会復帰の援助を行うという立場では なく、健康人を対象にスポーツを基本とした疾 病の予防に重点を置き、超高齢社会にも対応 し、介護予防に重点を置き、医療知識を基に全 身状態と照らし合わせて適格な運動を指導でき る運動療法士を希望している実態があることが 判明した。</u> <u>詳細については後述するが、現状において上 記のスポーツを基本とする健康教育関連領域志 願者数は年によりばらつきはあるが、360人か ら423人と推定され、健康福祉学科で70人の定</u>	

	員増をしたとしても、定員確保には十分な人数を満たしている。 今までも健康福祉学科では健康教育が行われているが、スポーツを基本とする健康教育ではないため、これら志望学生の進学選択分野の範囲には入っていなかったと思われる。対面式で行われた2019年までのオープンキャンパスにおいては、理学療法学科志望者にスポーツを基本とする健康指導者になりたいとの相談者も20%ほどおり、スポーツを基本とする運動指導者希望の学生の多さが伺われた。今回、スポーツを基本に健康科学を主体とした健康教育を行うことにしたので、これらの志望学生の選択の範疇に入ることになり、選択の幅が広がったものと考えられる。 また、実際に入学した理学療法学科新生に対するアンケート調査においても、スポーツ関連学問領域への興味を持っている学生が多いことが判明し、スポーツ健康科学への期待度も大きいことが伺われた。 したがって、健康福祉学科70人の入学定員増を行ったとしても、入学者の確保は十分に可能な状況にあると考えられる。													
学生確保の見通し等を記載した	今回、入学定員を増員する健康福祉学科の過去 5 年間(2016 年から 2020 年)の入学試験状況を下表に示す。基礎医学、医療学、学校保健学等を学んだ養護教諭を輩出する杏林大学保健学部健康福祉学科の志願倍率は、過去 5 年間において 3.44 から 7.67 倍で推移しており、安定した定員充足が保たれている。	今回、入学定員を増員する健康福祉学科の過去5年間(2016年から2020年)の入学試験状況を下表に示す。基礎医学、医療学、学校保健学等を学んだ養護教諭と社会福祉士を養成する健康福祉学科の志願倍率は、過去5年間において3.44倍から7.67倍で推移しており、安定した定員充足が保たれている。 <table><tr><th>健康福祉学科</th><th>年度</th><th>入学定員(A)</th><th>志願者数(B)</th><th>倍率(B/A)</th><th>入学数者</th></tr><tr><td></td><td>2016 (平成</td><td>36 人</td><td>276 人</td><td>7.67</td><td>53 人</td></tr></table>	健康福祉学科	年度	入学定員(A)	志願者数(B)	倍率(B/A)	入学数者		2016 (平成	36 人	276 人	7.67	53 人
健康福祉学科	年度	入学定員(A)	志願者数(B)	倍率(B/A)	入学数者									
	2016 (平成	36 人	276 人	7.67	53 人									

審査意見1を踏まえ、説明文章

書類（本文） 1・学生の確保の見通しおよび申請者としての取組状況（1）学生確保	健康福祉学科	年度	入学定員（㉔）	志願者数（㉕）	志願倍率（㉖）	入学者数（㉗）
		2016（平成28）年	36	276	7.67	53
		2017（平成29）年	36	172	3.44	43
		2018（平成30）年	50	200	4.00	50
		2019（令和元）年	50	213	4.26	56
		2020（令和2）年	50	212	4.24	52
		28）年				

28）年				
2017（平成29）年	36人	172人	3.44	43人
2018（平成30）年	50人	200人	4.00	50人
2019（令和元）年	50人	213人	4.26	56人
2020（令和2）年	50人	212人	4.24	52人

また、今回の入学定員の増員により、養護教諭あるいは福祉関係分野を希望する学生の他に、高齢者の健康寿命延伸にかかわるスポーツを基本とする運動指導者を養成するが、2020（令和2）年度の学校基本調査によれば、過去5年間ににおける全国の体育学部（健康・スポーツ系は含まず）の志願者数は、2016（平成28）年度以降、36,826人、39,182人、36,860人、36,072人、36,820人、と毎年3万6千人以上の志願者数数を確保している（別添資料1）。更に、全国体育スポーツ系大学協議会に加盟する52大学のうち、東京都内にある14校（旺文社パスナビよりデータ抽出）について、2018（平成30）年度以降3年間の一般入試における志願者総数をみると、33,203人、33,089人、32,475人と推移し、入学定員（3,421人、3,600人、3,447人）に対する倍率も毎年9倍超を維持しており、体育・健康科学系を志願する学生はある一定の志願規模を有しており、学生確保は十分にできると考えられる（別添資料2）。なお、廣告社株式會社がまとめた「運動部に所属する生徒の進路について」の調査結果（別添資料3）によれば、運動部に所属す

及び文章の構成・文中の表を追加・修正する。

の 見 通 し ② 定 員 充 足 の 根 拠 と な る 客 観 的 な デ ー タ の 概 要 【 保 健 学 部 】 【 保 健 学 部 】	れば、過去5年間における全国の体育学部（健康・スポーツ系は含まず）の志願者数は、2016（平成28）年度以降、36,826人、39,182人、36,860人、36,072人、36,820人、と毎年3万6千人以上の志願者数数を確保している（別添資料3）。更に、全国体育スポーツ系大学協議会に加盟する52大学のうち、東京都内にある14校（旺文社パスナビよりデータ抽出）について、2018（平成30）年度以降3年間の一般入試における志願者総数をみると、33,203人、33,089人、32,475人と推移し、入学定員（3,421人、3,600人、3,447人）に対する倍率も毎年9倍超を維持しており、体育・健康科学系を志願する学生はある一定の志願規模を有しており、学生確保は十分にできると考えられる（別添資料4）。なお、廣告社株式會社がまとめた「運動部に所属する生徒の進路について」の調査結果（別添資料5）によれば、運動部に所属する高校生の健康スポーツ科学に対する興味については、かなり興味がある（14.3%）、やや興味がある（60%）と合わせて74.3%の生徒が健康スポーツの分野に興味を持っていることが分かる。そのため、充実した運動設備を整えている本学は、自ら運動を行い実践的な健康スポーツ科学を学ぶことを希望する学生の要望に応えることができるため、学習環境から見ても学生確保は十分にできると考える。 また、今回の入学定員の増員においては、福祉分野の充実を目指し、社会福祉士だけでなく精神保健福祉士を希望する学生に対して教育活動を行	る高校生の健康スポーツ科学に対する興味については、かなり興味がある（14.3%）、やや興味がある（60%）と合わせて74.3%の生徒が健康スポーツの分野に興味を持っていることが示されている。 保健学部においては前述のように、もう一つの要因を挙げることが出来る。推薦入試およびA0入試における個別面接で、理学療法学科を志望している学生の約30%は必ずしも理学療法士を目指しているわけではなく、どちらかというスポーツを基本とした健康教育を希望している学生であった。これらのことから、その年度の入学志願者の約30%は、将来スポーツを基本とした健康教育を行うことを希望していることが推測された。 また、入学後の理学療法学科新入生アンケート調査結果においては、新入生の約10%が理学療法士を目指すというより、スポーツを通じた健康教育に関心を示していた。アンケートの中で重複回答可の調査項目である「最も興味のある学問領域は何か」という問いに対して、多い順にスポーツ（57.4%）、医療（40.0%）、福祉（2.9%）という回答結果となり、理学療法学科では医療よりもスポーツ関連学問領域への興味を持っている学生が多いという結果であった（別添資料4）。その上、スポーツの学問領域を選択した理由については「高校時代運動部に所属していたから」であった。このアンケート結果と過去5年間の志願倍率に鑑みると、理学療法学科の入学希望者の中には、スポーツ関連学問領域を希望する学生も多く含まれていることが考えられた。今回の増員において、そうした学生の要望に沿った学びの機会を提供することで、社会の要請に真摯に向かい合うことができるものと判断するに至った。 次に具体的な数字を基に述べる。下表は理

うが、東京都内にある社会福祉学部 25 校（旺文社パスナビよりデータ抽出、1 校情報非公開）について、2018（平成 30）年度以降 3 年間の一般入試における志願者総数をみると、84,145 人、90,811 人、80,903 人と推移し、入学定員（8,607 人、8,861 人、8,675 人）に対する倍率も毎年 9 倍超を維持しており、社会福祉学部系を志願する学生の志願規模は大きく学生確保は十分にできると考えられる（別添資料 6）。

このような状況において、井の頭キャンパスの立地条件および八王子キャンパスの運動設備や医学部付属病院と連携した質の高い実習を含む教育内容は、志願者にとって魅力的な材料となり得ると考えられる。

したがって、健康福祉学科において入学定員の増員を行ったとしても、安定した収容定員を確保できると判断した。

学療法学科の過去5年間（2016年から2020年）の入学試験志望者状況である。志願倍率は年度によって多少のばらつきはあるが、最近3年間では18倍から19倍と高倍率で推移しており、安定した定員充足が保たれている。

理 学 療 法 学 科	年 度	入 学 定 員 (A)	志 願 者 数 (B)	倍 率 (B/A)	入 学 者 数
	2016（平成28）年	45人	1163人	25.84	52人
	2017（平成29）年	56人	1209人	21.59	56人
	2018（平成30）年	56人	1017人	18.16	62人
	2019（令和元）年	56人	1024人	18.29	59人
	2020（令和2）年	56人	1056人	18.86	59人

下表は理学療法学科の過去5年間（2016年から2020年）の推薦およびAO入学試験志望者状況と面接時にスポーツ関連を希望した志願者数を示したものである。これも多少のばらつきはあるが、志願者の30%から40%はスポーツを基本とした健康教育関連領域を希望している志願者であることが見て取れる。

年 度	志 願 者 (A)	ス ポ ー ツ 希 望 者 (B)	B/A(%)

				<table><tr><td>2016（平成28）年</td><td>86人</td><td>27人</td><td>31（％）</td></tr><tr><td>2017（平成29）年</td><td>98人</td><td>34人</td><td>35（％）</td></tr><tr><td>2018（平成30）年</td><td>75人</td><td>25人</td><td>33（％）</td></tr><tr><td>2019（令和元）年</td><td>63人</td><td>24人</td><td>40（％）</td></tr><tr><td>2020（令和2）年</td><td>119人</td><td>46人</td><td>39（％）</td></tr></table>	2016（平成28）年	86人	27人	31（％）	2017（平成29）年	98人	34人	35（％）	2018（平成30）年	75人	25人	33（％）	2019（令和元）年	63人	24人	40（％）	2020（令和2）年	119人	46人	39（％）	
2016（平成28）年	86人	27人	31（％）																						
2017（平成29）年	98人	34人	35（％）																						
2018（平成30）年	75人	25人	33（％）																						
2019（令和元）年	63人	24人	40（％）																						
2020（令和2）年	119人	46人	39（％）																						

		<u>は、自ら運動を行い実践的な健康スポーツ科学を学ぶことを希望する学生の要望に応えることができるため、学習環境から見ても学生確保は十分にできると考える。</u> <u>また、今回の入学定員の増員においては、福祉分野の充実を目指し、社会福祉士だけでなく精神保健福祉士を希望する学生に対して教育活動を行うが、東京都内にある社会福祉学部25校について、2018(平成30)年度以降3年間の一般入試における志願者総数をみると、84,145人、90,811人、80,903人と推移し、入学定員(8,607人、8,861人、8,675人)に対する倍率も毎年9倍超を維持しており、社会福祉学部系を志願する学生の志願規模は大きく学生確保は十分にできると考えられる(別添資料5)。</u> — <u>このような状況において、井の頭キャンパスの立地条件および八王子キャンパスの運動設備や医学部付属病院と連携した質の高い実習を含む教育内容は、志願者にとって魅力的な材料となり得ると考えられる。したがって、健康福祉学科において入学定員70人の増員を行ったとしても、安定した収容定員を確保できると判断した。</u>	
学生確保の見通し等を記載	以上より、医療職におけるコメディカルスタッフの必要性は、公的な機関はもちろんのこととして、介護・福祉サービスの分野、医薬品業界、医療機器業界といった民間企業においても活躍の場が期待されてきている。現状でもすでにこれらの分野への就職をしている学生も少しずつ増えている。少子高齢化社会においては病気の予防・健康推進が高まるなか、十分な医療知識を有しコミュニケーション能力の高い人材の需要が見込まれる。	以上より、医療職におけるコメディカルスタッフの必要性は、公的な機関はもちろんのこととして、介護・福祉サービスの分野、医薬品業界、医療機器業界といった民間企業においても活躍の場が期待されてきている。現状でもすでにこれらの分野への就職をしている学生も少しずつ増えている。少子高齢化社会においては病気の予防・健康推進が高まるなか、十分な医療知識を有しコミュニケーション能力の高い人材の需要が見込まれる。 <u>次に、本学保健学部における最近5年の求人数について見てみる。求人数の実績推移は別</u>	審査意見1を踏まえ、別添

した書類（本文）2・人材需要の動向等社会の要請（1）学生確保の見通し（2）	次に、本学保健学部における最近5年の求人件数について見てみる。求人数の実績推移は別添資料1のとおりである。就職希望者に対して十分な求人数が確保できているといえる。 収容定員の変更を計画している健康福祉学科における就職率実績は別添資料2のとおりである。収容定員を増加した場合においても卒業後の進路について十分に見込めるものと考えられる。 また、健康福祉学科の就職進路状況は別添資料7に示すとおりである。健康福祉学科は公立・私立学校の養護教諭、一般企業、福祉施設、病院職員への就職状況であり、このところ求人数も増加傾向にあるため、収容定員を増加した場合においても卒業後の進路は十分見込める。 以上のように、これまでの就職実績から収容定員の変更を行う健康福祉学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は社会的・地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであり、今後の学生の就職先の確保は十分に可能であると考えられる。	添資料6のとおりである。就職希望者に対して十分な求人数が確保できているといえる。 収容定員の変更を計画している健康福祉学科における就職率実績は別添資料6のとおりである。収容定員を増加した場合においても卒業後の進路について十分に見込めるものと考えられる。 また、健康福祉学科の就職進路状況は別添資料8に示すとおりである。健康福祉学科は公立・私立学校の養護教諭、一般企業、福祉施設、病院職員への就職状況であり、このところ求人数も増加傾向にあるため、収容定員を増加した場合においても卒業後の進路は十分見込める。 以上のように、これまでの就職実績から収容定員の変更を行う健康福祉学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は社会的・地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであり、今後の学生の就職先の確保は十分に可能であると考えられる。	資料番号を修正する。

上記（１）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的			

な 根 拠 【 保 健 学 部 】 【 保 健 学 部 】			
学 生 確 保 の 見 通 し 等 を 記 載 し た 書 類 （ 資 料 ）	別添資料 3	別添資料 1	審 査 意 見 1 を 踏 ま え 、 説 明 資 料 の 順 序 を 変 更 す る

			。
学 生 確 保 の 見 通 し 等 を 記 載 し た 書 類 （ 資 料 ）	別添資料 4	別添資料 2	審 査 意 見 1 を 踏 ま え 、 説 明 資 料 の 順 序 を 変 更 す る 。
学 生 確 保 の 見 通 し 等 を 記 載 し	別添資料 5	別添資料 3	審 査 意 見 1 を 踏 ま え 、 説 明 資

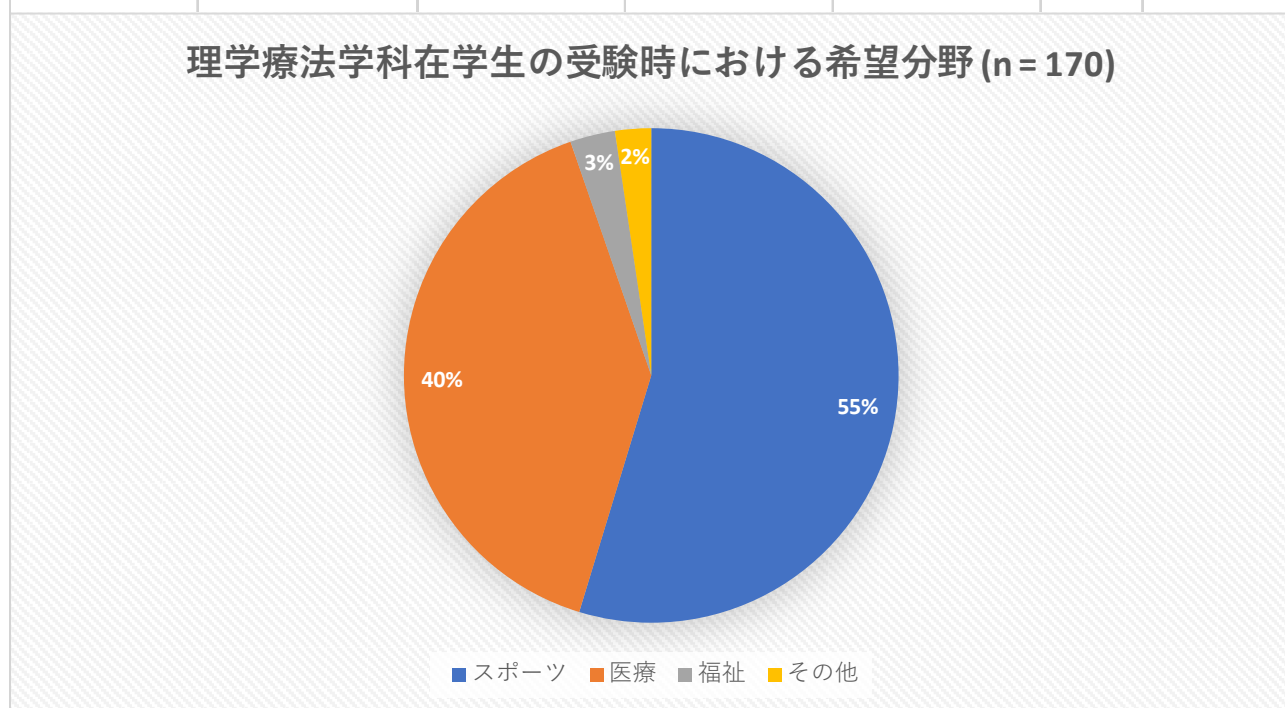
た 書 類 （ 資 料 ）			料 の 順 序 を 変 更 す る 。
学 生 確 保 の 見 通 し 等 を 記 載 し た 書 類 （ 資 料 ）		別添資料 4 （新規追加、別添資料参照）	審 査 意 見 1 を 踏 ま え 、 説 明 資 料 を 削 除 す る 。
学 生 確 保 の 見 通	別添資料 6	別添資料 5	審 査 意 見 1 を 踏

し 等 を 記 載 し た 書 類 （ 資 料 ）			ま え 、 説 明 資 料 を 追 加 す る 。
学 生 確 保 の 見 通 し 等 を 記 載 し た 書 類 （ 資 料 ）	別添資料 1	別添資料 6	審 査 意 見 1 を 踏 ま え 、 説 明 資 料 の 順 序 を 変 更 す る 。
学	別添資料 2	別添資料 7	審

生 確 保 の 見 通 し 等 を 記 載 し た 書 類 （ 資 料 ）			査 意 見 1 を 踏 ま え 、 説 明 資 料 の 順 序 を 変 更 す る 。
学 生 確 保 の 見 通 し 等 を 記 載 し た 書	別添資料 7	別添資料 8	審 査 意 見 1 を 踏 ま え 、 説 明 資 料 の

類 (資 料)			順 序 を 変 更 す る 。

理学療法学科在学生の受験時における希望分野 (n = 170)						
入学年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	合計	構成比率
スポーツ	28	20	26	19	93	54.7%
医療	24	9	16	19	68	40.0%
福祉	4	0	0	1	5	2.9%
その他	0	1	1	2	4	2.4%
回答数	56	30	43	41	170	



理学療法学科在校生の受験時における希望分野

理学療法学科入学時のアンケート調査結果 170 人を対象

調査項目：あなたが当学科を受験した際に最も興味のある学問領域は何ですか？